令和６年度
岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事
（第Ｉ期）

建　築												電　気　設　備			機　械　設　備		
図面番号	名称	縮尺(A1)	図面番号	名称	縮尺(A1)	図面番号	名称	縮尺(A1)	図面番号	名称	縮尺(A1)	図面番号	名称	縮尺(A1)	図面番号	名称	縮尺(A1)
Ａ－００１	表紙、図面リスト	Ｎ・Ｓ	Ａ－０３１	【改修後】3階平面図1（北校舎1・2）	1/100	Ａ－０６１	【改修前後】屋根詳細図3（東校舎 屋根F・庇B）	1/20	Ａ－０９１	東校舎・渡り廊下2・3 既存建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ（参考図）	1/200	Ｅ－００１	電気設備改修工事特記仕様書	Ｎ・Ｓ	Ｍ－００１	機械設備改修工事特記仕様書	Ｎ・Ｓ
Ａ－００２	建築改修工事特記仕様書1	Ｎ・Ｓ	Ａ－０３２	【改修前後】3階平面図2（東校舎）	1/100	Ａ－０６２	【改修前後】屋根詳細図（給食室1 屋根B）	1/20	Ａ－０９２	東校舎・渡り廊下2・3 既存建具表1（参考図）	1/50	Ｅ－００２	【改修前後】配置図	1/400	Ｍ－００２	【改修前後】配置図	1/300
Ａ－００３	建築改修工事特記仕様書2	Ｎ・Ｓ	Ａ－０３３	【改修前】屋上平面図1（北校舎1・2）	1/100	Ａ－０６３	【改修前後】屋根詳細図（給食室2・3 屋根C・E）	1/20				Ｅ－００３	【改修前後】 1階平面図	1/150	Ｍ－００３	【改修前後】1階平面図（北校舎1、給食室1・2・3）	1/100
Ａ－００４	建築改修工事特記仕様書3	Ｎ・Ｓ	Ａ－０３４	【改修後】屋上平面図1（北校舎1・2）	1/100	Ａ－０６４	【改修前後】ﾃﾗｽ・ﾊﾞﾙｺﾆｰ詳細図1(北校舎1)	1/50				Ｅ－００４	【改修前後】 2階平面図	1/150	Ｍ－００４	【改修前後】2階平面図（北校舎1、給食室1・2・3）	1/100
Ａ－００５	建築改修工事特記仕様書4	Ｎ・Ｓ	Ａ－０３５	【改修前後】屋上平面図2（東校舎）	1/100	Ａ－０６５	【改修前後】ﾃﾗｽ・ﾊﾞﾙｺﾆｰ詳細図2（北校舎2）	1/50				Ｅ－００５	【改修前後】 3階平面図	1/150	Ｍ－００５	【改修前後】3階平面図（北校舎1）	1/100
Ａ－００６	建築改修工事特記仕様書5	Ｎ・Ｓ	Ａ－０３６	【改修前後】渡り廊下3 平面図	1/100	Ａ－０６６	【改修前後】ﾃﾗｽ・ﾊﾞﾙｺﾆｰ詳細図3（東校舎）	1/50							Ｍ－００６	【改修前後】1階平面図（北校舎2）	1/100
Ａ－００７	建築改修工事特記仕様書6	Ｎ・Ｓ	Ａ－０３７	【改修前】南立面図	1/100	Ａ－０６７	【改修前後】ﾎﾞｰﾁA詳細図（北校舎1）	1/50							Ｍ－００７	【改修前後】2階平面図（北校舎2）	1/100
Ａ－００８	建築改修工事特記仕様書7	Ｎ・Ｓ	Ａ－０３８	【改修後】南立面図	1/100	Ａ－０６８	【改修前】給食室詳細図（給食室1・2・3）	1/50							Ｍ－００８	【改修前後】3階平面図（北校舎2）	1/100
Ａ－００９	建築改修工事特記仕様書8	Ｎ・Ｓ	Ａ－０３９	【改修前】西立面図	1/100	Ａ－０６９	【改修後】給食室詳細図（給食室1・2・3）	1/50							Ｍ－００９	【改修前後】1階平面図（東校舎）	1/100
Ａ－０１０	建築改修工事特記仕様書9	Ｎ・Ｓ	Ａ－０４０	【改修後】西立面図	1/100	Ａ－０７０	【改修前後】給食室展開図（給食室1・2・3）	1/100							Ｍ－０１０	【改修前後】2階平面図（東校舎）	1/100
Ａ－０１１	中性化抑制工法 特記仕様書	Ｎ・Ｓ	Ａ－０４１	【改修前】北立面図	1/100	Ａ－０７１	【改修前】ﾛｯｶｰ改修詳細図（北校舎2・東校舎）	1/50							Ｍ－０１１	【改修前後】3階平面図（東校舎）	1/100
Ａ－０１２	案内図・配置図	1/400	Ａ－０４２	【改修後】北立面図	1/100	Ａ－０７２	【改修後】ﾛｯｶｰ改修詳細図（北校舎2・東校舎）	1/50									
Ａ－０１３	全体仮設計画図(参考図)	1/400	Ａ－０４３	【改修前】東立面図	1/100	Ａ－０７３	【改修前】廊下床改修詳細図（東校舎）	1/50									
Ａ－０１４	内部仮設計画図(参考図)	1/300	Ａ－０４４	【改修後】東立面図	1/100	Ａ－０７４	【改修後】廊下床改修詳細図（東校舎）	1/50									
Ａ－０１５	仕上表1	Ｎ・Ｓ	Ａ－０４５	【改修前後】矩計図1（北校舎1）	1/50	Ａ－０７５	EXP.Jｶﾊﾞｰ 改修詳細図	図示									
Ａ－０１６	仕上表2	Ｎ・Ｓ	Ａ－０４６	【改修前後】矩計図2（北校舎1）	1/50	Ａ－０７６	【改修前】建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ	1/300									
Ａ－０１７	全体1階平面図	1/200	Ａ－０４７	【改修前後】矩計図3（北校舎2）	1/50	Ａ－０７７	【改修前】建具表	1/100									
Ａ－０１８	全体2階平面図	1/200	Ａ－０４８	【改修前後】矩計図4（北校舎2）	1/50	Ａ－０７８	【改修後】建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ	1/300									
Ａ－０１９	全体3階平面図	1/200	Ａ－０４９	【改修前後】矩計図5（東校舎）	1/50	Ａ－０７９	【改修後】建具表	1/100									
Ａ－０２０	全体屋上平面図	1/200	Ａ－０５０	【改修前後】矩計図6（渡り廊下3）	1/50	Ａ－０８０	【改修前後】建具詳細図	1/5									
Ａ－０２１	全体立面図1	1/200	Ａ－０５１	【改修前後】1階天井伏図（北校舎1・2、給食室1・2・3）	1/100	Ａ－０８１	【改修前後】躯体改修詳細図	1/50									
Ａ－０２２	全体立面図2	1/200	Ａ－０５２	【改修前後】2階天井伏図（北校舎1・2、給食室1）	1/100	Ａ－０８２	鉄骨構造図(参考図)	1/100									
Ａ－０２３	断面図	1/200	Ａ－０５３	【改修前後】3階天井伏図（北校舎1・2）	1/100	Ａ－０８３	雑詳細図1	図示									
Ａ－０２４	【改修前】1階平面図1（北校舎1・2、給食室1・2・3）	1/100	Ａ－０５４	【改修前後】1・2階天井伏図（東校舎1、渡り廊下2）	1/100	Ａ－０８４	雑詳細図2	図示									
Ａ－０２５	【改修後】1階平面図1（北校舎1・2、給食室1・2・3）	1/100	Ａ－０５５	【改修前後】3階天井伏図（東校舎1）、渡り廊下3 天井伏図	1/100	Ａ－０８５	北校舎1・給食室1 既存建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ（参考図）	1/200									
Ａ－０２６	【改修前後】1階平面図2（東校舎）	1/100	Ａ－０５６	【改修前後】屋上詳細図1（北校舎1）	1/20	Ａ－０８６	北校舎1・給食室1 既存建具表1（参考図）	1/50									
Ａ－０２７	【改修前】2階平面図1（北校舎1・2、給食室1・2・3）	1/100	Ａ－０５７	【改修前後】屋上詳細図2（北校舎2）	1/20	Ａ－０８７	北校舎1・給食室1 既存建具表2（参考図）	1/50									
Ａ－０２８	【改修後】2階平面図1（北校舎1・2、給食室1・2・3）	1/100	Ａ－０５８	【改修前後】屋上詳細図3（東校舎）	1/20	Ａ－０８８	給食室2・3 既存建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ・建具表（参考図）	1/50									
Ａ－０２９	【改修前後】2階平面図2（東校舎、渡り廊下2）	1/100	Ａ－０５９	【改修前後】屋根詳細図1（北校舎1 屋根A）	1/20	Ａ－０８９	北校舎2 既存建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ（参考図）	1/150									
Ａ－０３０	【改修前】3階平面図1（北校舎1・2）	1/100	Ａ－０６０	【改修前後】屋根詳細図2（東校舎 屋根D）	1/20	Ａ－０９０	北校舎2 既存建具表1（参考図）	1/50									

設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ｉ期)				
図面名称	表紙・図面リスト				
縮　尺	A1：N・S A3：N・S	年　月 2024.03	設計番号	図面番号 Ａ－001	
SOWA 一般財団法人 相和技術研究所 仙台事務所 宮城県知事登録 第229101176号		承認/赤沼 直幸 照査/佐々木 啓文	設計者/一級建築士 第284436号 赤沼 直幸	製図/西巻 裕太	

建　築　改　修　工　事　特　記　仕　様　書　【令和５年４月版】

Ⅰ　工　事　概　要

１　工事番号・名称　　令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅰ期)
２　工　事　場　所　　岩沼市松ケ丘一丁目17
３　用途地域等
　都市計画区域（⊙ 内　・　外）　用途地域（ 第1種低層住居専用地域 ）
　防火地域等（・ 防火　・　準防火　⊙ 指定なし　⊙ ２２条 ）
　その他の地域・地区（　　）
４　主　要　用　途　　小学校
５　敷　地　面　積　　26,073.68㎡
６　工 事 の 概 要

1)北校舎1　RC造 3階建 延面積 1,094m2 外部改修工事一式、一部内部改修工事一式
2)給食室1　RC造 平屋 延面積 172m2 外部改修工事一式、一部内部改修工事一式
3)給食室2　S造 平屋 延面積 46m2 外部改修工事一式、一部内部改修工事一式
4)給食室3　S造 平屋 延面積 8m2 外部改修工事一式、一部内部改修工事一式
5)北校舎2　RC造 3階建 延面積 1,315m2 外部改修工事一式、一部内部改修工事一式
6)東校舎、渡り廊下2　RC造 3階建 延面積 1,039m2 外部改修工事一式、一部内部改修工事一式
7)渡り廊下3　S造 2階建 延面積 52m2 外部改修工事一式
8)上記に伴う電気・機械設備工事一式

７　別　途　工　事
　無し

８　そ　の　他

９　特記仕様書の範囲
特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の〇印もので構成する。
・　構造特記仕様書　・　外構工事特記仕様書　・　植栽工事特記仕様書
・　解体工事特記仕様書　⊙ 電気設備工事特記仕様書　⊙ 機械設備工事特記仕様書
・　・

Ⅱ　建　築　工　事　仕　様

１．共通仕様
図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書(令和4年版）」（以下、「改修標準仕様書」という。）による。ただし、「改修標準仕様書」に記載されていない事項は、「公共建築工事標準仕様書（令和4年版）」(以下「標準仕様書」という。）及び「建築物解体工事共通仕様書(令和4年版）」（以下「解体共通仕様書」という。）による。
なお、施工条件明示書は特記仕様書に含める。
２．特記仕様
１）項目は、番号に〇印のついたものを適用する。
２）特記事項は、⊙印のついたものを適用する。⊙印のつかない場合は※印のついたものを適用する。⊙印と⊗印のついた場合は、共に適用する。
３）特記事項に記載の＜　＞、（　）及び［　］内の表示番号は、それぞれ「改修標準仕様書」、「標準仕様書」及び「解体共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章	項　目	特　記　事　項
1 一般共通事項	①. 一般事項	⊙ 工事施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合には、監督職員に報告の上、指示に従うこと。 ⊙ 受注者は、監督職員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗をはかること。 ⊙ 施工体系図を現場に掲示すること。 ・ 工事着手前及び完成時に、以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状況（地盤、擁壁、内外壁、床、建具等）を調査・記録し、報告書を監督職員に提出すること。 調査範囲　※ 図示 ・
	②. 適用基準等	⊙ 建設工事執行規則(昭和39年3月宮城県規則第9号） ⊙ 宮城県建設工事元請・下請関係適正化要綱（令和5年3月1日施行） ⊙ 建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　令和4年版） ⊙ 宮城県建築工事写真撮影要領（平成12年版）及び工事写真撮影ガイドブック（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　令和3年版） ⊙ 岩沼市契約事務規則 ⊙ 岩沼市入札契約暴力団等排除要綱
	３．概成工期	工事工期より　　日前　〈1.2.1〉
	④. 工事実績情報(CORINS)の登録	※ 適用する（請負精算額が500万円以上の場合）　〈1.1.4〉 受注時、変更時及び工事完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け、契約締結後及び工事完成後の10日以内に登録手続きを行い、工事カルテの受領書を、監督職員に提出すること。 ・ 適用しない
	⑤. 発生材の処理等	発生材の処理　〈1.3.12〉 ・ 引渡しを要するもの（　　） ・ 特別管理産業廃棄物（　　） 受入れ施設名・所在地(km) ・ 現場において再利用を図るもの（　　） ⊙ 再生資源化を図るもの

種　類	受入施設名	所在地 (Km)	備考
⊙ ｺﾝｸﾘｰﾄ類 ﾓﾙﾀﾙ・PC・砂利含む	若生技研	名取市杉ヶ袋字川前84番地1 9.2km	
⊙ 木材類	ｲｰｽﾄｺｱ	岩沼市下野郷字中野馬場34-1 9.5km	
⊙ 陶器・ｶﾞﾗｽ類	藤田興業	名取市下増田字広浦35-108 14.1km	
⊙ 廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	ｲｰｽﾄｺｱ	岩沼市下野郷字中野馬場34-1 9.5km	

⊙その他の廃棄物（管理型）

種　類	受入施設名	所在地 (Km)	備考
⊙ 非飛散性ｱｽﾍﾞｽﾄ含有成形板類（ﾎﾞｰﾄﾞ類）	宮城県環境事業公社	黒川郡大和町鶴巣小鶴沢字大沢5 41.8km	
⊙ 非飛散性ｱｽﾍﾞｽﾄ含有成形板類（ｱｽﾌｧﾙﾄ防水）	ｼﾞｬﾊﾟﾝｸﾘｰﾝ	仙台市青葉区芋沢字青野木109-1 32.6km	
⊙ 石こうﾎﾞｰﾄﾞ類	ｼﾞｬﾊﾟﾝｸﾘｰﾝ	仙台市青葉区芋沢字青野木109-1 32.6km	

⊙その他の廃棄物（安定型）

種　類	受入施設名	所在地 (Km)	備考
⊙ 石こうﾎﾞｰﾄﾞ類	ｼﾞｬﾊﾟﾝｸﾘｰﾝ	仙台市青葉区芋沢字青野木109-1 32.6km	

上記の処理、処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、上記によらない場合は、監督職員と協議すること。
また、処理、処分に先立ち処分場等の受入の可否を確認すること

PCB（ポリ塩化ビフェニール）含有機器　・ 有（数量は図示）　[5.4.1]
⊙ 無

PCB含有シーリング材　・ 有（施工範囲は図示）　[5.4.1]
⊙ 無

PCBを含有する機器等については、飛散、流失等がないように適切な容器に納め、適切な場所に保管し、工事完了後、監督職員に引き渡す。

アスベストの処理
吹き付けアスベスト除去工事　・有(図示　　)　・無
受け入れ施設名・所在地(km)
アスベスト含有保温材除去工事　・有(図示　　)　・無
受け入れ施設名・所在地(km)
アスベスト成形板除去工事　⊙有(図示　　)　・無
受け入れ施設名・所在地(km)　上記その他の廃棄物参照

ヒ素又はカドミウム含有石膏ボードの処理
ヒ素又はカドミウムボード　・有(図示　　)　⊙無
次に該当する場合は、指定する場所に処分すること。
＜対象となる石膏ボード＞
小名浜吉野石膏（株）　いわき工場　昭和48年10月～平成9年4月の間に製造されたもの
日東石膏ボード（株）　八戸工場　平成4年10月～平成9年4月の間に製造されたもの
指定する処分場
【名称：　　所在地(km)　　】

⑥. 電気保安
・ 適用する　※ 適用しない　〈1.3.3〉

⑦. 事故報告　〈1.3.10〉
工事の施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に通報するとともに、監督職員から指示があった場合は「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。

⑧. 建築材料等
材料の品質等　〈1.4.2〉
※ 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、その材料にJIS又はJASのマークの表示のある場合を除いて監督職員の承諾を受ける。
特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。

環境への配慮　〈1.4.1〉
※ 本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては、「県有施設のシックハウスマニュアル」に留意し、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。

※ ホルムアルデヒド仕様
使用する材料のホルムアルデヒド仕様は以下のとおりとする。
ホルムアルデヒド放散量　規制対象外　の場合の建築材料
１）ＪＩＳ及びＪＡＳのＦ☆☆☆☆品
２）建築基準法施行令第２０条の７第４項による国土交通大臣認定品
３）次の表示のあるＪＡＳ適合品
ａ．非ホルムアルデヒド系接着剤使用
ｂ．接着剤等不使用
ｃ．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用
ｄ．ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用
ｅ．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用

⑨. 室内の空気中の化学物質濃度の測定
※ ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の測定　(1.5.9)〈1.7.9〉
試料採取及び測定は、厚生労働省の「室内空気中化学物質の採取方法と測定方法」の新築住宅の例に準拠するほか、拡散方式ではサンプラー製造所の定める仕様により行う。
測定対象物質
※ ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ（濃度指針値　100μg/m3 ・ 0.08ppm）
※ ｽﾁﾚﾝ　（濃度指針値　220μg/m3 ・ 0.05ppm）
※ ﾄﾙｴﾝ　（濃度指針値　260μg/m3 ・ 0.07ppm）
※ ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ（濃度指針値 3、800μg/m3 ・ 0.88ppm）
※ ｷｼﾚﾝ　（濃度指針値　200μg/m3 ・ 0.05ppm）

測定する室等：（ 普通教室(5-4、3-1・2・3・4)、外部　　）

採取方法：吸引方式又は拡散方式とし、拡散方式では８時間採取する。

測定結果等報告書の提出
次の事項を記載した報告書を１部提出する。
ａ測定結果
ｂ試料採取時の状況（気温・湿度（室外・室内）、天候、風の状況、日射進入状況、測定年月日・時間、窓の開閉状況、機械換気量、工事完成時から測定日までの日数）
ｃ試料採取方法、測定方法、使用した測定機器

測定対象物質が指針値を超える濃度で検出された場合は、引渡は受けない。

・ 総揮発性有機化合物の測定
測定方法、測定物質及び測定か所等については、この仕様書の末尾に定める総揮発性有機化合物測定仕様書による。

※ 室内ＶＯＣ濃度の測定結果に関する書面の当該施設への提示については、施設管理者に依頼する。

⑩. 特別な材料の工法
「改修標準仕様書」及び「標準仕様書」に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法とする。

⑪. 建築基準法による風圧力等の指定　〈3.5.4〉〈3.9.3〉〈5.11～13.2〉〈5.14.5〉(13.2.3) (13.3.3)

適　用　工　事	建築基準法の指定
・ 合成高分子系ルーフィングシート	風速(V0)　※３０　・
⊙ アルミニウム笠木　・　金属板屋根葺	地表面粗度区分　・Ⅱ　⊙Ⅲ
・ 折板屋根葺　⊙ ガラスブロック	多雪地域の指定　・有　⊙無
・ 重量シャッター　・　軽量シャッター	
・ オーバーヘッドドア　・　屋上緑化	

⑫. 設計ＧＬ
※ 図　示　　・ 現状平均地盤高

⑬. 施工調査
施工数量調査　〈1.6.2〉

調査項目	調査範囲	調査方法	成果品
外部劣化	図示	目視・打診・ｽｹｰﾙ	報告書
内部劣化	図示	目視・打診・ｽｹｰﾙ	報告書

・ 既存部分の破壊を行った場合の補修方法は、図示による。　〈1.6.3〉

⑭. 技　能　士
・ 下表で技能士を適用することとした職種に、１級又は単一級技能士を配置する。　〈1.7.2〉
※ 下表で技能士を適用することとした職種に、１級、２級又は単一級技能士を配置する。
・ 下表で技能士を適用しないとした職種でも、技能士の配置に努めること。

工事種目	技能検定職種（技能検定作業）
以下の該当工事	・該当する作業がある以下の職種（作業）の全て
仮設工事	⊙とび（とび作業）
防水改修工事	⊙防水施工（⊙アスファルト防水工事作業 ⊙ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ⊙シーリング防水工事作業 ・改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄﾄｰﾁ防水工事作業 ・ＦＲＰ防水工事作業　）
外壁改修工事	⊙左官(左官作業)　・タイル張り(タイル張り作業) ⊙樹脂接着剤注入施工(樹脂接着剤注入工事作業) ⊙塗装(建築塗装作業)
建具改修工事	⊙サッシ施工（ビル用サッシ施工作業） ⊙ガラス施工（ガラス工事作業） ・自動ドア施工（自動ドア施工作業）
内装改修工事	⊙内装仕上施工（⊙プラスチック系床仕上工事作業 ・カーペット系床仕上作業 ・木質系床仕上工事作業 ・ボード仕上工事作業 ・鋼製下地工事作業　） ・表装（壁装作業）　・建築大工（大工工事作業）
塗装改修工事	⊙塗装（建築塗装作業）
耐震改修工事	・鉄筋施工(鉄筋組立作業) ・型枠施工(型枠工事作業)　・とび(とび作業) ・コンクリート圧送施工(コンクリート圧送工事作業)
ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ・ALCﾊﾟﾈﾙ・押出成形セメント板工事	・ブロック建築（コンクリートブロック工事作業） ・ＡＬＣパネル施工（ＡＬＣパネル工事作業）
石工事	・石材施工（石張り作業）
排水工事	・配管（建築配管作業）
舗装工事	・路面標示施工（・溶融ﾍﾟｲﾝﾄﾊﾝﾄﾞﾏｰｶｰ工事作業 ・加熱ﾍﾟｲﾝﾄﾏｼﾝﾏｰｶｰ作業　）
植栽工事	・造園（造園工事作業）
屋根及びとい工事	・建築板金（内外装板金作業） ・スレート施工（スレート工事作業）

⑮. 完成図等
営繕工事完成引渡要領（令和3年4月1日宮城県土木部営繕課・設備課）により作成する。

※ 白焼Ａ４版折製本（黒表紙金文字入）　１部
※ 白焼縮小（Ａ３版）２つ折製本　２部
※ 完成図面　JWW形式又はDXF形式のCADデータ及びPDFデータ　CD2枚

⑯. 完成写真
※ 作成する　・ 作成しない
宮城県建築工事写真撮影要領により、完成届に添付する完成写真とは別に次のものを原版（ネガ又は電子媒体）とともに監督職員に提出する。
なお、原版を電子媒体とする場合は、CD等で提出すること。

分類	サイズ	撮影箇所数	部数	提出様式
※カラー ・白黒	※Ｌ ・２Ｌ ・六切り	※宮城県写真撮影要領の完成写真程度 ・　箇所　枚	※１部 ・　部	※工事用アルバムA4版 ポケット式程度 ・フリーアルバム （台紙寸法323×270程度） ・

⑰. 設備工事との取合い
施工範囲　各工事の区分表による。
施 工 図　設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して監督職員の承諾を受ける。

⑱. 火災保険等
工事目的物及び工事材料等について、次により保険に付す。
保険の種類　※ 火災保険　※ 建設工事保険　・
保険期間　※ 工事着手から工事目的物引き渡しまで　・

数量公開等

①. 数量書の公開
⊙ 本工事は、数量公開対象工事であり、予定価格の基となる工事内訳書等から単価及び金額等を削除するなどの加工・編集を参考資料（参考数量）として提供する。

②. 数量書の取扱
⊙ 工事請負契約書第１条に定める設計図書（図面及び仕様書等）ではなく、参考資料（参考数量）として取り扱うこととする。
平成18年 5月12日 国営計第22号
一部改正 平成18年12月19日 国営計第131号
一部改正 平成20年 8月11日 国営計第39号

その他

①. 暴力団などの排除について
⊗ 岩沼市入札契約暴力団等排除要綱を適用する。（平成20年11月 7日施行）

②. 安全対策
⊙ 工事に伴う騒音、振動、飛散防止等環境対策を行い、近隣住民、生徒及び学校関係者等の安全対策を十分に行うこと。

２ 仮設工事

①. 仮囲い
※ 設ける　・ 設けない
仮囲いの位置及び延長は図示による。
⊙キャスターゲート（H=1.8、W=6.0）×　3箇所
・シートゲート（H=　、W=　）×　箇所

②. 交通誘導員
⊙ 配置する（ 206日 × 1人 ＝ 206人日）　※ 配置しない

③. 揚重機械器具
⊙ トラッククレーン（ 20ｔ吊り）× 30日
・　（ ｔ吊り）×　日

④. 工事表示板
※ 設置する　・設置しない
営繕工事における工事及びコスト表示要領（平成14年2月6日宮城県土木部営繕課・設備室制定）による。

⑤. 足場等
外部足場　⊙設置する　（設置範囲　・工事に必要な範囲　⊙ 図示　）〈2.2.1〉〈表2.2.1〉
・設置しない
防護シート　⊙設置する　（設置範囲　・工事に必要な範囲　⊙ 図示　）
・設置しない
内部足場　⊙設置する　（・　　※脚立、足場板等）
・設置しない
⊙材料、撤去材等の運搬方法
種別（・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　⊙Ｄ種　⊙Ｅ種）
Ｃ種：利用可能なエレベーター　（　　）
Ｄ種：利用可能な階段　（　　）
足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成21年4月策定）」によるものとし、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場に関する基準」によること。

⑥. 養生
家具及び設備の移動　⊙ 行う(施工に必要な範囲)・　行わない　〈2.3.1〉
既存ブラインド・カーテン等の養生及び保管
⊙ 行う　・　行わない
養生の方法　ﾋﾞﾆﾙｼｰﾄ等
保管場所　場内

７．仮設間仕切り
・ 設ける(図示)　〈2.3.2〉〈表2.3.1〉
・ Ａ種　・ Ｂ種　※ Ｃ種

⑧. 監督職員事務所
※ 設けない（請負者事務所に打合せ会議室を確保する）　〈2.4.1〉
・ 設ける（規模　　㎡程度　請負者事務所と同棟　・可　・否）
備品（

⑨. 工事用水　構内既存の施設　・ 利用できる（※有償　・無償）　※ 利用できない

⑩. 工事用電力　構内既存の施設　・ 利用できる（※有償　・無償）　※ 利用できない
※ 溶接などの消費電力の大きな機器を除く

⑪. 工事用通路
※ 指定しない　⊙ 指定する（図示）

設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅰ期)
図面名称	建築改修工事特記仕様書1
縮尺	A1:N・S　A3:N・S
年月	2024.03
設計番号	
図面番号	A－002
承認/赤沼 直幸	
設計者/一級建築士 第284436号 赤沼 直幸	
製図/西巻 裕太	
照査/佐々木 啓文	

SOWA 一級建築士事務所 株式会社 相和技術研究所 仙台事務所 宮城県知事登録 第2291031号

3 防水改修工事

① 降雨等に対する養生(とい共)

※改修標準仕様書3.1.3(5)(ｱ)～(ｳ)による　〈3.1.3〉
・

② 既存防水の処理

既存保護層の撤去　〈3.2.3～4〉〈3.2.6〉
・行う（範囲　・図示による　・　　）
⊙行わない
既存防水層の撤去
⊙行う（範囲⊙図示による　・　　）
・行わない
露出防水層表面の仕上げ塗装除去
・行う（　・M4AS　・M4ASI　・M4C　・M4DI　・L4X ）
⊙行わない

③ 既存下地の処理

補修箇所の形状、長さ、数量等　〈3.2.6〉
※図示による　・

POS工法及びPOSI工法（機械的固定方法）の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処置
※改修標準仕様書3.2.6(4)(ｳ)(g)①～③による
・

設備機器架台、配管受部、パラペット、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理
※監督職員と協議する
・図示による

④ アスファルト防水

屋根保護防水（既存）　〈3.1.4〉〈3.3.2～5〉〈表3.1.1〉〈表3.3.3～10〉
新設防水層の種別

改修工法	新設種別	施工箇所	絶縁用シート	断熱材
・P2A	・A-1 ・A-2 ・A-3		※ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ 厚さ0.15mm以上 又はﾌﾗｯﾄﾔｰﾝｸﾛｽ 70g/㎡程度 ・	
・P1B	・B-1 ・B-2			
・P2AI	・AI-1 ・AI-2 ・AI-3		※ﾌﾗｯﾄﾔｰﾝｸﾛｽ 70g/㎡程度 ・	※JISA9521に基づく押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ断熱材3種bA （ｽｷﾝ層付き） 厚さ　・
・P1BI	・BI-1 ・BI-2			

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.3.3及び表3.3.9による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※R種
厚さ（　　）mm以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.3.3及び表3.3.9による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※R種
厚さ（　　）mm以上
平場の保護コンクリートの厚さ
こて仕上げ　※水下　80mm以上　・
床タイル張り　※水下　60mm以上　・

立上り部の保護方法
・乾式保護材（品質・性能、試験方法は別表による）
窯業系パネルⅠ類（厚さ　(mm)　幅　(mm)）
・れんが押え（※JIS R 1250　・　　）
・コンクリート押え
・モルタル押え（屋内）

屋根露出防水（既存）
新設防水層の種別

改修工法	新設種別	施工箇所	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	断熱材	備考
・M4C	・C-1 ・C-2 ・C-3 ・C-4		・製造所の仕様 ・	※製造所の仕様 ・		
・M3D ⊙P0D	⊙D-1 ・D-2 ・D-3 ・D-4	屋上 屋根	⊙製造所の仕様 ・	※製造所の仕様 ・		脱気装置 ⊙有　・無 改修用ﾄﾞﾚﾝ ⊙有　・無
・P0DI ・M3DI ・M4DI	・DI-1 ・DI-2		・製造所の仕様 ・	※製造所の仕様 ・	※3.3.2(9) 種類 ・ 厚さ ・	脱気装置 ・有　・無 改修用ﾄﾞﾚﾝ ・有　・無

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.3.9による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※R種
厚さ（　　）mm以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.3.8及び表3.3.9による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※R種
厚さ（　　）mm以上
絶縁断熱工法のルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置
※図示による　・
絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類　※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
・
設置数量　※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
・　（個）

5. 改質アスファルトシート防水

屋根防水
防水層の種別

改修工法	種別	施工箇所
・P1E ・P2E	・E-1 ・E-2	

保護層　・設ける（※図示による　・　　）
・設けない
E-1の工程3を行う部位
※貯水槽、浴室等常時水に接する部位
・
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製　L-30×15×2.0mm程度
・
屋上排水溝
※図示による　・

屋根露出防水（既存）　〈3.4.2、3〉
新設防水層の種別

改修工法	新設種別	施工箇所	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	断熱材	備考
・M4AS	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2		・製造所の仕様 ・	※製造所の仕様 ・		
・M3AS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1		・製造所の仕様 ・	※製造所の仕様 ・		脱気装置 ・有　・無 改修用ﾄﾞﾚﾝ ・有　・無
・P0AS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3		・製造所の仕様 ・	※製造所の仕様 ・		脱気装置 ・有　・無 改修用ﾄﾞﾚﾝ ・有　・無
・M3ASI ・M4ASI ・P0ASI	・ASI-TI		・製造所の仕様 ・	※製造所の仕様 ・	3.4.2(3)ｳ 種類 ・ 厚さ ・	脱気装置 ・有　・無 改修用ﾄﾞﾚﾝ ・有　・無 防湿層 ・有　・無
	・ASI-JI					

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※R種
厚さ（　　）mm以上
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※R種
厚さ（　　）mm以上
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※R種
厚さ（　　）mm以上
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製　L-30×15×2.0mm程度
・
絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類　※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
設置数量　※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
・　（個）

絶縁断熱工法の防湿用シート
・設置する　・設置しない

6. 合成高分子系ルーフィングシート防水

〈3.5.2～4〉〈表3.5.1～3〉
新設防水層の種別

改修工法	新設種別	施工箇所	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	断熱材	備考
・P0S ・S4S	・S-F1		・製造所の仕様 ・	※製造所の仕様 ・		脱気装置 ・有　・無 改修用ﾄﾞﾚﾝ ・有　・無
	・S-F2					
	・S-M1		・製造所の仕様 ・	※製造所の仕様 ・		
	・S-M2					
・S3S	・S-F1	・ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ下地 ・	・製造所の仕様 ・	※製造所の仕様 ・		脱気装置 ・有　・無
	・S-F2	・ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ下地 ・				
・M4S	・S-M1		・製造所の仕様 ・	※製造所の仕様 ・		脱気装置 ・有　・無
	・S-M2					
・P0SI ・S3SI ・S4SI ・M4SI	・S-F1	・ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ下地 ・	・製造所の仕様 ・	※製造所の仕様 ・	3.5.2(3)(ｴ)(b) 種類 ・ 厚さ(mm) ・25　・50 ・	脱気装置 ・有　・無 改修用ﾄﾞﾚﾝ ・有　・無
	・S-F2	・ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ下地 ・				
	・S-M1		・製造所の仕様 ・	※製造所の仕様 ・	3.5.2(3)(ｴ)(a) 種類 ・ 厚さ(mm) ・25　・50 ・	
	・S-M2					

⑦ 塗膜防水

S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様
※非歩行仕様
・軽歩行仕様
SI-M1及びSI-M2における防湿用フィルム
・設置する　・設置しない

屋内防水
防水層の種別

種別	種別	施工箇所	保護層 平場の保護モルタル塗厚	保護層 立上り部の保護モルタル塗厚
・P1S	・S-C1		・	※7mm以下 ・

平場の保護モルタル床塗りにおける目地の目地割及び種類
目地割
※目地割2㎡程度、最大目地間隔3m程度
・
目地の種類
※押し目地
・
合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.5.1から表3.5.3による
・JIS A 6008に基づく種類及び厚さ
種類　・
厚さ　・　mm以上
絶縁用シートの材質
※発泡ポリエチレンシート
・
固定金具の材質、形状及び寸法
※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもの
・
接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量
種類
※ルーフィングシートの製造所の仕様
・
設置数量
※ルーフィングシートの製造所の仕様
・（　　）個
接着工法の場合のプレキャストコンクリート部材下地の目地処理
・行う（・図示による　・　　）
プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り（種別S-F1、SI-F1の場合）
・行う（・図示による　・　　）
・行わない

(9.5.3)(表9.5.1、2)
防水層の種別

種別	施工箇所	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	保護層	備考
・X-1		※ｶﾗｰ・ｼﾙﾊﾞｰ			
⊙X-2	ﾊﾞﾙｺﾆｰ、庇	※ｶﾗｰ・ｼﾙﾊﾞｰ			防滑
・Y-1	※地下外壁防水 ・				
・Y-2	※屋内防水 ・			・適用する ・適用しない	

ウレタンゴム系塗膜防水X-1の脱気装置の種類及び設置数量
種類　※主材料の製造所の仕様
・
設置数量　※主材料の製造所の仕様
・（　　）個

新設防水層の種別

改修工法	新設種別	施工箇所	工程数及び各工程の使用量	保護層
・P1Y	※Y-2 ・		※主材料の製造所の仕様 ・	・設ける ・設けない
・P2Y	※Y-2 ・		※主材料の製造所の仕様 ・	・設ける ・設けない

⑧ シーリング

シーリング改修工法の種類　〈3.1.4〉〈3.7.2、3、7、8〉
・シーリング充填工法
⊙シーリング再充填工法
・拡幅シーリング再充填工法
・ブリッジ工法
ボンドブレーカー張り
・適用する　・適用しない
エッジング材張り
・適用する　・適用しない

シーリング材の種類、施工箇所
下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による。

施工箇所	シーリング材の種類（記号）

仕上げを行わない施工箇所
⊙図示による　・
シーリング材の目地寸法
※改修標準仕様書3.7.3(1)による
・図示による　・

接着性試験
※簡易接着性試験
・引張接着性試験

⑨ とい

といその他の材種　〈3.8.2、3〉
⊙配管用鋼管(既存)
⊙硬質ポリ塩化ビニル管
・ルーフドレン
・表面処理鋼板（表面及び裏面の塗膜の種類　・　　）
・
とい受金物
材種
※改修標準仕様書3.8.2による（溶融亜鉛めっきを行ったもの）
⊙ステンレス
形状
※市販品（とい径100以下）
※25×4.5以上（とい径100を超えるもの）
⊙図示
取付け間隔
※改修標準仕様書3.8.2による
・
足金物
材種
※改修標準仕様書3.8.2による（溶融亜鉛めっきを行ったもの）
⊙ステンレス
形状
※市販品
⊙図示
取付け間隔
※改修標準仕様書3.8.2による
・
多雪地域
・適用する　⊙適用しない
防露材のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法
・図示による　・
鋼管製といの防露巻き
※改修標準仕様書表3.8.4による
・

ルーフドレンの種類及び呼び

種別		呼び	施工箇所
・ろく屋根用たて形Ⅰ型	※ねじ込み式	・80　・100　・125　・150	
・ろく屋根用横形Ⅰ型	※ねじ込み式	・80　・100　・125　・150	
・バルコニー中継用	※ねじ込み式	・50　・80　・100	
	・差し込み式	・50　・75　・100	
・バルコニー用	※ねじ込み式	・50　・80　・100	
	・差し込み式	・50　・75　・100	

たてどい受金物の取付け
※図示による
ルーフドレンの取付け
※水はけよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する
・

⑩ アルミニウム製笠木

種類　〈3.9.2、3〉
⊙オープン形式　⊙図示　・押出300形　・押出350形）
・板材折曲げ形（・オープン形式　・シール形式）
本体幅（　　）mm　板厚（※2.0mm　・　　mm）
表面処理
種別（　BB-2　）種
色合等　⊙標準色（　協議による　　）　・特注色（　　）
既存笠木等の撤去
⊙行う（範囲　⊙図示による　・　　）
・行わない
下地補修の工法
※図示による　・
板材折曲げ形の笠木の取付方法
※図示による　・

⑪ 防水保証

アスファルト防水、改質アスファルトシート防水及び合成高分子系ルーフィングシート防水の保証期間は、引渡しの日から10年間とし、メーカー・施工業者との連名の上、保証書を提出する。
塗膜防水及びケイ酸質系塗布防水については、メーカー・施工業者が通常定めている期間とし、保証書を作成し提出する。

設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅰ期)
図面名称	建築改修工事特記仕様書2
縮尺	A1:N・S　A3:N・S
年月	2024.03
設計番号	
図面番号	A－003
承認/赤沼 直幸	
設計者/一級建築士 第284436号 赤沼 直幸	
製図/西巻 裕太	
照査/佐々木 啓文	

SOWA 一級建築士事務所 株式会社相和技術研究所 宮城県知事登録 第22910116号

4-1 外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ外壁

① ひび割れ部改修工法

⊙樹脂注入工法 〈4.1.4〉〈4.3.5、6、7、8〉

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)	延べ長さ(m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300 ・	⊙130 ・	図示
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	・50～100 ・	・40 ・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	・100～200 ・	・70 ・	
	0.5以上～1.0未満	・150～250 ・	・130 ・	

注入状況の確認方法
　※コアの抜取りを行う
　　抜取り個数
　　　※長さ500mごと及びその端数につき1個
　　　・
　　抜取り部の補修方法
　　　※図示による　・

⊙Uカットシール材充填工法

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	延べ長さ(m)
・可とう性エポキシ樹脂	0.2以上～0.3 未満	
	0.3以上～0.5 未満	
	0.5以上～1.0 未満	
	1.0 超過	
⊙シーリング材	1.0超過～1.5 未満	図示
	1.5以上～2.0 未満	図示
	以上～未満	

⊙シーリング材
　充填材料の種類
　　※1成分形又は2成分形ポリウレタン系
　　・
　シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填
　　⊙行う　・行わない
　シーリング材の試験は改修標準仕様書3章　防水改修工事による。
　　・可とう性エポキシ樹脂

・シール工法

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	延べ長さ(m)
・パテ状エポキシ樹脂	0.2未満	
・可とう性エポキシ樹脂		

② 欠損部改修工法

・充填工法 〈4.1.4〉〈4.2.4、7〉

材料	平均深さ(mm)	平均広さ(㎡)	延べ箇所数
⊙ポリマーセメントモルタル	5～10未満		
	10～15未満		
	15～20未満		
	20～25未満	図示	図示
	25～30未満		
・エポキシ樹脂モルタル	30～35未満		
	35～40未満		

4-2 外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁

1. ひび割れ部改修工法

・樹脂注入工法 〈4.1.4〉〈4.3.5、6、7、8〉

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)	延べ長さ(m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0 未満	※200～300 ・	・130 ・	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3 未満	・50～100 ・	・40	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5 未満	・100～200 ・	・70	
	0.5以上～1.0 未満	・150～250 ・	・130	

注入状況の確認方法
　※コアの抜取りを行う
　　抜取り個数
　　　※長さ500mごと及びその端数につき1個
　　　・
　　抜取り部の補修方法
　　　※図示による　・

・Uカットシール材充填工法

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	延べ長さ(m)
・可とう性エポキシ樹脂	0.2以上～0.3 未満	
	0.3以上～0.5 未満	
	0.5以上～1.0 未満	
	1.0 超過	
・シーリング材	1.0超過～1.5 未満	
	1.5以上～2.0 未満	
	以上～未満	

・シーリング材
　充填材料の種類
　　※1成分形又は2成分形ポリウレタン系
　　・
　シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填
　　・行う　・行わない
　シーリング材の試験は改修標準仕様書3章　防水改修工事による。

・可とう性エポキシ樹脂

・シール工法

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	延べ長さ(m)
・パテ状エポキシ樹脂	0.2未満	
・可とう性エポキシ樹脂		

2. 欠損部改修工法

・充填工法 〈4.1.4〉〈4.3.9、10〉

材料	平均深さ(mm)	平均広さ(㎡)	延べ箇所数
・ポリマーセメントモルタル	5～10未満		
	10～15未満		
	15～20未満		
	20～25未満		
	25～30未満		
・エポキシ樹脂モルタル	30～35未満		
	35～40未満		

・モルタル塗替え工法

材料	平均深さ(mm)	平均広さ(㎡)	延べ箇所数
・現場調合材料			
・既調合材料			

・現場調合材料
（セメントは改修特記仕様書8-2　コンクリート工事による）
・既調合材料（　　　　　）

既製目地材
　・使用する（形状　・図示による　・　　　　　）
仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置
　※図示による　・

3. 浮き部改修工法

〈4.1.4〉〈4.3.11～16〉

工法の種類	アンカーピン本数(本/㎡) 一般部	アンカーピン本数(本/㎡) 指定部	注入口箇所数(箇所/㎡) 一般部	注入口箇所数(箇所/㎡) 指定部	注入量(mL/箇所)	延べ広さ(㎡) 一般部	延べ広さ(㎡) 指定部
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ・	※25 ・	—	—	※25 ・		
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※25 ・		
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※50 ・		
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	—	—	※25 ・		
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※25 ・		
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※50 ・		
・充填工法	—	—	—	—	—		
・モルタル塗替え工法	—	—	—	—	—		

アンカーピンの材質
　※ ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの
　・
注入口付アンカーピンの材質
　※ ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径6mm程度
　・
注入工法用材料
　・ポリマーセメントスラリー

広がり速度(cm/s)	長さ変化量(収縮)(%)	引張接着性(材齢28日)(N/mm2)	曲げ性能(材齢28日)(N/mm2)	吸水性(72時間)(%)	耐久性(劣化曲げ強さ)(N/mm2)
3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以下	5.0以上

　保水係数　0.35～0.55
　粘調係数　0.50～1.00

充填工法用材料
　・エポキシ樹脂モルタル
　・ポリマーセメントモルタル
モルタル塗替え工法用材料
　・現場調合材料
　（セメントは改修特記仕様書8-2　コンクリート工事による）
　・既調合材料（　　　　　）
既製目地材
　・使用する（形状　・図示による　・　　　　　）
仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置
　※図示による　・

4-3 外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁

1. タイルの形状寸法等

タイルの形状、寸法等 〈4.4.5、8〉

施工箇所	形状/寸法(mm)	吸水率による区分 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 有	無	耐滑り性
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・

標準的な曲がりの役物は一体成形とする。
見本焼き
　・行う(施工箇所：　　　　　　　)　　・行わない
試験張り
　・行う(範囲、仕様等は図示による)　　・行わない

2. ひび割れ部改修工法

・樹脂注入工法 〈4.1.4〉〈4.4.5、6〉

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(mL/m)	延べ長さ(m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0未満	※200～300 ・	・130 ・	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	・50～100 ・	・40 ・	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満	・100～200 ・	・70 ・	
	0.5以上～1.0未満	・150～250 ・	・130 ・	

注入状況の確認方法
　※コアの抜取りを行う
　　抜取り個数
　　　※長さ500mごと及びその端数につき1個
　　　・
　　抜取り部の補修方法
　　　※図示による　・

3. 欠損部改修工法

・タイル部分張替え工法 〈4.1.4〉〈4.4.5、7、8〉
　接着剤の種類
　　・ポリマーセメントモルタル
　　・JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
　施工数量：　平均広さ（　　　）㎡　　延べ箇所数（　　　）箇所

・タイル張替え工法
　張替え用材料
　　・接着剤JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
　　・張付けモルタル　（・現場調合材料　　・既調合モルタル）
　伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置
　　※改修標準仕様書表4.4.2による
　　・図示による
　外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整剤塗りの接着力試験
　　・行う　　・行わない
　施工数量：　平均広さ（　　　）㎡　　延べ箇所数（　　　）箇所
・セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り
　下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
　　・目荒し工法（改修標準仕様書4.3.10(3)による）
　　・
　タイル張りの工法
　　・外装タイル
　　　・密着張り　　・改良圧着張り
　　・ユニットタイル
　　　・マスク張り　　・モザイクタイル張り

　シーリング　改修特記仕様書3章　防水改修工事による。

・有機系接着剤によるタイル（セラミックタイル）張り
　モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
　　・目荒し工法（改修標準仕様書4.3.10(3)による）
　　・
　シーリング材の種類
　　打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地
　　　※ポリウレタン系
　　　・
　　伸縮調整目地その他の目地
　　　※変成シリコーン系
　　　・

　シーリングのその他事項は、改修特記仕様書3章　防水改修工事による。

④ 浮き部改修工法

〈4.1.4〉〈4.4.5、9～15〉〈4.5.9～15〉

工法の種類	アンカーピン本数(本/㎡) 一般部	アンカーピン本数(本/㎡) 指定部	注入口箇所数(箇所/㎡) 一般部	注入口箇所数(箇所/㎡) 指定部	注入量(mL/箇所)	延べ広さ(㎡) 一般部	延べ広さ(㎡) 指定部
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16 ・	※25 ・	—	—	※25 ・		
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※25 ・		
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13 ・	※20 ・	※12 ・	※20 ・	※50 ・		
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	—	—	※25 ・		
⊙注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※25 ・		
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9 ・	※16 ・	※9 ・	※16 ・	※50 ・		
・注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法	・	・	—	—	※25 ・		
⊙タイル部分張り替え工法	—	—	—	—	—		
・タイル張り替え工法	—	—	—	—	—		

アンカーピンの材質
　※ ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの
　・
注入口付アンカーピンの材質
　※ ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径6mm程度
　・

⊙タイル部分張替え工法
　接着剤の種類
　　⊙ポリマーセメントモルタル
　　・JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
　施工数量：図示

・タイル張替え工法
　張替え用材料
　　・接着剤JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
　　・張付けモルタル　（・現場調合材料　　・既調合モルタル）
　伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置
　　※改修標準仕様書表4.5.1による
　　・図示による
　外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整剤塗りの接着力試験
　　・行う　　・行わない
　施工数量：　平均広さ（　　　）㎡　　延べ箇所数（　　　）箇所

⊙セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り
　下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の下地処理
　　⊙目荒し工法（改修標準仕様書4.3.10(3)による）
　　・
　タイル張りの工法
　　・外装タイル
　　　・密着張り　　・改良圧着張り
　　・ユニットタイル
　　　・マスク張り　　・モザイクタイル張り
　シーリング　改修特記仕様書3章　防水改修工事による。

・有機系接着剤によるタイル（セラミックタイル）張り
　モルタル塗りを行うコンクリート素地面の下地処理
　　・目荒し工法（改修標準仕様書4.4.9(3)による）
　　・
　シーリング材の種類
　　打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地
　　　※ポリウレタン系
　　　・
　　伸縮調整目地その他の目地
　　　※変成シリコーン系
　　　・
　シーリングのその他事項は、改修特記仕様書3章　防水改修工事による。

5. 目地改修工法

〈4.1.4〉〈4.4.5、16〉
・目地ひび割れ部改修工法
・伸縮調整目地改修工法
　伸縮調整目地の位置及び寸法
　　・図示による　・
シーリングは、改修特記仕様書第3章　防水改修工事による。

4-4 外壁改修工事 塗り仕上げ外壁

① 既存塗膜等の除去・下地処理及び下地調整

〈4.5.4〉

工法	処理範囲	下地面の補修
⊙サンダー工法	※既存仕上げ面全体 ⊙図示による	
⊙高圧水洗工法	※既存仕上げ面全体 ⊙図示による	⊙ひび割れ部改修工法
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上げ面全体 ・図示による	・浮き部改修工法
⊙水洗い工法	※サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離剤工法の処理範囲以外の既存仕上面全面 ⊙図示による	⊙欠損部改修工法

② 下地調整塗材

※下地調整塗材 〈4.5.2〉
⊙防錆ペースト

③ 仕上塗材仕上げ

新規仕上塗材の種類 〈4.1.5〉〈4.5.2〉〈表4.5.1〉
⊙薄付け仕上塗材

種類（呼び名）	仕上げの形状	工法	防火材料
・外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状	・吹付け	・
	・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り	
・可とう形外装薄塗材Si	・砂壁状 ・ゆず肌状	・吹付け	・
	・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り	
⊙外装薄塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状	・吹付け	・
	・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り	
	⊙ゆず肌状 ・さざ波状	⊙ローラー塗り	
	・着色骨材砂壁状	・吹付け ・こて塗り	
・可とう形外装薄塗材E	・砂壁状 ・ゆず肌状	・吹付け	・
	・平たん状 ・凹凸状	・こて塗り	
	・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り	
・防水形外装薄塗材E	・ゆず肌状 ・さざ波状	・ローラー塗り	・
	・凹凸状	・吹付け	
・外装薄塗材S	・砂壁状	・吹付け	・

・厚付け仕上塗材

種類（呼び名）	仕上げの形状	工法	上塗り	防火材料
・外装厚塗材C	・吹放し ・凸部処理	・吹付け	・適用する	・
	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・こて塗り		
・外装厚塗材Si ・外装厚塗材E	・吹放し ・凸部処理	・吹付け	・適用する	・
	・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし	・こて塗り ・ローラー塗り		

設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ｉ期)
図面名称	建築改修工事特記仕様書3
縮尺	A1:N・S　A3:N・S
年月	2024.03
設計番号	
図面番号	Ａ－004
承認	赤沼 直幸
照査	佐々木 啓文
設計者	一級建築士 第284436号 赤沼 直幸
製図	西巻 裕太

SOWA 一級建築士事務所 株式会社 相和技術研究所 仙台事務所
宮城県知事登録　第22910116号

4-4 外壁改修工事 塗り仕上げ外壁

⊙複層仕上塗材

種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料
・複層塗材CE ・複層塗材RE ・複層塗材S ※複層塗材E	・凸部処理 ・凹凸状	・吹付け	樹脂 ※ｱｸﾘﾙ系 ・ 外観 ※つやあり ・ﾒﾀﾘｯｸ ・ 溶媒 ※水系 ・	※耐候形 3種 ・	・
	・ゆず肌状	・ローラー塗り			
・可とう形複層塗材CE	・凸部処理 ・凹凸状	・吹付け	樹脂 ※ｱｸﾘﾙ系 ・ 外観 ※つやあり ・ﾒﾀﾘｯｸ ・ 溶媒 ※水系 ・	※耐候形 3種 ・	・
	・ゆず肌状	・ローラー塗り			
・防水形複層塗材CE ・防水型複層塗材RE ⊙防水形複層塗材E	・凸部処理 ・凹凸状	・吹付け	樹脂 ※ｱｸﾘﾙ系 ・ 外観 ※つやあり ・ﾒﾀﾘｯｸ ・ 溶媒 ※水系 ・	※耐候形 3種 ・	・
	⊙ゆず肌状	⊙ローラー塗り			

⊙可とう形改修用仕上塗材

種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料
⊙可とう形改修塗材E	・平たん状	・吹付け	樹脂 ⊙ｱｸﾘﾙ	・耐候形 1種	・
・可とう形改修塗材RE	・さざ波状	・ローラー塗り	外観 ⊙つや有	・耐候形 2種	
・可とう形改修塗材CE	⊙ゆず肌状	⊙ローラー塗り	溶媒 ⊙水系	⊙耐候形 3種	

4．マスチック塗材塗り

種別 〈4.1.5〉〈4.6.2〉〈表4.6.1〉
・A種　・B種

5．外壁用塗膜防水材塗り

仕上げの形状 〈4.1.5〉〈4.7.2､3〉〈表4.7.1〉
・
工法
・
仕上塗料の耐候性
・
下地挙動緩衝材の適用
・適用する
・適用しない
コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修特記仕様書4章 外壁改修工事（コンクリート打ち放し仕上げ外壁改修）による。
モルタル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理は、改修特記仕様書4章　外壁改修工事（モルタル塗り仕上げ外壁改修）による。
吹付け工法の模様材の種類
・　（・所要量　(kg/㎡)）
外壁用仕上塗料の種類
・　（・所要量　(kg/㎡)）
既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整は、改修特記仕様書4章　外壁改修工事（塗仕上げ外壁等改修）による。

5 建具改修工事

① 改修工法 〈5.1.3〉

建具の種類		かぶせ工法	撤去工法	適用箇所
⊙アルミニウム製建具		⊙	⊙	⊙建具表による　・
・樹脂製建具		―	・	・建具表による　・
・鋼製建具	・外部	・	・	・建具表による　・
	・内部	・	・	・建具表による　・
・鋼製軽量建具		・	・	・建具表による　・
・ステンレス製建具		・	・	・建具表による　・
・木製建具		・	・	・建具表による　・

新規に建具を設ける場合
壁部分の開口の開け方
※図示による　・
新規建具周囲の補修工法及び範囲
※図示による　・
建具周囲のシーリングは、改修特記仕様書3章　防水改修工事による。

② 防火戸 ⊙指定する　適用箇所（⊙建具表による　・　） 〈5.1.4〉
・指定しない
防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動
・連動させる　適用箇所（・建具表による　・　）
・連動させない

③ 見本の製作等 建具見本の製作　・行う（建具符号：　） 〈5.1.5〉
※行わない
建具見本製作の目的等：（　）
特殊な建具の仮組　・行う（建具符号：　）
※行わない

④ 防犯建物部品 ・適用する（・建具表による　・　） 〈5.1.7〉
※適用しない

⑤ アルミニウム製建具

性能値等 〈5.2.2～5〉〈表 5.2.2〉
耐風圧性の等級（⊙S－5　）
（建具符号（⊙建具表による　・　）
気密性の等級（⊙A－3　）
（建具符号（⊙建具表による　・　）
水密性の等級（⊙W－4　）
（建具符号（⊙建具表による　・　）
外部に面する建具の種別
・A種（建具符号　・建具表による　・　）
⊙B種（建具符号（⊙建具表による　・　）
・C種（建具符号　・建具表による　・　）
枠の見込み寸法
（⊙建具表による　・　）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（・　）
（建具符号：・建具表による　・　）
断熱ドア・断熱サッシ
断熱性の等級（⊙H－2　）
（建具符号：⊙建具表による　・　）
材料
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
・
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL
・
形状及び仕上げ
表面処理
外部に面する建具
種別
※BB-1　⊙BB-2（改修標準仕様書表5.2.2）
着色
⊙標準色　・特注色
屋内の建具
種別
※BC-1　・BC-2（改修標準仕様書表5.2.2）
着色
・標準色　・特注色
結露水の処理方法
・水貯め式　⊙排水式
工法
水切り板、ぜん板
※図示による　・

⑥ 網戸等 〈5.2.3、5.3.3〉

種類	材質	線径	網目
⊙防虫網	※合成樹脂製 ⊙ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製	※0.25mm以上 ・	※16～18メッシュ ・
・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm

7．樹脂製建具

性能値等 〈5.2.2〉〈5.3.2～5〉
耐風圧性の等級（　）
気密性の等級　（　）
水密性の等級　（　）
外部に面する建具の種別
・A種（建具符号　・建具表による　・　）
・B種（建具符号　・建具表による　・　）
・C種（建具符号　・建具表による　・　）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（・T-1　・T-2）
（建具符号：・建具表による　・　）
断熱ドア・断熱サッシ
断熱性の等級（・H-4　・H-5　・H-6　・H-7　・H-8）
（建具符号：・建具表による　・　）
外部に面する建具の日射熱取得性の等級
・
枠の見込み寸法
・建具表による
・
材料
ガラス
※複層ガラス
・
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL
・
形状及び仕上げ
表面色
・標準色　・特注色
工法
水切り板、ぜん板
※図示による　・

8．鋼製建具

性能値等 〈5.2.2〉〈5.4.2～4〉〈表5.4.2〉
簡易気密型ドアセット
※適用する
（建具符号：・建具表による　・　）
・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性
耐風圧性の等級（・　）
（建具符号：・建具表による　・　）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（・　）
（建具符号：・建具表による　・　）
断熱ドア・断熱サッシ
断熱性の等級（・　）
（建具符号：・建具表による　・　）
材料
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
・
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL
・
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL
・
形状及び仕上げ
鋼板類の厚さ
※改修標準仕様書表5.4.2による
・　mm　使用箇所（　）
標準型鋼製建具の形式及び寸法
※建具表による
・

9．鋼製軽量建具

性能値等 〈5.2.2〉〈5.5.2～4〉
簡易気密型ドアセット
※適用する
（建具符号：・建具表による　・　）
・適用しない
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（・　）
（建具符号：・建具表による　・　）
断熱ドア・断熱サッシ
断熱性の等級（・　）
（建具符号：・建具表による　・　）

材料
鋼板
・亜鉛めっき鋼板
・ビニル被覆鋼板
・カラー鋼板
・ステンレス鋼板
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
・
召合わせ、縦小口包み板の性質
※鋼板
・
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL
・
形状及び仕上げ
鋼板類の厚さ
※改修標準仕様書表5.5.1による
・　mm　使用箇所（　）
標準型鋼製軽量建具の形式及び寸法
※建具表による
・

10．ステンレス製建具

性能値等 〈5.2.2〉〈5.4.2〉〈5.6.2～5〉
簡易気密型ドアセット
・適用する
（建具符号：・建具表による　・　）
・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性
耐風圧性の等級（・　）
（建具符号：・建具表による　・　）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（・　）
（建具符号：・建具表による　・　）
断熱ドア・断熱サッシ
断熱性の等級（・　）
耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による
材料
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
・
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL
・
形状及び仕上げ
表面仕上げ
※HL
・鏡面仕上げ
工法
ステンレス鋼板の曲げ加工
※普通曲げ
・角出し曲げ

11．木製建具

建具材の加工、組立時の含水率
※A種 〈5.7.2～4〉
・
建物内部の木製建具に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
・
・フラッシュ戸
表面材のホルムアルデヒド放散量等
※改修標準仕様書5.7.2(2)(イ)(a)による
・
表面材の合板の種類

合板の種類	規格等	備考
・普通合板	表面の樹種　・ 板面の品質（※広葉樹1等　・　） 接着の程度（・1類　・2類）	
・天然木化粧合板	樹種名（　） 接着の程度（・1類　・2類）	
・特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 ※プリント ・ポリエステル化粧合板 ・メラミン化粧合板 ・ 接着の程度（・1類　・2類）	
・MDF		

表面板の厚さ
※改修標準仕様書表5.7.6による
・
引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用
・適用しない　・適用する
・かまち戸
かまち樹種（　）　鏡板樹種（　）
見込み寸法
※36mm　・建具表による　・
・ふすま
張りの種別（・Ⅰ型　・Ⅱ型）
上張り（押入等の裏側以外）
・鳥の子　※新鳥の子又はビニル紙程度
縁仕上げ
・塗り縁　・生地縁（素地）　・生地縁（ウレタンクリヤー塗装）
見込み寸法
※19.5mm　・建具表による　・
・戸ぶすま
表面板の仕上　・建具表による　・
見込み寸法
※30mm　・建具表による　・
・紙張り障子
見込み寸法
※30mm　・建具表による　・
枠、くつずりの材料
・建具表による　・

⑫ 建具用金物

金物の種類及び見え掛り部の材質等 〈5.8.1～3〉
※改修標準仕様書表5.8.1により適用は建具表による
・
金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※改修標準仕様書表5.8.2による
・建具表による
樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※改修標準仕様書表5.8.3による
・建具表による
木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※改修標準仕様書表5.8.4による
・建具表による
木製建具に使用する戸車及びレール
※改修標準仕様書表5.8.5による
・建具表による
握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置
・建具表による
・

⑬ 鍵

マスターキー 〈5.8.4〉
・製作する
・製作しない
⊙既存のマスターキーに合わせる
その他の鍵の製作本数
※各室3本1組（室名札付き）
・
鍵箱
・無し　・有り

14．自動ドア開閉装置

戸の開閉方式 〈5.9.2、3〉
・建具表による　・
・引き戸用駆動装置
性能値
※改修標準仕様書表5.9.1による（防錆　・適用する　・適用しない）
・以下による
種類・開閉方式　（　）
耐電圧　（　）
温度上昇　（　）
耐久性（サイクル）　（　）
防錆　（　）
電源　（　）
・車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置
性能値
※改修標準仕様書表5.9.2による（防錆　・適用する　・適用しない）
・以下による
耐電圧　（　）
温度上昇　（　）
耐久性（サイクル）　（　）
防錆　（　）
電源　（　）
・引き戸用検出装置
性能値
※改修標準仕様書表5.9.3による（防錆　・適用する　・適用しない）
・以下による
耐電圧　（　）
防錆　（　）
防滴　（　）
電源　（　）
引き戸用検出装置の種類及び必要性能項目
・建具表による
・
タッチスイッチの種類
・無線式タッチスイッチ　・光線式タッチスイッチ

5 建具改修工事

車椅子使用者用便房スイッチの種類
・大形押しボタンスイッチ
・非接触スイッチ
凍結防止措置
・行う　※行わない

15. 自閉式上吊り引戸装置

性能値等 〈5.10.3〉
※改修標準仕様書表5.10.1
・以下による
手動開き力　(　　)
手動閉じ力　(　　)
閉じ速度の調整　(　　)
制動区間　(　　)
開閉繰返し　(　　)
耐衝撃性　(　　)

16. 重量シャッター

シャッターの種類 〈5.11.2、3〉
・管理用シャッター
・外壁用防火シャッター
・屋内用防火シャッター
・防煙シャッター
外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度　(　　)Pa
開閉方式の種類
※電動式（手動併用）
・手動式
安全装置
電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置
（設置箇所　・建具表による　・　　）
電動式シャッターの障害物感知装置
（設置箇所　・建具表による　・　　）
屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止装置
（設置箇所　・建具表による　・　　）
管理用シャッターのシャッターケース
※設ける　・設けない
スラット及びシャッターケース用鋼板
鋼板の種類
※JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板鋼帯）
めっきの付着量
※Z12又はF12
・
ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1
・

17. 軽量シャッター

開閉方式の種類 〈5.12.2～4〉
※手動式
・電動式（手動併用）
耐風圧強度　(　　)Pa
安全装置
電動シャッターの障害物感知装置
（設置箇所　・建具表による　・　　）
スラットの材質の種類
※JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっきの付着量（※Z06又はF06　・　　）
・JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯）
めっきの付着量（※AZ90　・　　）
スラットの形状
・インターロッキング形
・オーバーラッピング形

18. オーバーヘッドドア

〈5.13.2、3〉

セクション材料による区分	耐風圧性能区分	開閉方式による区分	収納形式による区分
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・50 ・75 ・100 ・125	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	※スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形

ガイドレールの材料
※溶融亜鉛めっき鋼板
・ステンレス鋼板
電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置
（設置箇所　※建具表による　・　　）

⑲ ガラス

・フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 〈3.7〉〈5.14.2～4〉
※建具表による
・
・型板ガラスの厚さによる種類
※建具表による
・
・網入板又は線入板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類
※建具表による
・合わせガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ
※建具表による
・
落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類
・Ⅰ類　・Ⅱ-1類　・Ⅱ-2類　・Ⅲ類
⊙強化ガラス
形状による種類、材料板ガラスの種類による名称
※建具表による
・
破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類
⊙Ⅰ類　・Ⅲ類
・熱線吸収板ガラス
板ガラスによる種類、厚さによる種類
※建具表による
・
性能による種類
・1種　・2種

⊙複層ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ
⊙建具表による
・
断熱性による区分
・T1　・T2　・T3　⊙T4　・T5　・T6
日射取得性、日射遮蔽性による区分
⊙G　・S
乾燥気体の種類
⊙空気　・アルゴン　・
・熱線反射ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
・建具表による
・
日射熱遮へい性による区分
・1種　・2種　・3種
耐久性による区分（日射熱遮へい性が2種の場合）
・A類　・B類
・倍強度ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
・建具表による
・

ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製	⊙シーリング材 ・グレイジングチャンネル ・	※建具の製造所の仕様による ・図示による ・
鋼製及び鋼製軽量	・シーリング材 ・	※建具の製造所の仕様による ・図示による ・
ステンレス製	・シーリング材 ・	※建具の製造所の仕様による ・図示による ・
樹脂製	・グレイジングガスケット ・	※建具の製造所の仕様による ・図示による ・

⑳ ガラスブロック積み

〈5.14.5〉

呼び寸法(mm)	厚さ(mm)	色調	目地幅(mm)	伸縮調整目地位置(mm)	防火性能
・160×160	・95 ・				
⊙195×195	⊙95 ・	ｸﾘｱ	10	―	

壁用金属枠及び補強材
※図示による　・
力骨
材質
※ステンレス鋼(SUS304)
・
寸法
※径5.5mm　・
形状
※はしご形状複筋及び単筋
・
化粧目地モルタルの色　⊙白　・グレー）
シーリングの種類　⊙SR-1　・PS-1）
金属製化粧カバー
材質
・ステンレス製
・アルミニウム製
寸法
※図示による　・
形状
※図示による　・
目地部の横力骨の納まり
※ガラスブロック製造所の仕様による
・図示による
・

21. ガラス用フィルム

種類	記号 内貼り用	記号 外貼り用	その他性能等
・日射調整フィルム	・SC-1	・SC-2	
・低放射フィルム	・LE		
・衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・GI-1	・GI-2	
・相関変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・GD-1	・GD-1	
・ガラス貫通防止フィルム	・SF		

品質は、JIS A 5759による。

6 内装改修工事

① 改修範囲 〈6.1.3〉
既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図示による
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲
※壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図示による
既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※既存のまま
・図示による

② 既存床の撤去及び下地補修 〈6.2.2〉
ビニル床シート等の除去
※仕上材のみ（接着剤とも）
・下地モルタルとも（・図示による　・除去範囲全て）
合成樹脂塗床材の除去工法
・機械的除去工法
・目荒し工法
既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外壁改修工事による。

改修後の床の清掃範囲
※図示による　⊙当該室全体

③ 既存壁の撤去及び下地補修
間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 〈6.3.2〉
※改修標準仕様書4.3.10によるモルタル塗り
（全塗厚が25mmを超える場合の処置　※図示による）
・

④ 施工一般
材料のホルムアルデヒド放散量 〈6.5.2〉
※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1)(ｳ)(b)による

⑤ 製材

・JAS 1083-5　製材 - 第5部に基づく下地用製材 〈6.5.2〉

施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理
		※2級 ・	※A種　・B種　・	
		※2級 ・	※A種　・B種　・	

⊙JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材

施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理
見え掛り面	25×25	※上小節 ・	※A種　・B種　・	
見え掛り面以外		※小節以上 ・	※A種　・B種　・	

・JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材

施工箇所	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理
		※1等 ・	※10%以下 ・A種　・B種	
		※1等 ・	※10%以下 ・A種　・B種	

・JAS 1083（製材）以外の製材

施工箇所	寸法(mm)	材面の品質	防虫処理	含水率
	・	(　　) 造作材の場合 （※A種　・B種）	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種 ・
		(　　) 造作材の場合 （※A種　・B種）	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種 ・

6. 造作用集成材

・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 〈6.5.2〉

施工箇所	品名	樹種名	寸法(mm)	見付け材面	見付け材面の品質
					※1等　・2等
					※1等　・2等

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	品名	材種名	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面	見付け材面の品質
		化粧薄板： 芯材：			※1等 ・2等	
		化粧薄板： 芯材：			※1等 ・2等	

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	材種名	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率
				※15%以下 ・
				※15%以下 ・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	材種名	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率
	化粧薄板： 芯材：				※15%以下 ・
	化粧薄板： 芯材：				※15%以下 ・

7. 造作用単板積層材

・JAS 0701 に基づく造作用単板積層材 〈6.5.2〉

施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の品質	防虫処理
				・適用する ・適用しない
				・適用する ・適用しない

・JAS 0701 以外の造作用単板積層材

施工箇所	寸法(mm)	表面の品質	含水率	防虫処理
			※14%以下 ・	・適用する ・適用しない
			※14%以下 ・	・適用する ・適用しない

・JAS 3079 に基づく直交集成板

施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能(使用環境)	樹種名	寸法(mm)

8. 合板等

・「合板の日本農林規格」による普通合板 〈6.5.2〉

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理
	※5.5 ・		※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※C-D以上 ・	・適用する ・適用しない

・「合板の日本農林規格」による構造用合板

施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ(mm)	防虫処理	強度等級
	※2級以上 ・1級		※1類 ・特類	※C-D以上 ・	※12 ・	・適用する ・適用しない	・適用する (　　) ・適用しない

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理
			・1類　・特類	・適用する ・適用しない

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板

施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ(mm)	接着の程度	防虫処理
			・1類　・2類	・適用する ・適用しない

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理
		・1類　・2類			・適用する ・適用しない

・パーティクルボード

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ(mm)
		※13タイプ ・	※P又はM ・		※15 ・

・JAS 0360 に基づく構造用パネル

施工箇所	寸法(mm)

・MDF

施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分

9. 接合具等

造作材の化粧面の釘打ち 〈6.5.3〉
※隠し釘打ち
・釘頭埋め木
・つぶし頭釘打ち
・釘頭現し
諸金物
※かすがい、座金、箱金物、短冊金物
（改修標準仕様書表6.5.3～5に示す程度の市販品　表8.20.1のF種程度）
・　（形状：　寸法：　材質：　）

⑩ 接着剤
接着剤のホルムアルデヒド放散量 〈6.5.3、4〉
※F☆☆☆☆
・

11. 防腐・防蟻処理

・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 〈6.5.5〉

適用部材	保存処理性能区分
	・K2　・K3　・K4
	・K2　・K3　・K4
	・K2　・K3　・K4

設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅰ期)		
図面名称	建築改修工事特記仕様書5		
縮尺	A1:N・S A3:N・S	年月 2024.03	設計番号 / 図面番号 A－006
一級建築士事務所 株式会社 相和技術研究所 宮城県知事登録 第22910116号	承認/赤沼 直幸	設計者/一級建築士 第284436号 赤沼 直幸	製図/西巻 裕太
	照査/佐々木 啓文		

6 内装改修工事

・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理

適用部材	処理の方法	薬剤の種類
	※薬剤の製造所の仕様による ・	※JIS K 1571に適合又は同等品
	・	

・薬剤の接着材への混入による防腐、防蟻処理
　適用部位（　　）
・合板等の加圧注入処理の適用
　適用部位（　　）

12. 内部間仕切軸組及び床組み

・間仕切軸組に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）　〈6.5.6〉
　※杉又は松　・
・床組みに用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）
　※杉又は松　・

13. 窓、出入口その他

・窓、出入口その他に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)　〈6.5.7〉
　※吊元枠、水掛りの下枠及び敷居はひのき、その他は松又は杉
・

⑭ 軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類　〈6.6.2～4〉
　屋外
　　※25形　・19形
　屋内
　　※19形　・25形
屋外の形式及び寸法
　野縁受、つりボルト及びインサートの間隔
　　⊙図示による　・
　周辺部の端からの間隔
　　⊙図示による　・
　野縁の間隔
　　⊙図示による　・
既存の埋込みインサート
　⊙使用する　・使用しない
あと施工アンカーの施工後の確認試験
　⊙行う
　　試験箇所数　※屋内の場合、当該階において3箇所
　　・(　　)箇所
　　引張試験にて確認する強度
　　※吊りボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構成部材等の単位面積あたりの質量が20kg/㎡以内の天井の場合は400N程度
　　・(　　)N
　※行わない
⊙つりボルトの間隔が900mmを超える場合
　(補強方法　※図示による　・　　)
・天井のふところが3.0mを超える場合
　(補強方法　※図示による　・　　)
・天井下地材における耐震性を考慮した補強
　(補強箇所　※図示による　・　　)
　(補強方法　※図示による　・　　)

15. 軽量鉄骨壁下地

スタッド、ランナーの種類　〈6.7.3、4〉〈表6.7.1〉
　※改修標準仕様書表6.7.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類
　・図示による
　・
スタッドの高さが5.0mを超える場合
　※図示による　・
出入口及びこれに準ずる開口部の補強
　※改修標準仕様書6.7.4(5)による
　・

⑯ ビニル床シート

〈6.8.2、3〉

種類の記号	色柄	厚さ（mm）	備考
※FS(複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ) ・	※無地 ・マーブル柄 ・柄物	※2.0 ⊙2.5	防滑

接合部の処理
　※熱溶接工法　・

17. ビニル床タイル

〈6.8.2〉

種類の記号	色柄	寸法（mm）	厚さ（mm）	備考
※KT（ｺﾝﾎﾟｼｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ）	・無地 ・柄物	※300×300 ・450×450 ・	※2.0 ・3.0	
・TT（単層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ）	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・	・2.0 ・	
・FT（複層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ）	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・	・2.0 ・2.5 ・3.0	
・FOA（置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ）	・無地 ・柄物	・500×500 ・	・4.0 ・	
・FOB（薄型置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ）	・無地 ・柄物	・	・	

⑱ 特殊機能床材

〈6.8.2〉
・帯電防止床シート
　種類　(　　)
　性能　(　　)
　厚さ(mm)(　　)
・帯電防止床タイル
　種類　(　　)
　性能　(　　)
　寸法(mm)(　　)×(　　)
　厚さ(mm)(　　)
・視覚障害者用床タイル
　ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による。
　種類　(　　)
　形状　(　　)
・耐動荷重性床シート
　種類　(　　)
　厚さ(mm)(　　)

⊙防滑性床シート
　種類　(　FS　)
　厚さ(mm)(　2.5　)
・防滑性床タイル
　種類　(　　)
　寸法(mm)(　　)×(　　)
　厚さ(mm)(　　)

⑲ ビニル幅木

材質の種類　〈6.8.2〉
　※軟質　・硬質
高さ(mm)
　※60　⊙75　・100
厚さ(mm)
　※1.5以上　・

20. ゴム床タイル

種類　〈6.8.2〉
　・単層品　・積層品
色柄　(　　)
厚さ(mm)
　・3.0　・4.5　・6.0　・9.0
寸法(mm)(　　)×(　　)

21. カーペット敷き

・織じゅうたん　〈6.9.2、3〉〈表6.9.1〉

織り方	パイル形状	備考
・ウィルトンカーペット ・ダブルフェースカーペット ・アキスミンスターカーペット	・カットパイル ・ループパイル ・カット/ループパイル	

　色柄
　　※模様のない無地
　　・
　パイル糸の繊維種等
　　※無地の織りじゅうたんの種別（・A種　・B種　・C種）
　帯電性
　　・適用する　・適用しない
　織じゅうたんの接合方法
　　※ヒートボンド工法
　　・つづり縫い
　下敷き材
　　※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種1号　呼び厚さ 8mm
　　・

・タフテッドカーペット

パイル形状	ﾊﾟｲﾙ長さ(mm)	工法	帯電性	備考
・カットパイル ・ループパイル ・カット、ループ併用	・5～7　・ ・4～6　・ ・	※全面接着工法 ・ｸﾞﾘｯﾊﾟｰ工法	・適用 ・非適用	

　下敷き材(グリッパー工法の場合)
　　※反毛フェルト（JIS L 3204）の第212号　呼び厚さ 8mm
　　・
　タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量
　　※F☆☆☆☆　・

・タイルカーペット

パイルの形状	種類	施工箇所	寸法(mm)	総厚さ(mm)	備考
※ループパイル	※第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・	
・カットパイル	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・	
・カット・ループ併用	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・	

　タイルカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量
　　※F☆☆☆☆　・
　タイルカーペットの敷き方
　　平場
　　※市松敷き
　　・模様流し
　　・
　　階段部分
　　※模様流し
　　・市松敷き
　　・
　　見切り、押え金物
　　材質（　　）
　　種類（　　）
　　形状等
　　※図示による　・

22. 合成樹脂塗床

〈6.10.2、3〉

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
・厚膜型塗床材 弾性ｳﾚﾀﾝ樹脂系塗床			※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
・厚膜型塗床材 ｴﾎﾟｷｼ樹脂系塗床		・薄膜流しのべ工法 ・厚膜流しのべ工法 ・樹脂ﾓﾙﾀﾙ工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ
・薄膜型塗床材			※平滑仕上げ

塗床材のホルムアルデヒド放散量
　※F☆☆☆☆　・

23. フローリング張り

フローリングのホルムアルデヒドの放散量等　〈6.11.2～6〉
　※改修標準仕様書6.11.2(2)による
　・
各工法に使用する接着剤のホルムアルデヒドの放散量
　※F☆☆☆☆　・

・単層フローリング　(フローリングボード1等)
　工法
　　・釘留め工法（・根太張り　・直張り　）
　　・接着工法
　樹種
　　※なら　・
・単層フローリング　(フローリングブロック1等)
　樹種
　　・
　厚さ(mm)
　　・
　大きさ
　　・
・複合フローリング
　工法
　　・釘留め工法（・根太張り　・直張り　）
　　・接着工法
　樹種
　　※なら　・
　種別
　　・A種　・B種　・C種
接着工法の場合の不陸緩和材
　※合成樹脂発泡シート
　・
・現場塗装仕上げ
　※ウレタン樹脂ワニス塗り
　・オイルステインの上、ワックス塗り
　・生地のままワックス塗り

24. 畳敷き

種別　〈6.12.2〉
　・A種　・B種　※C種　・D種（畳床：・KT-Ⅰ・KT-Ⅱ・KT-Ⅲ・KT-K・KT-N)
下地の種類
　・標準仕様書表12.6.1による床組
　・ポリスチレンフォーム床下地（ノンフロン　）
　・
畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
衝撃緩和型畳（畳表：・C1　・C2）

㉕ せっこうﾎﾞｰﾄﾞその他のﾎﾞｰﾄﾞ及び合板張り

MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量　〈6.13.2、3〉
　※F☆☆☆☆　・
合板のホルムアルデヒド放散量
　※改修標準仕様書6.13.2(2)(イ)の(a)～(d)のいずれか
　・
接着剤のホルムアルデヒド放散量
　※F☆☆☆☆　・
表面への化粧張り等の加工
　※図示による　・

種類等	厚さ(mm)、規格等
木質系セメント板	
・木毛セメント板 　・硬質(HW)　・中質(MW)　・普通(NW)	※図示による ・15　・20　・25
・木片セメント板 　・硬質(HF)　・普通(NF)	※図示による ・12　・15　・18　・21　・30
繊維強化セメント板	
⊙けい酸カルシウム板(タイプ2) 　普通ボード 0.8FK	※図示による　・6　・8
火山性ガラス質複層板	
・火山性ガラス質複層板 　種類　※図示による　・	※図示による　・
繊維板	
・ﾐﾃﾞｨｱﾑﾃﾞﾝｼﾃｨﾌｧｲﾊﾞｰﾎﾞｰﾄﾞ(MDF)	※図示による ・3　・7　・9　・12　・
・ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ 　・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ（無処理） 　　・素地ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ 　　・未研磨板（RN） 　　・研磨板（RS） 　・内装用化粧ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ（DI） 　・ﾃﾝﾊﾟｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ（処理） 　　・素地ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ 　　・未研磨板（RN） 　　・研磨板（RS） 　・外装用化粧ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ（DE）	※図示による ・2.5　・3.5　・5　・7　・
・ｲﾝｼｭﾚｰｼｮﾝﾎﾞｰﾄﾞ 　・A級ｲﾝｼｭﾚｰｼｮﾝﾎﾞｰﾄﾞ（A-IB） 　・天井仕上げ材 　・内装仕上げ材	※図示による ・9　・12　・15　・18
ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ	
・単板張りﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ 　・無研磨板（VN） 　・研磨板（VS）	※図示による ・10　・12　・15　・18　・
・化粧ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ 　・単板ｵｰﾊﾞｰﾚｲ（DV） 　・ﾌﾟﾗｽﾃｨｯｸｵｰﾊﾞｰﾚｲ（DO） 　・塗装（DC）	※図示による ・10（難燃）　・12（難燃） ・
吸音材料	
・ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板（DR） 　・ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ 　・凹凸ﾀｲﾌﾟ	・9（不燃）　・12（不燃） ・12（不燃）　・15（不燃）
・ﾛｯｸｳｰﾙ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ（1号）	※図示による　・25　・
・ｸﾞﾗｽｳｰﾙ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ（32K）	・25（ｶﾞﾗｽｸﾛｽ包み）　・

せっこうﾎﾞｰﾄﾞ

・せっこうﾎﾞｰﾄﾞ（GB-R）	※12.5(不燃)　・15(不燃)　・
・ｼｰｼﾞﾝｸﾞせっこうﾎﾞｰﾄﾞ（GB-S）	・12.5(・不燃　・準不燃)
・強化せっこうﾎﾞｰﾄﾞ（GB-F）	・12.5(不燃)　・15(不燃)
・せっこうﾗｽﾎﾞｰﾄﾞ（GB-L）	・9.5
⊙不燃積層せっこうﾎﾞｰﾄﾞ（GB-NC） 　・化粧無し（下地張り用） 　⊙化粧有り（ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ模様）	・9.5（不燃）

合板類

・普通合板 　表板の樹種名： 　板面品質： 　防虫処理 　・行う　・行わない	※図示による ・
・天然木化粧合板 　化粧板の樹種名： 　防虫処理 　・行う　・行わない	※図示による ・
・特殊加工化粧合板 　化粧加工の方法 　・ｵｰﾊﾞｰﾚｲ　・ﾌﾟﾘﾝﾄ　・塗装 　表面性能 　・ 　防虫処理 　・行う　・行わない	※図示による ・ ・

天井のボード類(ロックウール吸音板を除く)の重ね張りを行う場合
　※図示による　・
合板類の張付け
　・A種　・B種　・
せっこうボードの目地工法等
　目地工法の種類
　　※仕上表による
　突付け工法及び目透し工法のエッジの種類
　　・ベベルエッジ　・スクェアエッジ
　化粧加工の方法（・ｵｰﾊﾞｰﾚｲ　・ﾌﾟﾘﾝﾄ　・塗装　・　　）

㉖ 壁紙張り

ホルムアルデヒド放散量　〈6.14.2、3〉
　※F☆☆☆☆　・

施工箇所	壁紙の種類：紙	繊維	塩化ﾋﾞﾆﾙ	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	無機質	その他	防火性能	備考
壁	・	・	・	・	・	⊙	・不燃 ⊙準不燃 ・難燃	掲示用ｸﾛｽ
	・	・	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃 ・難燃	
	・	・	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃 ・難燃	
	・	・	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃 ・難燃	

モルタル及びせっこうプラスター面の素地ごしらえの種別
　※B種　・A種
コンクリート面の素地ごしらえの種別
　※B種　・A種
せっこうボード面及びその他のボード面の素地ごしらえの種別
　※B種　・A種

㉗ モルタル塗り

モルタル　〈6.15.3、5、6〉
　・現場調合材料
　⊙既調合材料
既製目地材
　・設ける
　　施工箇所（　　）　形状（※図示による　・　　）
　⊙設けない
床の目地
　・設ける
　　目地割り
　　※2㎡程度（最大目地間隔3m程度）
　　・
　　目地の種類
　　※押し目地
　　・
　⊙設けない
壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の下地処理
　・図示による　・

28. タイル張り

伸縮目地の位置　〈6.16.2～4〉
　床タイル
　　※縦、横とも4m以内ごと
　　・図示による
　　・
　床タイル以外
　　・図示による
　　・
伸縮調整目地のシーリング材、目地寸法は改修特記仕様書第3章による
見本焼き
　・行う（施工箇所：　　）　・行わない
試験張り
　・行う（範囲、仕様等は図示による）　・行わない
・セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り
　タイルの形状、寸法等

施工箇所	種類	形状/寸法(mm)	再生材料の適用	吸水率 Ⅰ類	吸水率 Ⅱ類	吸水率 Ⅲ類	うわぐすり 施ゆう	うわぐすり 無ゆう	役物 有	役物 無	色 標準	色 特注	耐凍害性 有	耐凍害性 無	耐滑性
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・

備考欄

標準的な曲がりの役物は一体成形とする

設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅰ期)		
図面名称	建築改修工事特記仕様書6		
縮尺	A1:N・S A3:N・S	年月 2024.03	設計番号 / 図面番号 A －007
一級建築士事務所 株式会社 相和技術研究所 宮城県知事登録 第22910116号	承認/赤沼 直幸	設計者/一級建築士 第284436号 赤沼 直幸	製図/西巻 裕太
	照査/佐々木 啓文		

6 内装改修工事

壁タイル張りの工法
内装タイル
・密着張り　・改良圧着張り
内装タイル以外のユニットタイル
・マスク張り　・モザイクタイル張り
・有機系接着剤によるタイル（セラミックタイル）張り
タイルの形状、寸法等

施工箇所	種類	形状/寸法(mm)	再生材料の適用	吸水率 Ⅰ類	吸水率 Ⅱ類	吸水率 Ⅲ類	うわぐすり 施ゆう	うわぐすり 無ゆう	役物 有	役物 無	色 標準	色 特注	耐凍害性 有	耐凍害性 無	耐滑性
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・

備考欄

標準的な曲がりの役物は一体成形とする

内装タイル接着剤張りの接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・

29. ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ材塗り　　〈6.17.2、3〉
塗厚（mm）
・

7 塗装改修工事

① 材料　　〈7.1.3〉
屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・
防火材料
※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
・次の箇所を除き防火材料とする。（箇所：　　）

② 下地調整　　〈7.2.1～7〉
塗替えRB種の場合の既存塗膜の除去範囲
※劣化部分は除去し、活膜部分は残す
・図示による
・
既存錆止め塗料の鉛含有量調査
・行う（　　箇所）
(・)行わない
下地調整

下地面の種類	下地調整の種別 塗替え	ひび割れ部の補修
木部	※不透明塗料塗りの場合はRB種 ・	—
鉄鋼面	(※)RB種　(・)RA種	—
亜鉛めっき鋼面	※RB種　・	—
亜鉛めっき鋼面（鋼製建具等）	※RB種　・	—
モルタル面及びせっこうプラスター面	※RB種　・	・行う ・行わない
コンクリート面(DP以外) ALCパネル面	※RB種　・	・行う ・行わない
押出成形セメント板面	・RA種　・RB種 ・RC種	・行う ・行わない
コンクリート面（DP）	・RB種　・RC種	・行う ・行わない
せっこうボード面及びその他ボード面	※RB種　・	—

3．素地ごしらえ　　〈7.3.2～7〉

下地面等		種別
木部	不透明塗料塗りの場合	※A種　・B種
	透明塗料塗りの場合	※B種　・A種
鉄鋼面（DP以外）		※C種　・A種　・B種
鉄鋼面（DP）		※B種　・A種　・C種
亜鉛めっき鋼面		・A種　・B種
モルタル面及びせっこうプラスター面		※B種　・A種
コンクリート面（DP以外）及びALCパネル面		※B種　・A種
押出成形セメント板面及びコンクリート面（DP）		・A種　・B種
コンクリート面（DPのみ）		※B種　・A種
せっこうボード面及び	目地：継目処理工法	※A種　・B種
その他ボード面	目地：継目処理工法以外	※B種　・A種

④ 錆止め塗料塗り　　〈7.4.2、3〉
錆止め塗料塗りの種別

素地面	塗装の種類		塗料の種別	工程の種別
鉄鋼面	SOP（工程の種別は表7.4.3）	塗替え	A種	※C種　・
		新規見え掛り	A種	※A種　・
		新規見え隠れ	A種	※B種　・
	EP-G（工程の種別は表7.4.3）	塗替え	※B種　・A種	※C種　・
		新規見え掛り	※B種　・A種	※A種　・
		新規見え隠れ	※B種　・A種	※B種　・
	DP（工程の種別は表7.4.4）	塗替え	7.4.2(1)(ｲ)(b)による。	・B種(下地調整RB種) ・C種(下地調整RC種)
		新規	7.4.2(1)(ｲ)(a)による。	(・)A種
亜鉛めっき鋼面	SOP（工程の種別は表7.4.5）	塗替え	※A種　・B種	※C種　・
		新規 鋼製建具等	※A種　・B種	※A種　・
		新規 その他	※B種　・	※B種　・
	EP-G（工程の種別は表7.4.5）	塗替え	C種　・	※C種　・
		新規 鋼製建具等	C種　・	※A種　・
		新規 その他	C種　・	※B種　・
	DP（工程の種別は表7.4.6）	塗替え	B種　・	—
		新規	B種　・	—

⑤ 塗装　　〈7.5.2～7.12.2〉

塗装の種類	塗装面	工程 塗替え	工程 新規
(・)合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)種類 ※1種 ・2種	木部屋外	※B種　・	※A種　・
	木部屋内	※B種　・	※B種　・
	鉄鋼面	※B種　・	※B種　・A種
	亜鉛めっき鋼面（鋼製建具）	※A種　・	※B種　・
	亜鉛ﾒｯｷ鋼面（鋼製建具以外）	※B種　・	※B種　・
・クリヤラッカー塗り(CL)		※B種 ・A種 種類：	※B種 ・A種 種類：
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)		※B種　・A種	※B種　・A種
(・)耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面 上塗り等級（ 1 ）級	(・)A種	—
	亜鉛めっき鋼面 上塗り等級（　　）級	・	—
	コンクリート面及び押出成形セメント板面	・	・A-1種　・ ・B-1種　・ ・C-1種　・
(・)つや有合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り(EP-G)	コンクリート面等	※B種　・	※B種　・A種
	屋内の木部	※B種　・	※A種　・
	屋内の鉄鋼面	※B種　・	※B種　・A種
	屋内の亜鉛めっき面	※A種　・	※A種　・B種
(・)合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り(EP)		※B種　・	※B種　・A種
・合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ模様塗料塗り(EP-T)		※B種　・	・A種　・B種
・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)		※B種　・	※B種　・A種
・ステイン塗り		・ピグメントステイン塗り ・オイルステイン塗り(OS)	
・木材保護塗料塗り(WP)		※B種　・A種	※B種　・A種

つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（ｺﾝｸﾘｰﾄ面、ﾓﾙﾀﾙ面、せっこうﾌﾞﾗｽﾀｰ面、せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面、その他ﾎﾞｰﾄﾞ面）の塗替えの場合のしみ止め
※B種又はC種の場合は、改修標準仕様書表7.9.1の工程1の下塗りをしみ止めｼｰﾗｰとする
・
合成樹脂エマルションペイント塗りの塗替えの場合のしみ止め
※B種又はC種の場合は、改修標準仕様書表7.10.1の工程1の下塗りをしみ止めｼｰﾗｰとする
・

クリヤラッカー塗りＡ種の工程2の適用
・適用しない
・適用する(着色剤：・溶剤系着色剤　・油性染料着色剤)
ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の適用
・適用する
・適用しない
オイルステイン塗りの工程等
・

8 耐震改修工事 共通事項

① 適用範囲
・改修標準仕様書　８章　耐震改修工事
(・)改修標準仕様書において８章耐震改修工事以外の改修工事で８章を引用している部分
・

工事内容
(・)現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事
・鉄骨ブレースの設置工事
・柱補強工事　（溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法）
・柱補強工事　（鋼板巻き工法又は帯板巻き付け工法）
・連続繊維補強工事
(・)耐震スリット新設工事
・免震改修工事
・制振改修工事
・土工事及び地業工事
・

② 既存部分の処理等　　〈8.21.2、3〉〈8.22.2、3〉〈8.23.2、3〉〈8.24.4〉〈8.25.2〉〈8.28.2〉
既存構造体の撤去
撤去範囲
(・)図示による（　　）　・
はつり出した鉄筋及び鉄骨の処置
(・)図示による（　　）　・
既存構造体コンクリート面の目荒らしの程度
・既存柱、梁面
・打継ぎ面等の15～30%程度に、平均深さ 2～5mm（最大7mm）程度の凹凸を、全体にわたってつける。
・
(・)既存壁
・打継ぎ面の10～15%程度に、平均深さ 2～5mm（最大7mm）程度の凹凸を、全体にわたってつける。
・
既存杭の撤去等
・撤去範囲及び撤去方法
・図示による（　　）　・

8-1 鉄筋工事

① 鉄筋　　〈8.2.1〉
鉄筋の種類等

種類の記号	呼び径（mm）	備考
※SD295	D10、D13	
※SD345		
・		
・		

2．溶接金網
鉄線の形状等　　〈8.2.2〉

種類	種類の記号	鉄線の形状、網目寸法、鉄線の径（mm）	使用部位
・溶接金網			
・鉄筋格子			

③ 鉄筋の継手
鉄筋の継手の方法等　　〈8.3.4〉〈8.4.2、3〉

部位	継手方法	呼び径（mm）
柱、梁の主筋	※ガス圧接　・機械式継手 ・溶接継手	
耐力壁の鉄筋	・重ね継手　・	
その他の鉄筋（ 一般壁 ）	(・)重ね継手　・	

継手位置
・図示による
・
柱及び梁主筋の重ね継手の長さ
・図示による　・
耐力壁の重ね継手の長さ
・図示による　・

④ 鉄筋の定着　　〈8.3.4〉
鉄筋の定着長さ
(・)図示による　・

⑤ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔（溶接金網を含含む）　　〈8.3.5〉
最小かぶり厚さ
・図示による　(・) 30mm
軽量コンクリートを適用する場合
・あり　適用箇所（　　）
・最小かぶり厚さに加える厚さ　（　　）mm　・
耐久性上不利な箇所がある場合(塩害等を受けるおそれのある部分等)
・あり　適用箇所（　　）
・最小かぶり厚さに加える厚さ　（　　）mm　・

8-2 コンクリート工事

① コンクリートの種類　　〈8.1.3〉
コンクリートの類別
※Ⅰ類（JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート）
・Ⅱ類（JIS A 5308に適合したコンクリート）

② コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度　　〈8.1.3〉〈8.1.4〉〈8.2.5〉〈8.9.2〉
(・)普通コンクリート

設計基準強度(N/mm²)	スランプ(cm)	気乾単位容積質量(t/m³)	適用箇所
(・)24	(・)18	(・)2.3程度	
・	・	・	

構造体強度補正値　※改修標準仕様書表8.2.4による　・

・軽量コンクリート

設計基準強度(N/mm²)	スランプ(cm)	気乾単位容積質量(t/m³)	種類	適用箇所
・	※21　・	・	・1種　・2種	
・	・	・		

構造体強度補正値　※改修標準仕様書表8.2.4による　・

③ セメント　　〈8.2.5〉
種類
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種(普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された)規定の他、水和熱が7日目で352Ｊ/ｇ 以下、かつ28日目402Ｊ/ｇ 以下のものとする)
適用箇所（　　）
・高炉セメントB種　適用箇所（　　）
・フライアッシュセメントB種　適用箇所（　　）
・

④ 骨材　　〈8.2.5〉
アルカリシリカ反応性による区分
※A　・B

⑤ 混和材料　　〈8.2.5〉
(・)混和剤
混和剤の種類
※改修標準仕様書 8.2.5(4)(a)による　・
(・)混和材
混和材の種類
※改修標準仕様書 8.2.5(4)(b)による　・

⑥ 構造体用モルタル　　〈8.2.6〉
構造体用モルタル
圧縮強度（ 30N/mm2 ）
フロー値（　　）

7．暑中コンクリート　　〈8.10.2〉
構造体強度補正値
※6N/mm²　・

8．マスコンクリート　　(6.13.1)(6.13.2)
適用箇所
・図示による（　　）　・
セメントの種類
・普通ポルトランドセメント
・中庸熱ポルトランドセメント
・低熱ポルトランドセメント
・高炉セメントB種
・フライアッシュセメントB種
・シリカセメント
・
混和材料
・混和剤
混和剤の種類
※標準仕様書6.13.2(2)(ｱ)による　・
・混和材
混和材の種類
※標準仕様書6.13.2(2)(ｲ)による　・
スランプ
※15cm　・
構造体強度補正値　※標準仕様書表6.13.1による　・

9．無筋コンクリート　　〈8.11.1〉
コンクリートの種類
※普通コンクリート　・
設計基準強度
※18N/mm²　・
スランプ
※15cm又は18cm　・
セメントの種類
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種
・高炉セメントB種
・フライアッシュセメントB種
適用箇所
・図示による（　　）　・

10．流動化コンクリート　　(6.15.1)
適用箇所
・図示による（　　）　・

⑪ 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継目地　　(6.6.4)(6.8.1)(9.7.3)〈3.7.3〉
打継ぎの位置
(・)図示による（　　）　・
目地寸法
・標準仕様書 9.7.3(1)(ｱ)による　(・)図示による（　　）
ひび割れ誘発目地の位置・形状・寸法
・図示による（　　）　・

⑫ 構造体コンクリートの仕上り
合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ　　〈8.1.4〉

種別	適用箇所
・A種	
(・)B種	全ての増設壁
・C種	

コンクリートの仕上りの平たんさ（柱・梁・壁）

種別	適用箇所
・a種	化粧打ち放しコンクリート、塗装仕上げ、壁紙張り、接着剤による陶磁器質タイル張り
(・)b種	仕上塗材塗り
・c種	セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り、モルタル塗り胴縁下地

コンクリートの仕上りの平たんさ（床）

種別	適用箇所
・a種	合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、コンクリート直均し仕上げ、フリーアクセスフロア（置敷式）
・b種	カーペット張り、防水下地、セルフレベリング材塗り
・c種	タイル張り、モルタル塗り、二重床

⑬ 打増し厚さ（打放し仕上部）　　〈8.7.8〉
・打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る)
(・)20mm　・
・打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る)
(・)10mm　・20mm　・

⑭ 型枠　　(6.8.2)〈8.2.7〉
せき板の材料及び厚さ
(・)合板(※12mm　・　)　・
・断熱材を兼用した型枠材
使用箇所
・図示による（　　）　・
・ＭＣＲ工法用シート
適用箇所
・図示による（　　）　・
打増し厚さ　・20mm　・
打増し範囲　・図示による（　　）　・
スリーブの材種・規格等
・図示による（　　）　・

15．型枠の加工及び組立　　〈8.7.8〉
シアコネクタをセパレーターとして使用
使用箇所
・図示による（　　）　・

設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅰ期)
図面名称	建築改修工事特記仕様書7
縮尺	A1:N・S　A3:N・S
年月	2024.03
設計番号	
図面番号	A－008
承認/赤沼 喜幸	設計者/一級建築士 第284436号 赤沼 喜幸
照査/佐々木 啓文	製図/西巻 裕太

SOWA 一級建築士事務所 株式会社 相和技術研究所 仙台事務所 宮城県知事登録 第22910116号

8-2 コンクリート工事

⑯ コンクリートの打込み工法等 〈8.21.8〉〈8.23.5～7〉

コンクリートの打設工法の種類

補強工法	打設工法	部位
⊙現場打ちコンクリート壁の増設工事	・工法指定なし	・全ての増設壁 ・図示による(　　)
	・流込み工法 8.21.8(1)(7),(2)	・全ての増設壁 ・図示による(　　)
	⊙圧入工法　8.21.8(1)(4),(3)	⊙全ての増設壁 ・図示による(　　)
	・	・図示による(　　) ・
・柱補強工事(溶接金網巻き及び溶接封鎖閉鎖フープ巻き工法)	・工法指定なし	・全ての柱補強部分 ・図示による(　)
	・流込み工法 8.21.8(1)(7),(2)	・全ての柱補強部分 ・図示による(　)
	・圧入工法　8.21.8(1)(4),(3)	・全ての柱補強部分 ・図示による(　)
	・	・図示による(　　) ・
・	・工法指定なし	
	・流込み工法 8.21.8(1)(7),(2)	
	・圧入工法　8.21.8(1)(4),(3)	

鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法での型枠等
柱頭及び柱脚の隙間の寸法
・図示による(　　)　・
柱頭及び柱脚の隙間部間の型枠
・発泡プラスチック保温材等を埋込む
・
既存柱外周部あと打ちコンクリート又は構造体用モルタルの厚さ
・図示による(　　)　・
補強後の仕上げ
・図示による(　　)　・

8-4 あと施工アンカー工事

① あと施工アンカー 〈8.2.4〉

材料等
⊙金属系アンカー
⊙引張耐力　⊙15.2kN　・図示による(　　)
⊙せん断耐力　⊙20.1kN　・図示による(　　)
アンカー本体の径及び埋込み長さ
⊙図示による(　　)　・
セット方式　※本体打込み式改良型　・
接合筋の種類、径、長さ
⊙図示による(　　)　・
・性能確認試験
試験方法及び試験数
・図示による(　　)　・

※接着系アンカー
⊙引張耐力　⊙18.0kN　・図示による(　　)
・せん断耐力　・　kN　・図示による(　　)
アンカーの種類　※カプセル方式回転打撃式　・
接着剤の品質
※有機系　・無機系
アンカー筋の径及び埋込み長さ
⊙図示による(　　)　・
アンカー筋の種類
⊙異形棒鋼
アンカー筋の新設壁内への定着の長さ
⊙図示による(　　)　・
・性能確認試験
試験方法及び試験数
・図示による(　　)　・

② 穿孔 埋込み配管等の探査方法 〈8.12.4〉
⊙鉄筋探知器(金属探知器)より探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しする。
・はつり出しによる
・

3．施工確認試験 試験方法 〈8.12.7〉
※引張試験機による引張試験
確認強度
・図示による(耐震補強共通図)　・
・

④ あと施工アンカー穿孔工法 〈8.12.1〉
※改修標準仕様書8.12.1（2）による。
・耐震改修部位に使用するD13以上のあと施工アンカーは、ケーシング又はダイヤモンドビット等を用いた低騒音工法を採用する。

8-7 耐震スリット新設工事

① 耐震スリットの方式、幅及び深さ 方式 〈8.25.2〉
⊙完全　・部分
幅及び深さ
⊙図示による(　　)　・
設置箇所
⊙図示による(　　)　・

2．耐震スリットの施工前の埋込み配管等の探査 〈8.12.4〉
既存撤去部の埋込み配管等の探査方法
・鉄筋探査機(金属探知機)により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しする
・はつりだしによる

③ 耐震スリット充填材の挿入及び周囲補修等 〈8.25.2〉
⊙耐火材
使用箇所及び仕様
⊙図示による(　　)　・
・遮音材
使用箇所及び仕様
・図示による(　　)　・
撤去部の補修
※撤去材と同一材で補修
・

8-8 土工事及び地業工事

1．埋戻し及び盛土 材料及び工法 〈8.28.3〉
・材料(　　)　工法(　　)
※改修標準仕様書8.28.1による
・A種　適用場所(　　)
・B種　適用場所(　　)
・C種　適用場所(　　)
土質(　　)　受渡場所(　　)
・D種　適用場所(　　)
(品質　細粒分(75μm以下)の含有率(重量百分率)の上限を50%未満とする)

2．杭地業 〈8.2.15〉〈8.28.4〉(4.3.8)
支持層の位置及び土質（基礎ぐいの先端位置含む）
・図示による(　　)　・
杭の材料、工法、寸法、施工方法等
・図示による(　　)　・
・試験杭の位置、本数及び寸法並びに施工方法
・図示による(　　)　・
・杭の継手の箇所数、材料、工法等
・図示による(　　)　・
・杭の溶接継手
技能資格者の技量　・図示による(　　)　・
溶接部の確認　・図示による(　　)　・
・杭頭の処理
・処理しない
・処理する
処理方法（切断にともなう補強方法含む）
・図示による(　　)　・
・杭頭の中詰め材料
・基礎のコンクリートと同調合のもの　・
杭の精度
水平方法の位置ずれ
・杭径の1/4かつ100mm以下　・評定等の評価内容による
・
建て込み時の杭の鉛直度
・1/100以内　・評定等の評価内容による
・
記録する施工状況等
・図示による(　　)　・

3．砂利地業 〈8.2.15〉〈8.28.4〉
材料
※再生クラッシャラン　・切込砂利又は切込砕石
砂利厚さ

厚さ	適用箇所
※60mm	・基礎下、基礎梁下、土間スラブ下、土間コンクリート下 ・
・	

4．捨コンクリート地業 〈8.2.15〉〈8.28.4〉
捨コンクリートの厚さ

厚さ	適用箇所
※50mm	・基礎下、基礎梁下、土間スラブ下　・
・	

コンクリートの種類
・　※普通コンクリート
設計基準強度
※18N/mm²　・
スランプ
※15cm又は18cm　・

9 環境配慮改修工事

① 石綿含有建材の除去工事 施工調査 〈9.1.3～6〉
※石綿含有建材の事前調査
工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によって石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無を調査する。
調査範囲　⊙撤去部分全て　・図示　　)
貸与資料（　既存設計図書(新築・改修)　　)

・石綿粉じん濃度測定
測定時期、場所及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数(各施工箇所ごと)
・	測定 1	処理作業前	処理作業室内	・計　点
・	測定 2		調査対象室外部の付近	・計　点
・	測定 3	処理作業中	処理作業室内	・計　点
・	測定 4		セキュリティーゾーン入口	・計　点
・	測定 5		集じん・排気装置の排出口(処理作業室外の場合)	出口吹出し風速1m/s以下の位置 ・計　点
・	測定 6		処理作業室内 ・施工区画周辺 ・敷地境界	・計　点
・	測定 7	処理作業後(シート養生中)	処理作業室内	・計　点
・	測定 8	処理作業後(シート撤去後1週間以降)	処理作業室内	・計　点
・	測定 9		調査対象室外部の付近	・計　点

測定方法
・自動測定器による測定

測定名称	測定方法
・測定 4 ・測定 5	粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定

・JIS K 3850-1に基づいた測定

測定名称	メンブレンフィルタ直径(mm)	試料の吸引流量(L/min)	試料の吸引時間(min)
・測定 4 ・ ・測定 5	25	5	30
・測定 ・	47	10	120
・測定 ・	47	10	240
・測定 ・			

石綿含有建材の処理
・石綿含有吹付け材の除去
除去対象範囲
・図示による　・
除去工法
※改修標準仕様書9.1.3（2）(7)による
・
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置
※湿潤化　・固形化
除去した石綿含有吹付け材等の処分
・埋立処分(管理型最終処分場)
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

・石綿含有保温材等（石綿含有けい酸カルシウム板第二種含む）の除去
除去対象範囲
・図示による　・
除去工法
・破砕して除去　・手ばらし
除去した石綿含有保温材等の飛散防止
※湿潤化　・固形化
除去した石綿含有保温材等の処分
・埋立処分(管理型最終処分場)
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

・石綿含有成形板（石綿含有けい酸カルシウム板第一種）の除去
除去対象範囲
・図示による　・
隔離養生（負圧不要）方法
・図示による　・
足場
・図示による　・
除去した石綿含有けい酸カルシウム板第一種の処分
・埋立処分(安定型最終処分場)
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）
・

⊙石綿含有成形板（石綿含有けい酸カルシウム板第一種以外）の除去
除去対象範囲
⊙図示による　・
除去した石綿含有成形板の処分
・石綿含有せっこうボード
※埋立処分(管理型最終処分場)
⊙石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板
⊙埋立処分(安定型最終処分場)
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

・石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板（下地調整材）の除去
除去対象範囲
・図示による　・
除去工法
・
養生方法
・
除去した石綿含有仕上塗材の処分
・埋立処分(安定型最終処分場)
・埋立処分(管理型最終処分場)
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

石綿含有建材除去後の仕上げ工事
・図示による　・

設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅰ期)
図面名称	建築改修工事特記仕様書8
縮尺	A1:N・S　A3:N・S
年月	2024.03
設計番号	
図面番号	A－009
承認/赤沼 直幸	設計者/一級建築士 第284436号 赤沼 直幸
照査/佐々木 啓文	製図/西巻 裕太

SOWA 一般建築士事務所 株式会社 相和技術研究所 仙台事務所 宮城県知事登録 第22910116号

10 ユニット及びその他の工事

1. フリーアクセスフロア

(20.2.2)

施工箇所	構法	寸法（mm）	高さ（mm）	耐震性能	所定荷重	表面仕上材
	・置敷式 ・支柱調整式	・500×500 ・		・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N ・	・帯電防止床ﾀｲﾙ ・ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ ・

寸法精度
　※標準仕様書20.2.2(2)(オ)(a)～(c)による
　・以下による
　　　パネルの長さの寸法精度
　　　（　　　　　）
　　　パネルの平面形状（角度）の寸法精度
　　　（　　　　　）
　　　フリーアクセスフロアの高さの寸法精度
　　　（　　　　　）
帯電防止性能
　・評価値（U）≧0.6以上
　・評価値（U）≧1.2以上
感電防止性能
　漏えい抵抗（R）≧$1\times10^{6}\Omega$

2. 可動間仕切

(20.2.3)

構造形式による種類	構成基材の種類		パネル表面仕上げ	遮音性(dB/500Hz)	防火性能
	ｽﾀｯﾄﾞ	ﾊﾟﾈﾙ			
・スタッド式(内蔵) ・スタッド式(露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式			・ﾒﾗﾐﾝ樹脂焼付又はｱｸﾘﾙ樹脂焼付 ・壁紙張り ・	・0 ・12 ・20 ・28 ・36	・不燃

パネル内に取付ける建具
　・有り（※図示による　　・　　　　　）
　・無し
パネル内に取り付ける建具のドアクローザー、丁番、錠前、上げ落とし は、標準仕様書16章8節の建具用金物に対応する材質とする。
表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による。
パネル材料のホルムアルデヒド放出量
　※F☆☆☆☆　　・

3. 移動間仕切

(20.2.4)

走行方向	操作方法による種類	パネル圧接装置の操作方法	総厚さ（mm）	パネル表面材		遮音性(dB/500Hz)
				材質	仕上げ	
・平行方向移動式 ・二方向移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・ﾌﾟｯｼｭ式 ・ﾊﾝﾄﾞﾙ式 ・		・鋼板 ・	・焼付塗装 ・壁紙張り ・	・36未満 ※36以上

パネル表面仕上げ材の壁紙張りの品質、性能は標準仕様書19章による。
ハンガーレールの取付け下地の補強
　※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する
　・図示による
パネルをランナーに取り付ける部品
　※ランナーに加わる重量の5倍以上の荷重に耐えられるもの
　・
ハンガーレール及びランナー
　※パネル重量の5倍の荷重を、パネル１枚に使用するランナー数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないもの
　・

4. トイレブース

(20.2.5)

表面材の材料	脚部 種類	ドアエッジ 材質
・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板 ・	※幅木タイプ ・	※製造所の仕様による ・アルミニウム製 ・ステンレス製

5. 手すり

材料の種類及び仕上げ　(20.2.6)
　・SUS304　表面処理　※HL程度
　・鋼製　　表面処理　溶融亜鉛めっき
　　（※標準仕様書表14.2.2による種別（　　　　）種）
　・アルミニウム 表面処理
　　（※標準仕様書表14.2.1による種別（　　　　）種）
　　　色合い　・標準色（　　　　）　・特注色（　　　　）

手すりの握り部分

材種	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	備考
・集成材 （材種：　　　　）	・クリアラッカー ・	・35程度 ・45程度 ・		
・ビニル製		・35程度 ・45程度 ・		

⑥ 階段滑り止め

材種　(20.2.7)
　※ステンレス製
　・黄銅製押出型材
　・アルミニウム製押出型材
　・
形状
　※タイヤ型(タイヤの材質：ゴム又は合成樹脂合等)
　(・)タイヤレス型
寸法(幅)
　(・)35mm程度　　・40mm程度　　・50mm程度

取付け工法
　※接着工法
　・埋込み工法

7. 黒板及びホワイトボード

・黒板　(20.2.9)
　区分
　　※焼き付け　　・
　種類
　　※鋼製黒板
　　・ほうろう黒板
　　・
　色
　　※ 緑
・ホワイトボード

8. 鏡

取付け箇所（　　　　　　）　(20.2.10)
寸法（mm）
　・図示による　　・
厚さ（mm）
　※5　　・

9. 表示

衝突防止表示　(20.2.11)
　・設置する　（設置場所：※図示による　　・　　　　　）
　　形状・寸法（ ・30φ　　　　　・　　　　　）
　　材質　　（ ※ステンレス製　　・　　　　　）
　・設置しない
誘導標識、非常用進入口等の表示
　※消防法に適合する市販品
室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等
(案内用図記号はJIS Z 8210による)
　※図示による　　取付箇所

⑩ タラップ

材質及び仕上げ　(20.2.12)
　(・)SUS304（スリップ止め加工　※あり　　(・)なし　）
　・鋼製　　表面処理　溶融亜鉛めっき
　（※標準仕様書表14.2.2による種別（※C種　　・　　　種））

11. 煙突ライニング

適用安全使用温度　(20.2.13)
　・
工法
　※鋼製ユニット煙突(煙突用成形ライニング材)
　・

12. ブラインド

(20.2.14)

形式	操作方法	操作方法の種類	ｽﾗｯﾄの種類	ｽﾗｯﾄ幅	ﾎﾞｯｸｽ・ﾚｰﾙの材種	幅・高さ
・横形	・手動	※ギヤ式 ・ｺｰﾄﾞ式 ・操作棒式	※ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金製 ・	※25 ・	※鋼製 ・	・図示による ・
	・電動	―				
・縦形	・手動	※2本操作ｺｰﾄﾞ式 ・1本操作ｺｰﾄﾞ式	・ｱﾙﾐｽﾗｯﾄ ・ｸﾛｽｽﾗｯﾄ	・80 ・100	※ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金製 ・	・図示による ・
	・電動	―				

縦型ブラインドのスラットの材質
　・アルミスラット　焼付け塗装仕上げ
　・クロススラット　消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工

13. ロールスクリーン

(20.2.15)

操作方法	スクリーンの材種	その他の材料	幅・高さ取付箇所	品質等
・スプリング式 ・コード式 ・電動式	・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製 ・木製	※製造所の仕様	・図示による ・	・

スクリーンの仕様
　消防法で定める防炎性能の表示があるもの

14. カーテン

(20.2.16)

形式	開閉操作	ひだの種類	生地の種別、品質、特殊加工等	取付け箇所
・ｼﾝｸﾞﾙ ・片引き ・ﾀﾞﾌﾞﾙ ・引分け	・手引き ・ひも引き ・電動	・つまみひだ ・箱ひだ、片ひだ ・ﾌﾟﾚｰﾝひだ		・図示による ・

生地の仕様
　消防法で定める防炎性能の表示があるもの
暗幕用カーテンの両端、上部及び召合せの重なり
　※300mm以上
　・

15. カーテンレール

材料による区分　(20.2.16)
　・アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材
　※ステンレス製
強さによる区分
　※10-90　　・
仕上げ
　※アルマイト　　・
形状
　※角形　　・

16. ブラインドボックス及びカーテンボックス

材種
　・集成材（仕上げ：　　　　　）
　※アルミニウム製　押出し型材（市販品）
　　標準仕様書表14.2.1による種別
　　　※BC-1種　　・BC-2種
　　色合い
　　　・標準色（　　　　　）　　・特注色（　　　　　）
　・鋼製（仕上げ：　　　　　）

17. 天井点検口

材種	寸法	形式		外枠	内枠
※アルミニウム製 ・	※450×450 ・600×600 ・	・一般形	・屋内外用 ・屋内用	・額縁タイプ ※目地タイプ	・額縁タイプ ※目地タイプ
		・気密形			

18. 床点検口

材種	寸法	形式		備考
※アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ※600×600 ・	※一般形 ・密閉形	・屋内外用 ・屋内用	・鍵付き

密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとする。

⑲ くつふきマット

材種	受け枠	備考
※塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 (・)ステンレス鋼（SUS304)製 ・	※ステンレス鋼（SUS304） ・硬質アルミニウム合金 ・	

20. 流し台ユニット

材種	寸法（mm）			備考
	W	D	H	
・流し台	・1200 ・1500 ・1800	・550 ・600 ・650	・800 ・850	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製
・コンロ台	・600	・550 ・600 ・650	・620 ・670	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製
・つり戸棚	・1200 ・900	・450	・500 ・700	市販品
・水切り	・1200 ・900 ・600	―	―	市販品 ステンレス製 ・1段式　・

形状
　※図示による　　・

21. 旗竿

材種	形式	高さ(m)	操作方法	固定方法	備考
※アルミニウム合金製 ・	※テーパー式 ・同一断面式		※ハンドル式 ・ロープ式	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式	

22. 旗竿受金物

材種
　・ステンレス製（SUS 304）
　・

23. 車止めさく

形式		材種	柱径、肉厚(mm)	高さ(mm)
・上下式鎖内蔵式	・標準品 ・スプリング式	・ステンレス製 ・	・	・
・				

㉔ フェンス

フェンスの種類
　・ビニル被覆エキスパンドフェンス
　(・)樹脂塗装メッシュフェンス
　・鋼管フェンス
　・アルミフェンス
高さ
　(・)図示による　　・

25. 間知石及びコンクリート間知ブロック積み

(20.4.2、3)

	材種	種類	質量区分	備考
・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩	―	―	
・コンクリート間知ブロック	―		・A ・B	

積み方
　※谷積み　・布積み
目塗り
　・図示による
伸縮調整目地
　材種
　　・図示による　　・
　厚さ
　　・図示による　　・

26. 鋼製書架及び物品棚

種類	規格等	JISによる種類
・鋼製書架 ・鋼製物品棚	JIS S 1039 の規格による	・1種　・2種　・3種 ・4種　・5種　・6種

27. 屋内掲示板

枠の材質
　※アルミニウム製
　・
表面の材質
　※塩ビ発泡シート張り
　・

28. 洗面カウンター

材種
　・メラミン樹脂化粧板張り（心材：集成材）
　・人工大理石
奥行き(mm)
　・約450　　・約600

29. 防煙垂れ壁

・固定式

材質	厚さ(mm)	高さ(mm)	備考
※ 網入り磨き板ガラス ・ 線入り磨き板ガラス	※6.8 ・	※500 ・	アルミ製枠付き

・可動式

種類	材質	高さ(mm)	備考
・垂直降下式（巻取り型）	※不燃布（不燃認定品）	※500 ・800 ・	ガイドレール ※固定式（壁埋込型） ・可動式（天井収納型）
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800 ・	表面仕上げ ※天井材張り ・

降下機構
　煙感知器連動及び手動開放装置（埋込型）

30. 屋外掲示板

照明器具
　・有り　　・無し
施錠
　・有り　　・無し
製造所
　・

31. 収納家具

合板類、MDF 及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量
　※F☆☆☆☆　　・
材質、形状、寸法
　※図示による　　・

11 総揮発性有機化合物（TVOC）測定仕様書

1. 一般事項

試料採取および測定は，厚生労働省の「室内空気中化学物質の採取方法と測定方法」（以下「厚労省の測定方法」という。）の新築住宅の例に準拠して行う。

2. 測定対象化学物質

測定対象化学物質は，下記４ 1)，2)の区分に従い，表の①から⑭の１４物質及びＴＶＯＣ又は表の①から⑨の９物質及びＴＶＯＣとする。

3. 測定方法

1） クロマトグラム上で「n-ヘキサン」から「n-ヘキサデカン」までの部分に検出される物質のピーク値を「トルエン」に換算した値をＴＶＯＣ濃度とする。
2） トルエン換算で 2.0μg/m3 未満のピークは測定の対象としない。
3） 上位１０ピークについて物質を特定して濃度の測定を行う。

表　測定対象化学物質及び室内濃度指針値

化学物質名	室内濃度指針値	
①ホルムアルデヒド	100　μg/m３	0.08　ppm
②トルエン	260　μg/m３	0.07　ppm
③キシレン	200　μg/m３	0.05　ppm
④エチルベンゼン	3,800　μg/m３	0.88　ppm
⑤スチレン	220　μg/m３	0.05　ppm
⑥パラジクロロベンゼン	240　μg/m３	0.04　ppm
⑦テトラデカン	330　μg/m３	0.04　ppm
⑧アセトアルデヒド	48　μg/m３	0.03　ppm
⑨ノナナール	(暫定)41　μg/m３	0.007　ppm
⑩フタル酸ジ-n-ブチル	17　μg/m３	0.0015　ppm
⑪フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	100　μg/m３	0.0063　ppm
⑫クロルピリホス	1　μg/m３	0.00007　ppm
⑬ダイアジノン	0.29　μg/m３	0.00002　ppm
⑭フェノブカルブ	33　μg/m３	0.0038　ppm
⑮総揮発性有機化合物(ＴＶＯＣ)	400　μg/m３　（暫定目標値）	

4. 測定する室

1） １４物質及びＴＶＯＣ濃度を測定する室等
　・　室名：普通教室5-4・3-1・3-2・3-3・3-4

2） ９物質及びＴＶＯＣ濃度を測定する室
　・　室名：

　・　屋外(周囲の建物から離れた場所１か所)

5. 測定結果等報告書の提出

次の事項を記載した報告書を２部提出する。
1） 測定結果（アセトアルデヒドについては，試料採取時の気温が20℃に満たない場合には，「厚労省の測定方法」に定める計算式で20℃，湿度50%に，ホルムアルデヒドについては25℃，湿度50%に補正した濃度を報告すること。）
2） 試料採取時の状況（気温・湿度(屋外，室内)，天候、風の状況、日射進入状況，採取年月日・時間，窓の開閉状況，機械換気量，工事完成から試料採取までの日数）
3） 試料採取方法，測定方法，使用した測定機器
4） ＴＶＯＣ濃度の算出に使用したクロマトグラムの写し

6. その他

表の化学物質①から⑤のうち，いずれかの物質の濃度が室内濃度指針値を超える場合は，工事目的物の引渡しを受けない。
ＴＶＯＣの測定の結果，暫定目標値を超える場合は，発生原因の究明及び汚染物質の発生を低減するための対策について，協議を行うこと。

設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅰ期)
図面名称	建築改修工事特記仕様書9
縮尺	A1:N・S　A3:N・S
年月	2024.03
設計番号	
図面番号	Ａ－010
承認	赤沼 直幸
照査	佐々木 啓文
設計者	一級建築士 第284436号 赤沼 直幸
製図	西巻 裕太

SOWA 一級建築士事務所 株式会社 相和技術研究所 仙台事務所
宮城県知事登録　第22910116号

中性化抑制（補修）工法特記仕様書
（ﾘﾌﾚｰﾄ工業会 ﾘﾌﾚｰﾄ工法RF仕様 同等品以上とする）

劣化したコンクリートを、特殊薬剤を用いた化学的工法及び特殊モルタルによる物理的工法により、劣化から鉄筋を保護し、更に今後の中性化抑制・鉄筋防錆をはかることにより、構造物をリフレッシュさせる工法である。

使　用　材　料

○ 中性化回復下地強化材

成　分	特殊配合のケイ酸塩水溶液
粘　度	１０cps以下
比　重	１．０９±０．０２
Ｐ　Ｈ	１１±０．５
氷 結 点	０℃
外　観	淡黄色透明水溶液　２０kg／缶

使　用　目　的

・コンクリートのアルカリ回復

・下地含浸補強

○ 特殊混和材 Ⓐ

成　分	防錆材入りＳＢＲポリマーディスパージョン
粘　度	２０cps以下
比　重	１．００±０．０５
Ｐ　Ｈ	８．５±１．０
固 型 分	２４±１．０％
外　観	乳白色液体　　１８kg/缶

○ 特殊混和材 Ⓑ

成　分	防錆材入りＳＢＲポリマーディスパージョン
粘　度	３０cps以下
比　重	１．０３±０．１０
Ｐ　Ｈ	９．０±１．０
固 型 分	２３．５±１．０％
外　観	乳白色液体　　１８kg/缶

使　用　目　的　・補修用調合セメントに対して、防錆性・接着性・防水性・耐衝撃性のモルタル性能を改善する。

○ 防錆ペースト（特殊混和材 Ⓐ ＋既調合セメントモルタル）

既調合セメントモルタル〔普通ポルトランドセメント＋骨材（珪砂･寒水･Ｍａｘ０.６mm）〕

試験項目	試験結果	基準値
軟度変化（%）	6.3	-20～20
耐ひび割れ性	ひび割れが無し	ひび割れが無いこと
耐衝撃性	ひび割れ及びはがれ無し	ひび割れ及びはがれが無いこと
付着強さ（N/mm2）	1.4	1.0以上
付着強さ（N/mm2）低温	1.3	0.7以上
吸水量（g）	0.5	1以下
耐アルカリ性	異常なし	塗膜に異常が認められないこと
鉄筋に対する付着強さ	14.7N/mm2	7.8N/mm2以上
防錆性試験（処理部）	95%	防錆率　50%以上
防錆性試験（未処理部）	20%	防錆率-10%以上

※防錆ペースト＋特殊モルタルＡ

使　用　目　的

・露出鉄筋の防錆処理

・中性化防止層及び塗装下地調整

・配合比
　┌既調合セメントモルタル　２０kg
　└特殊混和材　６kg
の重量比で配合する。

○ ＳＢＲモルタル（特殊混和材 Ⓑ ＋既調合セメントモルタル）

既調合セメントモルタル〔普通ポルトランドセメント＋骨材（珪砂･寒水･繊維･各種混和材）〕

試験項目	試験結果	基準値
曲げ強さ（N/mm2）	11.1	6.0
圧縮強さ（N/mm2）	38.0	20.0
接着強さ（Nmm2）標準時	1.8	1.0
接着強さ（Nmm2）温冷繰り返し後	1.2	1.0
吸水量（g）	10.7	20.0以下
透水量（ml/hr）	0.017	0.5以下
長さ変化（%）	0.098	0.15以下

使　用　目　的

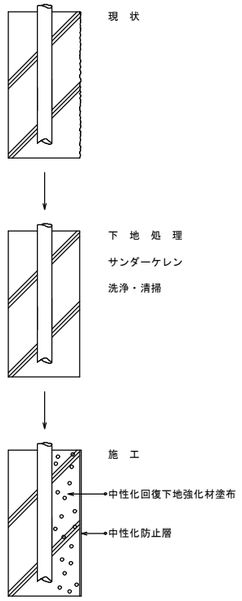
・欠損部の埋め戻し

・１０mm以上の塗り厚部分

・配合比
　┌既調合セメントモルタル　２５kg
　└特殊混和材　４kg
の重量比で配合する。

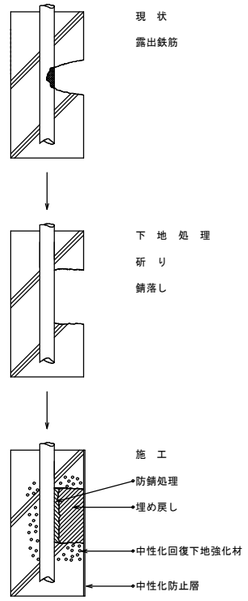
Ⓐ 中性化抑制（補修）

工　程
1．サンダーケレン
2．洗浄・清掃
3．中性化回復下地強化材塗布
4．中性化防止層



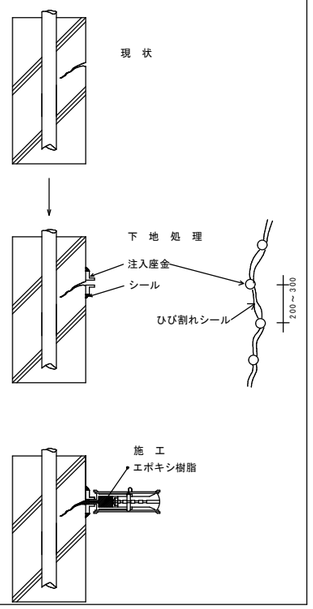
錆　鉄　筋　部　分

工　程
1．斫　り
2．錆落し
3．洗浄・清掃
4．中性化回復下地強化材
5．防錆処理
6．埋め戻し
7．中性化防止層



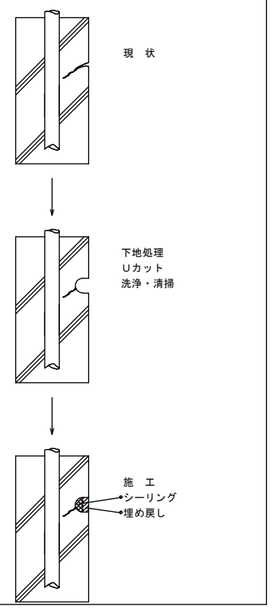
ひ　び　割　れ　部　分
自動式低圧ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法

工　程
1．清掃
2．注入座金取付
3．ひび割れシール
4．エポキシ樹脂自動低圧注入
5．座金・シール撤去

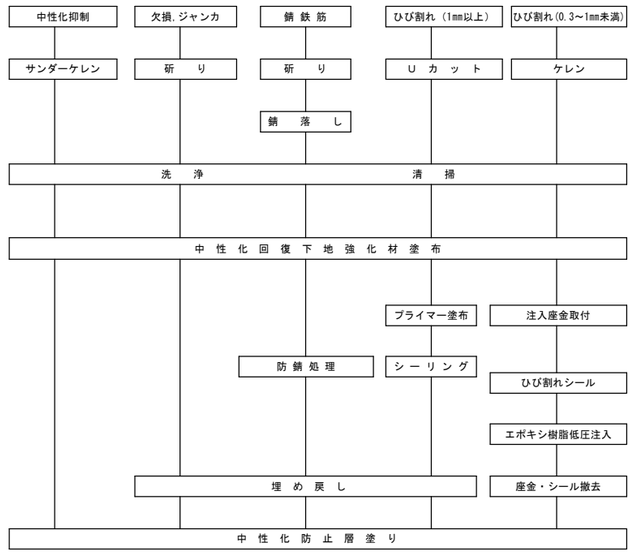


ひ　び　割　れ　部　分
Ｕｶｯﾄｼｰﾘﾝｸﾞ材充填工法

工　程
1．Ｕカット
2．洗浄・清掃
3．プライマー塗布
4．シーリング材充填
5．埋め戻し



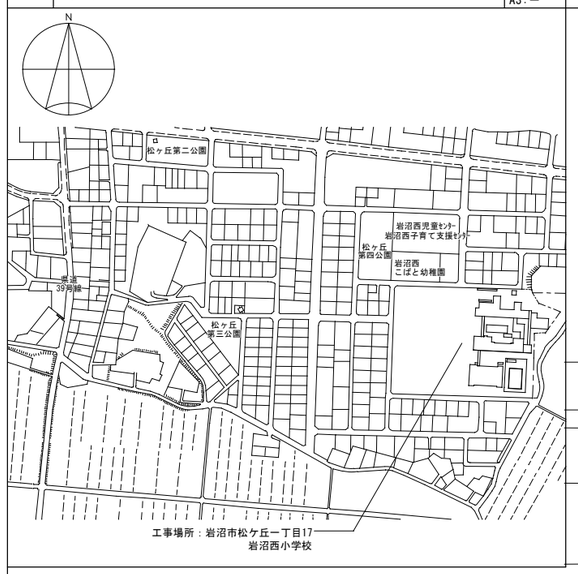
コンクリート躯体改修　基本施工フローチャート



設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事（第Ｉ期）				
図面名称	中性化抑制工法 特記仕様書				
縮　尺	A1:N・S A3:N・S	年　月 2024.03	設計番号	図面番号 A－011	
SOWA	一級建築士事務所 株式会社 相和技術研究所 宮城県知事登録　第22910116号	承認/赤沼 喜幸	設計者/ 一級建築士 第284436号 赤沼 喜幸	製図/ 西巻 裕太	
		照査/佐々木 啓文			

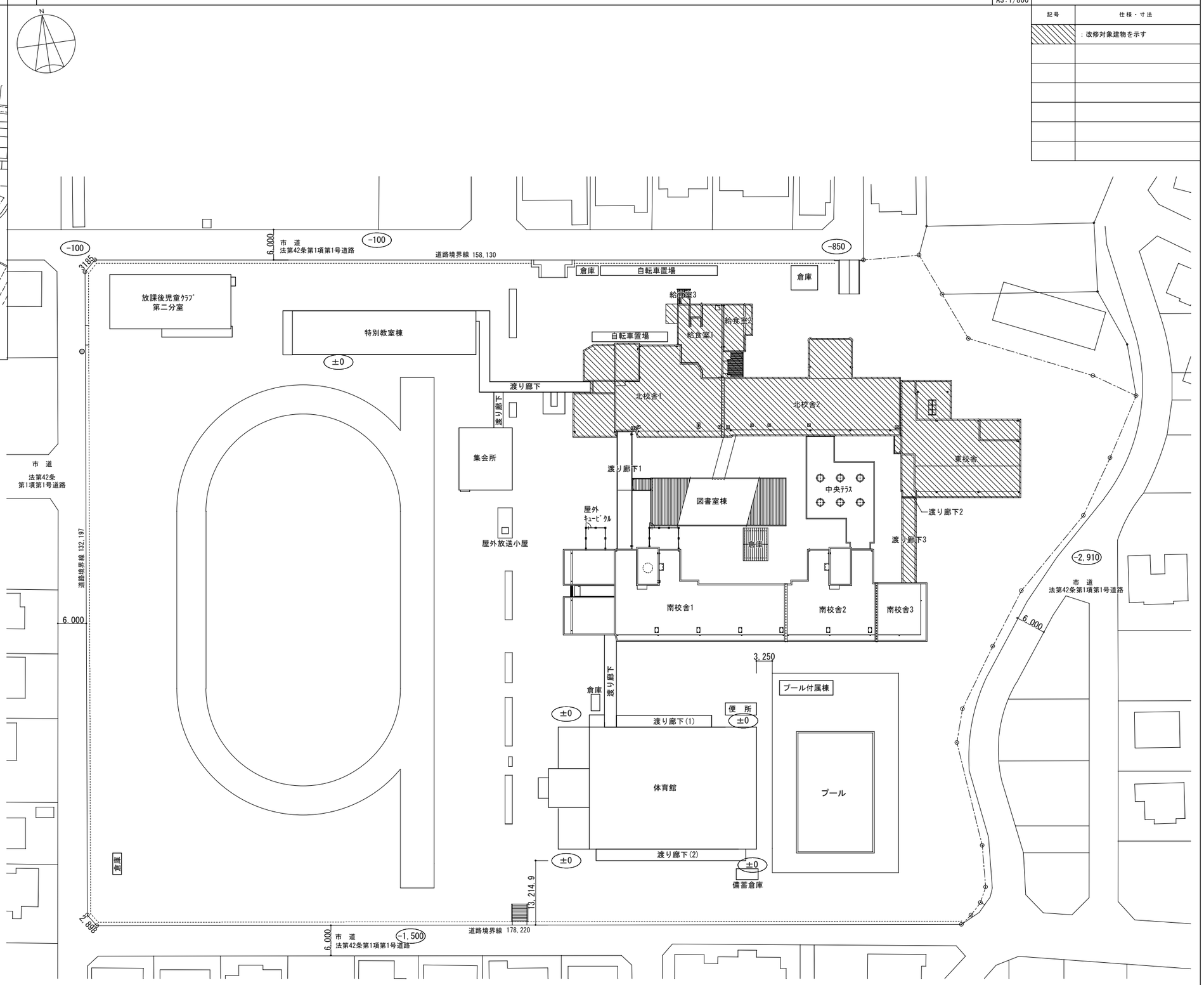
01 案内図

A1：－
A3：－



02 全体配置図

A1：1/400
A3：1/800



凡例

記号	仕様・寸法
	：改修対象建物を示す

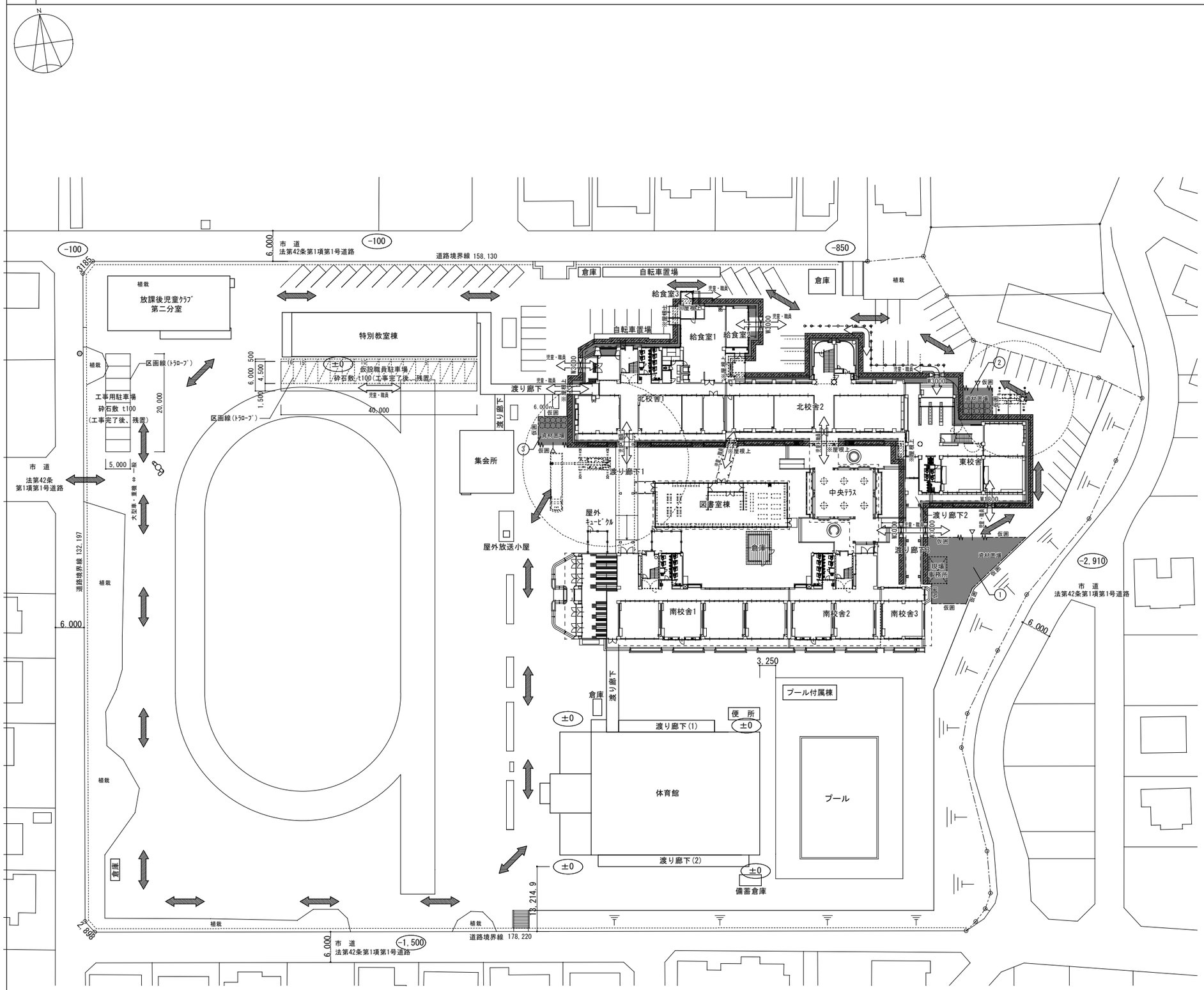
棟リスト

改修対象	建物名称	構造・規模	完成年月	※施設台帳による番号・建物名称	備考
○	北校舎1	RC造 3階	1976.9 (S 51.9)	001 北側校舎	
	渡り廊下1	S造 3階	1976.9 (S 51.9)	002 渡り廊下1	
	南校舎1	RC造 3階	1976.9 (S 51.9)	003-1 南側校舎	
	南校舎2	RC造 3階	1978.9 (S 53.9)	003-2 南側校舎	
	南校舎3	RC造 3階	1988.3 (S 63.3)	003-3 校舎	
○	給食室1	RC造 平屋	1976.9 (S 51.9)	004-1 給食室	
○	給食室2	S造 平屋	1993.9 (H 05.9)	004-2 給食室	
○	給食室3	S造 平屋	1997.10 (H 09.10	004-3 給食室	
○	北校舎2	RC造 3階	1985.3 (S 60.3)	011 校舎	
	図書室棟	軽量鉄骨造 平屋	1990.9 (H 02.9)	012 特別教室棟	
○	東校舎	RC造 3階	1993.2 (H 05.2)	013 校舎	東校舎と渡り廊下2は構造上一体
○	渡り廊下2	RC造 2階	1993.2 (H 05.2)	014-1 渡り廊下2	
○	渡り廊下3	S造 2階	1993.2 (H 05.2)	014-2 渡り廊下3	
	中央ﾃﾗｽ	S造 平屋	1985.3 (S 60.3)	011に含む	

設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事（第Ｉ期）
図面名称	案内図・配置図
縮　尺	A1：1/400　A3：1/800
年　月	2024.03
設計番号	
図面番号	A－012
承認/赤沼 直幸	
設計者/	一級建築士 第284436号 赤沼 直幸
製図/	西巻 裕太
照査/佐々木 啓文	

SOWA 一級建築士事務所 株式会社 相和技術研究所
宮城県知事登録 第22910116号

01	全体仮設計画図(参考図)	A1:1/400 A3:1/800



凡 例

記 号	名 称
	工事使用範囲 ※長期休み、随時工事使用範囲については別図による
仮囲	仮囲A：成形鋼板　H2.0　数量:延61.6m
	ｷｬｽﾀｰｹﾞｰﾄ　W6.0×H1.8
	枠組み本足場(手すり先行方式)　　防炎ｼｰﾄ張り
W○○	梁枠使用部分(○○はｽﾊﾟﾝ寸法を示す)
	交通誘導員 1人×206日=206人日
児童・職員	児童・職員・ｻｰﾋﾞｽ動線
	工事車両動線
	ｺｰﾝ式ﾊﾞﾘｹｰﾄﾞ 移設 ※学校で使用しているものを外部足場に合わせ移設する

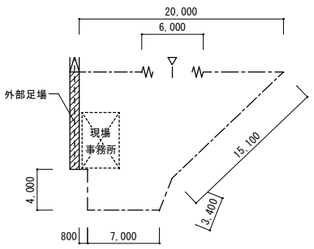
特 記 事 項

A1:ー
A3:ー

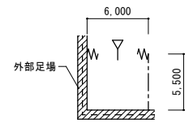
1. 本計画図は参考であり、実際の工事においては施工計画書を作成し、監督職員と協議の上決定する。
2. 工事使用範囲に発生土を仮置きする場合は飛散防止対策を施すこと。
3. 外部足場は原則枠組み本足場(手すり先行方式)建枠900とする。
4. 外部足場コーナー部は、単管手摺・足場板で補強する。
5. 交通誘導員は工事工程に応じて適時配置する。
6. 周辺に影響の多い作業にかかる場合は、事前に監督職員に報告し、かつ作業前に周知すること。

仮囲寸法図

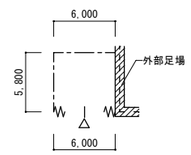
A1:1/300
A3:1/600



① 仮囲寸法図



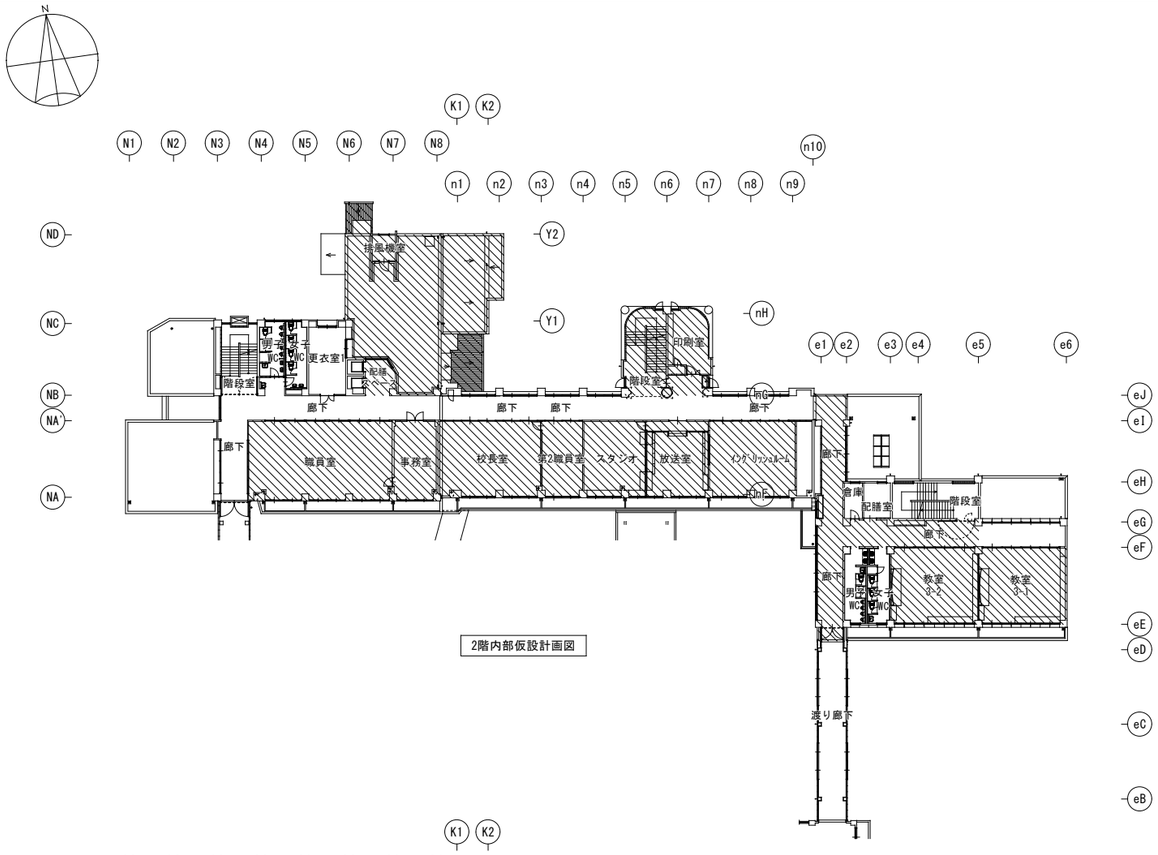
② 仮囲寸法図



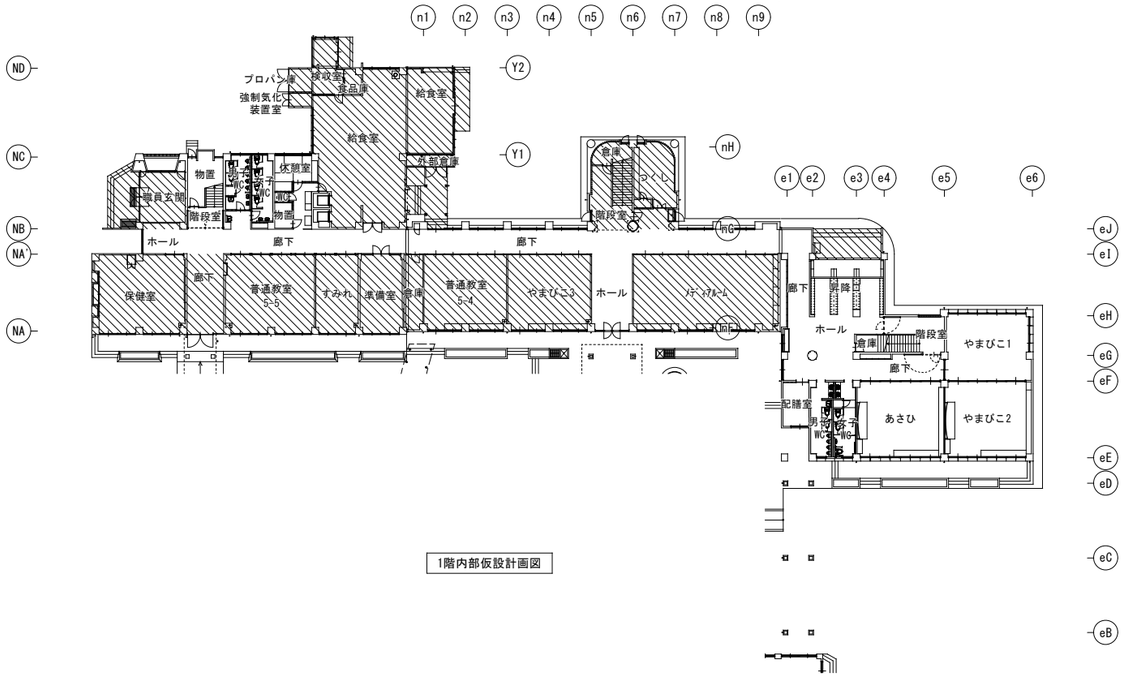
③ 仮囲寸法図

設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅰ期)				
図面名称	全体仮設計画図(参考図)				
縮　尺	A1:1/400 A3:1/800	年　月	2024.03	設計番号	図面番号 A－013
SOWA 一般財団法人 相和技術研究所 宮城県知事登録 第22910116号		承認/赤沼 直幸	設計者/一級建築士 第284436号 赤沼 直幸	製図/西巻 裕太	
		照査/荒々木 啓文			

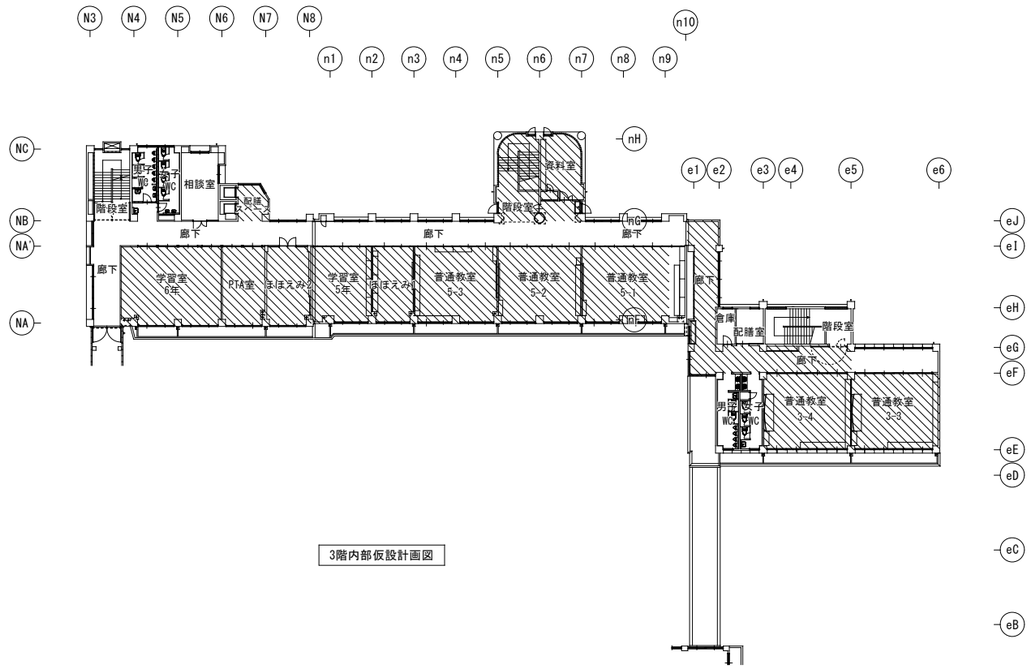
０１	内部仮設計画図(参考図)	A1:1/300 A3:1/600



2階内部仮設計画図



1階内部仮設計画図



3階内部仮設計画図

凡 例

記 号	名 称
	長期休み工事使用範囲

特 記 事 項

A1:ー
A3:ー

1．本計画図は参考であり、実際の工事においては施工計画書を作成し、監督職員と協議の上決定する。

2．長期休み工事使用範囲は、簡易バリケード等により工事使用範囲の明確化及び立入禁止措置を講じること。

3．施工数量調査及びｸﾗｯｸ補修については、教室内は長期休み工事とし、廊下等の共用部は随時実施工事とする。
ただし、養生・片付けを含め1日で作業が完了する工事については、協議の上随時工事実施可能とすることができる。

設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ｉ期)			
図面名称	内部仮設計画図(参考図)			
縮 尺	A1:1/300 A3:1/600	年 月 2024.03	設計番号	図面番号 A －014
SOWA	一級建築士事務所 株式会社 相和技術研究所 宮城県知事登録 第22910116号	承認/赤沼 直幸	設計者/ 一級建築士 第284436号 赤沼 直幸	製図/ 西巻 裕太
		照査/佐々木 啓文		

01 特記事項

⊙この工事は設計図書に従い施工するが、設計図書に明示されていない事項でも、法令・機能・納り上、当然必要なものは監督員の指示に従い施工する。

⊙本建物は、建築基準法第２条第1項９の２号の耐火建築物であり、これに基づく耐火性能等によるものとする。

⊙斫り工事　：既存コンクリート・モルタル・タイルを斫り撤去する場合は、カッター入れて残置部分と縁切りの上斫り撤去すること。

⊙中性化抑制工法　：外部のｺﾝｸﾘｰﾄ面は、下記の部分を除き原則全て中性化抑制工法を実施すること。
⊙テラス床、ﾀﾀｷ、犬走
⊙花壇、靴洗い(独立したもの)
⊙防水層・ﾓﾙﾀﾙに被覆された部分

⊙仕上塗材の下地調整：上記中性化抑制工法施工部分の仕上塗材下地調整は中性化防止層として、防錆ﾍﾟｰｽﾄ(JIS規格 下地調整C-2適合品)とする。

⊙ビニル床シート　：特記なき限り、継目はすべて熱溶接工法とする。

⊙セルフレベリング　：直均しＡ下地の場合で仕上の平坦さは3mに付き10mm以下とし、それを超える場合はセルフレベリング材にて補修を行う事とする。

⊙石こうボード張り　：特記なき限り、表面石こうボードはテーパーエッジとし、目地工法は継目処理工法とする。

⊙水廻りボード　：トイレ・脱衣室・ユニットバス・給湯室・浴室などの水廻り室の壁・天井の石こうボードはシージング石こうボード(準不燃)を使用する。

⊙防水改修　：屋上防水改修にあたっては、施工上必要な仮防水を含む。

⊙けい酸カルシウム板張り　：特記なき限り、すべて目透かし張りとする。

⊙化粧けい酸カルシウム板張り：特記なき限り，すべて目透かし張り、底目地タイプアルミジョイナー工法とする。

⊙下地補強　：ﾎﾞｰﾄﾞ下地に手摺等を取り付ける場合は、軽量鉄骨補強材(t2.3)により下地補強を行う事とする。

⊙廻　り　縁　：特記なき限り塩ビ製とし、天井材が木目調の室は木製（ＭＤＦ木・既製品）とする。
塩ビ製廻り縁の内、壁が曲面の場合は㈱創建「ビニール廻り縁役物Ｒ加工品」同等品程度とする。

⊙打放し仕上部にジャンカや目違い等がある場合「吉田工法表面仕上システム」にて補修を行う事とする。
上記以外のコンクリート面でジャンカや目違い等がある場合はポリマーモルタルセメントで補修する。

⊙硬質塩ビ製竪樋の下がり止めは とも板とし、受金物ごとに上下２個づつ接着剤を用いて固定する。

⊙吊りボルト用インサート：原則既存のものを利用し、必要に応じて一部あと施工アンカーとする。
既存インサートを再利用する場合は引抜き試験を行うこと。（各階10箇所以上）

02 下地凡例

床	・直均しＡ	張物下地、塗物下地、直仕上（木ごて×1回、金ごて×3回）
	・モルタル	タイル・石・フローリング下地（木ごて）
	・モルタル金ごて	屋内防水・敷物・張物下地（金ごて）t30
	・かさ上げコン	軽量ｺﾝｸﾘｰﾄ(気乾比重1.85)t100 直均しＡ ＋ 溶接金網Φ6×100角 ＋ ﾎﾞﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ(厚さは特記による)
	・乾式置床材	乾式置床下地＋パーチクルボードｔ20＋耐水合板ｔ12
	・屋内防水	直均しＢ下地、屋内防水密着工法(Ｅ－１)、押えコンクリートt100(溶接金網6φ-100角入)
	・木床組	
	・下地調整塗材	Ｃ－２
壁	・打放しＡ	打放し仕上げＡ種：（JAS 表面加工品･補修含む）塗装仕上用・タイル（接着張の場合）
	・打放しＢ	打放し仕上げＢ種：（JAS B-C･補修含む）仕上塗材・機械室（グラスウール無）
	・打放しＣ	打放し仕上げＣ種：（JAS B-C）ピット･EVシャフト･PS･EPS･DS･機械室(グラスウール有)
	・モルタル	塗装・吹付下地(金ｺﾞﾃ) 屋内:t20 屋外:t25
	・GL	石こうボードt12.5直張り工法
	※軽量鉄骨下地 共通事項	軽量鉄骨下地は上部スラブまでとし（PS囲い等は天井まで）、ボード張りは下記のとおり 天井又はスラブまでとする。
	・LGS	軽量鉄骨下地（種類等は標準仕様書による）
	・LGS(一般)	LGS ＋ 石こうﾎﾞｰﾄﾞｔ12.5(両面)(ﾎﾞｰﾄﾞは天井まで)
	・LGS(ｽﾗﾌﾞ)	LGS(一般)でﾎﾞｰﾄﾞはｽﾗﾌﾞ下まで
	・LGS(一般H)	LGS ＋ 硬質石こうボードｔ12.5(両面)(ボードは天井まで)
天井	・打放しＡ	打放し仕上げＡ種：（JAS 表面加工品･補修含む）塗装仕上用・タイル（接着張の場合）
	・打放しＢ	打放し仕上げＢ種：（JAS B-C･補修含む）仕上塗材・機械室（グラスウール無）
	・打放しＣ	打放し仕上げＣ種：（JAS B-C）ピット･EVシャフト･PS･EPS･DS･機械室(グラスウール有)
	・CLGS	軽量鉄骨天井下地（直張用）
	・CLGS(石)	軽量鉄骨天井下地（石こうボードｔ9.5下張）
	・CLGS(GW)	軽量鉄骨天井下地（石こうボードｔ9.5下張）グラスウール24K ｔ50敷込
	・CLGS(直)	支持構造部直固定天井下地

03 主な仕上げ材の不燃，準不燃認定番号

⊙石こうボードt9.5(GB-R)　：NM-8619
⊙石こうボードt12.5(GB-R)　：NM-8619
⊙化粧石こうボードt9.5(GB-D)　：NM-1864
⊙シージング石こうボードt12.5(GB-S)　：QM-9826
⊙シージング石こうボードt9.5(GB-S)　：QM-9826
⊙硬質石こうボードt9.5，12.5(GB-R-H)　：NM-1908
「タイガーハイパーハードＣ」
・強化石こうボードt21(GB-F)　：NM-8615
・化粧石こう吸音ボードｔ9.5(GB-P)　：NM-0879
「タイガースクエアトーンＤ」
・壁用化粧石こうボードｔ12.5(GB-D-HC)(押入)：NM-0530
⊙ロックウール化粧吸音板ｔ9，12，15，19(DR)：NM-8599
⊙けい酸カルシウム板t6.8(0.8FK)　：NM-8578
⊙化粧けい酸カルシウム板t6(0.8FK)　：NM-8577

※全ての仕上材はアスベスト含有建材でないものを使用すること。

04 塗装凡例

⊙ＳＯＰ	：合成樹脂調合ペイント	⊙ＥＰ－Ｇ	：つや有合成樹脂エマルションペイント
・ＣＬ	：クリアラッカー	⊙ＥＰ	：合成樹脂エマルションペイント
・ＮＡＤ	：アクリル樹脂系非水分散形塗料	・ＵＣ	：ウレタン樹脂ワニス
⊙ＤＰ１級	：鉄部ふっ素樹脂エナメル (2-FUE)		一般木部　：Ｂ種 2回塗
・ＤＰ２級	：鉄部ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂ｴﾅﾒﾙ (2-ASE)		フローリング：Ａ種 3回塗
・ＤＰ３級	：鉄部ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝ樹脂ｴﾅﾒﾙ (2-UE)	・ＯＳ	：オイルステイン
・ＤＰＡ種	：ｺﾝｸﾘｰﾄふっ素樹脂ｴﾅﾒﾙ (2-FUE)		
・ＤＰＢ種	：ｺﾝｸﾘｰﾄ ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂ｴﾅﾒﾙ (2-ASE)		

05 仕上

：アスベスト含有建材を示す（特記なき場合ﾚﾍﾞﾙ3）

【共通】

棟名称、部位		改修前	改修後 ※特記なき場合、新設とする
外部ｺﾝｸﾘｰﾄ面		ｺﾝｸﾘｰﾄ面 ※仕上の除去方法は図示による 全面施工数量調査	ｱﾙｶﾘ性含侵材中性化抑制工法(ｹｲ酸ﾘﾁｳﾑ系、2回塗) ｸﾗｯｸ補修 幅0.3以上～1.0未満:自動式低圧ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法 ｸﾗｯｸ補修 幅1.0以上:Uｶｯﾄｼｰﾙ材充填工法(弾性ｼｰﾘﾝｸﾞ) 欠損部補修:ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ充填工法
外壁目地		ｼｰﾘﾝｸﾞ(PU-2 15×10) [撤去]	ｼｰﾘﾝｸﾞ(PU-2 15×10)
外部建具		建具廻りｼｰﾘﾝｸﾞ(MS-2 15×10) [撤去]	建具廻りｼｰﾘﾝｸﾞ(MS-2 15×10)

部位		改修前	改修後 ※特記なき場合、新設とする
内部ｺﾝｸﾘｰﾄ面		全面施工数量調査	外部に面するｸﾗｯｸ補修 幅0.3以上～1.0未満:自動式低圧ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法 外部に面するｸﾗｯｸ補修 幅1.0以上:Uｶｯﾄｼｰﾙ材充填工法(可とう性ｴﾎﾟｷｼ樹脂) その他のｸﾗｯｸ補修 幅1.0以上:Uｶｯﾄｼｰﾙ材充填工法(可とう性ｴﾎﾟｷｼ樹脂) ｸﾗｯｸ補修部 下地調整(RA種)の上 EP塗 幅150
外部鉄骨見え隠れ		既存鉄骨 [塗膜除去]	下地調整(RB種)の上 鉛ｸﾛﾑﾌﾘｰ錆止(工程C種) ※改修範囲は鉄骨構造図(参考図)による
外部鉄骨見え掛かり		既存鉄骨 [塗膜除去]	下地調整(RB種) ＋ 鉛ｸﾛﾑﾌﾘｰ錆止(工程C種)の上 DP(1級)塗 ※改修範囲は鉄骨構造図(参考図)による

【北校舎1】

棟名称、部位		改修前	改修後 ※特記なき場合、新設とする
屋上A	平場	ｱｽﾌｧﾙﾄ防水 [既存] ＋ 押えｺﾝｸﾘｰﾄt60 [既存]の上 ｳﾚﾀﾝ系塗膜防水(X-1) [撤去]、 成形伸縮目地材 [撤去]、SUS製脱気筒 [撤去]	ｳﾚﾝ清掃 ＋ ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙの上 ｱｽﾌｧﾙﾄ防水(D-1、常温複合工法)、 SUS製脱気筒、ｱﾙﾐ製目地処理材t0.3 W90
	立上(下)	ｱｽﾌｧﾙﾄ防水 [撤去] ＋ ﾜｲﾔﾗｽ(＃22) ﾓﾙﾀﾙ塗 [撤去]の上 ｳﾚﾀﾝ系塗膜防水(X-2) [撤去]、 ｱﾙﾐ防水押え金物 [撤去]	ｳﾚﾝ清掃 ＋ ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙの上 ｱｽﾌｧﾙﾄ防水(D-1、常温複合工法)、 ｱﾙﾐ水切金物 W30×H100、ｱﾙﾐ防水押え金物 W15×H30
	立上(上)	ﾓﾙﾀﾙ塗 [撤去]	下地調整(C-2)の上 防水型複層塗材E(ゆず肌)
	笠木	木下地 240×40 [撤去]の上 亜鉛鉄板t0.5 W240 [撤去]	ｱﾙﾐ製 W200・225
	ﾄﾞﾚﾝ	鋳鉄製ﾀﾃ・ﾖｺ引き Φ100用 [既存]	改修用鋼製ﾀﾃ引き □365(既存Φ100用、ｽﾄﾚｰﾅｰとも) 改修用鋼製ﾖｺ引き W300×H175(既存Φ100用、ｽﾄﾚｰﾅｰとも)
	手すり	SGP32A OP塗 [塗膜除去]、ﾌﾞﾗｹｯﾄ:SGP25A OP塗#1200 [塗膜除去]	下地調整(RA種) ＋ 鉛ｸﾛﾑﾌﾘｰ錆止(工程A種)の上 DP(1級) [塗替]
	ﾀﾗｯﾌﾟ	SGP32A OP塗 [撤去]、ﾌﾞﾗｹｯﾄ:SGP25A OP塗#1200 [撤去]	SUS製あと施工ﾀﾗｯﾌﾟ W400
	煙突	立上(下・上)に同じ、陣笠:鋼板製 PL-4.5 [撤去]	立上(下・上)に同じ、陣笠:SUS製 PL-1.0 ＋ 煙突穴塞ぎ(発泡ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑA種1 t50)
屋上D	平場	ｱｽﾌｧﾙﾄ防水 [既存] ＋ 押えｺﾝｸﾘｰﾄt60 [既存]の上 ｳﾚﾀﾝ系塗膜防水(X-1) [撤去]、 成形伸縮目地材 [撤去]、SUS製脱気筒 [撤去]	ｳﾚﾝ清掃 ＋ ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙの上 ｱｽﾌｧﾙﾄ防水(D-1、常温複合工法)、 SUS製脱気筒、ｱﾙﾐ製目地処理材t0.3 W90
	立上	ｱｽﾌｧﾙﾄ防水 [撤去] ＋ ﾜｲﾔﾗｽ(＃22) ﾓﾙﾀﾙ塗 [撤去]の上 ｳﾚﾀﾝ系塗膜防水(X-2) [撤去]	ｳﾚﾝ清掃 ＋ ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙの上 ｱｽﾌｧﾙﾄ防水(D-1、常温複合工法)
	笠木	木下地 240×40 [撤去]の上 亜鉛鉄板t0.5 W240 [撤去]	ｱﾙﾐ製 W200、225
	ﾄﾞﾚﾝ	鋳鉄製ﾖｺ引き Φ80用 [既存]	改修用鋼製ﾖｺ引き W300×H160(既存Φ80用、ｽﾄﾚｰﾅｰとも)
屋根A	平場	ｱｽﾌｧﾙﾄ防水 [既存] ＋ 押えｺﾝｸﾘｰﾄt60 [既存]の上 ｳﾚﾀﾝ系塗膜防水(X-1) [撤去]、 成形伸縮目地材 [撤去]、SUS製脱気筒 [撤去]	ｳﾚﾝ清掃 ＋ ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙの上 ｱｽﾌｧﾙﾄ防水(D-1、常温複合工法)、 SUS製脱気筒、ｱﾙﾐ製目地処理材t0.3×W90
	立上	ｱｽﾌｧﾙﾄ防水 [撤去] ＋ ﾜｲﾔﾗｽ(＃22) ﾓﾙﾀﾙ塗 [撤去]の上 ｳﾚﾀﾝ系塗膜防水(X-2) [撤去]、 一部ｱﾙﾐ防水押え金物 [撤去]	ｳﾚﾝ清掃 ＋ ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙの上 ｱｽﾌｧﾙﾄ防水(D-1、常温複合工法)、 ｱﾙﾐ水切金物 W30×H100、ｱﾙﾐ防水押え金物 W15×H30
	笠木	木下地 240×40 [撤去]の上 亜鉛鉄板t0.5 W240 [撤去]	ｱﾙﾐ製 W200・225・250
	ﾄﾞﾚﾝ	鋳鉄製ﾀﾃ引き Φ100用 [既存]	改修用鋼製ﾀﾃ引き □365(既存Φ100用、ｽﾄﾚｰﾅｰとも) 改修用鋼製ﾖｺ引き W300×H160(既存Φ80用、ｽﾄﾚｰﾅｰとも)
	煙突	立上(下・上)に同じ、陣笠:鋼板製 PL-4.5 [撤去]	立上(下・上)に同じ、陣笠:SUS製 PL-1.0 ＋ 煙突穴塞ぎ(発泡ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑA種1 t50)

棟名称、部位		改修前	改修後 ※特記なき場合、新設とする
外壁	外壁A	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放の上 複層塗材E [高圧水洗工法]	下地調整(C-2)の上 防水型複層塗材E(ゆず肌)
	外壁A'	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放の上 ｹｲ酸質系塗装 [ｻﾝﾀﾞｰ工法]	
	外壁C	ﾓﾙﾀﾙ塗の上 三丁掛けﾀｲﾙ [既存]	注入口付ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ全面ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法
	基礎巾木A	ﾓﾙﾀﾙ塗 [既存]	水洗(高圧ﾎﾞﾝﾌﾟ)の上 ﾌｯ素樹脂ｸﾘｱ塗装
竪樋	竪樋A	SGP(白ｶﾞｽ管) [塗膜除去]、支持金具 [撤去]	下地調整(RA種) ＋ 鉛ｸﾛﾑﾌﾘｰ錆止(工程A種)の上 DP(1級) [塗替]、SUS製支持金具#1200
軒天	軒天A	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放の上 ｹｲ酸質系仕上塗材 [ｻﾝﾀﾞｰ工法]	外装薄塗材E
	軒天B	LGS下地 [撤去]の上 ｹｲｶﾙ板t6 VP塗 [撤去]	LGS(25型)の上 ｹｲｶﾙ板t6(目透し) EP-G塗
ﾃﾗｽA	床、階段	ﾓﾙﾀﾙ塗(目地切) [撤去]、陶器質段鼻ﾀｲﾙ [撤去]	ﾓﾙﾀﾙ塗の上 ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.5(屋外、耐湿、防滑)、SUS製ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ(ﾀｲﾔﾚｽ) W35
	花壇	ﾘﾌﾟ付型枠ｺﾝｸﾘｰﾄ打放の上 複層塗材Si [高圧水洗工法]	下地調整(C-2)の上 防水型複層塗材E(ゆず肌)
ﾊﾞﾙｺﾆｰA	床	防水ﾓﾙﾀﾙ塗 [既存]の上 ｳﾚﾀﾝ系塗膜防水(X-2) [撤去]	ｳﾚﾝ清掃 ＋ ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙの上 ｳﾚﾀﾝ系塗膜防水(X-2、防滑)
	手すり壁	ﾓﾙﾀﾙ塗 [撤去]の上 ｹｲ酸質系仕上塗材 [ｻﾝﾀﾞｰ工法]	下地調整(C-2)の上 防水型複層塗材E(ゆず肌)
	笠木	防水ﾓﾙﾀﾙ [撤去]の上 ｳﾚﾀﾝ系塗膜防水(X-2) [撤去]	ｱﾙﾐ笠木 W200
	手すり	SGP32A OP塗 [塗膜除去]、ﾌﾞﾗｹｯﾄ:SGP25A OP塗#1200 [塗膜除去]	下地調整(RA種) ＋ 鉛ｸﾛﾑﾌﾘｰ錆止(工程A種)の上 DP(1級) [塗替]
	ﾄﾞﾚﾝ	鋳鉄製ﾀﾃ引き中継 Φ100用 [既存]	-
ﾎﾟｰﾁA	床、階段	磁器質100角ﾀｲﾙ(石目調) [一部撤去]、磁器質100角段鼻ﾀｲﾙ(石目調) [撤去]	磁器質100角ﾀｲﾙ [一部新設]、磁器質100角段鼻ﾀｲﾙ
	花壇	ﾘﾌﾟ付型枠ｺﾝｸﾘｰﾄ打放の上 複層塗材Si [高圧水洗工法]	下地調整(C-2)の上 防水型複層塗材E(ゆず肌)
	靴洗い	防水ﾓﾙﾀﾙ塗 [撤去]、鋼製ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ 1200×600×t38(枠共) [撤去]	防水ﾓﾙﾀﾙ塗、SUS製ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ 1200×600×t38(枠共)
	靴拭きﾏｯﾄ	鋼製ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ 1800×600×t38 [撤去]、SUS受枠 6×25 [既存]	SUS製ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ 1800×600×t38
その他	ﾀﾀｷ	ﾓﾙﾀﾙ塗(目地切) [撤去]、陶器質段鼻ﾀｲﾙ [撤去]	ﾓﾙﾀﾙ塗、SUS製ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ(ﾀｲﾔﾚｽ) W35
	窓台水切C	防水ﾓﾙﾀﾙ塗 [既存]	ｳﾚﾝ清掃 ＋ ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ塗の上 ｳﾚﾀﾝ系塗膜防水(X-2)
建具	SW	鋼製窓 [撤去(ｶﾊﾞｰ工法)]	ｱﾙﾐ製窓(ｶﾊﾞｰ工法)
	SD	鋼製ﾄﾞｱ [塗膜除去]、一部鋼製ﾄﾞｱ [撤去(撤去工法)] ＋ 建具廻り仕上 [撤去]	下地調整(RA種) ＋ 鉛ｸﾛﾑﾌﾘｰ錆止(工程A種)の上 DP(1級) [塗替]、ｱﾙﾐ製引違戸 [新設] ＋ 建具廻り仕上 [新設]
	AD	ｱﾙﾐ製ﾄﾞｱ [撤去(ｶﾊﾞｰ工法)]	ｱﾙﾐ製ﾄﾞｱ(ｶﾊﾞｰ工法)

【給食室1】

棟名称、部位		改修前	改修後 ※特記なき場合、新設とする
屋根B	平場	ｱｽﾌｧﾙﾄ防水 [既存] ＋ 押えｺﾝｸﾘｰﾄt60 [既存]の上 ｳﾚﾀﾝ系塗膜防水(X-1) [撤去]、 成形伸縮目地材 [撤去]、SUS製脱気筒 [撤去]	ｳﾚﾝ清掃 ＋ ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙの上 ｱｽﾌｧﾙﾄ防水(D-1、常温複合工法)、 SUS製脱気筒、ｱﾙﾐ製目地処理材t0.3 W90
	立上	ｱｽﾌｧﾙﾄ防水 [撤去] ＋ ﾜｲﾔﾗｽ(＃22) ﾓﾙﾀﾙ塗 [撤去]の上 ｳﾚﾀﾝ系塗膜防水(X-2) [撤去]、 ｱﾙﾐ防水押え金物 [撤去]	ｳﾚﾝ清掃 ＋ ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙの上 ｱｽﾌｧﾙﾄ防水(D-1、常温複合工法)、 ｱﾙﾐ水切金物 W30×H100、ｱﾙﾐ防水押え金物 W15×H30
	笠木	木下地 240×40 [撤去]の上 亜鉛鉄板t0.5 W240 [撤去]	ｱﾙﾐ製 W200
	ﾄﾞﾚﾝ	鋳鉄製ﾖｺ引き Φ100用 [既存]	改修用鋼製ﾖｺ引き W300×H175(既存Φ100用、ｽﾄﾚｰﾅｰとも)
	煙突	立上に同じ、陣笠:鋼板製 PL-4.5 [既存]	立上に同じ
庇A	平場	防水ﾓﾙﾀﾙ塗 [撤去]	ｳﾚﾝ清掃 ＋ ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙの上 ｳﾚﾀﾝ系塗膜防水(X-2)
外壁	外壁A	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放の上 複層塗材E [高圧水洗工法]	下地調整(C-2)の上 防水型複層塗材E(ゆず肌)
	基礎巾木A	ﾓﾙﾀﾙ塗 [既存]	水洗(高圧ﾎﾞﾝﾌﾟ)の上 ﾌｯ素樹脂ｸﾘｱ塗装
竪樋	竪樋A	SGP(白ｶﾞｽ管) [塗膜除去]、支持金具 [撤去]	下地調整(RA種) ＋ 鉛ｸﾛﾑﾌﾘｰ錆止(工程A種)の上 DP(1級) [塗替]、SUS製支持金具#1200
軒天	軒天B	LGS下地 [撤去]の上 ｹｲｶﾙ板t6 VP塗 [撤去]	LGS(25型)の上 ｹｲｶﾙ板t6(目透し) EP-G塗
ﾌﾟﾛﾊﾟﾝ庫、強制気化装置室	床	ﾓﾙﾀﾙ塗 [既存]	水洗(高圧ﾎﾞﾝﾌﾟ)
	壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放の上 ｹｲ酸質系仕上塗装 [ｻﾝﾀﾞｰ工法]	下地調整(C-2)の上 防水型複層塗材E(ゆず肌)
	天井	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放の上 ｹｲ酸質系仕上塗装 [ｻﾝﾀﾞｰ工法]	外装薄塗材E
	門扉	鋼製形鋼 H1000 [撤去]	高耐食ｽﾃｰﾙﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ H1500

棟名称、部位		改修前	改修後 ※特記なき場合、新設とする
建具	SD	鋼製ﾄﾞｱ [撤去(ｶﾊﾞｰ工法)]	ｱﾙﾐ製ﾄﾞｱ [新設(ｶﾊﾞｰ工法)]
	AD	ｱﾙﾐ製引き分け戸 [撤去(ｶﾊﾞｰ工法)]	ｱﾙﾐ製引き分け戸 [新設(ｶﾊﾞｰ工法)]
給食室1	腰壁	陶器質ﾀｲﾙ張り [既存]の上 ｽﾃﾝﾚｽ板張り [既存]	-
検収室1	壁	ﾓﾙﾀﾙ塗 [既存]の上 VP塗 [塗膜除去]	下地調整(RB種)の上 EP-G [塗替]
食品庫	天井	LGS下地 [既存]の上 ﾌﾚｷｼﾌﾞﾎﾞｰﾄﾞt5 [既存] VP塗[塗膜除去]	下地調整(RB種)の上 EP-G [塗替]
湯沸室	壁	ﾓﾙﾀﾙ塗 [既存]の上 VP塗 [既存]	-
	天井	LGS下地 [既存]の上 ﾌﾚｷｼﾌﾞﾎﾞｰﾄﾞt5 [既存] VP塗[既存]	-
休憩室	壁	ﾓﾙﾀﾙ塗 [既存]の上 砂壁状塗壁 [既存]	-
	天井	LGS下地 [既存]の上 化粧石こうﾎﾞｰﾄﾞ(木目) [既存]	-
WC	腰壁	陶器質ﾀｲﾙ張り [既存]	-
	壁	ﾓﾙﾀﾙ塗 [既存]の上 VP塗 [既存]	-
	天井	LGS下地 [既存]の上 ﾌﾚｷｼﾌﾞﾎﾞｰﾄﾞt5 [既存] VP塗[既存]	-
物置	壁	ﾓﾙﾀﾙ塗 [既存]の上 VP塗 [既存]	-
	天井	LGS下地 [既存]の上 ﾌﾚｷｼﾌﾞﾎﾞｰﾄﾞt5 [既存] VP塗[既存]	-

設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ｉ期)
図面名称	仕上表1
縮尺	A1:N・S　A3:N・S
年月	2024.03
設計番号	
図面番号	A－015
承認/赤沼 直幸	
設計者/一級建築士 第284436号 赤沼 直幸	
照査/佐々木 啓文	
製図/西巻 裕太	

SOWA 一級建築士事務所 株式会社 相和技術研究所
宮城県知事登録 第2291015号

01	仕　上	[redacted]：アスベスト含有建材を示す（特記なき場合ﾚﾍﾞﾙ3）

【給食室2】

棟名称、部位		改　修　前	改　修　後　※特記なき場合、新設とする
屋根C	平場	ALC版［既存］+ 均しﾓﾙﾀﾙ［既存］の上 アスファルト防水(D-2)［既存］、	ｹﾚﾝ清掃 + ｱｽﾌｧﾙﾄ系下地調整材の上 ｱｽﾌｧﾙﾄ防水(D-1、常温複合工法)、SUS製脱気筒
		一部アスファルト防水(D-2)［既存］の上 ｳﾚﾀﾝ系塗膜防水(X-2)［撤去］	
	立上	ﾜｲﾔﾗｽ ﾓﾙﾀﾙ塗［既存］の上 アスファルト防水(D-2)［撤去］、	ｹﾚﾝ清掃 + ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙの上 ｱｽﾌｧﾙﾄ防水(D-1、常温複合工法)
		一部アスファルト防水(D-2)［撤去］の上 ｳﾚﾀﾝ系塗膜防水［撤去］	
	笠木	ｱﾙﾐ製 W200［取外］	ｱﾙﾐ製 W200［再取付］
	ﾄﾞﾚﾝ	鋳鉄製ｴｺ引き Φ100用［既存］	改修用銅製ｴｺ引き W300×H175(既存Φ100用、ｽﾄﾚｰﾅｰとも)
屋根E	一般部	ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t0.8 折版葺き(ﾎﾞﾙﾄ式 H88@200)［塗膜除去］	折版部：下地調整(RA種) + 鉛ｸﾛﾑﾌﾘｰ錆止(工程A種)の上 DP(1級)［塗替］、
			ﾎﾞﾙﾄ部：下地調整(RA種) + 錆面浸透型ﾌﾟﾗｲﾏｰ + 鉛ｸﾛﾑﾌﾘｰ錆止(工程A種)の上 ﾎﾞﾙﾄｷｬｯﾌﾟ
	ｹﾗﾊﾞ・軒先	屋根同材包み［塗膜除去］	下地調整(RA種) + 鉛ｸﾛﾑﾌﾘｰ錆止(工程A種)の上 DP(1級)［塗替］
	外壁ｴﾌﾟﾛﾝ	屋根同材面戸［塗膜除去］	下地調整(RA種) + 鉛ｸﾛﾑﾌﾘｰ錆止(工程A種)の上 DP(1級)［塗替］
	軒樋	塩ﾋﾞ被覆鋼板 W120［撤去］	塩ﾋﾞ被覆鋼板 前高W120
外壁	外壁D	押出成形板t55の上 複層塗材E［水洗いｴﾁ］	可とう形改修塗材E(厚付)
	外壁E	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放の上 複層塗材E［高圧水洗工法］	下地調整(C-2)の上 防水型複層塗材E(ゆず肌)
	基礎巾木B	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放［既存］	水洗(高圧ﾎﾞﾝﾌﾞ)の上 ﾌｯ素樹脂ｸﾘｱ塗装

部位		改　修　前	改　修　後　※特記なき場合、新設とする
軒天	軒天G	LGS下地［撤去］の上 ｹｲｶﾙ板t6 VP塗［撤去］、鋼板製水切 W100×H30［撤去］	LGS(25型)の上 ｹｲｶﾙ板t6(目透し) EP-G塗、ｱﾙﾐ水切金物 W75×H30
竪樋	竪樋C	VP管［撤去］	ｶﾗｰVP100
外部倉庫	床	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し［既存］	水洗(高圧ﾎﾞﾝﾌﾞ)
	腰壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放の上 複層塗材E H1650［高圧水洗工法］	下地調整(C-2)の上 防水型複層塗材E(ゆず肌)
	ﾌｪﾝｽ	ｽﾁｰﾙﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ H1600・2230［撤去］、ｽﾁｰﾙﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ門扉 W2000×H(2000+1150)［撤去］	高耐食ｽﾁｰﾙﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ H1500・2200、高耐食ｽﾁｰﾙﾒｯｼｭ門扉 W1800×H(2000+1150)
EXP.ｼﾞｮｲﾝﾄｰA	屋根-屋根	ｱﾙﾐ製(既製品) W500(50用)［取外］	同左［再取付］
	外壁-外壁	ｱﾙﾐ製(既製品) W160(50用)［取外］	同左［再取付］
	外壁ｺｰﾅｰ	ｱﾙﾐ製(既製品) W100+36(50用)［取外］(軒天とも)	同左［再取付］
その他	食材搬入ｽﾃｰｼﾞ	ﾓﾙﾀﾙ塗［既存］、磁器質段鼻ﾀｲﾙ［撤去］、	ｹﾚﾝ清掃 + ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ塗の上 ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.5(屋外、耐湿、防滑)、SUS製ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ(ﾀｲﾔﾚｽ) W35、
		ｺﾞﾑ製ｸｯｼｮﾝｽﾄｯﾊﾟｰ［撤去］、ｸﾞﾘｰｽﾄﾗｯﾌﾟ蓋:CH.PL-4.5 1200×600［撤去］	ｺﾞﾑ製ｸｯｼｮﾝｽﾄｯﾊﾟｰ H100、ｸﾞﾘｰｽﾄﾗｯﾌﾟ蓋:su.CH.PL-4.5 1200×600
	搬出ﾔｰﾄﾞ	ﾓﾙﾀﾙ塗［既存］、磁器質段鼻ﾀｲﾙ［撤去］	ｹﾚﾝ清掃 + ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ塗の上 ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.5(屋外、耐湿、防滑)、SUS製ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ(ﾀｲﾔﾚｽ) W35
給食室2	腰壁	陶器質ﾀｲﾙ張り［既存］の上 ｽﾃﾝﾚｽ板張り［既存］	-
	壁	LGS下地［既存］+ 石こうﾎﾞｰﾄﾞt12.5［既存］の上 VP塗［塗膜除去］	下地調整(RB種)の上 EP-G［塗替］
	天井	LGS下地［既存］の上 ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾎﾞｰﾄﾞt5［既存］VP塗[塗膜除去]	下地調整(RB種)の上 EP-G［塗替］

【給食室3】

棟名称、部位		改　修　前	改　修　後　※特記なき場合、新設とする
屋根E	一般部	ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t0.8 折版葺き(ﾎﾞﾙﾄ式 H88@200)［塗膜除去］	折版部：下地調整(RA種) + 鉛ｸﾛﾑﾌﾘｰ錆止(工程A種)の上 DP(1級)［塗替］、
			ﾎﾞﾙﾄ部：下地調整(RA種) + 錆面浸透型ﾌﾟﾗｲﾏｰ + 鉛ｸﾛﾑﾌﾘｰ錆止(工程A種)の上 ﾎﾞﾙﾄｷｬｯﾌﾟ
	ｹﾗﾊﾞ・軒先	屋根同材包み［塗膜除去］	下地調整(RA種) + 鉛ｸﾛﾑﾌﾘｰ錆止(工程A種)の上 DP(1級)［塗替］
	外壁ｴﾌﾟﾛﾝ	屋根同材面戸［塗膜除去］	下地調整(RA種) + 鉛ｸﾛﾑﾌﾘｰ錆止(工程A種)の上 DP(1級)［塗替］
	軒樋	塩ﾋﾞ被覆鋼板 W120［撤去］	塩ﾋﾞ被覆鋼板 前高W120
外壁	外壁D	押出成形板t55の上 複層塗材E［水洗いｴﾁ］	可とう形改修塗材E(厚付)
	外壁E	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放の上 複層塗材E［高圧水洗工法］	下地調整(C-2)の上 防水型複層塗材E(ゆず肌)
	基礎巾木B	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放［既存］	水洗(高圧ﾎﾞﾝﾌﾞ)の上 ﾌｯ素樹脂ｸﾘｱ塗装

部位		改　修　前	改　修　後　※特記なき場合、新設とする
軒天	軒天G	折版裏現し［既存］	―
竪樋	竪樋C	VP管［撤去］	ｶﾗｰVP100
その他	食材搬入ｽﾃｰｼﾞ	ﾓﾙﾀﾙ塗［既存］、磁器質段鼻ﾀｲﾙ［撤去］、	ｹﾚﾝ清掃 + ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ塗の上 ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ(屋外、耐湿、防滑)、SUS製ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ(ﾀｲﾔﾚｽ) W35、
		ｺﾞﾑ製ｸｯｼｮﾝｽﾄｯﾊﾟｰ［撤去］	ｺﾞﾑ製ｸｯｼｮﾝｽﾄｯﾊﾟｰ H100
検収室2	壁	押出成形ｾﾒﾝﾄ板t60の上 複層塗材E［水洗いｴﾁ］	可とう形改修塗材E(薄付)
	天井	LGS下地［既存］の上 ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾎﾞｰﾄﾞt5［既存］VP塗[塗膜除去]	下地調整(RB種)の上 EP-G［塗替］

【北校舎2】

棟名称、部位		改　修　前	改　修　後　※特記なき場合、新設とする
屋上B	平場	アスファルト防水(D-1)［既存］の上 砂利敷きt60［撤去］、砂利止めPCﾌﾞﾛｯｸ W120×H80［撤去］、	ｹﾚﾝ清掃 + ｱｽﾌｧﾙﾄ系下地調整材の上 ｱｽﾌｧﾙﾄ防水(D-1、常温複合工法)、SUS製脱気筒
		SUS製脱気筒［撤去］	
	立上(下)	アスファルト防水(D-1)［撤去］、ｱﾙﾐ防水押え金物 W15×H30［撤去］	ｹﾚﾝ清掃 + ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙの上 ｱｽﾌｧﾙﾄ防水(D-1、常温複合工法)、
			ｱﾙﾐ水切金物 W30×H100、ｱﾙﾐ防水押え金物 W15×H30
	立上(上)	防水ﾓﾙﾀﾙ塗［撤去］	下地調整(C-2)の上 防水型複層塗材E(ゆず肌)
	笠木	ｱﾙﾐ製 W250［取外］	ｱﾙﾐ製 W250［再取付］
	ﾄﾞﾚﾝ	鋳鉄製ﾀﾃ・ﾖｺ引き Φ100用［既存］	改修用銅製ﾀﾃ引き □365(既存Φ100用、ｽﾄﾚｰﾅｰとも)
			改修用銅製ｴｺ引き W300×H175(既存Φ100用、ｽﾄﾚｰﾅｰとも)
	煙突	立上(下・上)に同じ、陣笠:SUS製 PL-2.0［取外］	立上(下・上)に同じ、陣笠:SUS製 PL-2.0［再取付］+ 煙突穴塞ぎ(発泡ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑA種1 t50)
外壁	外壁B	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放の上 防水型複層塗材E［高圧水洗工法］	下地調整(C-2)の上 防水型複層塗材E(ゆず肌)
	基礎巾木A	ﾓﾙﾀﾙ塗［既存］	水洗(高圧ﾎﾞﾝﾌﾞ)の上 ﾌｯ素樹脂ｸﾘｱ塗装
軒天	軒天C	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放の上 外装薄塗材E［高圧水洗工法］	外装薄塗材E
	軒天D	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放の上 防水型複層塗材E［高圧水洗工法］	下地調整(C-2)の上 防水型複層塗材E(ゆず肌)
竪樋	竪樋A	SGP(白ｶﾞｽ管)［塗膜除去］、支持金具［撤去］	下地調整(RA種) + 鉛ｸﾛﾑﾌﾘｰ錆止(工程A種)の上 DP(1級)［塗替］、SUS製支持金具#1200
ﾃﾗｽB	床、階段	陶器質300角ﾀｲﾙ［既存］	水洗(高圧ﾎﾞﾝﾌﾞ)
	花壇	ﾘﾌﾞ付型枠ｺﾝｸﾘｰﾄ打放の上 防水型複層塗材E［高圧水洗工法］	下地調整(C-2)の上 防水型複層塗材E(ゆず肌)

部位		改　修　前	改　修　後　※特記なき場合、新設とする
ﾊﾞﾙｺﾆｰB	床	防水ﾓﾙﾀﾙ塗［既存］	ｹﾚﾝ清掃 + ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙの上 ｳﾚﾀﾝ系塗膜防水(X-2、防滑)
	手すり壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放の上 防水型複層塗材E［高圧水洗工法］	下地調整(C-2)の上 防水型複層塗材E(ゆず肌)
	笠木	PC版 200×40［撤去］	ｱﾙﾐ製 W200
	手すり	SGP32A OP塗［塗膜除去］、ﾌﾞﾗｹｯﾄ:SGP25A OP塗#1200［塗膜除去］	下地調整(RA種) + 鉛ｸﾛﾑﾌﾘｰ錆止(工程A種)の上 DP(1級)［塗替］
	ﾄﾞﾚﾝ	鋳鉄製ﾀﾃ引き中継 Φ100用［既存］	-
EXP.ｼﾞｮｲﾝﾄｰA	屋根-屋根	ｱﾙﾐ製(既製品) W500(100用)［取外］	同左［再取付］
	外壁-外壁	ｱﾙﾐ製(既製品) W220(100用)［取外］(軒天とも)	同左［再取付］
	外壁ｺｰﾅｰ	ｱﾙﾐ製(既製品) W160+50(100用)［取外］(軒天とも)	同左［再取付］
	床-床	ｱﾙﾐ製(既製品) W320(100用)［取外］	同左［再取付］
	床ｺｰﾅｰ	ｱﾙﾐ製(既製品) W160+60(100用)［取外］	同左［再取付］
その他	窓台水切A	防水ﾓﾙﾀﾙ塗［既存］	ｹﾚﾝ清掃 + ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ塗の上 ｳﾚﾀﾝ系塗膜防水(X-2)
	犬走	ﾓﾙﾀﾙ塗(目地切)［既存］	水洗い(高圧ﾎﾞﾝﾌﾞ)
建具	AW	ｱﾙﾐ製窓［撤去(撤去工法)］+ 建具廻り仕上［撤去］	ｺﾝｸﾘｰﾄ腰壁 ［新設］の上 ｱﾙﾐ製窓［新設］+ 建具廻り仕上［新設］
	GB	ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ［破損部撤去］	破損部更新の上 ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ用ｳﾚﾀﾝ系塗膜防水
教室	ﾛｯｶｰ	児童用ﾛｯｶｰ［撤去］	児童用ﾛｯｶｰ ﾎﾟﾘ合板ﾌﾗｯｼｭt20
	壁	ﾓﾙﾀﾙ塗［既存］、掲示用ｸﾛｽ［撤去］	掲示用ｸﾛｽ張り

【東校舎、渡り廊下2】

棟名称、部位		改　修　前	改　修　後　※特記なき場合、新設とする
屋上C	平場	ｲｿｼﾝｱﾇﾚｰﾄﾌｫｰﾑt25［既存］+ ｱｽﾌｧﾙﾄ防水［既存］の上 砂利敷きt80［撤去］、	ｹﾚﾝ清掃 + ｱｽﾌｧﾙﾄ系下地調整材の上 ｱｽﾌｧﾙﾄ防水(D-1、常温複合工法)、SUS製脱気筒
		砂利止めPCﾌﾞﾛｯｸ W120×H80［撤去］	
	立上	ｱｽﾌｧﾙﾄ防水［撤去］	ｹﾚﾝ清掃 + ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙの上 ｱｽﾌｧﾙﾄ防水(D-1、常温複合工法)
	笠木	ｱﾙﾐ製 W225［取外］	ｱﾙﾐ製 W225［再取付］
	ﾄﾞﾚﾝ	鋳鉄製ﾀﾃ・ﾖｺ引き Φ80用［既存］	改修用銅製ﾀﾃ引き □365(既存Φ80用、ｽﾄﾚｰﾅｰとも)
			改修用銅製ｴｺ引き W300×H160(既存Φ80用、ｽﾄﾚｰﾅｰとも)
屋根D	平場	ｲｿｼﾝｱﾇﾚｰﾄﾌｫｰﾑt30［既存］+ ｱｽﾌｧﾙﾄ防水［既存］の上 砂利敷きt80［撤去］、	ｹﾚﾝ清掃 + ｱｽﾌｧﾙﾄ系下地調整材の上 ｱｽﾌｧﾙﾄ防水(D-1、常温複合工法)、SUS製脱気筒
		砂利止めPCﾌﾞﾛｯｸ W120×H80［撤去］	
	立上	ｱｽﾌｧﾙﾄ防水［撤去］、一部ｱﾙﾐ水切 W150［取外］、一部ｱﾙﾐ防水押え金物 W15×H30［撤去］	ｹﾚﾝ清掃 + ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙの上 ｱｽﾌｧﾙﾄ防水(D-1、常温複合工法)、
			一部ｱﾙﾐ水切金物 W150［再取付］、一部ｱﾙﾐ防水押え金物 W15×H30
	笠木	ｱﾙﾐ製 W225［取外］	ｱﾙﾐ製 W225［再取付］
	ﾄﾞﾚﾝ	鋳鉄製ﾀﾃ引き Φ80用［既存］	改修用銅製ﾀﾃ引き □365(既存Φ80用、ｽﾄﾚｰﾅｰとも)
屋根F	平場	ｲｿｼﾝｱﾇﾚｰﾄﾌｫｰﾑt30［既存］+ ｱｽﾌｧﾙﾄ防水［既存］の上 砂利敷きt80［撤去］、	ｹﾚﾝ清掃 + ｱｽﾌｧﾙﾄ系下地調整材の上 ｱｽﾌｧﾙﾄ防水(D-1、常温複合工法)、SUS製脱気筒
		砂利止めPCﾌﾞﾛｯｸ W120×H80［撤去］	
	立上	ｱｽﾌｧﾙﾄ防水［撤去］、ｱﾙﾐ水切 W150［取外］、ｱﾙﾐ防水押え金物 W15×H30［撤去］	ｹﾚﾝ清掃 + ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙの上 ｱｽﾌｧﾙﾄ防水(D-1、常温複合工法)、
			ｱﾙﾐ水切金物 W150［再取付］、ｱﾙﾐ防水押え金物 W15×H30
	笠木	ｱﾙﾐ製 W225［取外］	ｱﾙﾐ製 W225［再取付］
	ﾄﾞﾚﾝ	鋳鉄製ｴｺ引き Φ80用［既存］	改修用銅製ｴｺ引き W300×H160(既存Φ80用、ｽﾄﾚｰﾅｰとも)
庇B	平場	合成高分子系ｼｰﾄ防水t2.0(S-F2)［撤去］	ｹﾚﾝ清掃 + ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙの上 ｳﾚﾀﾝ系塗膜防水(X-2)
	立上	合成高分子系ｼｰﾄ防水t2.0(S-F2)［撤去］、一部ｱﾙﾐ水切 W150［取外］、	ｹﾚﾝ清掃 + ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙの上 ｳﾚﾀﾝ系塗膜防水(X-2)、一部ｱﾙﾐ水切金物 W150［再取付］
		一部ｱﾙﾐ防水押え金物 W15×H30［撤去］	
	笠木	ｱﾙﾐ製 W75(ｴｯｼﾞﾀｲﾌﾟ)［取外］	ｱﾙﾐ製 W75(ｴｯｼﾞﾀｲﾌﾟ)［再取付］
	ﾄﾞﾚﾝ	鋳鉄製ﾀﾃ引き Φ80用［既存］	改修用銅製ﾀﾃ引き □365(既存Φ80用、ｽﾄﾚｰﾅｰとも)
外壁	外壁A	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放の上 複層塗材E［高圧水洗工法］	下地調整(C-2)の上 防水型複層塗材E(ゆず肌)
	基礎巾木B	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放［既存］	水洗(高圧ﾎﾞﾝﾌﾞ)の上 ﾌｯ素樹脂ｸﾘｱ塗装

部位		改　修　前	改　修　後　※特記なき場合、新設とする
軒天	軒天E	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放の上 複層塗材E［高圧水洗工法］	外装薄塗材E
	軒天F	LGS下地［撤去］の上 ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙ板t5 VP塗［撤去］	LGS(25型)の上 ｹｲｶﾙ板t6(目透し) EP-G塗
竪樋	竪樋B	ｽﾃﾝﾚｽ管［既存］	-
ﾃﾗｽC	床、階段	陶器質300角ﾀｲﾙ［既存］	水洗い(高圧ﾎﾞﾝﾌﾞ)
	花壇	ﾘﾌﾞ付型枠ｺﾝｸﾘｰﾄ打放の上 複層塗材E［高圧水洗工法］	下地調整(C-2)の上 防水型複層塗材E(ゆず肌)
ﾊﾞﾙｺﾆｰC	床	防水ﾓﾙﾀﾙ塗［既存］	ｹﾚﾝ清掃 + ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙの上 ｳﾚﾀﾝ系塗膜防水(X-2、防滑)
	手すり壁	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放の上 複層塗材E［高圧水洗工法］	下地調整(C-2)の上 防水型複層塗材E(ゆず肌)
	笠木	ｱﾙﾐ製 W200［既存］	-
	手すり	ｽﾃﾝﾚｽ管 Φ34×t3.0［既存］、ﾌﾞﾗｹｯﾄ:SUS丸鋼 Φ22 #1200［既存］	-
	ﾄﾞﾚﾝ	鋳鉄製ﾀﾃ引き中継 Φ80用［既存］	-
ﾎﾞｰﾁB	床、階段	磁器質150角ﾀｲﾙ［既存］	水洗い(高圧ﾎﾞﾝﾌﾞ)
	靴洗い	防水ﾓﾙﾀﾙ塗［既存］、SUS製ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ480×960［既存］、甲板:御影石W200×t20［既存］	-
EXP.ｼﾞｮｲﾝﾄｰB	屋根-外壁	SUS製(既製品) W300(100用)［取外］	同左［再取付］
	外壁-外壁	SUS製(既製品) W210(100用)［取外］(軒天とも)	同左［再取付］
	外壁ｺｰﾅｰ	SUS製(既製品) W160+60(100用)［取外］(軒天とも)	同左［再取付］
その他	窓台水切B	PC版 W400×t40［既存］	ｹﾚﾝ清掃 + ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ塗の上 ｳﾚﾀﾝ系塗膜防水(X-2)、目地ｼｰﾘﾝｸﾞ MS-2 10×10
	犬走	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し［既存］、一部ﾓﾙﾀﾙ塗［撤去］	水洗い(高圧ﾎﾞﾝﾌﾞ)、一部ﾓﾙﾀﾙ塗
建具	GB	ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ［既存］	ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ用ｳﾚﾀﾝ系塗膜防水
廊下	床	ﾓﾙﾀﾙ塗［既存］の上 ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ t12［既存］	ｻﾝﾀﾞｰ研磨 + ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾊﾟ処理の上 ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.5(防滑)、ｱﾙﾐ床見切 W25
	巾木	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H75［撤去］	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H75
教室	ﾛｯｶｰ	児童用ﾛｯｶｰ［撤去］	児童用ﾛｯｶｰ ﾎﾟﾘ合板ﾌﾗｯｼｭt20
	壁	ﾓﾙﾀﾙ塗［既存］、掲示用ｸﾛｽ［撤去］	掲示用ｸﾛｽ張り

【渡り廊下3】

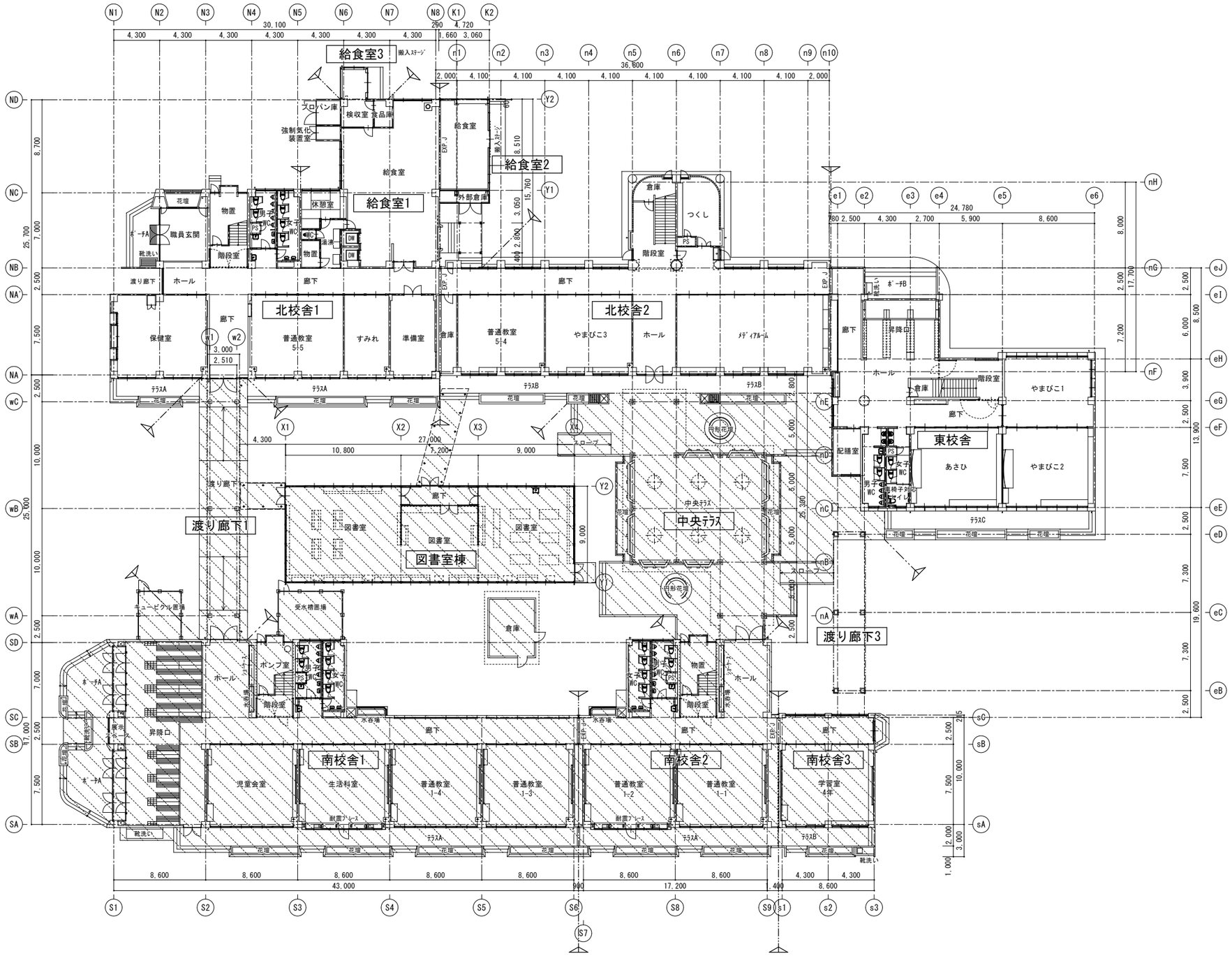
棟名称、部位		改　修　前	改　修　後　※特記なき場合、新設とする
屋上G	平場	合成高分子系ｼｰﾄ防水 t2.0［撤去］の上 ｳﾚﾀﾝ系塗膜防水(X-2)［撤去］	ｹﾚﾝ清掃 + ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙの上 ｱｽﾌｧﾙﾄ防水(D-1、常温複合工法)、SUS製脱気筒
	立上	合成高分子系ｼｰﾄ防水 t2.0［撤去］の上 ｳﾚﾀﾝ系塗膜防水(X-2)［撤去］	ｹﾚﾝ清掃 + ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙの上 ｱｽﾌｧﾙﾄ防水(D-1、常温複合工法)
	笠木	ｱﾙﾐ製(既製品) W275［取外］	ｱﾙﾐ製 W275［再取付］
	ﾄﾞﾚﾝ	鋳鉄製ｴｺ引き Φ80用［既存］	改修用銅製ｴｺ引き W300×H160(既存Φ80用、ｽﾄﾚｰﾅｰとも)
外壁	外壁E	押出成形ｾﾒﾝﾄ板(ｽﾄﾗｲﾌﾟ柄) t65［既存］の上 複層塗材E［水洗いｴﾁ］	可とう形改修塗材E(厚付仕上)
	柱型B	押出成形ｾﾒﾝﾄ板 t65［既存］の上 複層塗材E［水洗いｴﾁ］	可とう形改修塗材E(厚付仕上)
軒天	軒天E	LGS下地［既存］の上 ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙ板 t5［既存］、SUS製水切金物 W65×H30［既存］	―

部位		改　修　前	改　修　後　※特記なき場合、新設とする
竪樋	竪樋B	SUS製 Φ80［既存］	-
	飾り桝	SUS製 250×220×H220［既存］	-
EXP.ｼﾞｮｲﾝﾄｰB	屋根-外壁	SUS製(既製品) W300(100用)［取外］	同左［再取付］
	外壁-外壁	SUS製(既製品) W210(100用)［取外］(軒天とも)	同左［再取付］
	外壁ｺｰﾅｰ	SUS製(既製品) W160+60(100用)［取外］(軒天とも)	同左［再取付］

設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅰ期)
図面名称	仕上表2
縮　尺	A1:N・S　A3:N・S
年　月	2024.03
設計番号	
図面番号	A－016
承認/赤沼 直幸	
設計者/	一級建築士 第284436号 赤沼 直幸
製図/	西巻 裕太
照査/佐々木 啓文	

SOWA 一級建築士事務所 株式会社 相和技術研究所 宮城県知事登録 第22910116号

01	全体1階平面図	A1:1/200 A3:1/400

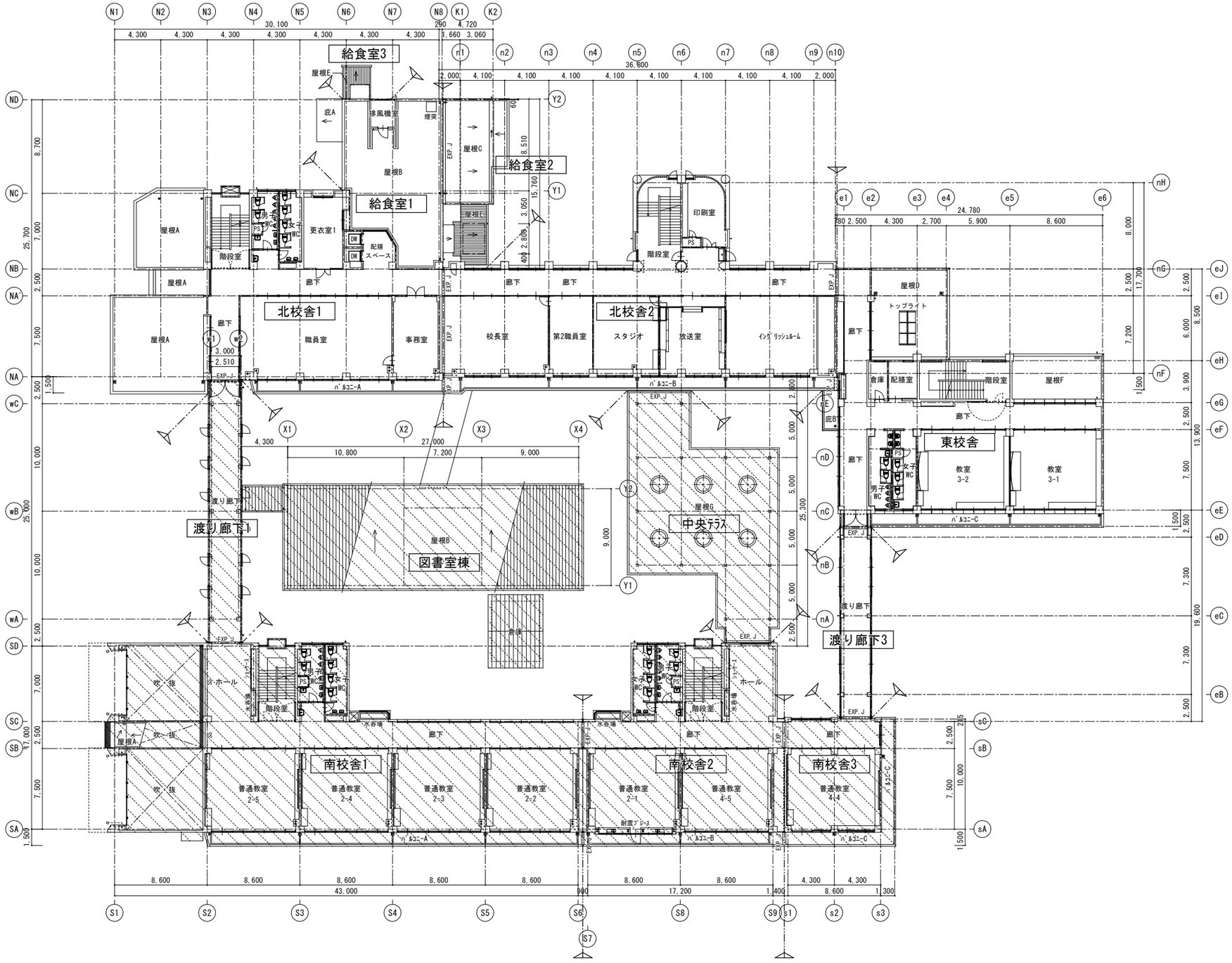


凡例

	：改修範囲外を示す

設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事（第Ｉ期）		
図面名称	全体1階平面図		
縮尺	A1:1/200 A3:1/400	年月 2024.03	設計番号 / 図面番号 A－017
SOWA	一級建築士事務所 株式会社 相和技術研究所 宮城県知事登録 第22910116号	承認/赤沼 直幸	設計者/ 一級建築士 第284436号 赤沼 直幸
		照査/佐々木 啓文	製図/ 西巻 裕太

O 1	全体2階平面図	A1:1/200 A3:1/400



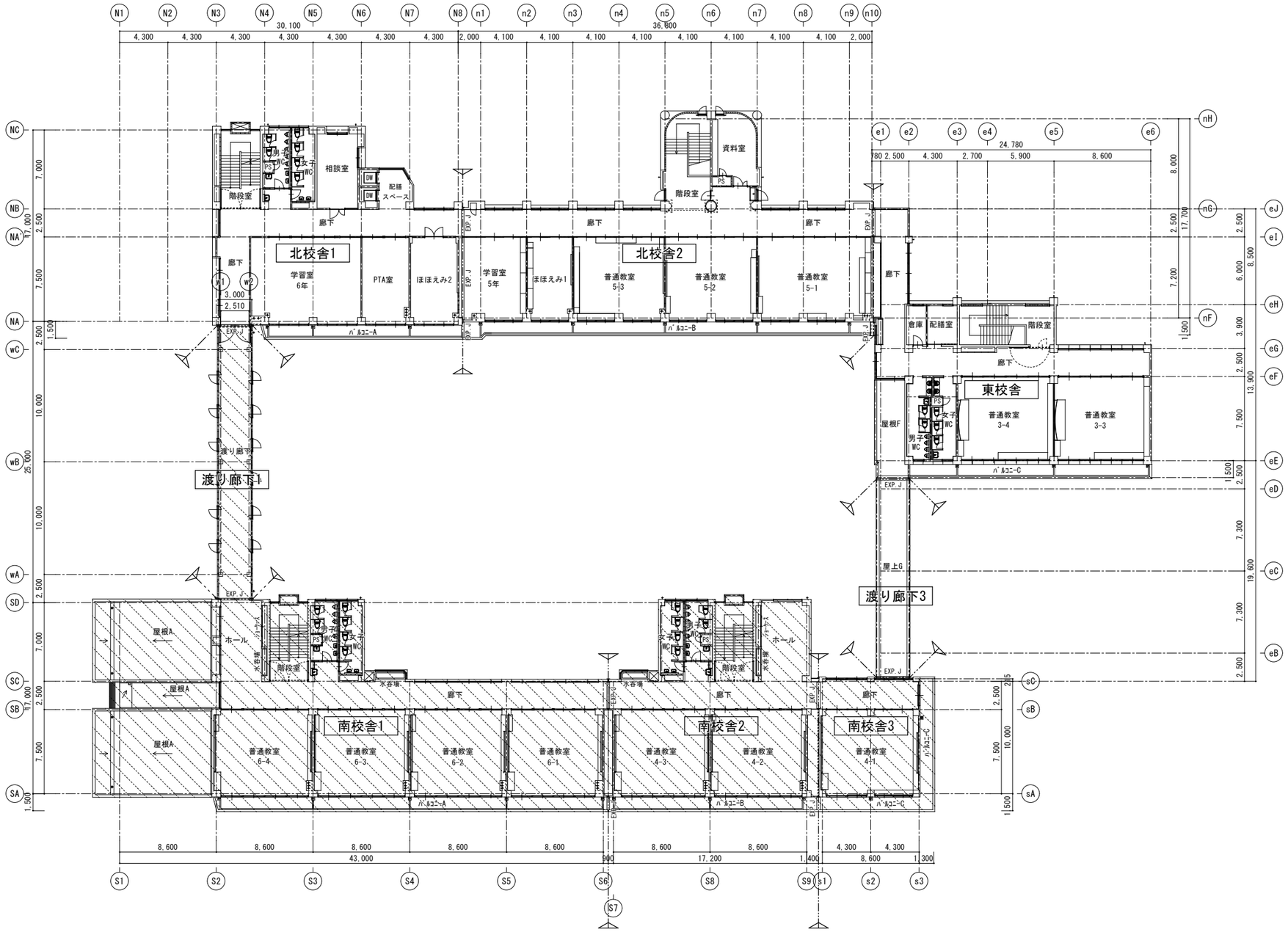
凡例

	：改修範囲外を示す

設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ｉ期)
図面名称	全体2階平面図
縮尺	A1:1/200 A3:1/400
年月	2024.03
設計番号	
図面番号	A －018
承認/赤沼 直幸	設計者/一級建築士 第284436号 赤沼 直幸
照査/佐々木 啓文	製図/西巻 裕太

SOWA 一級建築士事務所 株式会社 相和技術研究所
宮城県知事登録 第22910116号

01	全体3階平面図	A1:1/200 A3:1/400

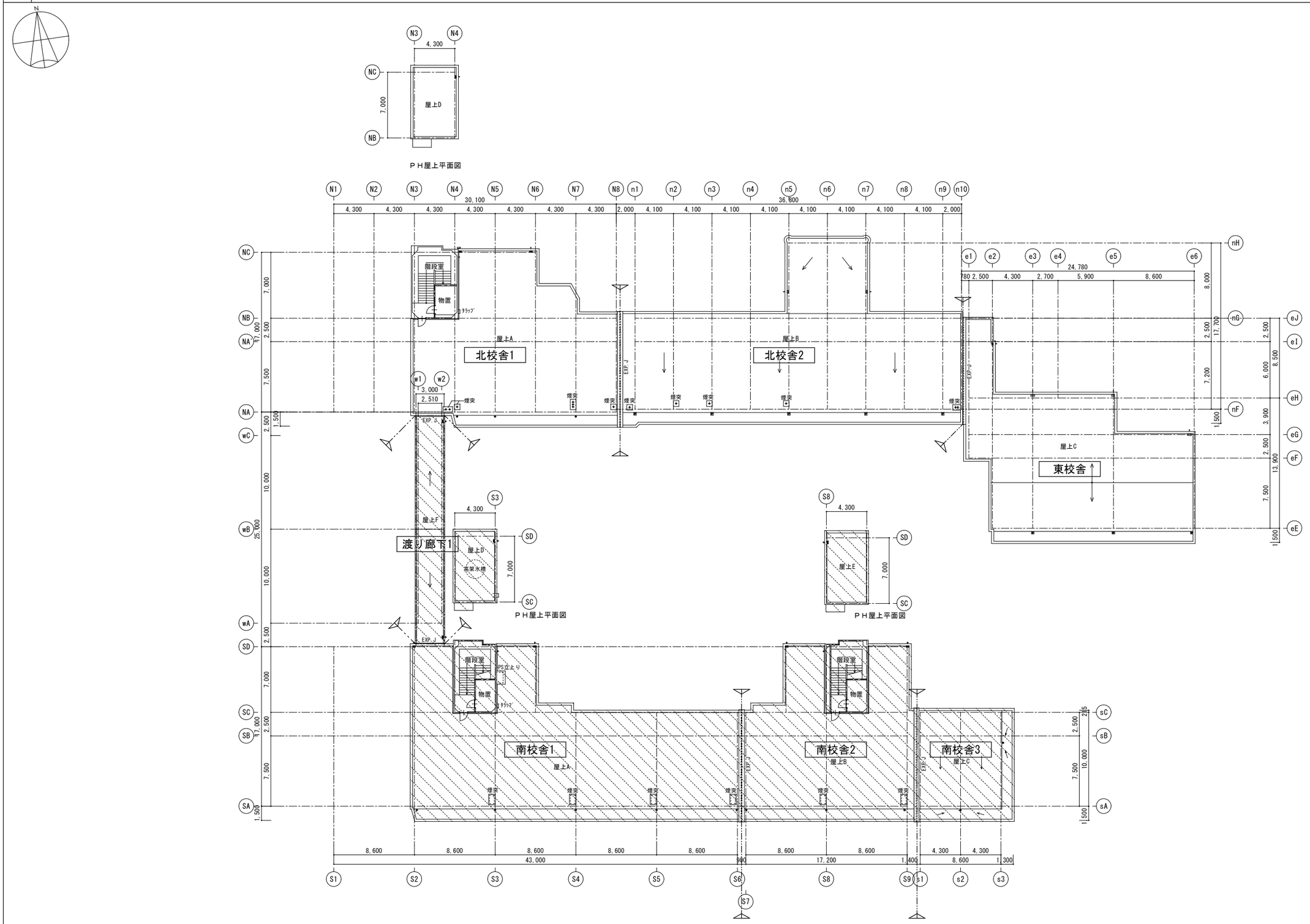


凡例

	：改修範囲外を示す

設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ｉ期)		
図面名称	全体3階平面図		
縮尺	A1:1/200 A3:1/400	年月 2024.03	設計番号 / 図面番号 A－019
SOWA 一級建築士事務所 株式会社 相和技術研究所 宮城県知事登録 第22910116号	承認/赤沼 直幸	設計者/ 一級建築士 第294436号 赤沼 直幸	製図/ 西巻 裕太
	照査/佐々木 啓文		

O 1	全体屋上平面図	A1:1/200 A3:1/400



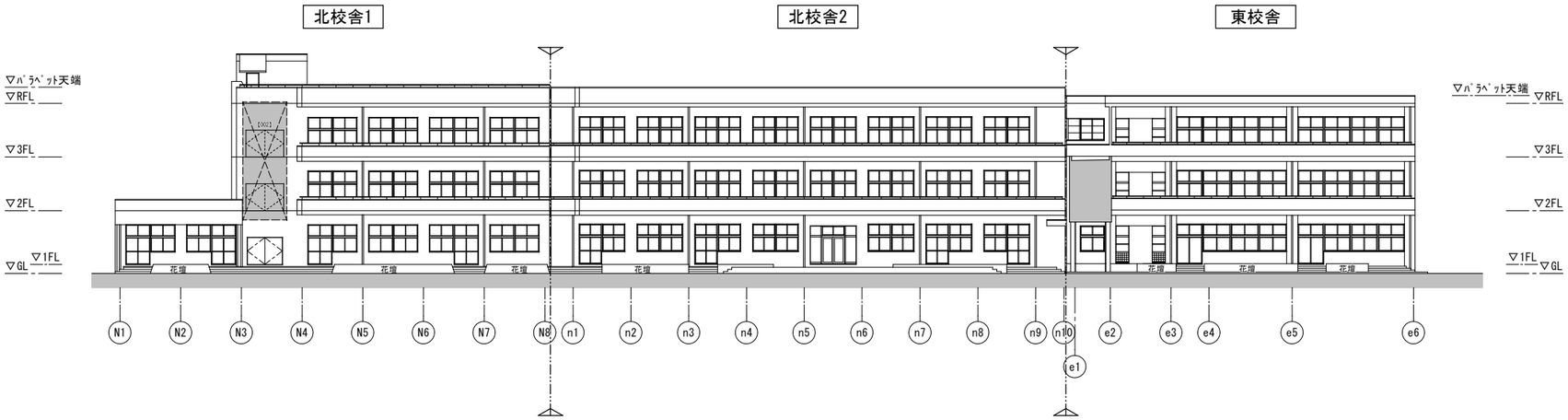
凡例

	：改修範囲外を示す

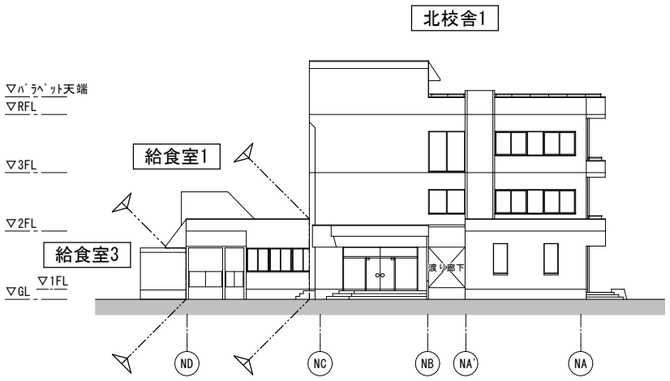
設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事（第Ｉ期）
図面名称	全体屋上平面図
縮尺	A1:1/200 A3:1/400
年月	2024.03
設計番号	
図面番号	A－020
承認/赤沼 直幸	
設計者/一級建築士 第284436号 赤沼 直幸	
製図/西巻 裕太	
照査/佐々木 啓文	

SOWA 一級建築士事務所 株式会社 相和技術研究所 宮城県知事登録 第2291016号

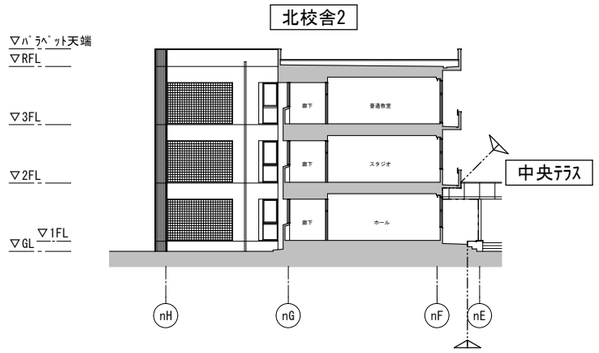
０１	全体南立面図	A1:1/200 A3:1/400



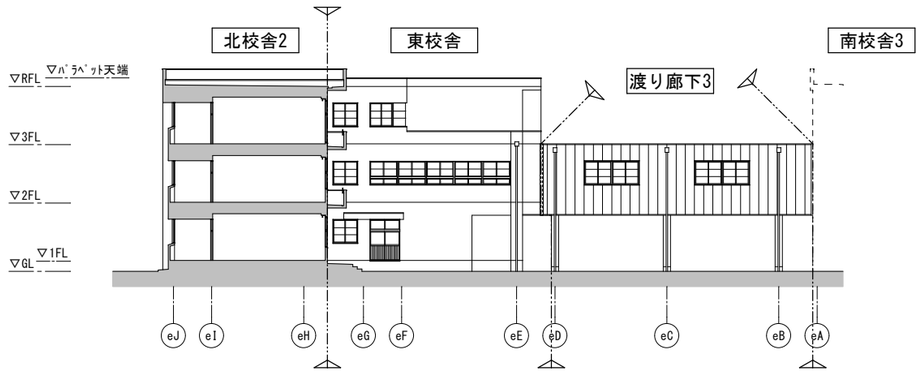
０２	全体西立面図	A1:1/200 A3:1/400



西立面図1



西立面図2



西立面図3

注記

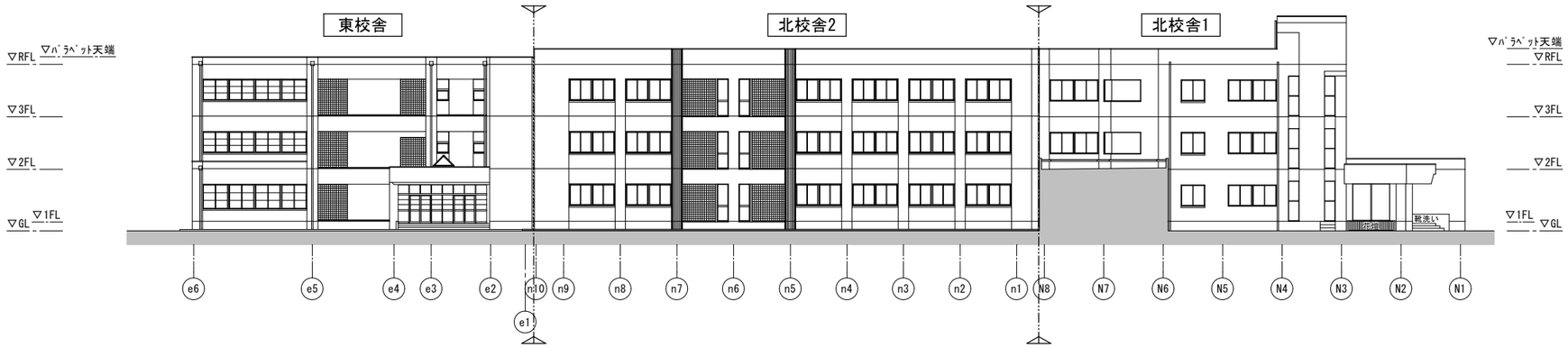
1)改修内容は、改修前後立面図による。

設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ｉ期)
図面名称	全体立面図1
縮尺	A1:1/200 A3:1/400
年月	2024.03
設計番号	
図面番号	A－021
承認/赤沼 直幸	
設計者/	一級建築士 第284436号 赤沼 直幸
製図/	西巻 裕太
照査/髙々木 啓文	

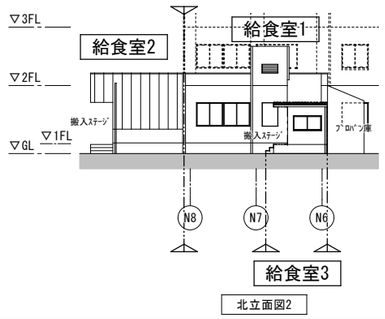
SOWA
一級建築士事務所
株式会社相和技術研究所
総合建設業
宮城県知事登録 第22910116号

01 全体北立面図

A1:1/200
A3:1/400



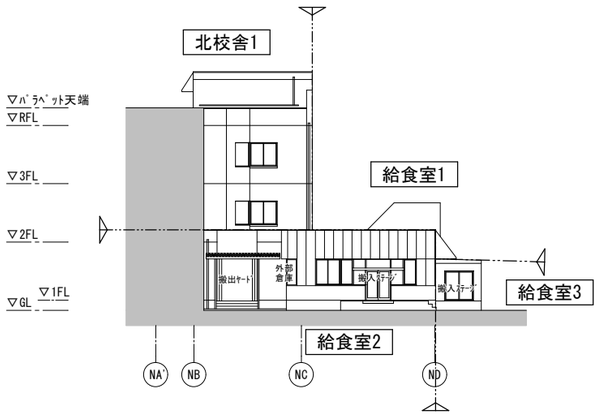
北立面図1



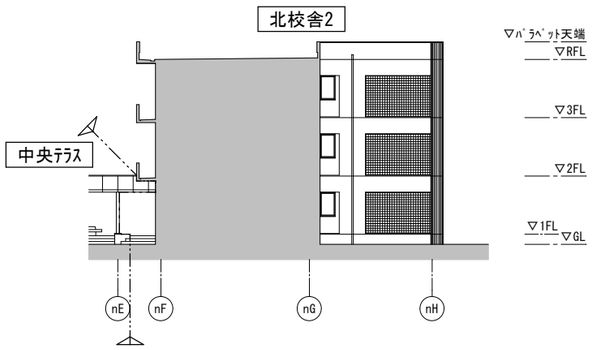
北立面図2

02 全体東立面図

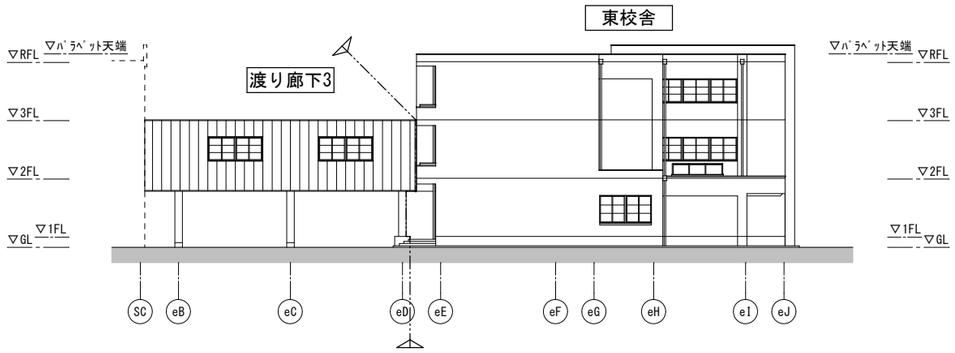
A1:1/200
A3:1/400



東立面図1



東立面図2



東立面図3

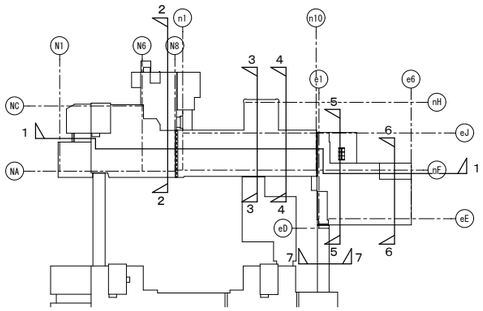
注記

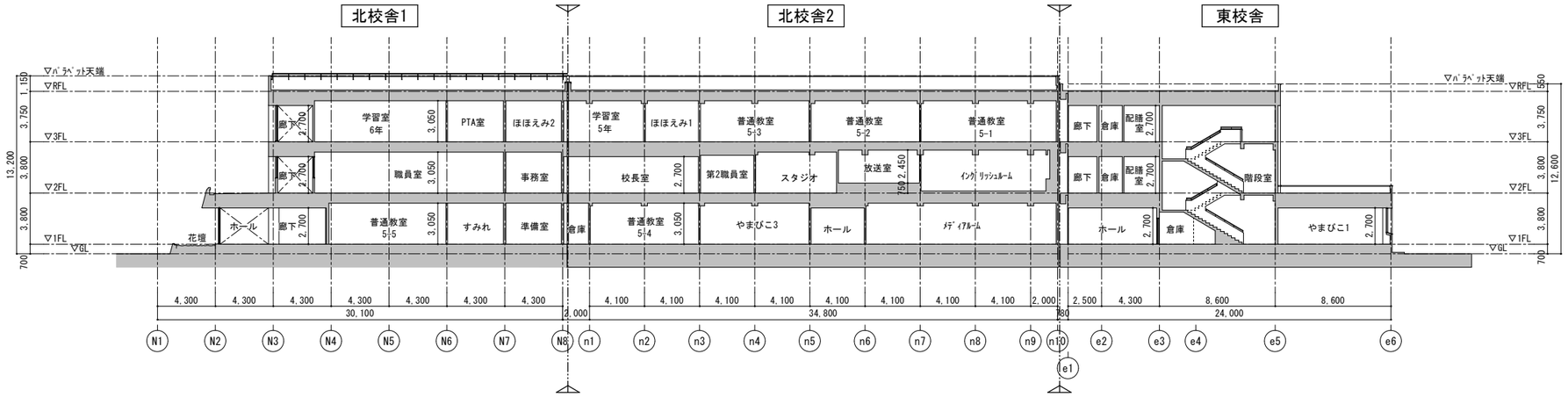
1)改修内容は、改修前後立面図による。

設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ｉ期)
図面名称	全体立面図2
縮尺	A1:1/200 A3:1/400
年月	2024.03
設計番号	
図面番号	A－022
承認/赤沼 直幸	設計者/ 一級建築士 第284436号 赤沼 直幸
照査/荒々木 啓文	製図/ 西巻 裕太

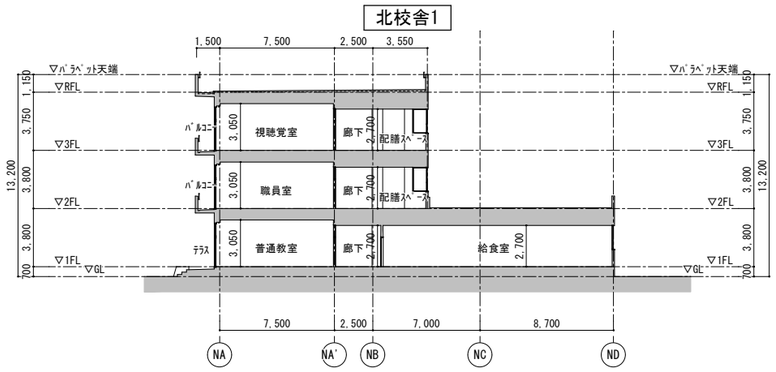
SOWA 一級建築士事務所 株式会社相和技術研究所 総合建設業 宮城県知事登録 第22910116号

A1:1/200
A3:1/400

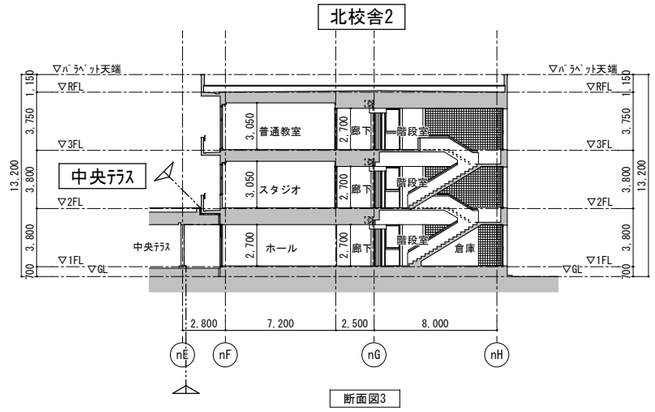




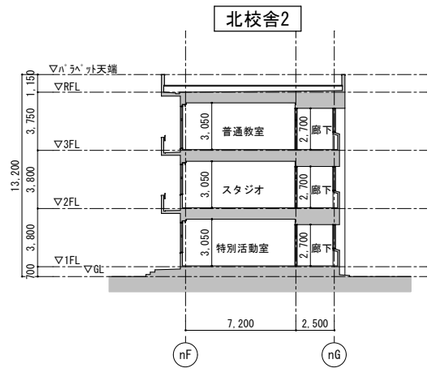
断面図1



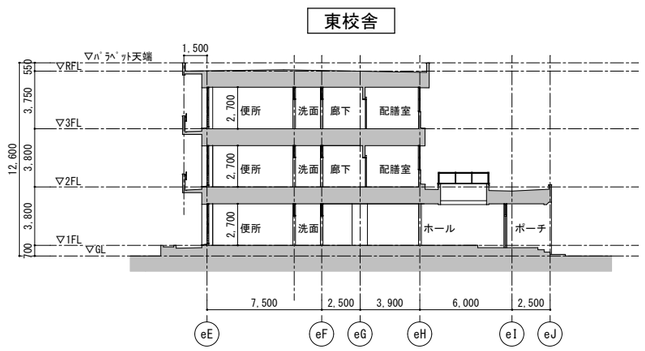
断面図2



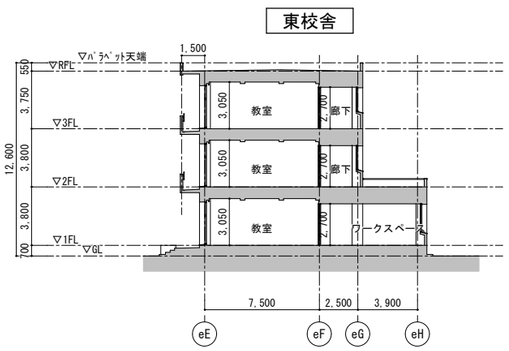
断面図3



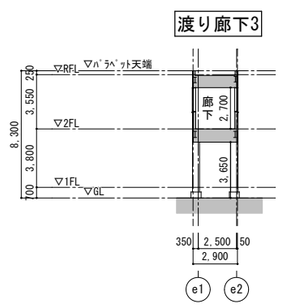
断面図4



断面図5



断面図6



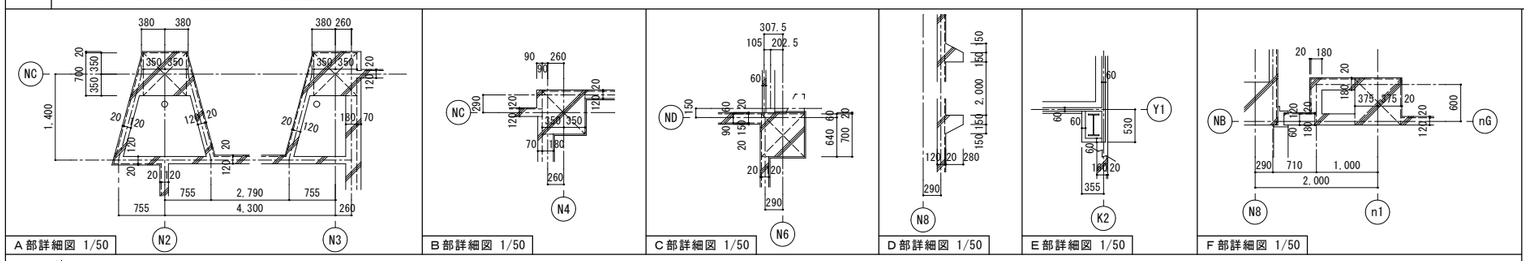
断面図7

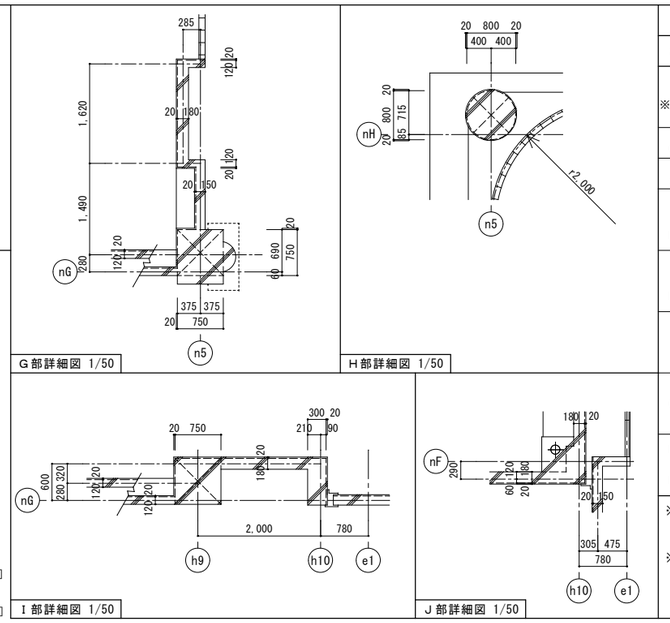
注記

1)改修内容は、改修前後矩計図による。

設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事（第Ｉ期）
図面名称	断面図
縮尺	A1:1/200 A3:1/400
年月	2024.03
設計番号	
図面番号	Ａ－023
承認/	赤沼 喜幸
設計者/	一級建築士 第284436号 赤沼 喜幸
製図/	西巻 裕太
照査/	佐々木 啓文

SOWA 一級建築士事務所 株式会社 相和技術研究所 仙台市若林区 宮城県知事登録 第22910116号





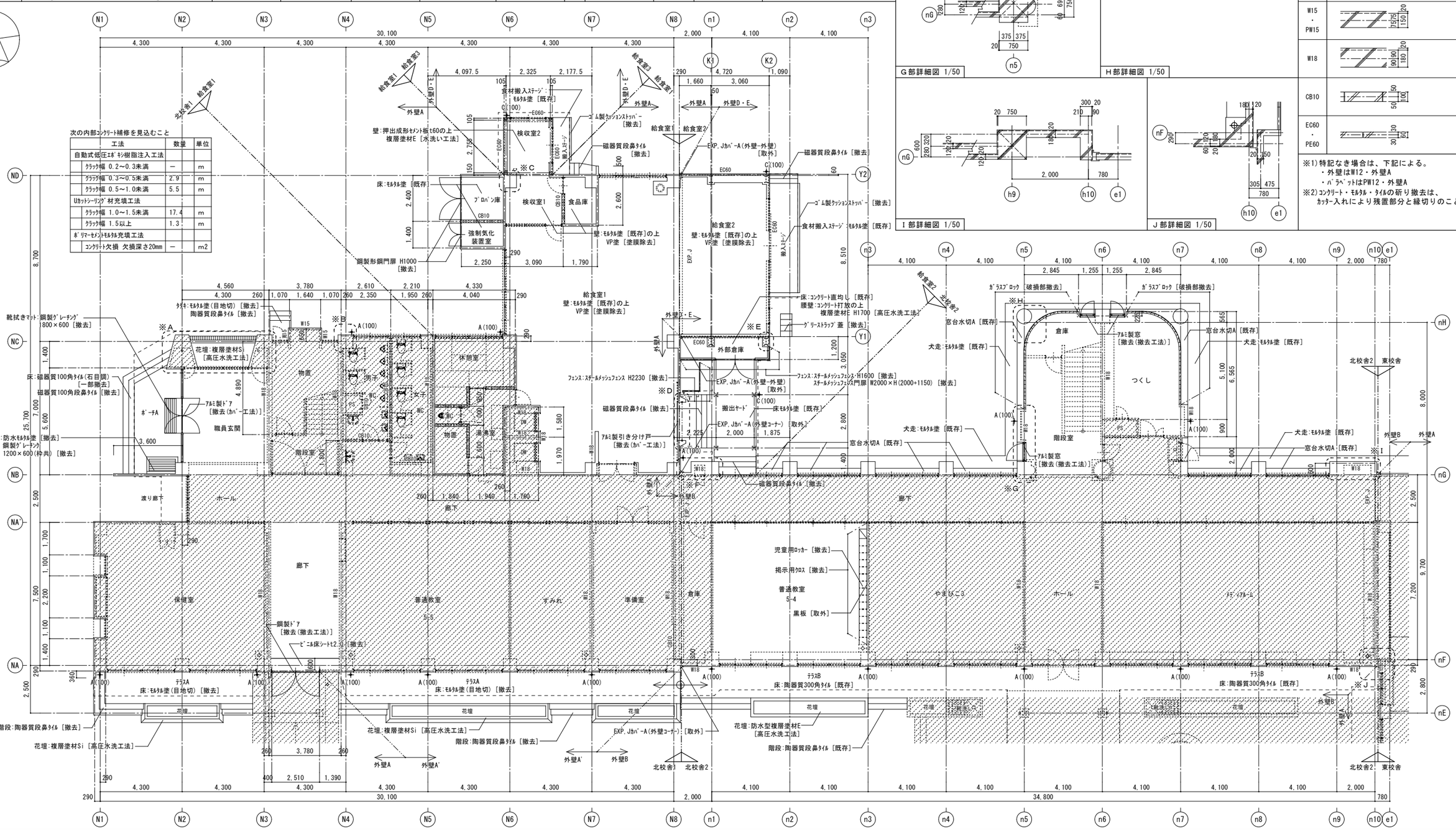
凡例

記号	仕様・寸法
＋ ※(○○)	竪樋 ※は種別、○○は径を示す。 竪樋A:SGP(白ｶﾞｽ管) [塗膜除去]、支持金具 [撤去] 竪樋B:ｽﾃﾝﾚｽ管 [既存] 竪樋C:VP管 [撤去]
図 ○○	鋳鉄製ﾀﾃ引きﾄﾞﾚﾝ [既存] ○○は径を示す。
図 ○○	鋳鉄製ﾖｺ引きﾄﾞﾚﾝ [既存] ○○は径を示す。
W12・PW12	
W15・PW15	
W18	
CB10	
EC60・PE60	

※1)特記なき場合は、下記による。
・外壁はW12・外壁A
・ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄはPW12・外壁A
※2)ｺﾝｸﾘｰﾄ・ﾓﾙﾀﾙ・ﾀｲﾙの斫り撤去は、ｶｯﾀｰ入れにより残置部分と縁切りのこと。

次の内部ｺﾝｸﾘｰﾄ補修を見込むこと

工法	数量	単位
自動式低圧ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法		
ｸﾗｯｸ幅 0.2～0.3未満	―	m
ｸﾗｯｸ幅 0.3～0.5未満	2.9	m
ｸﾗｯｸ幅 0.5～1.0未満	5.5	m
Uｶｯﾄｼｰﾘﾝｸﾞ材充填工法		
ｸﾗｯｸ幅 1.0～1.5未満	17.4	m
ｸﾗｯｸ幅 1.5以上	1.3	m
ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ充填工法		
ｺﾝｸﾘｰﾄ欠損 欠損深さ20mm	―	m2

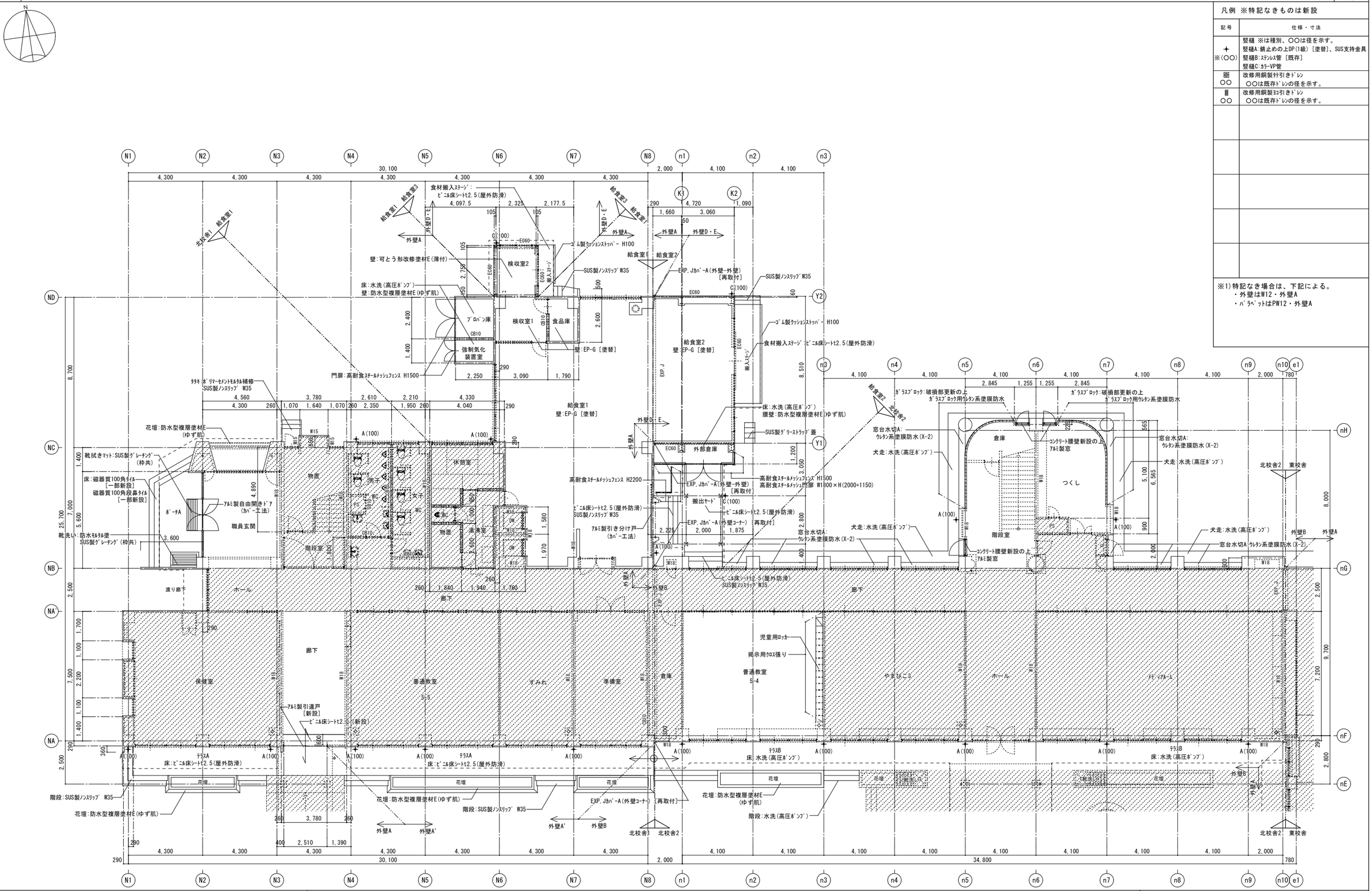


凡　例			注　記
	改修範囲外の部分を示す		
	既存のままの部分を示す		

設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅰ期)
図面名称	【改修前】1階平面図1（北校舎1・2、給食室1・2・3）
縮尺	A1:1/100 A3:1/200
年月	2024.03
設計番号	
図面番号	A－024
承認/赤沼 直幸	設計者/一級建築士 第284436号 赤沼 直幸
照査/佐々木 啓文	製図/西巻 裕太

SOWA 一級建築士事務所 株式会社 相和技術研究所 仙台事務所 宮城県知事登録 第22910116号

01	【改修後】1階平面図（北校舎1・2、給食室1・2・3）	A1:1/100 A3:1/200



凡例 ※特記なきものは新設

記号	仕様・寸法
＋ ※(○○)	竪樋 ※は種別、○○は径を示す。 竪樋A:錆止めの上DP(1級) [塗替]、SUS支持金具 竪樋B:ｽﾃﾝﾚｽ管 [既存] 竪樋C:ｶﾗｰVP管
図 ○○	改修用鋼製ﾀﾃ引きﾄﾞﾚﾝ ○○は既存ﾄﾞﾚﾝの径を示す。
Ⅲ ○○	改修用鋼製ﾖｺ引きﾄﾞﾚﾝ ○○は既存ﾄﾞﾚﾝの径を示す。

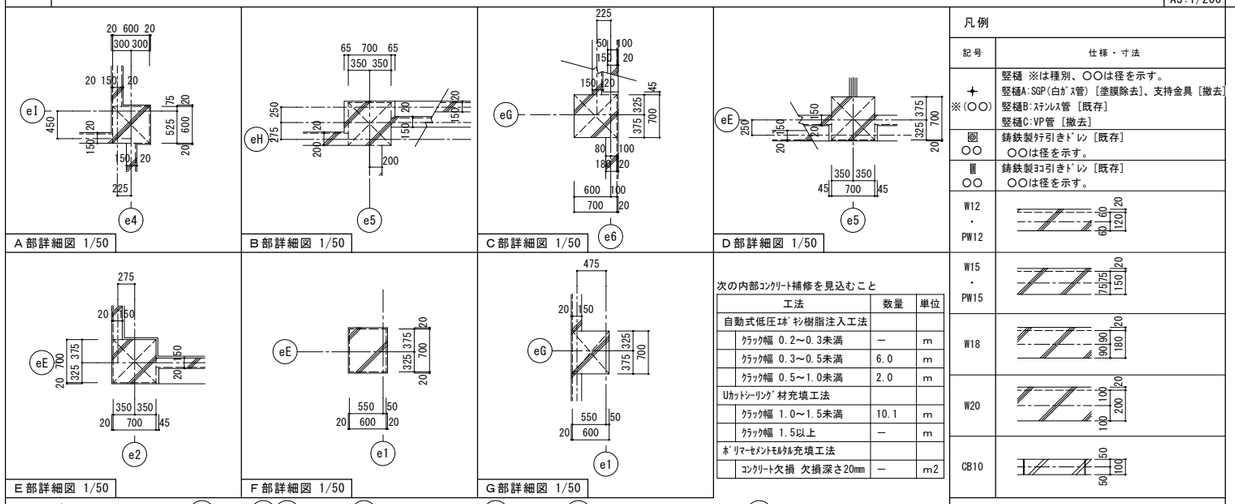
※1)特記なき場合は、下記による。
・外壁はW12・外壁A
・ﾊﾞﾗﾍﾟｯﾄはPW12・外壁A

凡　例			注　記
	改修範囲外の部分を示す		
	既存のままの部分を示す		

設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅰ期)
図面名称	【改修後】1階平面図1（北校舎1・2、給食室1・2・3）
縮　尺	A1:1/100 A3:1/200
年　月	2024.03
設計番号	
図面番号	A－025
SOWA	一級建築士事務所 株式会社 相和技術研究所 仙台事務所 宮城県知事登録 第22910116号
承認/赤沼 直幸	設計者/一級建築士 第284436号 赤沼 直幸
照査/佐々木 啓文	製図/西巻 裕太

01 【改修前】1階平面図（東校舎）

A1:1/100
A3:1/200



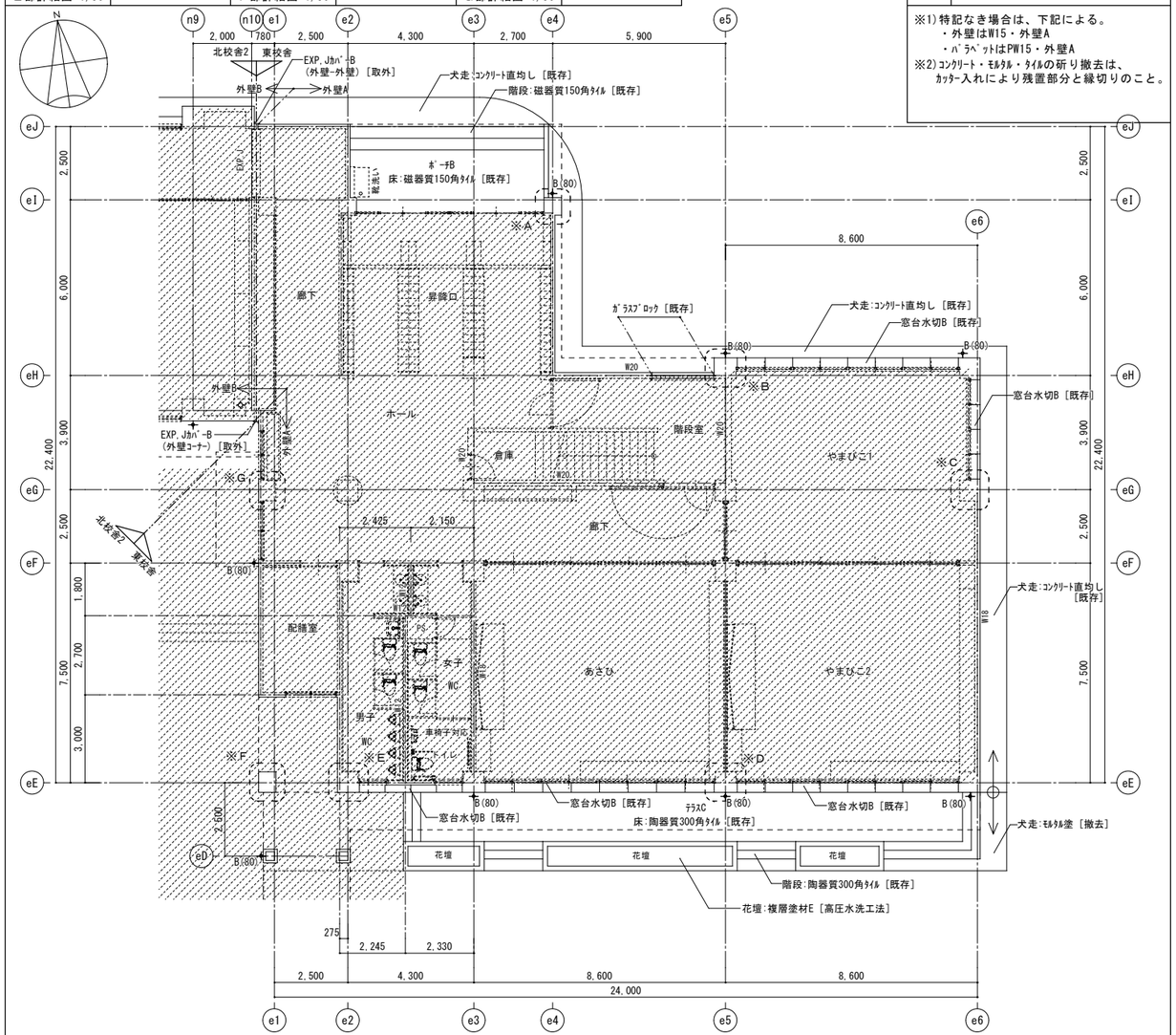
次の内部ｺﾝｸﾘｰﾄ補修を見込むこと

工法	数量	単位
自動式低圧ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法		
ｸﾗｯｸ幅 0.2～0.3未満	—	m
ｸﾗｯｸ幅 0.3～0.5未満	6.0	m
ｸﾗｯｸ幅 0.5～1.0未満	2.0	m
Uｶｯﾄｼｰﾘﾝｸﾞ材充填工法		
ｸﾗｯｸ幅 1.0～1.5未満	10.1	m
ｸﾗｯｸ幅 1.5以上	—	m
ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ充填工法		
ｺﾝｸﾘｰﾄ欠損 欠損深さ20mm	—	m2

凡例

記号	仕様・寸法
＋ ※(○○)	竪樋 ※は種別、○○は径を示す。 竪樋A:SGP(白ｶﾞｽﾞ管)［塗膜除去］、支持金具［撤去］ 竪樋B:ｽﾃﾝﾚｽ管［既存］ 竪樋C:VP管［撤去］
囲 ○○	鋳鉄製ﾀﾃ引きﾄﾞﾚﾝ［既存］ ○○は径を示す。
圓 ○○	鋳鉄製ﾖｺ引きﾄﾞﾚﾝ［既存］ ○○は径を示す。
W12・PW12	
W15・PW15	
W18	
W20	
CB10	

※1)特記なき場合は、下記による。
・外壁はW15・外壁A
・ﾊﾞﾗﾍﾟｯﾄはPW15・外壁A
※2)ｺﾝｸﾘｰﾄ・ﾓﾙﾀﾙ・ﾀｲﾙの斫り撤去は、
ｶｯﾀｰ入れにより残置部分と縁切りのこと。



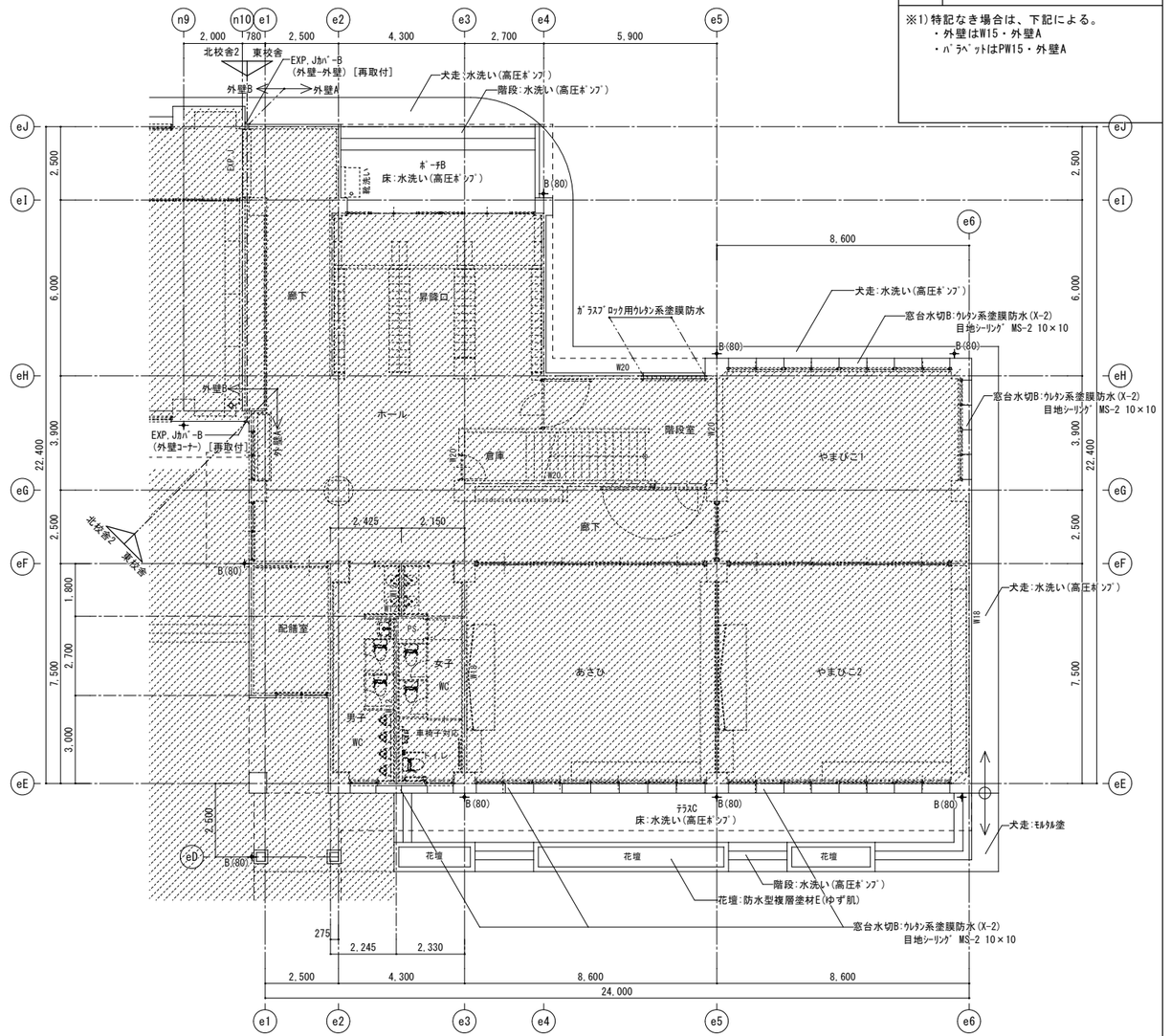
02 【改修後】1階平面図（東校舎）

A1:1/100
A3:1/200

凡例 ※特記なきものは新設

記号	仕様・寸法
※(○○)	竪樋 ※は種別、○○は径を示す。 竪樋A:鋼止めの上DP(1級)［塗替］、SUS支持金具 竪樋B:ｽﾃﾝﾚｽ管［既存］ 竪樋C:ｶﾗｰVP管
○○	改修用鋼製ﾀﾃ引きﾄﾞﾚﾝ ○○は既存ﾄﾞﾚﾝの径を示す。
○○	改修用鋼製ﾖｺ引きﾄﾞﾚﾝ ○○は既存ﾄﾞﾚﾝの径を示す。

※1)特記なき場合は、下記による。
・外壁はW15・外壁A
・ﾊﾞﾗﾍﾟｯﾄはPW15・外壁A



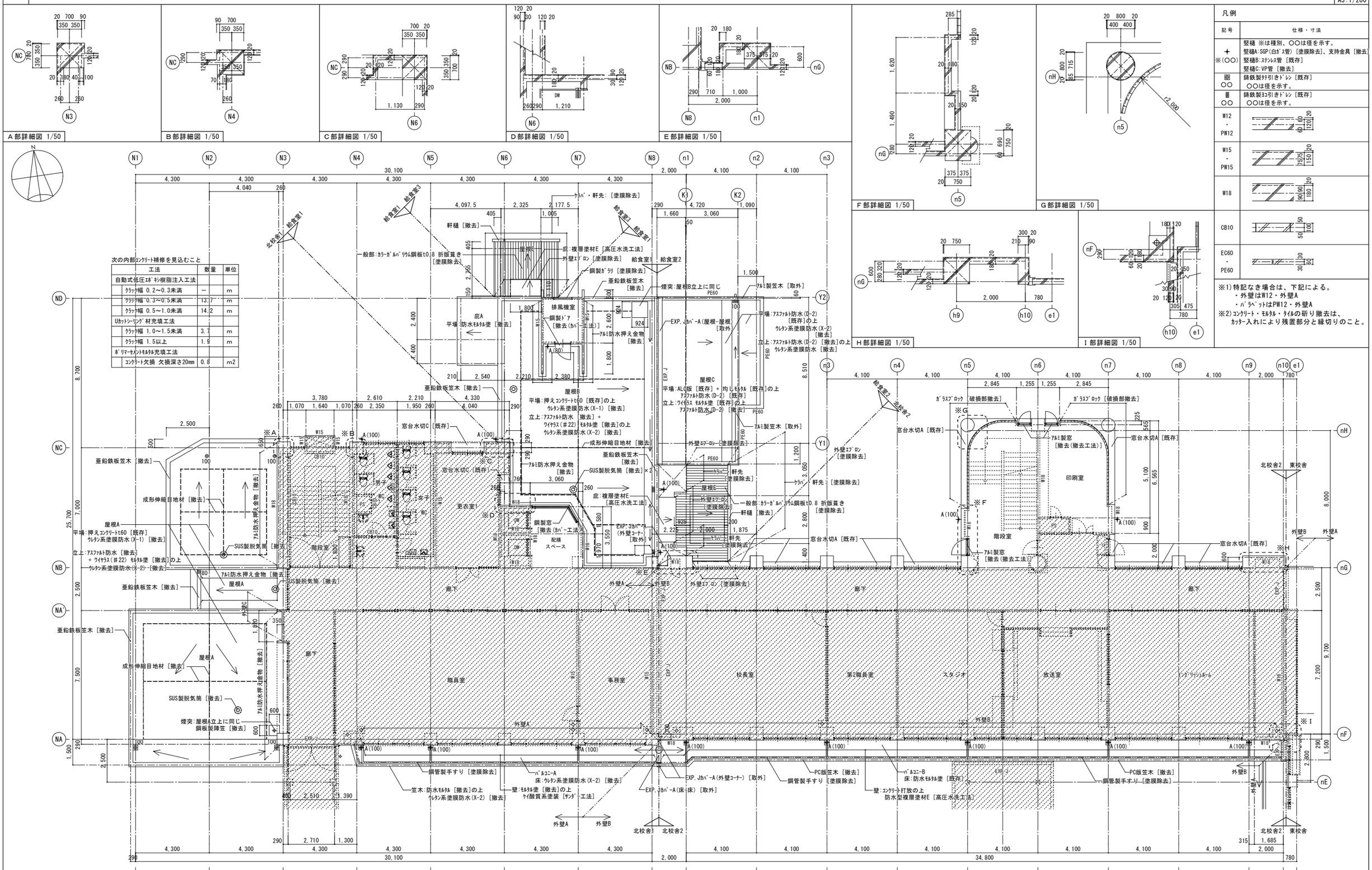
凡例	
改修範囲外の部分を示す	
既存のままの部分を示す	

注記

設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅰ期)
図面名称	【改修前後】1階平面図2（東校舎）
縮尺	A1:1/100 A3:1/200
年月	2024.03
設計番号	
図面番号	A－026
承認/赤沼 喜幸	設計者/一級建築士 第284436号 赤沼 喜幸
照査/佐々木 啓文	製図/西巻 裕太

SOWA 一級建築士事務所 株式会社 相和技術研究所 仙台市若林区 宮城県知事登録 第22910116号

O 1	【改修前】2階平面図（北校舎1・2、給食室1・2・3）	A1:1/100 A3:1/200

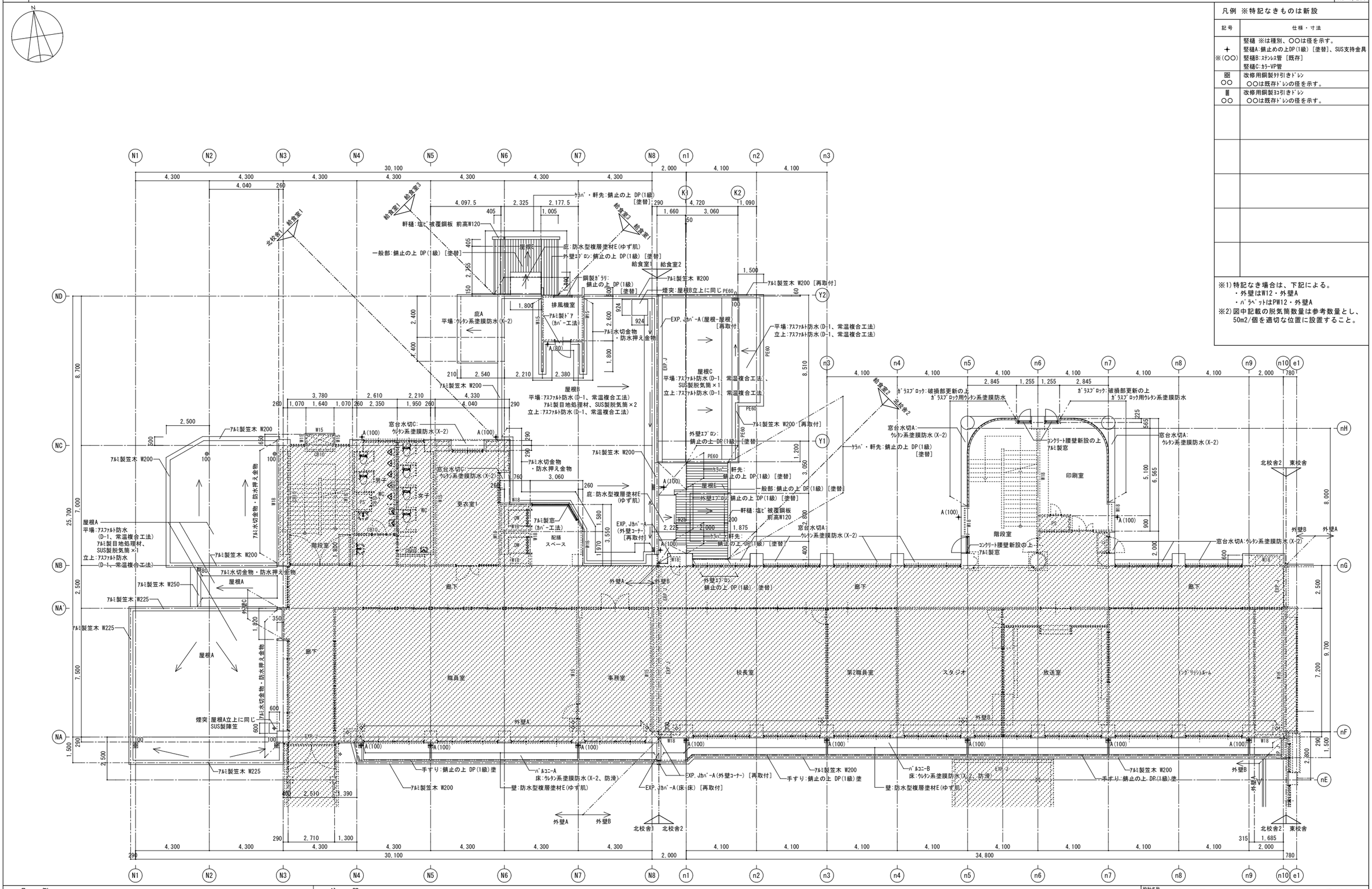


凡　例			注　記
	改修範囲外の部分を示す		
	既存のままの部分を示す		

設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ｉ期)
図面名称	【改修前】2階平面図1（北校舎1・2、給食室1・2・3）
縮　尺	A1:1/100 A3:1/200
年　月	2024.03
設計番号	
図面番号	A－027
承認/赤沼 直幸	設計者/一級建築士 第284436号 赤沼 直幸
製図/西巻 裕太	
照査/佐々木 啓文	

SOWA 一級建築士事務所 株式会社 相和技術研究所 宮城県知事登録 第22910116号

O 1	【改修後】2階平面図（北校舎1・2、給食室1・2・3）	A1:1/100 A3:1/200



凡例 ※特記なきものは新設

記号	仕様・寸法
＋ ※(○○)	竪樋 ※は種別、○○は径を示す。 竪樋A:錆止めの上DP(1級)［塗替］、SUS支持金具 竪樋B:ｽﾃﾝﾚｽ管［既存］ 竪樋C:ｶﾗｰVP管
図 ○○	改修用鋼製ﾀﾃ引きﾄﾞﾚﾝ ○○は既存ﾄﾞﾚﾝの径を示す。
Ⅲ ○○	改修用鋼製ﾖｺ引きﾄﾞﾚﾝ ○○は既存ﾄﾞﾚﾝの径を示す。

※1)特記なき場合は、下記による。
・外壁はW12・外壁A
・ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄはPW12・外壁A
※2)図中記載の脱気筒数量は参考数量とし、50m2/個を適切な位置に設置すること。

凡例

改修範囲外の部分を示す	
既存のままの部分を示す	

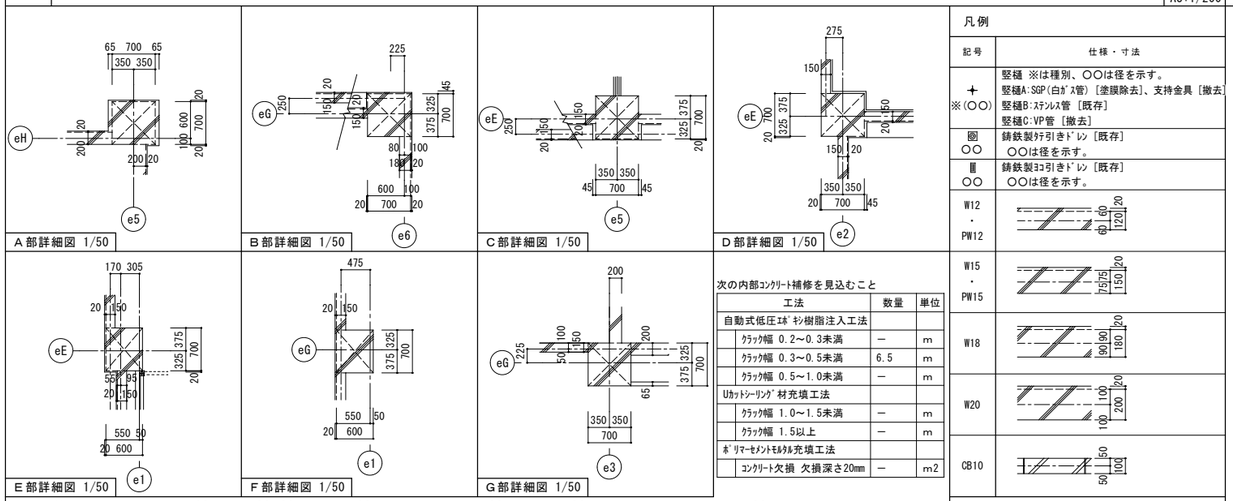
注記

設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅰ期)
図面名称	【改修後】2階平面図1（北校舎1・2、給食室1・2・3）
縮尺	A1:1/100 A3:1/200
年月	2024.03
設計番号	
図面番号	A－028
設計者	一級建築士 第284436号 赤沿 直幸
製図	西巻 裕太
承認	赤沿 直幸
照査	佐々木 啓文

SOWA 一級建築士事務所 株式会社 相和技術研究所 仙台事務所
宮城県知事登録 第22910116号

01 【改修前】2階平面図（東校舎）

A1:1/100
A3:1/200



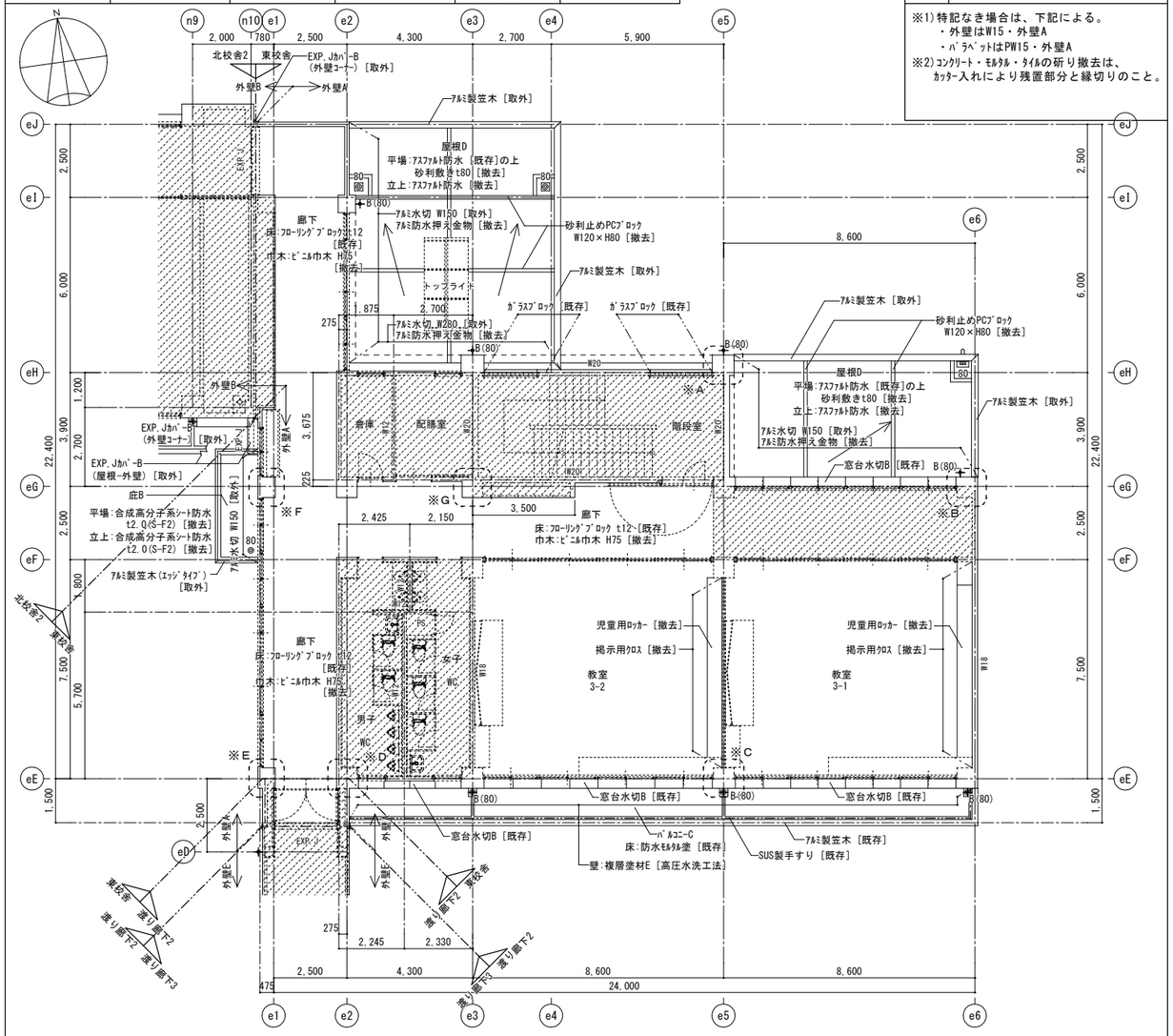
凡例

記号	仕様・寸法
＋ ※(○○)	竪樋 ※は種別、○○は径を示す。 竪樋A:SGP(白ｶﾞｽﾞ管)［塗膜除去］、支持金具［撤去］ 竪樋B:ｽﾃﾝﾚｽ管［既存］ 竪樋C:VP管［撤去］
圏 ○○	鋳鉄製ﾀﾃ引きﾄﾞﾚﾝ［既存］ ○○は径を示す。
圏 ○○	鋳鉄製ﾖｺ引きﾄﾞﾚﾝ［既存］ ○○は径を示す。
W12・PW12	
W15・PW15	
W18	
W20	
CB10	

次の内部ｺﾝｸﾘｰﾄ補修を見込むこと

工法	数量	単位
自動式低圧ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法		
ｸﾗｯｸ幅 0.2～0.3未満	—	m
ｸﾗｯｸ幅 0.3～0.5未満	6.5	m
ｸﾗｯｸ幅 0.5～1.0未満	—	m
Uｶｯﾄｼｰﾘﾝｸﾞ材充填工法		
ｸﾗｯｸ幅 1.0～1.5未満	—	m
ｸﾗｯｸ幅 1.5以上	—	m
ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ充填工法		
ｺﾝｸﾘｰﾄ欠損 欠損深さ20mm	—	m2

※1)特記なき場合は、下記による。
・外壁はW15・外壁A
・ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄはPW15・外壁A
※2)ｺﾝｸﾘｰﾄ・ﾓﾙﾀﾙ・ﾀｲﾙの斫り撤去は、
カッター入れにより残置部分と縁切りのこと。



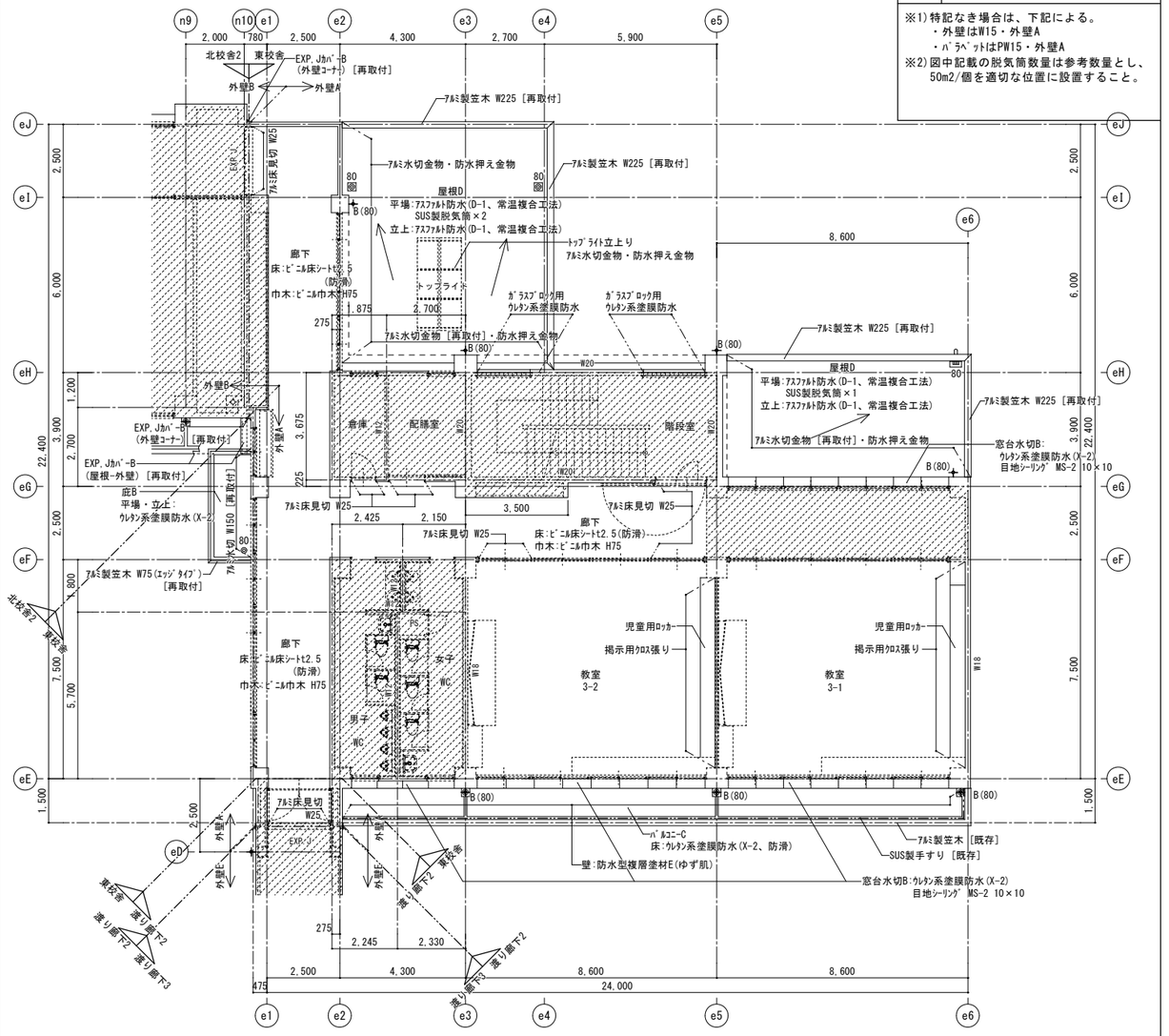
02 【改修後】2階平面図（東校舎）

A1:1/100
A3:1/200

凡例 ※特記なきものは新設

記号	仕様・寸法
※(○○)	竪樋 ※は種別、○○は径を示す。 竪樋A:錆止めの上DP(1級)［塗替］、SUS支持金具 竪樋B:ｽﾃﾝﾚｽ管［既存］ 竪樋C:ｶﾗｰVP管
○○	改修用鋼製ﾀﾃ引きﾄﾞﾚﾝ ○○は既存ﾄﾞﾚﾝの径を示す。
○○	改修用鋼製ﾖｺ引きﾄﾞﾚﾝ ○○は既存ﾄﾞﾚﾝの径を示す。

※1)特記なき場合は、下記による。
・外壁はW15・外壁A
・ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄはPW15・外壁A
※2)図中記載の脱気筒数量は参考数量とし、
50m2/個を適切な位置に設置すること。



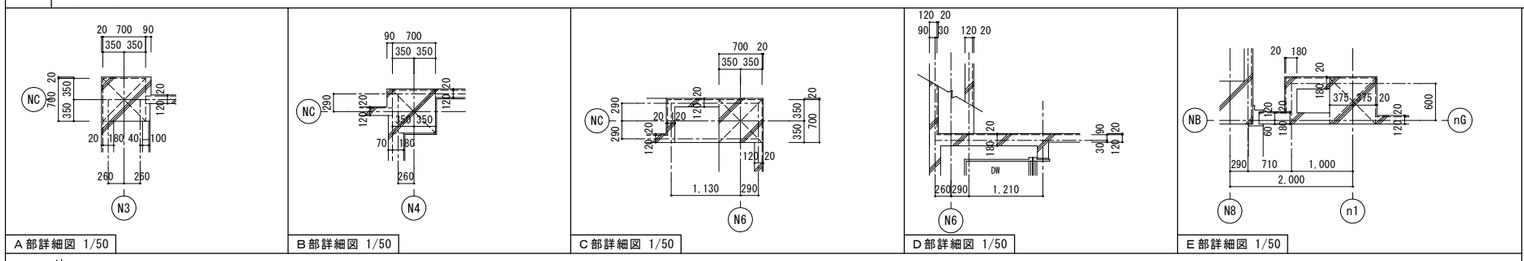
凡例			注記
改修範囲外の部分を示す			
既存のままの部分を示す			

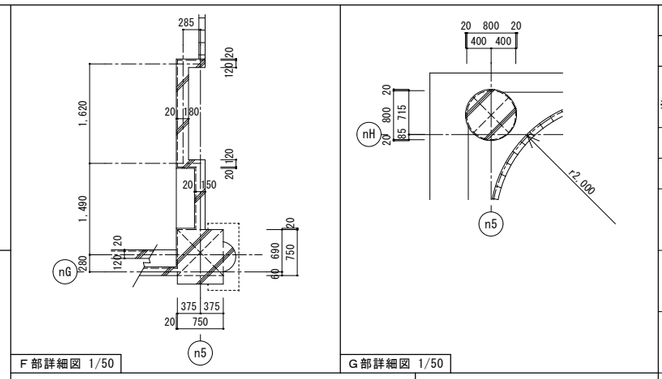
設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事（第Ｉ期）
図面名称	【改修前後】2階平面図2（東校舎、渡り廊下2）
縮尺	A1:1/100 A3:1/200
年月	2024.03
設計番号	
図面番号	A－029
承認/赤沼 直幸	設計者/一級建築士 第284436号 赤沼 直幸
照査/佐々木 啓文	製図/西巻 裕太

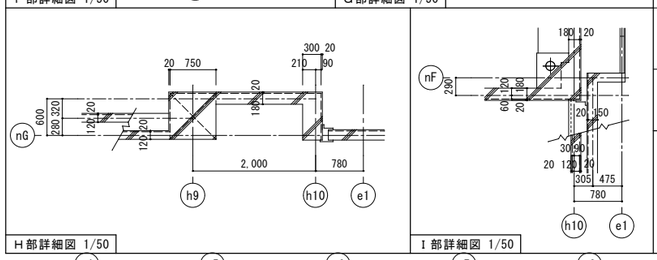
SOWA 一級建築士事務所 株式会社 相和技術研究所
宮城県知事登録 第22910116号

O 1 【改修前】3階平面図（北校舎1・2）

A1:1/100
A3:1/200







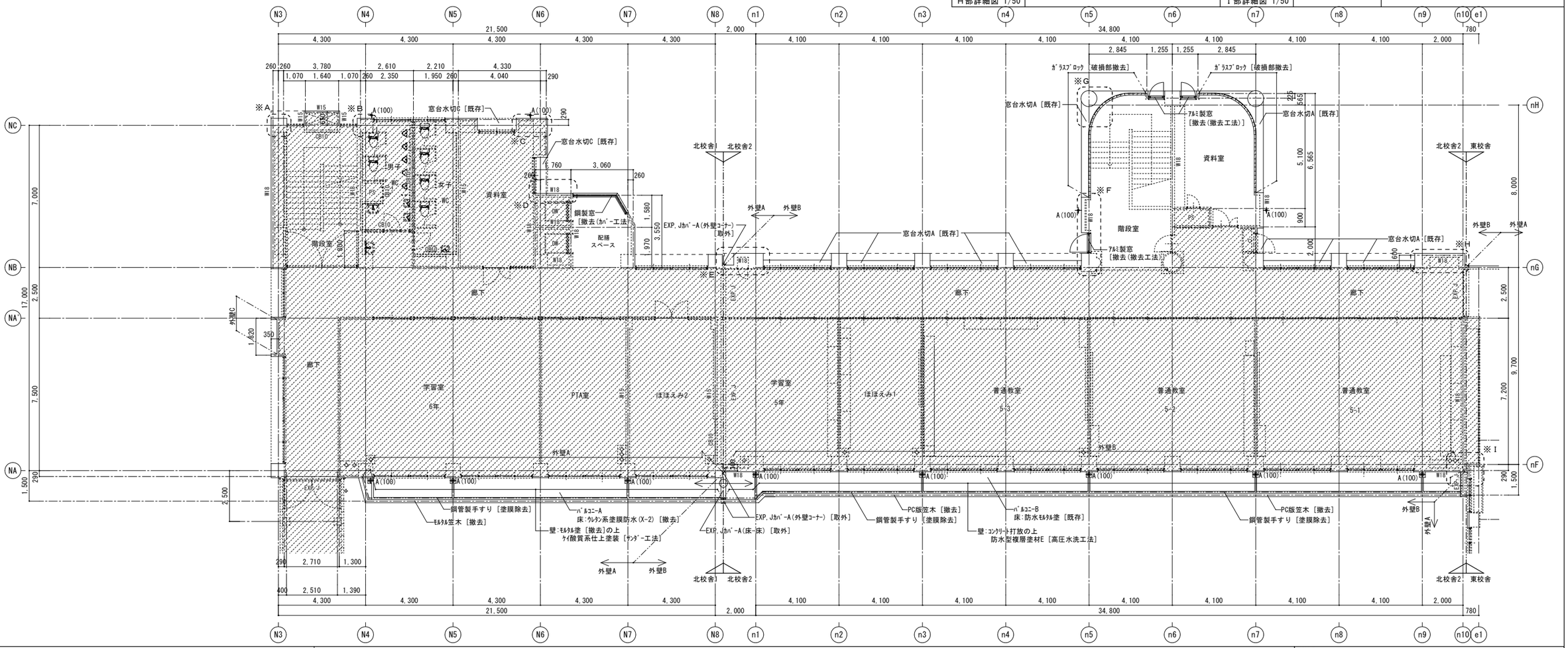
凡例

記号	仕様・寸法
＋ ※(○○)	竪樋 ※は種別、○○は径を示す。 竪樋A:SGP(白ｶﾞｽ管) [塗膜除去]、支持金具 [撤去] 竪樋B:ｽﾃﾝﾚｽ管 [既存] 竪樋C:VP管 [撤去]
図 ○○	鋳鉄製ﾀﾃ引きﾄﾞﾚﾝ [既存] ○○は径を示す。
図 ○○	鋳鉄製ﾖｺ引きﾄﾞﾚﾝ [既存] ○○は径を示す。
W12・PW12	
W15・PW15	
W18	
CB10	
EC60・PE60	

※1)特記なき場合は、下記による。
・外壁はW12・外壁A
・ﾊﾞﾗﾍﾟｯﾄはPW12・外壁A
※2)ｺﾝｸﾘｰﾄ・ﾓﾙﾀﾙ・ﾀｲﾙの斫り撤去は、
ｶｯﾀｰ入れにより残置部分と縁切りのこと。

次の内部ｺﾝｸﾘｰﾄ補修を見込むこと

工法	数量	単位
自動式低圧ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法		
ｸﾗｯｸ幅 0.2～0.3未満	—	m
ｸﾗｯｸ幅 0.3～0.5未満	20.7	m
ｸﾗｯｸ幅 0.5～1.0未満	11.7	m
Uｶｯﾄｼｰﾘﾝｸﾞ材充填工法		
ｸﾗｯｸ幅 1.0～1.5未満	22.5	m
ｸﾗｯｸ幅 1.5以上	1.2	m
ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ充填工法		
ｺﾝｸﾘｰﾄ欠損 欠損深さ20mm	1.8	m2

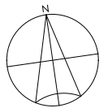


凡例			注記
改修範囲外の部分を示す			
既存のままの部分を示す			

設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ｉ期)
図面名称	【改修前】3階平面図1（北校舎1・2）
縮尺	A1:1/100 A3:1/200
年月	2024.03
設計番号	
図面番号	A－030
承認/赤沼 直幸	
設計者/一級建築士 第284436号 赤沼 直幸	
製図/西巻 裕太	
照査/佐々木 啓文	

SOWA 一級建築士事務所 株式会社 相和技術研究所 宮城県知事登録 第22910116号

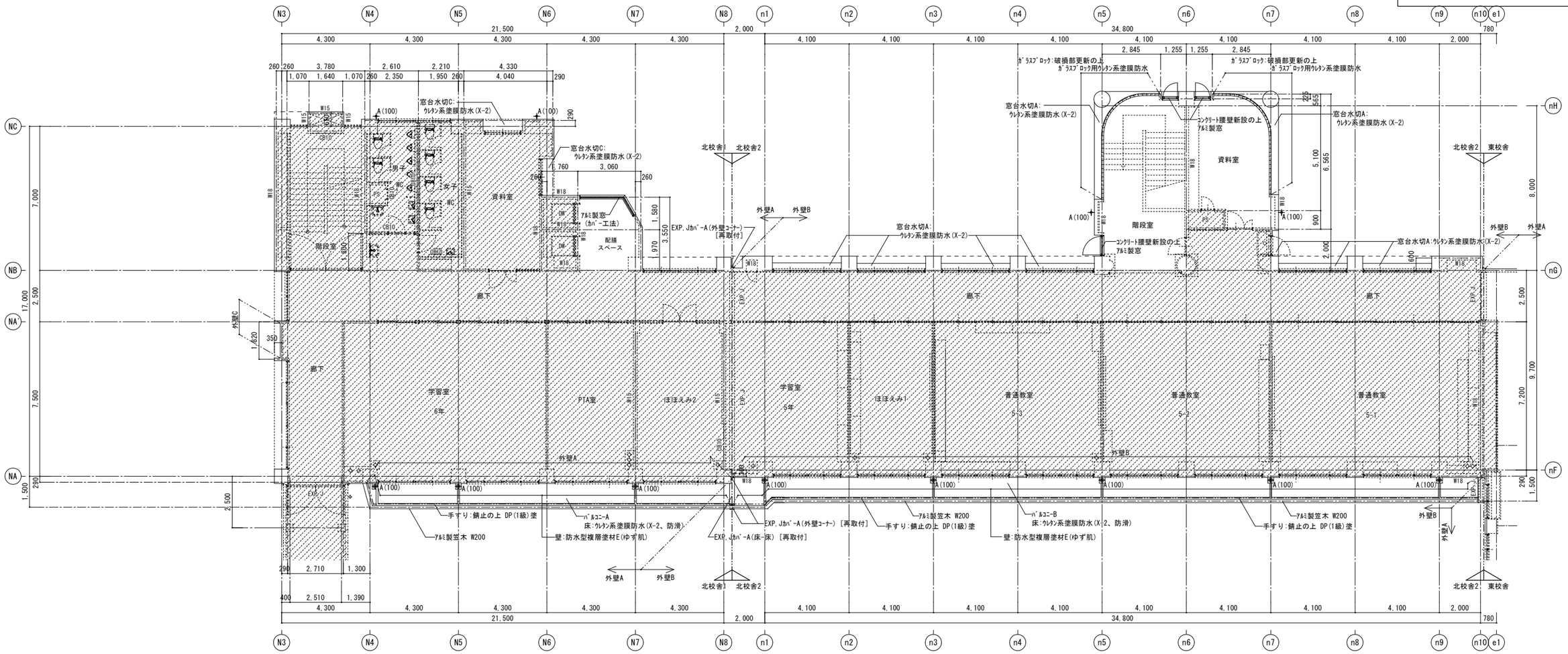
O 1	【改修後】3階平面図（北校舎1・2）	A1:1/100 A3:1/200



凡例 ※特記なきものは新設

記号	仕様・寸法
＋ ※(○○)	竪樋 ※は種別、○○は径を示す。 竪樋A:錆止めの上DP(1級)［塗替］、SUS支持金具 竪樋B:ｽﾃﾝﾚｽ管 ［既存］ 竪樋C:ｶﾗｰVP管
◎ ○○	改修用銅製ﾀﾃ引きﾄﾞﾚﾝ ○○は既存ﾄﾞﾚﾝの径を示す。
▥ ○○	改修用銅製ﾖｺ引きﾄﾞﾚﾝ ○○は既存ﾄﾞﾚﾝの径を示す。

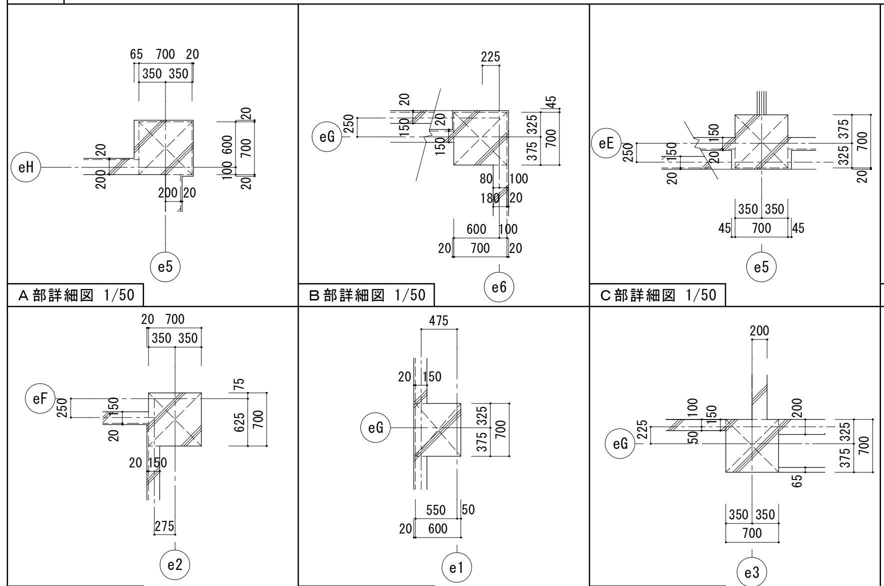
※1)特記なき場合は、下記による。
・外壁はW12・外壁A
・ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄはPW12・外壁A



凡　例			注　記
改修範囲外の部分を示す			
既存のままの部分を示す			

設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ｉ期)		
図面名称	【改修後】3階平面図1（北校舎1・2）		
縮　尺	A1:1/100 A3:1/200	年　月 2024.03	設計番号 / 図面番号 A－031
SOWA 一級建築士事務所 株式会社 相和技術研究所 KAWAWA 宮城県知事登録 第22910116号	承認/赤沼 直幸	設計者/ 一級建築士 第284436号 赤沼 直幸	製図/ 西巻 裕太
	照査/佐々木 啓文		

０１	【改修前】3階平面図（東校舎）	A1:1/100 A3:1/200



A部詳細図 1/50
B部詳細図 1/50
C部詳細図 1/50
D部詳細図 1/50
E部詳細図 1/50
F部詳細図 1/50
G部詳細図 1/50

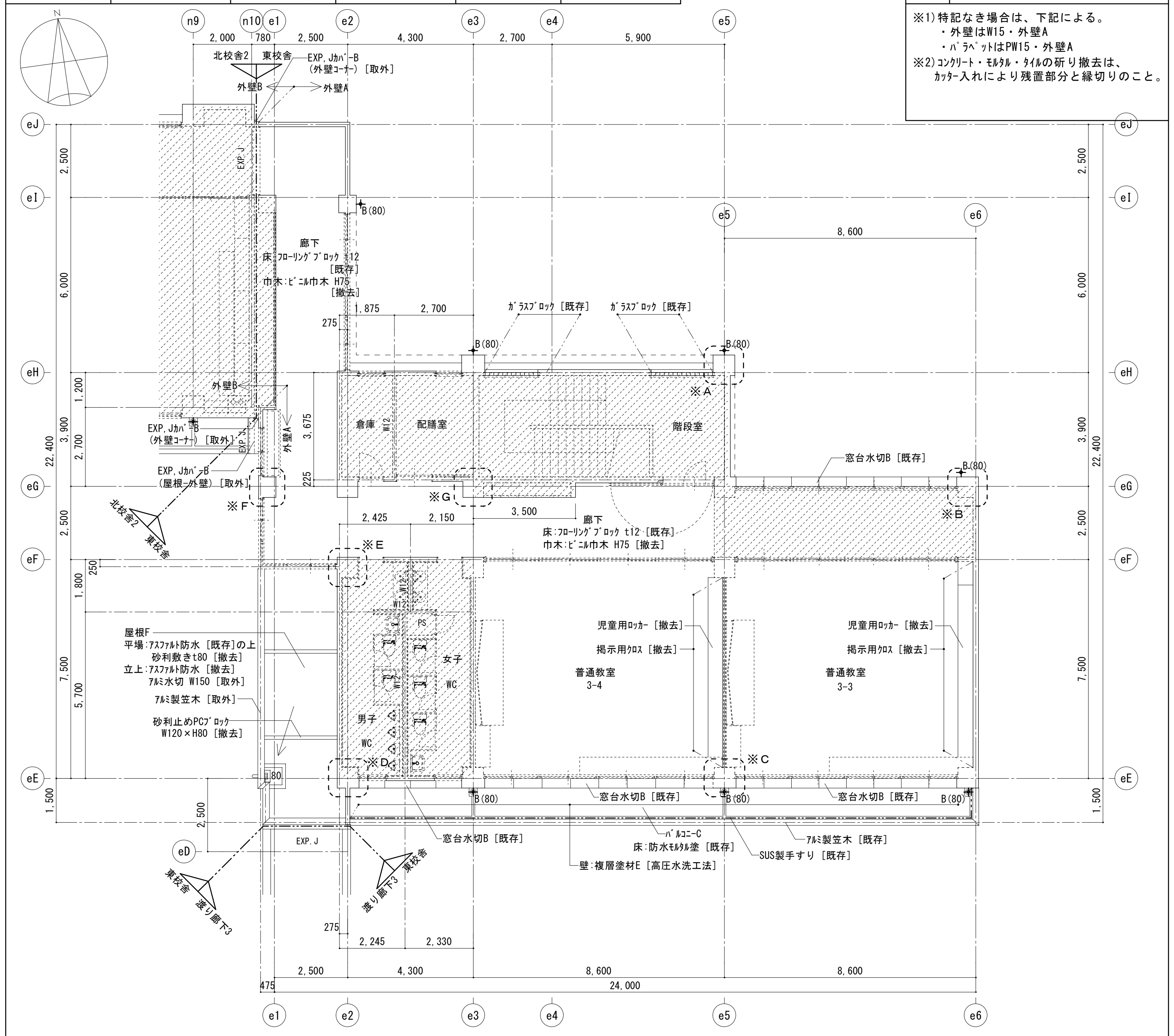
次の内部ｺﾝｸﾘｰﾄ補修を見込むこと

工法	数量	単位
自動式低圧ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法		
ｸﾗｯｸ幅 0.2～0.3未満	−	m
ｸﾗｯｸ幅 0.3～0.5未満	15.2	m
ｸﾗｯｸ幅 0.5～1.0未満	1.0	m
Uｶｯﾄｼｰﾘﾝｸﾞ材充填工法		
ｸﾗｯｸ幅 1.0～1.5未満	−	m
ｸﾗｯｸ幅 1.5以上	−	m
ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ充填工法		
ｺﾝｸﾘｰﾄ欠損 欠損深さ20mm	−	m2

凡例

記号	仕様・寸法
※(○○)	竪樋 ※は種別、○○は径を示す。 竪樋A:SGP(白ｶﾞｽ管)［塗膜除去］、支持金具［撤去］ 竪樋B:ｽﾃﾝﾚｽ管［既存］ 竪樋C:VP管［撤去］
○○	鋳鉄製ﾀﾃ引きﾄﾞﾚﾝ［既存］ ○○は径を示す。
○○	鋳鉄製ﾖｺ引きﾄﾞﾚﾝ［既存］ ○○は径を示す。
W12・PW12	60 60 / 120 / 20
W15・PW15	75 75 / 150 / 20
W18	90 90 / 180 / 20
W20	100 100 / 200 / 20
CB10	50 50 / 100

※1)特記なき場合は、下記による。
・外壁はW15・外壁A
・ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄはPW15・外壁A
※2)ｺﾝｸﾘｰﾄ・ﾓﾙﾀﾙ・ﾀｲﾙの斫り撤去は、ｶｯﾀｰ入れにより残置部分と縁切りのこと。

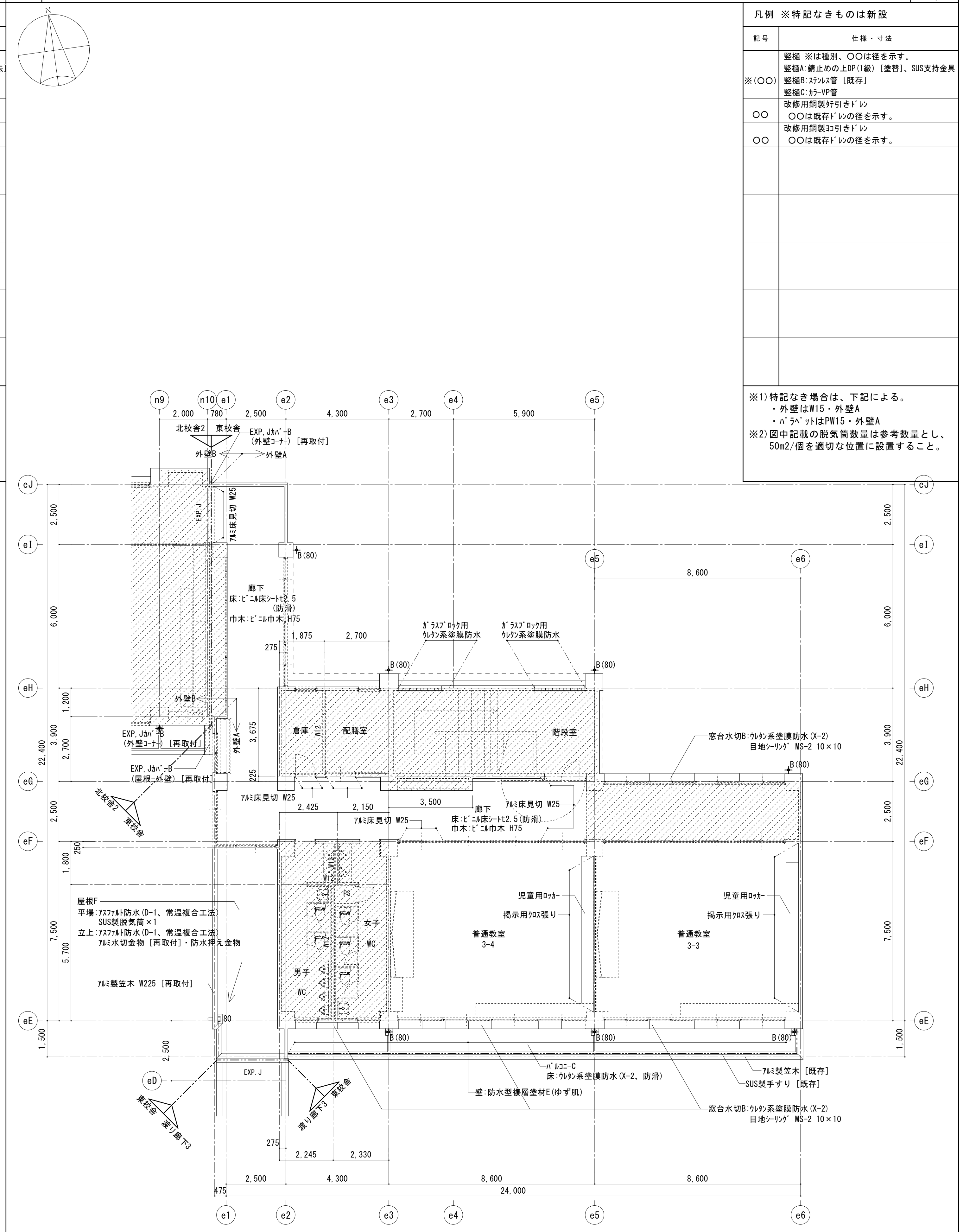


０２	【改修後】3階平面図（東校舎）	A1:1/100 A3:1/200

凡例 ※特記なきものは新設

記号	仕様・寸法
※(○○)	竪樋 ※は種別、○○は径を示す。 竪樋A:錆止めの上DP(1級)［塗替］、SUS支持金具 竪樋B:ｽﾃﾝﾚｽ管［既存］ 竪樋C:ｶﾗｰVP管
○○	改修用銅製ﾀﾃ引きﾄﾞﾚﾝ ○○は既存ﾄﾞﾚﾝの径を示す。
○○	改修用銅製ﾖｺ引きﾄﾞﾚﾝ ○○は既存ﾄﾞﾚﾝの径を示す。

※1)特記なき場合は、下記による。
・外壁はW15・外壁A
・ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄはPW15・外壁A
※2)図中記載の脱気筒数量は参考数量とし、50m2/個を適切な位置に設置すること。



凡 例	
(斜線ハッチ)	改修範囲外の部分を示す
(破線)	既存のままの部分を示す

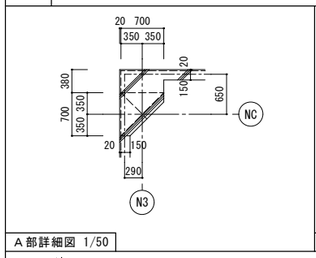
注 記

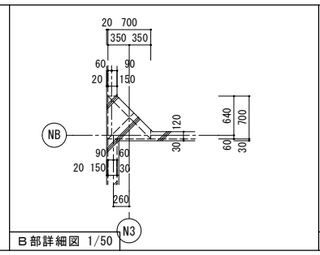
設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事（第Ⅰ期）
図面名称	【改修前後】3階平面図2（東校舎）
縮尺	A1:1/100 A3:1/200
年月	2024.03
設計番号	
図面番号	A −032
承認/	赤沼 直幸
照査/	佐々木 啓文
設計者/	一級建築士 第284436号 赤沼 直幸
製図/	西巻 裕太

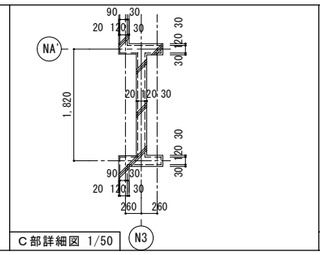
SOWA 一級建築士事務所 株式会社 相和技術研究所 仙台事務所
宮城県知事登録 第22910116号

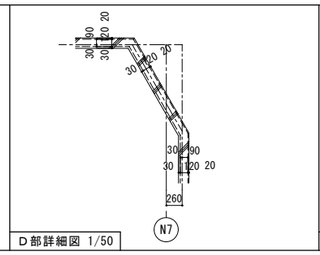
O１　【改修前】屋上平面図（北校舎1・2）

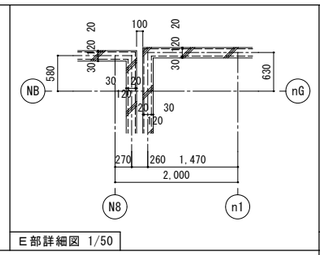
A1:1/100
A3:1/200

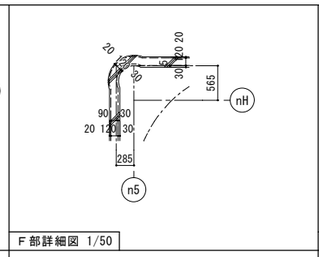


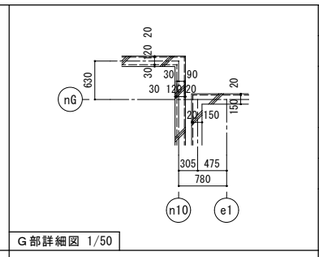






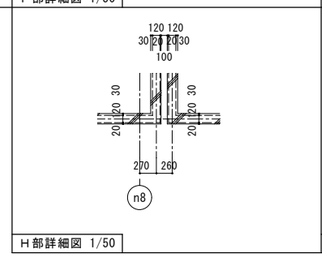


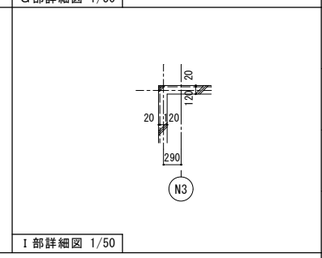




凡例

記号	仕様・寸法
＋ ※(○○)	竪樋 ※は種別、○○は径を示す。 竪樋A:SGP(白ｶﾞｽ管)［塗膜除去］、支持金具［撤去］ 竪樋B:ｽﾃﾝﾚｽ管［既存］ 竪樋C:VP管［撤去］
𝐃 ○○	鋳鉄製ﾀﾃ引きﾄﾞﾚﾝ［既存］ ○○は径を示す。
𝐃 ○○	鋳鉄製ﾖｺ引きﾄﾞﾚﾝ［既存］ ○○は径を示す。
W12・PW12	
W15・PW15	
W18	
CB10	
EC60・PE60	

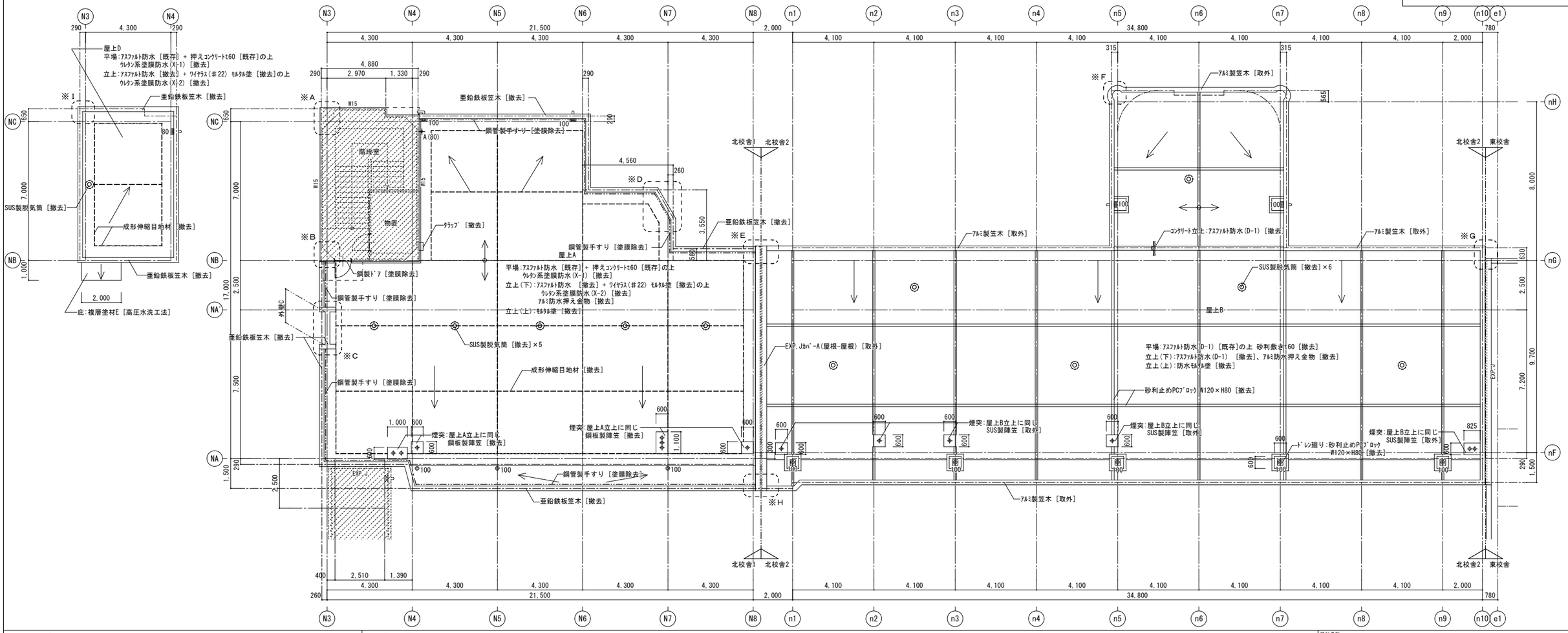




次の内部ｺﾝｸﾘｰﾄ補修を見込むこと

工法	数量	単位
自動式低圧ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法		
ｸﾗｯｸ幅 0.2～0.3未満	―	m
ｸﾗｯｸ幅 0.3～0.5未満	9.1	m
ｸﾗｯｸ幅 0.5～1.0未満	―	m
Uｶｯﾄｼｰﾘﾝｸﾞ材充填工法		
ｸﾗｯｸ幅 1.0～1.5未満	5.9	m
ｸﾗｯｸ幅 1.5以上	0.7	m
ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ充填工法		
ｺﾝｸﾘｰﾄ欠損 欠損深さ20mm	―	m2

※1)特記なき場合は、下記による。
・外壁はW12・外壁A
・ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄはPW12・外壁A
※2)ｺﾝｸﾘｰﾄ・ﾓﾙﾀﾙ・ﾀｲﾙの斫り撤去は、
ｶｯﾀｰ入れにより残置部分と縁切りのこと。



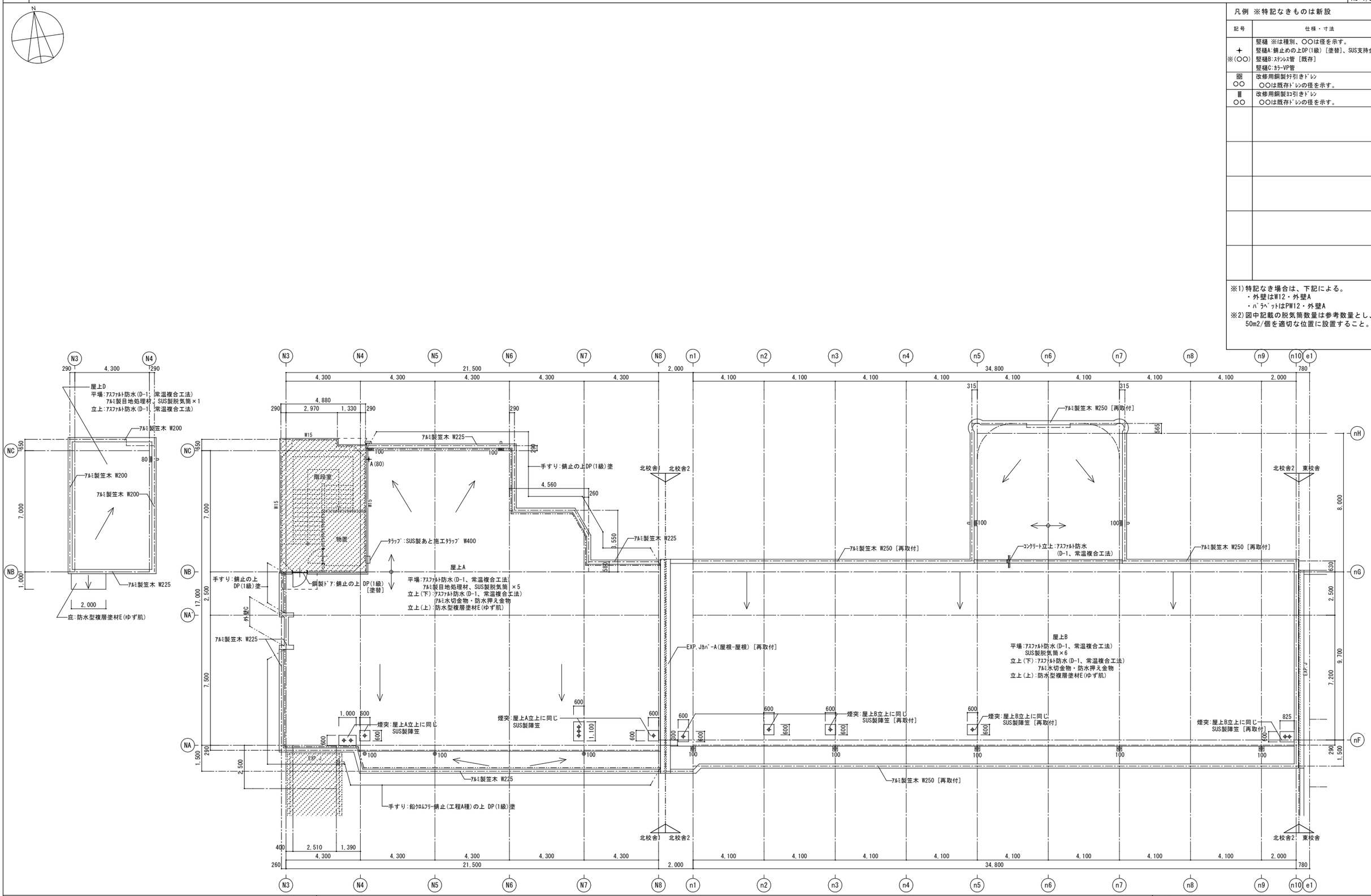
凡　例		
改修範囲外の部分を示す		
既存のままの部分を示す		

注　記

設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ｉ期)
図面名称	【改修前】屋上平面図1（北校舎1・2）
縮尺	A1:1/100 A3:1/200
年月	2024.03
設計番号	
図面番号	A－033
承認/赤沼 喜幸	
設計者/一級建築士 第284436号 赤沼 喜幸	
照査/佐々木 啓文	
製図/西巻 裕太	

SOWA 一級建築士事務所 株式会社 相和技術研究所 仙台事務所 宮城県知事登録 第22910116号

01	【改修後】屋上平面図（北校舎1・2）	A1:1/100 A3:1/200



凡例 ※特記なきものは新設

記号	仕様・寸法
＋ ※(○○)	竪樋 ※は種別、○○は径を示す。 竪樋A:錆止めの上DP(1級)［塗替］、SUS支持金具 竪樋B:ｽﾃﾝﾚｽ管［既存］ 竪樋C:ｶﾗｰVP管
図 ○○	改修用銅製ﾀﾃ引きﾄﾞﾚﾝ ○○は既存ﾄﾞﾚﾝの径を示す。
Ⅲ ○○	改修用銅製ﾖｺ引きﾄﾞﾚﾝ ○○は既存ﾄﾞﾚﾝの径を示す。

※1)特記なき場合は、下記による。
・外壁はW12・外壁A
・ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄはPW12・外壁A
※2)図中記載の脱気筒数量は参考数量とし、50m2/個を適切な位置に設置すること。

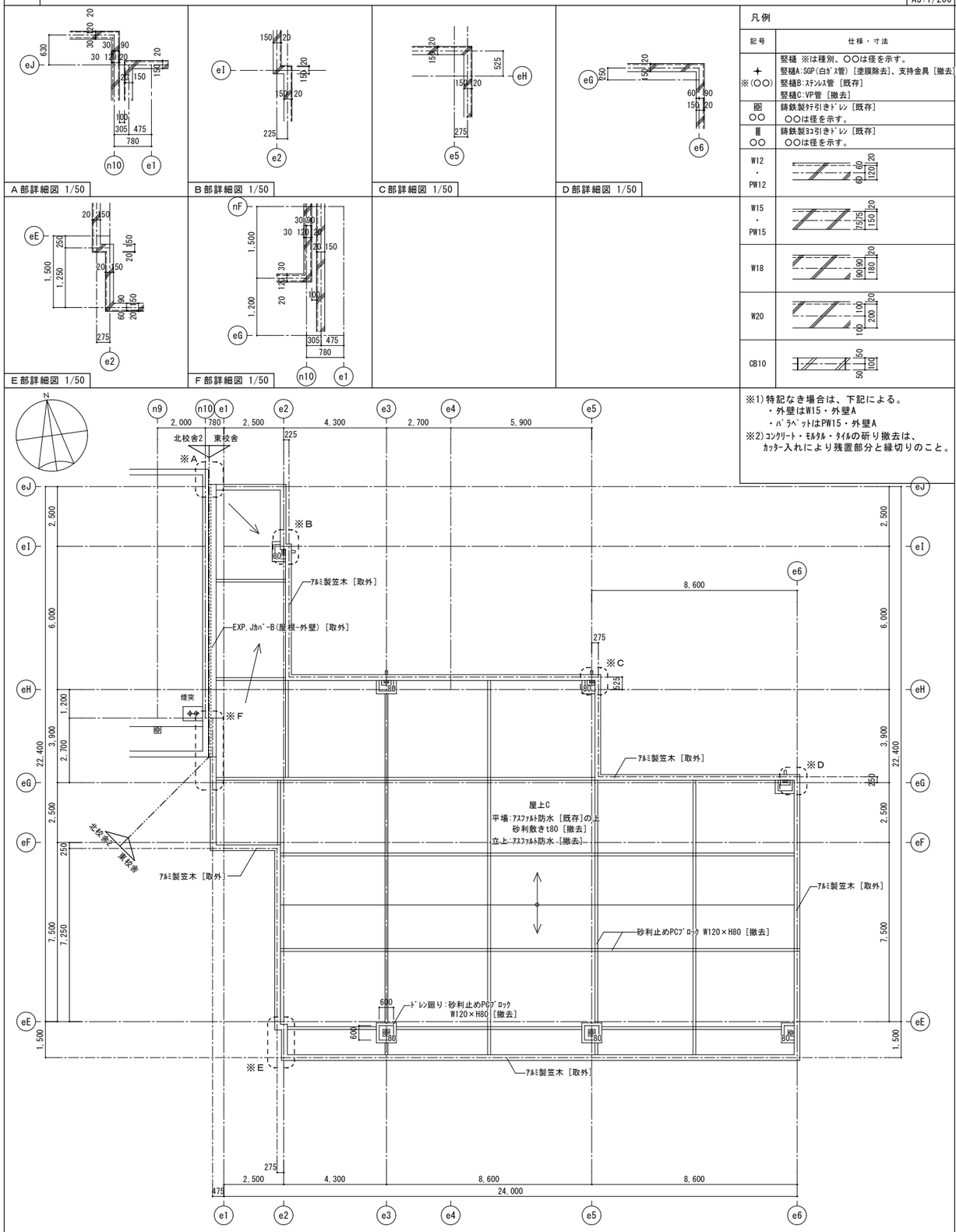
凡　例			注　記
改修範囲外の部分を示す			
既存のままの部分を示す			

設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅰ期)
図面名称	【改修後】屋上平面図1（北校舎1・2）
縮　尺	A1:1/100 A3:1/200
年　月	2024.03
設計番号	
図面番号	A －034
承認/赤沼 直幸	
設計者/一級建築士 第284436号 赤沼 直幸	
照査/滝々木 啓文	
製図/西巻 裕太	

SOWA
一般財団法人 相和技術研究所
宮城県知事登録 第229101116号

01 【改修前】屋上平面図（東校舎）

A1:1/100
A3:1/200



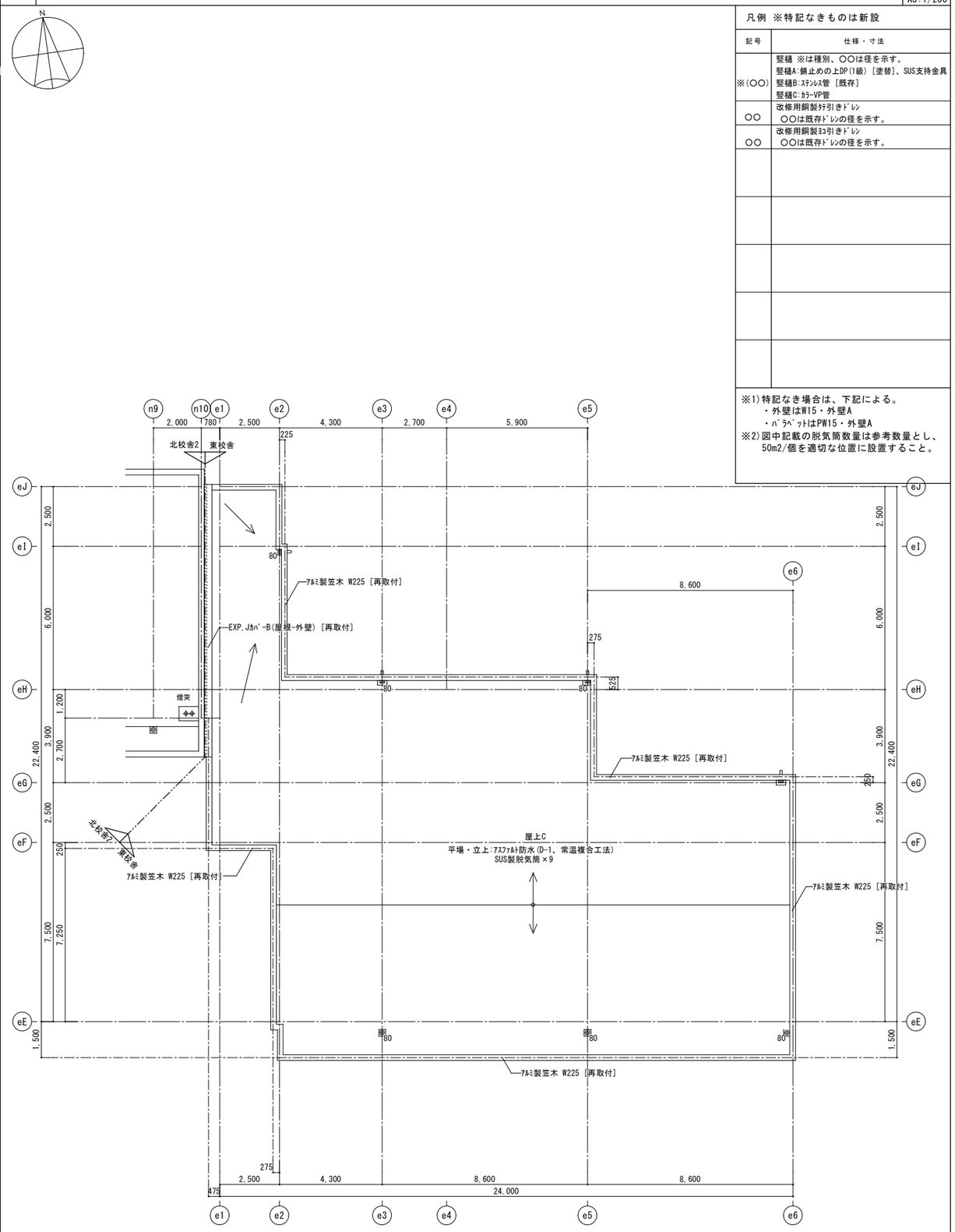
凡例

記号	仕様・寸法
＋ ※(○○)	竪樋 ※は種別、○○は径を示す。 竪樋A:SGP(白ｶﾞｽ管)［塗膜除去］、支持金具［撤去］ 竪樋B:ｽﾃﾝﾚｽ管［既存］ 竪樋C:VP管［撤去］
圏 ○○	鋳鉄製ﾏﾃ引きﾄﾞﾚﾝ［既存］ ○○は径を示す。
圏 ○○	鋳鉄製ｺｺ引きﾄﾞﾚﾝ［既存］ ○○は径を示す。
W12・PW12	
W15・PW15	
W18	
W20	
CB10	

※1)特記なき場合は、下記による。
・外壁はW15・外壁A
・ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄはPW15・外壁A
※2)ｺﾝｸﾘｰﾄ・ﾓﾙﾀﾙ・ﾀｲﾙの斫り撤去は、
ｶｯﾀｰ入れにより残置部分と縁切りのこと。

02 【改修後】屋上平面図（東校舎）

A1:1/100
A3:1/200



凡例 ※特記なきものは新設

記号	仕様・寸法
※(○○)	竪樋 ※は種別、○○は径を示す。 竪樋A:鋼止めの上DP(1級)［塗替］、SUS支持金具 竪樋B:ｽﾃﾝﾚｽ管［既存］ 竪樋C:ｶﾗｰVP管
○○	改修用鋼製ﾏﾃ引きﾄﾞﾚﾝ ○○は既存ﾄﾞﾚﾝの径を示す。
○○	改修用鋼製ｺｺ引きﾄﾞﾚﾝ ○○は既存ﾄﾞﾚﾝの径を示す。

※1)特記なき場合は、下記による。
・外壁はW15・外壁A
・ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄはPW15・外壁A
※2)図中記載の脱気筒数量は参考数量とし、
50m2/個を適切な位置に設置すること。

凡例	
改修範囲外の部分を示す	
既存のままの部分を示す	

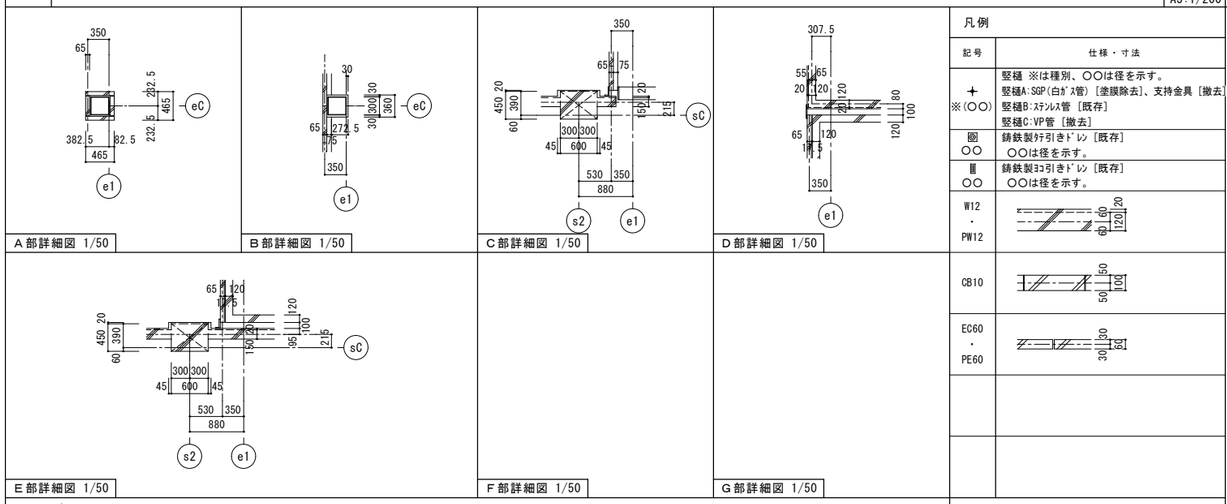
注記

設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅰ期)
図面名称	【改修前後】屋上平面図2（東校舎）
縮尺	A1:1/100 A3:1/200
年月	2024.03
図面番号	A－035
設計者	一級建築士 第284436号 赤沼 直幸
承認/赤沼 直幸	
照査/髙々木 啓文	
製図/	西巻 裕太

SOWA 一級建築士事務所 株式会社 相和技術研究所 宮城県知事登録 第22910116号

01 【改修前】渡り廊下3 平面図

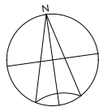
A1:1/100
A3:1/200

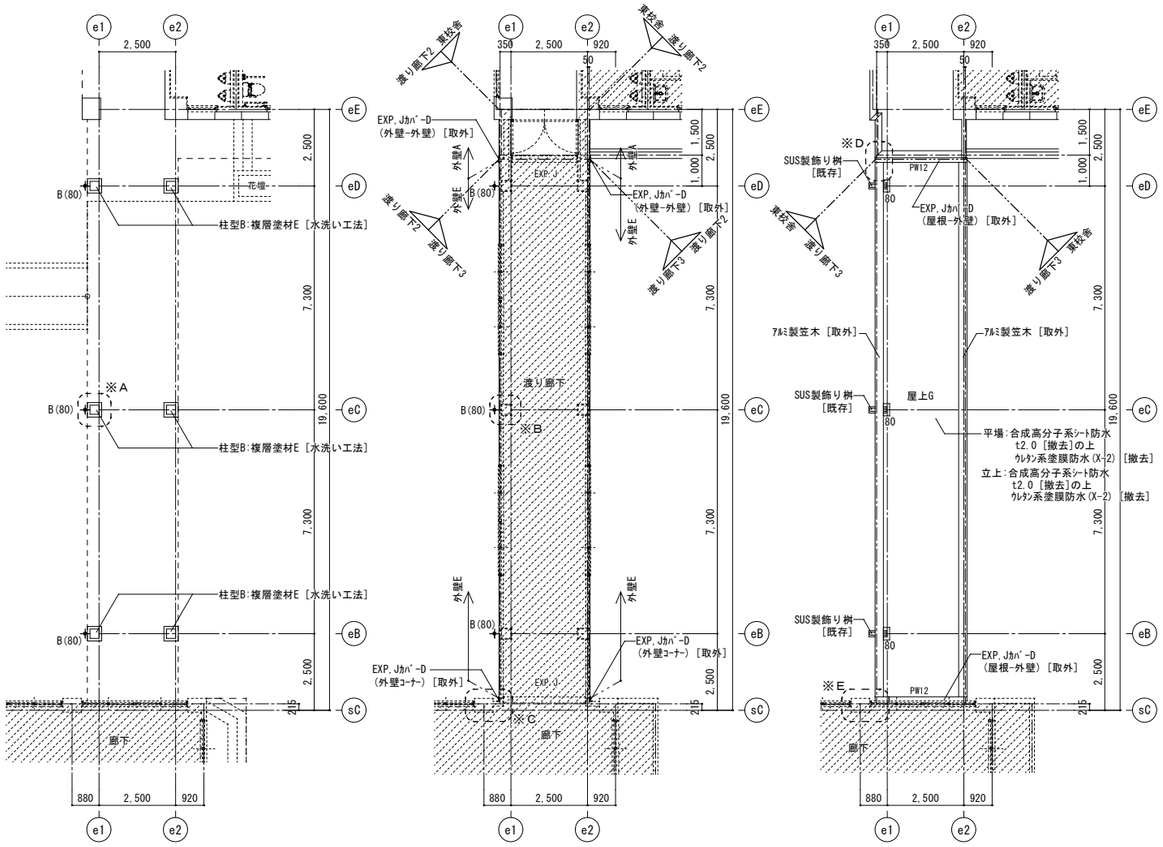


凡例

記号	仕様・寸法
＋ ※(○○)	竪樋 ※は種別、○○は径を示す。 竪樋A:SGP(白ｶﾞｽ管)［塗膜除去］、支持金具［撤去］ 竪樋B:ｽﾃﾝﾚｽ管［既存］ 竪樋C:VP管［撤去］
囲 ○○	鋳鉄製ﾏﾃ引きﾄﾞﾚﾝ［既存］ ○○は径を示す。
囲 ○○	鋳鉄製ｺｺ引きﾄﾞﾚﾝ［既存］ ○○は径を示す。
W12・PW12	
CB10	
EC60・PE60	

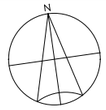
※1)特記なき場合は、下記による。
・外壁はEC60・外壁E
・ﾊﾞﾗﾍﾟｯﾄはPE60・外壁E





02 【改修後】渡り廊下3 平面図

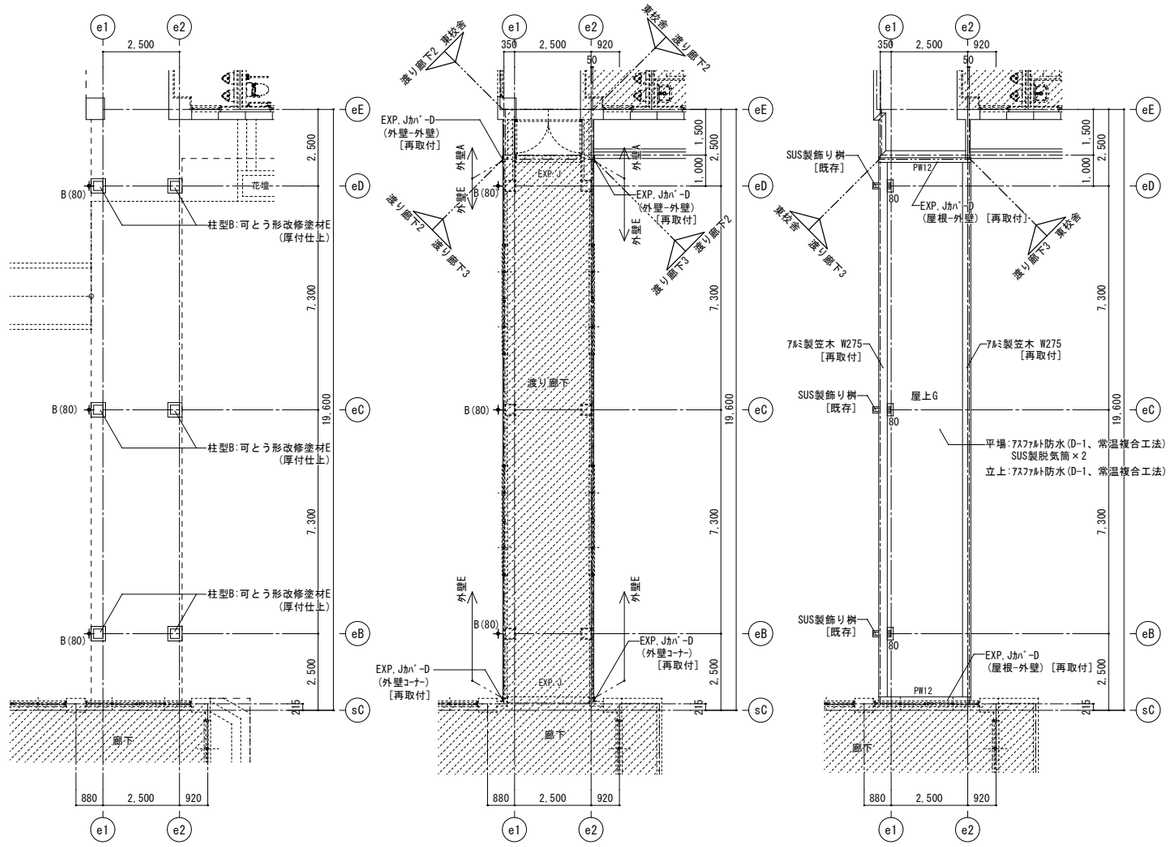
A1:1/100
A3:1/200



凡例 ※特記なきものは新設

記号	仕様・寸法
※(○○)	竪樋 ※は種別、○○は径を示す。 竪樋A:錆止めの上DP(1級)［塗替］、SUS支持金具 竪樋B:ｽﾃﾝﾚｽ管［既存］ 竪樋C:ｶﾗｰVP管
○○	改修用鋼製ﾏﾃ引きﾄﾞﾚﾝ ○○は既存ﾄﾞﾚﾝの径を示す。
○○	改修用鋼製ｺｺ引きﾄﾞﾚﾝ ○○は既存ﾄﾞﾚﾝの径を示す。

※1)特記なき場合は、下記による。
・外壁はEC60・外壁E
・ﾊﾞﾗﾍﾟｯﾄはPE60・外壁E
※2)図中記載の脱気筒数量は参考数量とし、50m2/個を適切な位置に設置すること。



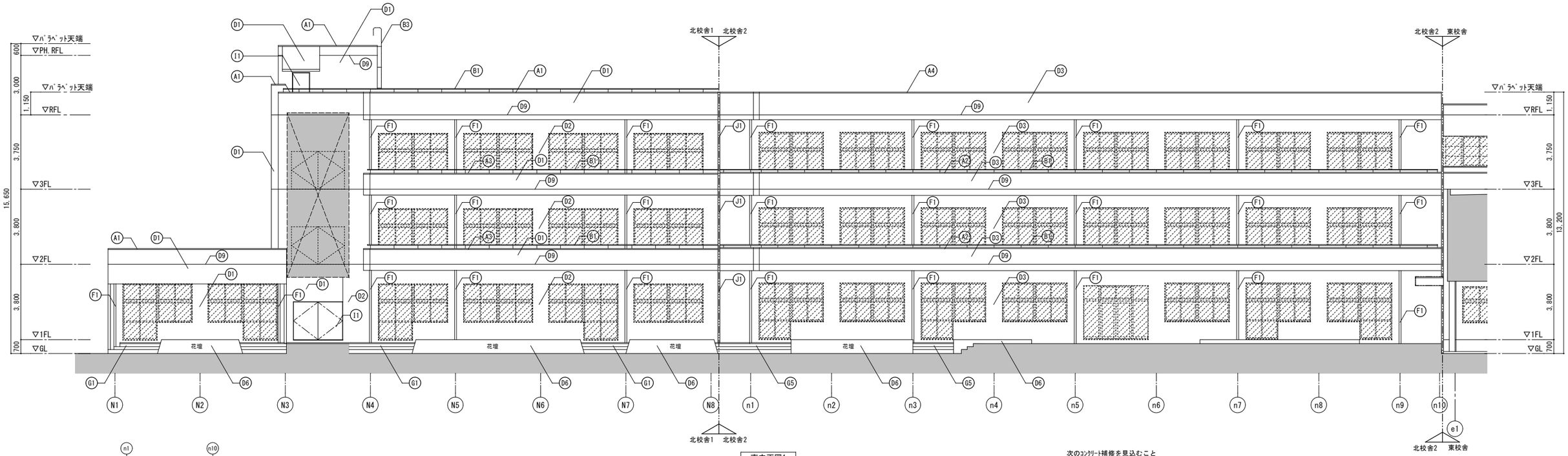
凡例		
改修範囲外の部分を示す		
既存のままの部分を示す		

注記

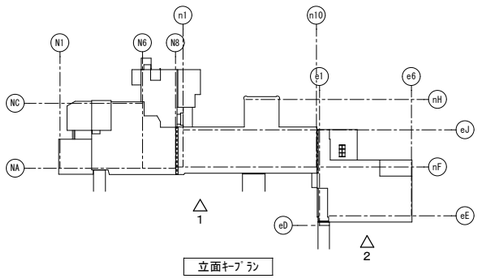
設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅰ期)
図面名称	【改修前後】渡り廊下3 平面図
縮尺	A1:1/100 A3:1/200
年月	2024.03
設計番号	
図面番号	A－036
設計者	一級建築士 第284436号 赤沼 直幸
承認/赤沼 直幸	照査/佐々木 啓文
製図/	西巻 裕太

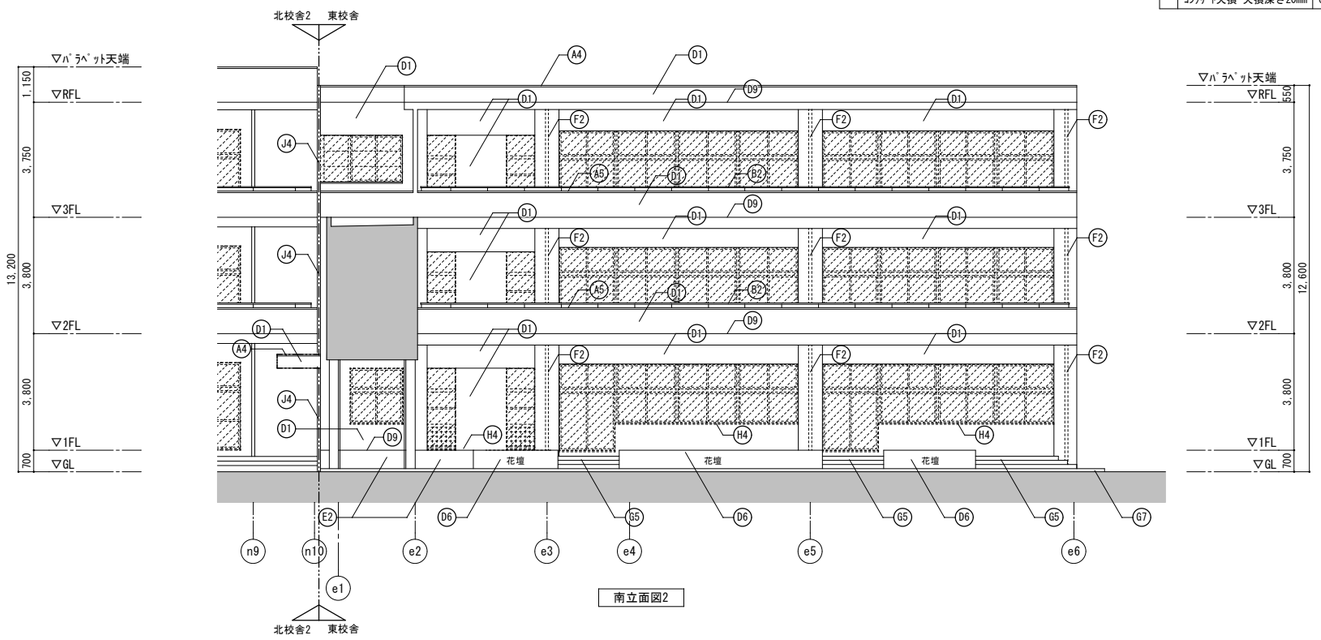
SOWA
一般財団法人建築技術研究所 総合建設業
宮城県知事登録 第22910116号

O 1	【改修前】南立面図	A1:1/100 A3:1/200



南立面図1





南立面図2

次のｺﾝｸﾘｰﾄ補修を見込むこと

工法	数量	単位
自動式低圧ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法		
ｸﾗｯｸ幅 0.2～0.3未満	—	m
ｸﾗｯｸ幅 0.3～0.5未満	62.5	m
ｸﾗｯｸ幅 0.5～1.0未満	28.7	m
Uｶｯﾄｼｰﾘﾝｸﾞ材充填工法		
ｸﾗｯｸ幅 1.0～1.5未満	13.1	m
ｸﾗｯｸ幅 1.5以上	3.3	m
ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ充填工法		
ｺﾝｸﾘｰﾄ欠損 欠損深さ20mm	0.2	m2

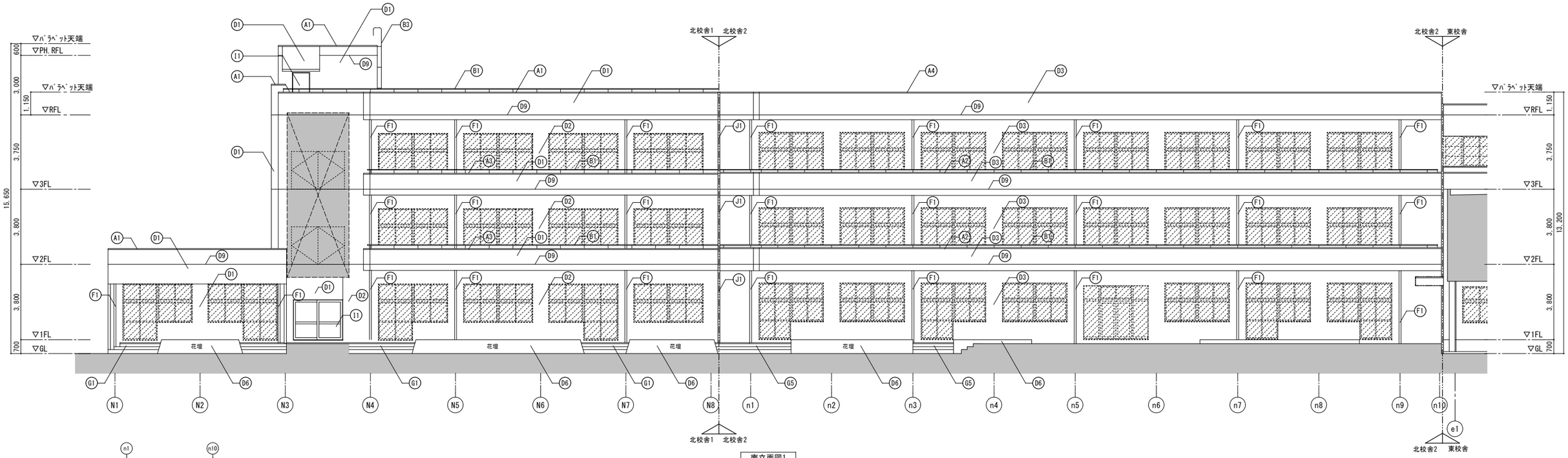
凡例

記号	仕様・寸法	記号	仕様・寸法
A1	木下地 240×40［撤去］の上 亜鉛鉄板笠木［撤去］	E2	基礎巾木:ｺﾝｸﾘｰﾄ打放［既存］
A2	PC版笠木［撤去］	F1	竪樋A:SGP(白ｶﾞｽ管)［塗膜除去] 支持金具［撤去］
A3	防水ﾓﾙﾀﾙ笠木［撤去]の上 ｳﾚﾀﾝ系塗膜防水(X-2)［撤去］	F2	竪樋B:ｽﾃﾝﾚｽ管［既存］
A4	ｱﾙﾐ製笠木［取外］	F3	竪樋C:VP管［撤去］
A5	ｱﾙﾐ製笠木［既存］	F4	軒樋:塩ﾋﾞ被覆鋼板 W120［撤去］
B1	鋼管製手すり［塗膜除去］	F5	飾り桝:SUS製 250×220×H220［既存］
B2	SUS製手すり［既存］	G1	ﾓﾙﾀﾙ塗［撤去]、陶器質段鼻ﾀｲﾙ［撤去］
B3	ﾀﾗｯﾌﾟ［撤去］	G2	ﾓﾙﾀﾙ塗［既存]、磁器質段鼻ﾀｲﾙ［撤去］
B4	鋼製形鋼門扉 H1000［撤去］	G3	ﾀﾀｷ:ﾓﾙﾀﾙ塗［撤去]、陶器質段鼻ﾀｲﾙ［撤去］
B5	ｽﾁｰﾙﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ H1600［撤去] ｽﾁｰﾙﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ門扉 W2000×H(2000+1150)［撤去］	G4	磁器質ﾀｲﾙ［一部撤去]、磁器質段鼻ﾀｲﾙ［撤去］
B6	ｺﾞﾑ製ｸｯｼｮﾝｽﾄｯﾊﾟｰ［撤去］	G5	陶器質300角ﾀｲﾙ［既存］
B7	ｽﾁｰﾙﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ H2230［撤去］	G6	ﾓﾙﾀﾙ塗［既存］
C1	庇:防水ﾓﾙﾀﾙ塗［撤去］	G7	ﾓﾙﾀﾙ塗［撤去］
C2	ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板折版葺き［塗膜除去］	G8	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し［既存］
C3	ｹﾗﾊﾞ・軒先・外壁ｴﾌﾟﾛﾝ 屋根同材包み［塗膜除去］	H1	靴洗い:防水ﾓﾙﾀﾙ塗［撤去］
D1	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放の上 複層塗材E［高圧水洗工法］	H2	靴洗い:防水ﾓﾙﾀﾙ塗［既存］ 甲板:御影石W200×t20［既存］
D2	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放の上 ｹｲ酸質系塗装［ｻﾝﾀﾞｰ工法］	H3	窓台水切A・C:防水ﾓﾙﾀﾙ塗［既存］
D3	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放の上 防水型複層塗材E ［高圧水洗工法］	H4	窓台水切B:PC版 W400×t40［既存］
D4	ﾓﾙﾀﾙ塗の上 三丁掛けﾀｲﾙ［既存］	I1	建具改修(建具表参照)
D5	押出成形板の上 複層塗材E［水洗い工法］ 目地ｼｰﾘﾝｸﾞ 15×10［撤去］	I2	ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ［破損部撤去］
D6	ﾘﾌﾞ付型枠ｺﾝｸﾘｰﾄ打放の上 複層塗材 ［高圧水洗工法］	I3	ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ［既存］
D7	押出成形ｾﾒﾝﾄ板(ｽﾄﾗｲﾌﾟ柄)［既存]の上 複層塗材E［水洗い工法］ 目地ｼｰﾘﾝｸﾞ 15×10［撤去］	J1	EXP.Jｶﾊﾞｰ(外壁-外壁):ｱﾙﾐ製(既製品)［取外］
D8	LGS下地［撤去]の上 ｹｲｶﾙ板(ｱｽﾍﾞｽﾄ)t6 VP塗 ［撤去］	J2	EXP.Jｶﾊﾞｰ(外壁ｺｰﾅｰ):ｱﾙﾐ製(既製品)［取外］
D9	目地ｼｰﾘﾝｸﾞ 15×10［撤去］	J3	EXP.Jｶﾊﾞｰ(外壁-外壁):ｽﾃﾝﾚｽ製(既製品) ［取外］
E1	基礎巾木:ﾓﾙﾀﾙ塗［既存］	J4	EXP.Jｶﾊﾞｰ(外壁ｺｰﾅｰ):ｽﾃﾝﾚｽ製(既製品)［取外］

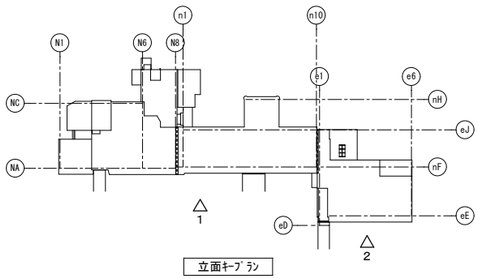
凡　例			注　記
	改修範囲外の部分を示す		
	既存のままの部分を示す		

設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ｉ期)
図面名称	【改修前】南立面図
縮　尺	A1:1/100 A3:1/200
年　月	2024.03
設計番号	
図面番号	A－037
承認/赤沼 直幸	
設計者/一級建築士 第284436号 赤沼 直幸	
製図/西巻 裕太	
照査/佐々木 啓文	

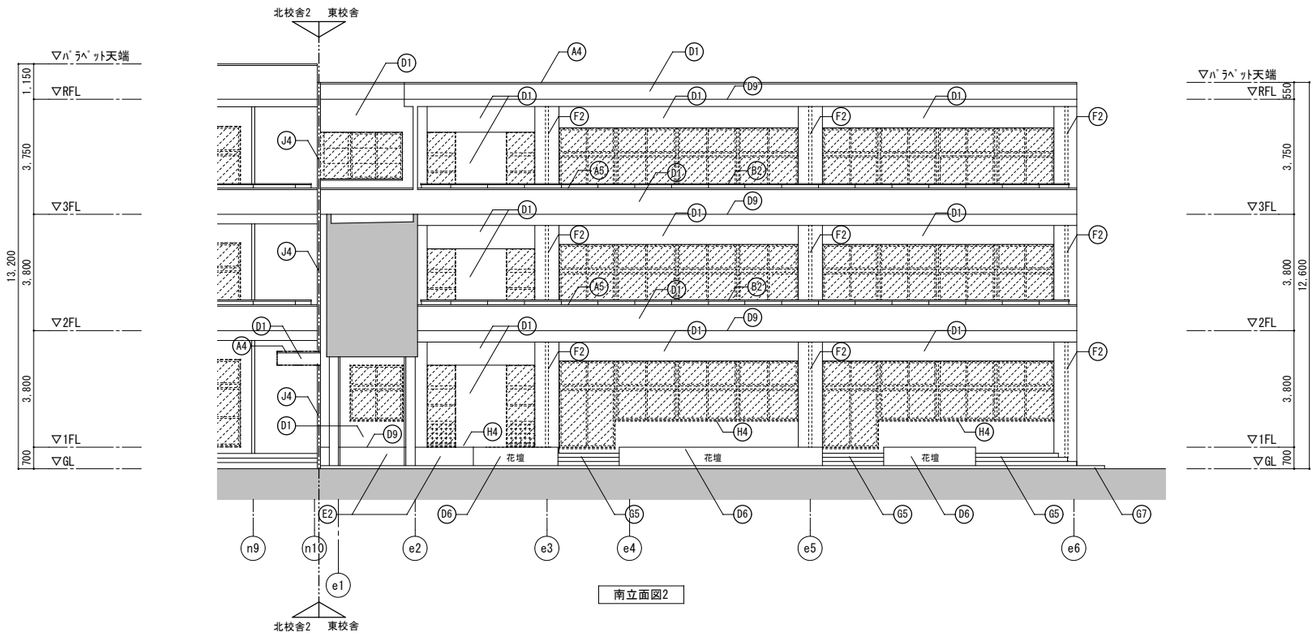
SOWA 一級建築士事務所 株式会社 相和技術研究所 宮城県知事登録 第22910116号



南立面図1



立面ｷｰﾌﾟﾗﾝ



南立面図2

凡例　※特記なき場合、新設とする

記号	仕様・寸法	記号	仕様・寸法
A1	ｱﾙﾐ製笠木	E2	基礎巾木:水洗(高圧ﾎﾟﾝﾌﾟ)の上 ﾌｯ素樹脂ｸﾘｱ塗装
A2		F1	竪樋A:錆止の上 DP(1級) [塗替] SUS製支持金具#1200
A3		F2	竪樋B:ｽﾃﾝﾚｽ管 [既存]
A4	ｱﾙﾐ製笠木 [再取付]	F3	竪樋C:ｶﾗｰVP100
A5	ｱﾙﾐ製笠木 [既存]	F4	軒樋:塩ﾋﾞ被覆鋼板 前高W120
B1	鋼管製手すり 錆止の上 DP(1級) [塗替]	F5	飾り桝:SUS製 250×220×H220 [既存]
B2	SUS製手すり [既存]	G1	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.5(屋外防滑) SUS製ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ(ﾀｲﾔﾚｽ) W35
B3	SUS製あと施工ｱﾝｶｰﾌﾞ W400	G2	
B4	高耐食ｽﾁｰﾙﾒｯｼｭ門扉 H1500	G3	ﾀﾀｷ:ﾓﾙﾀﾙ塗、SUS製ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ(ﾀｲﾔﾚｽ) W35
B5	高耐食ｽﾁｰﾙﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ H1500 高耐食ｽﾁｰﾙﾒｯｼｭ門扉 W1800×H(2000+1150)	G4	磁器質ﾀｲﾙ [一部新設]、磁器質段鼻ﾀｲﾙ
B6	ｺﾞﾑ製ｸｯｼｮﾝｽﾄｯﾊﾟｰ	G5	陶器質300角ﾀｲﾙ [既存] 水洗い(高圧ﾎﾟﾝﾌﾟ)
B7	高耐食ｽﾁｰﾙﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ H2200	G6	ﾓﾙﾀﾙ塗 [既存] 水洗い(高圧ﾎﾟﾝﾌﾟ)
C1	庇:ｳﾚﾀﾝ系塗膜防水(X-2)	G7	ﾓﾙﾀﾙ塗
C2	折版葺き 錆止の上 DP(1級) [塗替]	G8	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し [既存] 水洗い(高圧ﾎﾟﾝﾌﾟ)
C3	ｹﾗﾊﾞ・軒先・外壁ｴﾌﾟﾛﾝ 錆止の上 DP(1級) [塗替]	H1	靴洗い:防水ﾓﾙﾀﾙ塗
D1	防水型複層塗材E(ゆず肌)	H2	靴洗い:防水ﾓﾙﾀﾙ塗 [既存] 甲板:御影石W200×t20 [既存]
D2		H3	窓台水切A・C:ｳﾚﾀﾝ系塗膜防水(X-2)
D3		H4	窓台水切B:ｳﾚﾀﾝ系塗膜防水(X-2) 目地ｼｰﾘﾝｸﾞ MS-2 10×10
D4	注入口付ｱﾝｶｰﾋﾟﾆﾝｸﾞ全面ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法	I1	建具改修(建具表参照)
D5	可とう形改修塗材E(厚付) 目地ｼｰﾘﾝｸﾞ(PU-2 15×10)	I2	ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ破損部更新の上 ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ用ｳﾚﾀﾝ系塗膜防水
D6	防水型複層塗材E(ゆず肌)	I3	ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ [既存] ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ用ｳﾚﾀﾝ系塗膜防水
D7	可とう形改修塗材E(厚付) 目地ｼｰﾘﾝｸﾞ(PU-2 15×10)	J1	EXP.Jｶﾊﾞｰ(外壁-外壁):ｱﾙﾐ製(既製品) [再取付]
D8	LGS(25型)の上 ｹｲｶﾙ板t6(目透し) EP-G塗	J2	EXP.Jｶﾊﾞｰ(外壁ｺｰﾅｰ):ｱﾙﾐ製(既製品) [再取付]
D9	目地ｼｰﾘﾝｸﾞ(PU-2 15×10)	J3	EXP.Jｶﾊﾞｰ(外壁-外壁):ｽﾃﾝﾚｽ製(既製品) [再取付]
E1	基礎巾木:水洗(高圧ﾎﾟﾝﾌﾟ)の上 ﾌｯ素樹脂ｸﾘｱ塗装	J4	EXP.Jｶﾊﾞｰ(外壁ｺｰﾅｰ):ｽﾃﾝﾚｽ製(既製品) [再取付]

凡　例

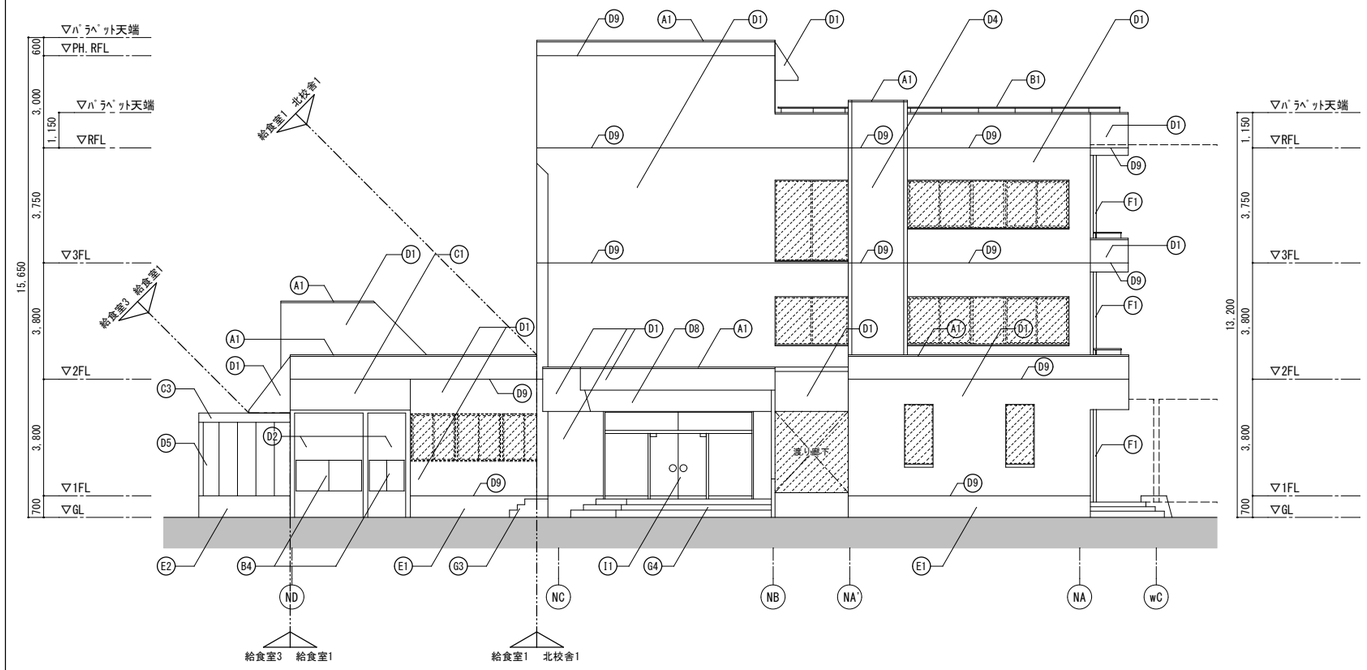
▨	改修範囲外の部分を示す
----------	既存のままの部分を示す

注　記

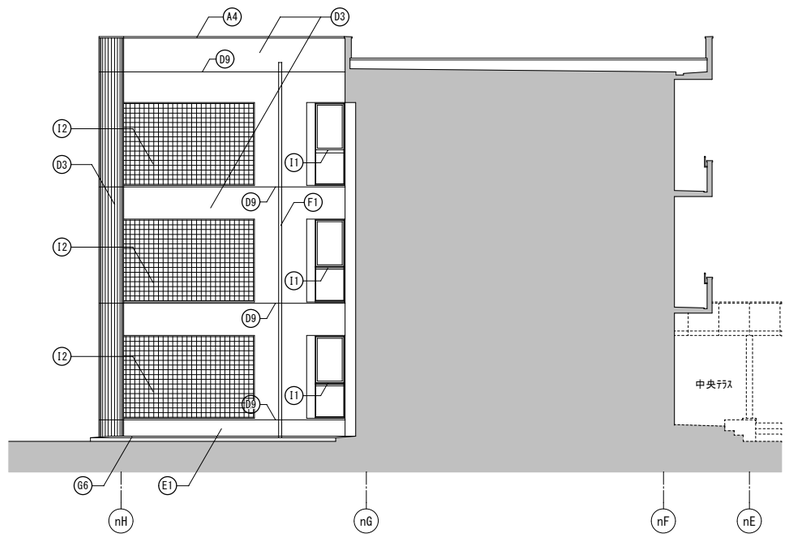
設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅰ期)
図面名称	【改修後】南立面図
縮　尺	A1:1/100 A3:1/200
年　月	2024.03
設計番号	
図面番号	A－038
承認/赤沼 直幸	設計者/一級建築士 第284436号 赤沼 直幸
照査/荒木 啓文	製図/西巻 裕太

SOWA
一級建築士事務所
株式会社 相和技術研究所
宮城県知事登録 第22910116号

O 1	【改修前】西立面図	A1:1/100 A3:1/200



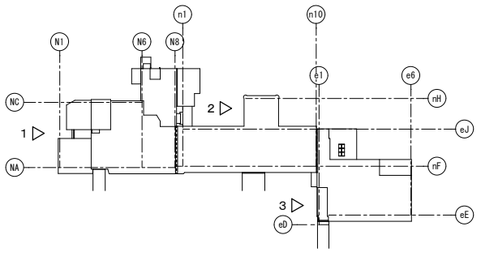
西立面図1



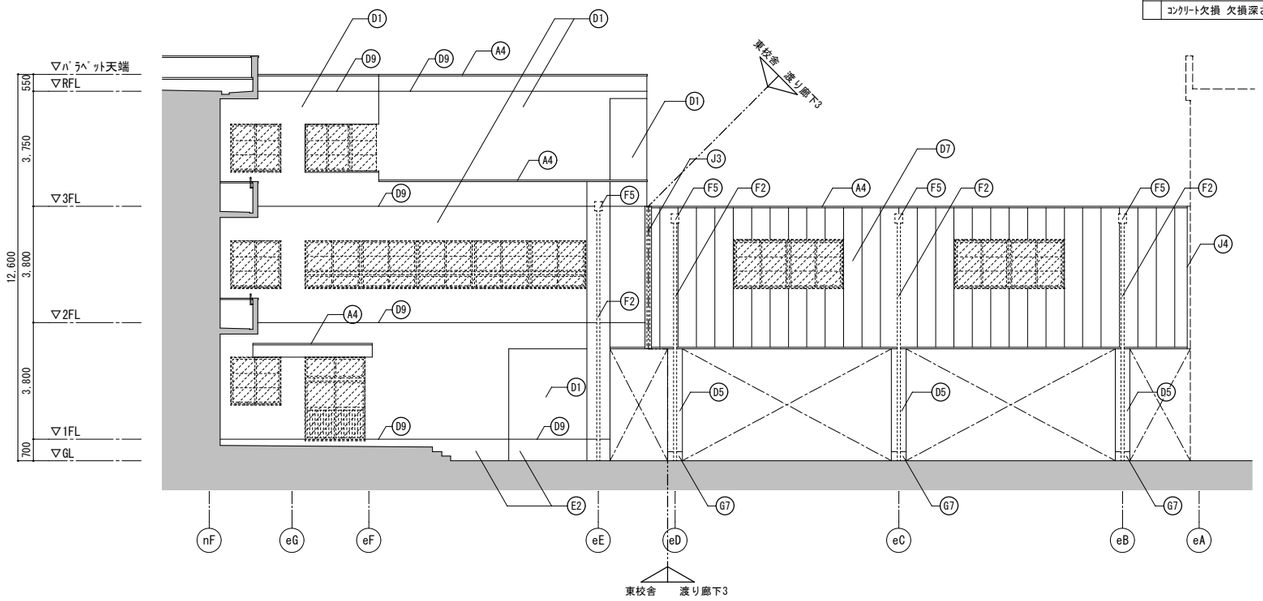
西立面図2

次のｺﾝｸﾘｰﾄ補修を見込むこと

工法	数量	単位
自動式低圧ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法		
ｸﾗｯｸ幅 0.2～0.3未満	—	m
ｸﾗｯｸ幅 0.3～0.5未満	18.0	m
ｸﾗｯｸ幅 0.5～1.0未満	7.5	m
Uｶｯﾄｼｰﾘﾝｸﾞ材充填工法		
ｸﾗｯｸ幅 1.0～1.5未満	—	m
ｸﾗｯｸ幅 1.5以上	—	m
ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ充填工法		
ｺﾝｸﾘｰﾄ欠損 欠損深さ20mm	0.3	m2



立面ｷｰﾌﾟﾗﾝ



西立面図3

凡例

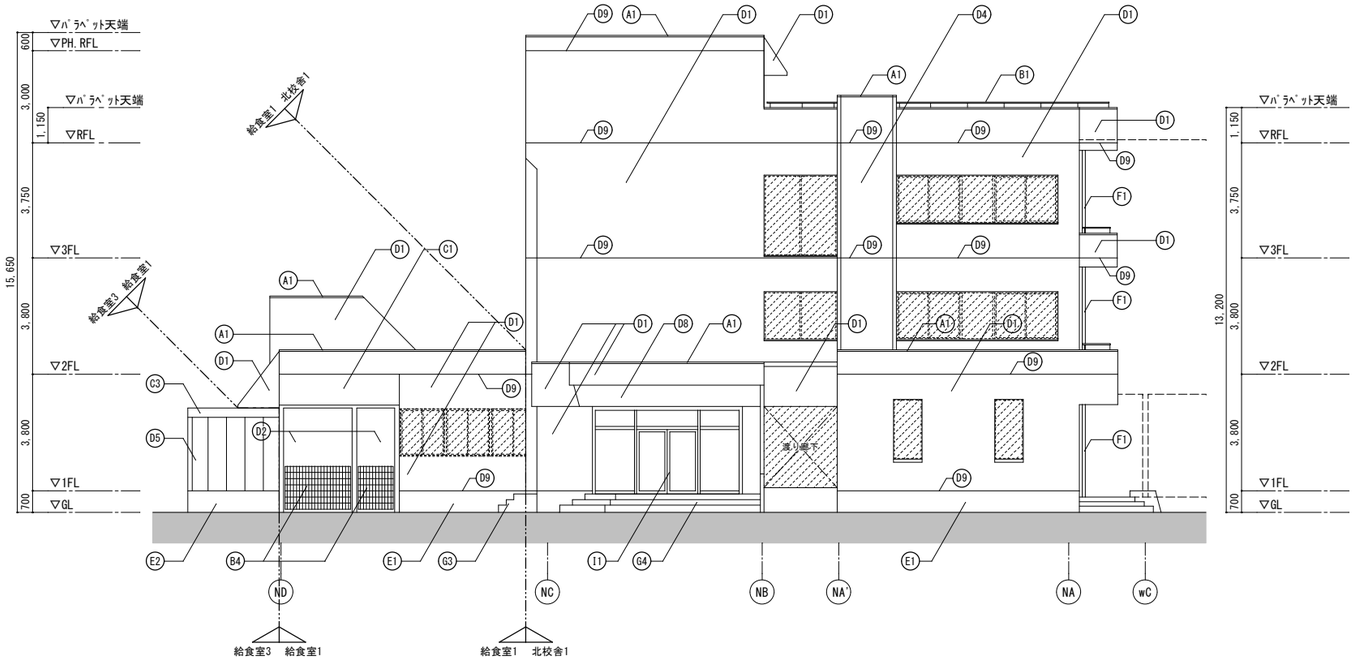
記号	仕様・寸法
A1	木下地 240×40［撤去］の上 亜鉛鉄板笠木［撤去］
A2	PC版笠木［撤去］
A3	防水ﾓﾙﾀﾙ笠木［撤去］の上 ｳﾚﾀﾝ系塗膜防水(X-2)［撤去］
A4	ｱﾙﾐ製笠木［取外］
A5	ｱﾙﾐ製笠木［既存］
B1	鋼管製手すり［塗膜除去］
B2	SUS製手すり［既存］
B3	ﾀﾗｯﾌﾟ［撤去］
B4	鋼製形鋼門扉 H1000［撤去］
B5	ｽﾃｰﾙﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ H1600［撤去］ ｽﾃｰﾙﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ門扉 W2000×H(2000+1150)［撤去］
B6	ｺﾞﾑ製ｸｯｼｮﾝｽﾄｯﾊﾟｰ［撤去］
B7	ｽﾃｰﾙﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ H2200［撤去］
C1	庇:防水ﾓﾙﾀﾙ塗［撤去］
C2	ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板折版葺き［塗膜除去］
C3	ﾊﾗﾊﾞ・軒先・外壁ｴｱﾌﾞﾛﾝ 屋根同材包み［塗膜除去］
D1	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放の上 複層塗材E［高圧水洗工法］
D2	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放の上 ｹｲ酸質系塗装［ｻﾝﾀﾞｰ工法］
D3	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放の上 防水型複層塗材E ［高圧水洗工法］
D4	ﾓﾙﾀﾙ塗の上 三丁掛けﾀｲﾙ［既存］
D5	押出成形板の上 複層塗材E［水洗い工法］ 目地ｼｰﾘﾝｸﾞ 15×10［撤去］
D6	ﾘﾌﾞ付型枠ｺﾝｸﾘｰﾄ打放の上 複層塗材 ［高圧水洗工法］
D7	押出成形セメント板(ｽﾄﾗｲﾌﾟ柄)［既存］の上 複層塗材E［水洗い工法］ 目地ｼｰﾘﾝｸﾞ 15×10［撤去］
D8	LGS下地［撤去］の上 ｹｲｶﾙ板(ｱｽﾍﾞｽﾄ)t6 VP塗 ［撤去］
D9	目地ｼｰﾘﾝｸﾞ 15×10［撤去］
E1	基礎巾木:ﾓﾙﾀﾙ塗［既存］
E2	基礎巾木:ｺﾝｸﾘｰﾄ打放［既存］
F1	竪樋A:SGP(白ｶﾞｽ管)［塗膜除去］ 支持金具［撤去］
F2	竪樋B:ｽﾃﾝﾚｽ管［既存］
F3	竪樋C:VP管［撤去］
F4	軒樋:塩ﾋﾞ被覆鋼板 W120［撤去］
F5	飾り柄:SUS製 250×220×H220［既存］
G1	ﾓﾙﾀﾙ塗［撤去］、陶器質段鼻ﾀｲﾙ［撤去］
G2	ﾓﾙﾀﾙ塗［既存］、磁器質段鼻ﾀｲﾙ［撤去］
G3	ﾀﾀｷ:ﾓﾙﾀﾙ塗［撤去］、陶器質段鼻ﾀｲﾙ［撤去］
G4	磁器質ﾀｲﾙ［一部撤去］、磁器質段鼻ﾀｲﾙ［撤去］
G5	陶器質300角ﾀｲﾙ［既存］
G6	ﾓﾙﾀﾙ塗［既存］
G7	ﾓﾙﾀﾙ塗［撤去］
G8	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し［既存］
H1	靴洗い:防水ﾓﾙﾀﾙ塗［撤去］
H2	靴洗い:防水ﾓﾙﾀﾙ塗［既存］ 甲板:御影石W200×t20［既存］
H3	窓台水切A・C:防水ﾓﾙﾀﾙ塗［既存］
H4	窓台水切B:PC板 W400×t40［既存］
I1	建具改修(建具表参照)
I2	ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ［破損部撤去］
I3	ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ［既存］
J1	EXP.Jｶﾊﾞｰ(外壁-外壁):ｱﾙﾐ製(既製品)［取外］
J2	EXP.Jｶﾊﾞｰ(外壁ｺｰﾅｰ):ｱﾙﾐ製(既製品)［取外］
J3	EXP.Jｶﾊﾞｰ(外壁-外壁):ｽﾃﾝﾚｽ製(既製品) ［取外］
J4	EXP.Jｶﾊﾞｰ(外壁ｺｰﾅｰ):ｽﾃﾝﾚｽ製(既製品)［取外］

凡　例			注　記
	改修範囲外の部分を示す		
	既存のままの部分を示す		

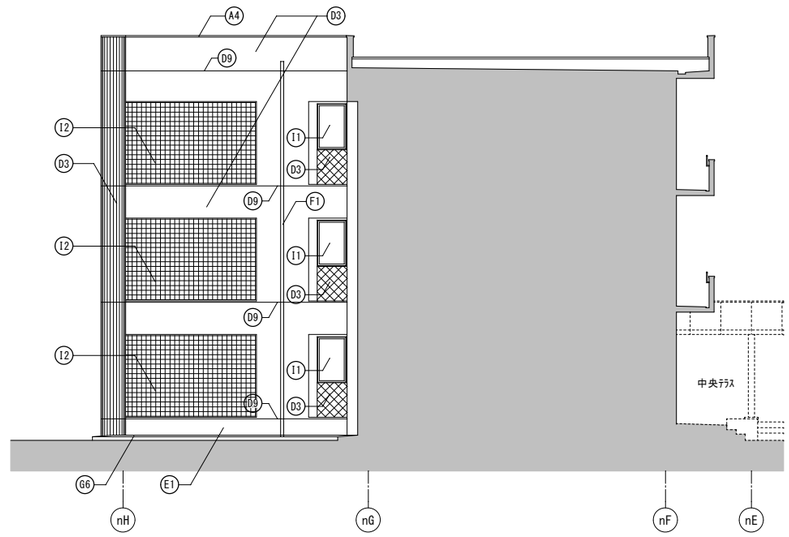
設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ｉ期)		
図面名称	【改修前】西立面図		
縮　尺	A1:1/100 A3:1/200	年　月	2024.03
設計番号		図面番号	A－039
承認/赤沼 直幸	設計者/一級建築士 第284436号 赤沼 直幸	製図/西巻 裕太	
照査/佐々木 啓文			

SOWA 一級建築士事務所 株式会社 相和技術研究所 宮城県知事登録 第2291016号

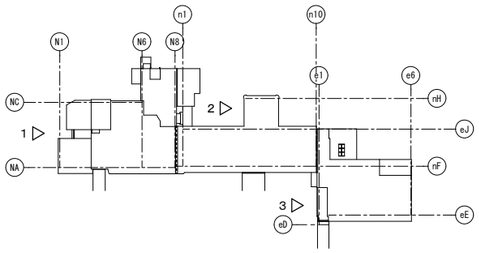
01	【改修後】西立面図



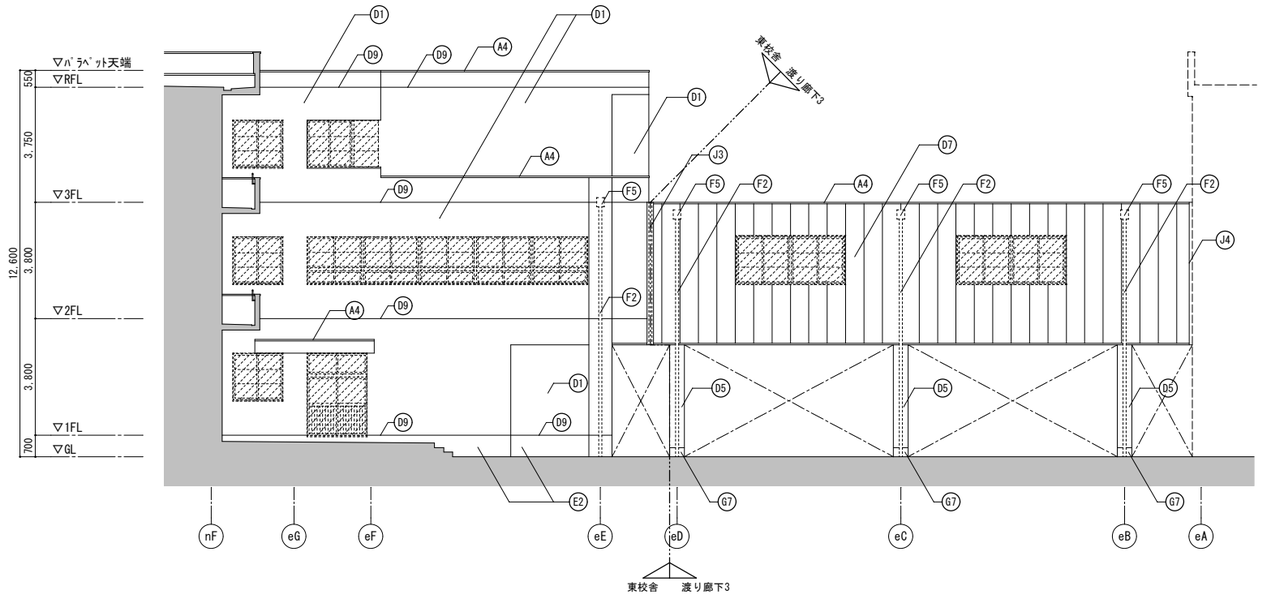
西立面図1



西立面図2



立面ｷｰﾌﾟﾗﾝ



西立面図3

凡例 ※特記なき場合、新設とする

記号	仕様・寸法
	ｺﾝｸﾘｰﾄ壁 新設 ※仕上は図示

記号	仕様・寸法
A1	ｱﾙﾐ製笠木
A2	
A3	
A4	ｱﾙﾐ製笠木［再取付］
A5	ｱﾙﾐ製笠木［既存］
B1	鋼管製手すり 錆止の上 DP(1級)［塗替］
B2	SUS製手すり［既存］
B3	SUS製あと施工ﾀﾗｯﾌﾟ W400
B4	高耐食ｽﾁｰﾙﾒｯｼｭ門扉 H1500
B5	高耐食ｽﾁｰﾙﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ H1500 高耐食ｽﾁｰﾙﾒｯｼｭ門扉 W1800×H(2000+1150)
B6	ｺﾞﾑ製ｸｯｼｮﾝｽﾄｯﾊﾟｰ
B7	高耐食ｽﾁｰﾙﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ H2200
C1	庇:ｳﾚﾀﾝ系塗膜防水(X-2)
C2	折版葺き 錆止の上 DP(1級)［塗替］
C3	ﾗﾗﾊﾞ・軒先・外壁ｴｱﾌﾞﾛﾝ 錆止の上 DP(1級)［塗替］
D1	
D2	防水型複層塗材E(ゆず肌)
D3	
D4	注入口付ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ全面ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法
D5	可とう形改修塗材E(厚付) 目地ｼｰﾘﾝｸﾞ(PU-2 15×10)
D6	防水型複層塗材E(ゆず肌)
D7	可とう形改修塗材E(厚付) 目地ｼｰﾘﾝｸﾞ(PU-2 15×10)
D8	LGS(25型)の上 ｹｲｶﾙ板t6(目透し) EP-G塗
D9	目地ｼｰﾘﾝｸﾞ(PU-15×10)
E1	基礎巾木:水洗(高圧ﾎﾞﾝﾌﾞ)の上 ﾌｯ素樹脂ｸﾘｱ塗装
E2	
F1	竪樋A:錆止の上 DP(1級)［塗替］ SUS製支持金具@1200
F2	竪樋B:ｽﾃﾝﾚｽ管［既存］
F3	竪樋C:ｶﾗｰVP100
F4	軒樋:塩ﾋﾞ被覆鋼板 前高W120
F5	飾り桝:SUS製 250×220×H220［既存］
G1	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.5(屋外防滑)
G2	SUS製ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ(ﾀｲﾔﾚｽ) W35
G3	ﾀﾀｷ:ﾓﾙﾀﾙ塗、SUS製ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ(ﾀｲﾔﾚｽ) W35
G4	磁器質ﾀｲﾙ［一部新設］、磁器質段鼻ﾀｲﾙ
G5	陶器質300角ﾀｲﾙ［既存］水洗い(高圧ﾎﾞﾝﾌﾞ)
G6	ﾓﾙﾀﾙ塗［既存］水洗い(高圧ﾎﾞﾝﾌﾞ)
G7	ﾓﾙﾀﾙ塗
G8	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し［既存］水洗い(高圧ﾎﾞﾝﾌﾞ)
H1	靴洗い:防水ﾓﾙﾀﾙ塗
H2	靴洗い:防水ﾓﾙﾀﾙ塗［既存］ 甲板:御影石W200×t20［既存］
H3	窓台水切A・C:ｳﾚﾀﾝ系塗膜防水(X-2)
H4	窓台水切B:ｳﾚﾀﾝ系塗膜防水(X-2) 目地ｼｰﾘﾝｸﾞ MS-2 10×10
I1	建具改修(建具表参照)
I2	ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ破損部更新の上 ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ用ｳﾚﾀﾝ系塗膜防水
I3	ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ［既存］ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ用ｳﾚﾀﾝ系塗膜防水
J1	EXP.Jｶﾊﾞｰ(外壁-外壁):ｱﾙﾐ製(既製品) ［再取付］
J2	EXP.Jｶﾊﾞｰ(外壁ｺｰﾅｰ):ｱﾙﾐ製(既製品)［再取付］
J3	EXP.Jｶﾊﾞｰ(外壁-外壁):ｽﾃﾝﾚｽ製(既製品) ［再取付］
J4	EXP.Jｶﾊﾞｰ(外壁ｺｰﾅｰ):ｽﾃﾝﾚｽ製(既製品) ［再取付］

凡　例

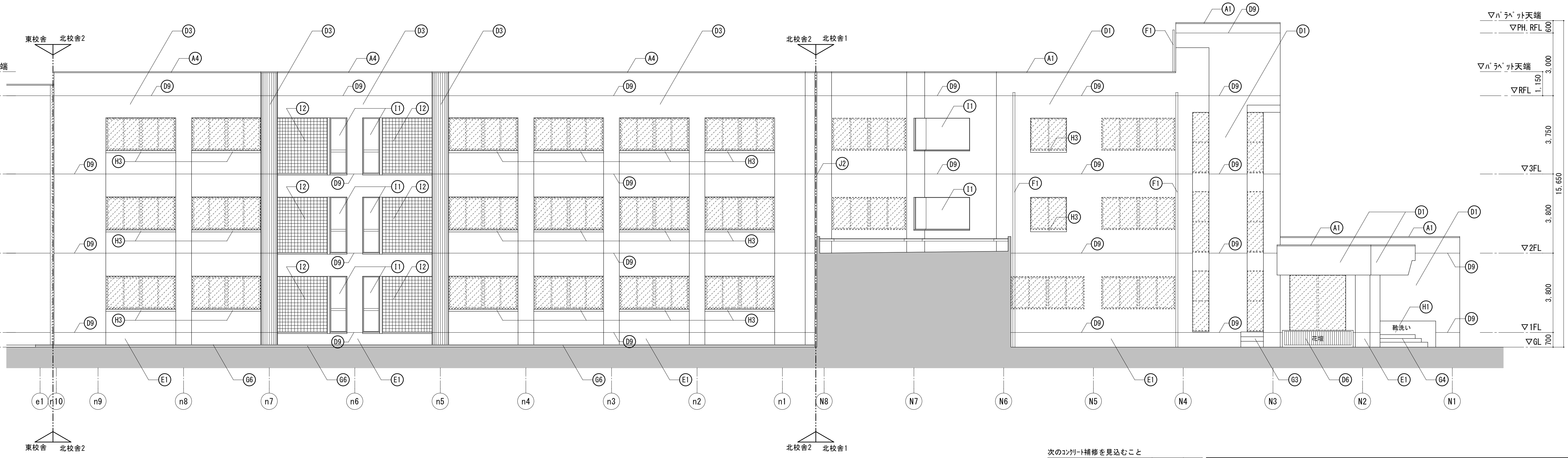
	改修範囲外の部分を示す	
	既存のままの部分を示す	

注　記

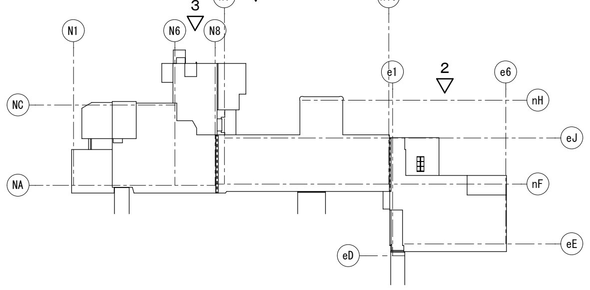
設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅰ期)
図面名称	【改修後】西立面図
縮　尺	A1:1/100 A3:1/200
年　月	2024.03
設計番号	
図面番号	A－040
承認/赤沼 直幸	
設計者/一級建築士 第284436号 赤沼 直幸	
製図/西巻 裕太	
照査/佐々木 啓文	

SOWA 一級建築士事務所 株式会社 相和技術研究所 宮城県知事登録 第22910116号

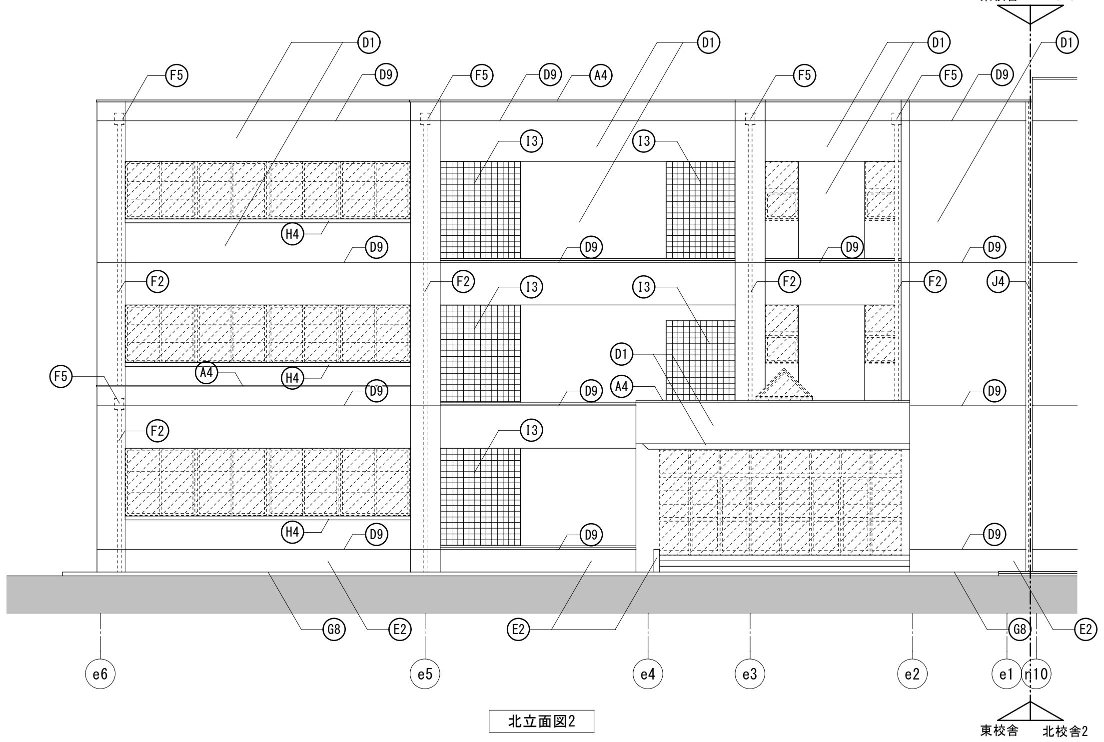
01	【改修前】北立面図	A1:1/100 A3:1/200



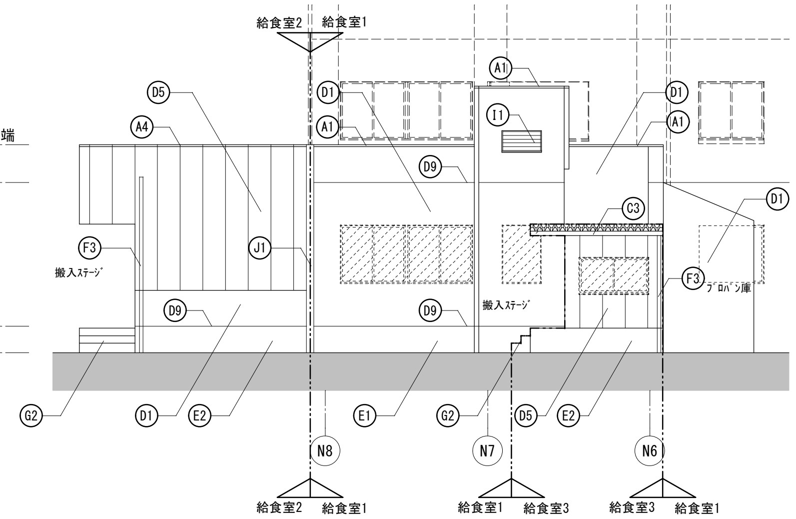
北立面図1



立面キープラン



北立面図2



北立面図3

次のコンクリート補修を見込むこと

工法	数量	単位
自動式低圧エポキシ樹脂注入工法		
クラック幅 0.2～0.3未満	―	m
クラック幅 0.3～0.5未満	91.2	m
クラック幅 0.5～1.0未満	6.0	m
Uカットシーリング材充填工法		
クラック幅 1.0～1.5未満	10.8	m
クラック幅 1.5以上	―	m
ポリマーセメントモルタル充填工法		
コンクリート欠損 欠損深さ20mm	0.8	m2

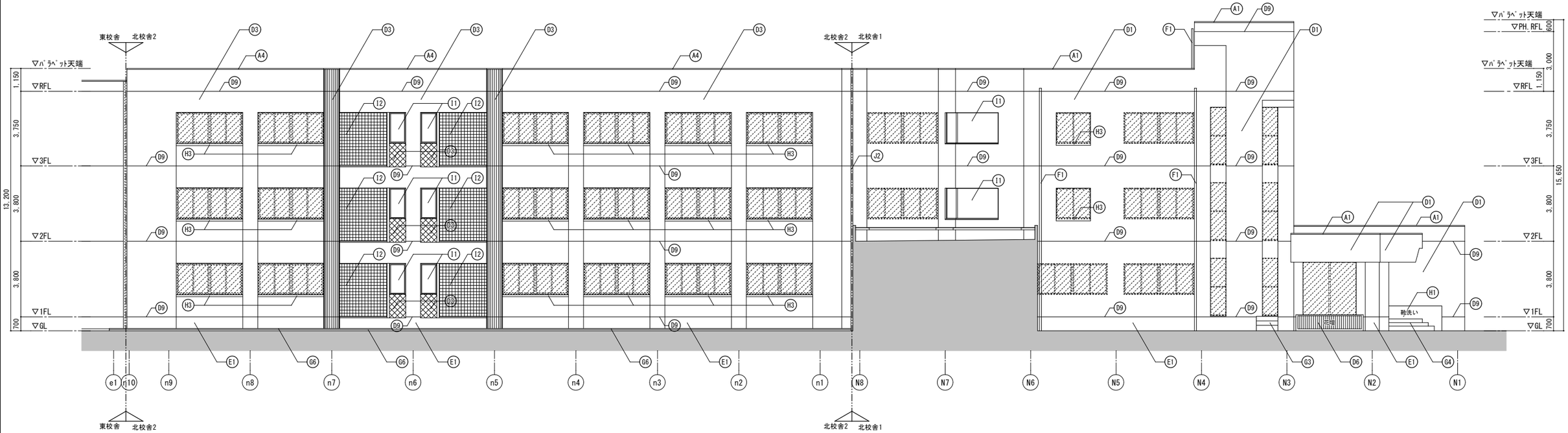
凡例

記号	仕様・寸法	記号	仕様・寸法
A1	木下地 240×40［撤去］の上 亜鉛鉄板笠木［撤去］	E2	基礎巾木:コンクリート打放［既存］
A2	PC版笠木［撤去］	F1	竪樋A:SGP(白ガス管)［塗膜除去］ 支持金具［撤去］
A3	防水モルタル笠木［撤去］の上 ウレタン系塗膜防水(X-2)［撤去］	F2	竪樋B:ステンレス管［既存］
A4	アルミ製笠木［取外］	F3	竪樋C:VP管［撤去］
A5	アルミ製笠木［既存］	F4	軒樋:塩ビ被覆鋼板 W120［撤去］
B1	鋼管製手すり［塗膜除去］	F5	飾り桝:SUS製 250×220×H220［既存］
B2	SUS製手すり［既存］	G1	モルタル塗［撤去］、陶器質段鼻タイル［撤去］
B3	タラップ［撤去］	G2	モルタル塗［既存］、磁器質段鼻タイル［撤去］
B4	鋼製形鋼門扉 H1000［撤去］	G3	タタキ:モルタル塗［撤去］、陶器質段鼻タイル［撤去］
B5	スチールメッシュフェンス H1600［撤去］ スチールメッシュフェンス門扉 W2000×H(2000+1150)［撤去］	G4	磁器質タイル［一部撤去］、磁器質段鼻タイル［撤去］
B6	ゴム製クッションストッパー［撤去］	G5	陶器質300角タイル［既存］
B7	スチールメッシュフェンス H2200［撤去］	G6	モルタル塗［既存］
C1	庇:防水モルタル塗［撤去］	G7	モルタル塗［撤去］
C2	カラーガルバリウム鋼板折版葺き［塗膜除去］	G8	コンクリート直均し［既存］
C3	ケラバ・軒先・外壁エプロン 屋根同材包み［塗膜除去］	H1	靴洗い:防水モルタル塗［撤去］
D1	コンクリート打放の上 複層塗材E［高圧水洗工法］	H2	靴洗い:防水モルタル塗［既存］ 甲板:御影石W200×t20［既存］
D2	コンクリート打放の上 ケイ酸質系塗装［サンダー工法］	H3	窓台水切A・C:防水モルタル塗［既存］
D3	コンクリート打放の上 防水型複層塗材E［高圧水洗工法］	H4	窓台水切B:PC版 W400×t40［既存］
D4	モルタル塗の上 三丁掛けタイル［既存］	I1	建具改修(建具表参照)
D5	押出成形板の上 複層塗材E［水洗い工法］ 目地シーリング 15×10［撤去］	I2	ガラスブロック［破損部撤去］
D6	リブ付型枠コンクリート打放の上 複層塗材［高圧水洗工法］	I3	ガラスブロック［既存］
D7	押出成形セメント板(ストライプ柄)［既存］の上 複層塗材E［水洗い工法］ 目地シーリング 15×10［撤去］	J1	EXP,Jカバー(外壁ー外壁):アルミ製(既製品)［取外］
D8	LGS下地［撤去］の上 ケイカル板(アスベスト)t6 VP塗［撤去］	J2	EXP,Jカバー(外壁コーナー):アルミ製(既製品)［取外］
D9	目地シーリング 15×10［撤去］	J3	EXP,Jカバー(外壁ー外壁):ステンレス製(既製品)［取外］
E1	基礎巾木:モルタル塗［既存］	J4	EXP,Jカバー(外壁コーナー):ステンレス製(既製品)［取外］

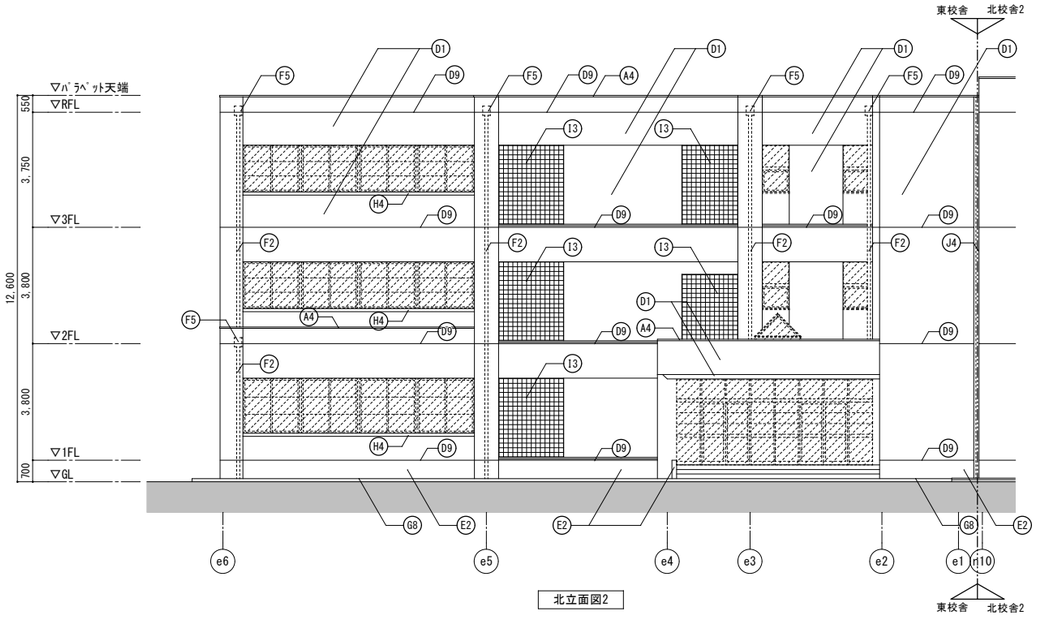
凡例	
(斜線)	改修範囲外の部分を示す
(破線)	既存のままの部分を示す

注記

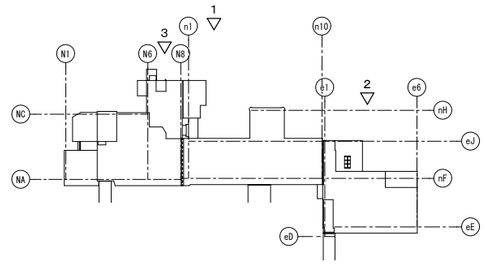
設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅰ期)
図面名称	【改修前】北立面図
縮尺	A1:1/100 A3:1/200
年月	2024.03
設計番号	
図面番号	A－041
一級建築士事務所 株式会社 相和技術研究所 仙台事務所 宮城県知事登録 第22910116号	SOWA
承認/赤沼 直幸	照査/佐々木 啓文
設計者/	一級建築士 第284436号 赤沼 直幸
製図/	西巻 裕太



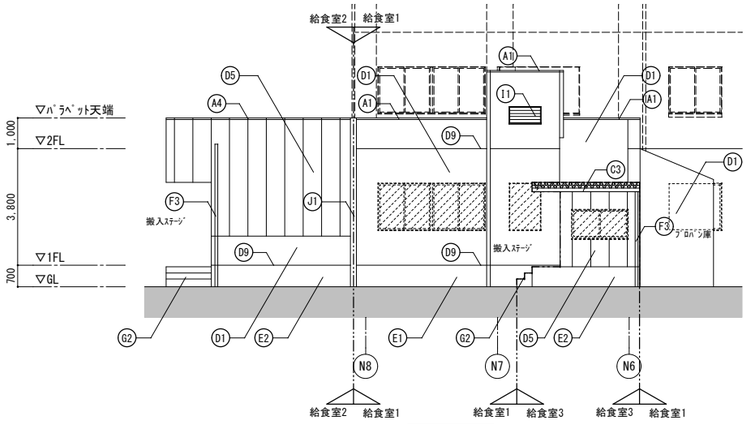
北立面図1



北立面図2



立面キープラン



北立面図3

凡例　※特記なき場合、新設とする

記号	仕様・寸法	記号	仕様・寸法	記号	仕様・寸法
	ｺﾝｸﾘｰﾄ壁 新設 ※仕上は図示	A1	ｱﾙﾐ製笠木	E2	基礎巾木:水洗(高圧ﾎﾞﾝﾌﾞ)の上 ﾌｯ素樹脂ｸﾘｱ塗装
		A2		F1	竪樋A:錆止の上 DP(1級) [塗替] SUS製支持金具@1200
		A3		F2	竪樋B:ｽﾃﾝﾚｽ管 [既存]
		A4	ｱﾙﾐ製笠木 [再取付]	F3	竪樋C:ｶﾗｰVP100
		A5	ｱﾙﾐ製笠木 [既存]	F4	軒樋:塩ﾋﾞ被覆鋼板 前高W120
		B1	鋼管製手すり 錆止の上 DP(1級) [塗替]	F5	飾り桝:SUS製 250×220×H220 [既存]
		B2	SUS製手すり [既存]	G1	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.5(屋外防滑) SUS製ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ(ﾀｲﾔﾚｽ) W35
		B3	SUS製あと施工ﾀﾗｯﾌﾟ W400	G2	
		B4	高耐食ｽﾁｰﾙﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ H1500	G3	ﾀｸﾀｷ:ﾓﾙﾀﾙ塗、SUS製ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ(ﾀｲﾔﾚｽ) W35
		B5	高耐食ｽﾁｰﾙﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ H1500 高耐食ｽﾁｰﾙﾒｯｼｭ門扉 W1800×H(2000+1150)	G4	磁器質ﾀｲﾙ [一部新設]、磁器質段鼻ﾀｲﾙ
		B6	ｺﾞﾑ製ｸｯｼｮﾝｽﾄｯﾊﾟｰ	G5	陶器質300角ﾀｲﾙ [既存] 水洗い(高圧ﾎﾞﾝﾌﾞ)
		B7	高耐食ｽﾁｰﾙﾒｯｼｭﾌｪﾝｽ H2200	G6	ﾓﾙﾀﾙ塗 [既存] 水洗い(高圧ﾎﾞﾝﾌﾞ)
		C1	庇:ｳﾚﾀﾝ系塗膜防水(X-2)	G7	ﾓﾙﾀﾙ塗
		C2	折版葺き 錆止の上 DP(1級) [塗替]	G8	ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し [既存] 水洗い(高圧ﾎﾞﾝﾌﾞ)
		C3	ｹﾗﾊﾞ・軒先・外壁ｴﾌﾞﾛﾝ 錆止の上 DP(1級) [塗替]	H1	靴洗い:防水ﾓﾙﾀﾙ塗
		D1	防水型複層塗材E(ゆず肌)	H2	靴洗い:防水ﾓﾙﾀﾙ塗 [既存] 甲板:御影石W200×t20 [既存]
		D2		H3	窓台水切A・C:ｳﾚﾀﾝ系塗膜防水(X-2)
		D3		H4	窓台水切B:ｳﾚﾀﾝ系塗膜防水(X-2) 目地ｼｰﾘﾝｸﾞ MS-2 10×10
		D4	注入口付ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ全面ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法	I1	建具改修(建具表参照)
		D5	可とう形改修塗材E(厚付) 目地ｼｰﾘﾝｸﾞ(PU-2 15×10)	I2	ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ破損部更新の上 ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ用ｳﾚﾀﾝ系塗膜防水
		D6	防水型複層塗材E(ゆず肌)	I3	ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ [既存] ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ用ｳﾚﾀﾝ系塗膜防水
		D7	可とう形改修塗材E(厚付) 目地ｼｰﾘﾝｸﾞ(PU-2 15×10)	J1	EXP.Jｶﾊﾞｰ(外壁-外壁):ｱﾙﾐ製(既製品) [再取付]
		D8	LGS(25型)の上 ｹｲｶﾙ板t6(目透し) EP-G塗	J2	EXP.Jｶﾊﾞｰ(外壁ｺｰﾅｰ):ｱﾙﾐ製(既製品) [再取付]
		D9	目地ｼｰﾘﾝｸﾞ(PU-2 15×10)	J3	EXP.Jｶﾊﾞｰ(外壁-外壁):ｽﾃﾝﾚｽ製(既製品) [再取付]
		E1	基礎巾木:水洗(高圧ﾎﾞﾝﾌﾞ)の上 ﾌｯ素樹脂ｸﾘｱ塗装	J4	EXP.Jｶﾊﾞｰ(外壁ｺｰﾅｰ):ｽﾃﾝﾚｽ製(既製品) [再取付]

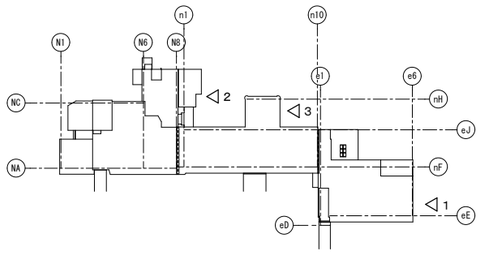
凡　例			
	改修範囲外の部分を示す		
	既存のままの部分を示す		

注　記

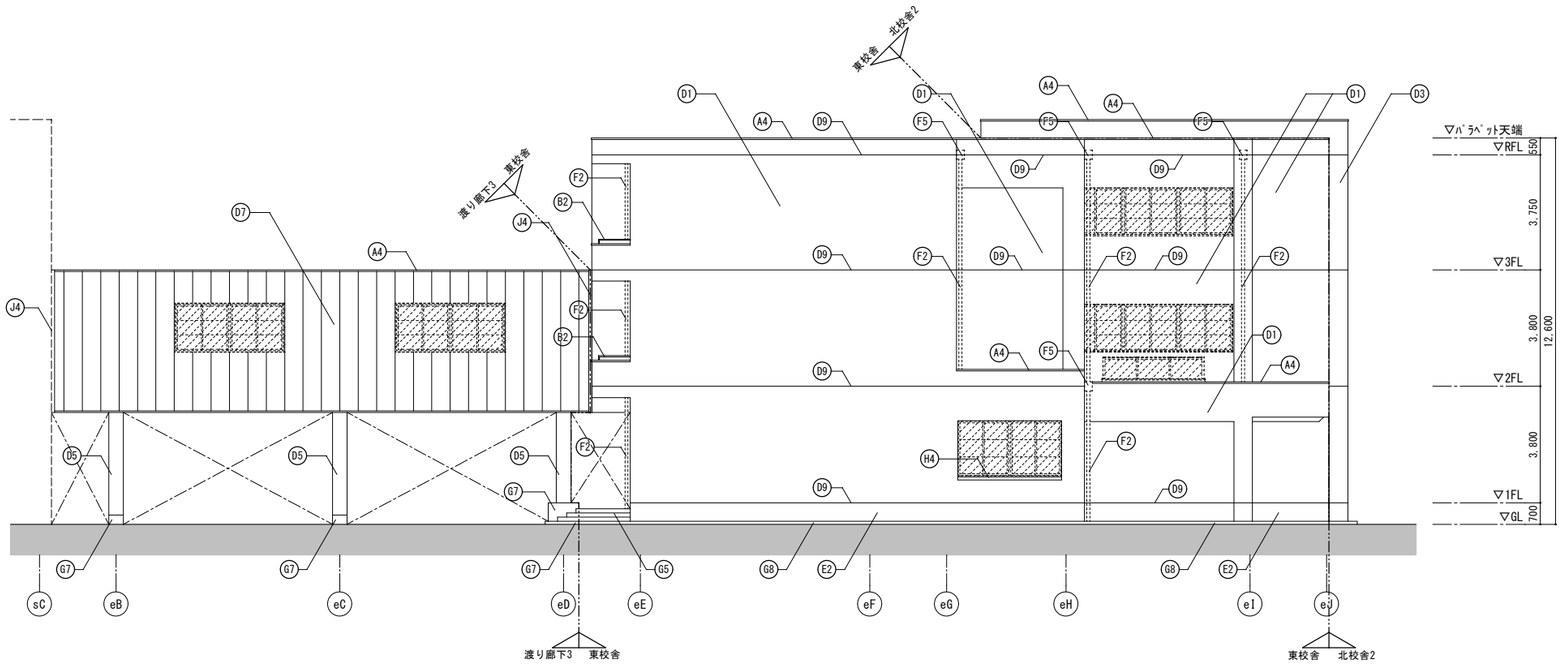
設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅰ期)
図面名称	【改修後】北立面図
縮　尺	A1:1/100 A3:1/200
年　月	2024.03
設計番号	
図面番号	A －042
承認/赤沼 直幸	
設計者/一級建築士 第284436号 赤沼 直幸	
製図/西巻 裕太	
照査/佐々木 啓文	

SOWA 一級建築士事務所 株式会社 相和技術研究所 宮城県知事登録 第22910116号

O 1	【改修前】東立面図	A1:1/100 A3:1/200



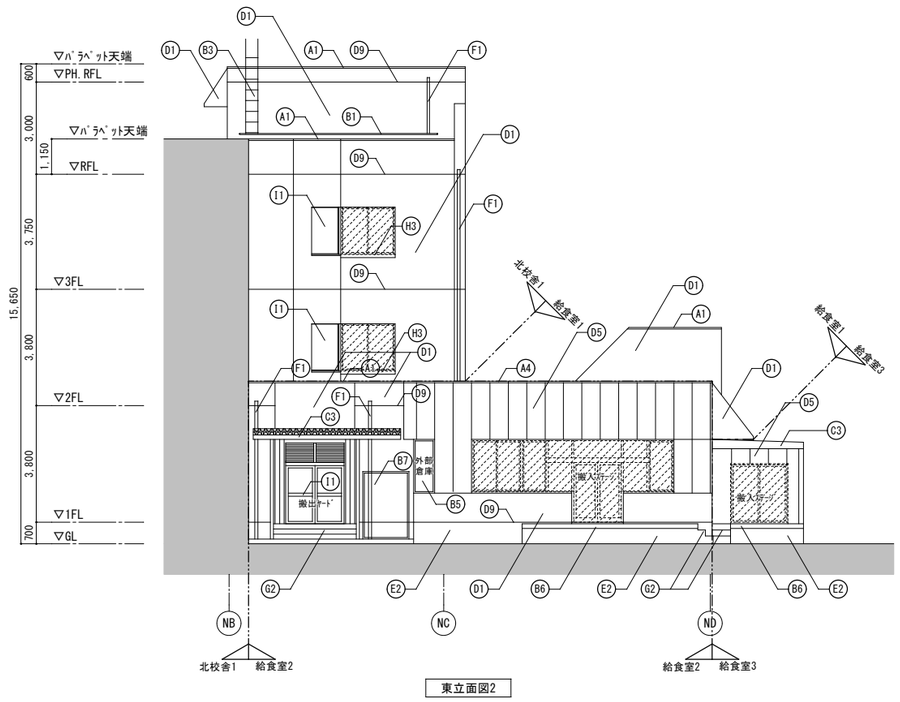
立面キープラン



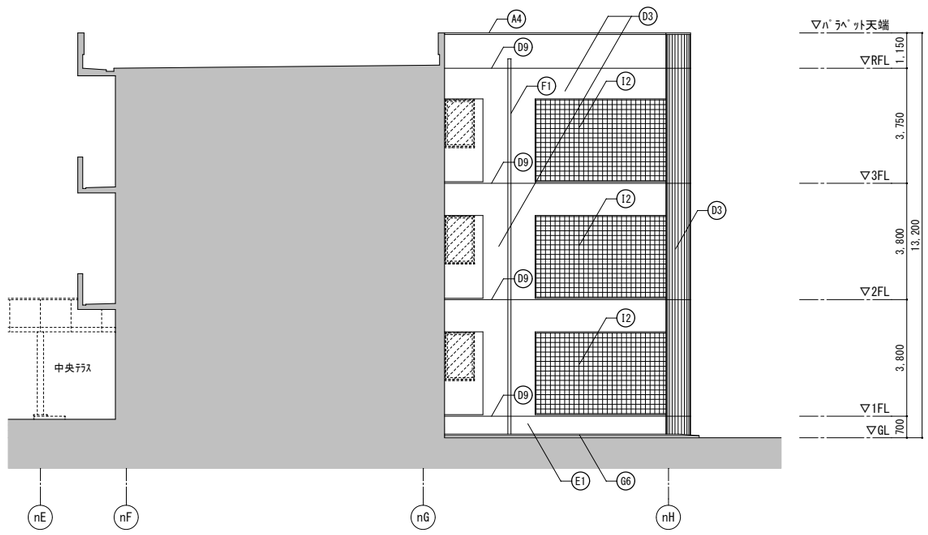
東立面図1

次のコンクリート補修を見込むこと

工法	数量	単位
自動式低圧エポキシ樹脂注入工法		
クラック幅 0.2～0.3未満	—	m
クラック幅 0.3～0.5未満	45.0	m
クラック幅 0.5～1.0未満	30.1	m
Uカットシーリング材充填工法		
クラック幅 1.0～1.5未満	3.6	m
クラック幅 1.5以上	—	m
ポリマーセメントモルタル充填工法		
コンクリート欠損 欠損深さ20mm	0.1	m2



東立面図2



東立面図3

凡例

記号	仕様・寸法
A1	木下地 240×40［撤去］の上 亜鉛鉄板笠木［撤去］
A2	PC版笠木［撤去］
A3	防水モルタル笠木［撤去］の上 ウレタン系塗膜防水(X-2)［撤去］
A4	アルミ製笠木［取外］
A5	アルミ製笠木［既存］
B1	鋼管製手すり［塗膜除去］
B2	SUS製手すり［既存］
B3	タラップ［撤去］
B4	鋼製形鋼門扉 H1000［撤去］
B5	スチールメッシュフェンス H1600［撤去］ スチールメッシュフェンス門扉 W2000×H(2000+1150)［撤去］
B6	ゴム製クッションストッパー［撤去］
B7	スチールメッシュフェンス H2200［撤去］
C1	庇:防水モルタル塗［撤去］
C2	カラーガルバリウム鋼板折版葺き［塗膜除去］
C3	ケラバ・軒先・外壁エプロン 屋根回材包み［塗膜除去］
D1	コンクリート打放の上 複層塗材E［高圧水洗工法］
D2	コンクリート打放の上 ケイ酸質系塗装［サンダー工法］
D3	コンクリート打放の上 防水型複層塗材E ［高圧水洗工法］
D4	モルタル塗の上 三丁掛けタイル［既存］
D5	押出成形板の上 複層塗材E［水洗い工法］ 目地シーリング 15×10［撤去］
D6	リブ付型枠コンクリート打放の上 複層塗材 ［高圧水洗工法］
D7	押出成形セメント板(ストライプ柄)［既存］の上 複層塗材E［水洗い工法］ 目地シーリング 15×10［撤去］
D8	LGS下地［撤去］の上 ケイカル板(アスベスト)t6 VP塗 ［撤去］
D9	目地シーリング 15×10［撤去］
E1	基礎巾木:モルタル塗［既存］
E2	基礎巾木:コンクリート打放［既存］
F1	竪樋A:SGP(白ガス管) ［塗膜除去］ 支持金具［撤去］
F2	竪樋B:ステンレス管［既存］
F3	竪樋C:VP管［撤去］
F4	軒樋:塩ビ被覆鋼板 W120［撤去］
F5	飾り桝:SUS製 250×220×H220［既存］
G1	モルタル塗［撤去］、陶器質段鼻タイル［撤去］
G2	モルタル塗［既存］、磁器質段鼻タイル［撤去］
G3	タタキ:モルタル塗［撤去］、陶器質段鼻タイル［撤去］
G4	磁器質タイル［一部撤去］、磁器質段鼻タイル［撤去］
G5	陶器質300角タイル［既存］
G6	モルタル塗［既存］
G7	モルタル塗［撤去］
G8	コンクリート直均し［既存］
H1	靴洗い:防水モルタル塗［撤去］
H2	靴洗い:防水モルタル塗［既存］ 甲板:御影石W200×t20［既存］
H3	窓台水切A・C:防水モルタル塗［既存］
H4	窓台水切B:PC板 W400×t40［既存］
I1	建具改修(建具表参照)
I2	ガラスブロック［破損部撤去］
I3	ガラスブロック［既存］
J1	EXP.Jカバー(外壁-外壁):アルミ製(既製品)［取外］
J2	EXP.Jカバー(外壁コーナー):アルミ製(既製品)［取外］
J3	EXP.Jカバー(外壁-外壁):ステンレス製(既製品) ［取外］
J4	EXP.Jカバー(外壁コーナー):ステンレス製(既製品)［取外］

凡例

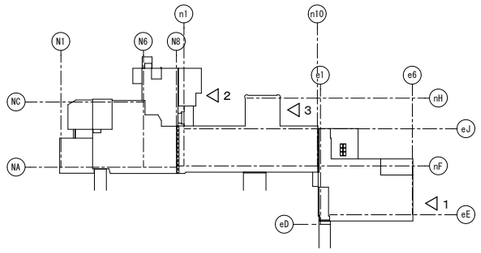
改修範囲外の部分を示す	
既存のままの部分を示す	

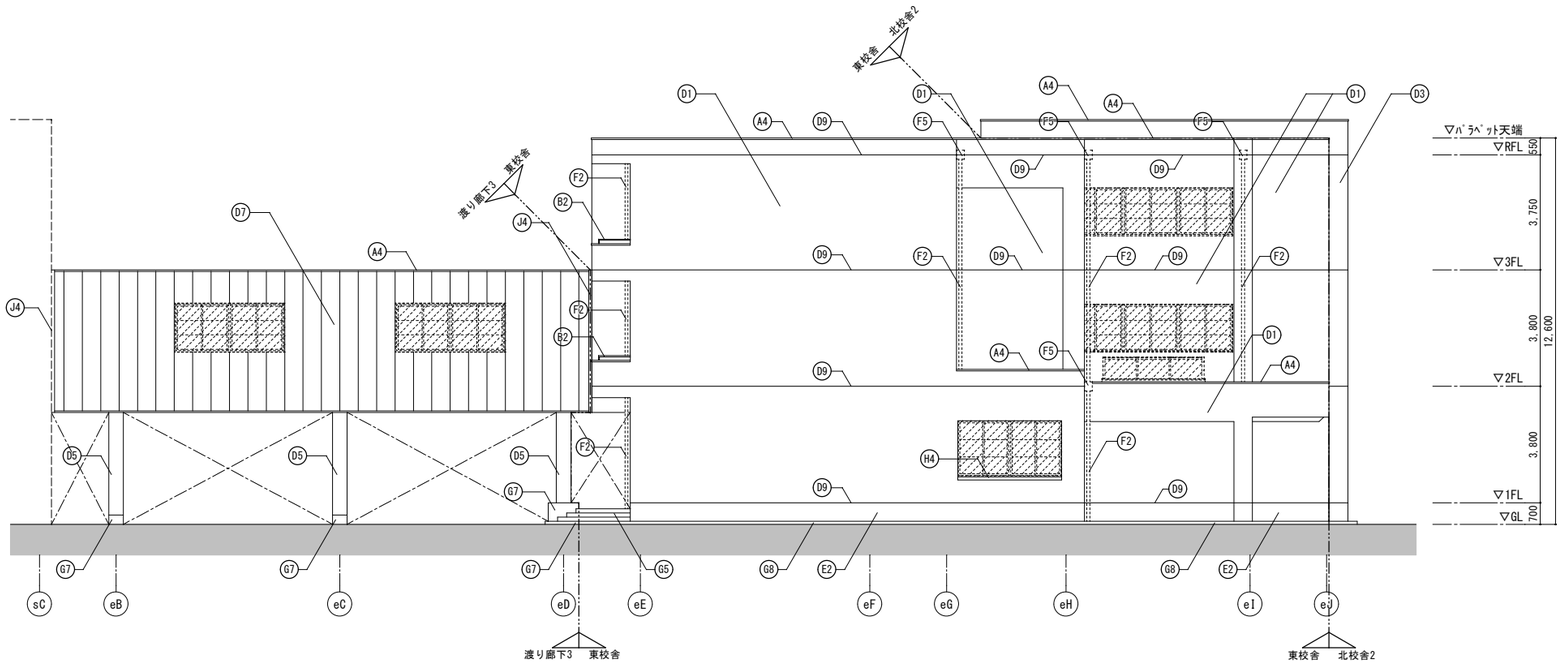
注記

設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅰ期)
図面名称	【改修前】東立面図
縮尺	A1:1/100 A3:1/200
年月	2024.03
設計番号	
図面番号	A －043
承認/赤沼 直幸	
設計者/一級建築士 第284436号 赤沼 直幸	
製図/西巻 裕太	
照査/佐々木 啓文	

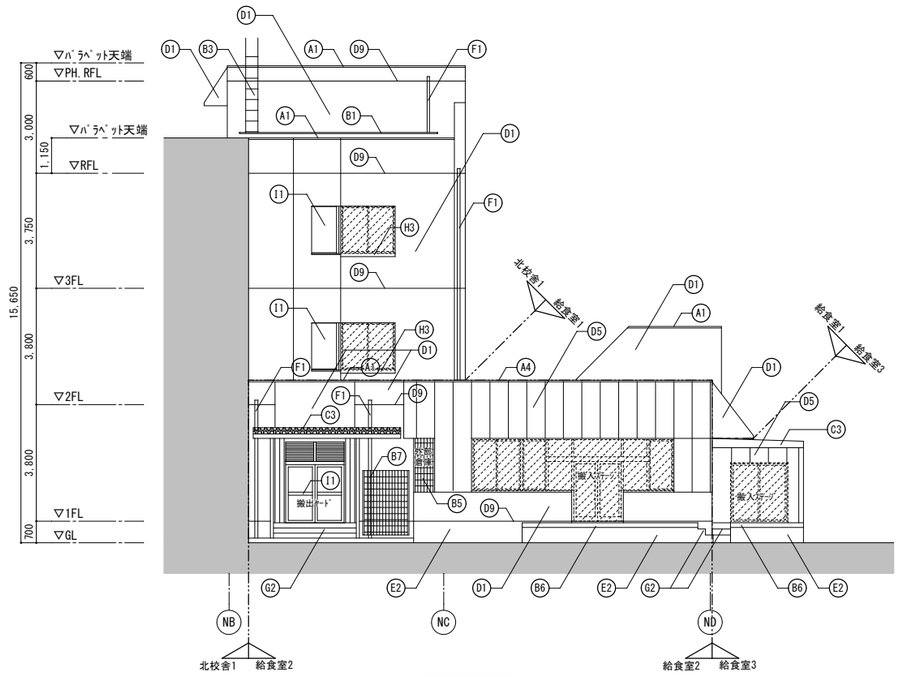
SOWA
一級建築士事務所 株式会社 相和技術研究所
宮城県知事登録 第22910116号

01	【改修後】東立面図	A1:1/200 A3:1/400

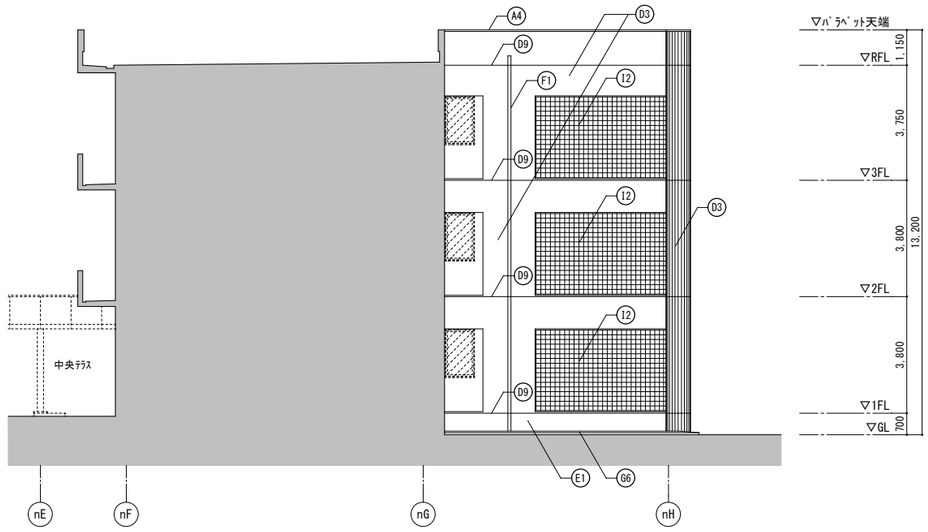




東立面図1



東立面図2



東立面図3

凡例　※特記なき場合、新設とする

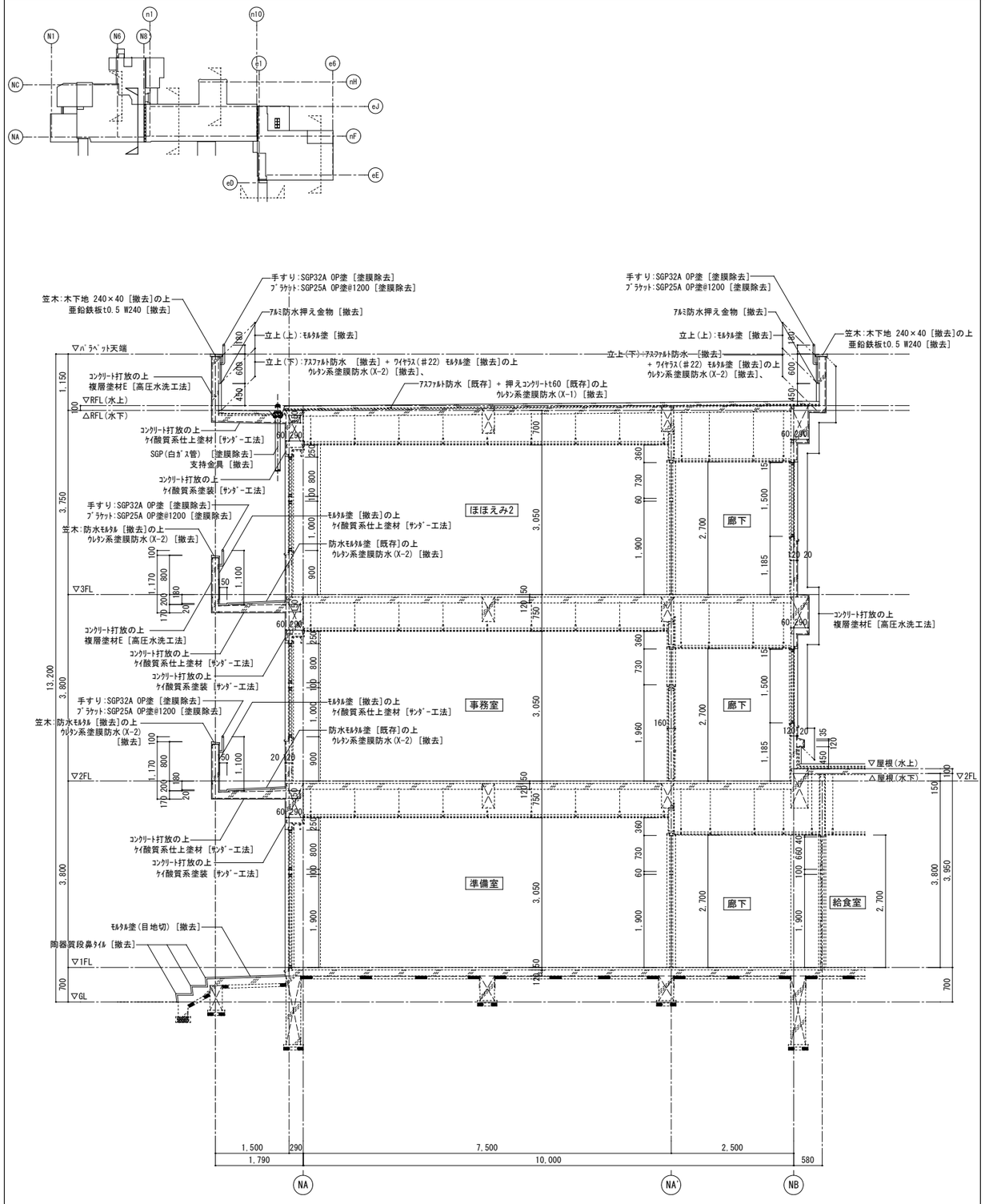
記号	仕様・寸法
A1	アルミ製笠木
A2	
A3	
A4	アルミ製笠木［再取付］
A5	アルミ製笠木［既存］
B1	鋼管製手すり 錆止の上 DP(1級)［塗替］
B2	SUS製手すり［既存］
B3	SUS製あと施工タラップ W400
B4	高耐食スチールメッシュ門扉 H1500
B5	高耐食スチールメッシュフェンス H1500 高耐食スチールメッシュ門扉 W1800×H(2000+1150)
B6	ゴム製クッションストッパー
B7	高耐食スチールメッシュフェンス H2200
C1	庇:ウレタン系塗膜防水(X-2)
C2	折版葺き 錆止の上 DP(1級)［塗替］
C3	ケラバ・軒先・外壁エプロン 錆止の上 DP(1級)［塗替］
D1	防水型複層塗材E(ゆず肌)
D2	
D3	
D4	注入口付アンカービンニング全面エポキシ樹脂注入工法
D5	可とう形改修塗材E(厚付) 目地シーリング(PU-2 15×10)
D6	防水型複層塗材E(ゆず肌)
D7	可とう形改修塗材E(厚付) 目地シーリング(PU-2 15×10)
D8	LGS(25型)の上 ケイカル板t6(目透し) EP-G塗
D9	目地シーリング(PU-2 15×10)
E1	基礎巾木:水洗(高圧ポンプ)の上 フッ素樹脂クリア塗装
E2	
F1	竪樋A:錆止の上 DP(1級)［塗替］ SUS製支持金具@1200
F2	竪樋B:ステンレス管［既存］
F3	竪樋C:カラーVP100
F4	軒樋:塩ビ被覆鋼板 前高W120
F5	飾り桝:SUS製 250×220×H220［既存］
G1	ビニル床シートt2.5(屋外防滑) SUS製ノンスリップ(タイヤレス) W35
G2	
G3	タタキ:モルタル塗、SUS製ノンスリップ(タイヤレス) W35
G4	磁器質タイル［一部新設］、磁器質段鼻タイル
G5	陶器質300角タイル［既存］水洗い(高圧ポンプ)
G6	モルタル塗［既存］水洗い(高圧ポンプ)
G7	モルタル塗
G8	コンクリート直均し［既存］水洗い(高圧ポンプ)
H1	靴洗い:防水モルタル塗
H2	靴洗い:防水モルタル塗［既存］ 甲板:御影石W200×t20［既存］
H3	窓台水切A・C:ウレタン系塗膜防水(X-2)
H4	窓台水切B:ウレタン系塗膜防水(X-2) 目地シーリング MS-2 10×10
I1	建具改修(建具表参照)
I2	ガラスブロック破損部更新の上 ガラスブロック用ウレタン系塗膜防水
I3	ガラスブロック［既存］ガラスブロック用ウレタン系塗膜防水
J1	EXP.Jカバー(外壁-外壁):アルミ製(既製品)［再取付］
J2	EXP.Jカバー(外壁コーナー):アルミ製(既製品)［再取付］
J3	EXP.Jカバー(外壁-外壁):ステンレス製(既製品)［再取付］
J4	EXP.Jカバー(外壁コーナー):ステンレス製(既製品)［再取付］

凡　例		
	改修範囲外の部分を示す	
	既存のままの部分を示す	

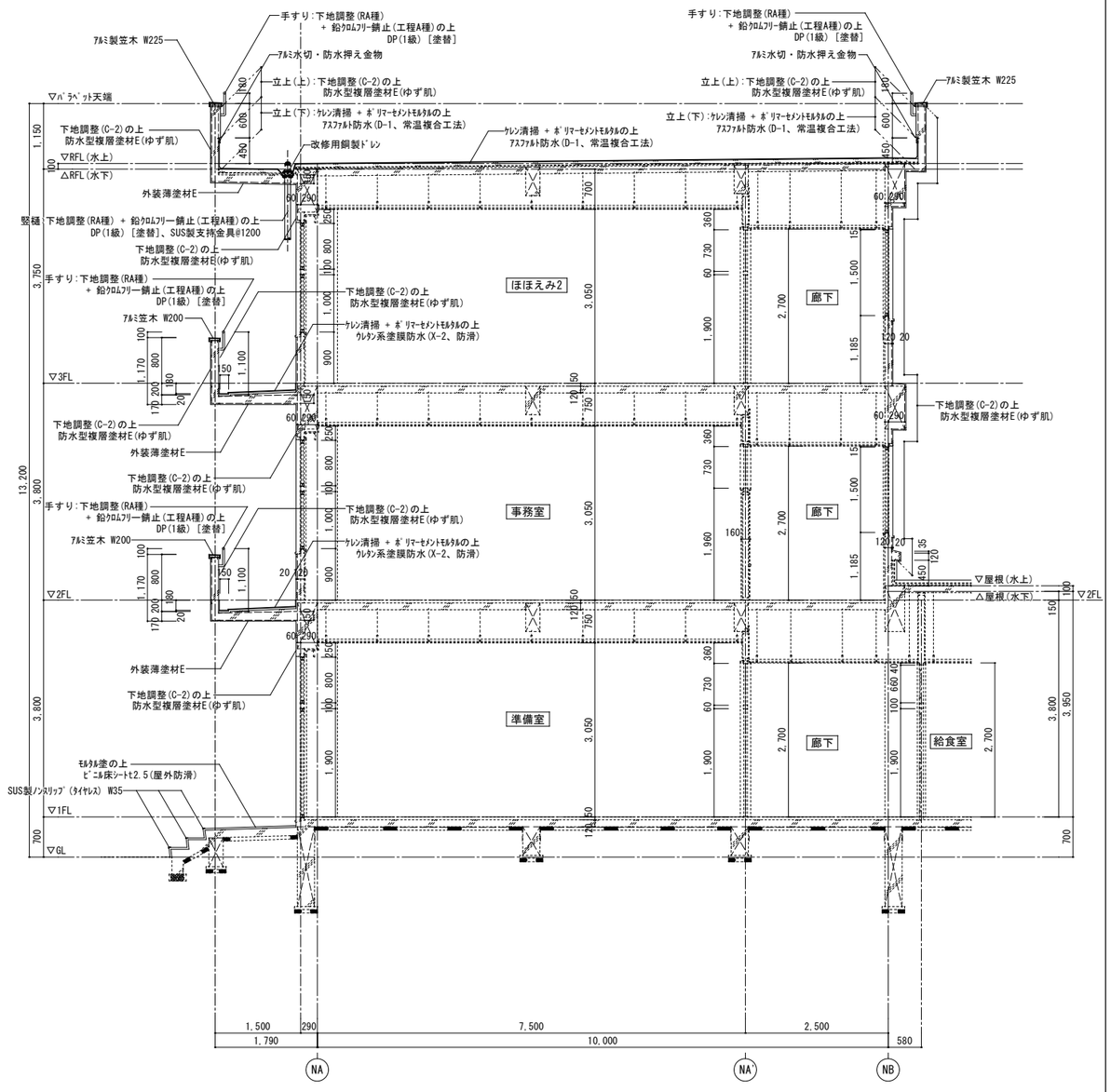
注　記

設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅰ期)		
図面名称	【改修後】東立面図		
縮　尺	A1:1/100 A3:1/200	年　月 2024.03	設計番号 / 図面番号 A－044
SOWA 一級建築士事務所 株式会社 相和技術研究所 宮城県知事登録 第22910116号	承認/赤沼 直幸	設計者/一級建築士 第284436号 赤沼 直幸	製図/西巻 裕太
	照査/佐々木 啓文		

O１	【改修前】矩計図（北校舎1）	A1:1/50 A3:1/100



O２	【改修後】矩計図（北校舎1）	A1:1/50 A3:1/100



凡　例			
----------	既存のままの部分を示す		

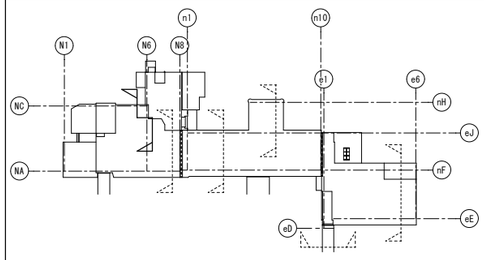
注　記

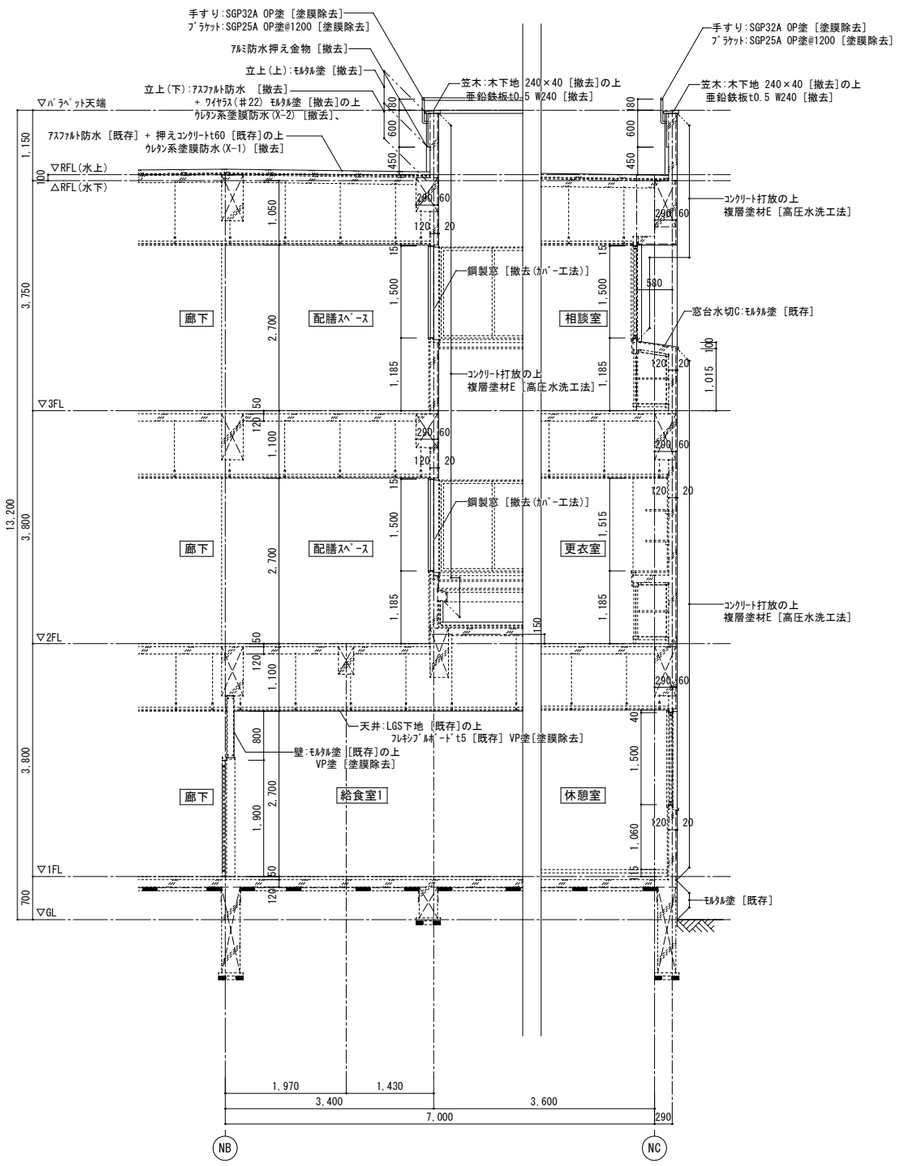
1)ｺﾝｸﾘｰﾄ・ﾓﾙﾀﾙ・ﾀｲﾙの斫り撤去は、ｶｯﾀｰ入れにより残置部分と縁切りのこと。

設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ｉ期)				
図面名称	【改修前後】矩計図Ⅰ（北校舎1）				
縮　尺	A1:1/50 A3:1/100	年　月	2024.03	設計番号	図面番号 A －045
SOWA	一級建築士事務所 株式会社 相和技術研究所 宮城県知事登録　第22910116号	承認/赤沼 喜幸	設計者/ 一級建築士 第284436号 赤沼 喜幸	製図/ 西巻 裕太	
		照査/佐々木 啓文			

O１ 【改修前】矩計図（北校舎1）

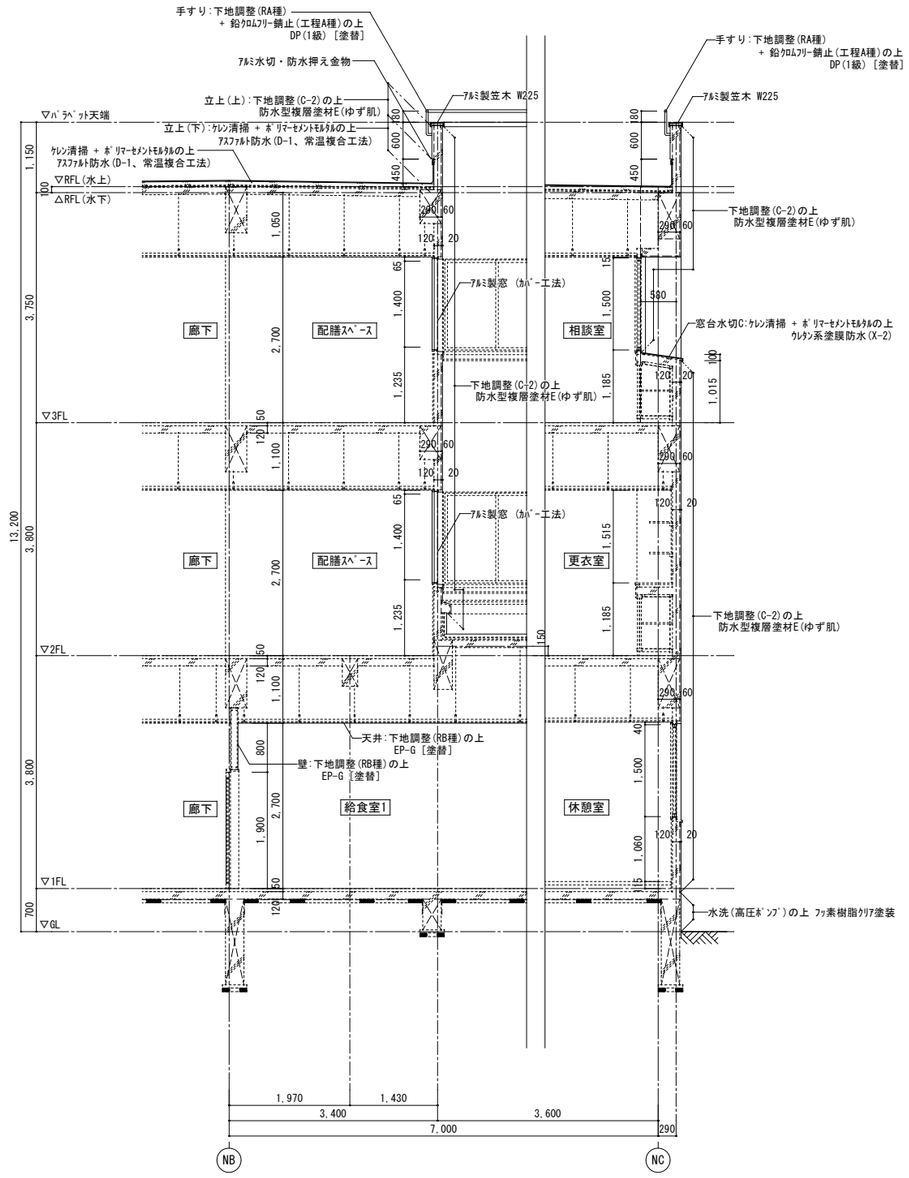
A1:1/50
A3:1/100





O２ 【改修後】矩計図（北校舎1）

A1:1/50
A3:1/100



凡　例			
----------	既存のままの部分を示す		

注　記

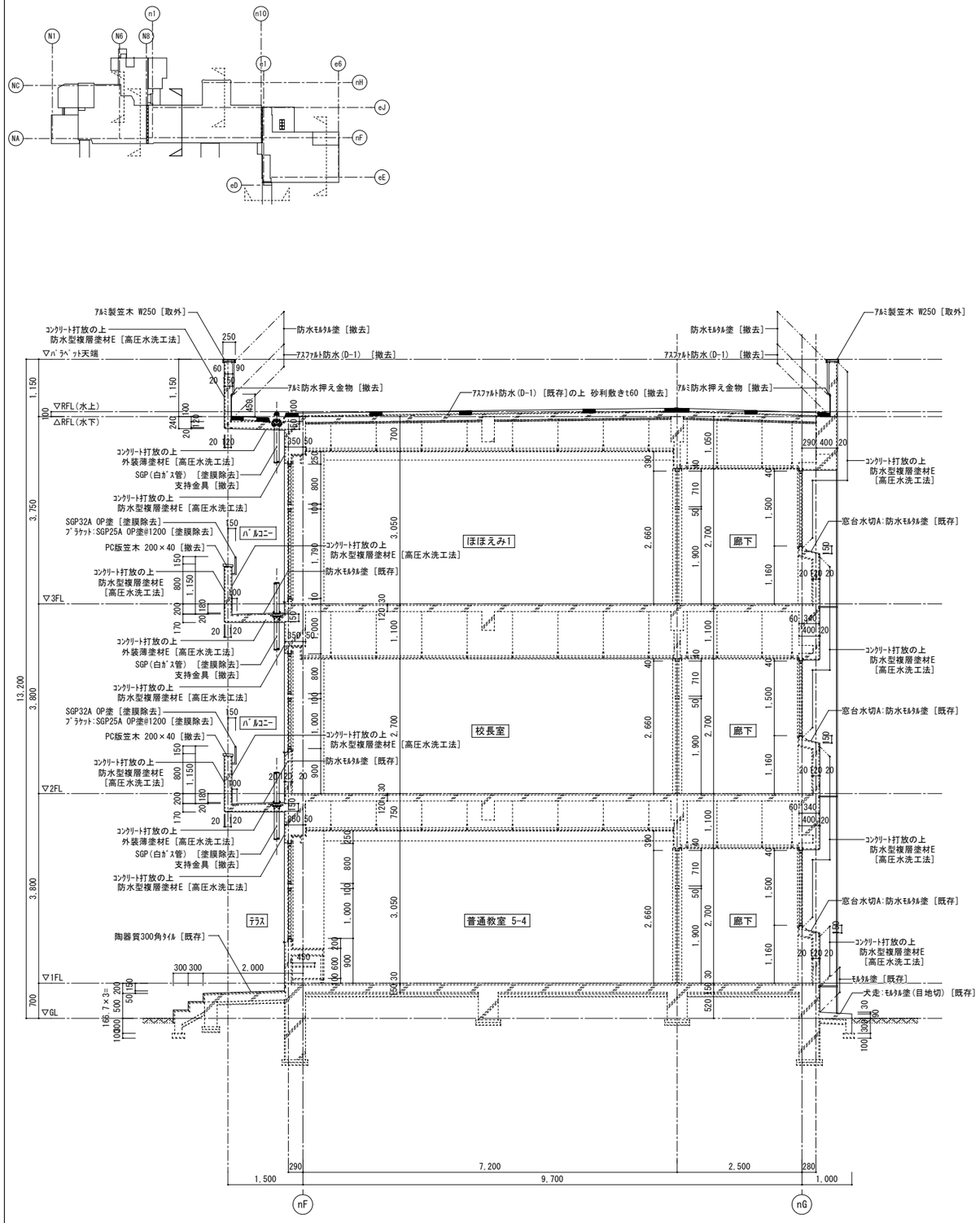
1)ｺﾝｸﾘｰﾄ・ﾓﾙﾀﾙ・ﾀｲﾙの斫り撤去は、ｶｯﾀｰ入れにより残置部分と縁切りのこと。

設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅰ期)
図面名称	【改修前後】矩計図2（北校舎1）
縮　尺	A1:1/50 A3:1/100
年　月	2024.03
設計番号	
図面番号	A －046
承認/赤沼 直幸	
設計者/一級建築士 第284436号 赤沼 直幸	
照査/佐々木 啓文	
製図/西巻 裕太	

SOWA 一級建築士事務所 株式会社相和技術研究所 宮城県知事登録 第22910116号

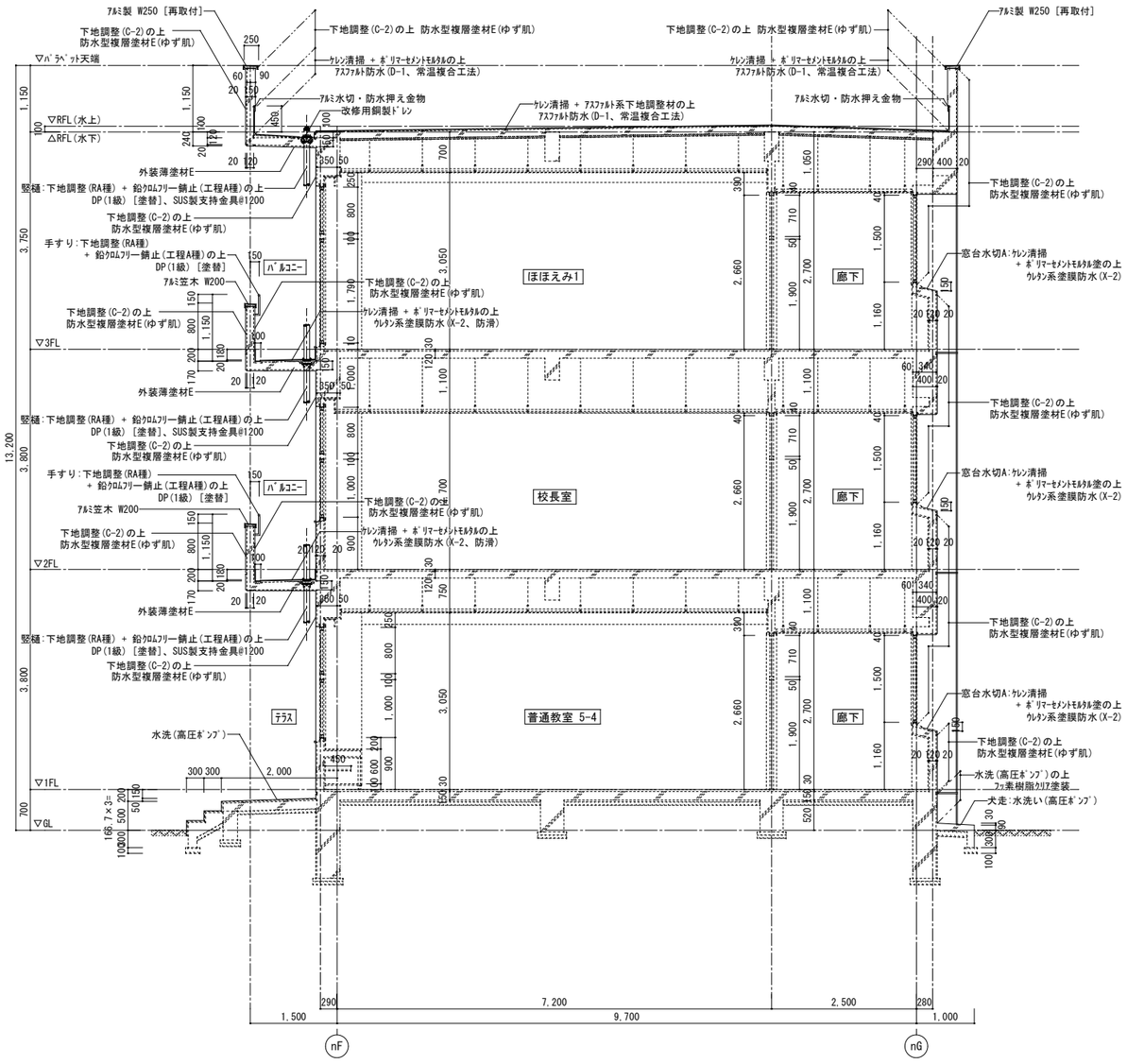
O１ 【改修前】矩計図（北校舎2）

A1:1/50
A3:1/100



O２ 【改修後】矩計図（北校舎2）

A1:1/50
A3:1/100



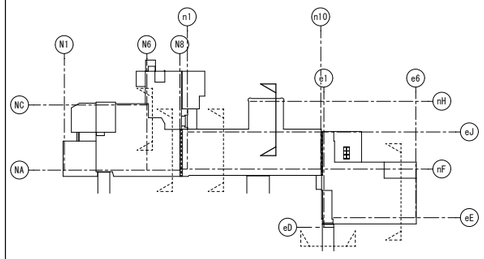
凡　例			
----------	既存のままの部分を示す		

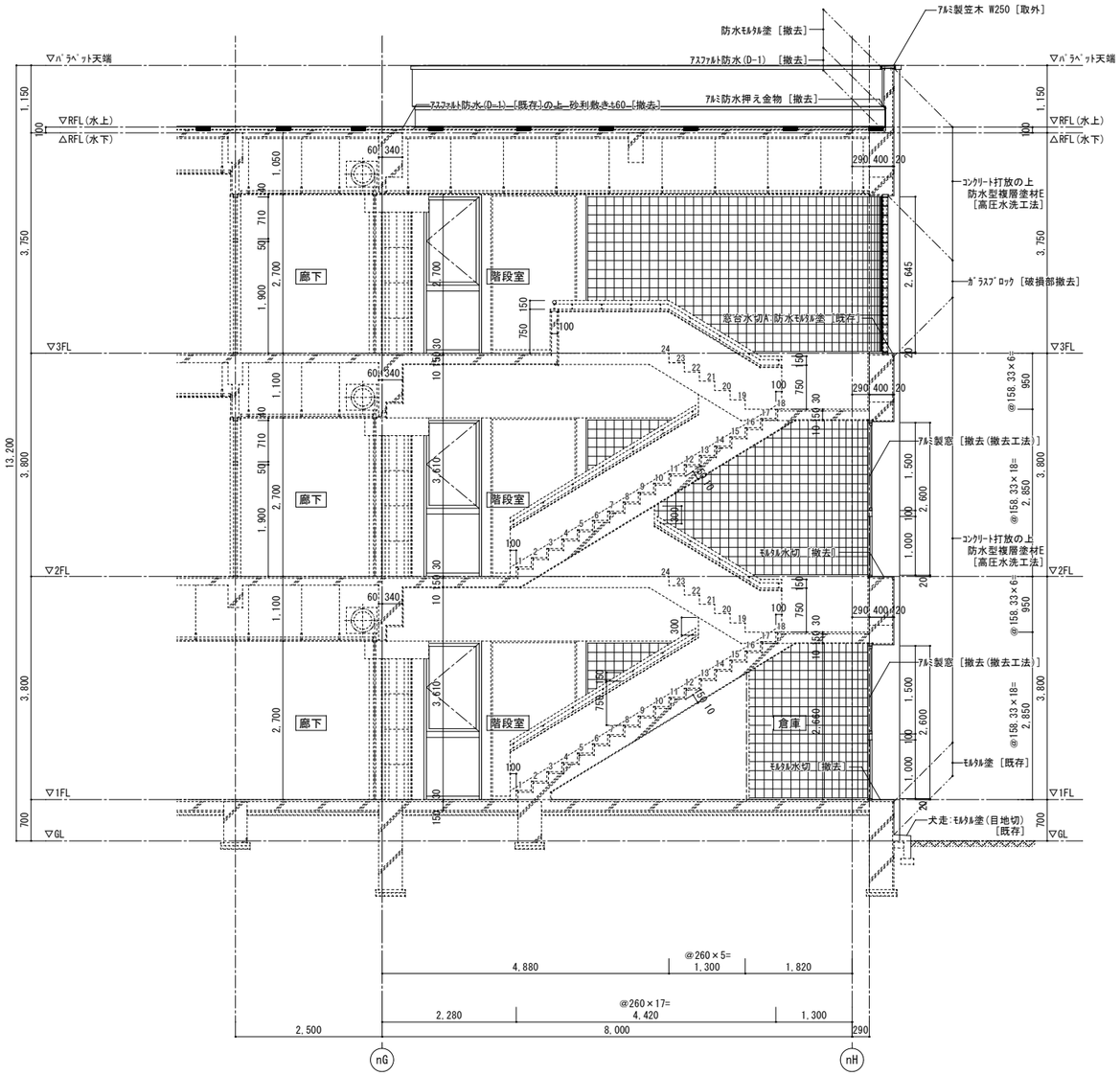
注　記

1)ｺﾝｸﾘｰﾄ・ﾓﾙﾀﾙ・ﾀｲﾙの斫り撤去は、 ｶｯﾀｰ入れにより残置部分と縁切りのこと。

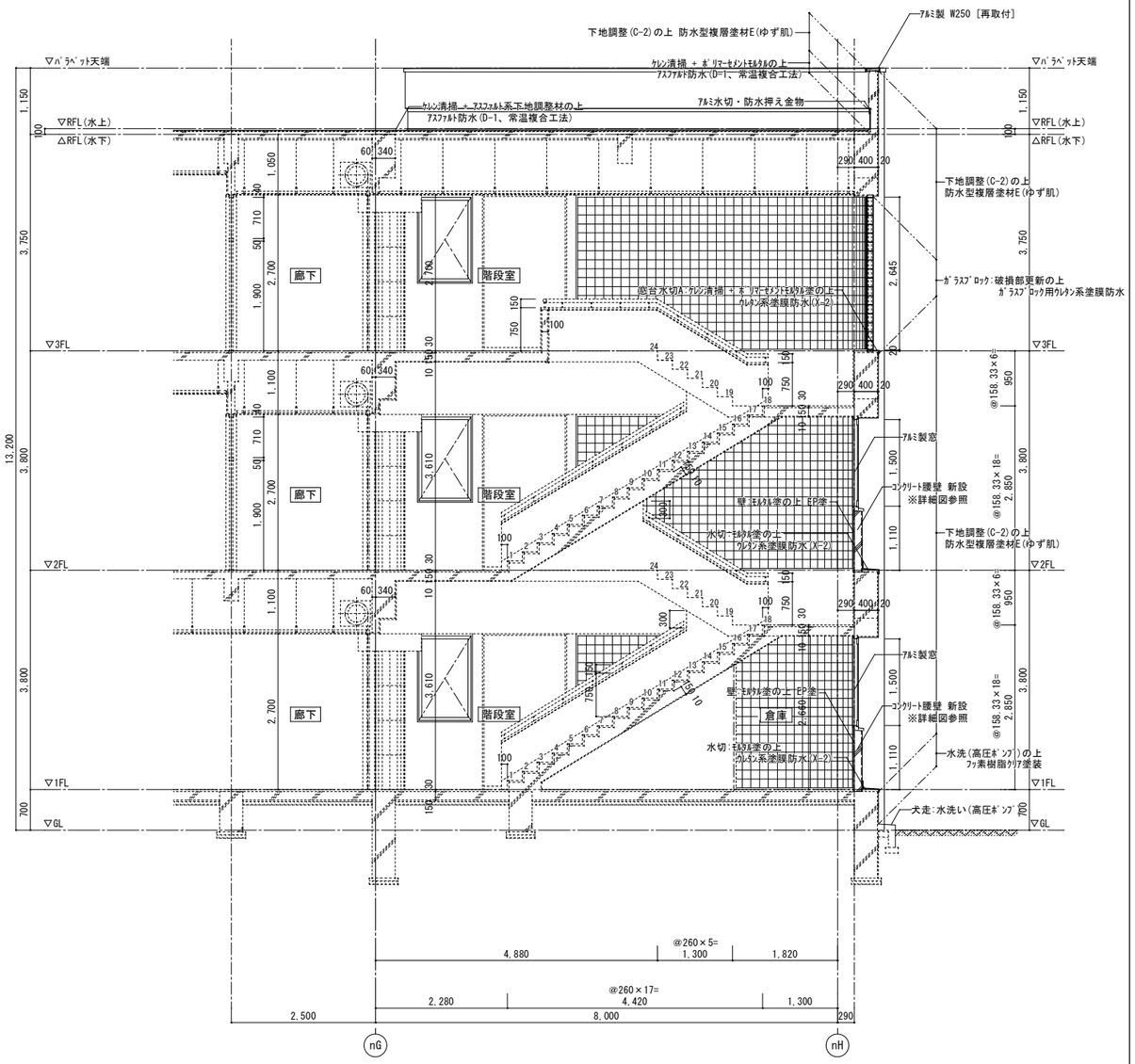
設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ｉ期)				
図面名称	【改修前後】矩計図3（北校舎2）				
縮　尺	A1:1/50 A3:1/100	年　月	2024.03	設計番号	図面番号 A－047
SOWA	一級建築士事務所 株式会社 相和技術研究所 仙台事務所 宮城県知事登録 第22910116号	承認/赤沼 直幸	設計者/一級建築士 第284436号 赤沼 直幸	製図/西巻 裕太	
		照査/佐々木 啓文			

O 1	【改修前】矩計図（北校舎2）	A1:1/50 A3:1/100





O 2	【改修後】矩計図（北校舎2）	A1:1/50 A3:1/100



凡　例			
----------	既存のままの部分を示す		

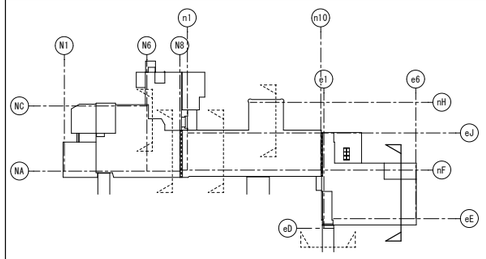
注　記

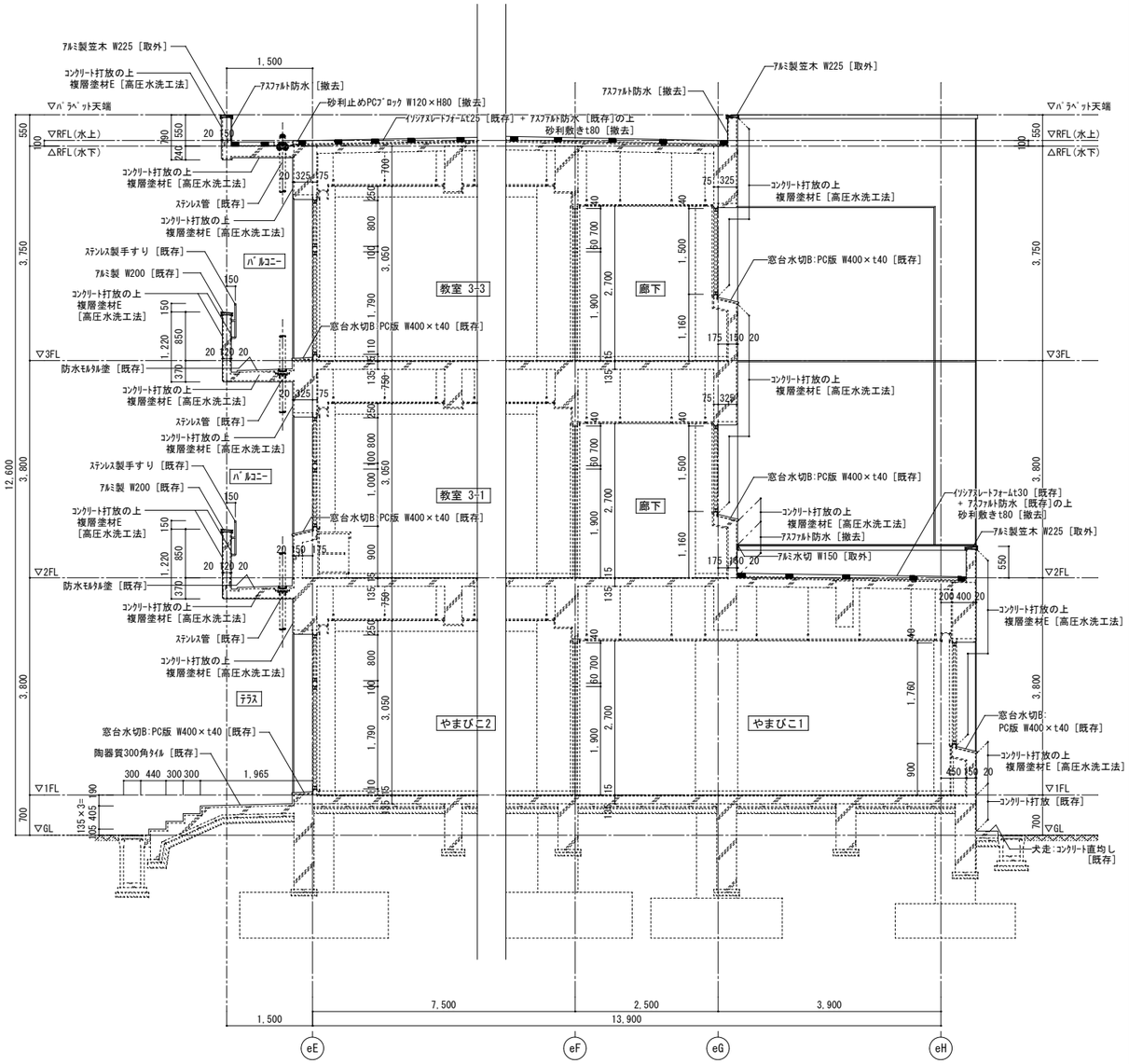
1)コンクリート・モルタル・タイルの斫り撤去は、カッター入れにより残置部分と縁切りのこと。

設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ｉ期)
図面名称	【改修前後】矩計図4（北校舎2）
縮　尺	A1:1/50 A3:1/100
年　月	2024.03
設計番号	
図面番号	A －048

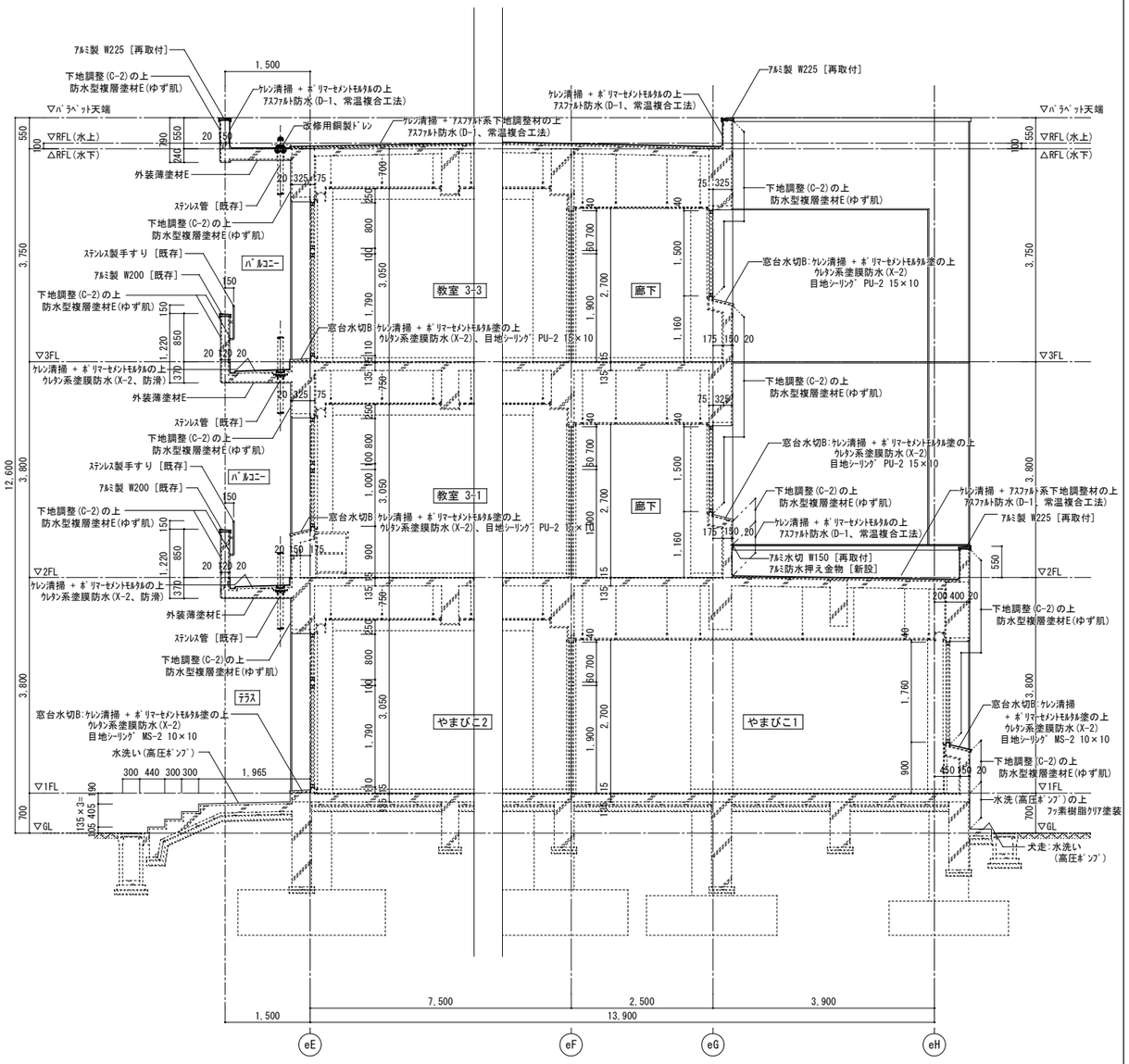
SOWA
一級建築士事務所
㈱ 相和技術研究所
仙台事務所
宮城県知事登録　第22910116号
承認/赤沼 直幸
照査/荒々木 啓文
設計者/
一級建築士 第284436号 赤沼 直幸
製図/
西巻 裕太

O 1	【改修前】矩計図（東校舎）	A1:1/50 A3:1/100





O 2	【改修後】矩計図（東校舎）	A1:1/50 A3:1/100



凡　例

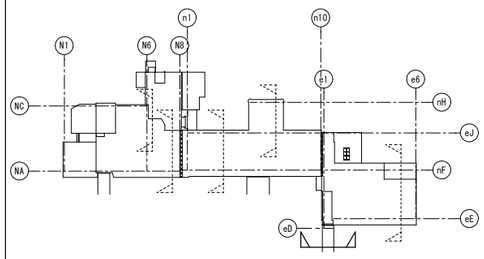
----------	既存のままの部分を示す		

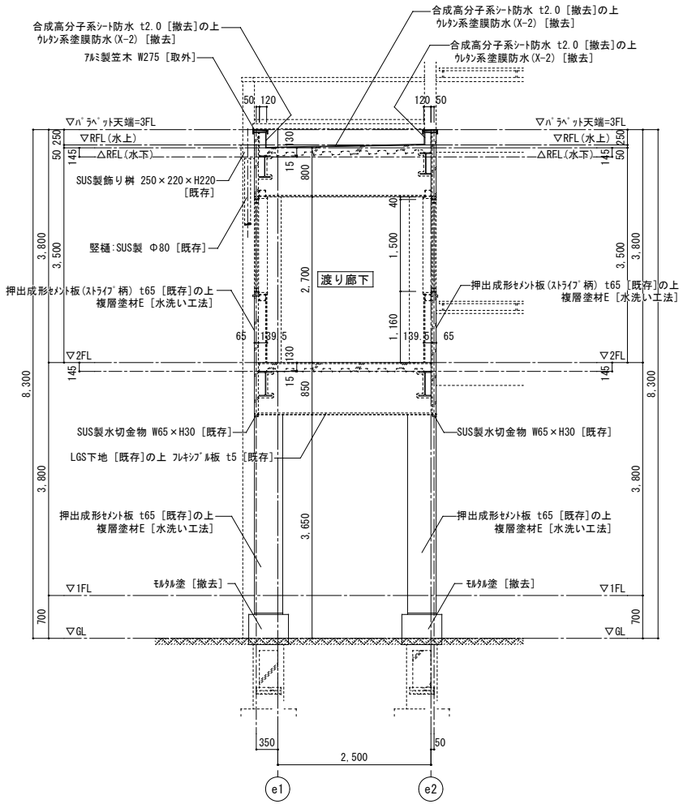
注　記

1)ｺﾝｸﾘｰﾄ・ﾓﾙﾀﾙ・ﾀｲﾙの斫り撤去は、 ｶｯﾀｰ入れにより残置部分と縁切りのこと。

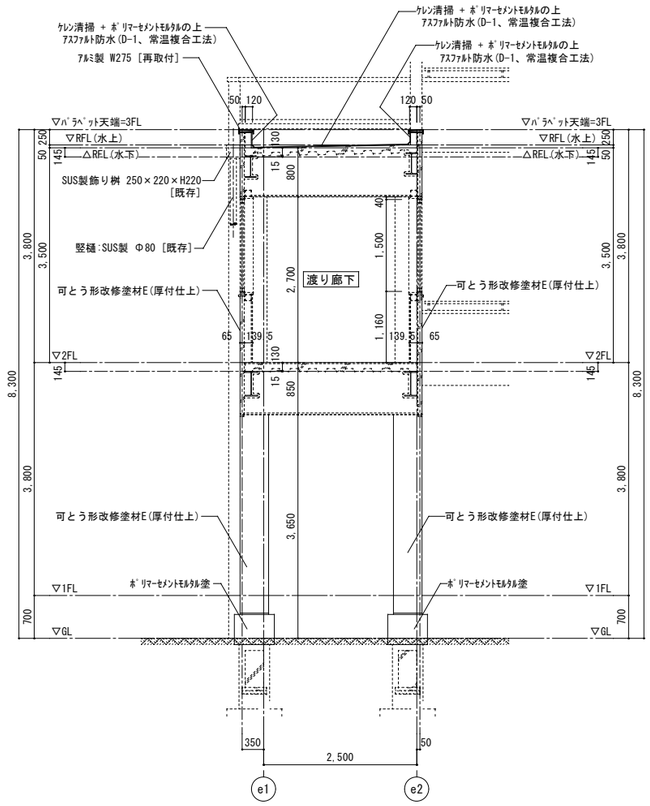
設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ｉ期)		
図面名称	【改修前後】矩計図5（東校舎）		
縮　尺	A1:1/50 A3:1/100	年　月	2024.03
設計番号		図面番号	A －049
SOWA	一般財団法人 相和技術研究所	宮城県知事登録 第229101116号	
承認/赤沼 直幸	設計者/一級建築士 第284436号 赤沼 直幸	製図/西巻 裕太	照査/佐々木 啓文

O 1	【改修前】矩計図（渡り廊下3）	A1:1/50 A3:1/100





O 2	【改修後】矩計図（渡り廊下3）	A1:1/50 A3:1/100



凡　例			
----------	既存のままの部分を示す		

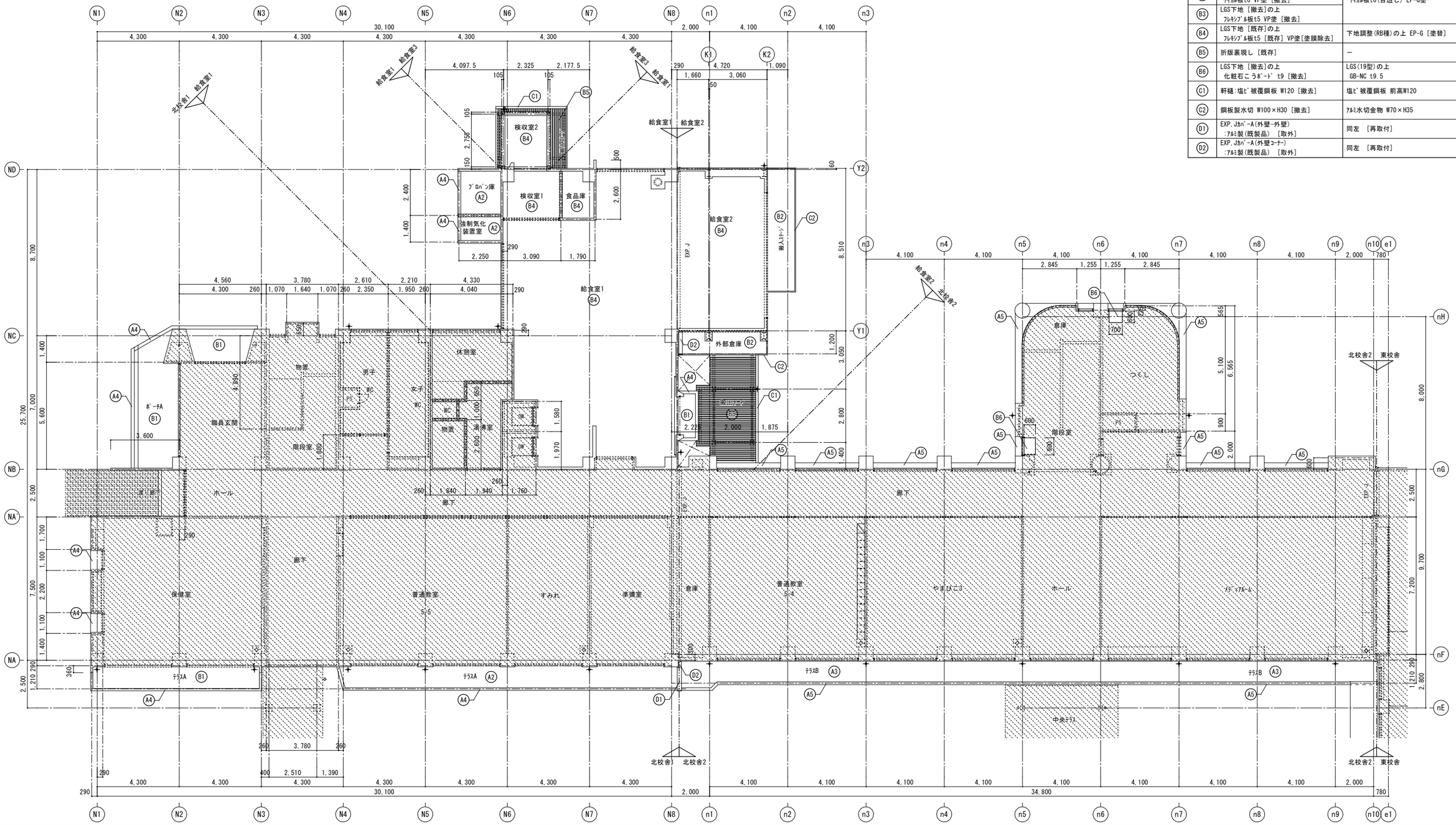
注　記
1)ｺﾝｸﾘｰﾄ・ﾓﾙﾀﾙ・ﾀｲﾙの斫り撤去は、ｶｯﾀｰ入れにより残置部分と縁切りのこと。

設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ｉ期)				
図面名称	【改修前後】矩計図6（渡り廊下3）				
縮　尺	A1:1/50 A3:1/100	年 月	2024.03	設計番号	図面番号 A －050
SOWA	一級建築士事務所 株式会社 相和技術研究所 宮城県知事登録 第22910116号	承認/赤沼 直幸	設計者/ 一級建築士 第284436号 赤沼 直幸	製図/ 西巻 裕太	
		照査/佐々木 啓文			

O 1	【改修前後】1階天井伏図（北校舎1・2、給食室1・2・3）	A1:1/100 A3:1/200

凡例

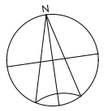
記号	仕様・寸法	
	改修前	改修後 ※特記なきものは新設
A1	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放の上 複層塗材E［高圧水洗工法］	外装薄塗材E
A2	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放の上 ｹｲ酸質系塗装［ｻﾝﾀﾞｰ工法］	
A3	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放の上 外装薄塗材E［高圧水洗工法］	
A4	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放の上 複層塗材E［高圧水洗工法］	下地調整(C-2)の上 防水型複層塗材E(ゆず肌)
A5	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放の上 防水型複層塗材E［高圧水洗工法］	
B1	LGS下地［撤去］の上 ｹｲｶﾙ板t6(ｱｽﾍﾞｽﾄ含有) VP塗［撤去］	LGS(25型)の上 ｹｲｶﾙ板t6(目透し) EP-G塗
B2	LGS下地［撤去］の上 ｹｲｶﾙ板t6 VP塗［撤去］	
B3	LGS下地［撤去］の上 ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙ板t5 VP塗［撤去］	
B4	LGS下地［既存］の上 ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙ板t5［既存］VP塗[塗膜除去]	下地調整(RB種)の上 EP-G［塗替］
B5	折版裏現し［既存］	―
B6	LGS下地［撤去］の上 化粧石こうﾎﾞｰﾄﾞ t9［撤去］	LGS(19型)の上 GB-NC t9.5
C1	軒樋：塩ﾋﾞ被覆鋼板 W120［撤去］	塩ﾋﾞ被覆鋼板 前高W120
C2	鋼板製水切 W100×H30［撤去］	ｱﾙﾐ水切金物 W70×H35
D1	EXP.JｶﾊﾞｰA(外壁-外壁) :ｱﾙﾐ製(既製品)［取外］	同左［再取付］
D2	EXP.JｶﾊﾞｰA(外壁ｺｰﾅｰ) :ｱﾙﾐ製(既製品)［取外］	同左［再取付］

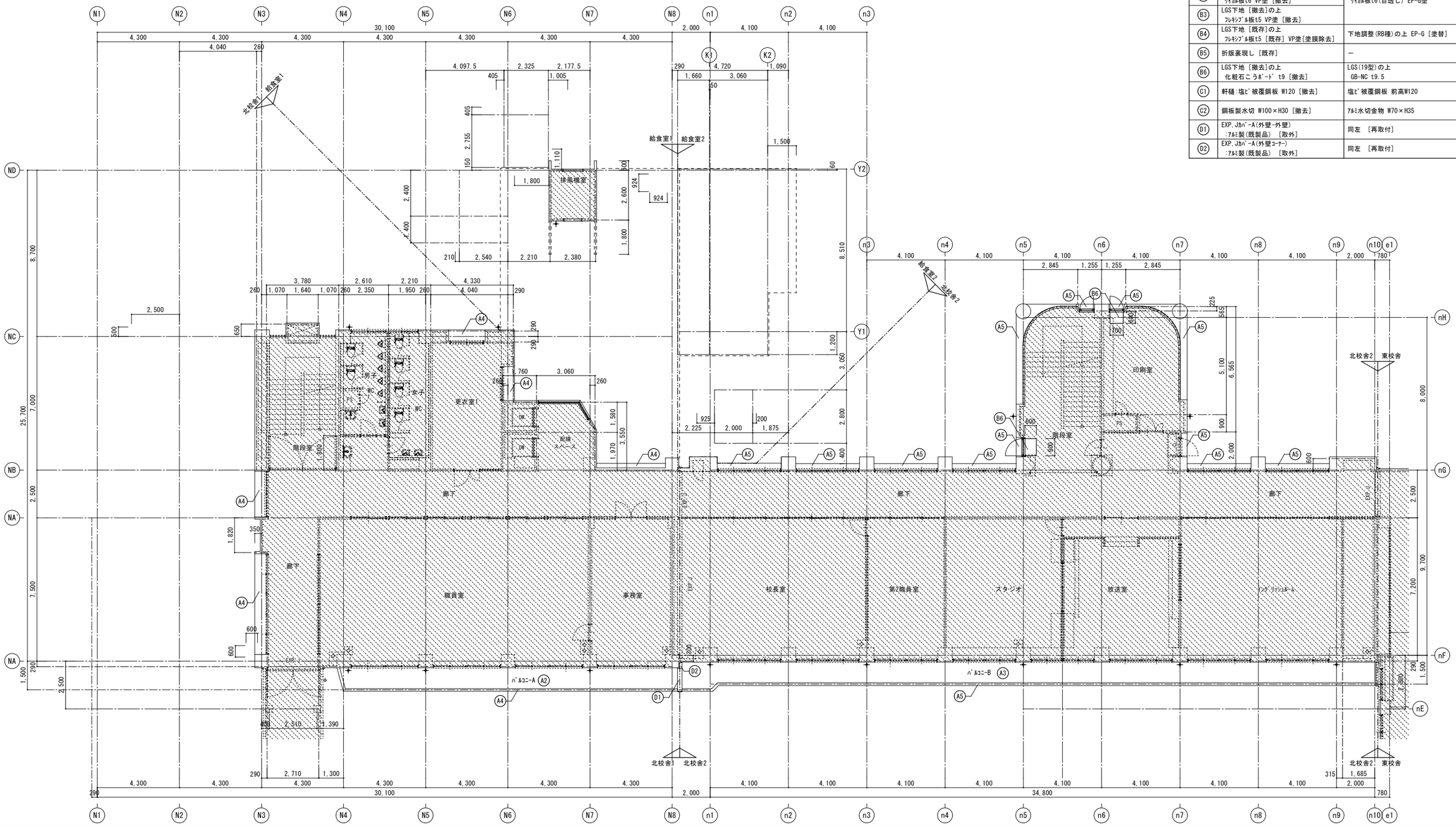


凡　例			注　記
	改修範囲外の部分を示す		
----------	既存のままの部分を示す		

設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅰ期)		
図面名称	【改修前後】1階天井伏図（北校舎1・2、給食室1・2・3）		
縮尺	A1:1/100 A3:1/200	年月 2024.03	設計番号 / 図面番号 A－051
一級建築士事務所 株式会社 相和技術研究所 宮城県知事登録 第22910116号	承認/赤沼 直幸	設計者/ 一級建築士 第284436号 赤沼 直幸	製図/ 西巻 裕太
	照査/佐々木 啓文		

O 1	【改修前後】2階天井伏図 (北校舎1・2、給食室1)	A1:1/100 A3:1/200





凡例

記号	仕様・寸法	
	改修前	改修後 ※特記なきものは新設
A1	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放の上 複層塗材E［高圧水洗工法］	外装薄塗材E
A2	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放の上 ｹｲ酸質系塗装［ｻﾝﾀﾞｰ工法］	
A3	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放の上 外装薄塗材E［高圧水洗工法］	
A4	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放の上 複層塗材E［高圧水洗工法］	下地調整(C-2)の上 防水型複層塗材E(ゆず肌)
A5	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放の上 防水型複層塗材E［高圧水洗工法］	
B1	LGS下地［撤去］の上 ｹｲｶﾙ板t6(ｱｽﾍﾞｽﾄ含有) VP塗［撤去］	LGS(25型)の上 ｹｲｶﾙ板t6(目透し) EP-G塗
B2	LGS下地［撤去］の上 ｹｲｶﾙ板t6 VP塗［撤去］	
B3	LGS下地［撤去］の上 ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙ板t5 VP塗［撤去］	
B4	LGS下地［既存］の上 ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙ板t5［既存］VP塗[塗膜除去]	下地調整(RB種)の上 EP-G［塗替］
B5	折版裏現し［既存］	―
B6	LGS下地［撤去］の上 化粧石こうﾎﾞｰﾄﾞ t9［撤去］	LGS(19型)の上 GB-NC t9.5
C1	軒樋:塩ﾋﾞ被覆鋼板 W120［撤去］	塩ﾋﾞ被覆鋼板 前高W120
C2	鋼板製水切 W100×H30［撤去］	ｱﾙﾐ水切金物 W70×H35
D1	EXP.ｼﾞｮｲﾝﾄｶﾊﾞｰA(外壁-外壁) :ｱﾙﾐ製(既製品) ［取外］	同左 ［再取付］
D2	EXP.ｼﾞｮｲﾝﾄｶﾊﾞｰA(外壁ｺｰﾅｰ) :ｱﾙﾐ製(既製品) ［取外］	同左 ［再取付］

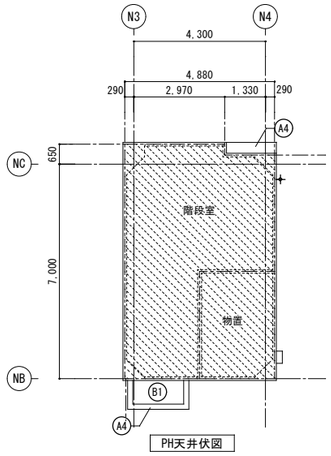
凡 例

	改修範囲外の部分を示す	
----------	既存のままの部分を示す	

注 記

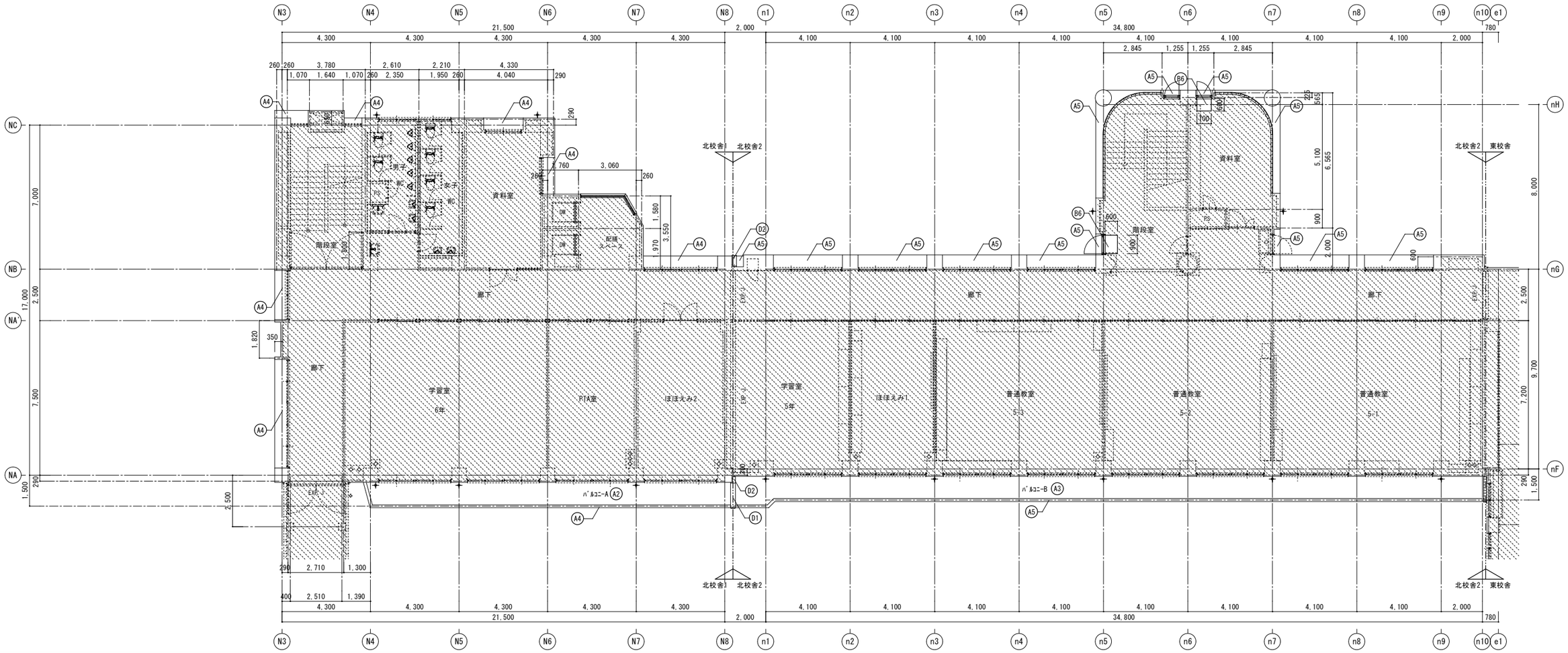
設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅰ期)		
図面名称	【改修前後】2階天井伏図 (北校舎1・2、給食室1)		
縮 尺	A1:1/100 A3:1/200	年 月 2024.03	設計番号 / 図面番号 A －052
一級建築士事務所 株式会社 相和技術研究所	宮城県知事登録 第22910116号	承認/赤沼 直幸	設計者/ 一級建築士 第284436号 赤沼 直幸
		照査/佐々木 啓文	製図/ 西巻 裕太

O 1	【改修前後】3階天井伏図 (北校舎1・2)	A1:1/100 A3:1/200



凡例

記号	仕様・寸法	
	改修前	改修後 ※特記なきものは新設
A1	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放の上 複層塗材E［高圧水洗工法］	外装薄塗材E
A2	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放の上 ｹｲ酸質系塗装［ｻﾝﾀﾞｰ工法］	
A3	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放の上 外装薄塗材E［高圧水洗工法］	
A4	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放の上 複層塗材E［高圧水洗工法］	下地調整(C-2)の上 防水型複層塗材E(ゆず肌)
A5	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放の上 防水型複層塗材E［高圧水洗工法］	
B1	LGS下地［撤去］の上 ｹｲｶﾙ板t6(ｱｽﾍﾞｽﾄ含有) VP塗［撤去］	LGS(25型)の上 ｹｲｶﾙ板t6(目透し) EP-G塗
B2	LGS下地［撤去］の上 ｹｲｶﾙ板t6 VP塗［撤去］	
B3	LGS下地［撤去］の上 ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙ板t5 VP塗［撤去］	
B4	LGS下地［既存］の上 ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙ板t5［既存］VP塗[塗膜除去]	下地調整(RB種)の上 EP-G［塗替］
B5	折版裏現し［既存］	―
B6	LGS下地［撤去］の上 化粧石こうﾎﾞｰﾄﾞ t9［撤去］	LGS(19型)の上 GB-NC t9.5
C1	軒樋:塩ﾋﾞ被覆鋼板 W120［撤去］	塩ﾋﾞ被覆鋼板 前高W120
C2	鋼板製水切 W100×H30［撤去］	ｱﾙﾐ水切金物 W70×H35
D1	EXP.JｶﾊﾞｰA(外壁-外壁) :ｱﾙﾐ製(既製品) ［取外］	同左 ［再取付］
D2	EXP.JｶﾊﾞｰA(外壁ｺｰﾅｰ) :ｱﾙﾐ製(既製品) ［取外］	同左 ［再取付］

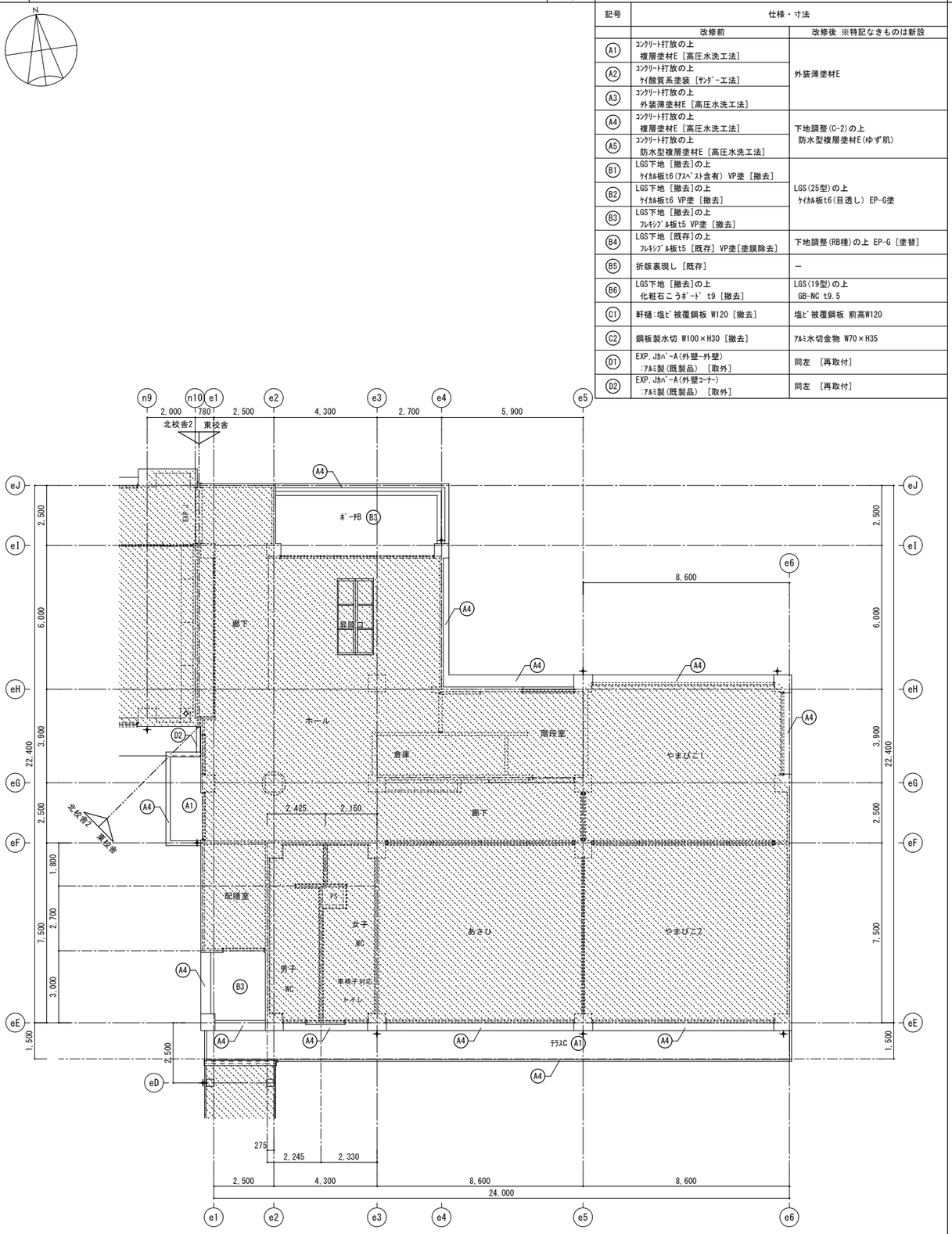


凡　例			注　記
	改修範囲外の部分を示す		
	既存のままの部分を示す		

設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅰ期)		
図面名称	【改修前後】3階天井伏図 (北校舎1・2)		
縮　尺	A1:1/100 A3:1/200	年　月 2024.03	設計番号
図面番号	A－053		
SOWA 一級建築士事務所 株式会社 相和技術研究所 仙台市若林区 宮城県知事登録 第22910116号	承認/赤沼 直幸	設計者/ 一級建築士 第284436号 赤沼 直幸	製図/ 西巻 裕太
	照査/佐々木 啓文		

01 【改修前後】1階天井伏図 (東校舎1、渡り廊下2)

A1:1/100
A3:1/200

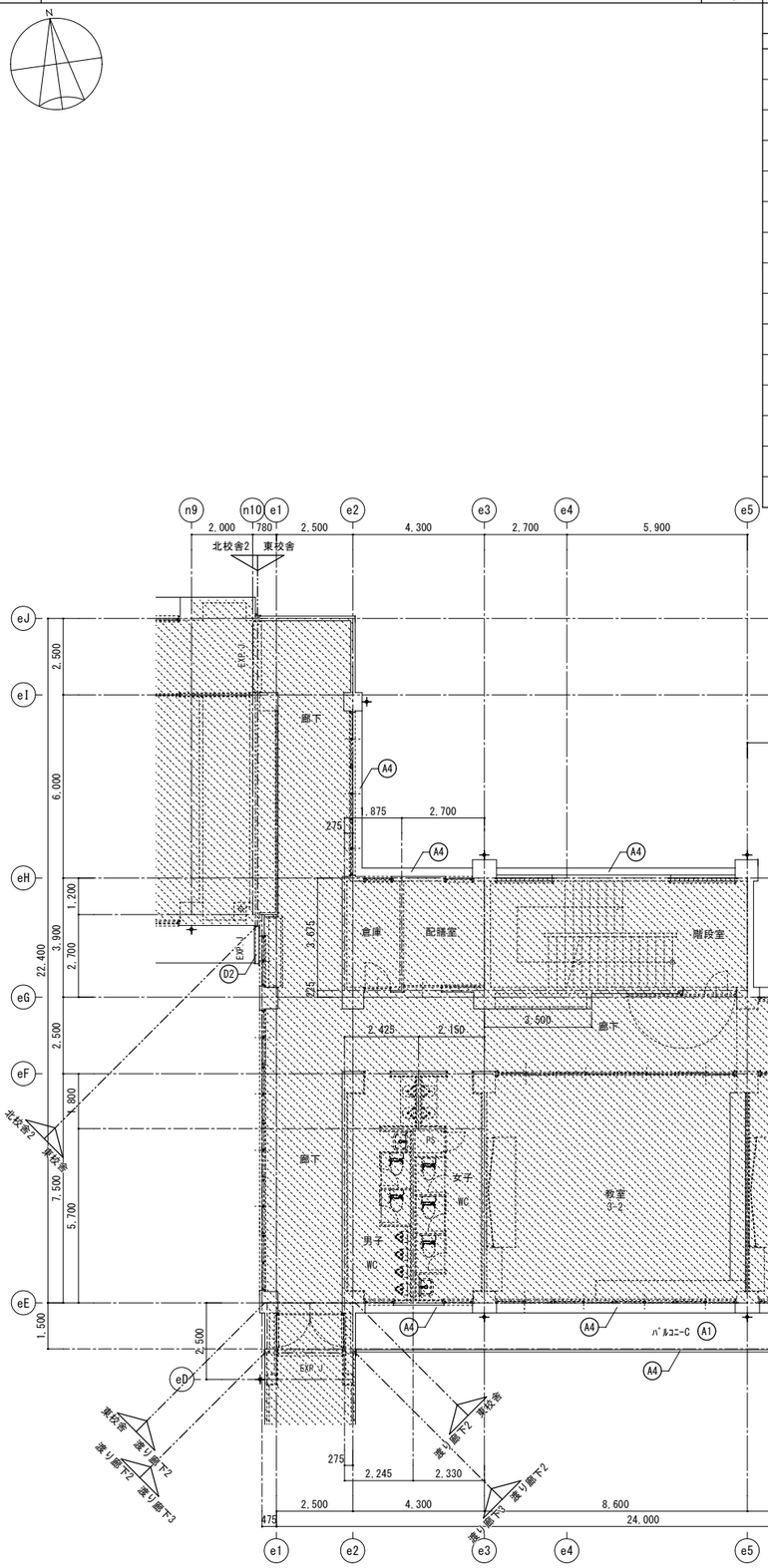


凡例

記号	仕様・寸法	
	改修前	改修後 ※特記なきものは新設
A1	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放の上 複層塗材E [高圧水洗工法]	外装薄塗材E
A2	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放の上 ｹｲ酸質系塗装 [ｻﾝﾀﾞｰ工法]	
A3	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放の上 外装薄塗材E [高圧水洗工法]	
A4	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放の上 複層塗材E [高圧水洗工法]	下地調整(C-2)の上 防水型複層塗材E(ゆず肌)
A5	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放の上 防水型複層塗材E [高圧水洗工法]	
B1	LGS下地 [撤去]の上 ｹｲｶﾙ板t6(ｱｽﾍﾞｽﾄ含有) VP塗 [撤去]	LGS(25型)の上 ｹｲｶﾙ板t6(目透し) EP-G塗
B2	LGS下地 [撤去]の上 ｹｲｶﾙ板t6 VP塗 [撤去]	
B3	LGS下地 [撤去]の上 ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙ板t5 VP塗 [撤去]	
B4	LGS下地 [既存]の上 ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙ板t5 [既存] VP塗[塗膜除去]	下地調整(RB種)の上 EP-G [塗替]
B5	折版裏現し [既存]	―
B6	LGS下地 [撤去]の上 化粧石こうﾎﾞｰﾄﾞ t9 [撤去]	LGS(19型)の上 GB-NC t9.5
C1	軒樋:塩ﾋﾞ被覆鋼板 W120 [撤去]	塩ﾋﾞ被覆鋼板 前高W120
C2	鋼板製水切 W100×H30 [撤去]	ｱﾙﾐ水切金物 W70×H35
D1	EXP.JｶﾊﾞｰA(外壁-外壁) :ｱﾙﾐ製(既製品) [取外]	同左 [再取付]
D2	EXP.JｶﾊﾞｰA(外壁ｺｰﾅｰ) :ｱﾙﾐ製(既製品) [取外]	同左 [再取付]

02 【改修前後】2階天井伏図 (東校舎1、渡り廊下2)

A1:1/100
A3:1/200



凡例

記号	仕様・寸法	
	改修前	改修後 ※特記なきものは新設
A1	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放の上 複層塗材E [高圧水洗工法]	外装薄塗材E
A2	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放の上 ｹｲ酸質系塗装 [ｻﾝﾀﾞｰ工法]	
A3	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放の上 外装薄塗材E [高圧水洗工法]	
A4	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放の上 複層塗材E [高圧水洗工法]	下地調整(C-2)の上 防水型複層塗材E(ゆず肌)
A5	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放の上 防水型複層塗材E [高圧水洗工法]	
B1	LGS下地 [撤去]の上 ｹｲｶﾙ板t6(ｱｽﾍﾞｽﾄ含有) VP塗 [撤去]	LGS(25型)の上 ｹｲｶﾙ板t6(目透し) EP-G塗
B2	LGS下地 [撤去]の上 ｹｲｶﾙ板t6 VP塗 [撤去]	
B3	LGS下地 [撤去]の上 ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙ板t5 VP塗 [撤去]	
B4	LGS下地 [既存]の上 ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙ板t5 [既存] VP塗[塗膜除去]	下地調整(RB種)の上 EP-G [塗替]
B5	折版裏現し [既存]	―
B6	LGS下地 [撤去]の上 化粧石こうﾎﾞｰﾄﾞ t9 [撤去]	LGS(19型)の上 GB-NC t9.5
C1	軒樋:塩ﾋﾞ被覆鋼板 W120 [撤去]	塩ﾋﾞ被覆鋼板 前高W120
C2	鋼板製水切 W100×H30 [撤去]	ｱﾙﾐ水切金物 W70×H35
D1	EXP.JｶﾊﾞｰA(外壁-外壁) :ｱﾙﾐ製(既製品) [取外]	同左 [再取付]
D2	EXP.JｶﾊﾞｰA(外壁ｺｰﾅｰ) :ｱﾙﾐ製(既製品) [取外]	同左 [再取付]

凡例

改修範囲外の部分を示す	
既存のままの部分を示す	

注記

設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅰ期)
図面名称	【改修前後】1・2階天井伏図 (東校舎1、渡り廊下2)
縮尺	A1:1/100 A3:1/200
年月	2024.03
設計番号	
図面番号	A －054
承認/赤沼 直幸	設計者/一級建築士 第284436号 赤沼 直幸
照査/佐々木 啓文	製図/西巻 裕太

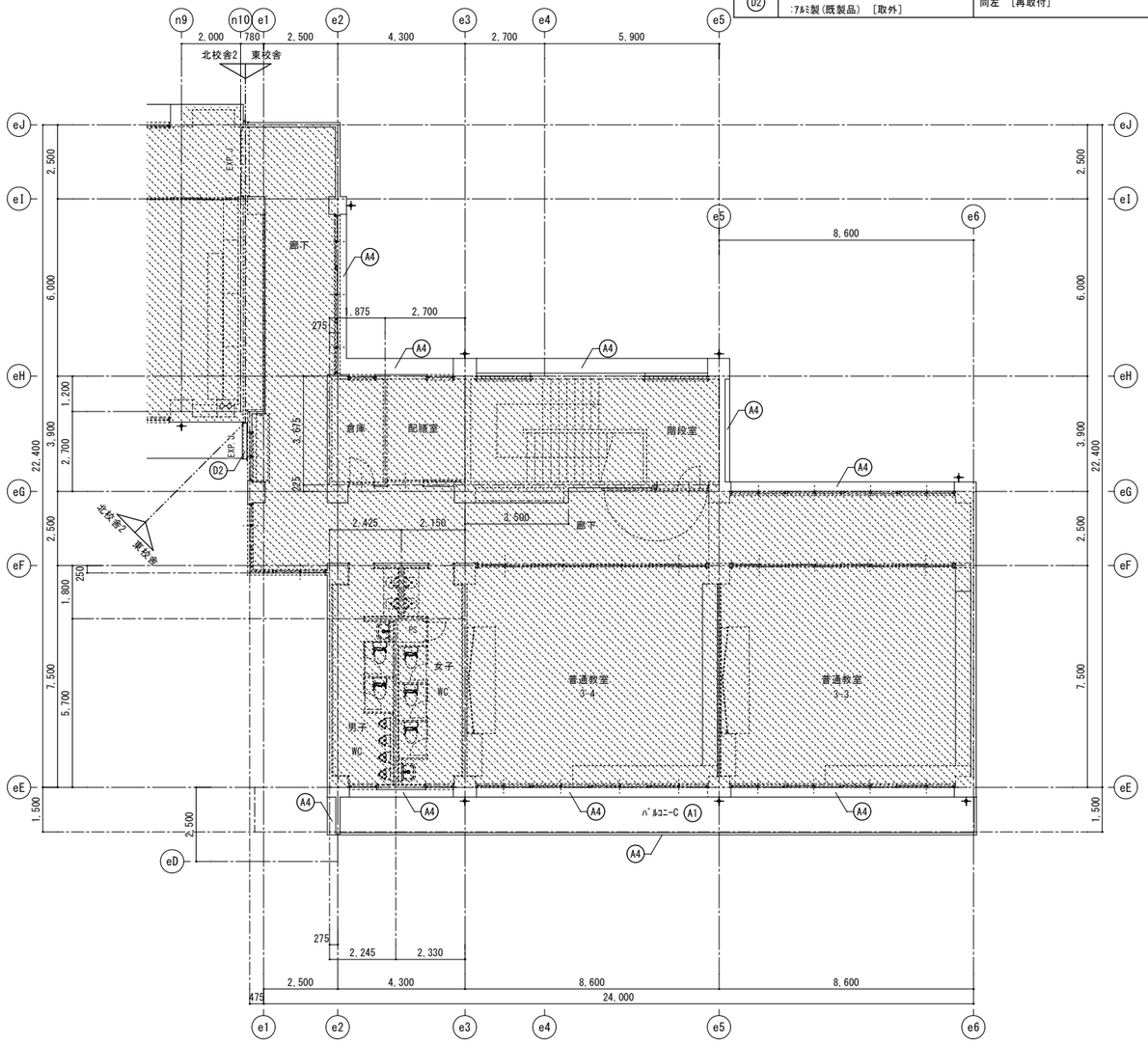
SOWA 一般財団法人 相和技術研究所 宮城県知事登録 第229101116号

01 【改修前後】3階天井伏図 (東校舎1)

A1:1/100
A3:1/200

凡例

記号	仕様・寸法	
	改修前	改修後 ※特記なきものは新設
A1	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放の上 複層塗材E [高圧水洗工法]	外装薄塗材E
A2	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放の上 ｹｲ酸質系塗装 [ｻﾝﾀﾞｰ工法]	
A3	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放の上 外装薄塗材E [高圧水洗工法]	
A4	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放の上 複層塗材E [高圧水洗工法]	下地調整(C-2)の上 防水型複層塗材E(ゆず肌)
A5	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放の上 防水型複層塗材E [高圧水洗工法]	
B1	LGS下地 [撤去]の上 ｹｲｶﾙ板t6(ｱｽﾍﾞｽﾄ含有) VP塗 [撤去]	LGS(25型)の上 ｹｲｶﾙ板t6(目透し) EP-G塗
B2	LGS下地 [撤去]の上 ｹｲｶﾙ板t6 VP塗 [撤去]	
B3	LGS下地 [撤去]の上 ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙ板t5 VP塗 [撤去]	
B4	LGS下地 [既存]の上 ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙ板t5 [既存] VP塗[塗膜除去]	下地調整(RB種)の上 EP-G [塗替]
B5	折版裏現し [既存]	―
B6	LGS下地 [撤去]の上 化粧石こうﾎﾞｰﾄﾞ t9 [撤去]	LGS(19型)の上 GB-NC t9.5
C1	軒樋:塩ﾋﾞ被覆鋼板 W120 [撤去]	塩ﾋﾞ被覆鋼板 前高W120
C2	鋼板製水切 W100×H30 [撤去]	ｱﾙﾐ水切金物 W70×H35
D1	EXP.JｶﾊﾞｰA(外壁-外壁) :ｱﾙﾐ製(既製品) [取外]	同左 [再取付]
D2	EXP.JｶﾊﾞｰA(外壁ｺｰﾅｰ) :ｱﾙﾐ製(既製品) [取外]	同左 [再取付]

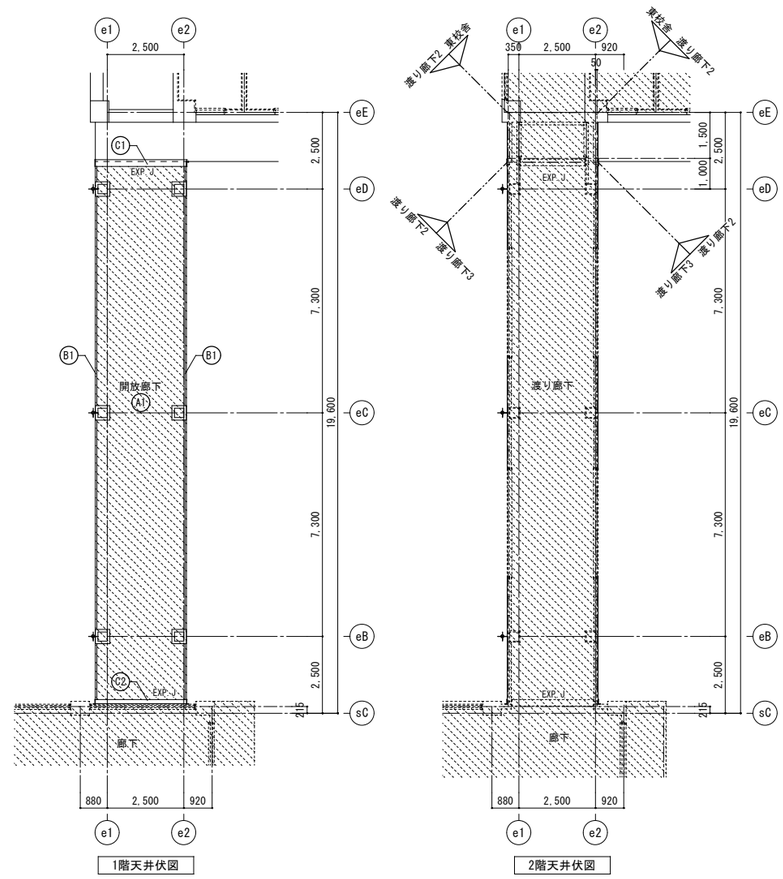


02 【改修前後】渡り廊下3 天井伏図

A1:1/100
A3:1/200

凡例

記号	仕様・寸法	
	改修前	改修後 ※特記なきものは新設
A1	LGS下地 [既存]の上 ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙ板 t5 [既存]	―
B1	SUS製水切金物 W65×H30 [既存]	―
C1	EXP.JｶﾊﾞｰB(外壁-外壁) ｽﾃﾝﾚｽ製(既製品) [取外]	同左 [再取付]
C2	EXP.JｶﾊﾞｰB(外壁ｺｰﾅｰ) ｽﾃﾝﾚｽ製(既製品) [取外]	同左 [再取付]



1階天井伏図

2階天井伏図

凡例

	改修範囲外の部分を示す	
	既存のままの部分を示す	

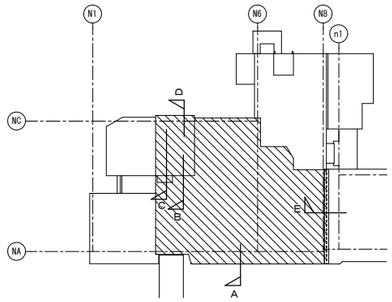
注記

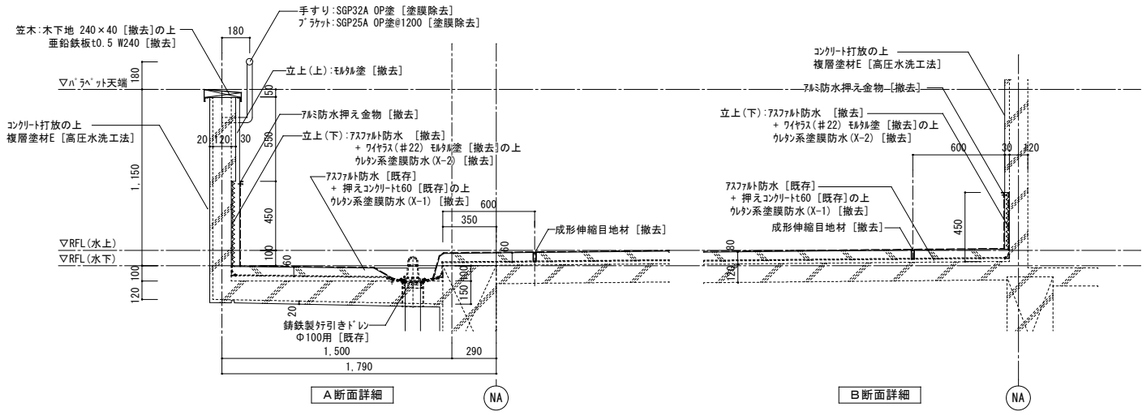
設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅰ期)
図面名称	【改修前後】3階天井伏図 (東校舎1)、渡り廊下3 天井伏図
縮尺	A1:1/100 A3:1/200
年月	2024.03
設計番号	
図面番号	A－055
承認/赤沼 直幸	
設計者/一級建築士 第284436号 赤沼 直幸	
照査/佐々木 啓文	
製図/西巻 裕太	

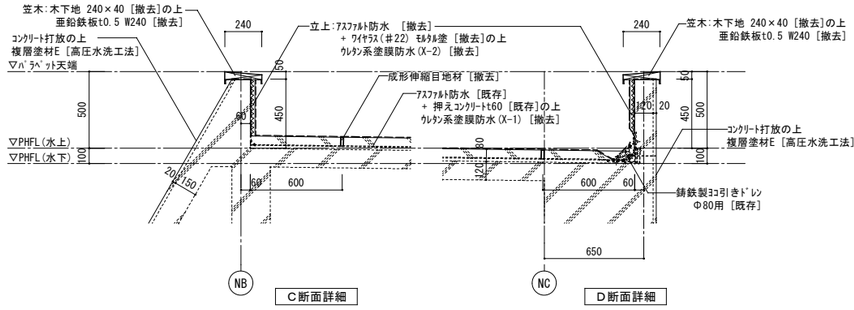
SOWA 一級建築士事務所 株式会社相和技術研究所 仙台事務所 宮城県知事登録 第22910116号

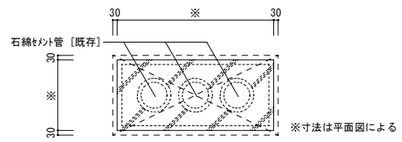
01 【改修前】屋上詳細図（北校舎1）

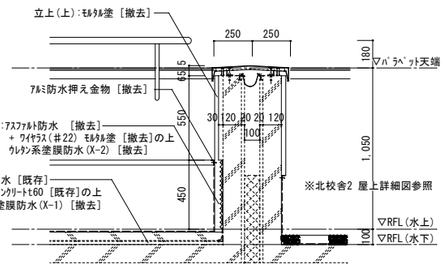
A1:1/20
A3:1/40

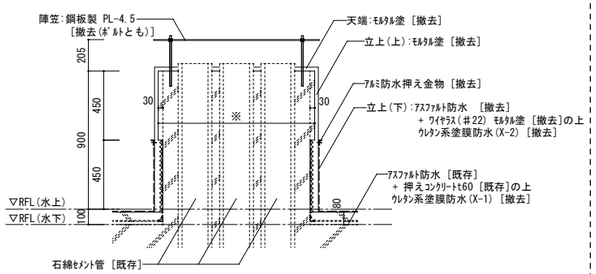






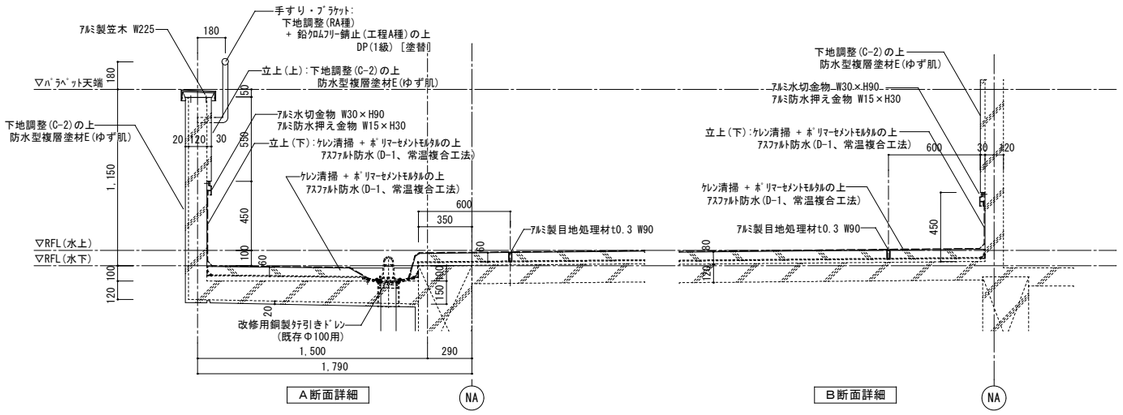


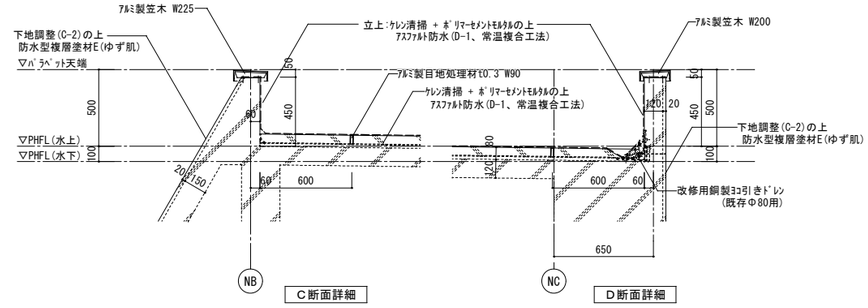


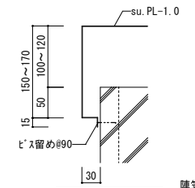


02 【改修後】屋上詳細図（北校舎1）

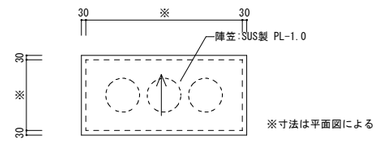
A1:1/20
A3:1/40

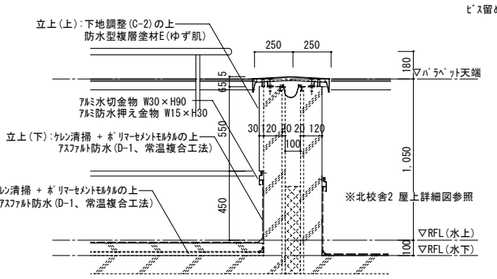


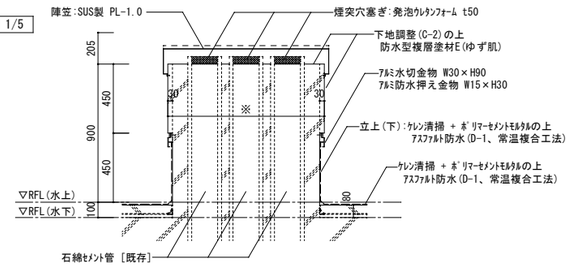




陣笠詳細図 1/5







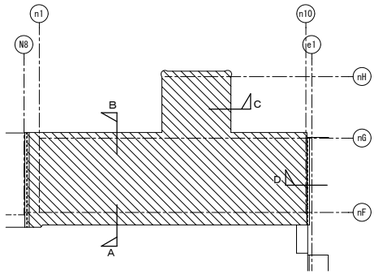
凡　例			
----------	既存のままの部分を示す		

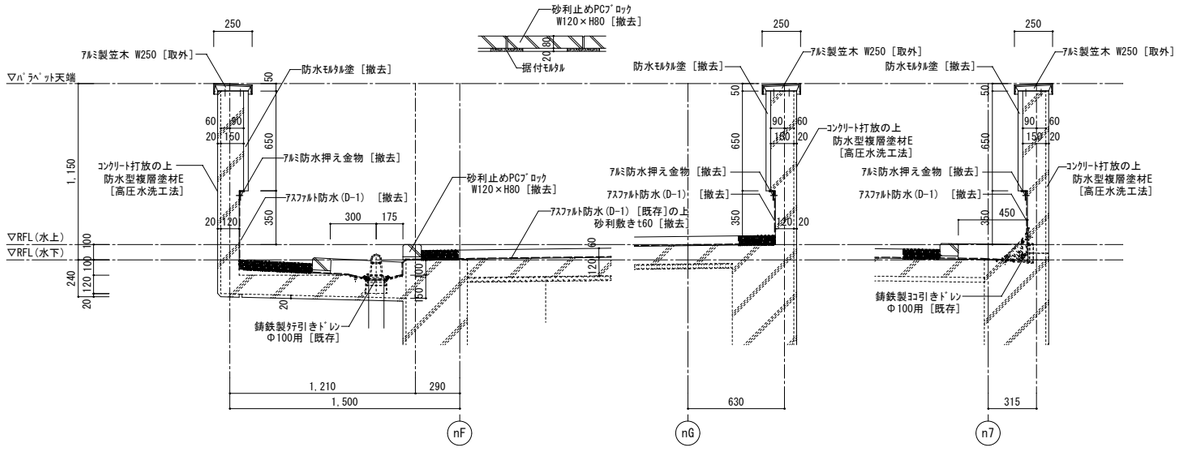
注　記

1)ｺﾝｸﾘｰﾄ・ﾓﾙﾀﾙ・ﾀｲﾙの斫り撤去は、ｶｯﾀｰ入れにより残置部分と縁切りのこと。

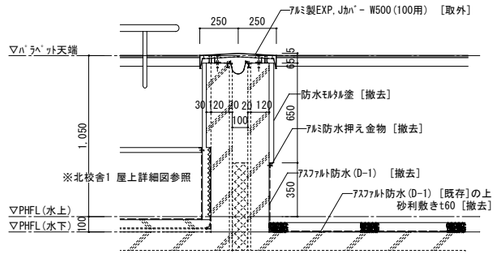
設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅰ期)		
図面名称	【改修前後】屋上詳細図1（北校舎1）		
縮　尺	A1:1/20 A3:1/40	年 月 2024.03	設計番号 / 図面番号 A－056
SOWA 一級建築士事務所 株式会社相和技術研究所 宮城県知事登録 第22910116号	承認/赤沼 直幸	設計者/ 一級建築士 第284436号 赤沼 直幸	製図/ 西巻 裕太
	照査/佐々木 啓文		

O１	【改修前】屋上詳細図（北校舎2）	A1:1/20 A3:1/40

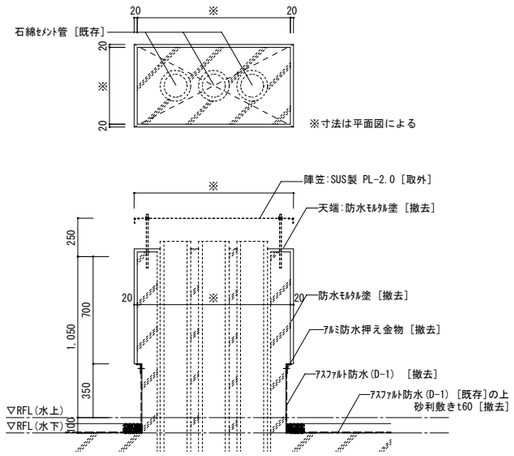




A断面詳細　　B断面詳細　　C断面詳細

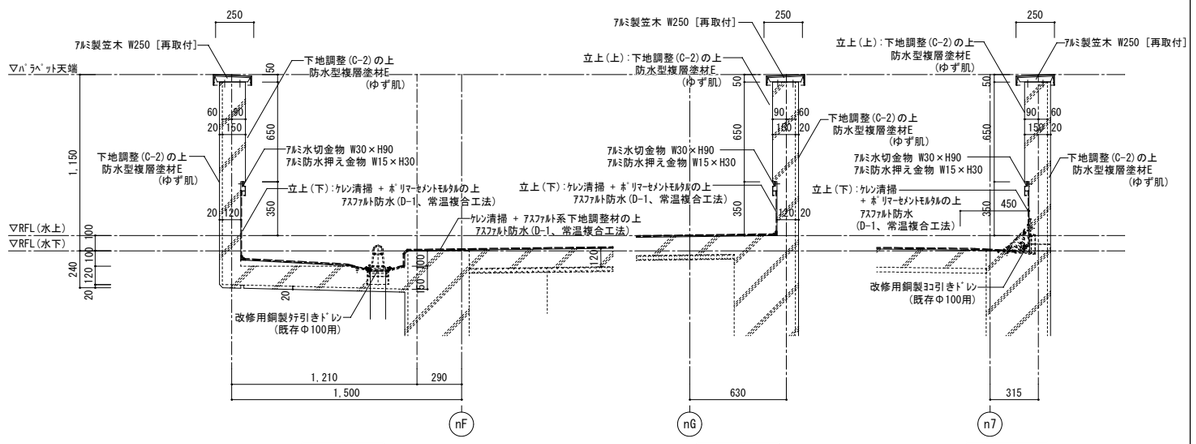


D断面詳細

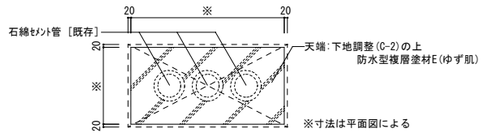


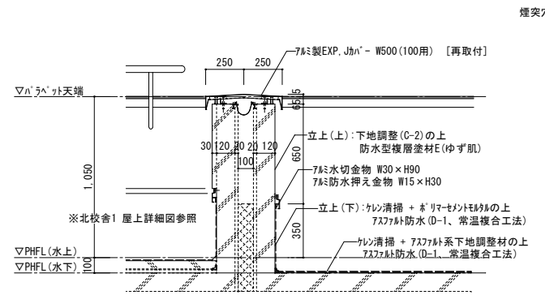
煙突詳細図

O２	【改修後】屋上詳細図（北校舎2）	A1:1/20 A3:1/40

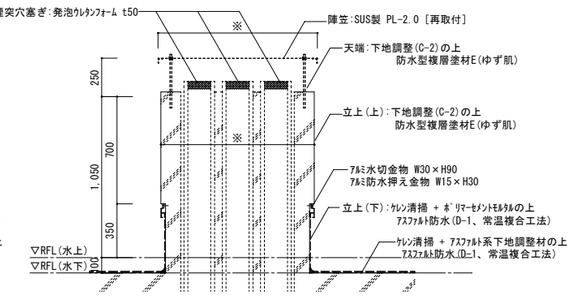


A断面詳細　　B断面詳細　　C断面詳細





D断面詳細



煙突詳細図

凡　例			
----------	既存のままの部分を示す		

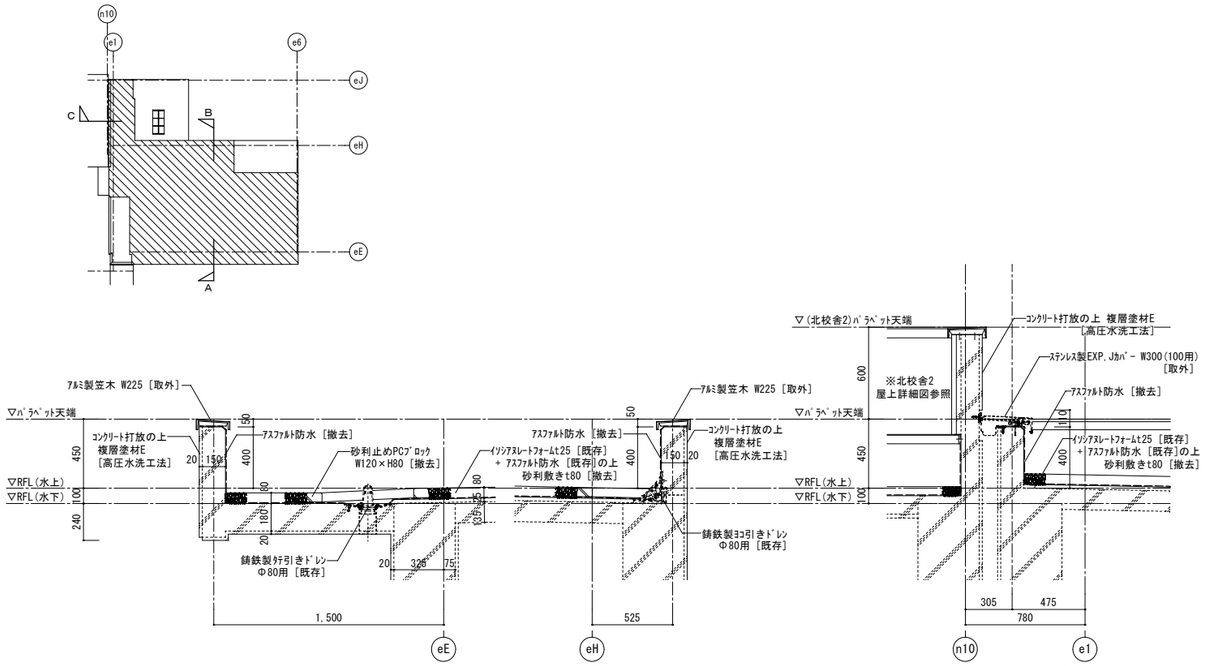
注　記

1)ｺﾝｸﾘｰﾄ・ﾓﾙﾀﾙ・ﾀｲﾙの斫り撤去は、ｶｯﾀｰ入れにより残置部分と縁切りのこと。

設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅰ期)			
図面名称	【改修前後】屋上詳細図2（北校舎2）			
縮　尺	A1:1/20 A3:1/40	年　月 2024.03	設計番号	図面番号 A－057
SOWA 一般財団法人 相和技術研究所 宮城県知事登録 第22910116号	承認/赤沼 直幸	設計者/一級建築士 第284436号 赤沼 直幸	製図/西巻 裕太	
	照査/佐々木 啓文			

O１ 【改修前】屋上詳細図（東校舎）

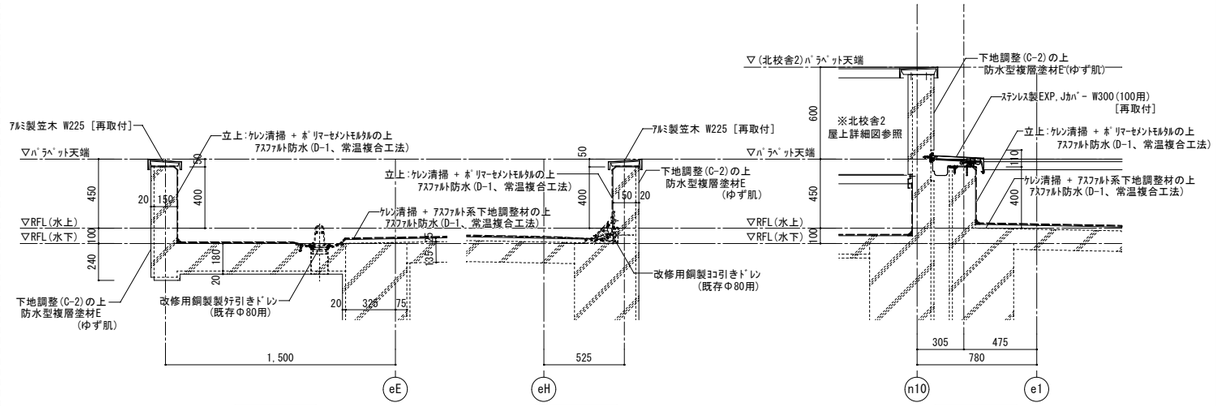
A1:1/20
A3:1/40



A断面詳細　B断面詳細　C断面詳細

O２ 【改修後】屋上詳細図（東校舎）

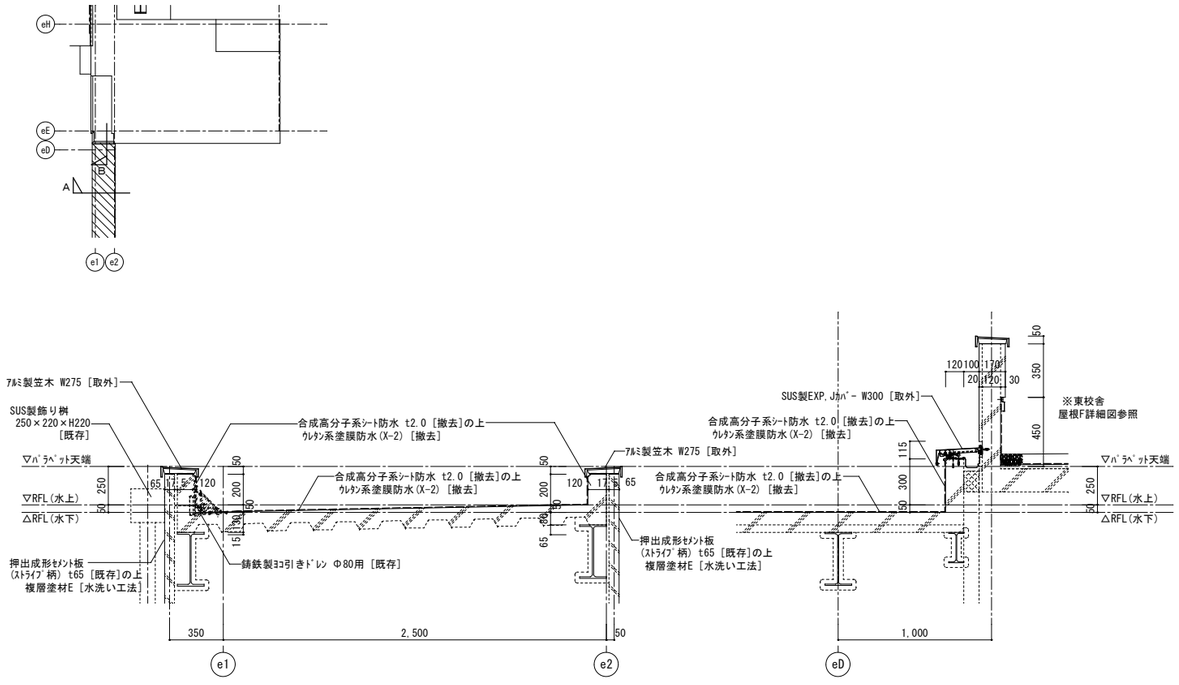
A1:1/20
A3:1/40



A断面詳細　B断面詳細　C断面詳細

O３ 【改修前】屋上詳細図（渡り廊下3）

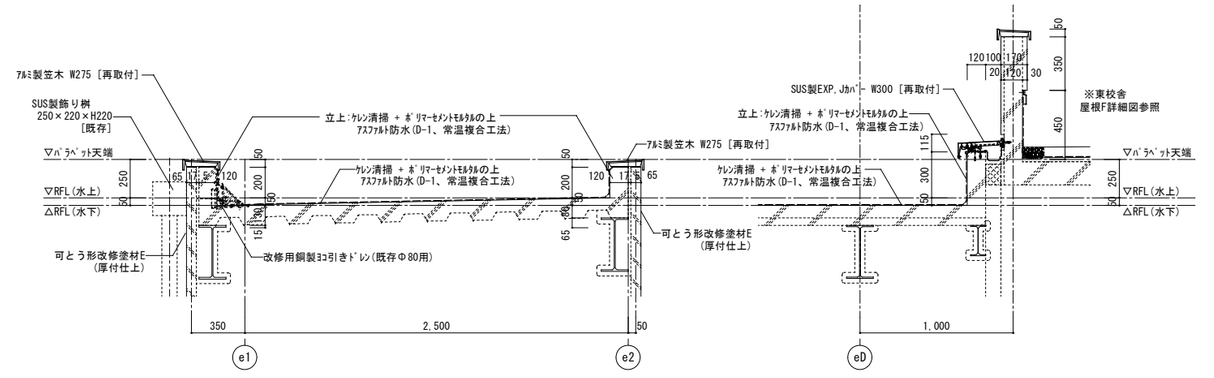
A1:1/20
A3:1/40



A断面詳細　B断面詳細

O４ 【改修後】屋上詳細図（渡り廊下3）

A1:1/20
A3:1/40



A断面詳細　B断面詳細

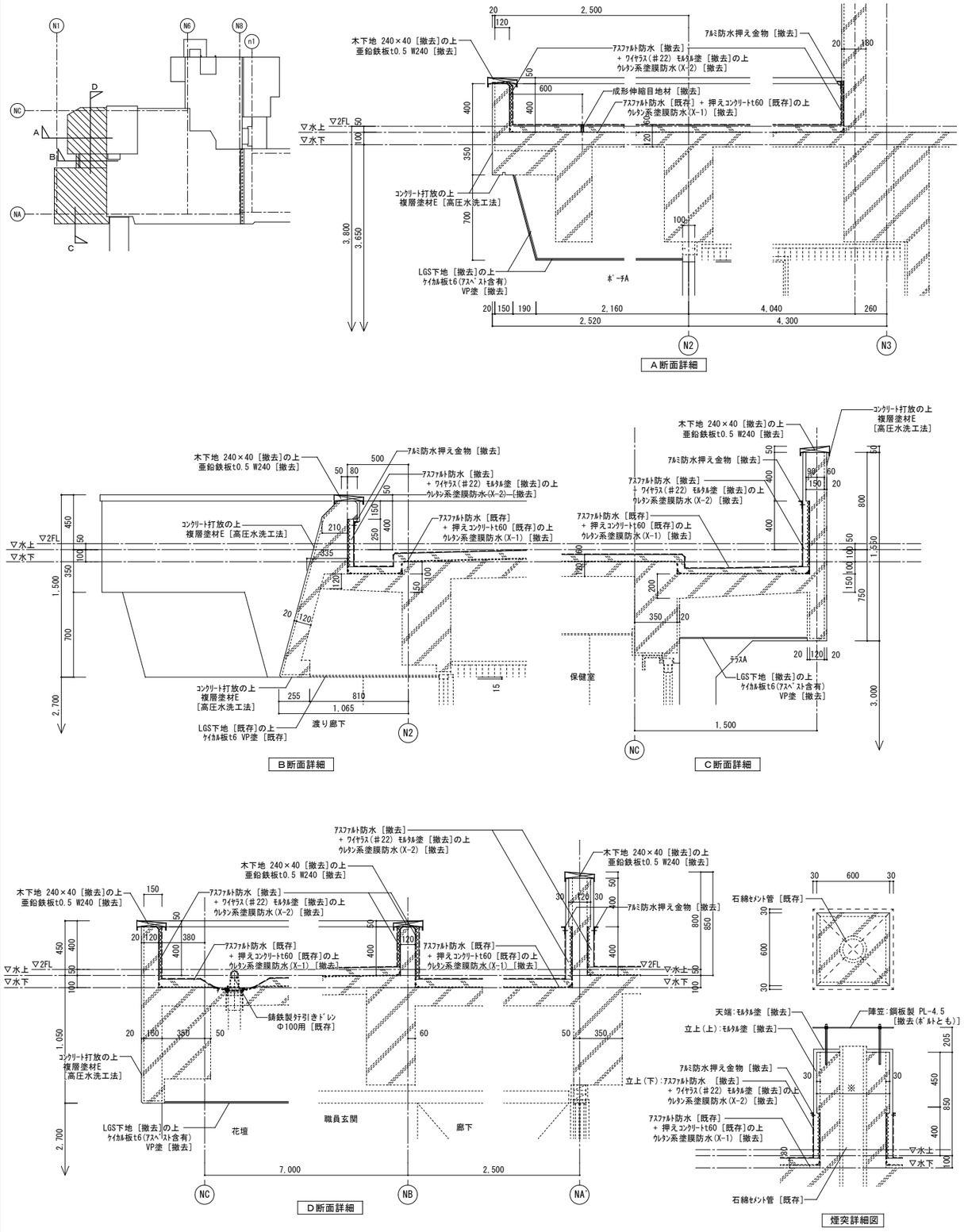
凡　例			
----------	既存のままの部分を示す		

注　記

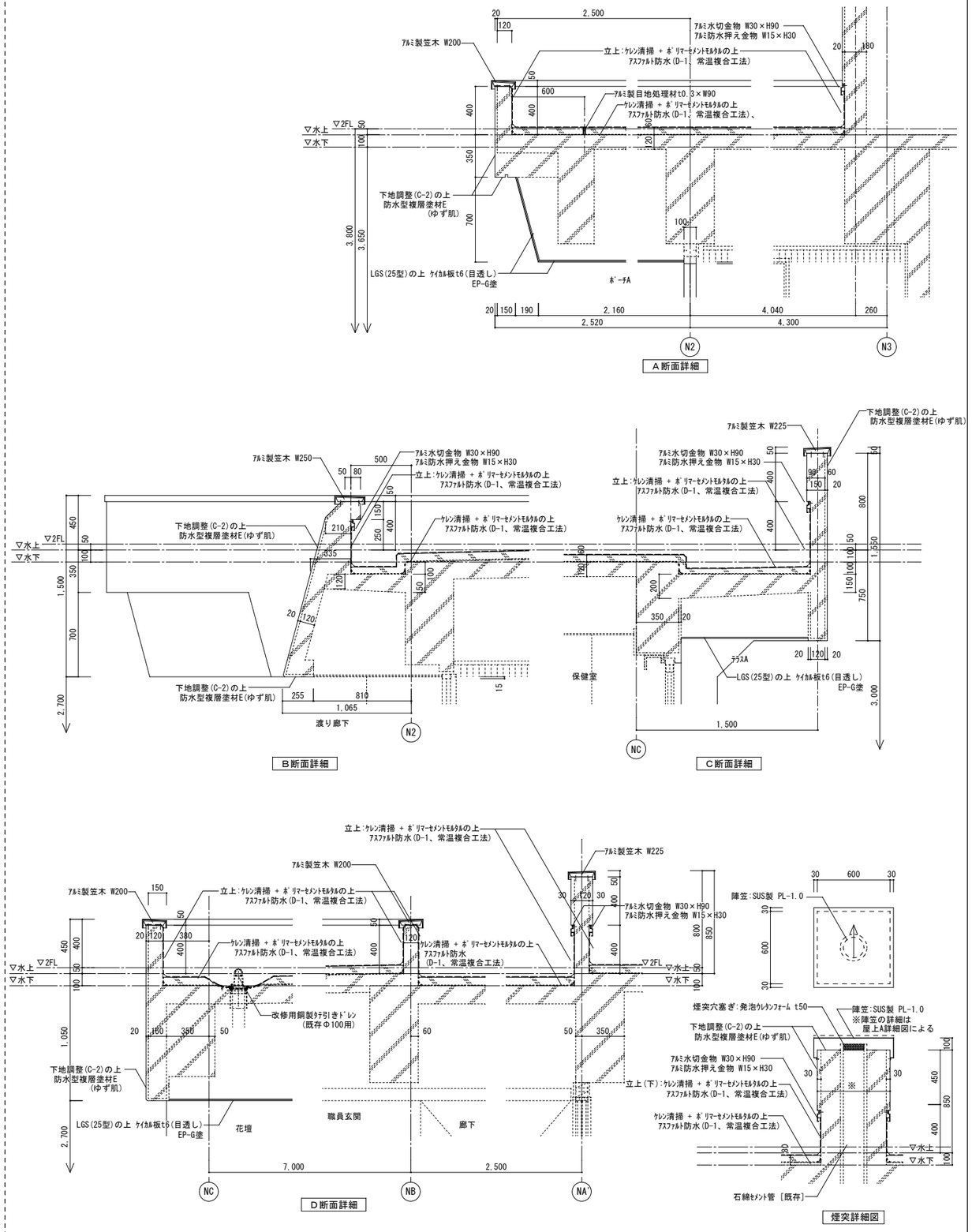
1)コンクリート・モルタル・タイルの斫り撤去は、カッター入れにより残置部分と縁切りのこと。

設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ｉ期)		
図面名称	【改修前後】屋上詳細図3（東校舎）		
縮　尺	A1:1/20 A3:1/40	年　月 2024.03	設計番号 / 図面番号 A－058
SOWA 一級建築士事務所 株式会社相和技術研究所 宮城県知事登録 第22910116号	承認/赤沼 喜幸	設計者/一級建築士 第284436号 赤沼 喜幸	製図/西巻 裕太
	照査/佐々木 啓文		

O１	【改修前】屋根詳細図（北校舎1 屋根A）	A1:1/20 A3:1/40



O２	【改修後】屋根詳細図（北校舎1 屋根A）	A1:1/20 A3:1/40



凡　例			
----------	既存のままの部分を示す		

注　記

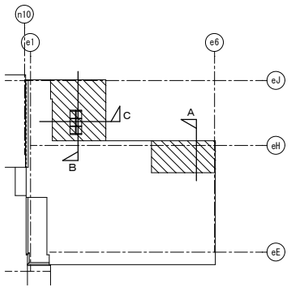
1)コンクリート・モルタル・タイルの斩り撤去は、カッター入れにより残置部分と縁切りのこと。

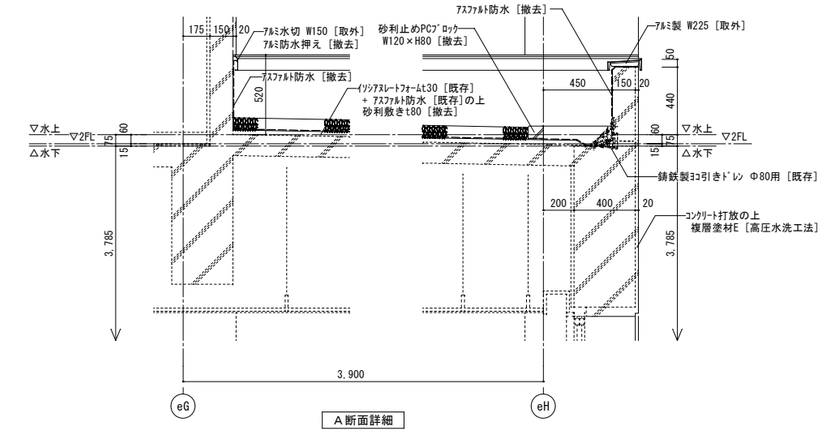
設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ｉ期)		
図面名称	【改修前後】屋根詳細図1（北校舎1 屋根A）		
縮　尺	A1:1/20 A3:1/40	年　月	2024.03
設計番号		図面番号	A－059
承認/赤沼 直幸	設計者/一級建築士 第284436号 赤沼 直幸	製図/西巻 裕太	
照査/佐々木 啓文			

SOWA 一般建築士事務所 株式会社相和技術研究所 宮城県知事登録 第22910116号

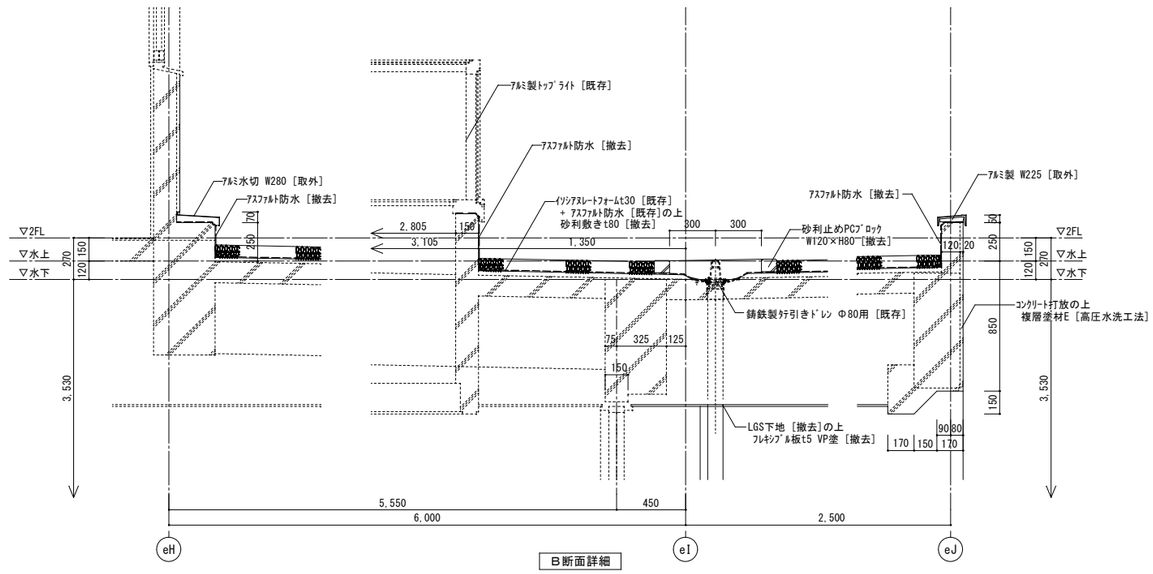
０１　【改修前】屋根詳細図（東校舎 屋根D）

A1:1/20
A3:1/40

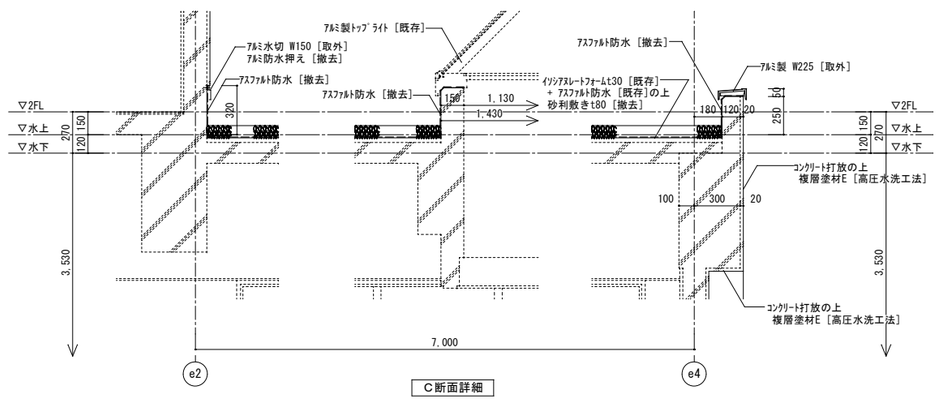




A断面詳細



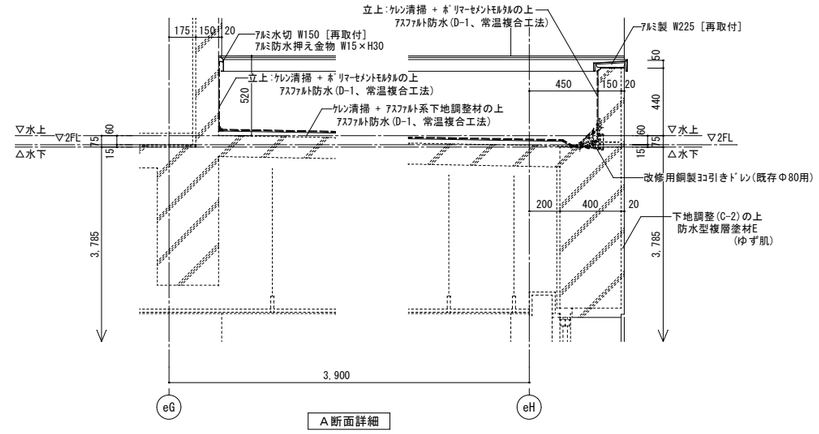
B断面詳細



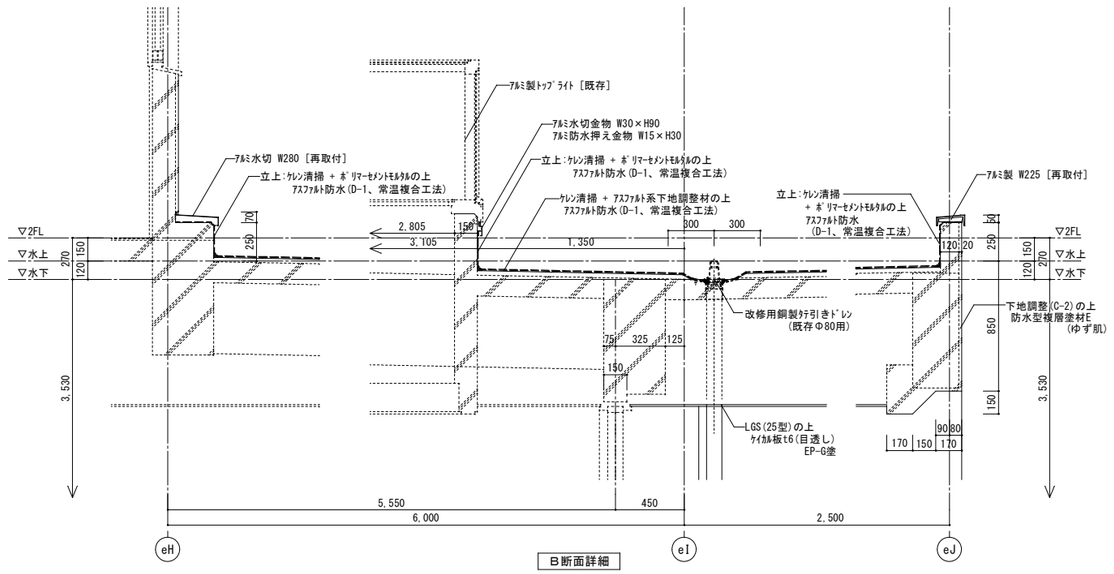
C断面詳細

０２　【改修後】屋根詳細図（東校舎 屋根D）

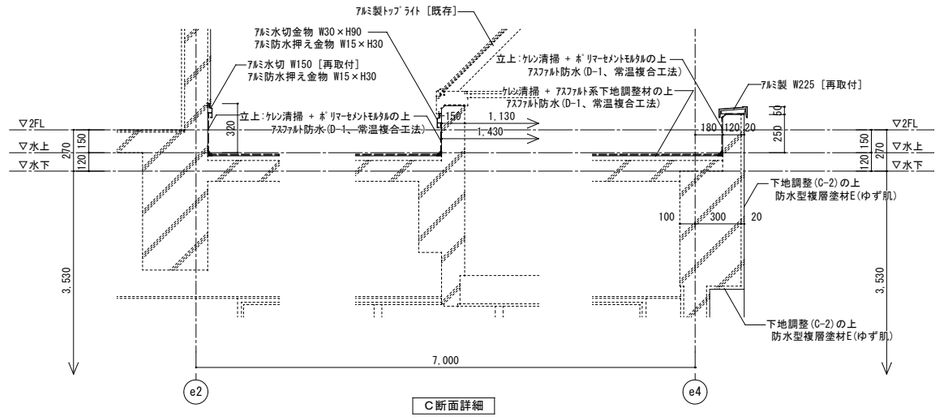
A1:1/20
A3:1/40



A断面詳細



B断面詳細



C断面詳細

凡　例			
----------	既存のままの部分を示す		

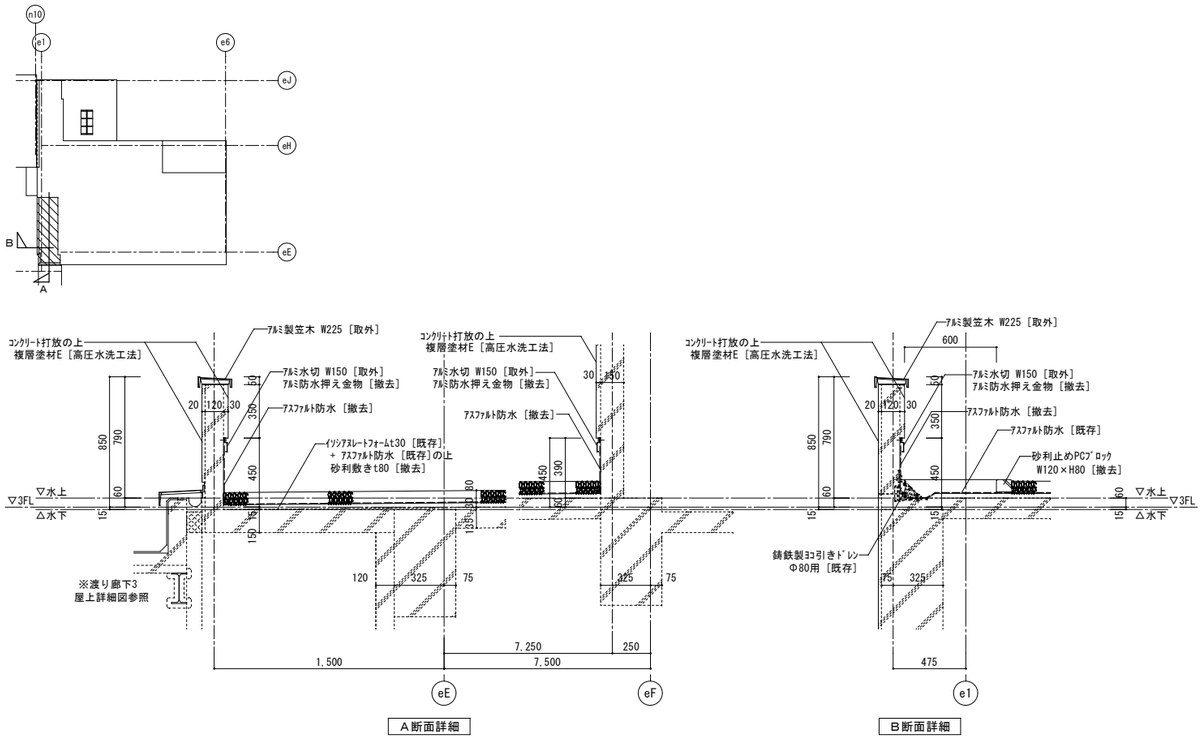
注　記

1）コンクリート・モルタル・タイルの斫り撤去は、カッター入れにより残置部分と縁切りのこと。

設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事（第Ｉ期）		
図面名称	【改修前後】屋根詳細図2（東校舎 屋根D）		
縮　尺	A1:1/20 A3:1/40	年　月 2024.03	設計番号 / 図面番号 A－060
SOWA 一級建築士事務所 株式会社 相和技術研究所 宮城県知事登録 第22910116号	承認/赤沼 直幸	設計者/ 一級建築士 第284436号 赤沼 直幸	製図/ 西巻 裕太
	照査/佐々木 啓文		

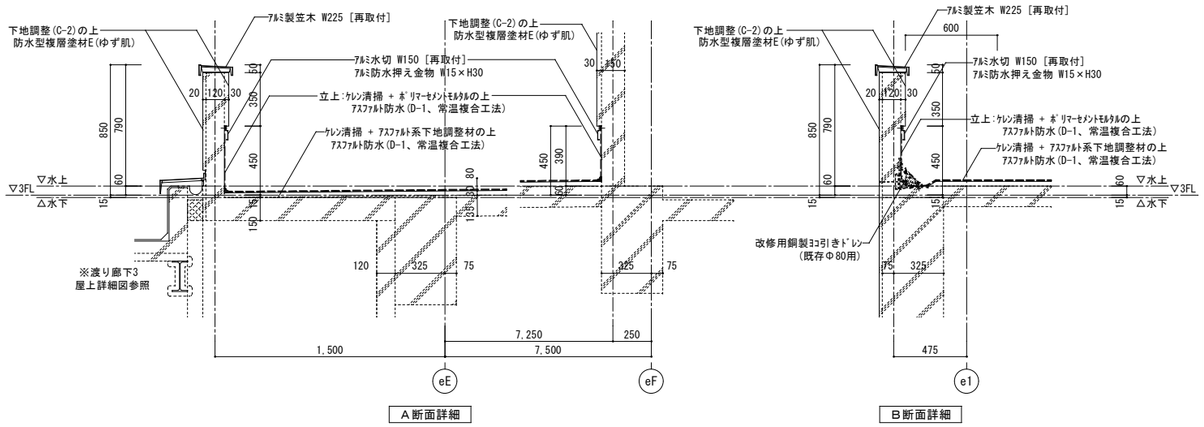
０１ 【改修前】屋根詳細図（東校舎 屋根F）

A1:1/20
A3:1/40



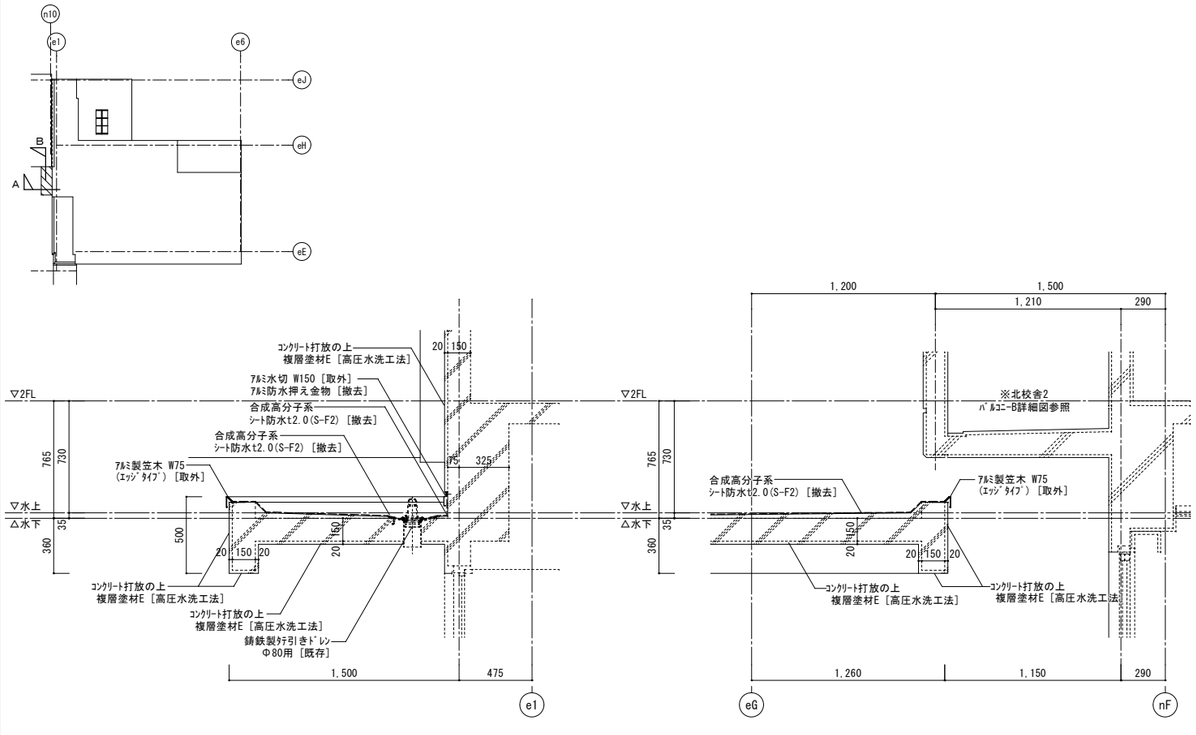
０２ 【改修後】屋根詳細図（東校舎 屋根F）

A1:1/20
A3:1/40



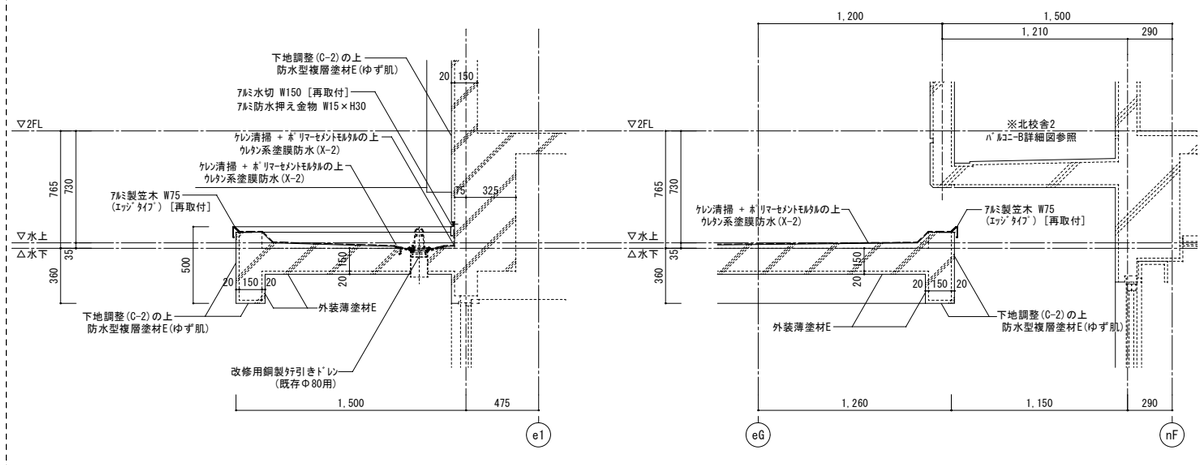
０３ 【改修前】庇詳細図（東校舎 庇B）

A1:1/20
A3:1/40



０４ 【改修後】庇詳細図（東校舎 庇B）

A1:1/20
A3:1/40



凡　例			
----------	既存のままの部分を示す		

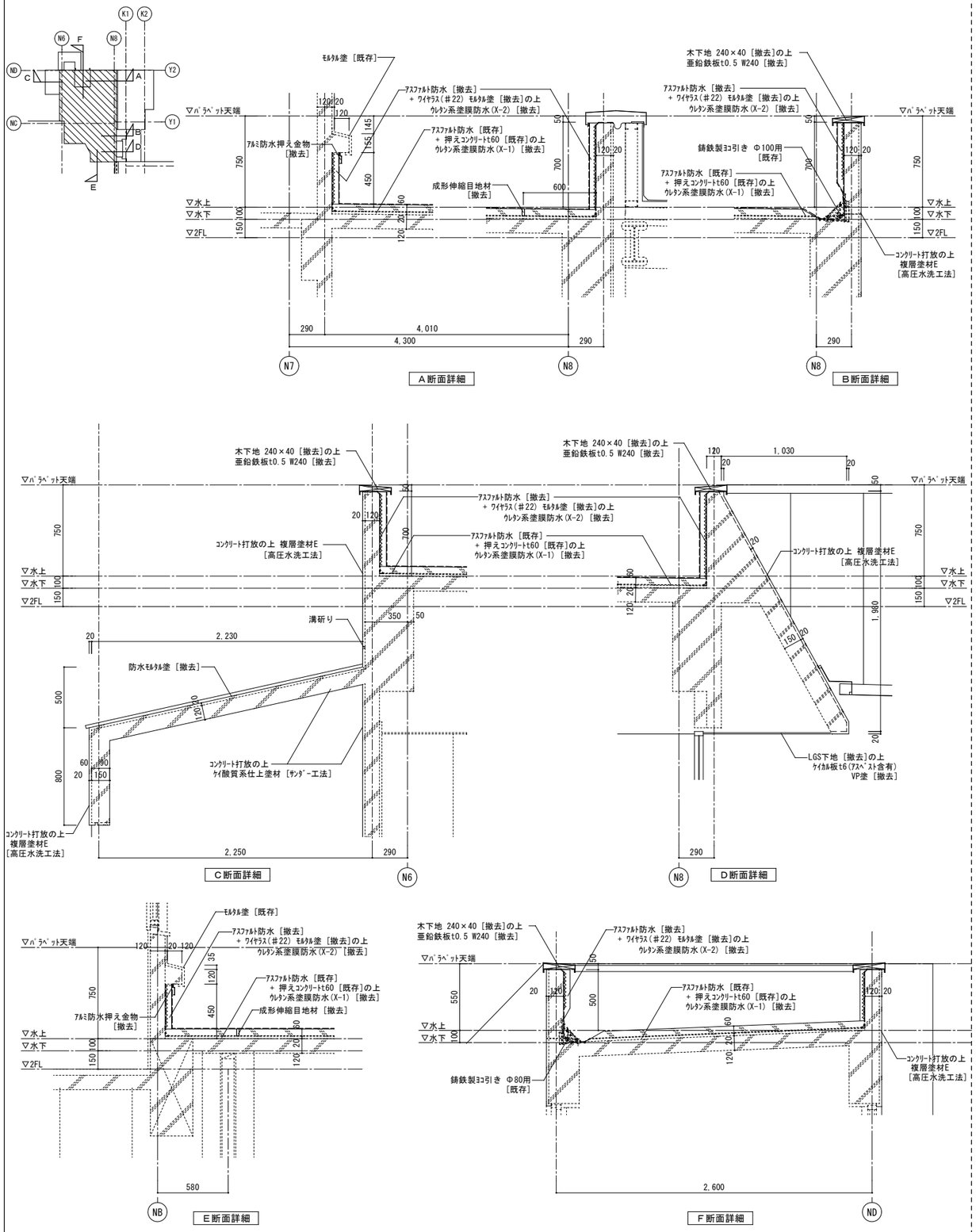
注　記

1)ｺﾝｸﾘｰﾄ・ﾓﾙﾀﾙ・ﾀｲﾙの斫り撤去は、ｶｯﾀｰ入れにより残置部分と縁切りのこと。

設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ｉ期)				
図面名称	【改修前後】屋根詳細図3（東校舎 屋根F・庇B）				
縮　尺	A1:1/20 A3:1/40	年　月 2024.03	設計番号	図面番号	A －061
一級建築士事務所 株式会社 相和技術研究所 仙台事務所 宮城県知事登録　第22910116号		承認/赤沼 喜幸	設計者/ 一級建築士 第284436号 赤沼 喜幸	製図/ 西巻 裕太	
		照査/佐々木 啓文			

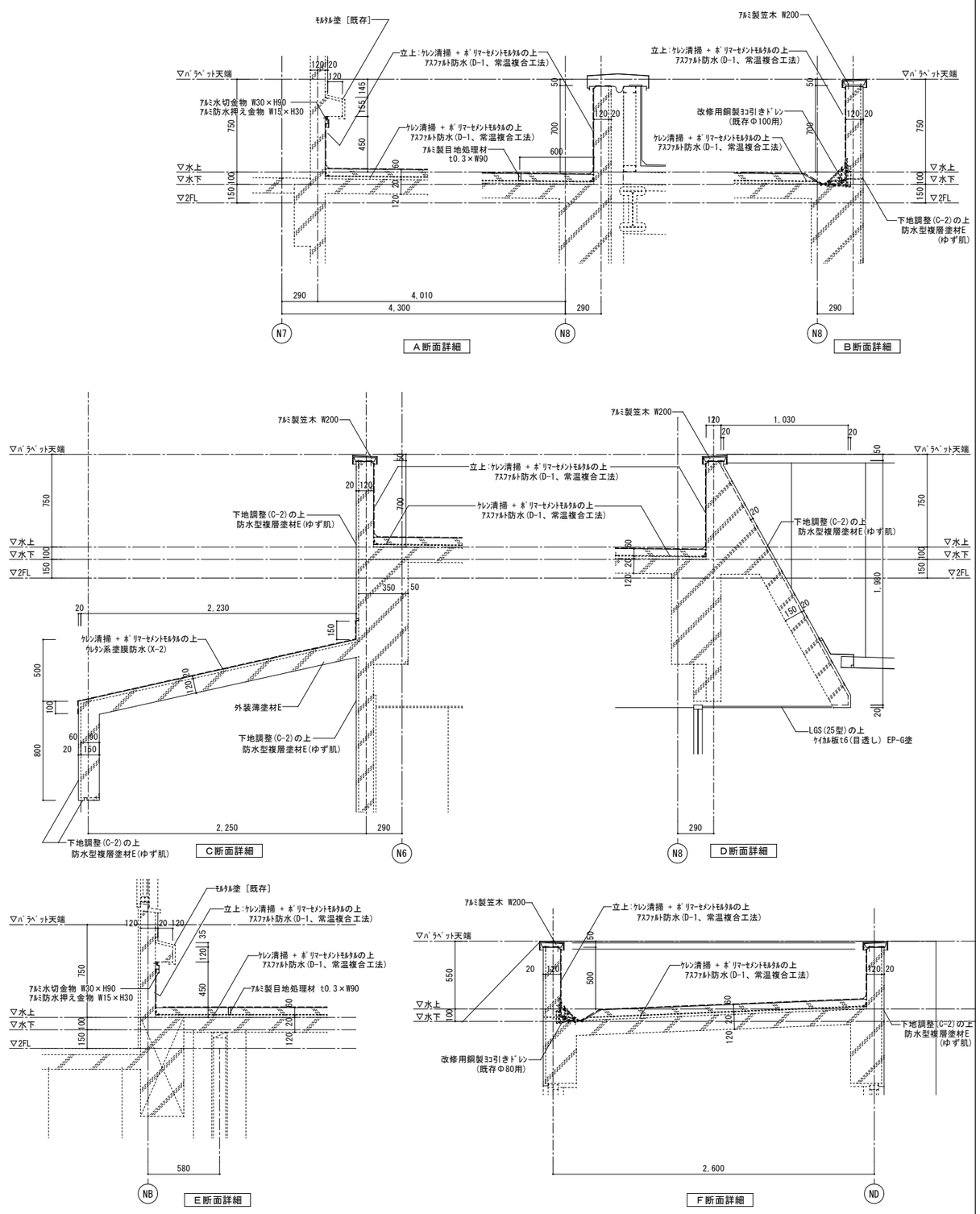
01 【改修前】屋根詳細図（給食室1 屋根B）

A1:1/20
A3:1/40



02 【改修後】屋根詳細図（給食室1 屋根B）

A1:1/20
A3:1/40



凡　例			
----------	既存のままの部分を示す		

注　記

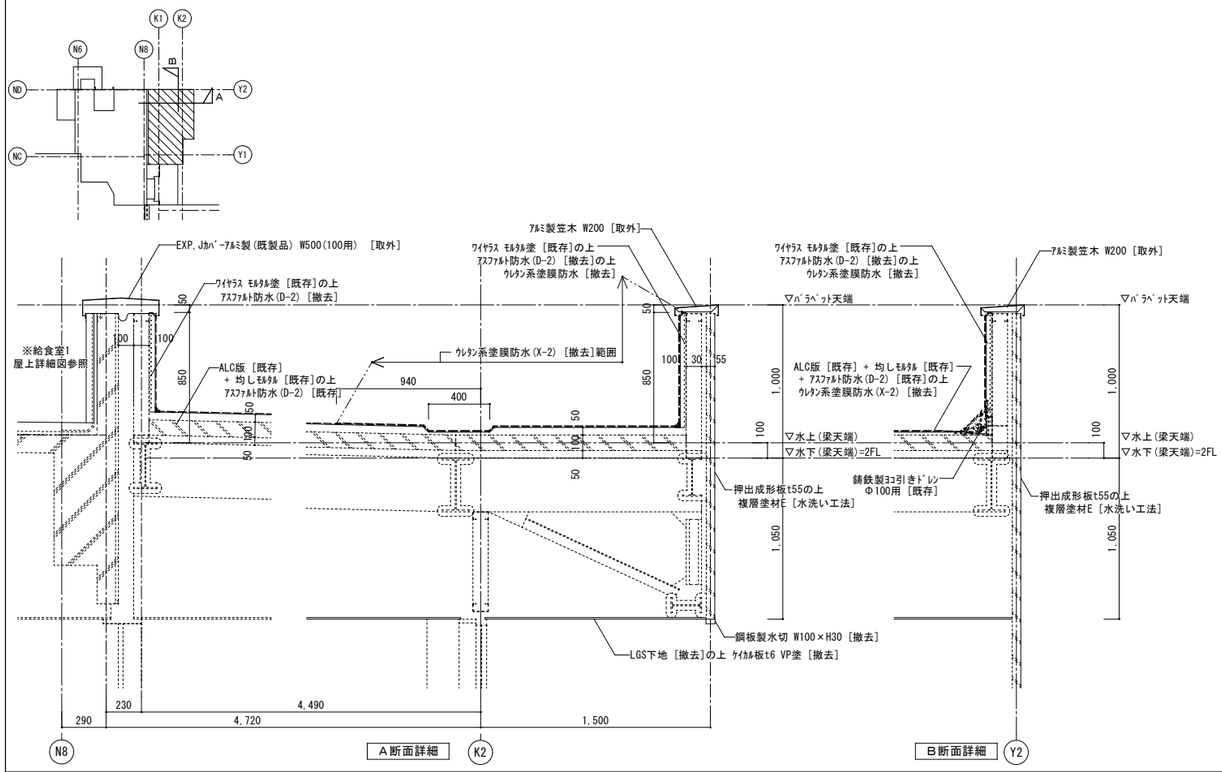
1)コンクリート・モルタル・タイルの斫り撤去は、カッター入れにより残置部分と縁切りのこと。

設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅰ期)		
図面名称	【改修前後】屋根詳細図（給食室1 屋根B）		
縮　尺	A1:1/20 A3:1/40	年　月	2024.03
設計番号		図面番号	A－062
承認/赤沼 直幸	設計者/ 一級建築士 第284436号 赤沼 直幸	製図/ 西巻 裕太	
照査/佐々木 啓文			

SOWA 一級建築士事務所 株式会社 相和技術研究所
宮城県知事登録 第2291016号

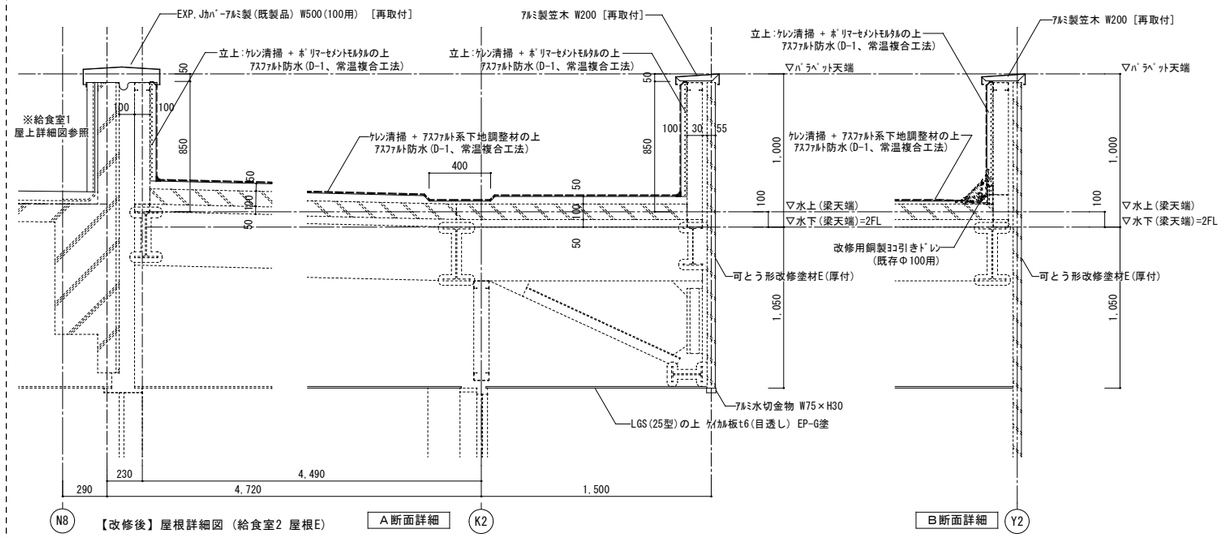
O１ 【改修前】屋根詳細図 (給食室2 屋根C)

A1:1/20
A3:1/40



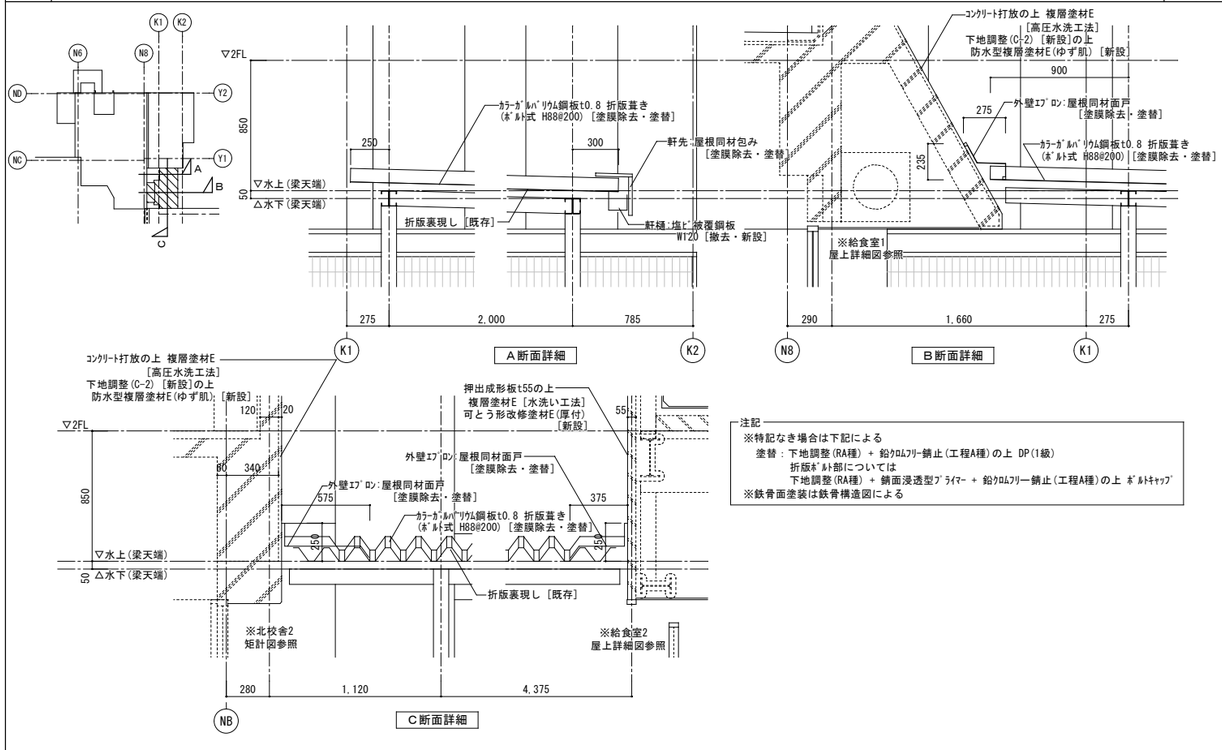
O２ 【改修後】屋根詳細図 (給食室2 屋根C)

A1:1/20
A3:1/40



O３ 【改修前後】屋根詳細図 (給食室2 屋根E)

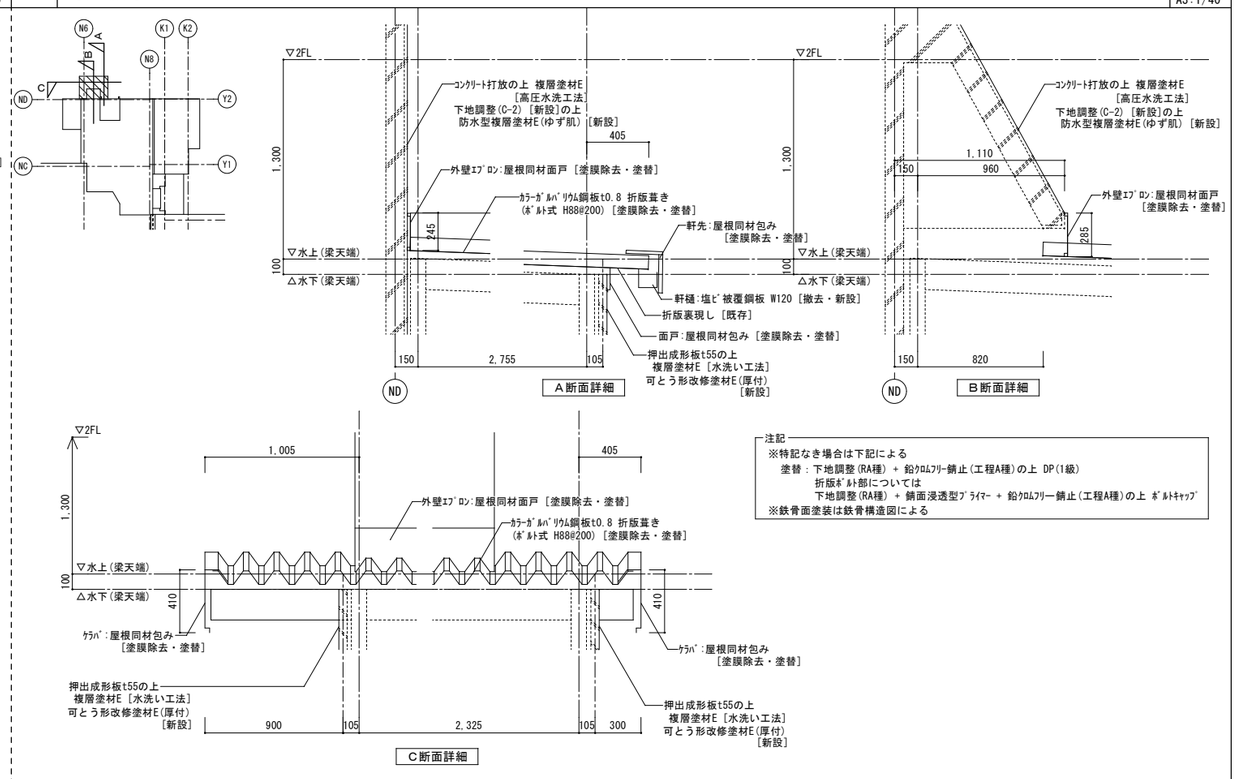
A1:1/20
A3:1/40



注記
※特記なき場合は下記による
塗替：下地調整(RA種) + 鉛ｸﾛﾑﾌﾘｰ錆止(工程A種)の上 DP(1級)
折版ﾎﾞﾙﾄ部については
下地調整(RA種) + 錆面浸透型ﾌﾟﾗｲﾏｰ + 鉛ｸﾛﾑﾌﾘｰ錆止(工程A種)の上 ﾎﾞﾙﾄｷｬｯﾌﾟ
※鉄骨面塗装は鉄骨構造図による

O４ 【改修前後】屋根詳細図 (給食室3 屋根E)

A1:1/20
A3:1/40



注記
※特記なき場合は下記による
塗替：下地調整(RA種) + 鉛ｸﾛﾑﾌﾘｰ錆止(工程A種)の上 DP(1級)
折版ﾎﾞﾙﾄ部については
下地調整(RA種) + 錆面浸透型ﾌﾟﾗｲﾏｰ + 鉛ｸﾛﾑﾌﾘｰ錆止(工程A種)の上 ﾎﾞﾙﾄｷｬｯﾌﾟ
※鉄骨面塗装は鉄骨構造図による

凡　例			
----------	既存のままの部分を示す		

注　記

1)ｺﾝｸﾘｰﾄ・ﾓﾙﾀﾙ・ﾀｲﾙの斫り撤去は、 ｶｯﾀｰ入れにより残置部分と縁切りのこと。

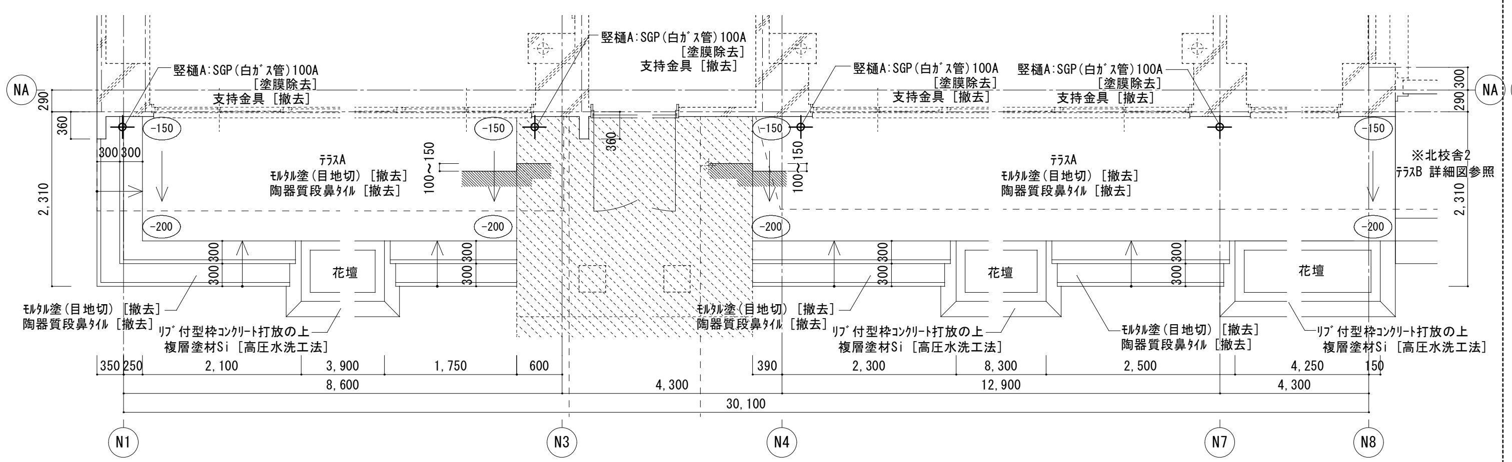
設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅰ期)		
図面名称	【改修前後】屋根詳細図 (給食室2・3 屋根C・E)		
縮　尺	A1:1/20 A3:1/40	年　月	2024.03
設計番号		図面番号	A－063

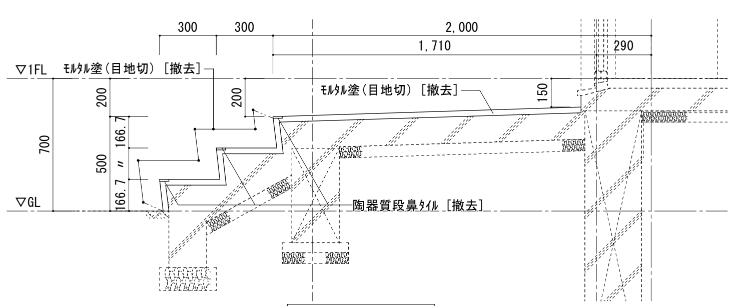
SOWA 一般財団法人 相和技術研究所 仙台事務所 宮城県知事登録 第22910116号

承認/赤沼 直幸　設計者/一級建築士 第284436号 赤沼 直幸　製図/西巻 裕太　照査/佐々木 啓文

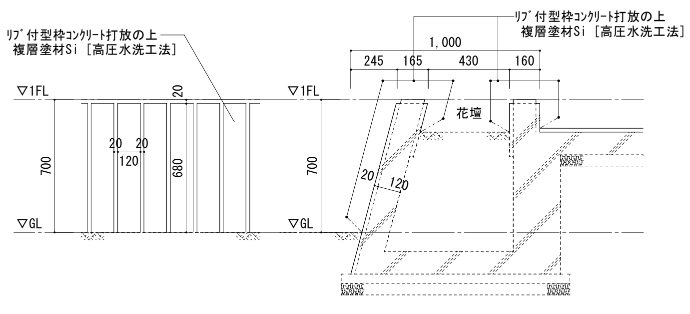
01 【改修前】ﾃﾗｽA詳細図 (北校舎1)

A1:1/50
A3:1/100





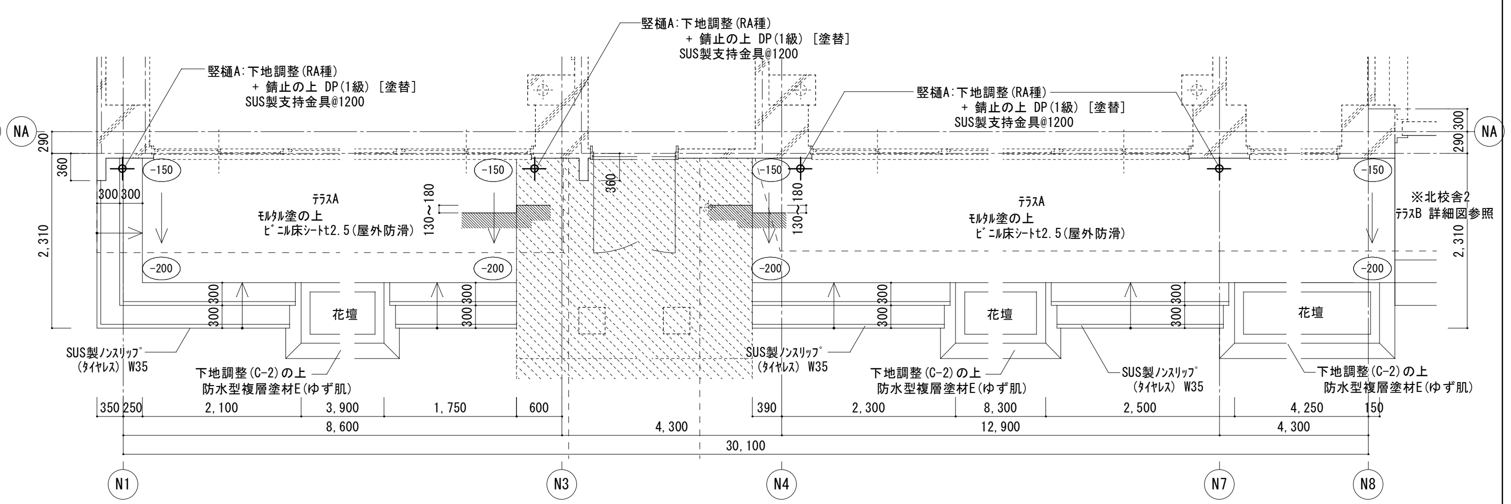
断面詳細図 1/20

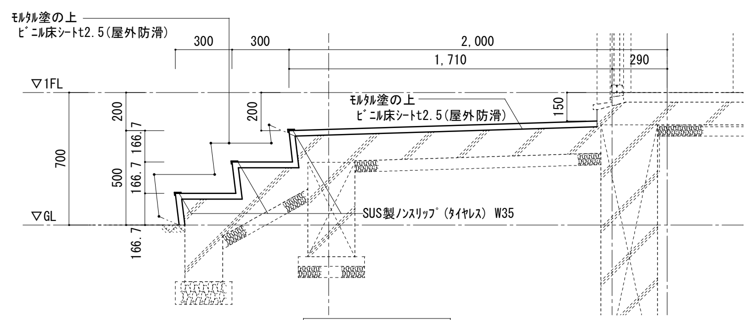


花壇詳細図 1/20

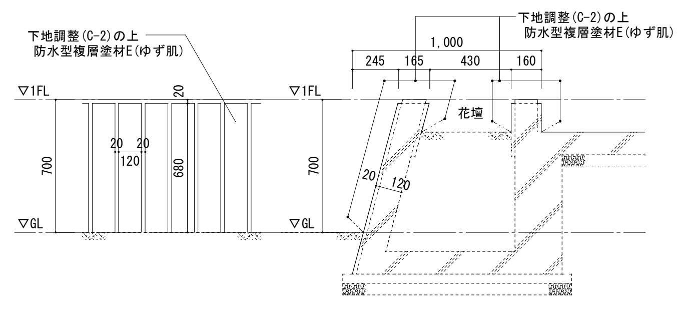
02 【改修後】ﾃﾗｽA詳細図 (北校舎1)

A1:1/50
A3:1/100





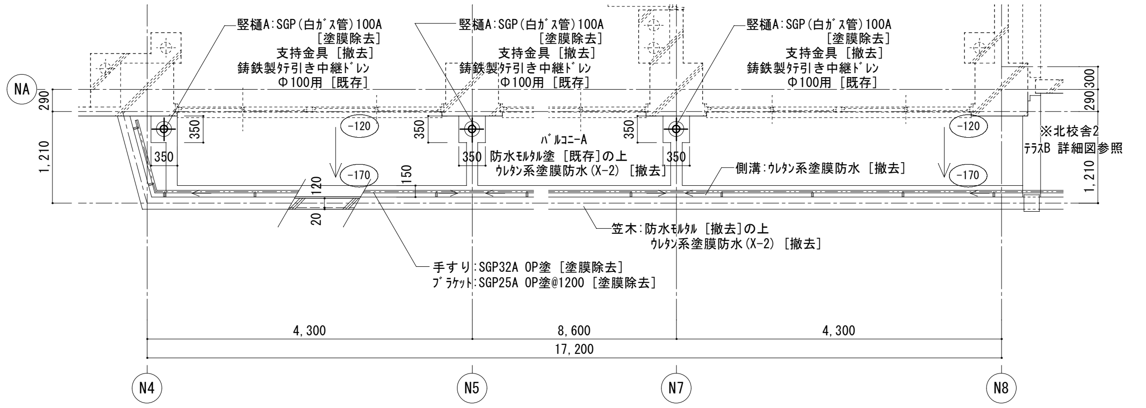
断面詳細図 1/20

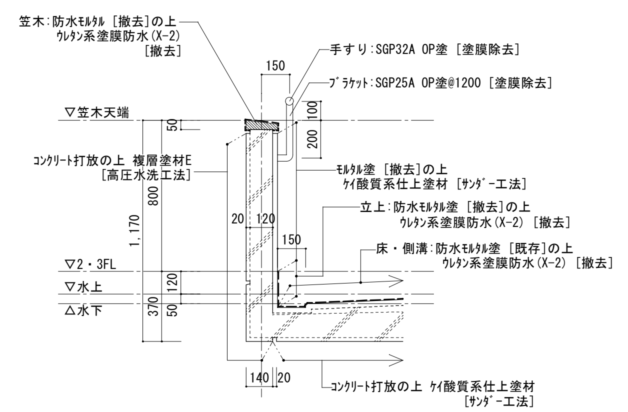


花壇詳細図 1/20

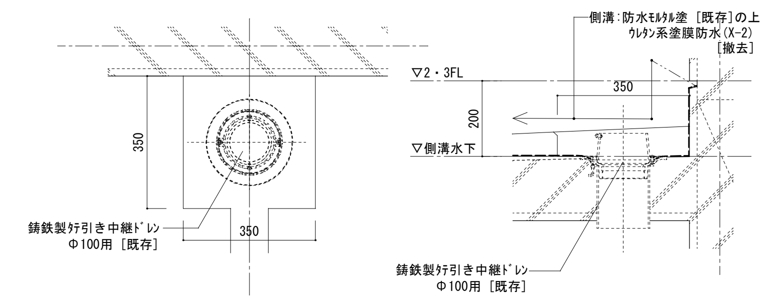
03 【改修前】ﾊﾞﾙｺﾆｰA詳細図 (北校舎1)

A1:1/50
A3:1/100





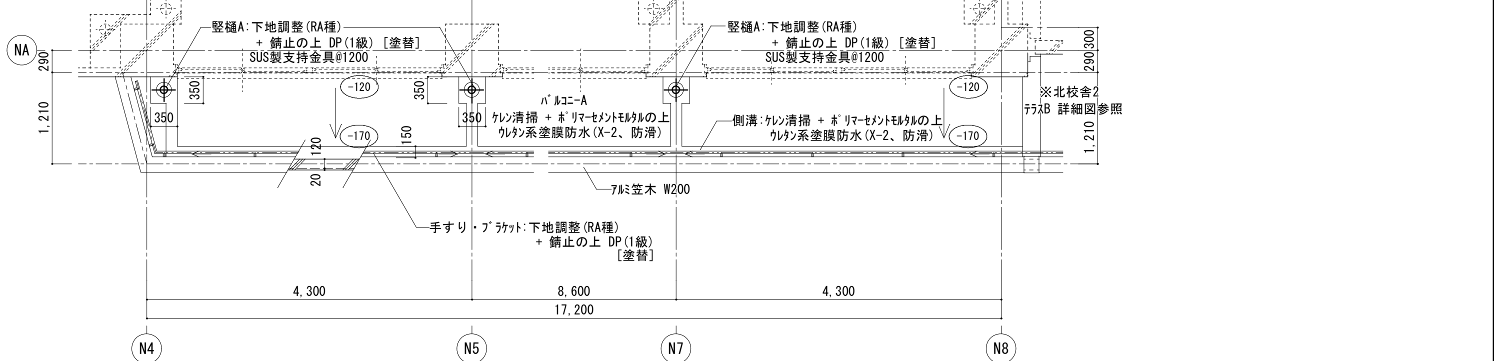
手すり壁詳細図 1/20

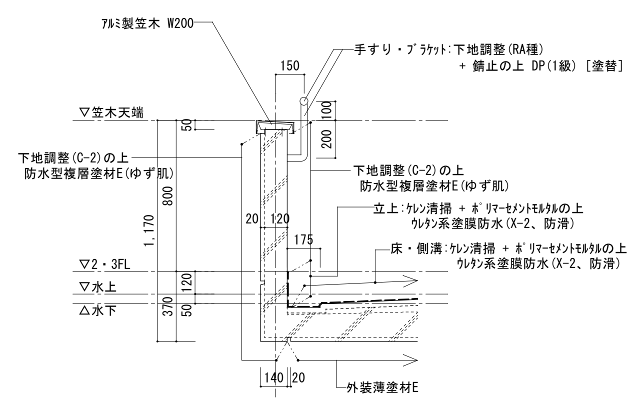


ﾄﾞﾚﾝ廻り詳細図 1/10

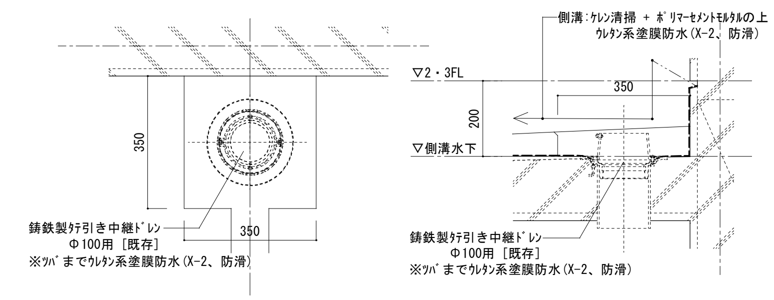
04 【改修後】ﾊﾞﾙｺﾆｰA詳細図 (北校舎1)

A1:1/50
A3:1/100





手すり壁詳細図 1/20



ﾄﾞﾚﾝ廻り詳細図 1/10

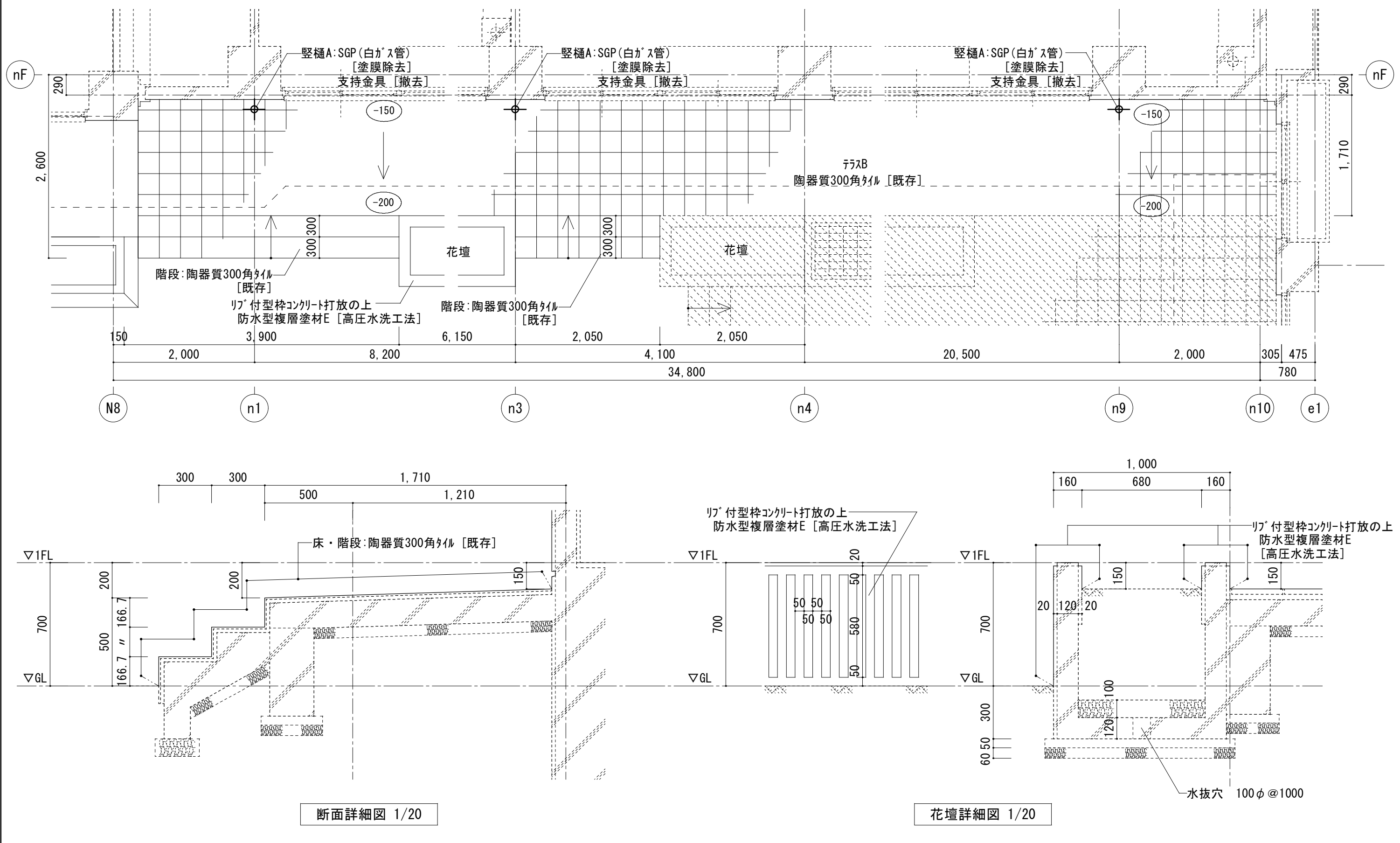
凡	例		
------------	既存のままの部分を示す		

注 記

1)ｺﾝｸﾘｰﾄ・ﾓﾙﾀﾙ・ﾀｲﾙの斫り撤去は、 ｶｯﾀｰ入れにより残置部分と縁切りのこと。

設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅰ期)			
図面名称	【改修前後】ﾃﾗｽ・ﾊﾞﾙｺﾆｰ詳細図1 (北校舎1)			
縮尺 A1:1/50 A3:1/100	年月 2024.03	設計番号	図面番号 A－064	
一級建築士事務所 株式会社 相和技術研究所 仙台事務所 宮城県知事登録 第22910116号	承認/赤沼 直幸	照査/佐々木 啓文	設計者/ 一級建築士 第284436号 赤沼 直幸	製図/ 西巻 裕太

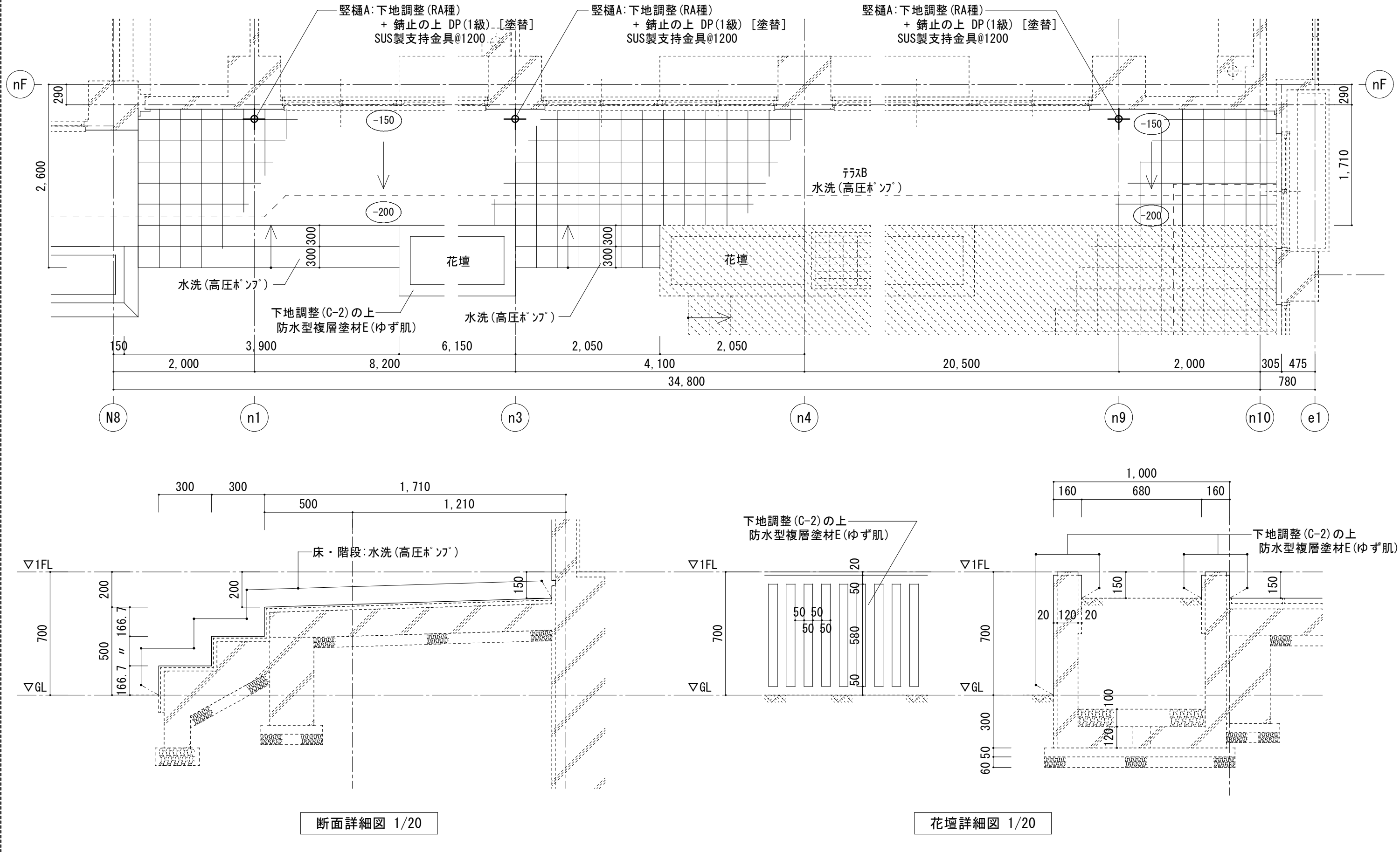
０１ 【改修前】ﾃﾗｽB詳細図（北校舎2） A1:1/50 A3:1/100



断面詳細図 1/20

花壇詳細図 1/20

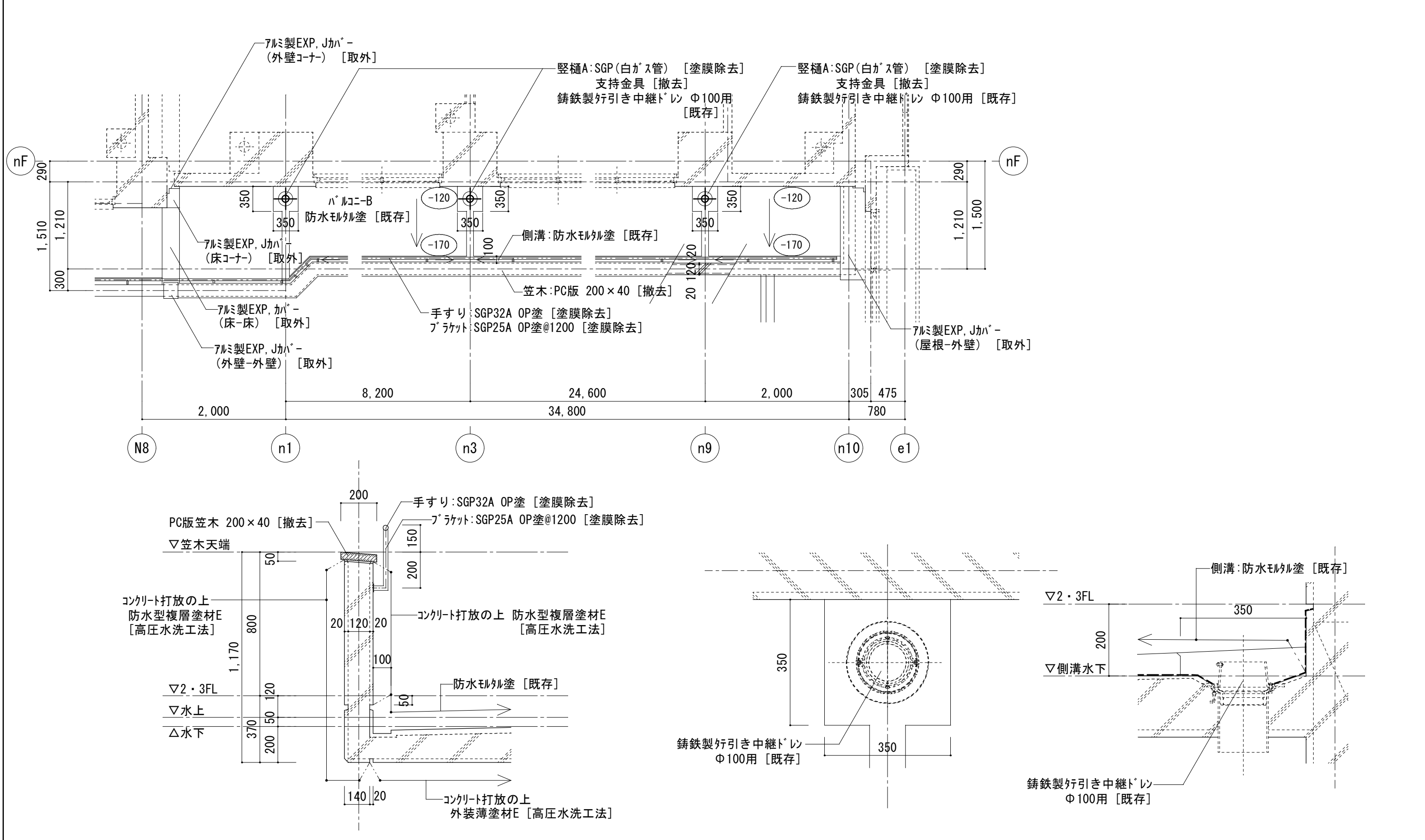
０２ 【改修後】ﾃﾗｽB詳細図（北校舎2） A1:1/50 A3:1/100



断面詳細図 1/20

花壇詳細図 1/20

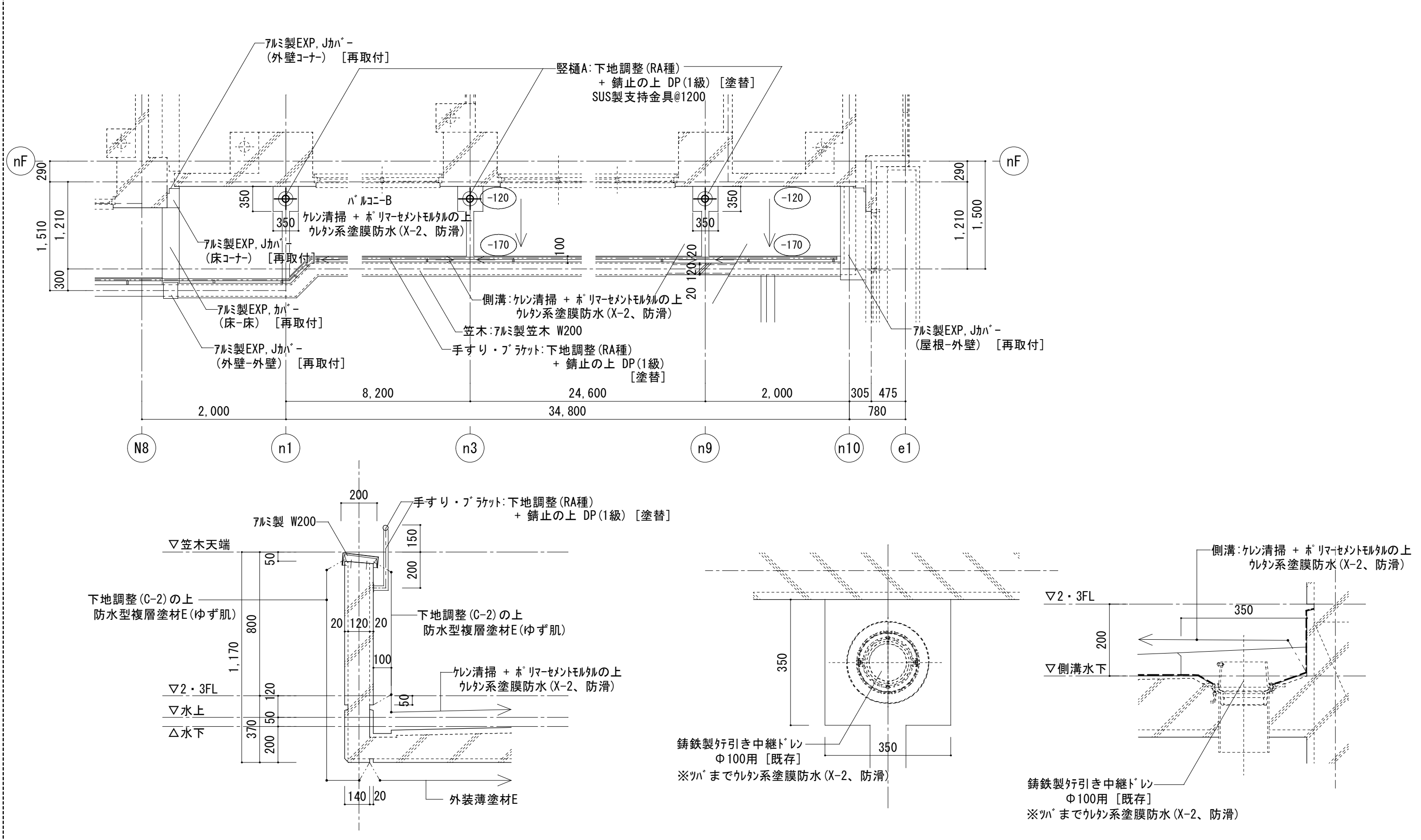
０３ 【改修前】ﾊﾞﾙｺﾆｰB詳細図（北校舎2） A1:1/50 A3:1/100



手すり壁詳細図 1/20

ﾄﾞﾚﾝ廻り詳細図 1/10

０４ 【改修後】ﾊﾞﾙｺﾆｰB詳細図（北校舎2） A1:1/50 A3:1/100



手すり壁詳細図 1/20

ﾄﾞﾚﾝ廻り詳細図 1/10

凡例	
------------	既存のままの部分を示す

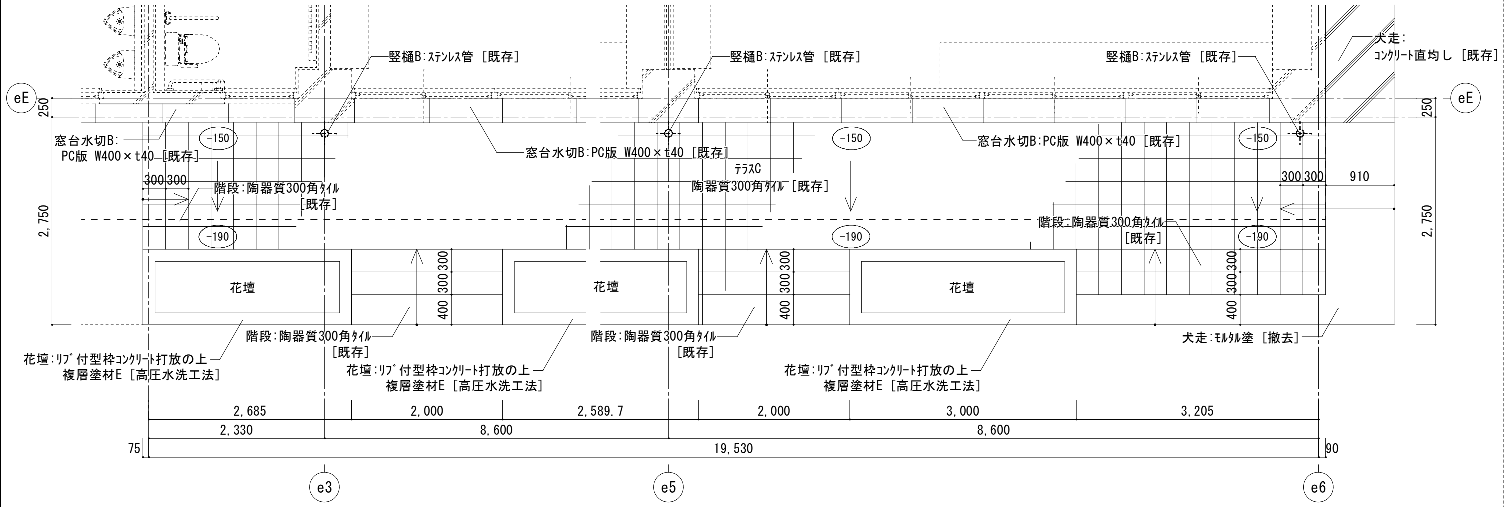
注記

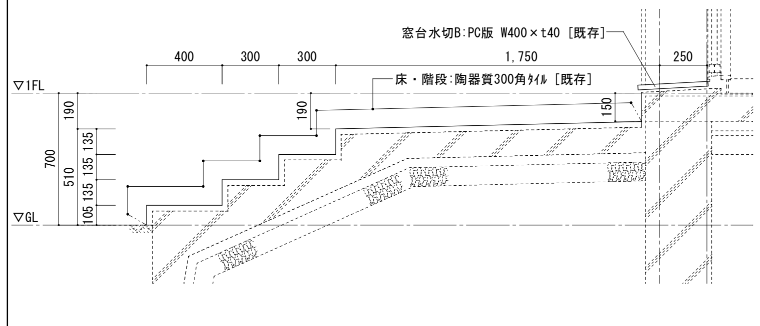
1)ｺﾝｸﾘｰﾄ・ﾓﾙﾀﾙ・ﾀｲﾙの斫り撤去は、ｶｯﾀｰ入れにより残置部分と縁切りのこと。

設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ｉ期)		
図面名称	【改修前後】ﾃﾗｽ・ﾊﾞﾙｺﾆｰ詳細図2（北校舎2）		
縮尺 A1:1/50 A3:1/100	年月 2024.03	設計番号	図面番号 A－065
SOWA 一級建築士事務所 株式会社 相和技術研究所 仙台事務所 宮城県知事登録 第22910116号	承認/赤沼 直幸 照査/佐々木 啓文	設計者/ 一級建築士 第284436号 赤沼 直幸	製図/ 西巻 裕太

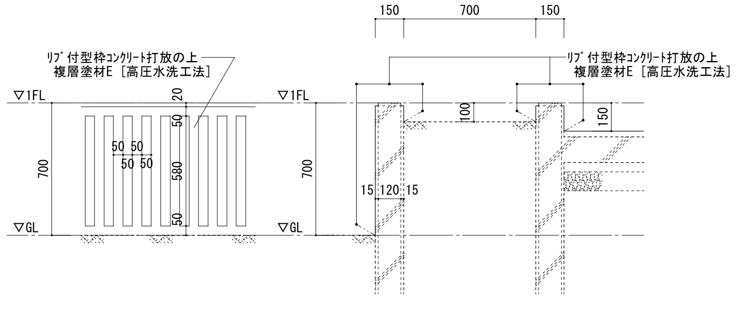
０１　【改修前】ﾃﾗｽC詳細図（東校舎）

A1:1/50
A3:1/100





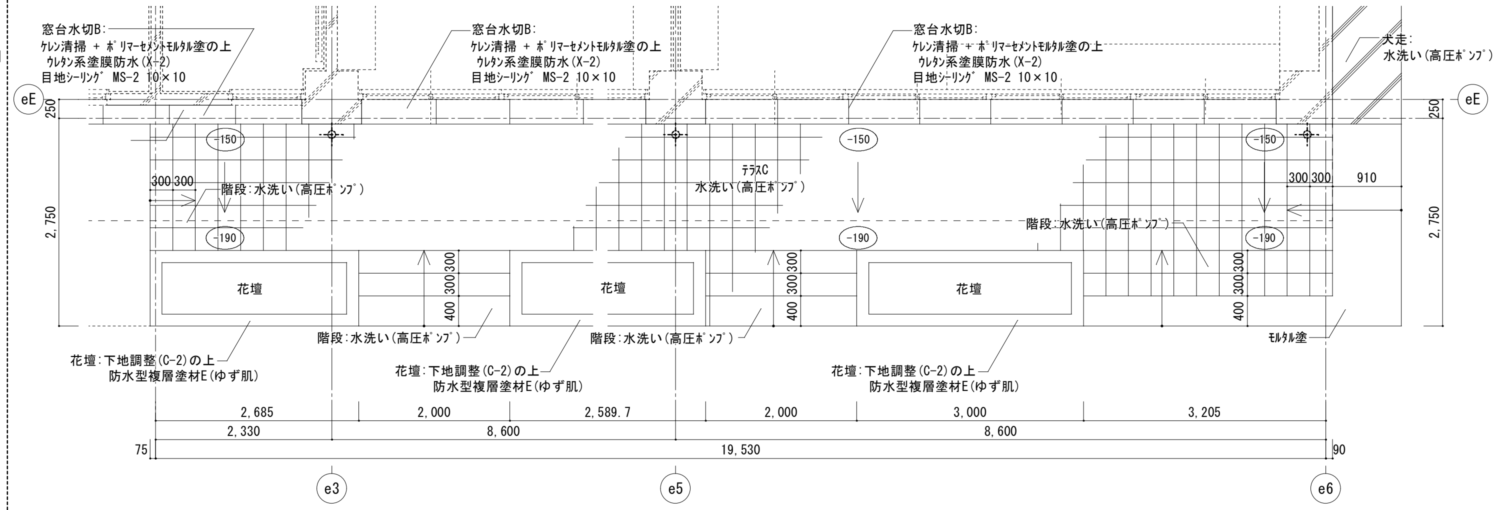
断面詳細図 1/20

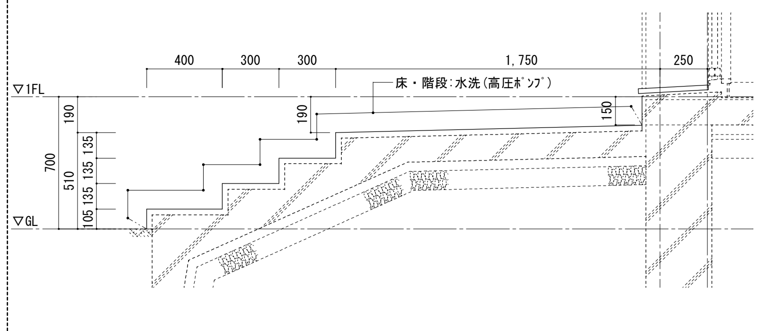


花壇詳細図 1/20

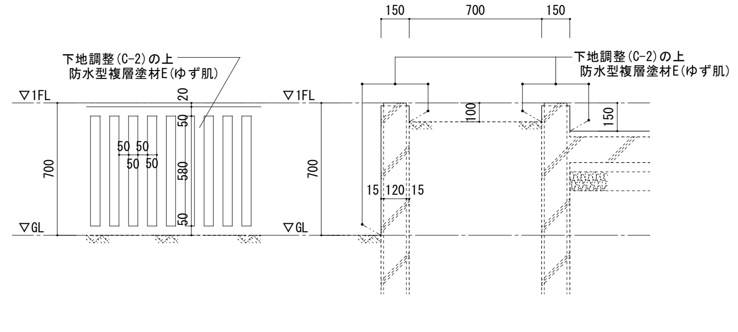
０２　【改修後】ﾃﾗｽC詳細図（東校舎）

A1:1/50
A3:1/100





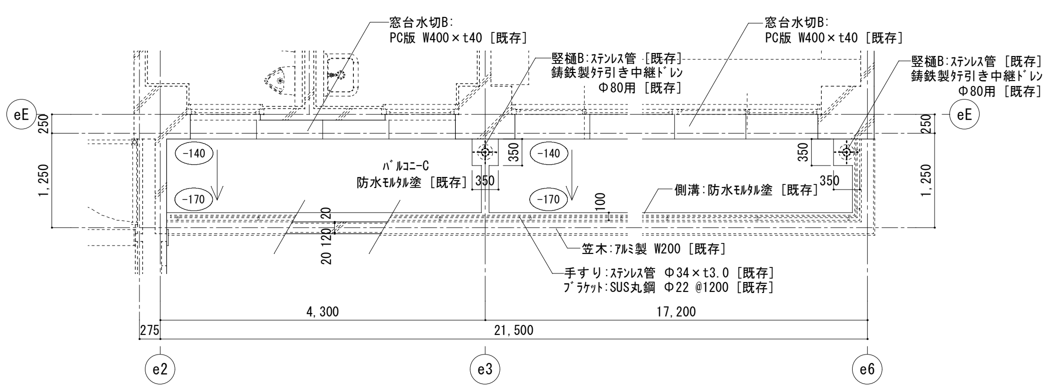
断面詳細図 1/20

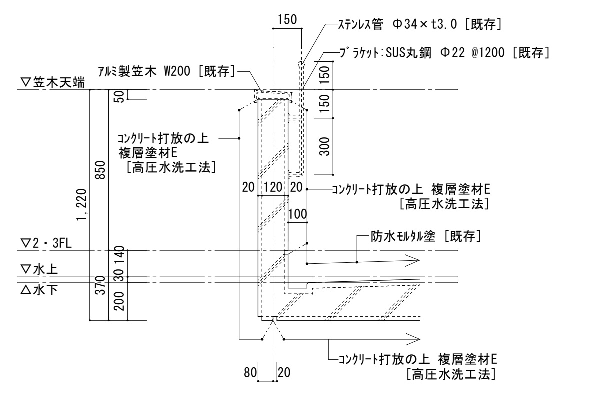


花壇詳細図 1/20

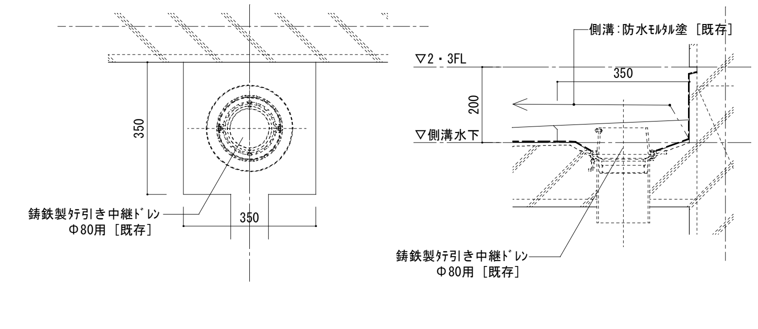
０３　【改修前】ﾊﾞﾙｺﾆｰC詳細図（東校舎）

A1:1/50
A3:1/100





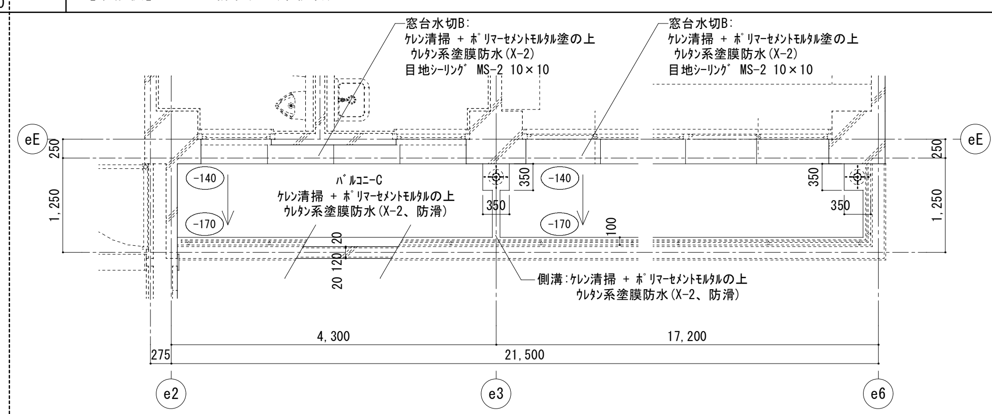
手すり壁詳細図 1/20

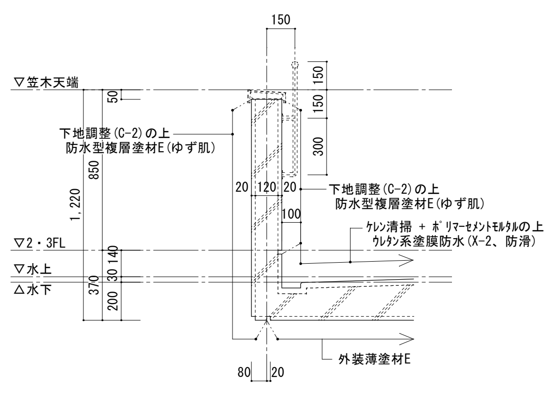


ﾄﾞﾚﾝ廻り詳細図 1/10

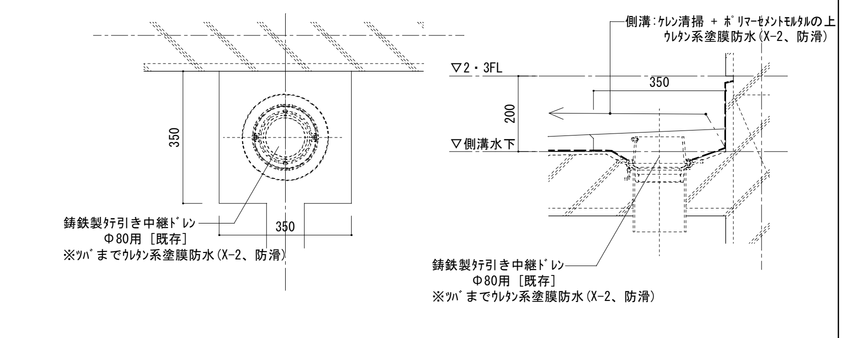
０４　【改修後】ﾊﾞﾙｺﾆｰC詳細図（東校舎）

A1:1/50
A3:1/100





手すり壁詳細図 1/20



ﾄﾞﾚﾝ廻り詳細図 1/10

凡　例

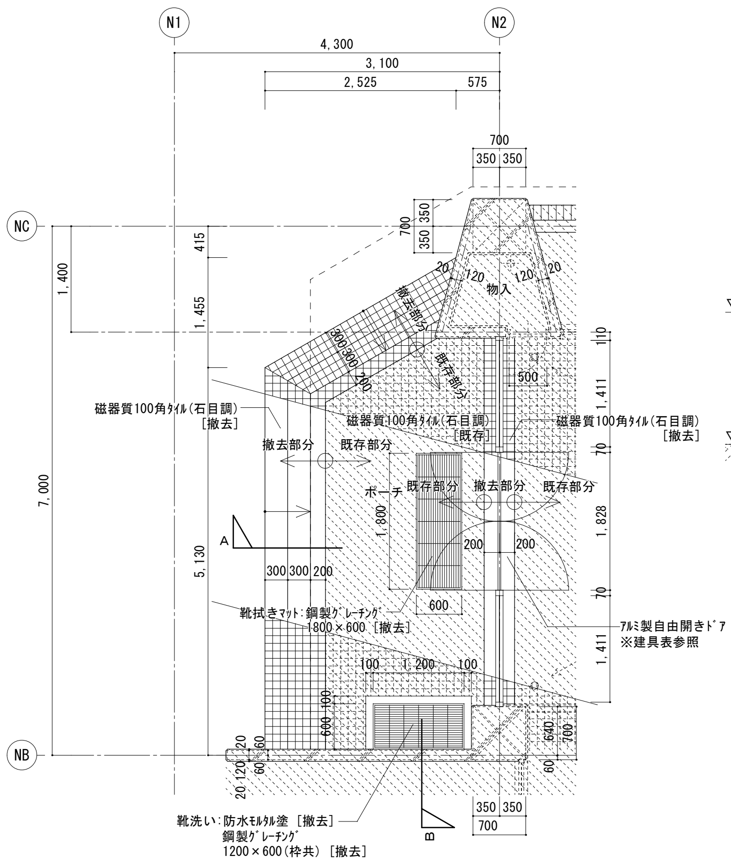
------------	既存のままの部分を示す

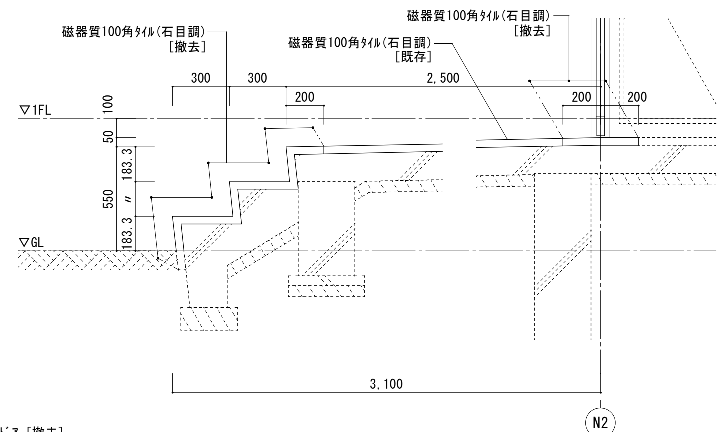
注　記

1)ｺﾝｸﾘｰﾄ・ﾓﾙﾀﾙ・ﾀｲﾙの斫り撤去は、ｶｯﾀｰ入れにより残置部分と縁切りのこと。

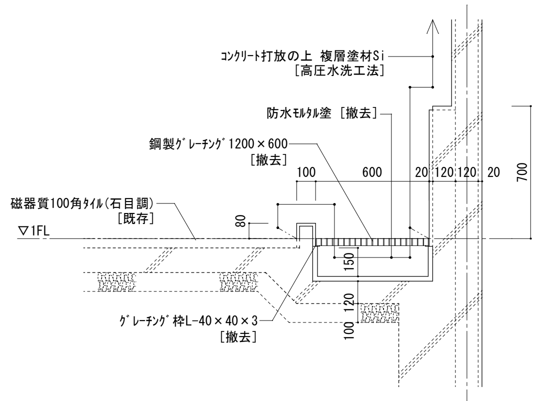
設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅰ期)				
図面名称	【改修前後】ﾃﾗｽ・ﾊﾞﾙｺﾆｰ詳細図3（東校舎）				
縮　尺	A1:1/50 A3:1/100	年　月 2024.03	設計番号	図面番号 A－066	
SOWA 一級建築士事務所 株式会社 相和技術研究所 仙台事務所 宮城県知事登録 第22910116号		承認/赤沼 直幸 照査/佐々木 啓文	設計者/ 一級建築士 第284436号 赤沼 直幸		製図/ 西巻 裕太

０１	【改修前】ﾎﾟｰﾁA 詳細図（北校舎1）	A1:1/50 A3:1/100

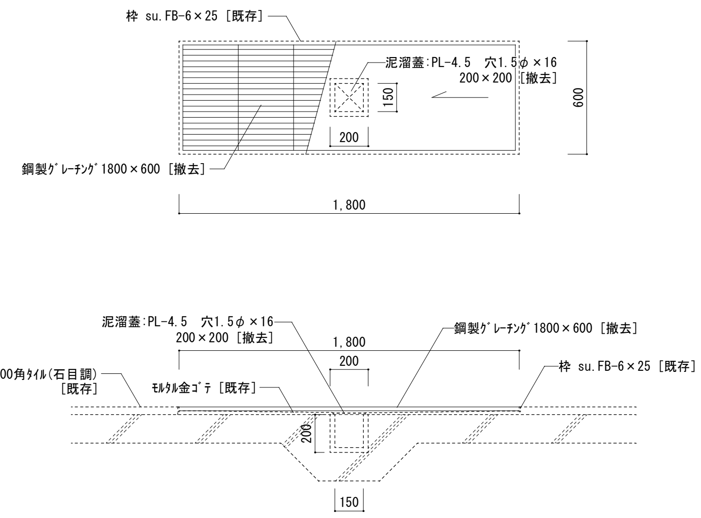




A断面詳細図 1/20

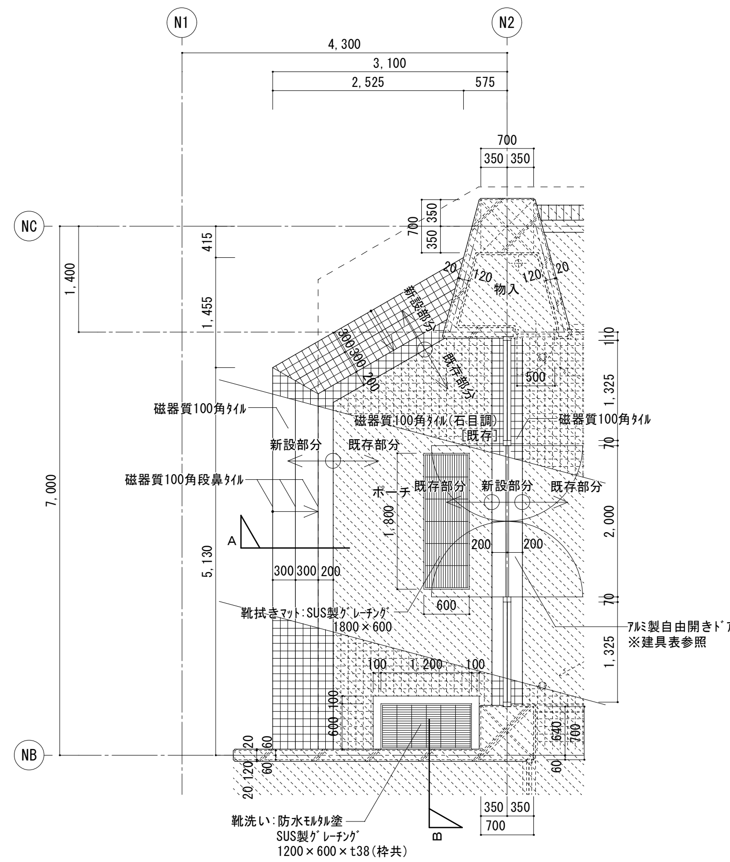


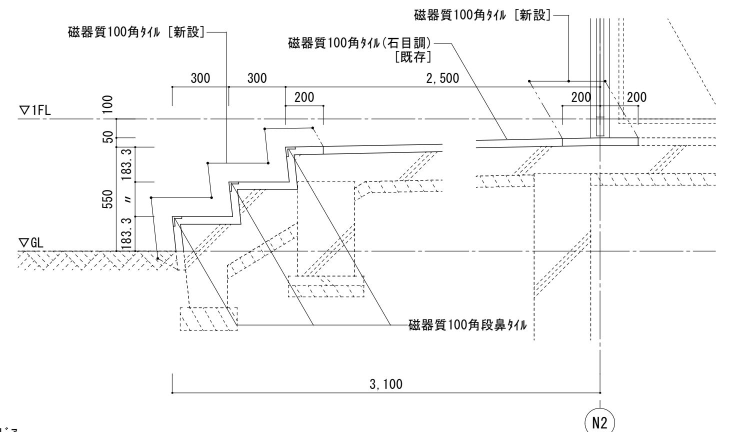
B断面詳細図 1/20



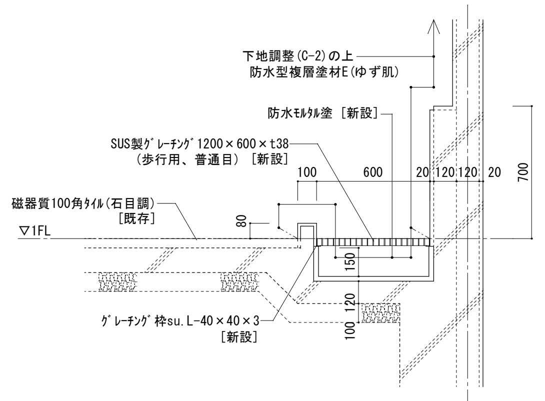
靴拭きﾏｯﾄ詳細図 1/20

０２	【改修後】ﾎﾟｰﾁA 詳細図（北校舎1）	A1:1/50 A3:1/100

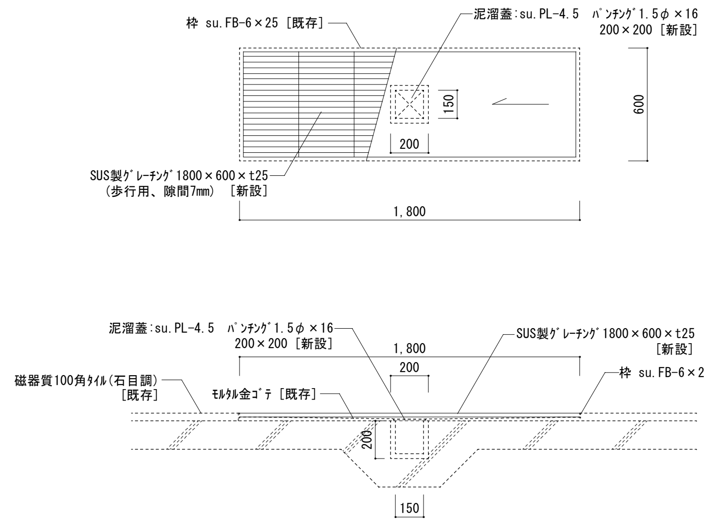




A断面詳細図 1/20



B断面詳細図 1/20



靴拭きﾏｯﾄ詳細図 1/20

凡 例	
(斜線)	改修範囲外の部分を示す
(破線)	既存のままの部分を示す

注 記

1)ｺﾝｸﾘｰﾄ・ﾓﾙﾀﾙ・ﾀｲﾙの斫り撤去は、ｶｯﾀｰ入れにより残置部分と縁切りのこと。

設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事（第Ⅰ期）
図面名称	【改修前後】ﾎﾟｰﾁA詳細図（北校舎1）
縮尺	A1:1/50 A3:1/100
年月	2024.03
設計番号	
図面番号	Ａ－067
承認	赤沼 直幸
照査	佐々木 啓文
設計者	一級建築士 第284436号 赤沼 直幸
製図	西巻 裕太

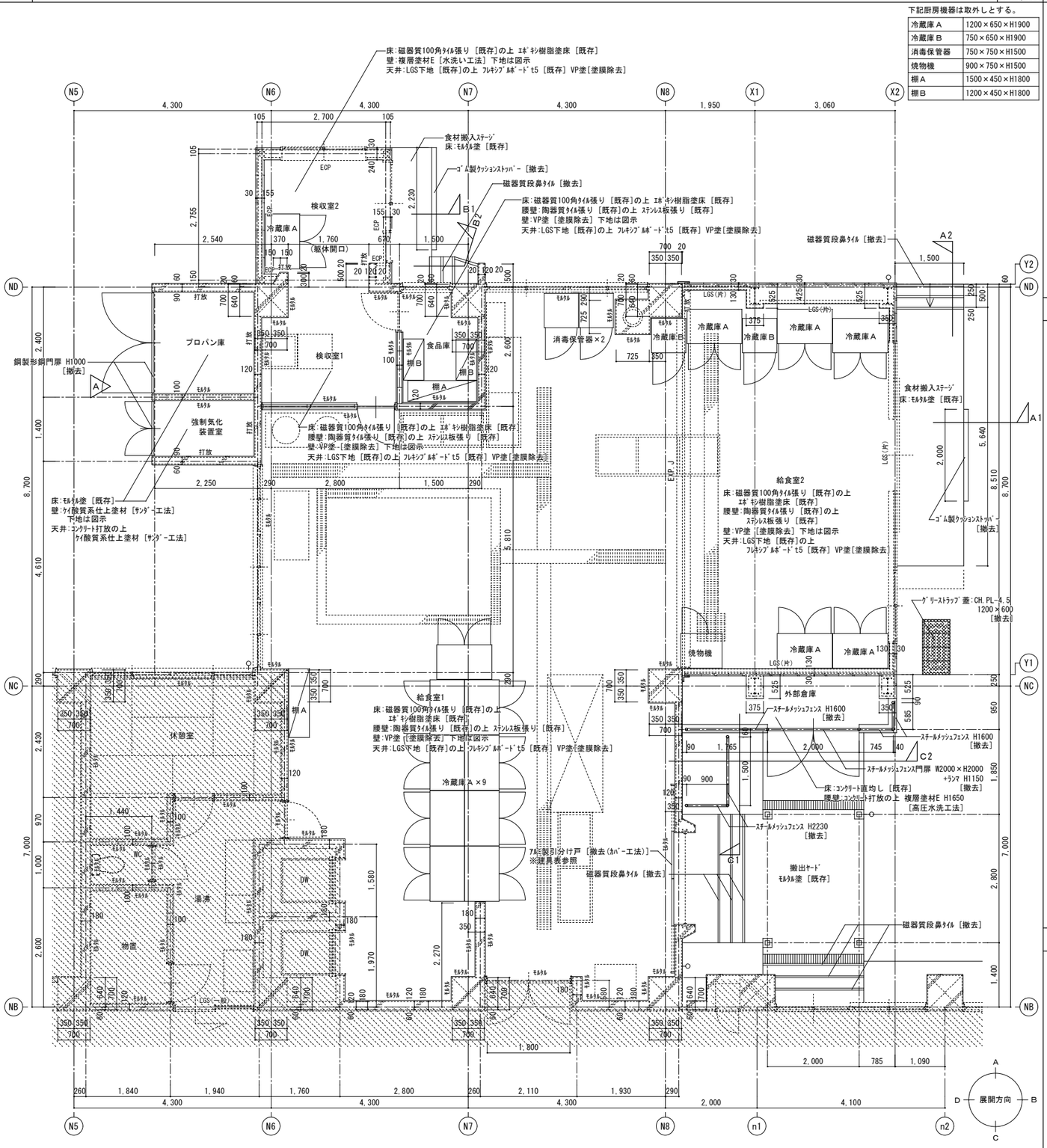
SOWA 一級建築士事務所 株式会社 相和技術研究所 仙台事務所 宮城県知事登録 第22910116号

01 【改修前】給食室平面詳細図（給食室1・2・3）

A1:1/50
A3:1/100

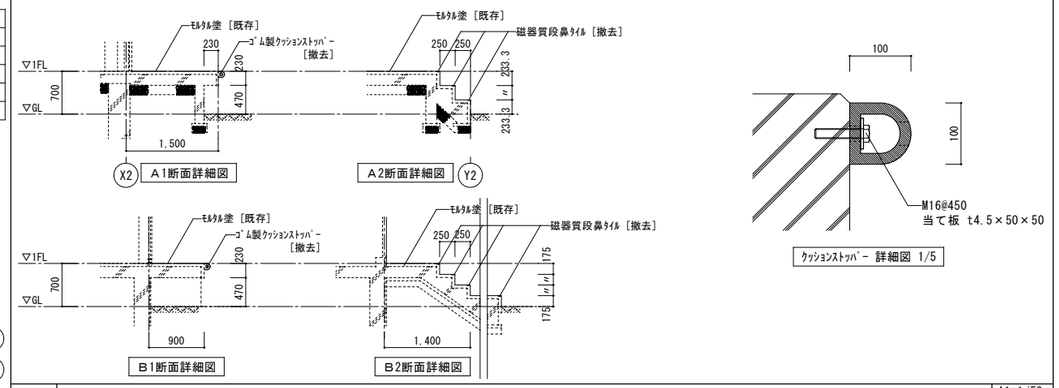
下記厨房機器は取外しとする。

冷蔵庫Ａ	1200×650×H1900
冷蔵庫Ｂ	750×650×H1900
消毒保管器	750×750×H1500
焼物機	900×750×H1500
棚Ａ	1500×450×H1800
棚Ｂ	1200×450×H1800



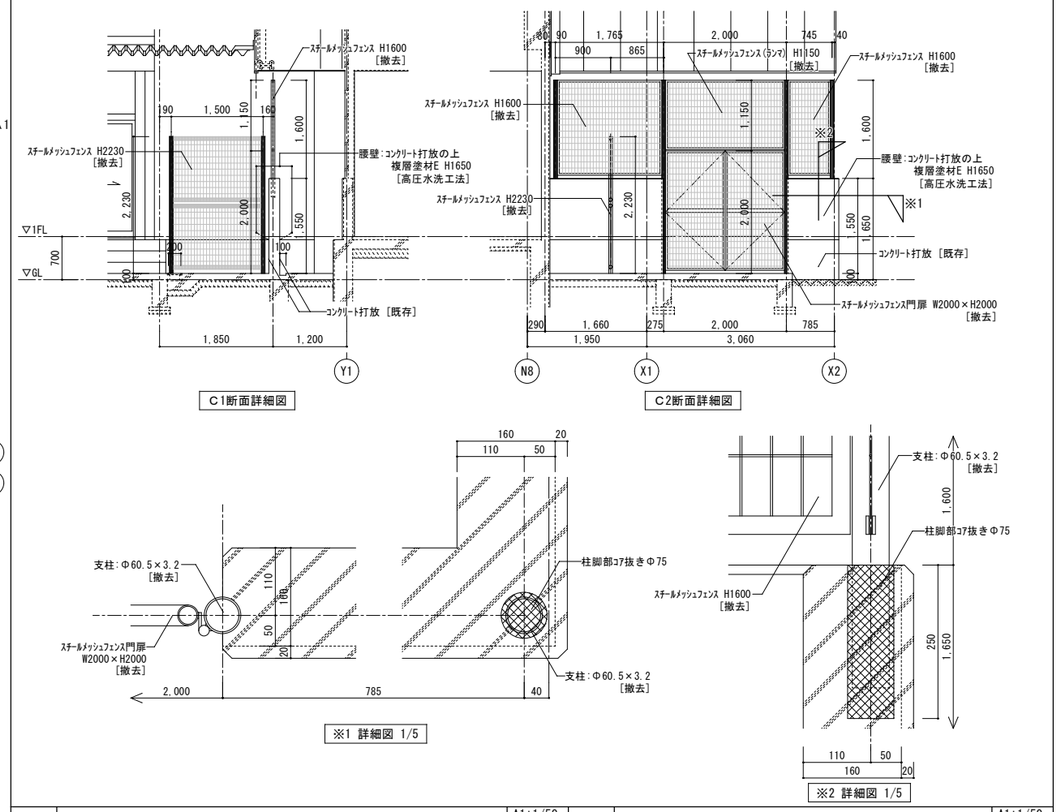
02 【改修前】食材搬入ｽﾃｰｼﾞ詳細図

A1:1/50
A3:1/100



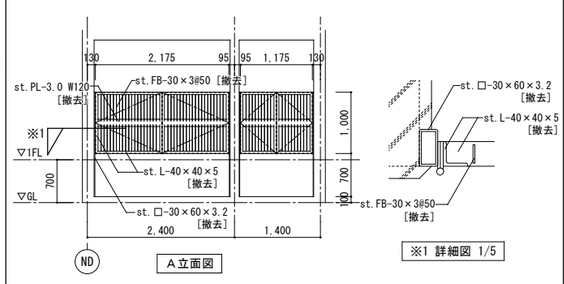
03 【改修前】外部倉庫ﾌｪﾝｽ詳細図

A1:1/50
A3:1/100



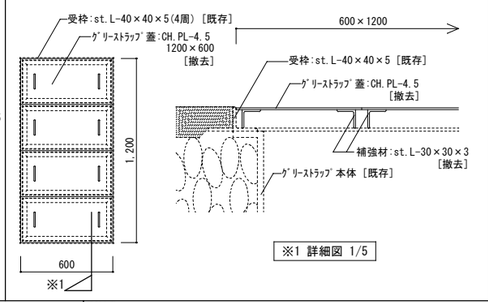
04 【改修前】ﾌﾞﾛﾊﾟﾝ庫・強制気化装置室 門扉詳細図

A1:1/50
A3:1/100



05 【改修前】ｸﾞﾘｰｽﾄﾗｯﾌﾟ詳細図

A1:1/50
A3:1/100



凡例	
改修範囲外の部分を示す	
既存のままの部分を示す	

注記

1)ｺﾝｸﾘｰﾄ・ﾓﾙﾀﾙ・ﾀｲﾙの斫り撤去は、ｶｯﾀｰ入れにより残置部分と縁切りのこと。

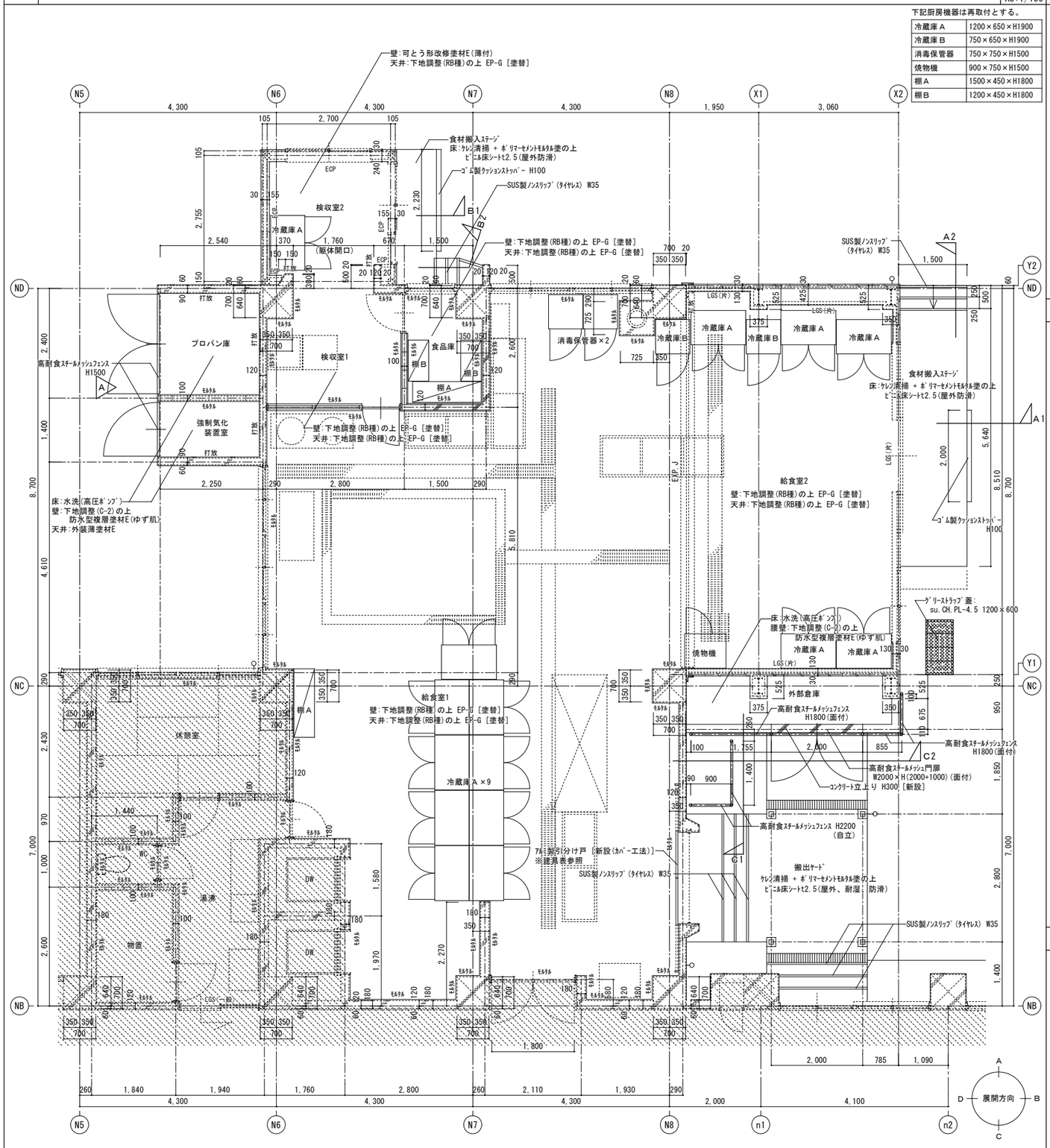
設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事（第Ｉ期）		
図面名称	【改修前】給食室詳細図（給食室1・2・3）		
縮尺	A1:1/50 A3:1/100	年月 2024.03	設計番号 / 図面番号 A－068
一級建築士事務所 宮城県知事登録 第22910116号	株式会社 相和技術研究所	承認/赤沼 直幸	設計者/ 一級建築士 第284436号 赤沼 直幸
		照査/住々木 啓文	製図/ 西巻 裕太

01 【改修後】給食室平面詳細図（給食室1・2・3）

A1:1/50
A3:1/100

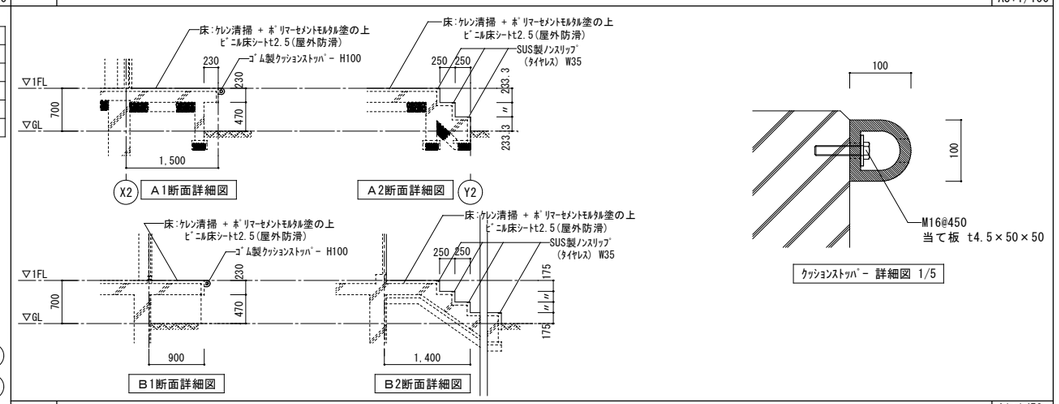
下記厨房機器は再取付とする。

冷蔵庫 A	1200×650×H1900
冷蔵庫 B	750×650×H1900
消毒保管器	750×750×H1500
焼物機	900×750×H1500
棚 A	1500×450×H1800
棚 B	1200×450×H1800



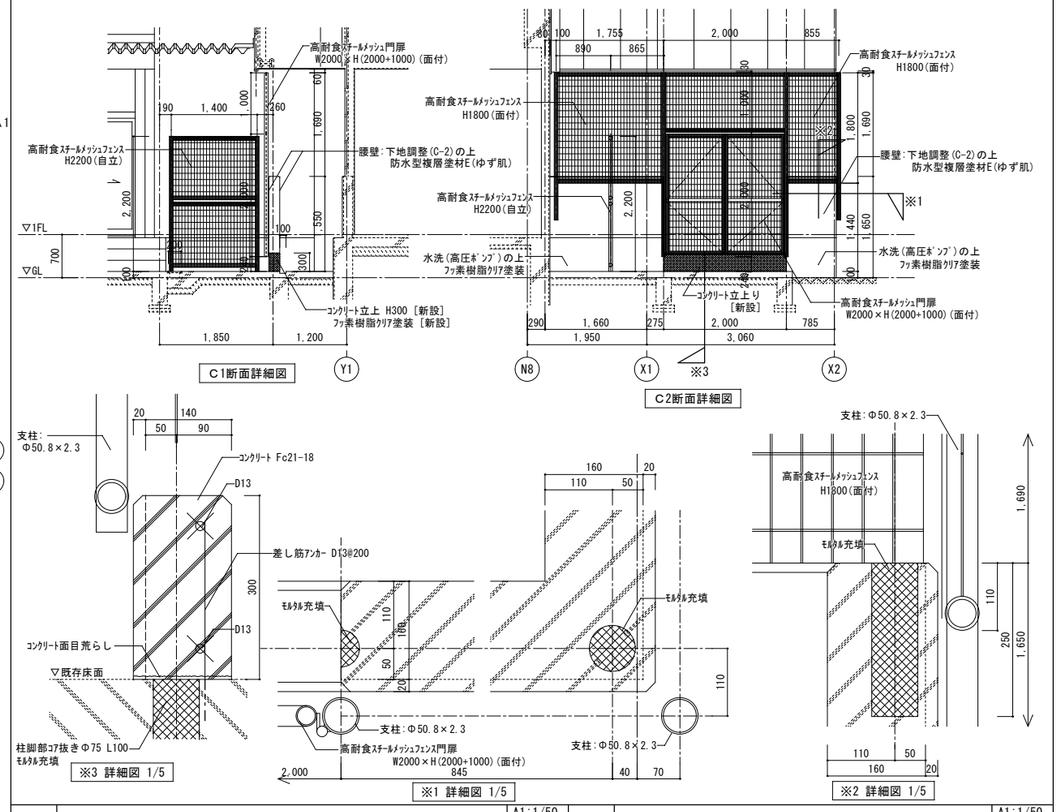
02 【改修後】食材搬入ｽﾃｰｼﾞ詳細図

A1:1/50
A3:1/100



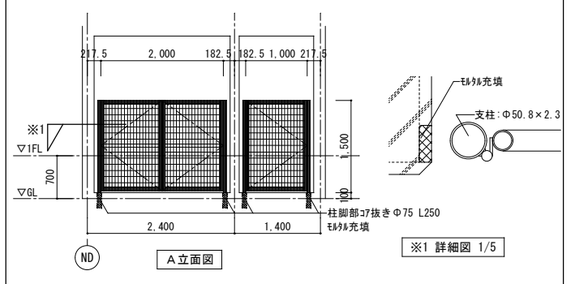
03 【改修後】外部倉庫ﾌｪﾝｽ詳細図

A1:1/50
A3:1/100



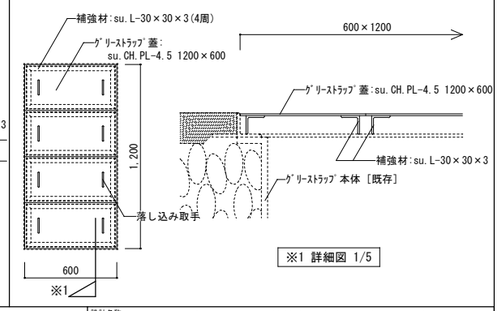
04 【改修後】ﾌﾟﾛﾊﾟﾝ庫・強制気化装置室 門扉詳細図

A1:1/50
A3:1/100



05 【改修後】ｸﾞﾘｰｽﾄﾗｯﾌﾟ詳細図

A1:1/50
A3:1/100

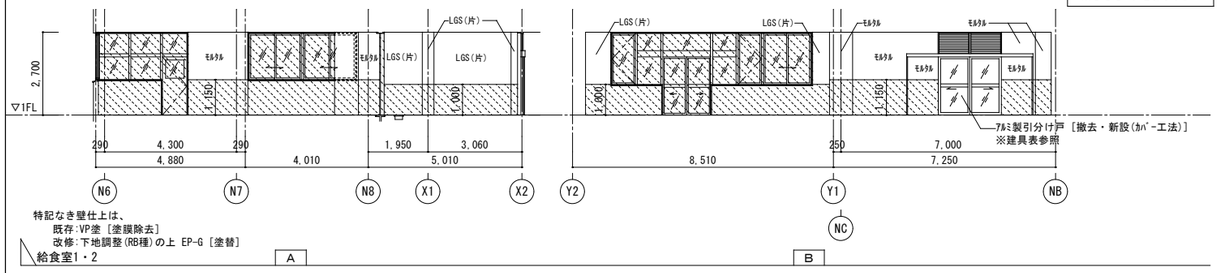


凡　例			注　記
	改修範囲外の部分を示す		
	既存のままの部分を示す		

設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ｉ期)		
図面名称	【改修後】給食室詳細図（給食室1・2・3）		
縮　尺	A1:1/50 A3:1/100	年　月 2024.03	設計番号 / 図面番号 A－069
一級建築士事務所 株式会社 相和技術研究所 宮城県知事登録 第22910116号	承認/赤沼 喜幸	設計者/一級建築士 第284436号 赤沼 喜幸	製図/西巻 裕太
	照査/佐々木 啓文		

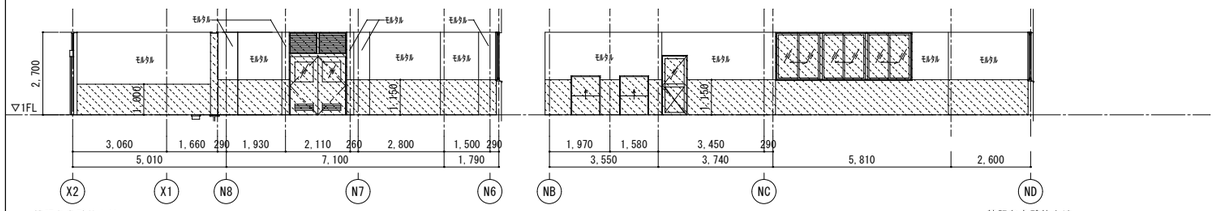
O 1	【改修前後】給食室展開図（給食室1・2・3）	A1:1/100 A3:1/200

凡例
※○○○:下地を示す。



特記なき壁仕上は、
既存:VP塗［塗膜除去］
改修:下地調整(RB種)の上 EP-G［塗替］

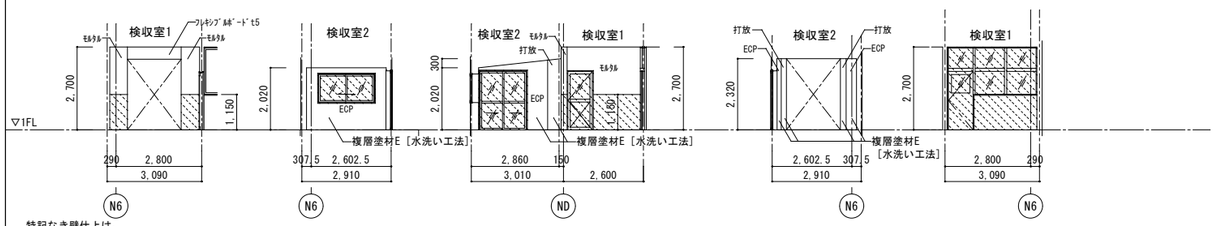
給食室1・2



特記なき壁仕上は、
既存:VP塗［塗膜除去］
改修:下地調整(RB種)の上 EP-G［塗替］

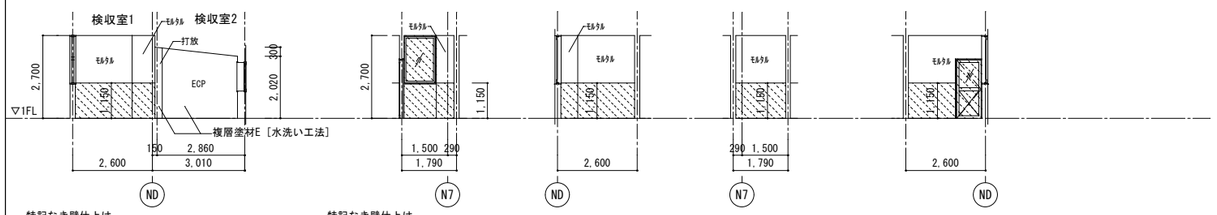
特記なき壁仕上は、
既存:VP塗［塗膜除去］
改修:下地調整(RB種)の上 EP-G［塗替］

給食室1・2



特記なき壁仕上は、
既存:VP塗［塗膜除去］
改修:下地調整(RB種)の上 EP-G［塗替］

検収室1・2

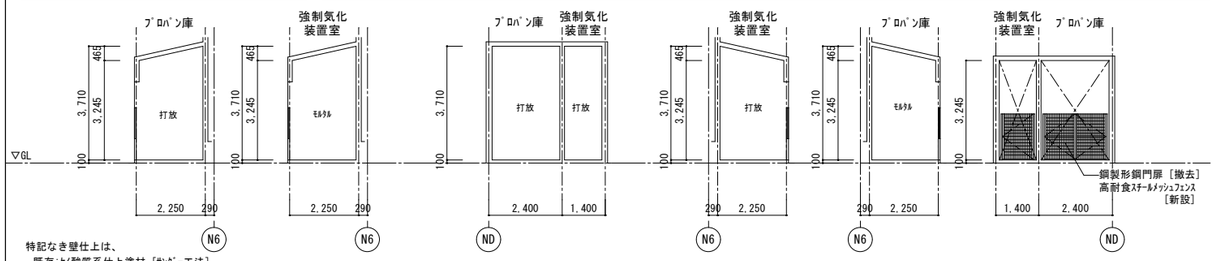


特記なき壁仕上は、
既存:VP塗［塗膜除去］
改修:下地調整(RB種)の上 EP-G［塗替］

検収室1・2

特記なき壁仕上は、
既存:VP塗［塗膜除去］
改修:下地調整(RB種)の上 EP-G［塗替］

食品庫



特記なき壁仕上は、
既存:ｹｲ酸質系仕上塗材［ﾀﾝﾀﾞｰ工法］
改修:下地調整(C-2)の上 防水型複層塗材E(ゆず肌)

ﾌﾟﾛﾊﾟﾝ庫
・強制気化装置室

A1 A2 B C1 C2 D

ﾌﾟﾛﾊﾟﾝ庫
・強制気化装置室

凡　例			
	改修範囲外の部分を示す		

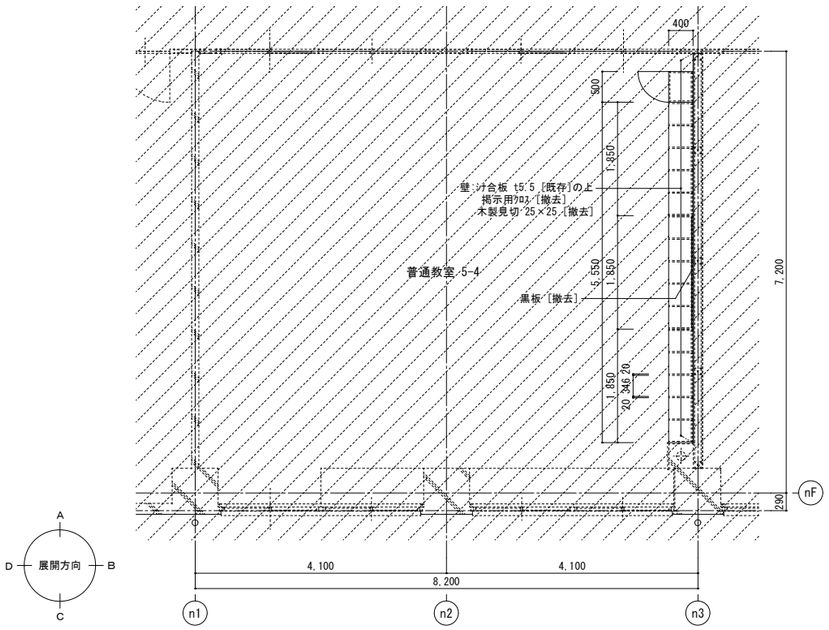
注　記

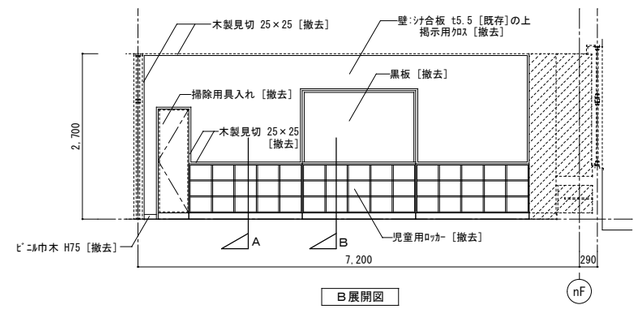
1)ｺﾝｸﾘｰﾄ・ﾓﾙﾀﾙ・ﾀｲﾙの斫り撤去は、 ｶｯﾀｰ入れにより残置部分と縁切りのこと。

設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅰ期)				
図面名称	【改修前後】給食室展開図（給食室1・2・3）				
縮　尺	A1:1/100 A3:1/200	年　月 2024.03	設計番号	図面番号 A －070	
SOWA 一般建築士事務所 株式会社 相和技術研究所 宮城県知事登録 第22910116号		承認/赤沼 直幸	設計者/一級建築士 第284436号 赤沼 直幸	製図/西巻 裕太	
		照査/佐々木 啓文			

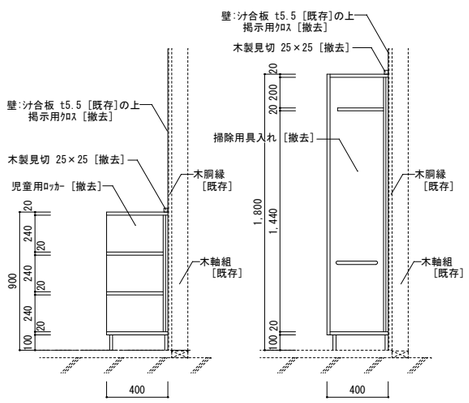
O１ 【改修前】ﾛｯｶｰ改修詳細図（北校舎2）

A1:1/50
A3:1/100





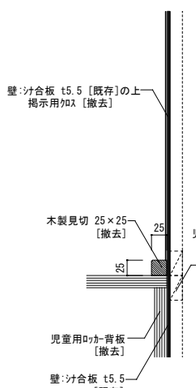
B展開図



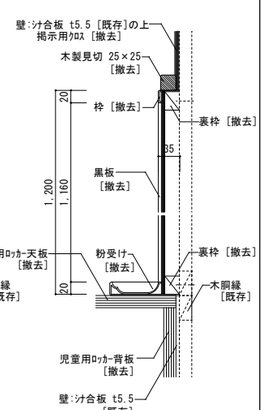
※児童用ﾛｯｶｰ・掃除用具入れの主材は全て、
ﾒﾗﾐﾝ化粧ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞt20とする

児童用ﾛｯｶｰ 断面詳細 1/20

掃除用具入れ 断面詳細 1/20



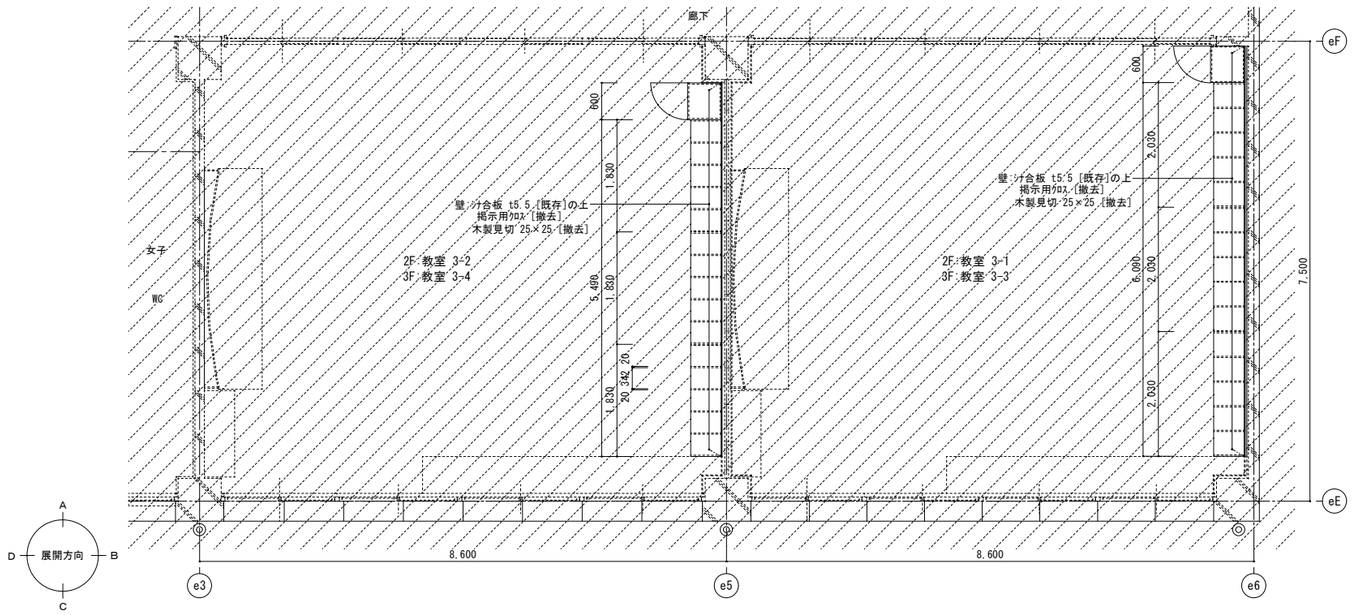
A断面詳細 1/5

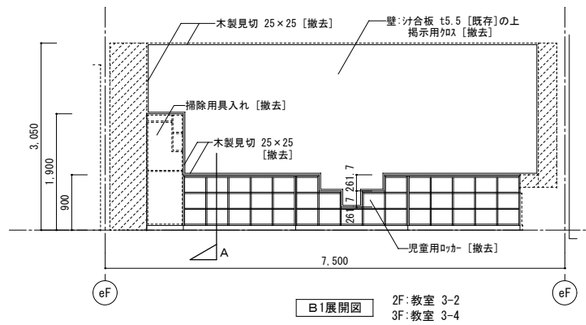


B断面詳細 1/5

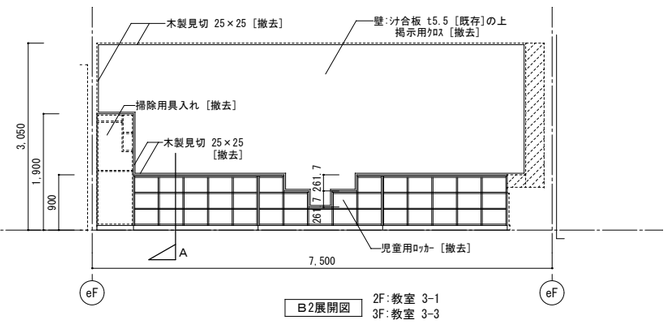
O２ 【改修前】ﾛｯｶｰ改修詳細図（東校舎）

A1:1/50
A3:1/100

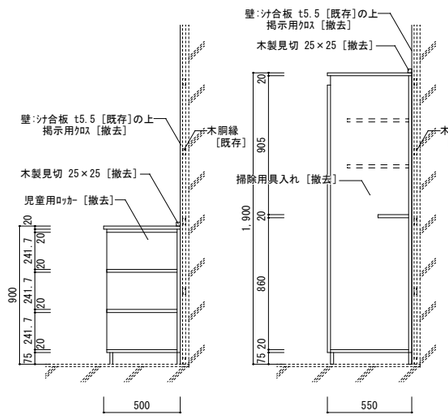




B1展開図　2F:教室 3-2
3F:教室 3-4



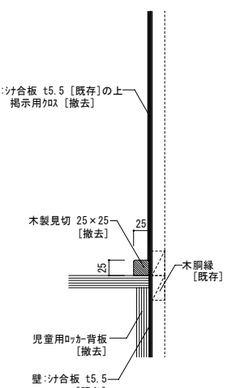
B2展開図　2F:教室 3-1
3F:教室 3-3



※児童用ﾛｯｶｰ・掃除用具入れの主材は全て、
ﾒﾗﾐﾝ化粧ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞt20とする

児童用ﾛｯｶｰ 断面詳細 1/20

掃除用具入れ 断面詳細 1/20



A断面詳細 1/5

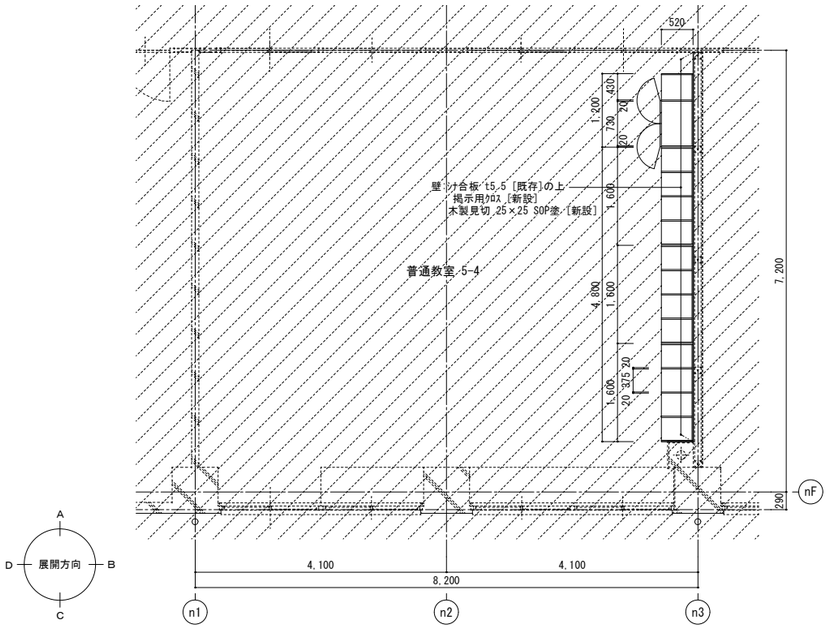
凡　例			注　記
▨	改修範囲外の部分を示す		
----------	既存のままの部分を示す		

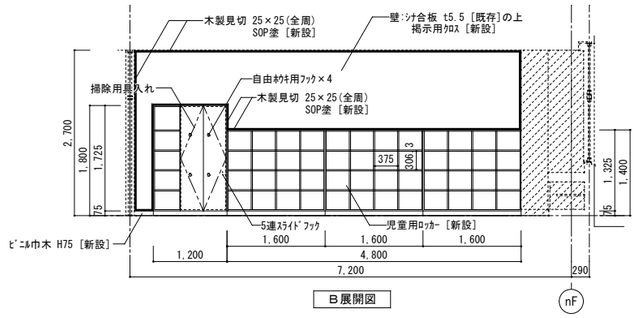
設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ｉ期)
図面名称	【改修前】ﾛｯｶｰ改修詳細図（北校舎2・東校舎）
縮　尺	A1:1/50 A3:1/100
年　月	2024.03
設計番号	
図面番号	A－071
承認/赤沼 直幸	
照査/佐々木 啓文	
設計者/一級建築士 第284436号 赤沼 直幸	
製図/西巻 裕太	

SOWA 宮城県知事登録 第22910116号
一級建築士事務所 株式会社 相和技術研究所

O１ 【改修後】ﾛｯｶｰ改修詳細図（北校舎2）

A1:1/50
A3:1/100

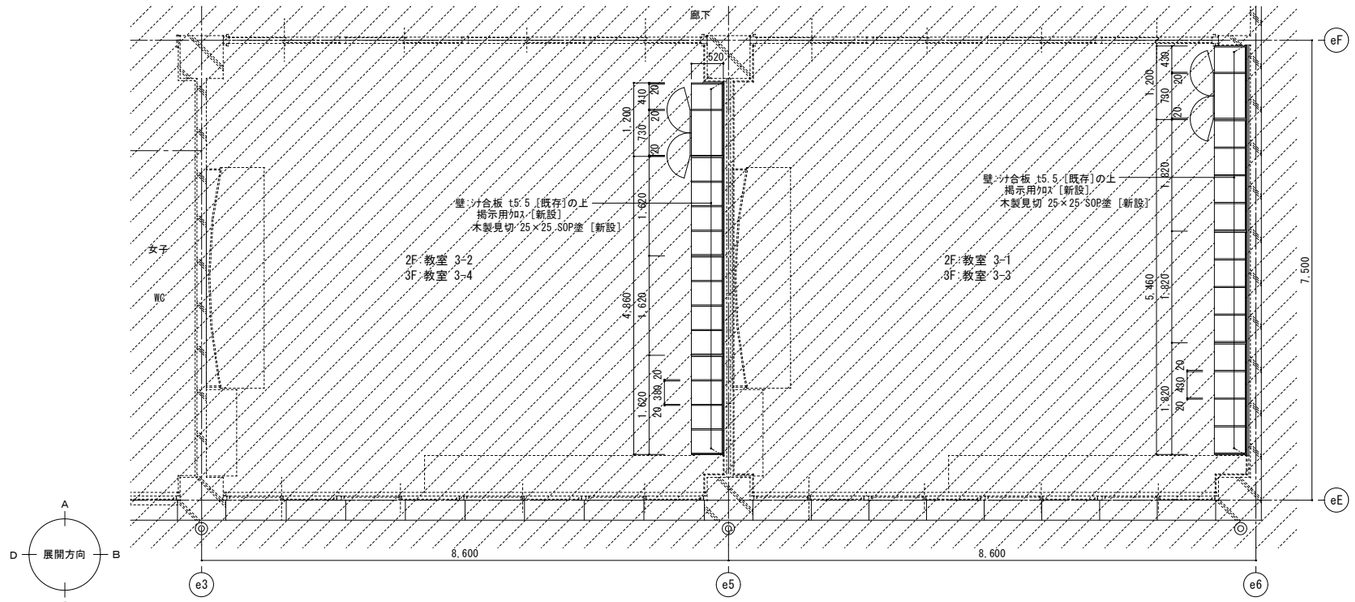


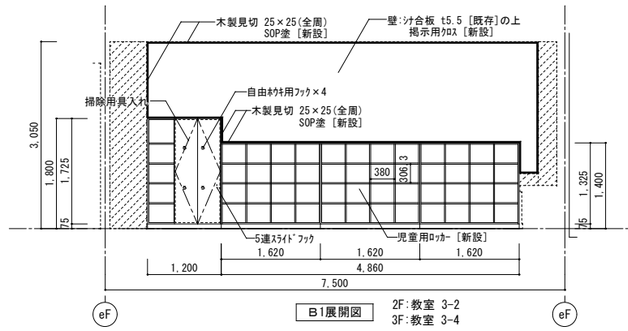


B展開図

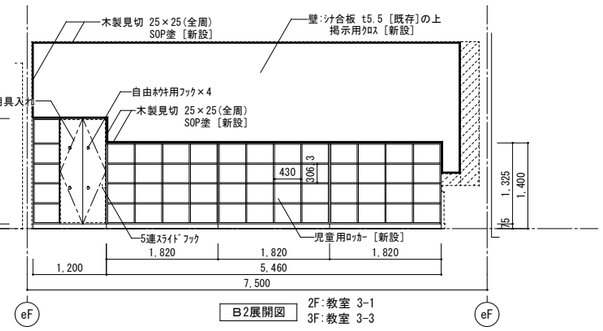
O２ 【改修後】ﾛｯｶｰ改修詳細図（東校舎）

A1:1/50
A3:1/100





B1展開図　2F:教室 3-2　3F:教室 3-4

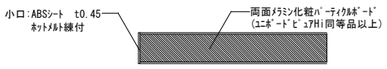


B2展開図　2F:教室 3-1　3F:教室 3-3

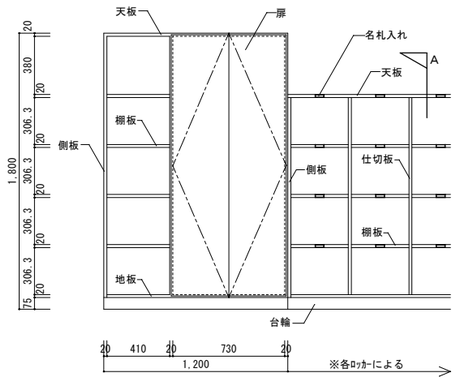
O１ 児童用ﾛｯｶｰ・掃除用具入れ 詳細図

A1:1/20
A3:1/40

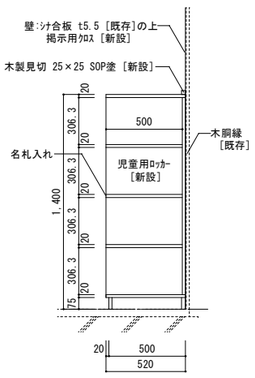
仕様表（特記無き部材は下表による）	
天板	両面ﾒﾗﾐﾝ化粧ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ t20
側板・仕切板 ・背板・棚板・地板	両面ﾒﾗﾐﾝ化粧ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ t20
扉	両面ﾒﾗﾐﾝ化粧ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ t20
台輪	ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ化粧合板t4張り（基材含めt20）
金物 付属品	ｽﾗｲﾄﾞ丁番（ｿﾌﾄｸﾛｰｽﾞ、170°開き）、SUS製取手、 自由ﾎｳｷ用鋼製ﾌｯｸ×4、樹脂製自在ｽﾗｲﾄﾞ5連ﾌｯｸ、名札入れ×48



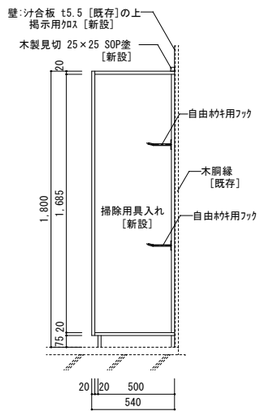
面材端部詳細



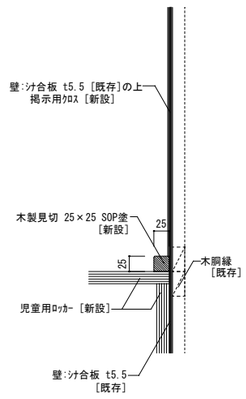
正面図



児童用ﾛｯｶｰ 断面詳細



掃除用具入れ 断面詳細



A断面詳細 1/5

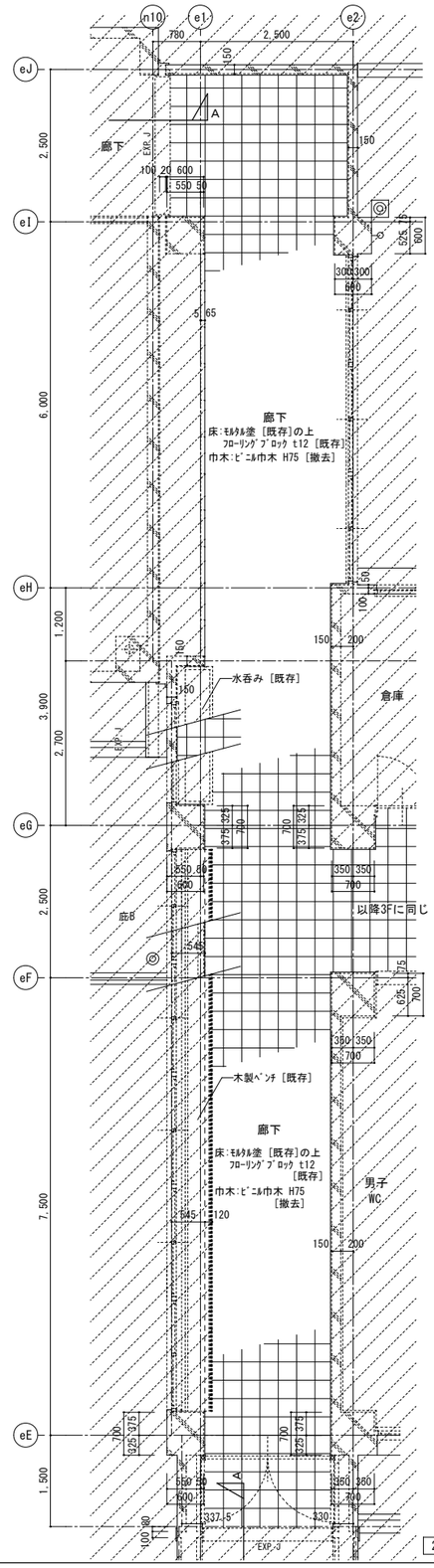
凡　例			
	改修範囲外の部分を示す		
----------	既存のままの部分を示す		

注　記

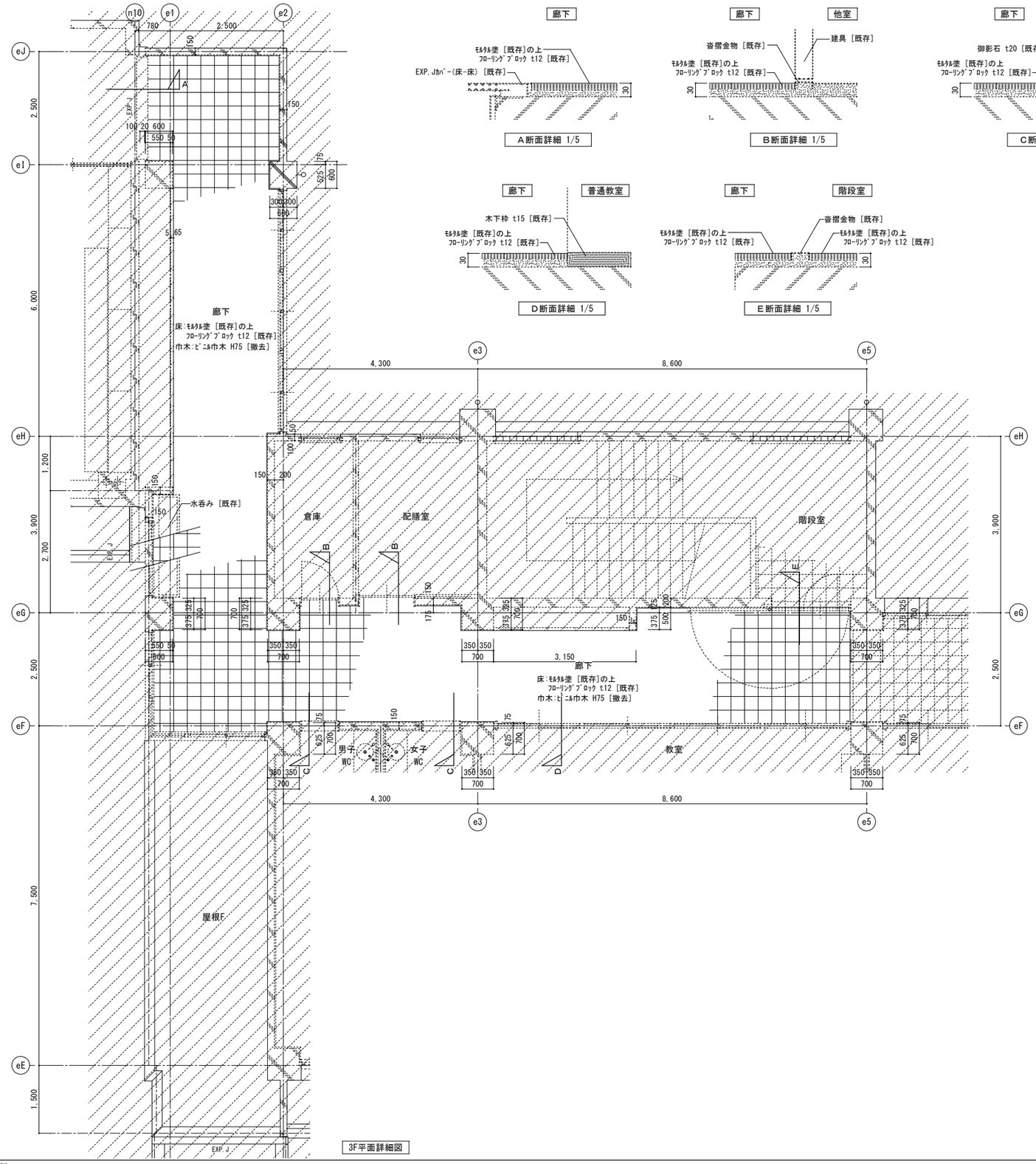
設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事（第Ｉ期）
図面名称	【改修後】ﾛｯｶｰ改修詳細図（北校舎2・東校舎）
縮　尺	A1:1/50 A3:1/100
年　月	2024.03
設計番号	
図面番号	A－072
承認/赤沼 直幸	
設計者/一級建築士 第284436号 赤沼 直幸	
製図/西巻 裕太	
審査/佐々木 啓文	

SOWA 一級建築士事務所 株式会社 相和技術研究所 宮城県知事登録 第22910116号

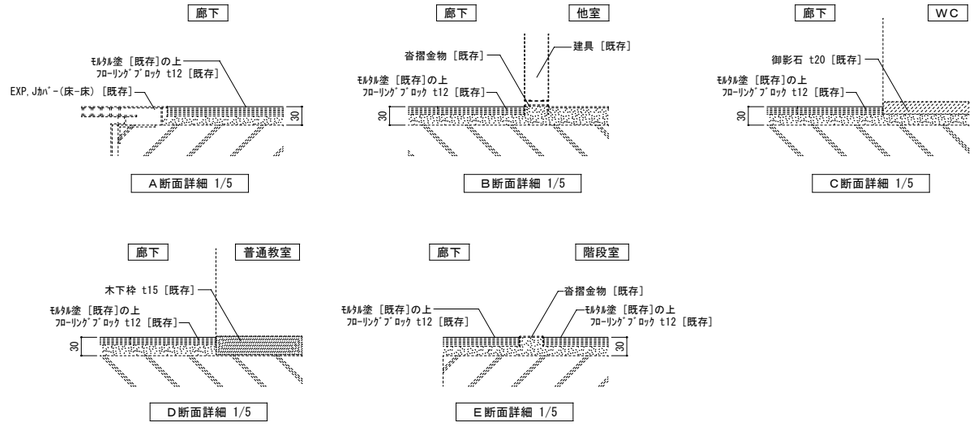
O 1	【改修前】廊下床改修詳細図（東校舎）	A1:1/50 A3:1/100



2F平面詳細図



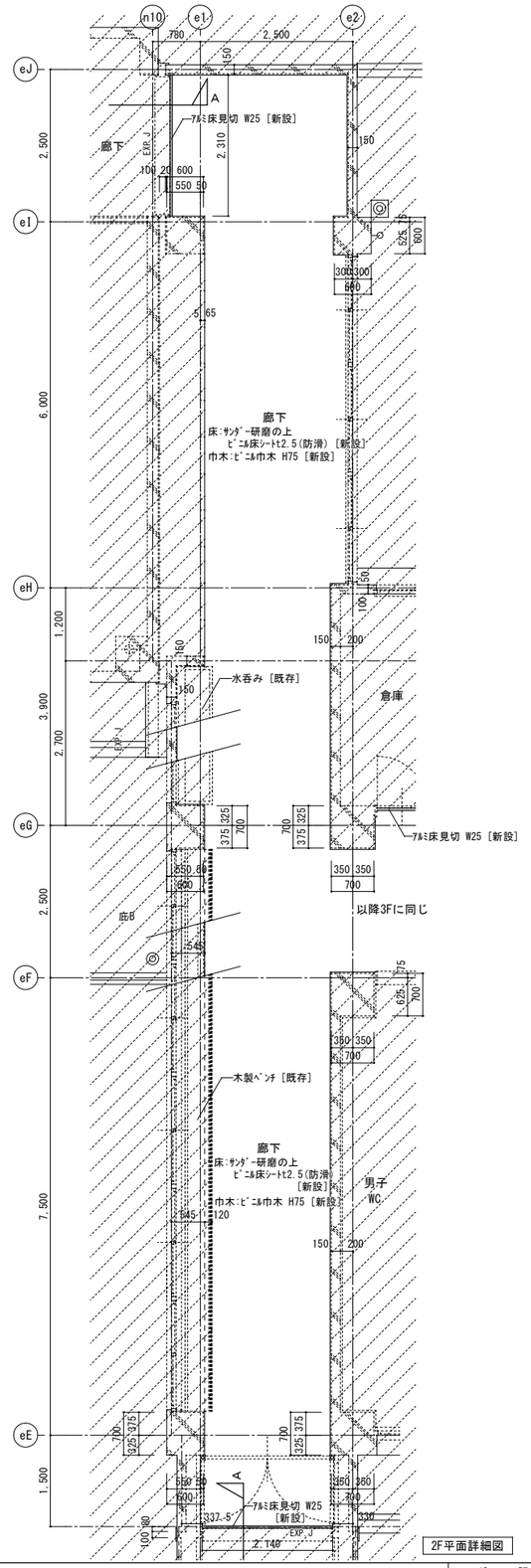
3F平面詳細図



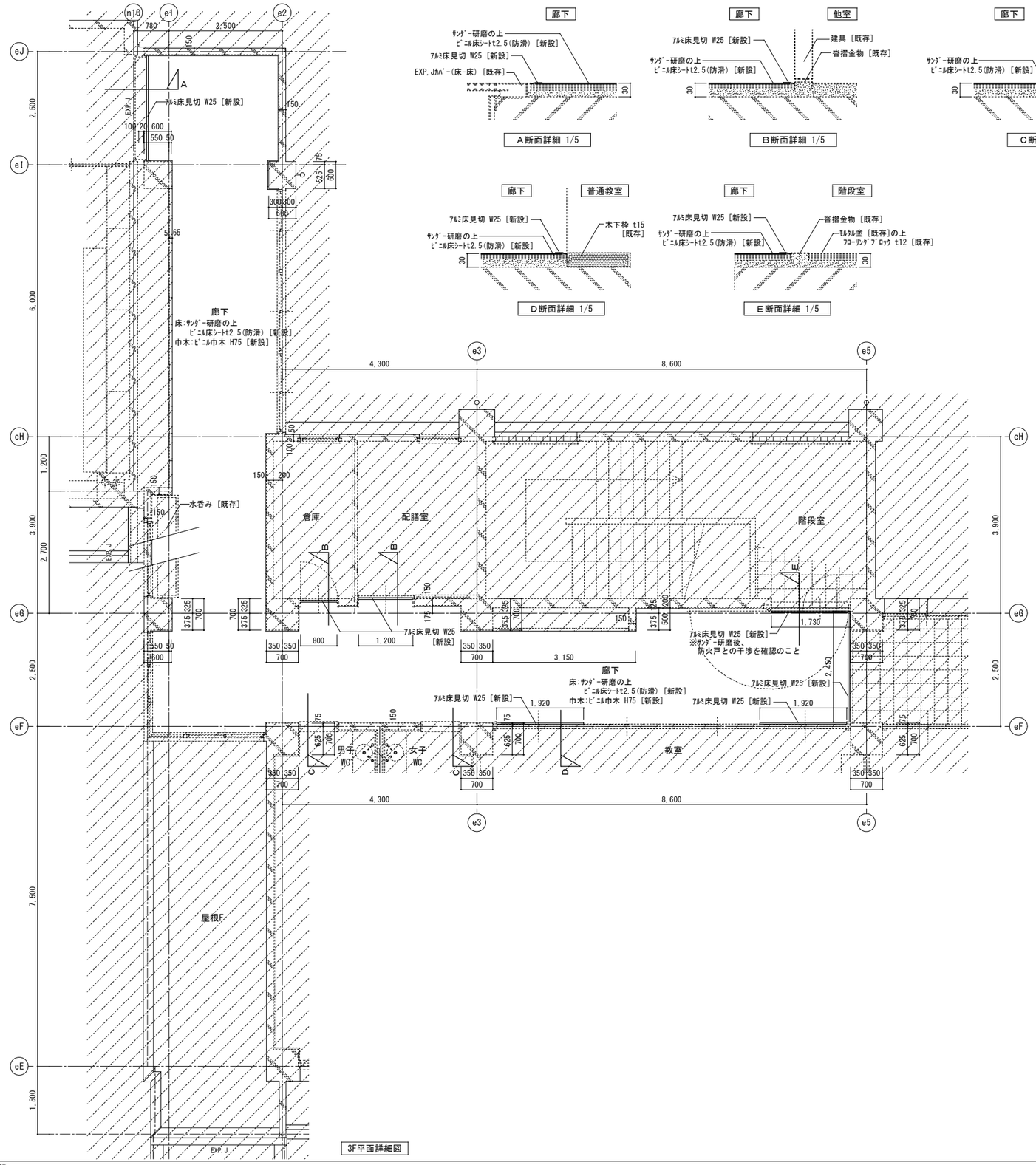
凡　例			注　記
	改修範囲外の部分を示す		
	既存のままの部分を示す		

設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ｉ期)		
図面名称	【改修前】廊下床改修詳細図（東校舎）		
縮　尺	A1:1/50 A3:1/100	年　月 2024.03	設計番号 / 図面番号 A －073
SOWA 一級建築士事務所 株式会社 相和技術研究所 仙台事務所 宮城県知事登録 第22910116号	承認/赤沼 直幸	設計者/ 一級建築士 第284436号 赤沼 直幸	製図/ 西巻 裕太
	照査/佐々木 啓文		

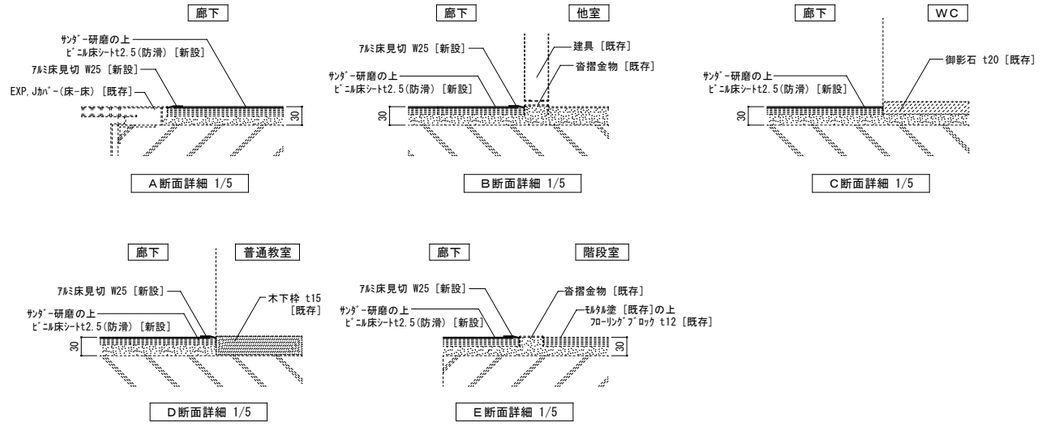
01	【改修後】廊下床改修詳細図（東校舎）	A1:1/50 A3:1/100



2F平面詳細図



3F平面詳細図

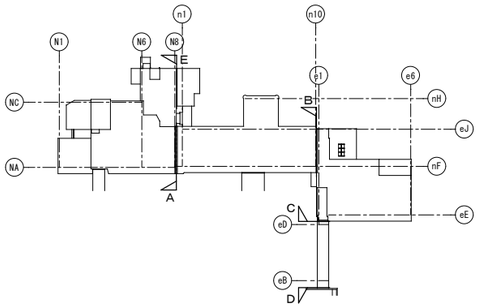


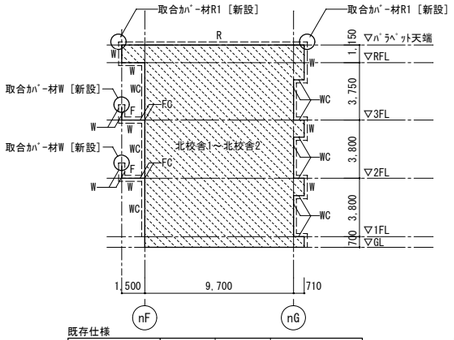
凡　例			注　記
	改修範囲外の部分を示す		
	既存のままの部分を示す		

設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ｉ期)		
図面名称	【改修後】廊下床改修詳細図（東校舎）		
縮　尺	A1:1/50 A3:1/100	年　月 2024.03	設計番号 / 図面番号 A－074
SOWA 一般社団法人 相和技術研究所 仙台事務所 宮城県知事登録 第22910116号	承認/赤沼 直幸	設計者/ 一級建築士 第284436号 赤沼 直幸	製図/ 西巻 裕太
	照査/佐々木 啓文		

01 EXP.Jｶﾊﾞｰ 改修概要図

A1:1/200
A3:1/400

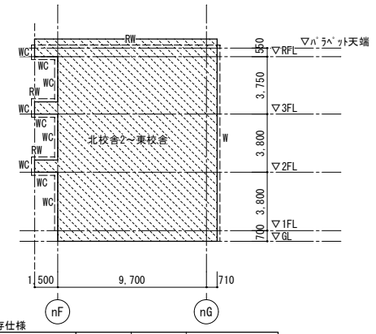




既存仕様

ｱﾙﾐ製(既製品)	W	ｸﾘｱﾗﾝｽ	改修方法
R:屋根-屋根	500	100	[取外・再取付]
W:外壁-外壁	220	100	[取外・再取付]
WC:外壁ｺｰﾅｰ	160+50	100	[取外・再取付]
F:床-床	320	100	[取外・再取付]
FC:床ｺｰﾅｰ	160+60	100	[取外・再取付]

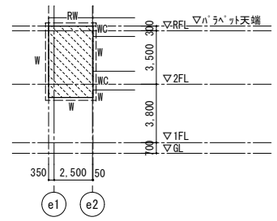
A 北校舎1～北校舎2



既存仕様

SUS製(既製品)	W	ｸﾘｱﾗﾝｽ	改修方法
RW:屋根-外壁	300	100	[取外・再取付]
W:外壁-外壁	210	100	[取外・再取付]
WC:外壁ｺｰﾅｰ	160+60	100	[取外・再取付]

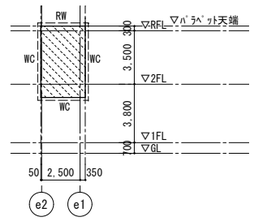
B 北校舎2～東校舎



既存仕様

SUS製(既製品)	W	ｸﾘｱﾗﾝｽ	改修方法
RW:屋根-外壁	300	100	[取外・再取付]
W:外壁-外壁	210	100	[取外・再取付]
WC:外壁ｺｰﾅｰ	160+60	100	[取外・再取付]

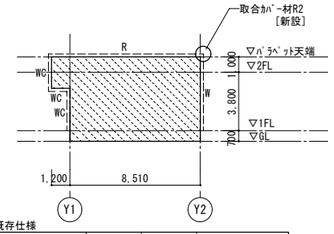
C 渡り廊下2～渡り廊下3



既存仕様

SUS製(既製品)	W	ｸﾘｱﾗﾝｽ	改修方法
RW:屋根-外壁	300	100	[取外・再取付]
W:外壁-外壁	210	100	[取外・再取付]
WC:外壁ｺｰﾅｰ	160+60	100	[取外・再取付]

D 渡り廊下3～南校舎3



既存仕様

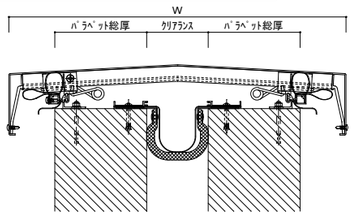
ｱﾙﾐ製(既製品)	W	ｸﾘｱﾗﾝｽ	改修方法
R:屋根-屋根	500	50	[取外・再取付]
W:外壁-外壁	160	50	[取外・再取付]
WC:外壁ｺｰﾅｰ	100+36	50	[取外・再取付]

E 給食室1～給食室2

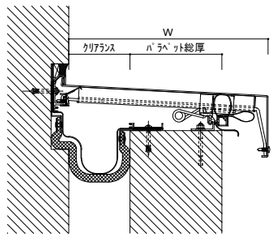
02 既存EXP.Jｶﾊﾞｰ 詳細図(参考図)

A1:1/5
A3:1/10

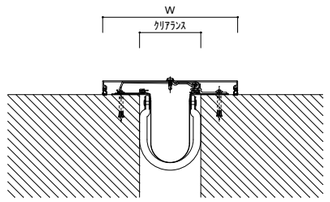
注記
1)現況のEXP.Jｶﾊﾞｰを調査の上、取り外すことにより支障をきたす場合は協議による。
2)樹脂ｱﾝｶｰﾌﾞﾗｸﾞ・ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄは再利用とする
3)取外し後の歪み修正・清掃を実施すること



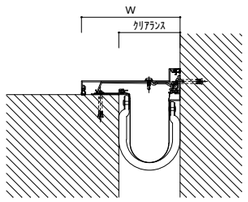
R:屋根-屋根



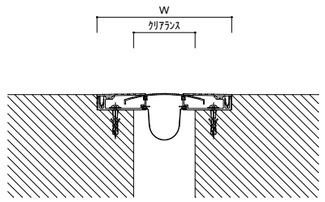
RW:屋根-外壁



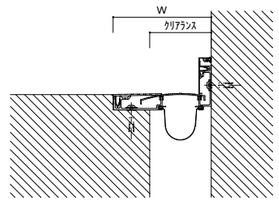
W:外壁-外壁



WC:外壁ｺｰﾅｰ



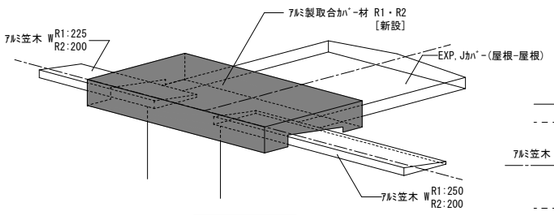
F:床-床



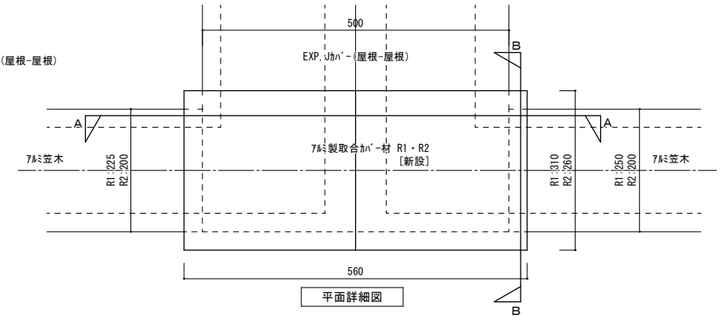
FC:床ｺｰﾅｰ

03 取合ｶﾊﾞｰ材R1・R2 詳細図

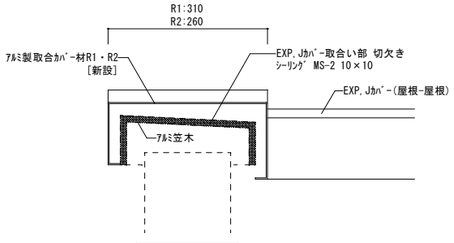
A1:1/5
A3:1/10



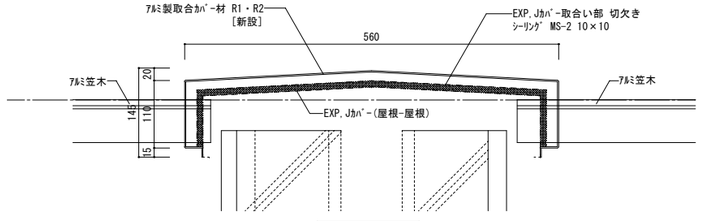
概略図 N・S



平面詳細図



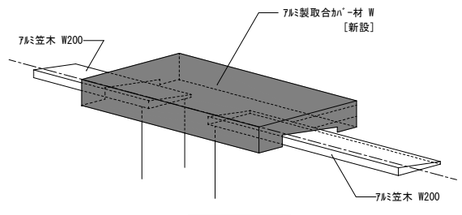
B断面詳細図



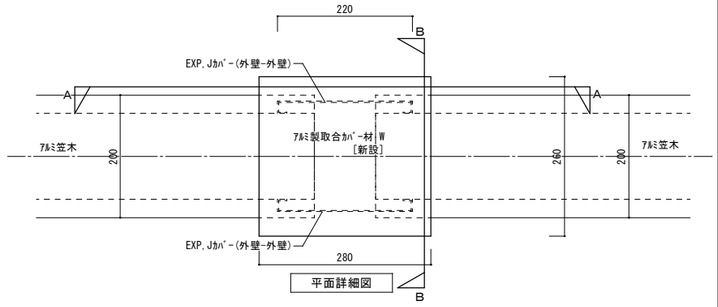
A断面詳細図

04 取合ｶﾊﾞｰ材 W 詳細図

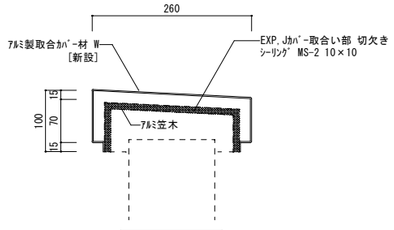
A1:1/5
A3:1/10



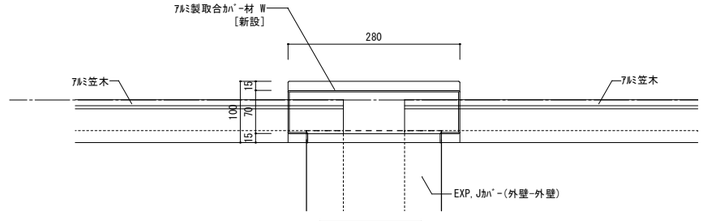
概略図 N・S



平面詳細図



B断面詳細図

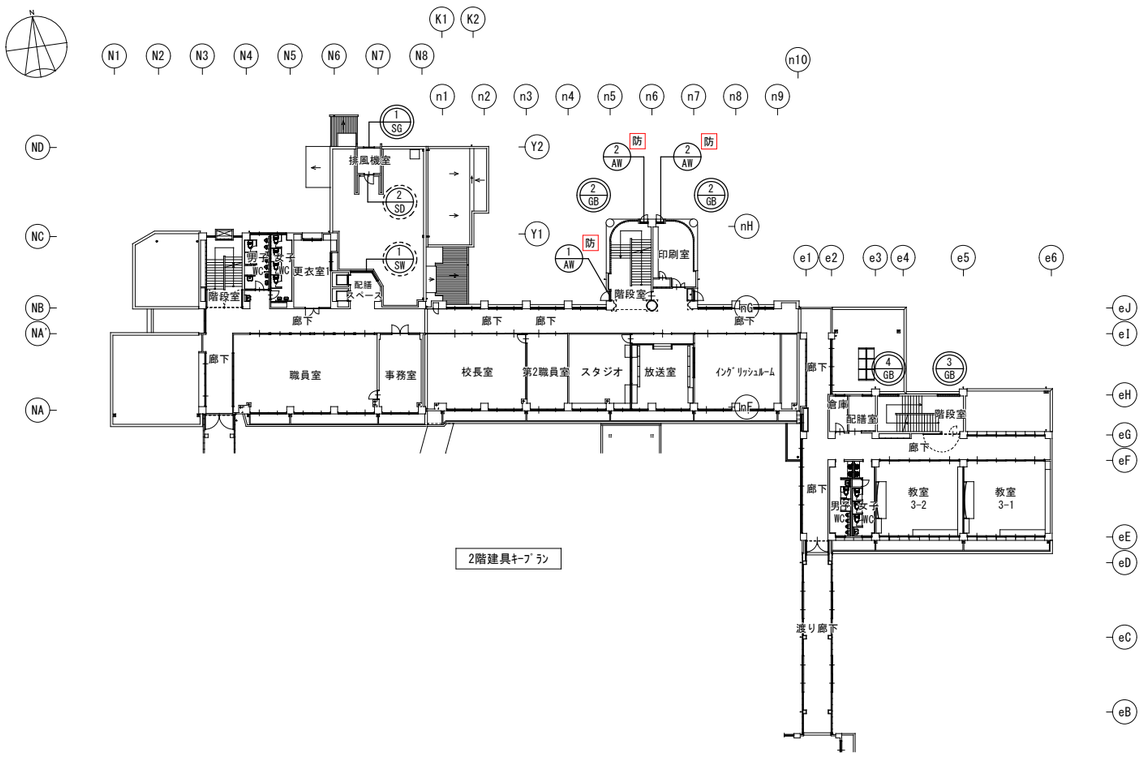


A断面詳細図

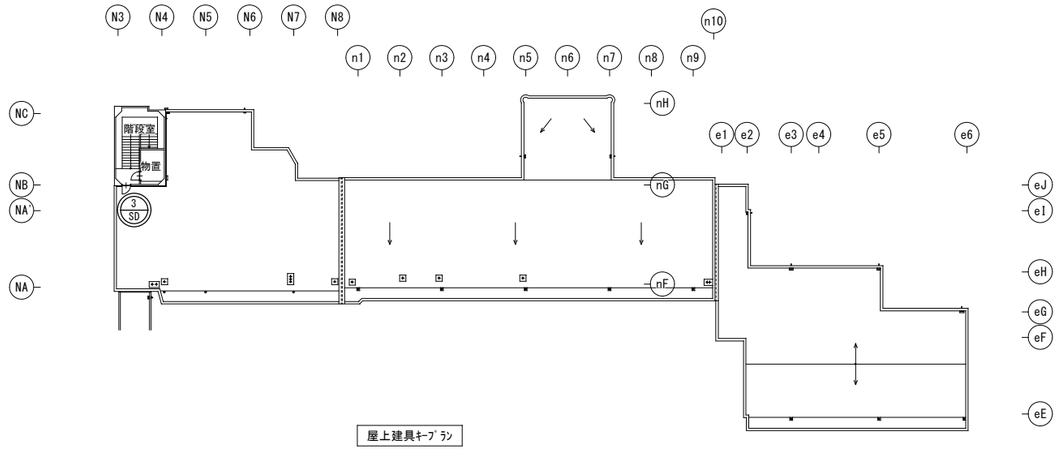
設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅰ期)
図面名称	EXP.Jｶﾊﾞｰ 改修詳細図
縮尺	A1:図示 A3:図示
年月	2024.03
設計番号	
図面番号	A－075
承認/赤沼 直幸	設計者/一級建築士 第284436号 赤沼 直幸
照査/佐々木 啓文	製図/西巻 裕太

SOWA 一級建築士事務所 株式会社 相和技術研究所 宮城県知事登録 第22910116号

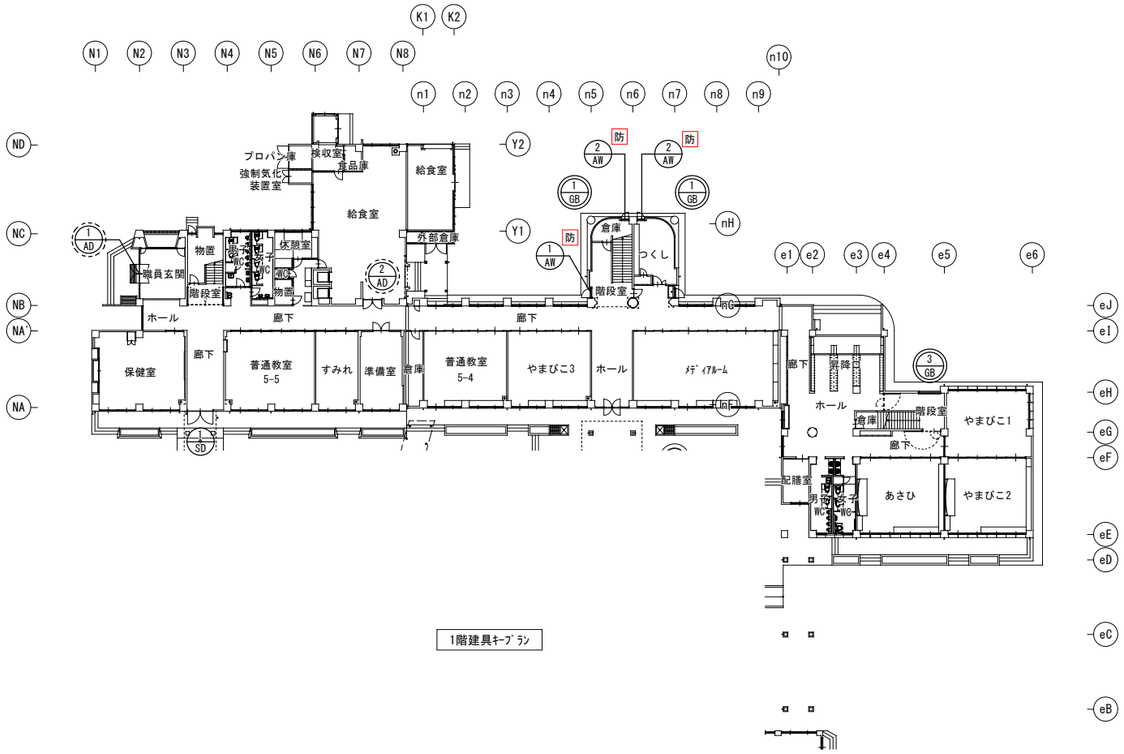
O 1	【改修前】建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ	A1:1/300 A3:1/600



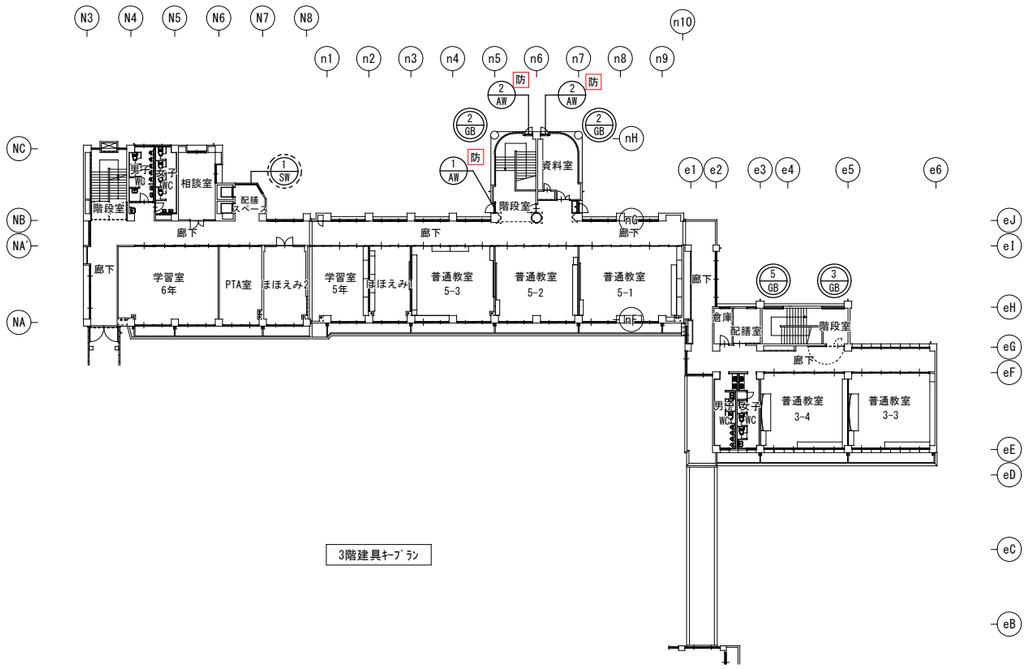
2階建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ



屋上建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ



1階建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ



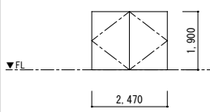
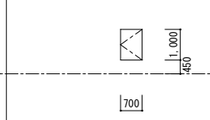
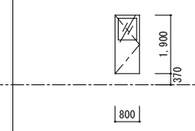
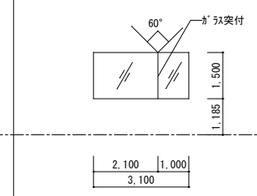
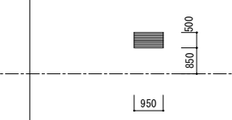
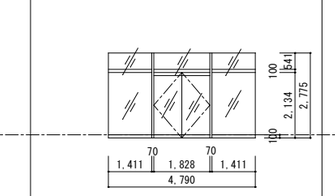
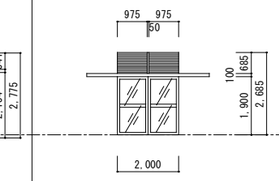
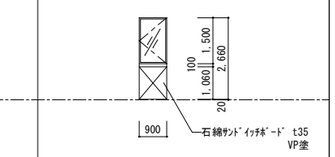
3階建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ

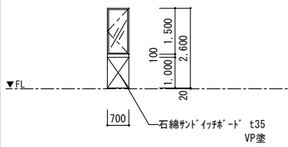
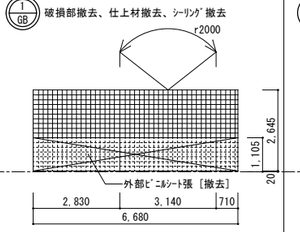
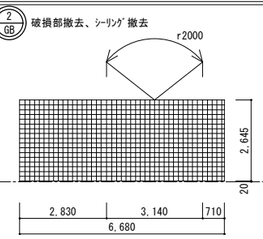
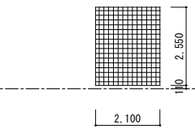
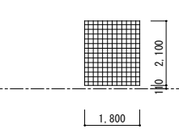
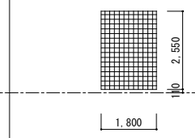
凡　例

	撤去(撤去工法)建具を示す		撤去(ｶﾊﾞｰ工法)建具を示す	防	防火設備仕様建具		
	改修建具を示す			特	特定防火設備仕様建具		

設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ｉ期)				
図面名称	【改修前】建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ				
縮　尺	A1:1/300 A3:1/600	年　月 2024.03	設計番号	図面番号 A －076	
SOWA	一級建築士事務所 株式会社 相和技術研究所 宮城県知事登録 第22910116号	承認/赤沼 直幸	設計者/ 一級建築士 第284436号 赤沼 直幸	製図/ 西巻 裕太	
		照査/佐々木 啓文			

01	【改修前】建具表 ※記載の無い建具の改修については、既存建具表参照	A1:1/100 A3:1/200

記号	1 SD 撤去(撤去工法) 全て撤去	2 SD 撤去(ｶﾊﾞｰ工法) 枠以外全て撤去	3 SD 塗膜除去、ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	1 SW 撤去(ｶﾊﾞｰ工法) 枠以外全て撤去	1 SG 塗膜除去、ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	1 AD 撤去(ｶﾊﾞｰ工法) 枠以外全て撤去	2 AD 撤去(ｶﾊﾞｰ工法) 枠以外全て撤去	1 AW 防 撤去(撤去工法) 全て撤去
姿寸法								
形式・見込	鋼製両開きﾄﾞｱ 86	鋼製片開きﾄﾞｱ 100	鋼製片開きﾄﾞｱ 100	鋼製FIX窓 60	鋼製ｶﾞﾗﾘ 70	ｱﾙﾐ製FIX袖・ﾗﾝﾏ付両開きﾄﾞｱ 100	ｱﾙﾐ製ｶﾞﾗﾘﾗﾝﾏ付引分け戸 120	ｱﾙﾐ製腰ﾊﾟﾈﾙ付開き窓 70
室名・数量	北校舎1:1F廊下 1	給食室1:塔屋排風機室 1	北校舎1:塔屋階段室 1	北校舎1:2・3F配膳ｽﾍﾟｰｽ 2	給食室1:塔屋排風機室 1	北校舎1:職員玄関 1	給食室1:給食室 1	北校舎2:階段室 3
仕上・硝子	鋼板 OP塗 —	鋼板 OP塗 —	鋼板 OP塗［塗膜除去］ 網入り透明6.8	L-60×30×6ｶｯﾄｱﾝｸﾞﾙ OP塗 透明5.0	鋼製 OP塗［塗膜除去］ —	ｱﾙﾐ 強化8.0 ﾗﾝﾏ:網入り6.8	枠・方立・無目:鋼製 OP塗 障子・ｶﾞﾗﾘ:ｱﾙﾐ 透明5.0	ｱﾙﾐ 網入り6.8
金物	ﾋﾟﾎﾞｯﾄﾋﾝｼﾞ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、ﾄﾞｱﾁｪｯｸ、ﾌﾗﾝｽ落とし 付属金物一式	ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、丁番 付属金物一式	ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠、丁番、ﾄﾞｱﾁｪｯｸ 付属金物一式	ｶﾞｽｹｯﾄ、鋼製水切 付属金物一式	付属金物一式	ﾌﾛｱﾋﾝｼﾞ、押し板、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠 付属金物一式	引き戸ﾚｰﾙ、引手、召し合せ錠、内動網戸 付属金物一式	付属金物
備考	外部ｼｰﾘﾝｸﾞ15×10(4方)［撤去］	外部ｼｰﾘﾝｸﾞ15×10(4方)［撤去］	外部ｼｰﾘﾝｸﾞ15×10(4方)［撤去］	木製額縁(内4方)［撤去］、 外部ｼｰﾘﾝｸﾞ15×10(4方+水切)［撤去］	外部ｼｰﾘﾝｸﾞ15×10(4方+水切)［撤去］	外部ｼｰﾘﾝｸﾞ15×10(4方)［撤去］	外部ｼｰﾘﾝｸﾞ15×10(4方)［撤去］	外部ｼｰﾘﾝｸﾞ15×10(4方)［撤去］

記号	2 AW 防 撤去(撤去工法) 全て撤去	1 GB 破損部撤去、仕上材撤去、ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	2 GB 破損部撤去、ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	3 GB ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	4 GB ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去	5 GB ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去		
姿寸法		 ※1か所につき10枚のｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ更新を見込むこと	 ※1か所につき10枚のｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ更新を見込むこと					
形式・見込	ｱﾙﾐ製腰ﾊﾟﾈﾙ付開き窓 70	ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ 95	ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ 95	ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ 95	ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ 95	ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ 95		
室名・数量	北校舎2:1Fつくし・階段室他 6	北校舎2:1Fつくし・階段室 2	北校舎2:2F印刷室・階段室他 4	東校舎:階段室 3	東校舎:階段室 1	東校舎:階段室 1		
仕上・硝子	ｱﾙﾐ 網入り6.8	145×145×95、枠:ｱﾙﾐ —	145×145×95、枠:ｱﾙﾐ —	145×145×95、枠:ｱﾙﾐ —	145×145×95、枠:ｱﾙﾐ —	145×145×95、枠:ｱﾙﾐ —		
金物	付属金物	付属金物	付属金物	付属金物	付属金物	付属金物		
備考	外部ｼｰﾘﾝｸﾞ15×10(4方)［撤去］	外部ﾋﾞﾆﾙｼｰﾄt3.0［撤去］、外部ｼｰﾘﾝｸﾞ15×10(4方)［撤去］	外部ｼｰﾘﾝｸﾞ15×10(4方)［撤去］	外部ｼｰﾘﾝｸﾞ15×10(4方+水切)［撤去］	外部ｼｰﾘﾝｸﾞ15×10(4方+水切)［撤去］	外部ｼｰﾘﾝｸﾞ15×10(4方+水切)［撤去］		

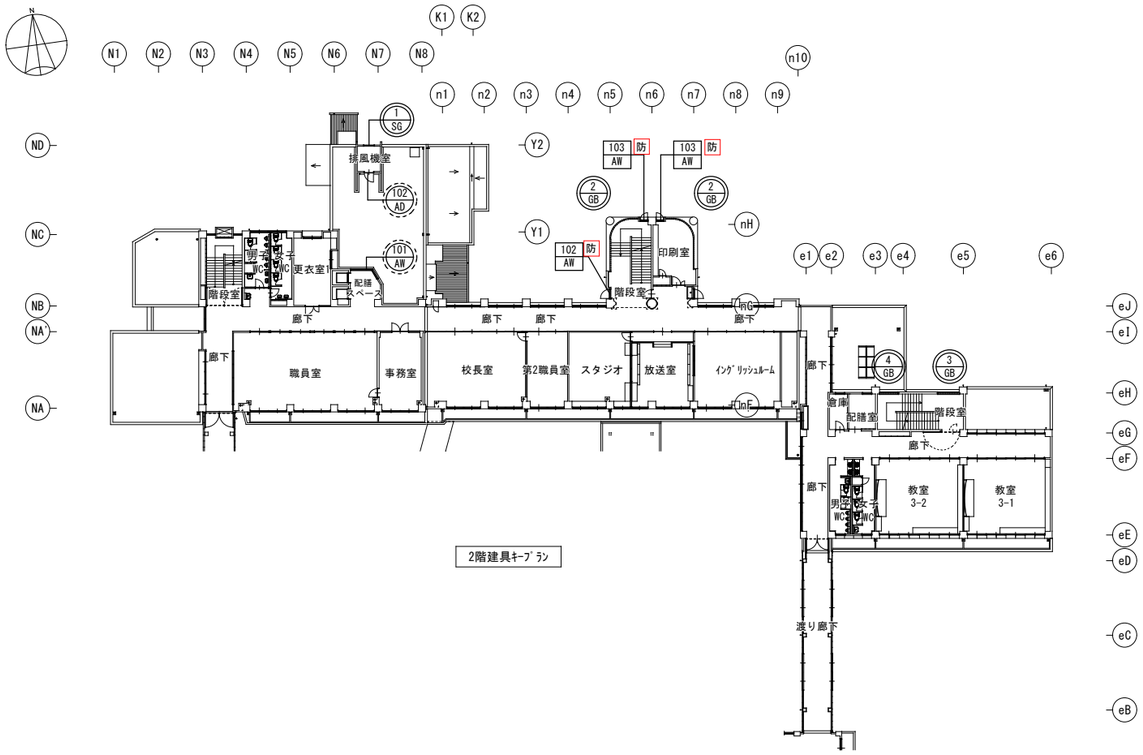
記号								
姿寸法								
形式・見込								
室名・数量								
仕上・硝子								
金物								
備考								

記号								
姿寸法								
形式・見込								
室名・数量								
仕上・硝子								
金物								
備考								

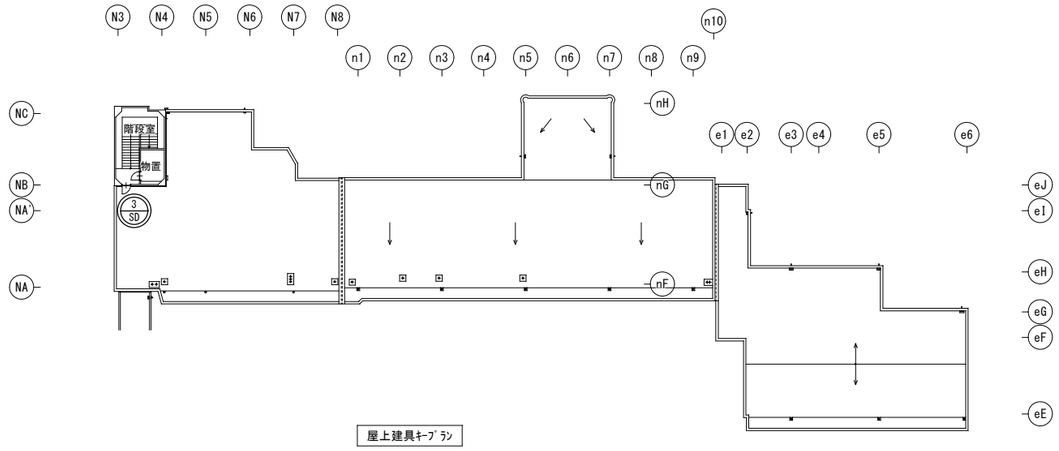
凡例

撤去(撤去工法)建具を示す	撤去(ｶﾊﾞｰ工法)建具を示す	防	防火設備仕様建具		
改修建具を示す		特	特定防火設備仕様建具		

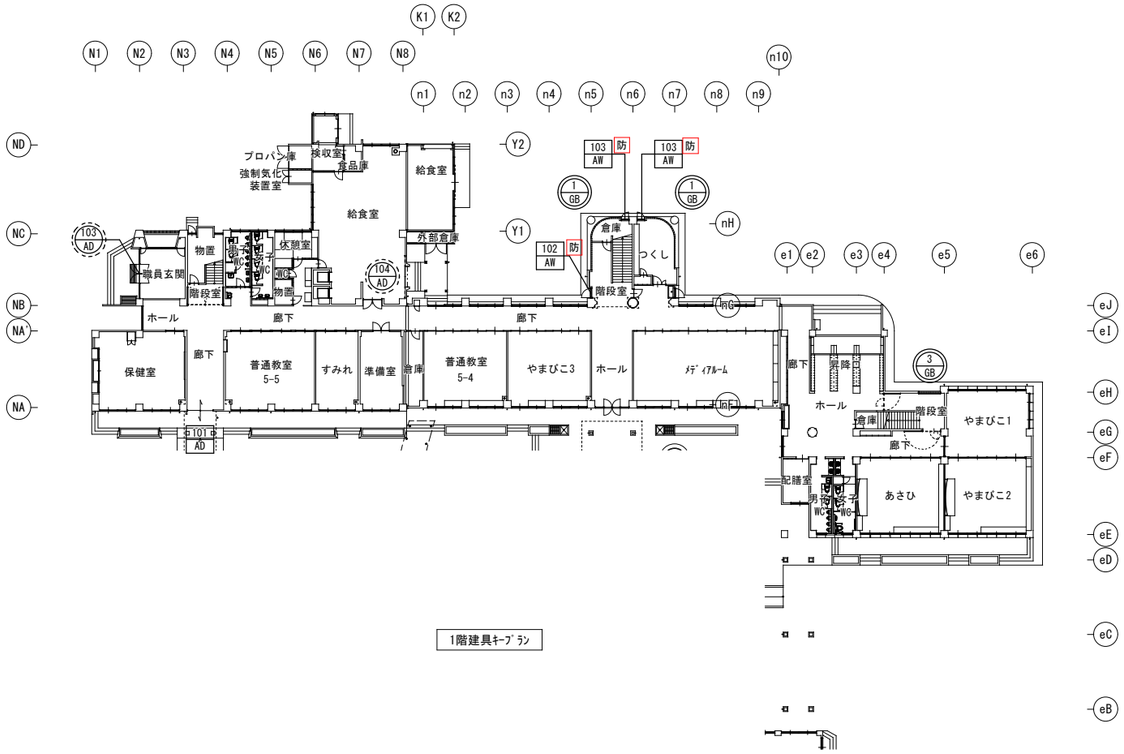
設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅰ期)			
図面名称	【改修前】建具表			
縮尺	A1:1/100 A3:1/200	年月 2024.03	設計番号	図面番号 A－077
SOWA 一級建築士事務所 株式会社 相和技術研究所 宮城県知事登録 第22910116号	承認/赤沼 直幸 照査/荒々木 啓文	設計者/ 一級建築士 第294436号 赤沼 直幸	製図/ 西巻 裕太	



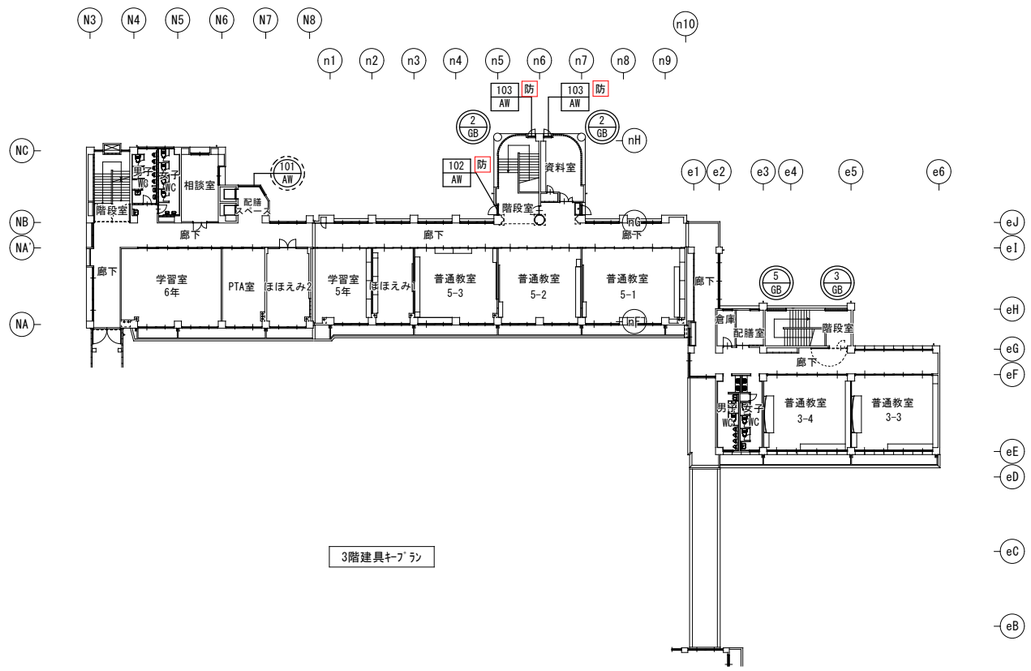
2階建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ



屋上建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ



1階建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ



3階建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ

凡　例

	新設建具を示す		新設(ｶﾊﾞｰ工法)建具を示す	防	防火設備仕様建具
	改修建具を示す			特	特定防火設備仕様建具

設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ｉ期)			
図面名称	【改修後】建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ			
縮　尺	A1:1/300 A3:1/600	年　月 2024.03	設計番号	図面番号 A －078
一級建築士事務所 宮城県知事登録 第22910116号	承認/赤沼 直幸	設計者/ 一級建築士 第284436号 赤沼 直幸	製図/ 西巻 裕太	照査/佐々木 啓文

０１ 【改修後】建具表

A1:1/100
A3:1/200

建具共通事項 ※下記に記載の事項を適用すること。

1．一般共通事項

・ＲＣ納まりの金属製建具の枠廻りは、外部建具：防水モルタル詰、内部建具：モルタル詰とする。

・指詰め防止措置は以下を共通とし、それ以外は図示による。

引違い窓：指挟み防止回転ストッパー　　引き戸　：戸尻側戸当たりゴム(中央１ヶ所)

・木製額縁は杉集成材t25とする。

2．アルミニウム製建具は特記なき限り以下の仕様とする。

・外部建具の性能はＢ種とする。（耐風圧性Ｓ－５、気密性Ａ－３、水密性Ｗ－４）（引き戸・自由開きﾄﾞｱを除く）

・外部に面する引違い以外のサッシ枠の水抜きは２ヶ所以上とし、違窓の場合はそれぞれの窓に２ヶ所以上設置する。

・アルミニウム製ガラリは内側にダクト接続用アングル（４周）付き（ダクトの接続がない場合は、ステンレス製防虫網付き）

とし、開口率３５％とする。補強が必要な場合は、内部側補強とする。

・外部に面するアルミニウム製ガラリは、完全防水型とする。

ＡＷ(アルミ製窓)の付属金物[共通]は以下とする。

・水切り(100mm程度)は建具と同仕上・同色のアルミ製とし、両端部には樹脂製キャップを取り付ける。

スライディング系(引き違い・片引き)窓の付属金物等は[共通]に加え以下とする。

・クレセントは樹脂被覆、ダブルロック仕様とする。鍵付にする箇所は図示による。

・特記なき限り網戸はｶﾞﾗｽ繊維合成樹脂とし、設置は図示による。スライディング系窓の網戸は自走防止機構付きとする。

3．建具金物は特記なき限り以下の仕様による。

・か　ぎ　　：錠前は全てマスターキー対応、シリンダー箱錠(レバーハンドル錠)とする。

：錠前の種類・位置等については、監督職員に確認の上、決定する。

・一般開き扉　　：丁番、ドアクローザー、レバーハンドル。標準的な扉枠には、緩衝ゴム３箇所付けとする。

：押引手は（株）ユニオン（H5601-L452）と同等品以上とする。

：ドアクローザーは部屋内に設置する。美和ロック(株)「Ｍ６００series」と同等品以上とする。

：特定防火設備または防火設備以外のドアクローザーおよびフロアヒンジはストップ付きとする。

・排煙窓・オペレーター：開閉角度は45度以上とし、窓の開放装置は建具隠ぺい式とする。

：ハンドルボックスは、過負荷防止機構付き壁埋込みとし、位置はFL＋800～1,500の範囲とする。

オイレスＥＣＯ（株）「ＳＬ－８８シリーズ」「ハンドルボックス１１０－６」同等品以上とする。

4．シーリングは特記なき限り以下の仕様による。

・建具廻り　　：　変成シリコーン系シーリング材（ＭＳ-２）

・方立目地　　：　シリコーン系シーリング材（ＳＲ-２）

・ガラス留め　　：　シリコーン系シーリング材（ＳＲ-１）

・防火戸のガラス留め：建築基準法に基づく防火性能の認定を受けた条件による。

5．図中に記載なき仕様は下記による。

・錆止め：鉛ｸﾛﾑﾌﾘｰ錆止(工程A種)とする。

・ｱﾙﾐ断熱ﾊﾟﾈﾙ：ｱﾙﾐ樹脂複合板(熱抵抗値0.34m2・K/W以上)

・ｱｸﾘﾙ系外壁透明防水材：大関化学工業（株）ｸﾘｱｺｰﾄeco 同等品以上

凡　例

・建具の種類と記号

ＡＷ　：アルミニウム製窓	ＳＳＤ：ステンレス製戸	ＴＢ　：トイレブース
ＡＤ　：アルミニウム製戸	ＳＳＷ：ステンレス製窓	ＳＢ　：シャワーブース
ＡＧ　：アルミニウム製ガラリ	ＳＳＦ：ステンレス製三方枠	ＷＤ　：木製戸
ＡＣＷ：アルミニウム製カーテンウォール	ＳＳ　：シャッター	ＷＷ　：木製窓
ＡＷＤ：アルミ木複合建具	ＡＨＤ：アルミニウム製オーバーヘッドドア	Ｈ　：ふすま
ＬＤ　：鋼製軽量戸	ＳＨＤ：鋼製オーバーヘッドドア	Ｐ　：障子
ＳＤ　：鋼製戸	ＡＰ　：アルミニウム製可動間仕切	ＷＦ　：木製三方枠
ＳＧ　：鋼製ガラリ	ＳＰ　：鋼製可動間仕切	ＢＴ　：防煙垂壁
ＳＣＷ：鋼製カーテンウォール	ＷＰ　：木製可動間仕切	ＴＬ　：トップライト
ＳＦ　：鋼製三方枠	ＳＬＷ：移動間仕切	

・建具金物の種類と記号

ＢＨ　：丁番	ＤＳ　：戸当り	ＰＵＢ：押し棒・引き棒
ＰＨ　：ピボットヒンジ	ＦＢ　：フランス落し	ＰＵＨ：押し板
ＡＨ　：オートヒンジ	ＮＨ　：握り玉	ＰＰＬ：プッシュプル錠
ＦＨ　：フロアヒンジ	ＬＨ　：レバーハンドル	ＡＤＢ：オートドアボトム
ＦＨ(Ｎ)：フロアヒンジ　ストップなし	ＧＨ　：グレモンハンドル	ＪＣＮ：順位調整器
ＤＣ　：ドアクローザー	ＣＨ　：ケースハンドル	
ＤＣ(Ｎ)：ドアクローザー　ストップなし		

・容据の種類

容据Ａ	形状：目地棒ステンレスＳＵＳ３０４　ＦＢ－（６×１２）鋼製足付※５００	
容据Ｂ	形状：ステンレス製ｔ１．５	（段差20mm以内の福祉対応は図示による）
容据Ｃ	形状：ステンレス製ｔ１．５	（内部防音扉の場合は　型とする。）

・ガラスの種類と記号（記号の次の数字は厚さを表す）

Ｐ　：フロート板ガラス	Ｔ　：強化ガラス	ＧＢ　：ガラスブロック
Ｆ　：型板ガラス	ＴＦ　：強化型ガラス	ＬＥ　：低放射ガラス
ＮＰ　：網入板ガラス	ＳＴ　：学校用強化ガラス	ＬＥＴ　：低放射強化ガラス
ＮＦ　：網入型板ガラス	ＳＴＦ：学校用強化型ガラス	Ｌ　：合わせガラス
ＨＡＰ　：熱線吸収板ガラス	ＨＡＮＰ：熱線吸収網入板ガラス	ＩＧ　：複層ガラス (A:乾燥空気層、V:真空層、G:ｱﾙｺﾞﾝｶﾞｽ)

・防火仕様

防：常時閉鎖式　防火設備仕様建具	SS・特：随時閉鎖式・煙又は熱感連動式
防：常時閉鎖式　防火設備仕様建具(遮煙性能を有する構造)	特定防火設備仕様建具（防火シャッター）
特：常時閉鎖式　特定防火設備仕様建具	SS・防：随時閉鎖式・煙又は熱感連動式
特：常時閉鎖式　特定防火設備仕様建具(遮煙性能を有する構造)	防火設備仕様建具（防火シャッター）
特：随時閉鎖式・煙又は熱感連動式　特定防火設備仕様建具	SS・特：随時閉鎖式・煙感連動式　特定防火設備仕様建具
防：随時閉鎖式・煙又は熱感連動式　防火設備仕様建具	（防火シャッター・遮煙性能を有する構造）
特：随時閉鎖式・煙感連動式　特定防火設備仕様建具	SS・防：随時閉鎖式・煙感連動式　防火設備仕様建具
（遮煙性能を有する構造）	（防火シャッター・遮煙性能を有する構造）
防：随時閉鎖式・煙感連動式　防火設備仕様建具	網：法第2条第9号の二ロ・法第64条による防火設備
（遮煙性能を有する構造）	（延焼の恐れのある部分：網入ガラス等）
不：常時閉鎖式　不燃自閉扉	
不：随時閉鎖式・煙又は熱感連動式　不燃自閉扉	

・電動建具の種類と記号（建具キープランに表記）

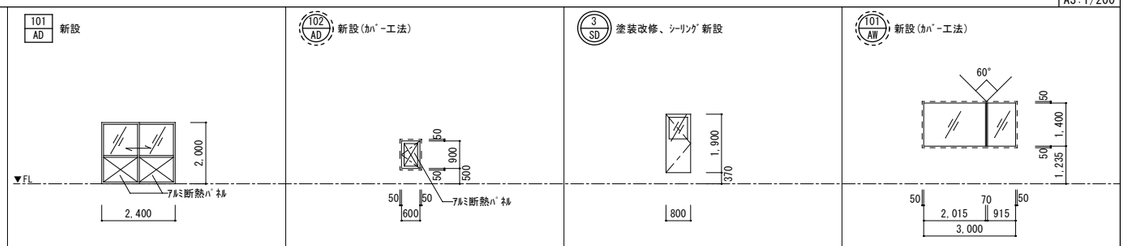
AUTO：自動ドア	電動：電動シャッター、電動オーバーヘッドドア

・電気錠および電気式テンキー、カードリーダーの種類と記号（建具キープランに表記）

E：電気錠	Ⓔ：電気錠(火報連動)	T：電気式テンキー	R：カードリーダー

（建具の錠は建築工事、電気錠制御盤、電気式テンキー、カードリーダーは特記なき限り電気設備工事）

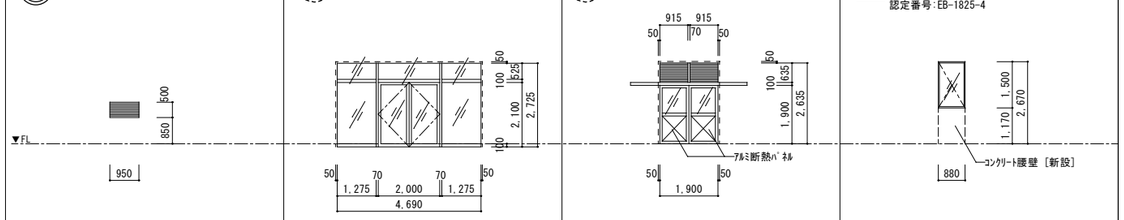
101/AD 新設



	101/AD	102/AD	3/SD	101/AW
形式・見込	ｱﾙﾐ製引違戸 100	ｱﾙﾐ製片開きﾄﾞｱ 70	鋼製片開きﾄﾞｱ 100	ｱﾙﾐ製FIX窓 70
室名・数量	北校舎1:1F廊下 1	給食室1:塔屋排風機室 1	北校舎1:塔屋階段室 1	北校舎1:2・3F配膳ｽﾍﾟｰｽ 2
仕上・硝子	BB-2 IG:T4+A12+T4	BB-2 —	下地調整(RA種) + 錆止の上 DP(1級)塗 既存	BB-2 IG:T4+A12+T4
金物	ﾌﾗｯﾄ下枠ﾚｰﾙ、召し合せ錠、大型取手、ｱﾙﾐ額縁(内外3方) 付属金物一式	BH、DS、LH、沓摺B、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠(内ｻﾑﾀｰﾝ)、ｱﾙﾐ水切 付属金物一式	既存	ｱﾙﾐ額縁(内3方)、ｱﾙﾐ水切 付属金物一式
備考	ｼｰﾘﾝｸﾞは詳細図参照	外部ｼｰﾘﾝｸﾞ 15×10(4方) [新設]	外部ｼｰﾘﾝｸﾞ 15×10(4方) [新設]	ｼｰﾘﾝｸﾞは詳細図参照

1/SG 塗装改修、ｼｰﾘﾝｸﾞ新設 / 103/AD 新設(ｶﾊﾞｰ工法) / 104/AD 新設(ｶﾊﾞｰ工法) / 102/AW 防 新設

認定番号:EB-1825-4

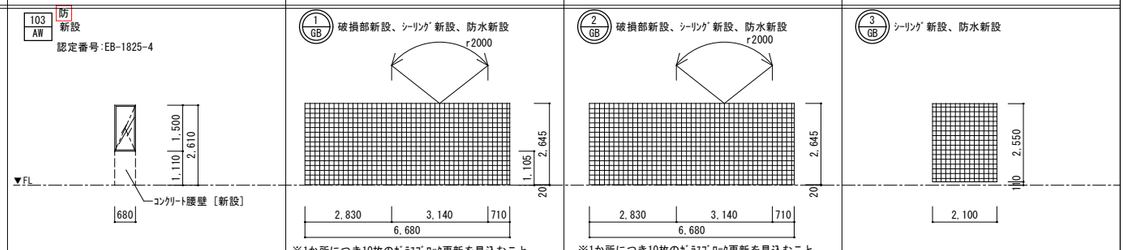


	1/SG	103/AD	104/AD	102/AW
形式	鋼製ｶﾞﾗﾘ 70	ｱﾙﾐ製FIX袖・ﾗﾝﾏ付自由開きﾄﾞｱ 100	ｱﾙﾐ製ｶﾞﾗﾘﾗﾝﾏ付引分け戸 120	ｱﾙﾐ製ﾀﾃ滑り出し窓 70
室名・数量	給食室1:塔屋排風機室 1	北校舎1:職員玄関 1	給食室1:給食室 1	北校舎2:1F廊下他 3
仕上・硝子	下地調整(RA種) + 錆止の上 DP(1級)塗 —	BB-2 IG:T4+A12+T4	BB-2 IG:T4+A12+T4	BB-2 IG:PW6.8+A12+LE5
金物	既存	FH、DS、DC、PUB、FB、ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠(内ｻﾑﾀｰﾝ)、ｴｱﾀｲﾄ材、 ｱﾙﾐ額縁(内3方) 付属金物一式	ﾌﾗｯﾄ下枠ﾚｰﾙ、戸先錠、大型取手、ｱﾙﾐ額縁(内外3方)、 内動網戸 付属金物一式	ｱﾙﾐ水切、ｸﾞﾚﾓﾝﾊﾝﾄﾞﾙ、開口制限ｽﾄｯﾊﾟｰ、 ｱﾙﾐ額縁(内3方)、ﾖｺ引きﾛｰﾙ網戸、排水式結露受け 付属金物
備考	外部ｼｰﾘﾝｸﾞ 15×10(4方+水切) [新設]	外部ｼｰﾘﾝｸﾞ 15×10(3方) [新設]	外部ｼｰﾘﾝｸﾞ 15×10(3方) [新設]	ｼｰﾘﾝｸﾞは詳細図参照

103/AW 防 新設

認定番号:EB-1825-4

1/GB 破損部新設、ｼｰﾘﾝｸﾞ新設、防水新設 / 2/GB 破損部新設、ｼｰﾘﾝｸﾞ新設、防水新設 / 3/GB ｼｰﾘﾝｸﾞ新設、防水新設



	103/AW	1/GB	2/GB	3/GB
形式	ｱﾙﾐ製ﾀﾃ滑り出し窓 70	ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ 95	ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ 95	ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ 95
室名・数量	北校舎2:1Fつくし・階段室他 6	北校舎2:1Fつくし・倉庫 2	北校舎2:2F印刷室・階段室他 4	東校舎:階段室 3
仕上・硝子	BB-2 IG:PW6.8+A12+LE5	ｱｸﾘﾙ系外壁透明防水材塗布 —	ｱｸﾘﾙ系外壁透明防水材塗布 —	ｱｸﾘﾙ系外壁透明防水材塗布 —
金物	ｱﾙﾐ水切、ｸﾞﾚﾓﾝﾊﾝﾄﾞﾙ、開口制限ｽﾄｯﾊﾟｰ、 ｱﾙﾐ額縁(内3方)、ﾖｺ引きﾛｰﾙ網戸、排水式結露受け 付属金物	既存	既存	既存
備考	ｼｰﾘﾝｸﾞは詳細図参照	外部ｼｰﾘﾝｸﾞ 15×10(4方) [新設]	外部ｼｰﾘﾝｸﾞ 15×10(4方) [新設]	外部ｼｰﾘﾝｸﾞ 15×10(4方+水切) [新設]

4/GB ｼｰﾘﾝｸﾞ新設、防水新設 / 5/GB ｼｰﾘﾝｸﾞ新設、防水新設

	4/GB	5/GB
形式	ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ 95	ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ 95
室名・数量	東校舎:階段室 1	東校舎:階段室 1
仕上・硝子	ｱｸﾘﾙ系外壁透明防水材塗布 —	ｱｸﾘﾙ系外壁透明防水材塗布 —
金物	既存	既存
備考	外部ｼｰﾘﾝｸﾞ 15×10(4方+水切) [新設]	外部ｼｰﾘﾝｸﾞ 15×10(4方+水切) [新設]

凡　例

新設建具を示す	新設(ｶﾊﾞｰ工法)建具を示す	防	防火設備仕様建具		
改修建具を示す		特	特定防火設備仕様建具		

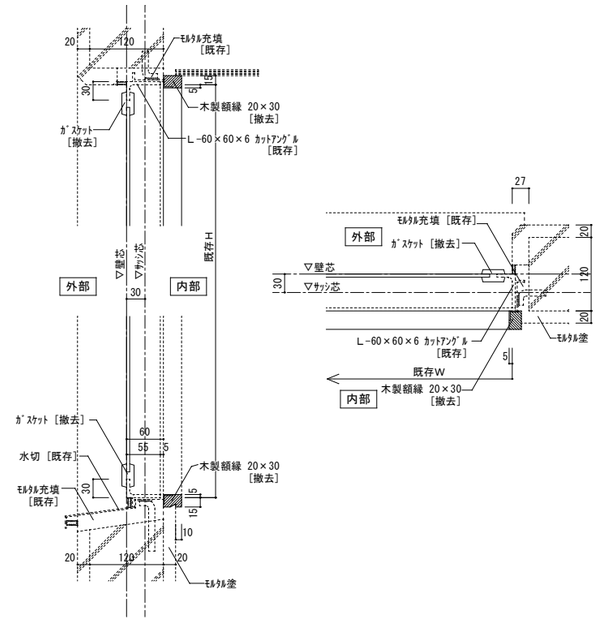
設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅰ期)
図面名称	【改修後】建具表
縮尺	A1:1/100 A3:1/200
年月	2024.03
設計番号	
図面番号	A－079
承認/赤沼 喜幸	
照査/佐々木 啓文	
設計者/一級建築士 第284436号 赤沼 喜幸	
製図/西巻 裕太	

SOWA
一級建築士事務所 相和技術研究所
仙台事務所
宮城県知事登録 第22910116号

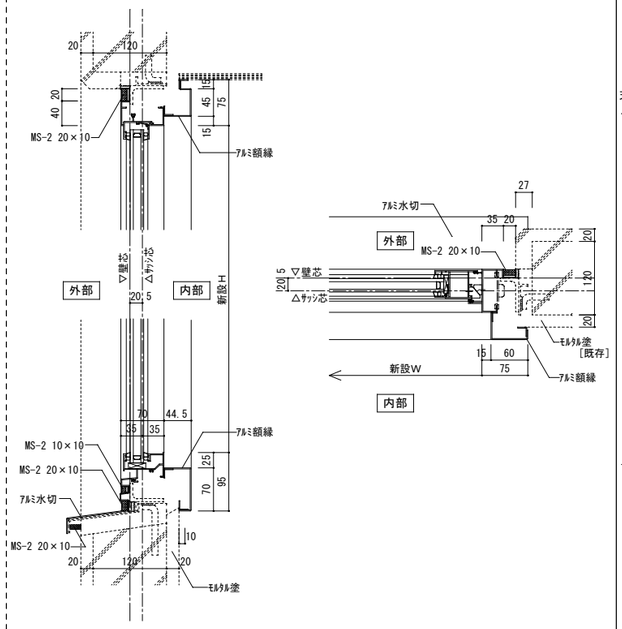
01 SW－1→AW－101 改修詳細図

A1:1/5
A3:1/10

改修前(SW-1)



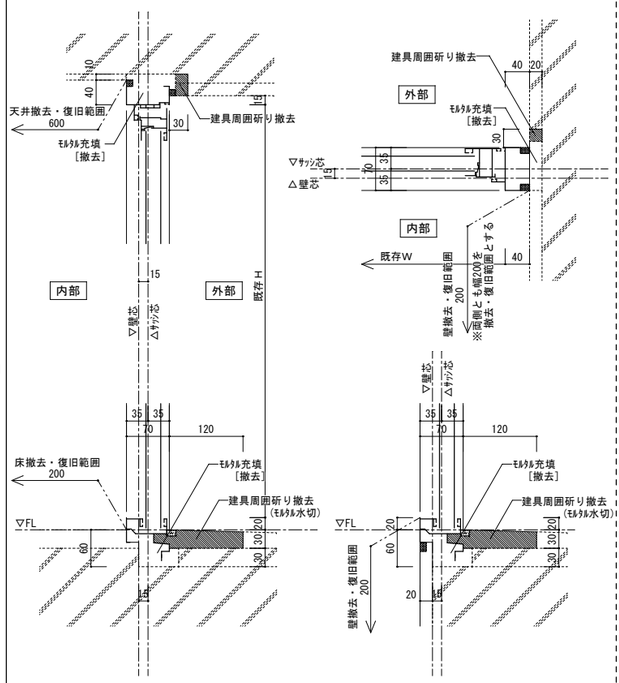
改修後(AW-101)



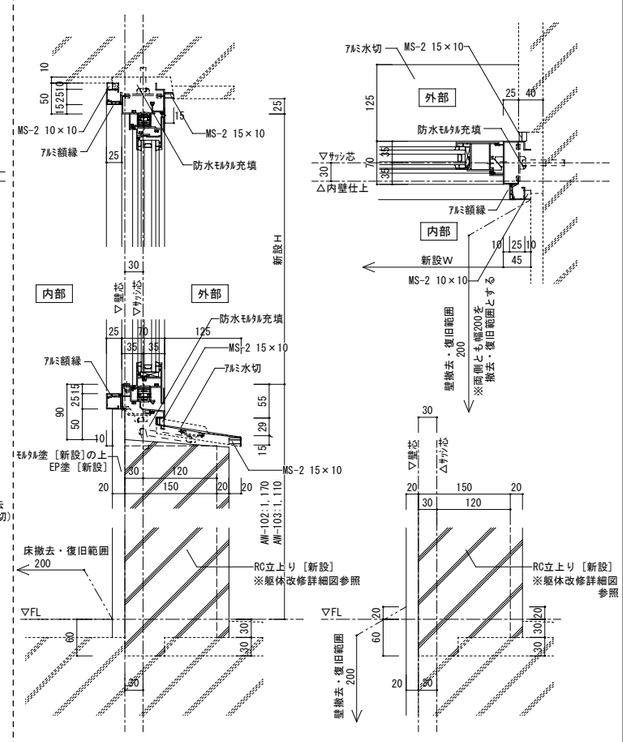
02 AW－1・2→AW－102・103 改修詳細図

A1:1/5
A3:1/10

改修前(AW-1・2)



改修後(AW-102・103)



各室の撤去は下記による

階段室(廊下側)	
床	モルタル塗［撤去］の上 ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.0［撤去］
巾木	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H75［撤去］
壁	モルタル塗［撤去］の上 VP塗［撤去］
天井	LGS下地［撤去］の上 化粧石こうﾎﾞｰﾄﾞt9［撤去］
階段室(踊場)	
床	―
巾木	―
壁	モルタル塗［撤去］の上 VP塗［撤去］
天井	―
つくし・印刷室・資料室	
床	モルタル塗［撤去］の上 ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.0［撤去］
巾木	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H75［撤去］
壁	モルタル塗［撤去］の上 VP塗［撤去］
天井	LGS下地［撤去］の上 化粧石こうﾎﾞｰﾄﾞt9［撤去］

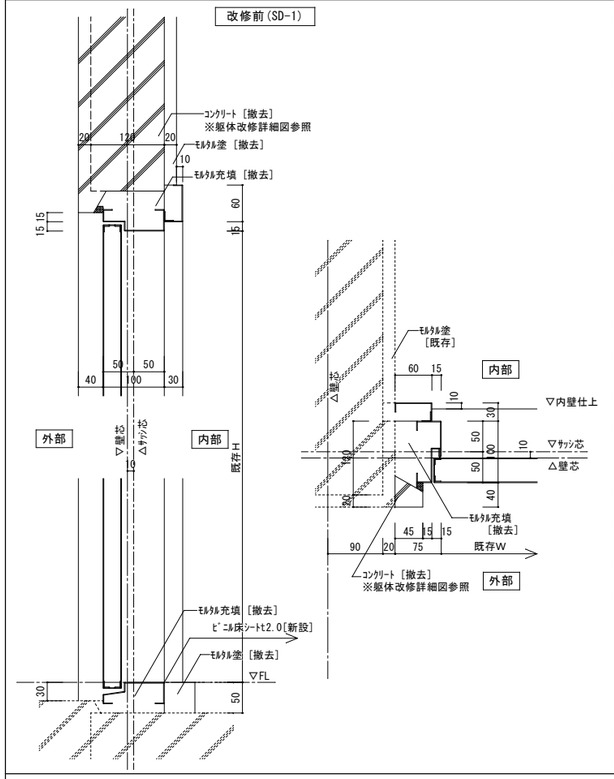
各室の復旧は下記による

階段室(廊下側)	
床	モルタル塗 ［新設］の上 ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.0［新設］
巾木	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H75［新設］
壁	モルタル塗［新設］の上 EP塗［新設］
天井	LGS下地［新設］の上 GB-NC t9.5［新設］
階段室(踊場)	
床	―
巾木	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H75［新設］
壁	モルタル塗［新設］の上 EP塗［新設］
天井	―
つくし・印刷室・資料室	
床	モルタル塗 ［新設］の上 ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.0［新設］
巾木	ﾋﾞﾆﾙ巾木 H75［新設］
壁	モルタル塗［新設］の上 EP塗［新設］
天井	LGS下地［新設］の上 GB-NC t9.5［新設］

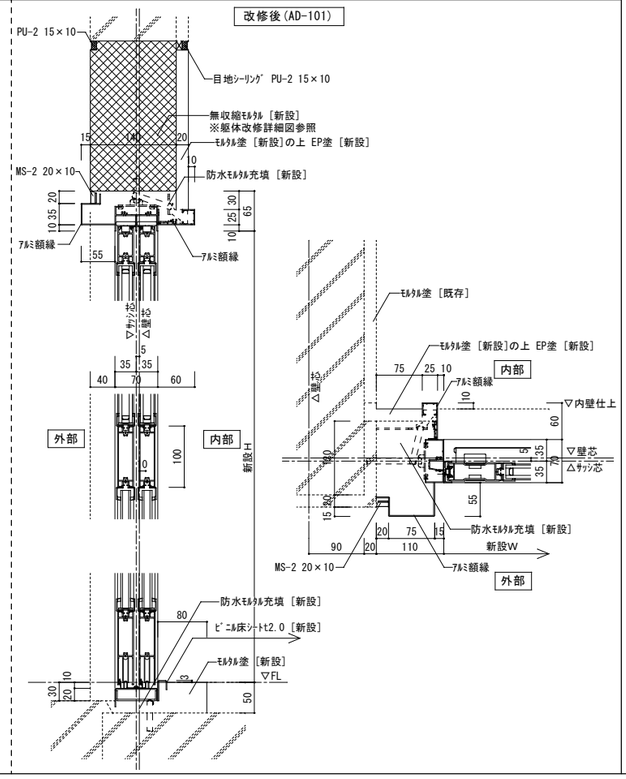
03 SD－1→AD－101 改修詳細図

A1:1/5
A3:1/10

改修前(SD-1)



改修後(AD-101)



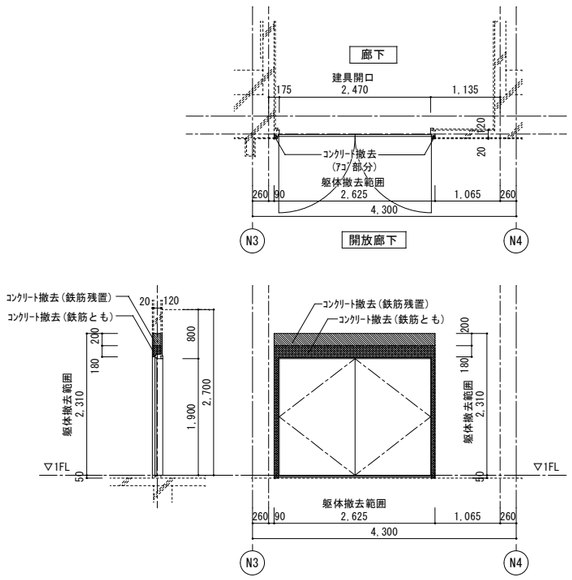
設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅰ期)
図面名称	【改修前後】建具詳細図
縮尺	A1:1/5 A3:1/10
年月	2024.03
設計番号	
図面番号	A－080
承認/赤沼 直幸	
設計者/一級建築士 第284436号 赤沼 直幸	
製図/西巻 裕太	
照査/佐々木 啓文	

SOWA 一級建築士事務所 株式会社 相和技術研究所 宮城県知事登録 第22910116号

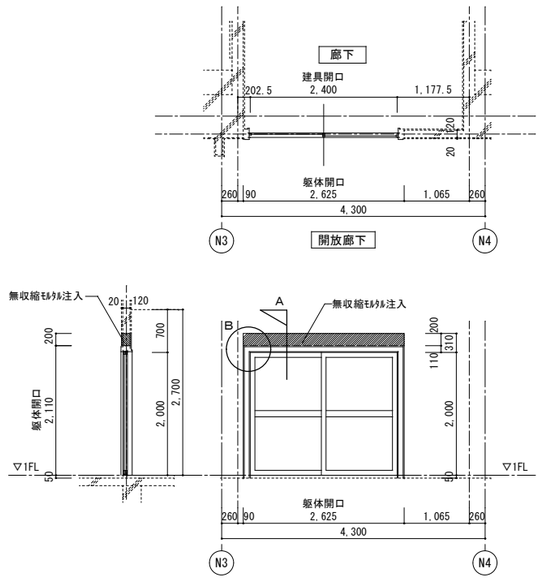
01 北校舎1 ＳＤ－１→ＡＤ－１０１開口拡張 躯体改修詳細図

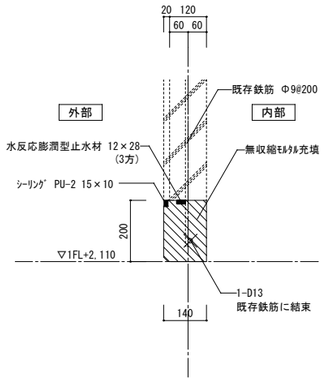
A1:1/50
A3:1/100

改修前

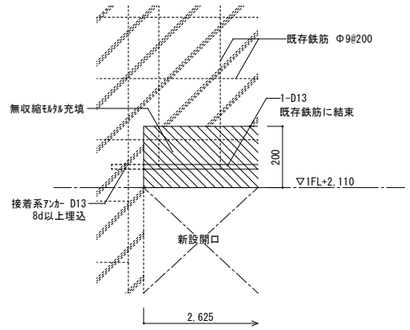


改修後





A断面詳細図 1/10

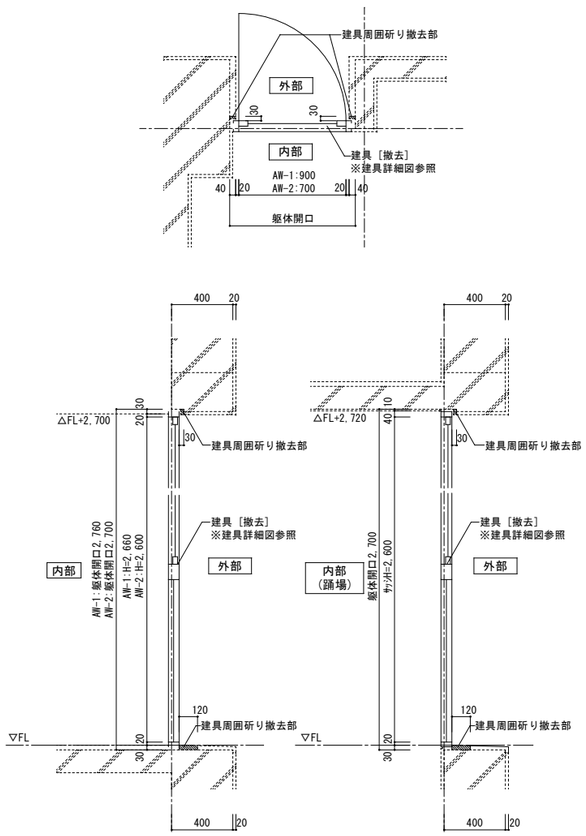


B部詳細図 1/10

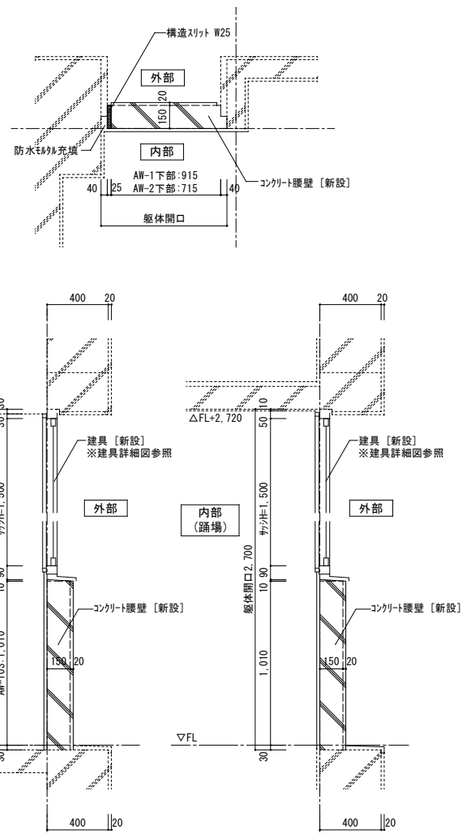
02 北校舎2 ＡＷ－１・２→ＡＷ－１０２・１０３ｺﾝｸﾘｰﾄ腰壁 躯体改修詳細図

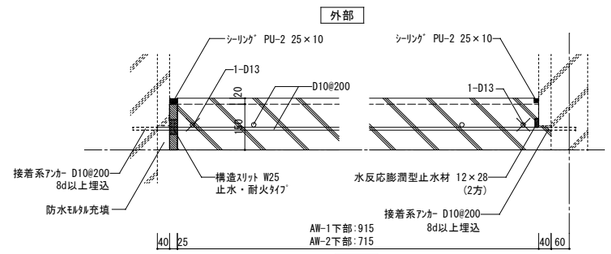
A1:1/20
A3:1/40

改修前

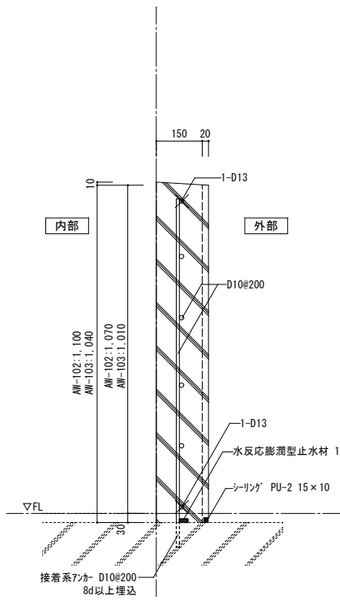


改修後

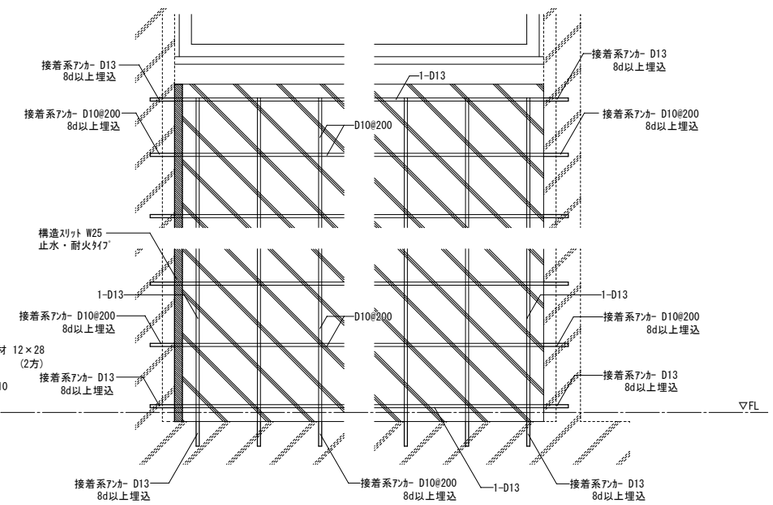




平面詳細図 1/10



断面詳細図 1/10



立面詳細図 1/10

凡　例			
----------	既存のままの部分を示す		

注　記

1)ｺﾝｸﾘｰﾄ・ﾓﾙﾀﾙ・ﾀｲﾙの斫り撤去は、 ｶｯﾀｰ入れにより残置部分と縁切りのこと。
2)建具周囲の仕上撤去・復旧については、建具詳細図を参照のこと。

設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅰ期)		
図面名称	【改修前後】躯体改修詳細図		
縮　尺	A1:1/50 A3:1/100	年 月 2024.03	設計番号 / 図面番号 A－081
SOWA 一級建築士事務所 相和技術研究所 秋田事務所 宮城県知事登録 第22910116号	承認/赤沼 直幸	設計者/ 一級建築士 第284436号 赤沼 直幸	製図/ 西巻 裕太
	照査/佐々木 啓文		

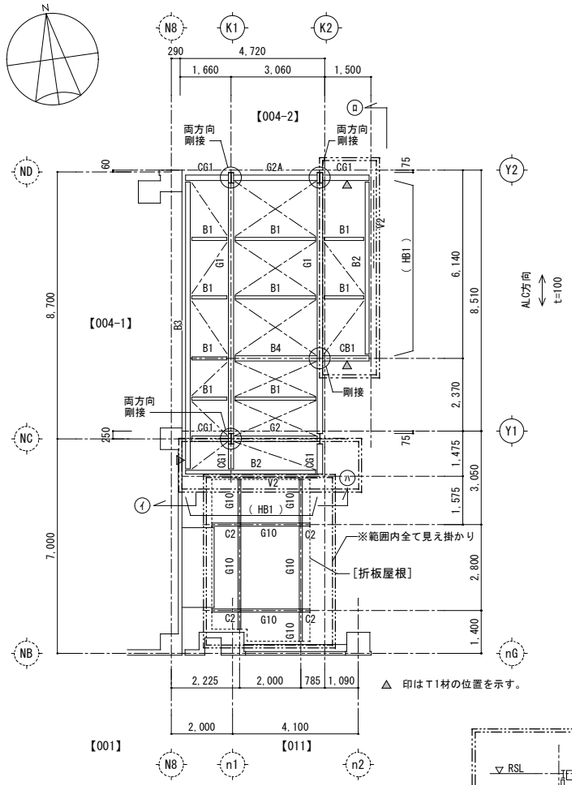
O 1　給食室2 鉄骨構造伏図、軸組図(参考図)

A1:1/100
A3:1/200

凡例

：鉄骨塗装範囲を示す

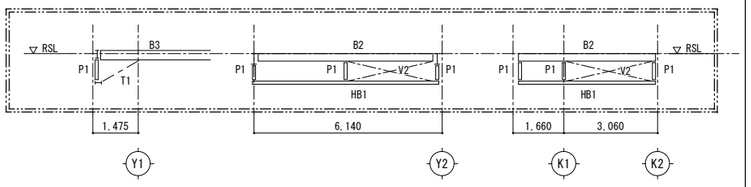
※塗装仕様は下記による。特記なき場合、見え隠れとする。
見え隠れ部:下地調整(RB種)の上 鉛ｸﾛﾑﾌﾘｰ錆止(工程C種)
見え掛かり部:下地調整(RB種) + 鉛ｸﾛﾑﾌﾘｰ錆止(工程C種)の上 DP(1級)塗



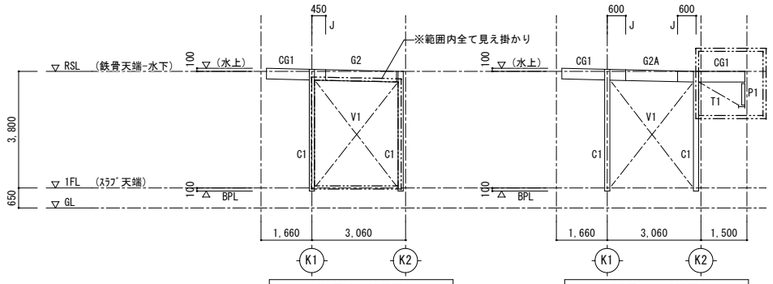
R階　梁伏図

部材リスト

符　号	部　材	端部仕口・備考
RG1	H - 350 ×175 × 7 ×11	
RG2	H - 350 ×175 × 7 ×11	X1側剛接、他端ﾋﾟﾝ
RG2A	H - 350 ×175 × 7 ×11	両端剛接
C1	H - 350 ×175 × 7 ×11	
B1	H - 100 ×100 × 6 × 8	
B2	H - 248 ×124 × 5 × 8	
B3	H - 300 ×150 × 6.5× 9	
B4	H - 350 ×175 × 7 ×11	端部 CB1に連続　連続端は全周溶接
HB1	H - 200 ×100 × 5.5× 8	横使い
CG1	H - 350 ×175 × 7 ×11	基端全周溶接
CB1	H - 350 ×175 × 7 ×11	基端全周溶接
CB2	H - 194 ×150 × 6 × 9	基端全周溶接
T1 （方杖材）	2L- 65 × 65 × 6	端部 GPL-6　HTB3-M16
V1	L - 65 × 65 × 6	
V2 （庇先端ﾌﾞﾚｰｽ）	I - M16 (ﾀｰﾝﾊﾞｯｸﾙ材)	GPL-6　HTB1-M16
屋根ﾌﾞﾚｰｽ	I - M16 (ﾀｰﾝﾊﾞｯｸﾙ材)	GPL-6　HTB1-M16
P1	2C- 100 × 50 × 20 × 3.2	
下屋 （折板屋根）部分		
G10	2C- 150 × 50 × 20 × 3.2	
C2	□- 150 × 150 × 6	

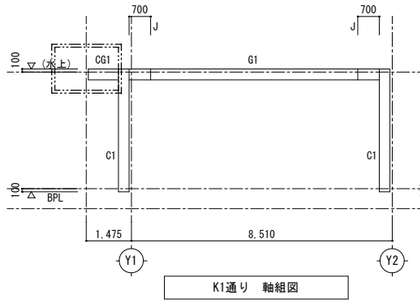


㋑ 断面図　㋺ 断面図　㋩ 断面図

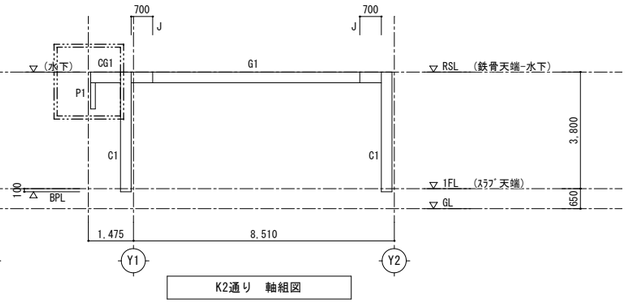


Y1通り　軸組図

Y2通り　軸組図



K1通り　軸組図



K2通り　軸組図

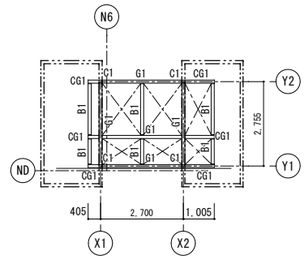
O 2　給食室3 鉄骨構造伏図、軸組図(参考図)

A1:1/100
A3:1/200

凡例

：鉄骨塗装範囲を示す

※塗装仕様は下記による。特記なき場合、見え隠れとする。
見え隠れ部:下地調整(RB種)の上 鉛ｸﾛﾑﾌﾘｰ錆止(工程C種)
見え掛かり部:下地調整(RB種) + 鉛ｸﾛﾑﾌﾘｰ錆止(工程C種)の上 DP(1級)塗

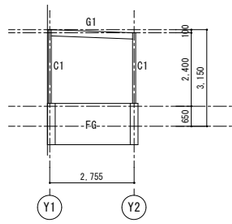


梁伏図

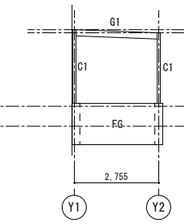
部材ﾘｽﾄ

符号	寸法
C1	STKR 100×100×3.2
G1	STKR 200×100×4.5
CG1	STKR 200×100×4.5
B1	STKR 100×100×3.2
ﾌﾞﾚｰｽ	M12

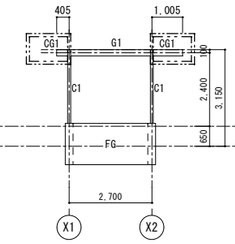
※本図は、目視可能な部分を基に仮定した図面である。



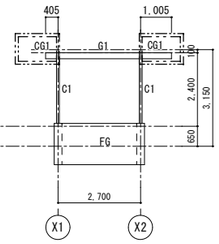
X1通り軸組図



X2通り軸組図



Y1通り軸組図

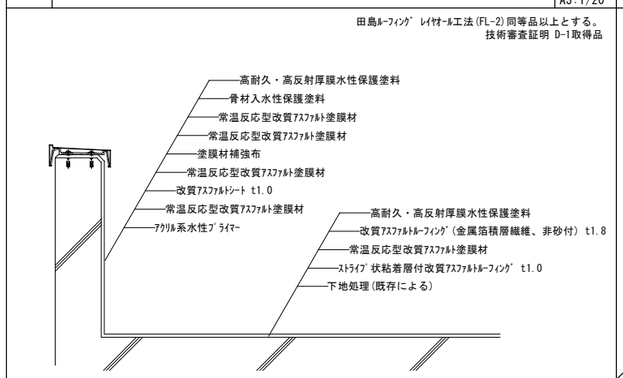


Y2通り軸組図

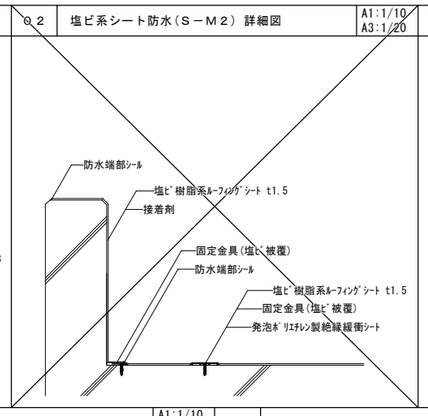
設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ｉ期)
図面名称	鉄骨構造図(参考図)
縮　尺	A1:1/100 A3:1/200
年　月	2024.03
設計番号	
図面番号	A －082
承認/赤沼 直幸	設計者/一級建築士 第284436号 赤沼 直幸
照査/佐々木 啓文	製図/西巻 裕太

SOWA 一級建築士事務所 株式会社 相和技術研究所 宮城県知事登録 第22910116号

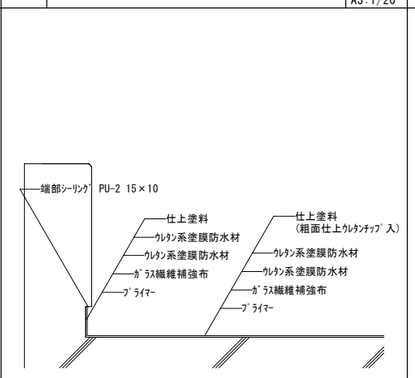
０１ アスファルト防水（Ｄ－１、常温複合工法） 詳細図 A1:1/10 A3:1/20



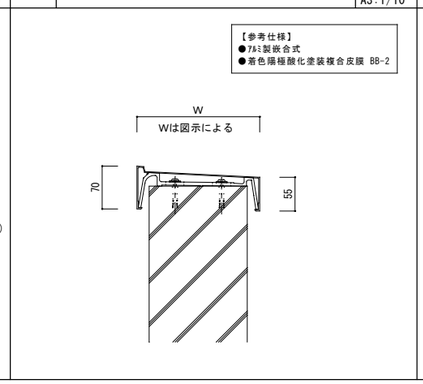
０２ 塩ビ系シート防水（Ｓ－Ｍ２） 詳細図 A1:1/10 A3:1/20



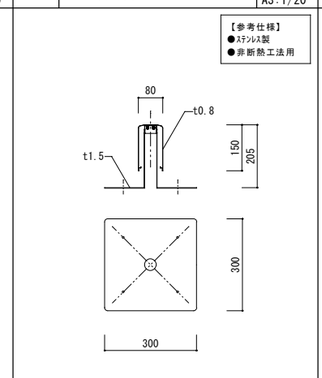
０３ ウレタン系塗膜防水（Ｘ－２） 詳細図 A1:1/10 A3:1/20



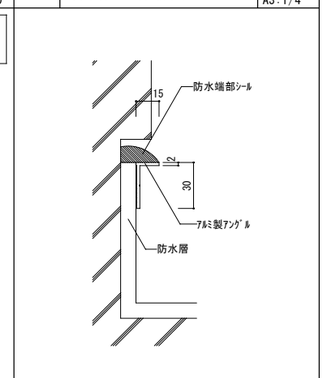
０４ アルミ笠木 詳細図 A1:1/5 A3:1/10



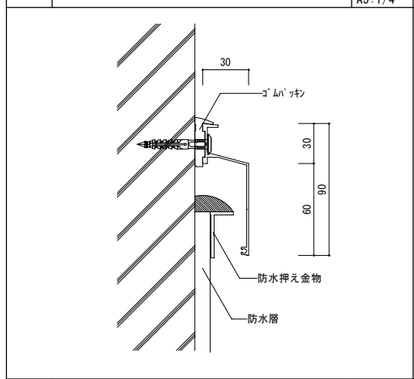
０５ 脱気筒 詳細図 A1:1/10 A3:1/20



０６ 防水押え金物 詳細図 A1:1/2 A3:1/4

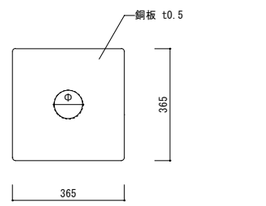


０７ 水切金物 詳細図 A1:1/2 A3:1/4



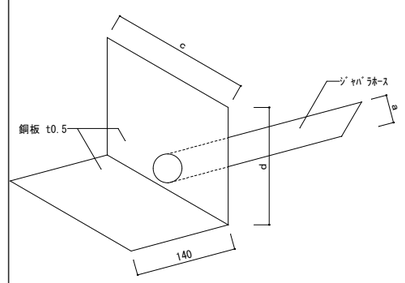
０８ 改修用鋼製タテ引きドレン 詳細図 A1:1/10 A3:1/20

既存ﾄﾞﾚﾝｻｲｽﾞ	改修用ﾄﾞﾚﾝｻｲｽﾞ
Φ80用	Φ74
Φ100用	Φ95

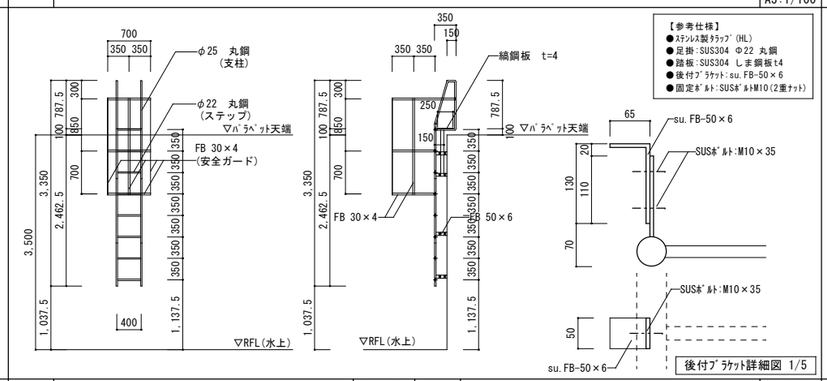


０９ 改修用鋼製ヨコ引きドレン 詳細図 A1:1/10 A3:1/20

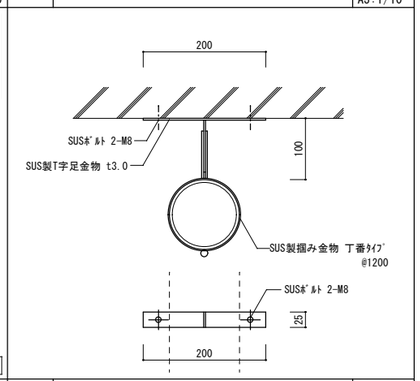
既存ﾄﾞﾚﾝｻｲｽﾞ	改修用ﾄﾞﾚﾝｻｲｽﾞ		
	a	c	d
Φ80用	73	300	160
Φ100用	86	300	175



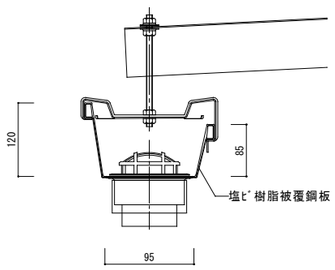
１０ SUS製あと施工タラップ 詳細図 A1:1/50 A3:1/100



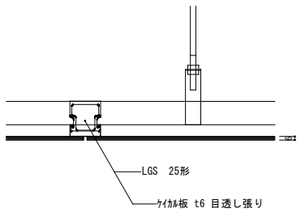
１１ 竪樋SUS製支持金具 詳細図 A1:1/5 A3:1/10



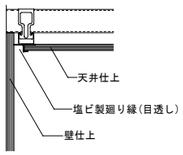
１２ 軒樋 詳細図 A1:1/5 A3:1/10



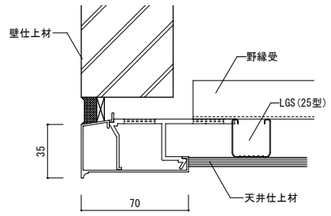
１３ ケイカル板（目透し） 詳細図 A1:1/5 A3:1/10



１４ 廻り縁 詳細図 A1:1/5 A3:1/10

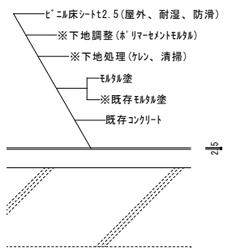


１５ アルミ水切金物 詳細図 A1:1/2 A3:1/4

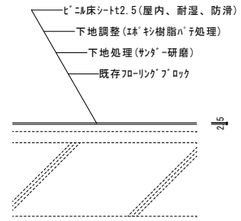


１６ 屋外ビニル床シート 詳細図 A1:1/5 A3:1/10

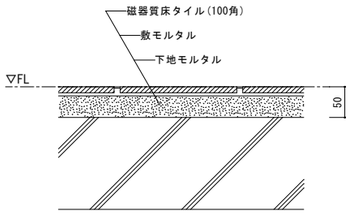
※は既存ﾓﾙﾀﾙを撤去しない場合に適用とする



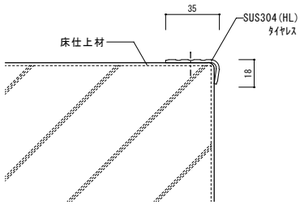
１７ 屋内ビニル床シート 詳細図 A1:1/5 A3:1/10



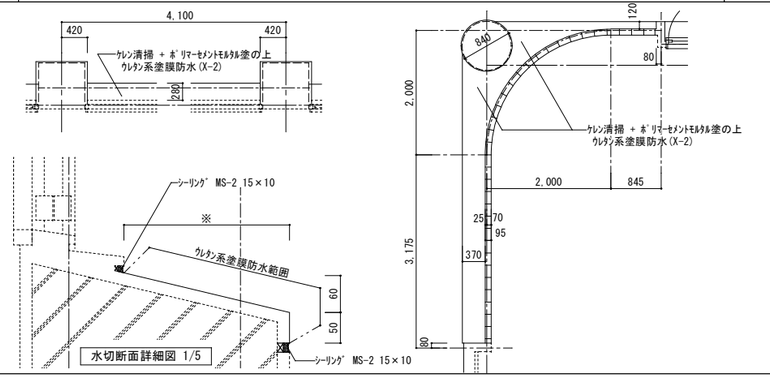
１８ 床タイル 詳細図 A1:1/5 A3:1/10



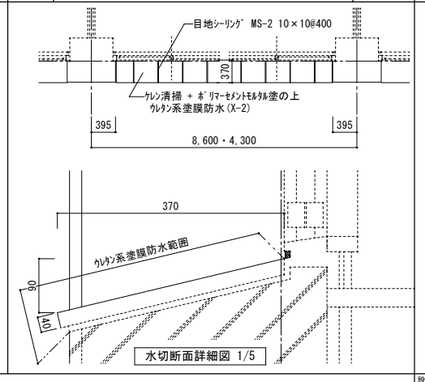
１９ SUS製ノンスリップ 詳細図 A1:1/2 A3:1/4



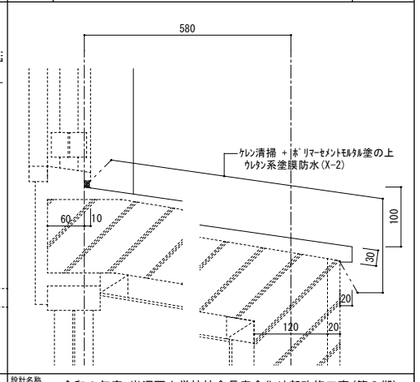
２０ 窓台水切Ａ 詳細図 A1:1/50 A3:1/100



２１ 窓台水切Ｂ 詳細図 A1:1/50 A3:1/100



２２ 窓台水切Ｃ 詳細図 A1:1/5 A3:1/10

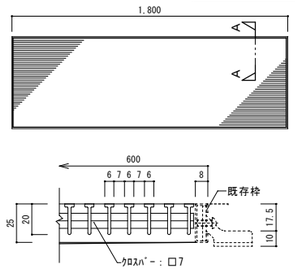


設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事（第Ｉ期）			
図面名称	雑詳細図1			
縮尺	A1：図示 A3：図示	年月 2024.03	設計番号	図面番号 A－083
SOWA	一級建築士事務所 相和技術研究所	承認/赤沼 直幸	設計者/ 一級建築士 第284436号 赤沼 直幸	製図/ 西巻 裕太
	宮城県知事登録 第22910116号	照査/佐々木 啓文		

２３ 靴拭きマット 詳細図

A1:1/20
A3:1/40

【参考仕様】
- 靴拭きﾏｯﾄ SUS304
- ﾒｲﾝﾊﾞｰ(ﾛｰﾚｯﾄ加工) t2.0
  隙間7mm SUS304
- ｸﾛｽﾊﾞｰ □7 SUS304

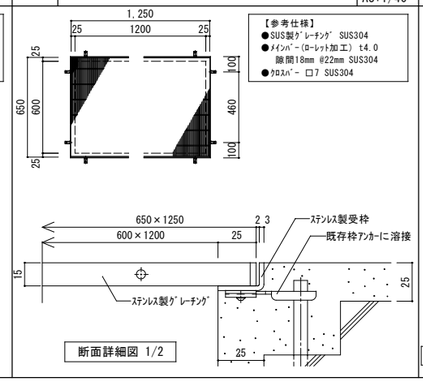


靴拭きﾏｯﾄ詳細図 1/2

２４ 靴洗いSUS製グレーチング 詳細図

A1:1/20
A3:1/40

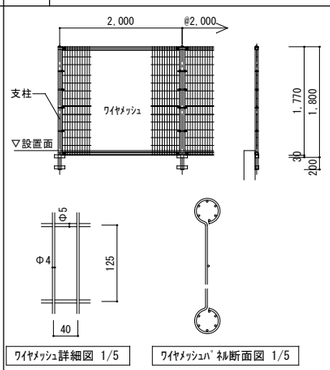
【参考仕様】
- SUS製ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ SUS304
- ﾒｲﾝﾊﾞｰ(ﾛｰﾚｯﾄ加工) t4.0
  隙間18mm @22mm SUS304
- ｸﾛｽﾊﾞｰ □7 SUS304



断面詳細図 1/2

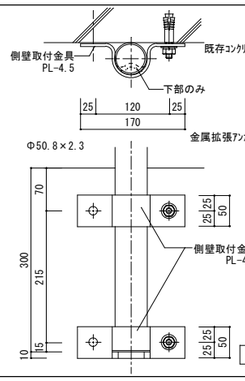
２５ 高耐食スチールメッシュフェンス 詳細図

A1:1/20
A3:1/40



ﾜｲﾔﾒｯｼｭ詳細図 1/5

ﾜｲﾔﾒｯｼｭﾊﾟﾈﾙ断面図 1/5

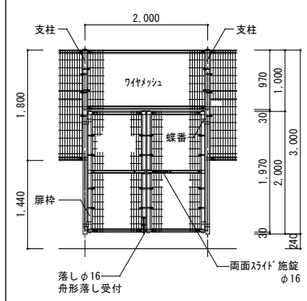


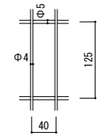
側壁取付金具 詳細図 1/5

【参考仕様】
- 仕上共通：
  亜鉛・ｱﾙﾐ・ﾏｸﾞﾈｼｳﾑ合金めっき
  ＋ 高耐候性樹脂粉体塗装
- 支柱：STK400 Φ50.8×2.3
- ﾜｲﾔﾒｯｼｭ：ﾊｲﾃﾝｼｮﾝ線 Φ4・Φ5
  40×125ﾒｯｼｭ
- 側壁取付金具：溶融亜鉛ﾒｯｷの上
  高耐候性樹脂粉体塗装

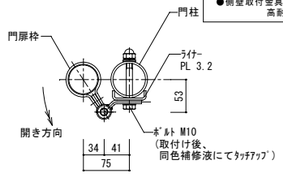
２６ 高耐食スチールメッシュ門扉 詳細図

A1:1/20
A3:1/40





ﾜｲﾔﾒｯｼｭ詳細図 1/5

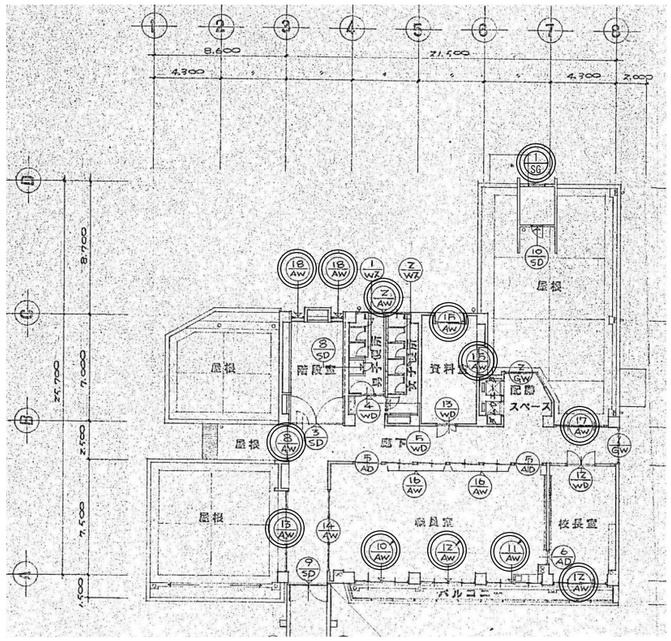


支柱・扉枠詳細図 1/5

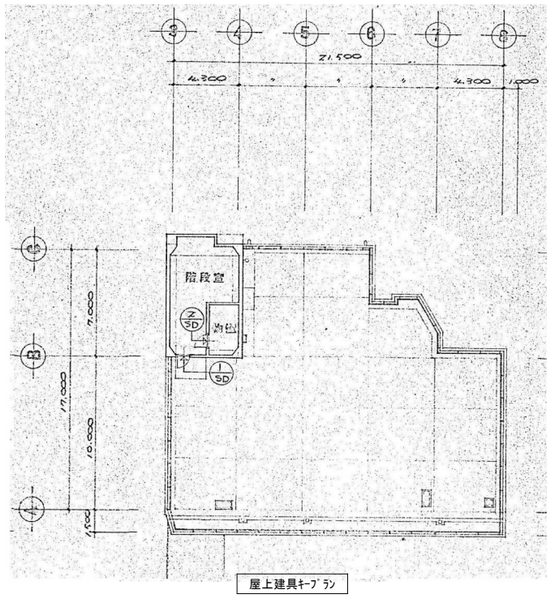
【参考仕様】
- 仕上共通：
  亜鉛・ｱﾙﾐ・ﾏｸﾞﾈｼｳﾑ合金めっき
  ＋ 高耐候性樹脂粉体塗装
- 支柱：STK400 φ60.5×3.2
- 扉枠：STK400 Φ50.8×1.6
- ﾜｲﾔﾒｯｼｭ：ﾊｲﾃﾝｼｮﾝ線 Φ4・Φ5
  40×125ﾒｯｼｭ
- 側壁取付金具：溶融亜鉛ﾒｯｷの上
  高耐候性樹脂粉体塗装

設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ｉ期)				
図面名称	雑詳細図2				
縮 尺	A1:図示 A3:図示	年 月 2024.03	設計番号	図面番号	A －084
SOWA 一級建築士事務所 相和技術研究所 仙台市泉区 宮城県知事登録 第22910116号			承認/赤沼 直幸 照査/荒々木 啓文	設計者/ 一級建築士 第284436号 赤沼 直幸	製図/ 西巻 裕太

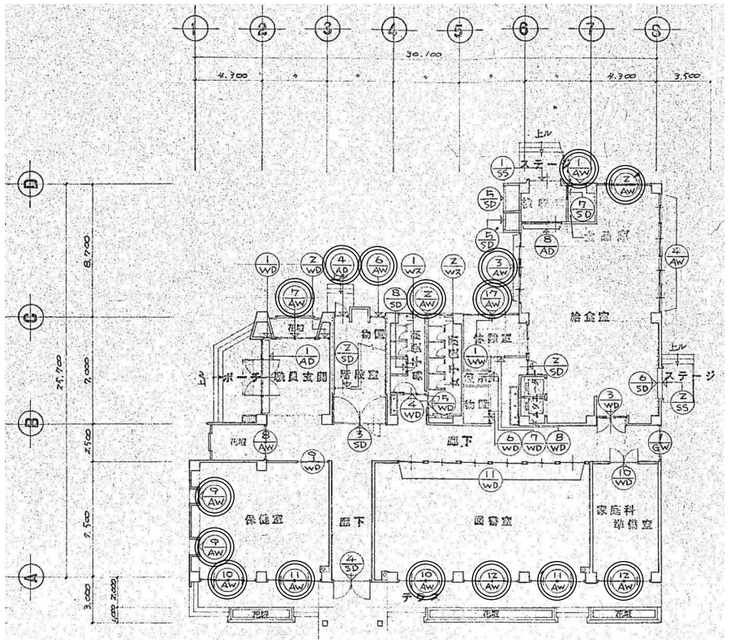
０１	北校舎1・給食室1 既存建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ	A1:1/200 A3:1/400



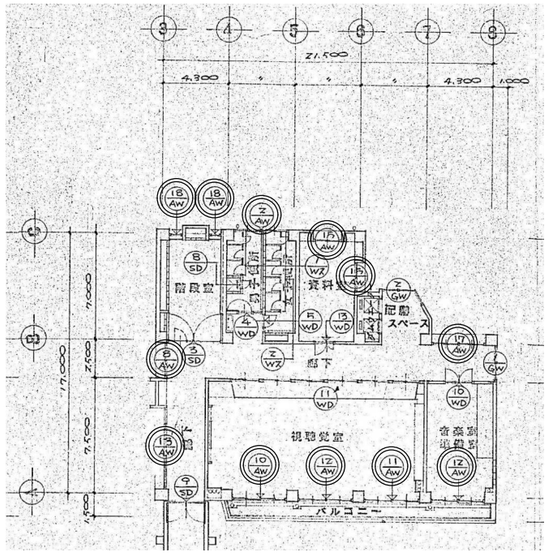
2階建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ



屋上建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ



1階建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ



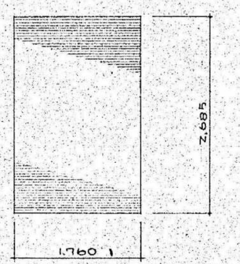
3階建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ

凡　例			
	:本図面における改修建具を示す。		

注　記

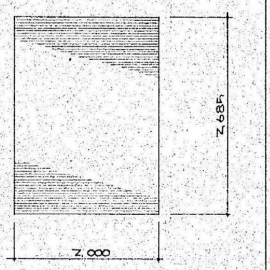
設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ｉ期)		
図面名称	北校舎1・給食室1 既存建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ (参考図)		
縮　尺 A1:1/200 A3:1/400	年 月 2024.03	設計番号	図面番号 A －085
SOWA 一般建築士事務所 総合建設業 株式会社相和技術研究所 宮城県知事登録 第22910116号	承認/赤沼 直幸	設計者/ 一級建築士 第284436号 赤沼 直幸	製図/ 西巻 裕太
	照査/髙々木 啓文		

(1/SS) 軽量シャッター(手動式)
北側校舎



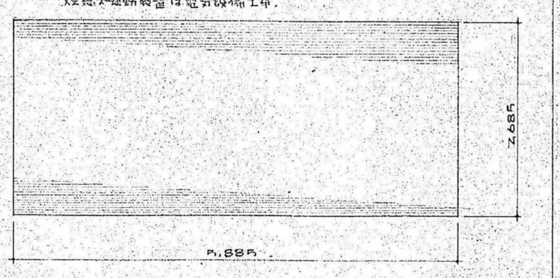
- 場所・個数：検収室　計1ヶ所
- 材料・塗装：鋼製　スラットt0.5
- 硝子：
- 金物：附属標準金物 ---

(2/SS) 軽量シャッター(手動式)
北側校舎



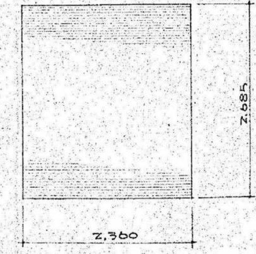
- 場所・個数：給食室　計1ヶ所
- 材料・塗装：同左
- 硝子：
- 金物：同左

(3/SS) 防煙シャッター(煙感知連動)
南側校舎
煙感知連動装置は電気設備工事.



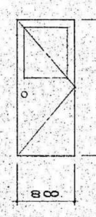
- 場所・個数：ホール　計1ヶ所
- 材料・塗装：鋼製　スラットt1.6　OP
- 硝子：
- 金物：(上部手動式)

([illegible]/S) 防煙シャッター(煙感知連動)
南側校舎
煙感知連動装置は電気設備工事.



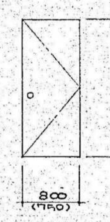
- 場所・個数：ホール　計1ヶ所
- 材料・塗装：同左
- 硝子：
- 金物：(プルアップ式)

(1/SD) 片開き額入フラッシュ戸
北側校舎



- 場所・個数：PH　計1ヶ所
- 材料・塗装：鋼製・見込86・OP
- 硝子：6.8MM ラワイヤー
- 金物：モノロック・丁番・ドアチェック

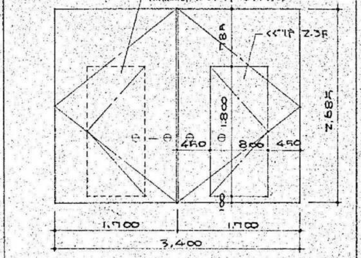
(2/SD) 片開きフラッシュ戸
北側校舎



( )内寸法は湯沸室

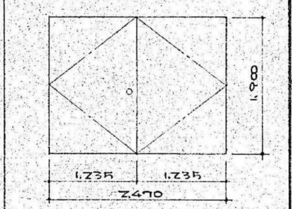
- 場所・個数：物置(階段室)・湯沸室3ヶ所
- 材料・塗装：同左
- 硝子：
- 金物：同左

(3/SD) 両開きフラッシュ戸(煙感知連動甲種防火戸)
北側校舎



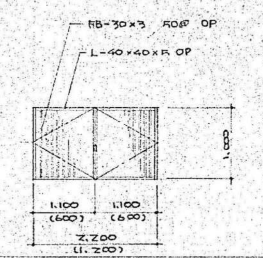
- 場所・個数：階段室(1~3F) 計3ヶ所
- 材料・塗装：鋼製・見込100・OP
- 硝子：
- 金物：ドアチェック・ケースハンドル

(4/SD) 両開きフラッシュ戸
北側校舎



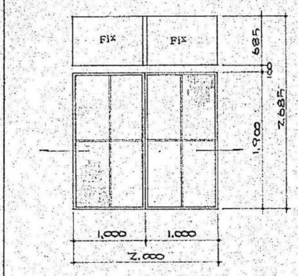
- 場所・個数：廊下(1F)　計1ヶ所
- 材料・塗装：鋼製・見込86　OP
- 硝子：
- 金物：モノロック・丁番・ドアチェック・フランス落し

(5/SD)(5'/SD) 両開きアングル戸
北側校舎
( )内寸法は強制気化装置室—(5'/SD)



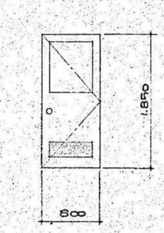
- 場所・個数：(プロパン庫 計1ヶ所)(強制気化装置室計1ヶ所)(給食室)
- 材料・塗装：OP
- 硝子：
- 金物：丁番・南京錠及び取付金具

(6/SD) ランマ付両引きアミ戸(ハンガー式)
北側校舎



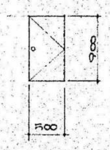
- 場所・個数：給食室　計1ヶ所
- 材料・塗装：鋼製・見込86・OP
- 硝子：3MM トーメイ
- 金物：ハンガーレール・トラックレール・ローラー ステンレス金網、引手

(7/SD) 片開き額入フラッシュ戸
北側校舎



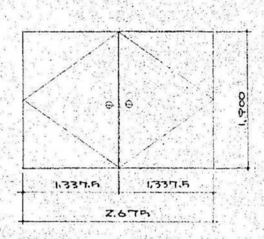
- 場所・個数：食品庫　計1ヶ所
- 材料・塗装：同左
- 硝子：4MM 型
- 金物：モノロック丁番ドアチェック

(8/SD) 片開き片面フラッシュ戸
北側校舎



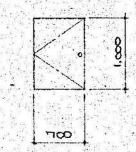
- 場所・個数：P.S(便所) 計3ヶ所
- 材料・塗装：鋼製・見込80・OP
- 硝子：
- 金物：丁番・キーハンドル

(9/SD) 両開きフラッシュ戸(煙感知連動甲種防火戸)
渡り廊下



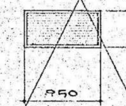
- 場所・個数：渡り廊下(2~3F) 計2ヶ所
- 材料・塗装：鋼製・見込100・OP
- 硝子：
- 金物：ドアチェック・ケースハンドル

(10/SD) 片開きフラッシュ戸
北側校舎



- 場所・個数：排風機室　計1ヶ所
- 材料・塗装：鋼製・見込86・OP
- 硝子：
- 金物：モノロック・丁番

(11/SD) ガラリ戸
北側校舎



- 場所・個数：排風機室　計1ヶ所

(12/SD) 片開き片面フラッシュ戸
南側校舎
(8/SD)に同じ

- 場所・個数：P.S(便所) 計3ヶ所
- 材料・塗装：鋼製・見込80・OP
- 硝子：
- 金物：丁番・キーハンドル

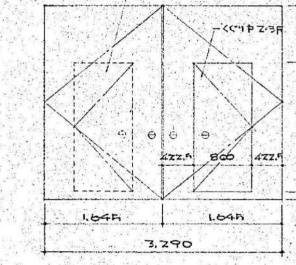
(13/SD) 両開きフラッシュ戸
南側校舎
(4/SD)に同じ

- 場所・個数：ホール(1F)計1ヶ所
- 材料・塗装：鋼製・見込86・OP
- 硝子：
- 金物：モノロック・丁番 ドアチェック・フランス落し

(14/SD) 片開きフラッシュ戸
南側校舎
(2/SD)に同じ

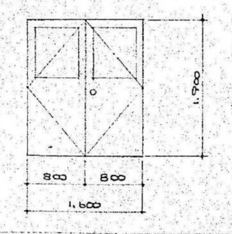
- 場所・個数：物置(階段室)計2ヶ所
- 材料・塗装：同左
- 硝子：
- 金物：モノロック・丁番 ドアチェック

(15/SD) 両開きフラッシュ戸(煙感知連動甲種防火戸)
南側校舎



- 場所・個数：階段室(1~3F) 計3ヶ所
- 材料・塗装：鋼製・見込100・OP
- 硝子：
- 金物：ドアチェック・ケースハンドル

(16/SD) 両開き額入フラッシュ戸
南側校舎

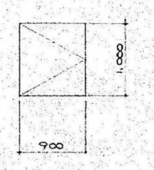


- 場所・個数：昇降口　計1ヶ所
- 材料・塗装：鋼製・見込86・OP
- 硝子：6.8MM ラワイヤー
- 金物：モノロック・丁番・ドアチェック・フランス落し

(17/SD) 片開き額入フラッシュ戸
南側校舎
(1/SD)に同じ

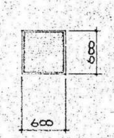
- 場所・個数：PH　計1ヶ所
- 材料・塗装：同左
- 硝子：同左
- 金物：モノロック・丁番・ドアチェック

(18/SD) 片開きアングル戸
南側校舎



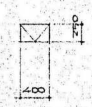
- 場所・個数：ダストシュート(取出し口)　計1ヶ所
- 材料・塗装：鋼製　見込41.5 FB-12・L-40×40×5 OP
- 硝子：
- 金物：丁番・打掛金具

(19/SD) ガラリ
南側校舎
防虫網戸付



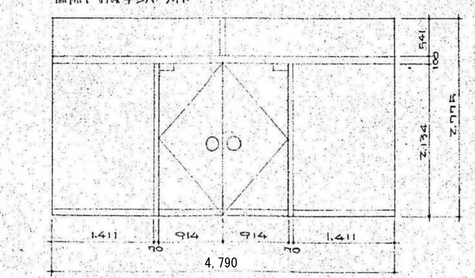
- 場所・個数：ダストシュート計1ヶ所
- 材料・塗装：鋼製・見込80・OP

(1/STD) ダストシュート投入口
南側校舎
(既製品)



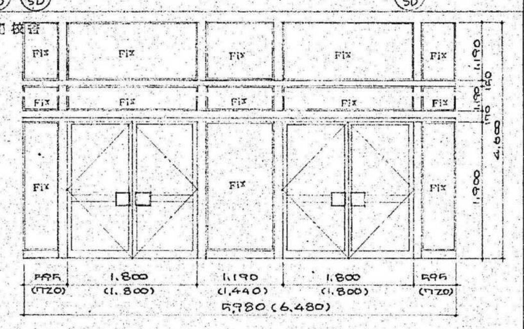
- 場所・個数：ダストシュート(1F~3F) 計3ヶ所
- 材料・塗装：ステンレス t1.0

(1/AD) ランマ付袖付両開き硝子戸 {(2/AD)(3/AD)はナシ}
北側校舎
両開戸のみテンパライト



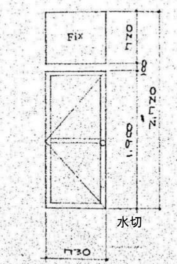
- 場所・個数：職員玄関　計1ヶ所
- 材料・塗装：アルミ　見込100
- 硝子：6.8MM ハーフライン　テンパライト 8MM
- 金物：フロアヒンジ、押板・本締錠

(20/SD)(20'/SD) ランマ付袖付両開き硝子戸，( )内寸法は(20'/SD)
南側校舎



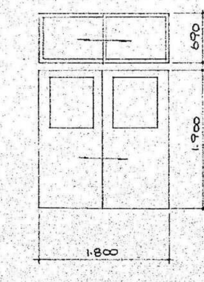
- 場所・個数：昇降口　20/SD 計1ヶ所，20'/SD 計1ヶ所.
- 材料・塗装：鋼製・見込86・OP　・　嵌め殺し窓(ガスケット工法)
- 硝子：6.8MM ハーフライン　5MM トーメイ(ランマ)
- 金物：丁番・押板・フランス落し・フロアヒンジ・本締錠

(4/AD) ランマ付片開き硝子戸
北側校舎
外部建具廻りシーリング［撤去・新設］



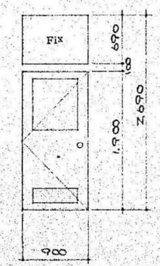
- 場所・個数：物置(階段室)　計1ヶ所
- 材料・塗装：アルミ　見込70
- 硝子：6.8MM ハーフライン
- 金物：モノロック 丁番 ドアチェック

(5/AD) ランマ付引き違い額入フラッシュ戸
北側校舎



- 場所・個数：職員室　計2ヶ所
- 材料・塗装：同左
- 硝子：6.8MM 型板アミ入
- 金物：附属標準金物、本締錠

(6/AD) ランマ付片開き額入フラッシュ戸
北側校舎

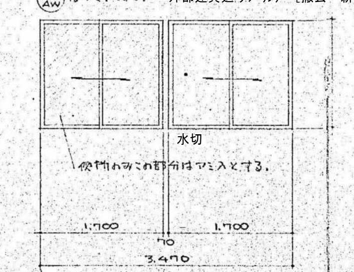


- 場所・個数：校長室　計1ヶ所
- 材料・塗装：アルミ　見込70 (ピンナップ貼)
- 硝子：同左
- 金物：ピボットヒンジ・モノロック・ドアチェック

(1/AW) 嵌め殺し窓
北側校舎
外部建具廻りシーリング［撤去・新設］

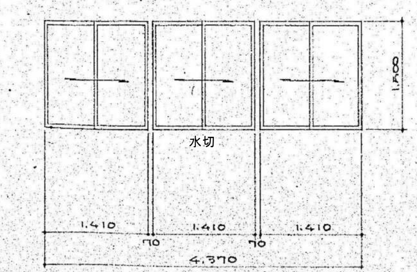
- 場所・個数：食品庫　計1ヶ所
- 材料・塗装：アルミ　見込70
- 硝子：3MM トーメイ

(2/AW)(2'/AW) 2連引違い窓
北側校舎
(2'/AW)はアミ戸付き.　外部建具廻りシーリング［撤去・新設］



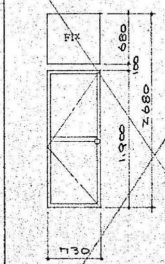
- 場所・個数：給食室・便所(1~3F) (2'/AW) 1ヶ所・(2/AW) 3ヶ所
- 材料・塗装：同左
- 硝子：(2'/AW…3MMトーメイ)(2/AW…4MM型・6.8MM型板アミ入(斜線部分))
- 金物：附属標準金物

(3/AW) 3連引違い窓
北側校舎
(アミ戸付)　外部建具廻りシーリング［撤去・新設］



- 場所・個数：給食室　計1ヶ所
- 材料・塗装：同左
- 硝子：3MM トーメイ
- 金物：附属標準金物

(7/AD) ランマ付片開き硝子戸
南側校舎



- 場所・個数：物置(階段室)　計1ヶ所
- 材料・塗装：アルミ見込70
- 硝子：6.8MM ハーフライン
- 金物：モノロック 丁番 ドアチェック

凡例

◎ :本図面における改修建具を示す。

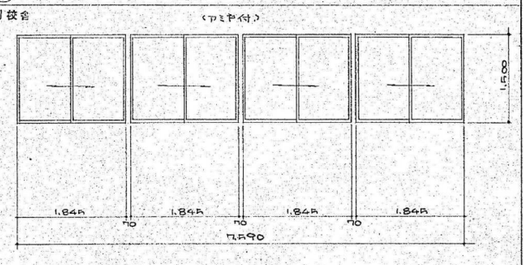
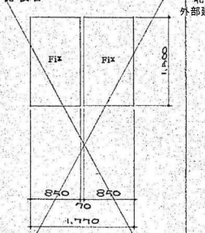
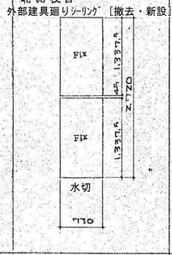
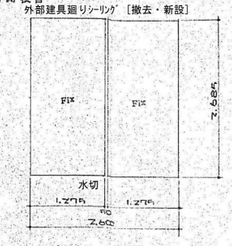
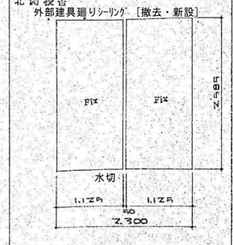
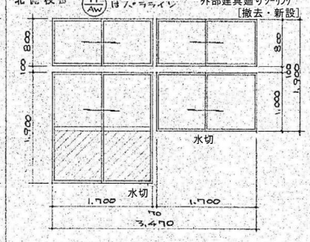
注記

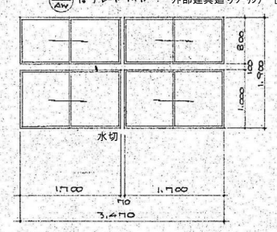
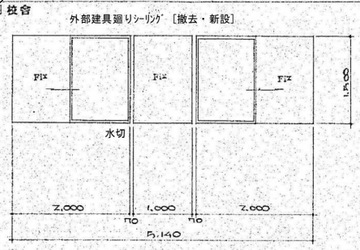
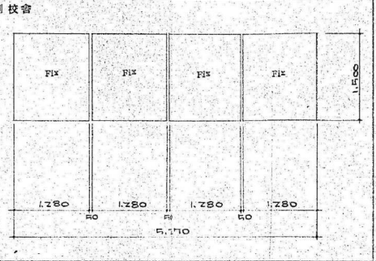
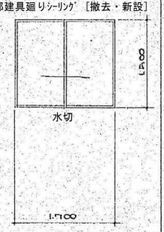
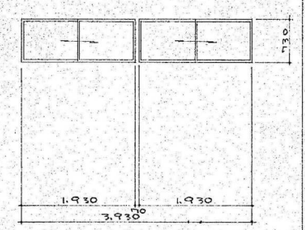
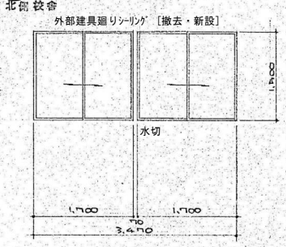
1)外部建具ｼｰﾘﾝｸﾞは撤去・新設とも、MS-2 15×10とする。
2)外部建具廻りｼｰﾘﾝｸﾞは4方を標準とし、「水切」の表記がある場合は、ｻｯｼ・水切間のｼｰﾘﾝｸﾞも改修対象とする。

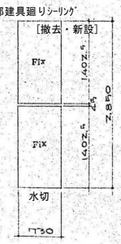
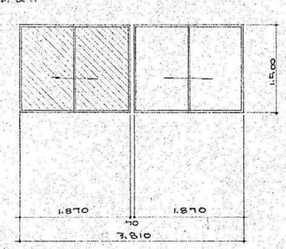
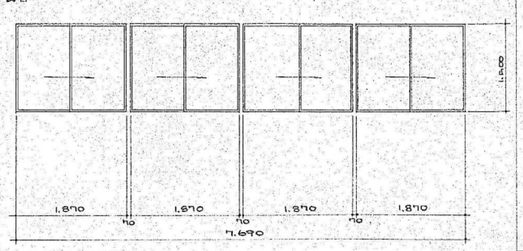
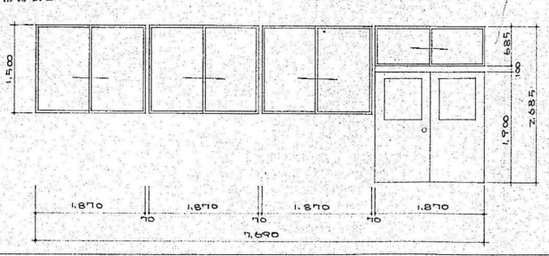
設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ｉ期)
図面名称	北校舎1・給食室1 既存建具表1 (参考図)
縮尺	A1:1/50 A3:1/100
年月	2024.03
設計番号	
図面番号	Ａ－086
承認	赤沼 直幸
照査	佐々木 啓文
設計者	一級建築士 第284436号 赤沼 直幸
製図	西巻 裕太

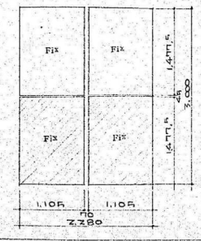
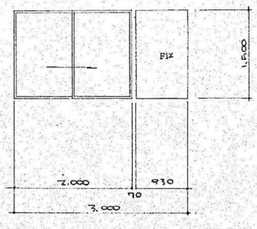
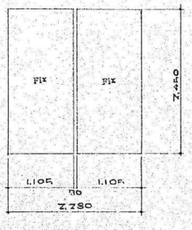
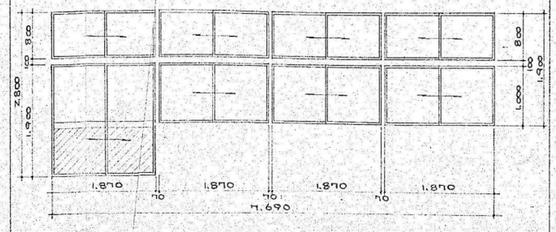
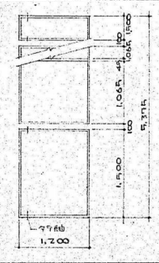
SOWA 一級建築士事務所 株式会社 相和技術研究所 仙台事務所 宮城県知事登録 第22910116号

A1:1/50
A3:1/100

名称	4 AW 4連引違い窓	5 AW 嵌め殺し窓	6 AW 嵌め殺し窓	7 AW 嵌め殺し窓	8 AW 嵌め殺し窓	9 AW 嵌め殺し窓	10 AW ランマ付引違い網戸付引き違い窓	11 AW ランマ付引き違い網戸付引き違い窓
姿図	北側校舎 (アミ戸付) 	北側校舎 	北側校舎 外部建具廻りシーリング [撤去・新設] 	北側校舎 外部建具廻りシーリング [撤去・新設] 	北側校舎 外部建具廻りシーリング [撤去・新設] 	北側校舎 外部建具廻りシーリング [撤去・新設]	北側校舎 10 AW はパラライン 外部建具廻りシーリング [撤去・新設]	北側校舎 11 AW はパラライン 外部建具廻りシーリング [撤去・新設] 
場所・個数	給食室 計1ヶ所	休憩室 計1ヶ所	物置(職員室) 計1ヶ所	職員玄関 計1ヶ所	ホール 計2ヶ所	保健室 計2ヶ所	保健室・図書室・職員室・視聴覚室 計4ヶ所	保健室・図書室・職員室・視聴覚室 計4ヶ所
材料・塗装	アルミ 見込70	同左	同左	同左	同左	同左	同左	同左
硝子	3MM トーメイ	同左	6.8MM パラライン	同左	同左	5MM トーメイ	10 AW…3MM トーメイ 6.8MM パラライン (斜線部分), 10' AW…6.8MM パラライン	11 AW…3MM トーメイ 6.8MM パラライン (斜線部分), 11' AW…6.8MM パラライン
金物	附属標準金物						附属標準金物	同左

名称	12 AW ランマ付2連引違い窓	13 AW 嵌め殺し窓付引き窓(バイパス窓)	14 AW 嵌め殺し窓	15 AW 引き違い窓	16 AW 引き違い窓	17 AW 2連引き違い窓
姿図	北側校舎 12' AW はプレートワイヤー 外部建具廻りシーリング [撤去・新設] 	北側校舎 外部建具廻りシーリング [撤去・新設] 	北側校舎 	北側校舎 外部建具廻りシーリング [撤去・新設] 	北側校舎 	北側校舎 外部建具廻りシーリング [撤去・新設] 
場所・個数	図書室・職員室・視聴覚室・家庭科準備室・校長室・音楽準備室 計6ヶ所	廊下(2~3F) 計2ヶ所	職員室 計1ヶ所	資料室 計4ヶ所	職員室 計2ヶ所	廊下 休憩室 計3ヶ所
材料・塗装	アルミ 見込70	同左	同左	同左	同左	同左
硝子	12 AW…3MM トーメイ 12' AW…6.8MM プレートワイヤー	3MM トーメイ	6.8MM パラライン	3MM トーメイ	6.8MM プレートワイヤー	3MM トーメイ
金物	附属標準金物	附属標準金物		附属標準金物	同左	同左

名称	18 AW 嵌め殺し窓	19 AW 2連引き違い窓	20 AW 4連引き違い窓	21 AW	22 AW 嵌め殺し窓	23 AW ランマ付面南き額入フラッシュ戸付引き違い窓
姿図	北側校舎 外部建具廻りシーリング [撤去・新設] 	南側校舎 	南側校舎 		南側校舎	南側校舎 
場所・個数	階段室 計4ヶ所	便所(1~3F) 計3ヶ所	廊下(1~3F) 計3ヶ所		ポンプ室 計2ヶ所	廊下(1~3F) 計3ヶ所
材料・塗装	アルミ 見込70	同左	同左		アルミ 見込70	同左
硝子	6.8MM パラライン	4MM型・6.8MM 型板アミ入 (斜線部分)	3MM トーメイ		6.8MM パラライン	3MM トーメイ
金物		附属標準金物	同左			

名称	24 AW	25 AW 嵌め殺し窓付引違い窓	26 AW 嵌め殺し窓	27 AW 嵌め殺し窓	28 AW ランマ付引き違い網戸付引き違い窓	1 SW 縦軸回転窓
姿図	南側校舎 	南側校舎 	南側校舎 	南側校舎	南側校舎 	渡り廊下 
場所・個数	昇降口 計1ヶ所	ホール(3F) 計2ヶ所	ホール(3F) 計1ヶ所	階段室 計4ヶ所	教室 計12ヶ所	渡り廊下 計12ヶ所
材料・塗装	アルミ 見込70	同左	同左	同左	同左	全回 額 見込80
硝子	5MM トーメイ・6.8MM パラライン(斜線部分)	3MM トーメイ	6.8MM パラライン	同左	3MM トーメイ・6MM プレートワイヤー(斜線部分)	3MM トーメイ
金物		附属標準金物				

凡例

:本図面における改修建具を示す。

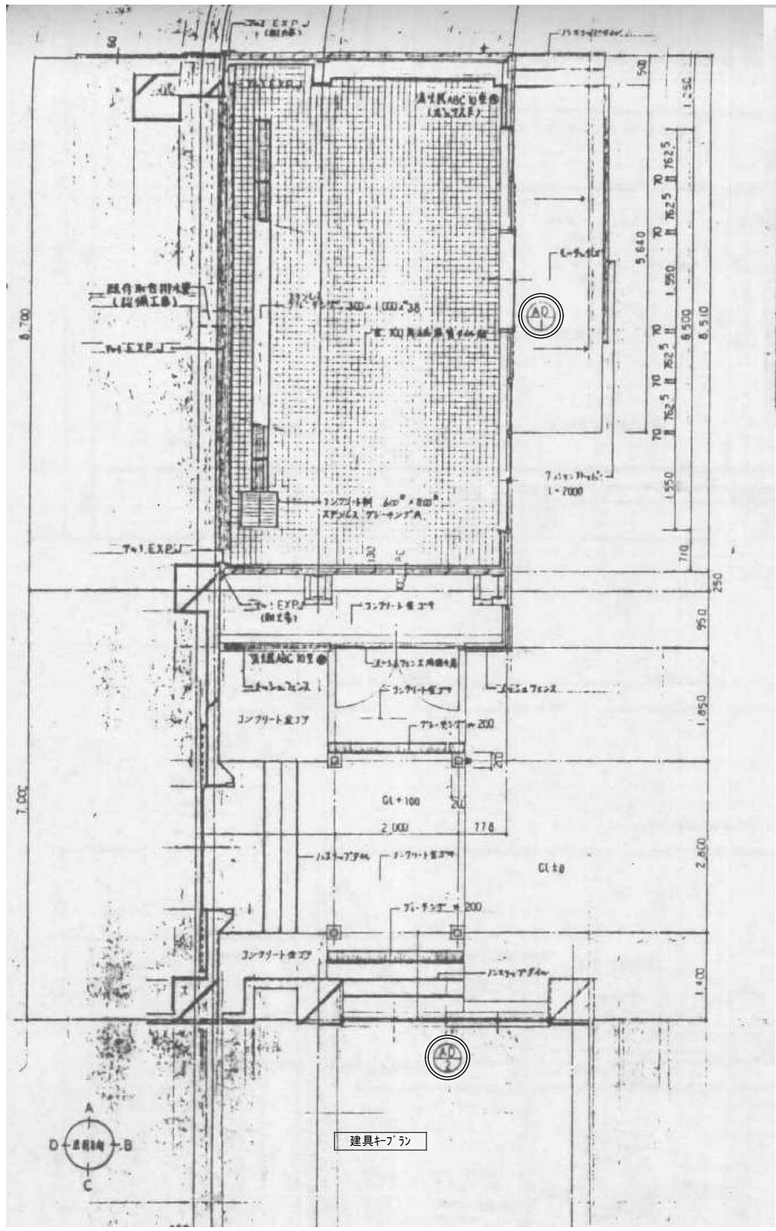
注記

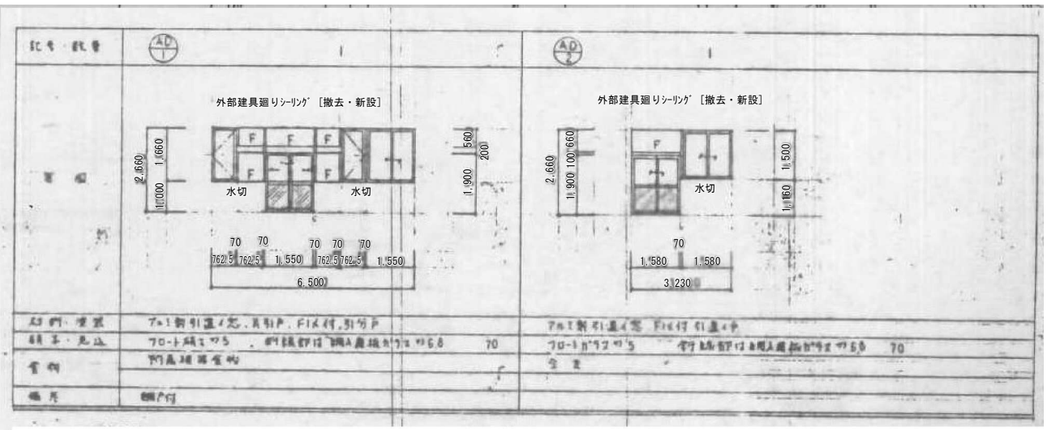
1)外部建具シーリングは撤去・新設とも、MS-2 15×10とする。
2)外部建具廻りシーリングは4方を標準とし、「水切」の表記がある場合は、サッシ・水切間のシーリングも改修対象とする。

設計名称	令和6年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅰ期)
図面名称	北校舎1・給食室1 既存建具表2 (参考図)
縮尺	A1:1/50 A3:1/100
年月	2024.03
設計番号	
図面番号	A－087
承認/赤沼 直幸	
設計者/	一級建築士 第284436号 赤沼 直幸
製図/	西巻 裕太
照査/佐々木 啓文	

SOWA 一般建築士事務所 相和技術研究所 仙台事務所 宮城県知事登録 第22910116号

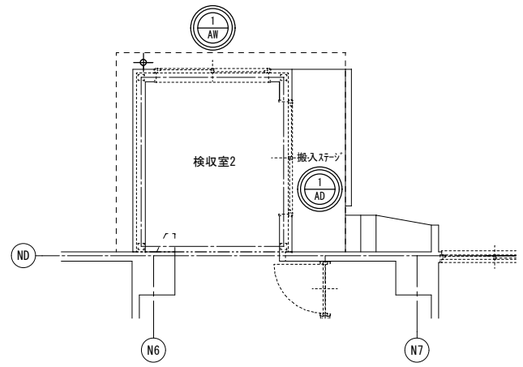
０１	給食室2 既存建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ・建具表	A1:1/50 A3:1/100

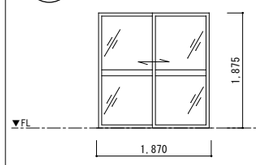
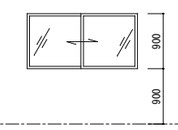




建具表 1/100

０２	給食室3 既存建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ・建具表	A1:1/50 A3:1/100



記号	外部建具廻りｼｰﾘﾝｸﾞ［撤去・新設］		外部建具廻りｼｰﾘﾝｸﾞ［撤去・新設］	
姿寸法				
形式・見込	既存ｱﾙﾐ製引違戸	70	既存ｱﾙﾐ製引違窓	70
室名・数量	給食室3 検収室2	1	給食室3 検収室2	1
仕上・硝子	［既存］	網入り型 6.8	［既存］	型 4.0
金物	［既存］		［既存］	
備考				

凡例

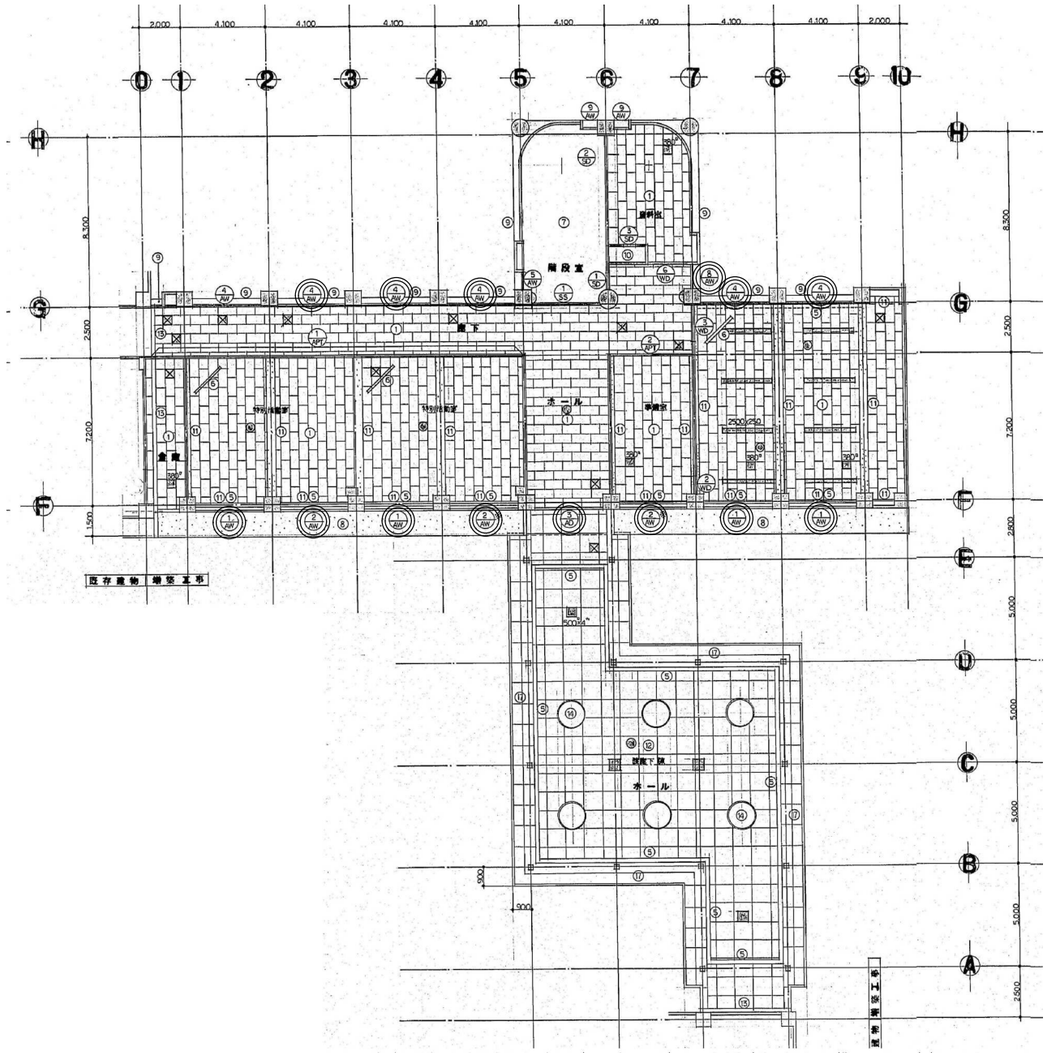
◎	:本図面における改修建具を示す。		

注記

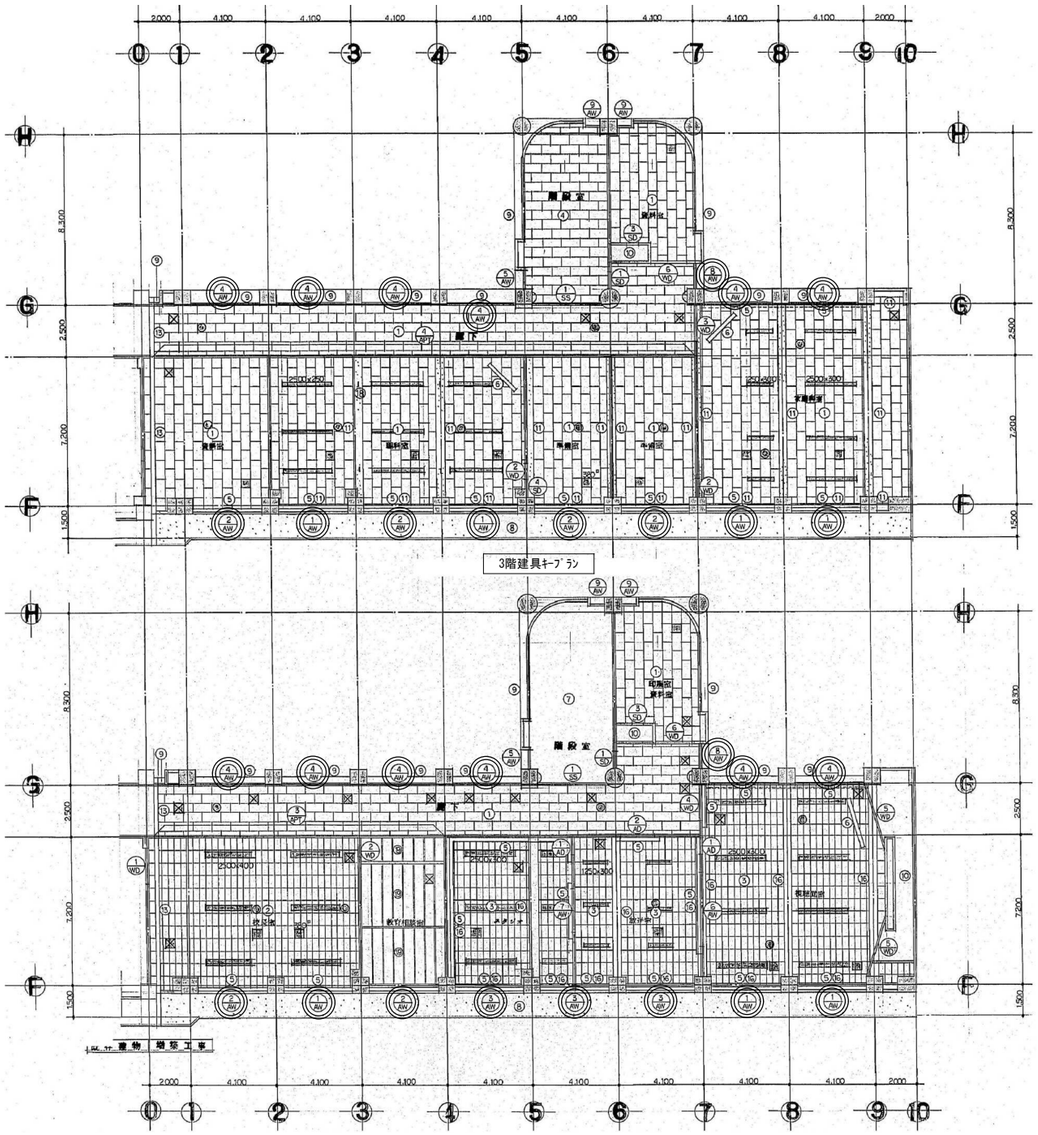
1)外部建具ｼｰﾘﾝｸﾞは撤去・新設とも、MS-2 15×10とする。
2)外部建具廻りｼｰﾘﾝｸﾞは4方を標準とし、「水切」の表記がある場合は、ｻｯｼ・水切間のｼｰﾘﾝｸﾞも改修対象とする。

設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅰ期)
図面名称	給食室2・3 既存建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ・建具表 (参考図)
縮尺	A1:1/50 A3:1/100
年月	2024.03
設計番号	
図面番号	A－088
承認/赤沼 直幸	
設計者/ 一級建築士 第284436号 赤沼 直幸	
製図/ 西巻 裕太	
照査/佐々木 啓文	

SOWA 一級建築士事務所 株式会社 相和技術研究所 宮城県知事登録 第22910116号



1階建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ



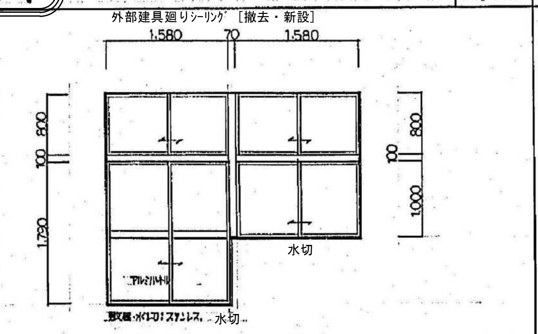
3階建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ

2階建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ

凡　例				注　記
	:本図面における改修建具を示す。			

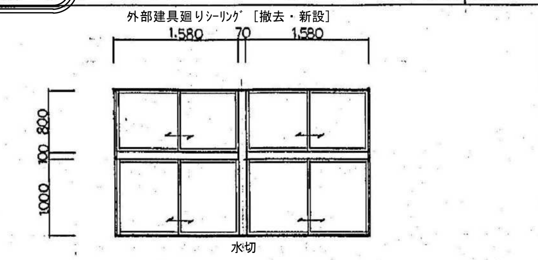
設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅰ期)
図面名称	北校舎2 既存建具ｷｰﾌﾟﾗﾝ（参考図）
縮　尺	A1:1/150　A3:1/300
年　月	2024.03
設計番号	
図面番号	A －089
一級建築士事務所 宮城県知事登録 第22910116号	株式会社 相和技術研究所
承認/赤沼 直幸	照査/荒々木 啓文
設計者/	一級建築士 第284436号 赤沼 直幸
製図/	西巻 裕太

AW・1　11ヵ



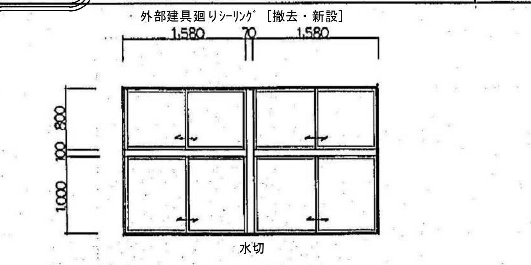
	AW・1
名称	アルミ製引違窓及引違戸（2段2連）
室名	特別活動室・図工室・校長室・視聴覚室・理科室・家庭科室・
硝子	（上部）磨板硝子t3　（下部）磨板硝子t5
見込・仕上	70　アルミアルマイト処理
備考	クレセント・ステンレス水切・アルミ水切・曲カアングル・腰アルミパネル

AW・2　9ヵ



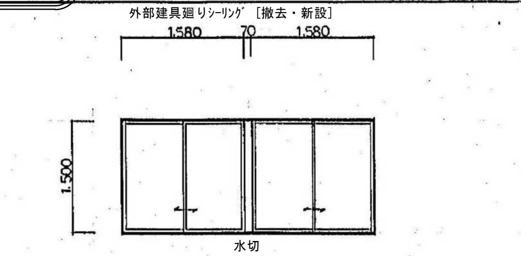
	AW・2
名称	同左
室名	特別活動室・各準備室・校長室・教育相談室・資料室・理科室・
硝子	同左　※印 網入磨板硝子t6.8（1階2ヶ所）
見込・仕上	同左
備考	クレセント・水切・曲カアングル・

AW・3　3ヵ



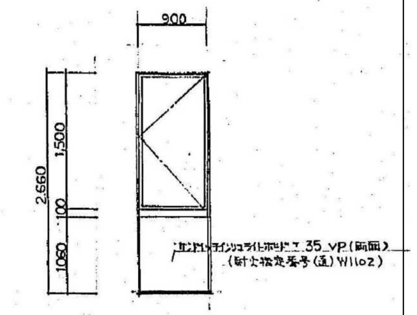
	AW・3
名称	アルミ製2段2段引違2連窓
室名	スタジオ・放送室
硝子	同左　内面上部：磨板硝子t3
見込・仕上	160　アルミアルマイト処理
備考	同左

AW・4　17



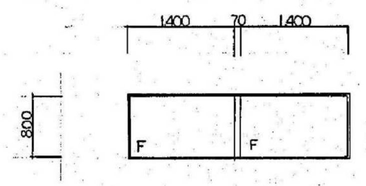
	AW・4
名称	アルミ製2連引違窓
室名	各廊下・資料室・図工室・視聴覚室・家庭科室
硝子	磨板硝子t5
見込・仕上	70　アルミアルマイト処理
備考	同左

AW・5　3ヵ



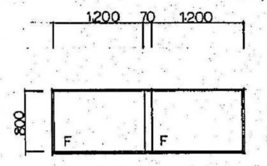
	AW・5
名称	アルミ製パネル付片開ガラス窓
室名	階段室
硝子	網入磨板硝子t6.8
見込・仕上	同左
備考	附属金物

AW・6　1ヵ



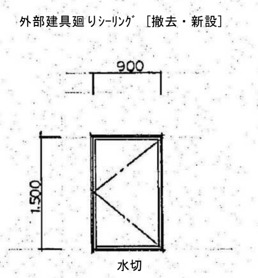
	AW・6
名称	アルミ製FIX窓
室名	放送室
硝子	磨板硝子t6
見込・仕上	70　アルミアルマイト処理
備考	曲カアングル（両面）

AW・7　1ヵ



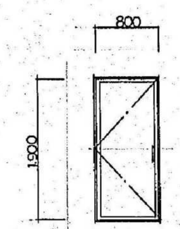
	AW・7
名称	同左
室名	同左
硝子	同左
見込・仕上	同左
備考	同左

AW・8　3ヵ



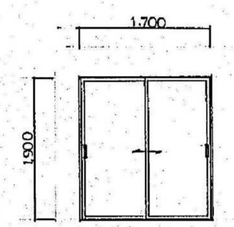
	AW・8
名称	アルミ製片開ガラス窓
室名	廊下
硝子	磨板硝子t5
見込・仕上	同左
備考	附属金物

AD・1　2ヵ



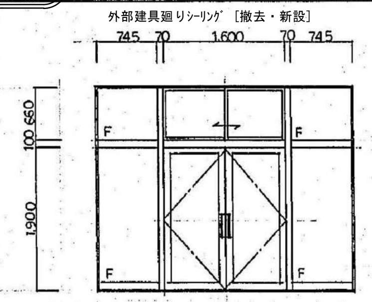
	AD・1
名称	アルミ製片開フラッシュ防音ドア
室名	同左
硝子	
見込・仕上	同左
備考	NHK丁番・グレモンハンドル・シリンダー錠・戸当
	扉内部、ロックウール充填（300kg/m³）、枠回り気密ゴム入

AD・2　1ヵ



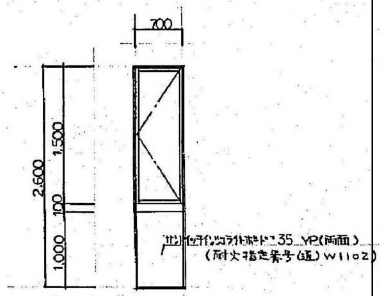
	AD・2
名称	アルミ製引違フラッシュ防音ドア
室名	同左
硝子	
見込・仕上	同左
備考	同左
	同左

AD・3　1ヵ



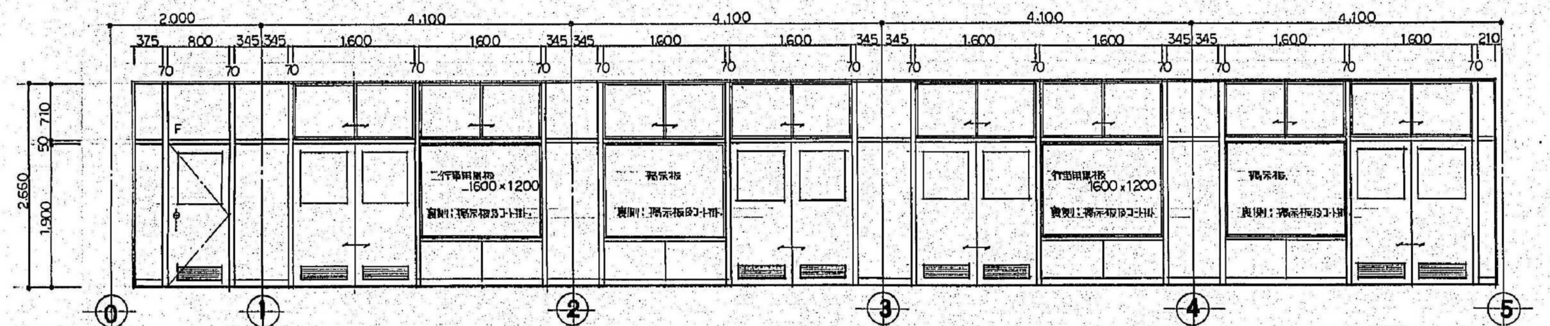
	AD・3
名称	アルミ製FIX及引違窓付両開ガラスドア
室名	ホール
硝子	アミ入磨板硝子t6.8
見込・仕上	100　アルミアルマイト処理
備考	三方アングル・ステンレス丁番・シリンダー錠・押棒・ドアチェック・クレセント・（ストッパーなし）

AW・9　6ヵ



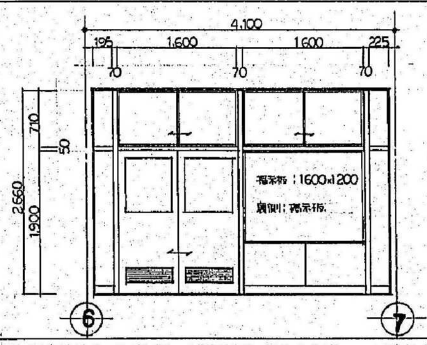
	AW・9
名称	アルミ製パネル付片開ガラス窓
室名	階段室
硝子	網入磨板硝子t6.8
見込・仕上	70　アルミアルマイト処理
備考	附属金物

APT・1　1ヵ



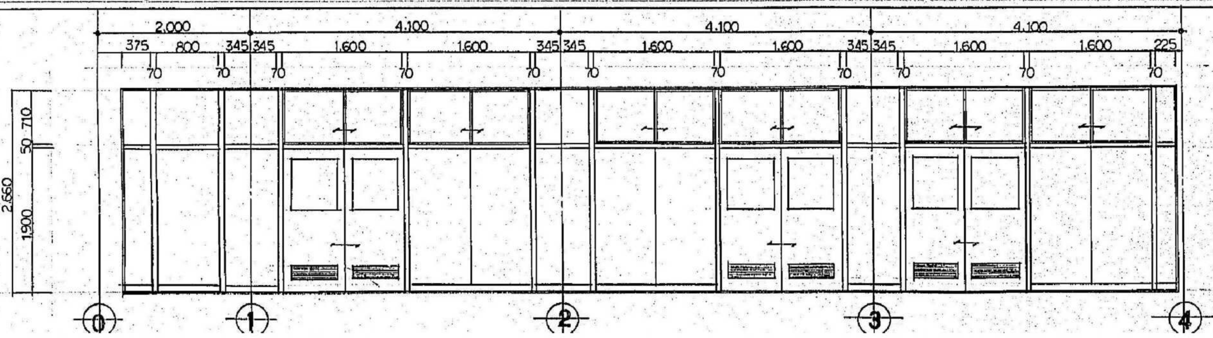
	APT・1
名称	アルミ製学校用間仕切
室名	1階廊下・特別活動室
硝子	（上部）磨板硝子t3　（下部）型板硝子t4
見込・仕上	70　アルミアルマイト処理、表面材仕上：ポリエステル合板t4
備考	附属金物・シリンダー錠・ドアチェック・ステンレス丁番・敷居ステンレス製・

APT・2　1ヵ



	APT・2
名称	同左
室名	図工準備室
硝子	同左
見込・仕上	同左
備考	同左

APT・3　1ヵ



	APT・3
名称	アルミ製学校用間仕切
室名	校長室・教育相談室
硝子	（上部）磨板硝子t3　（下部）型板硝子t4
見込・仕上	70　アルミアルマイト処理・表面材仕上：合板t5.5 下地クロス貼、裏側：ポリエステル合板t4
備考	附属金物：シリンダー錠、敷居：ステンレス製

凡例

:本図面における改修建具を示す。

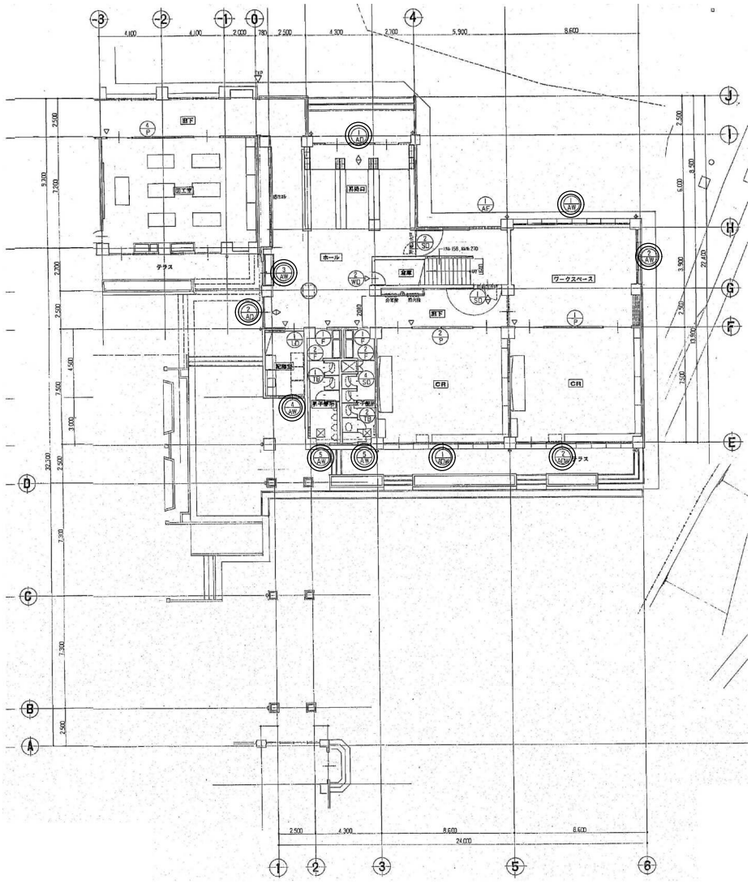
注記

1)外部建具シーリングは撤去・新設とも、MS-2 15×10とする。
2)外部建具廻りシーリングは4方を標準とし、「水切」の表記がある場合は、サッシ・水切間のシーリングも改修対象とする。

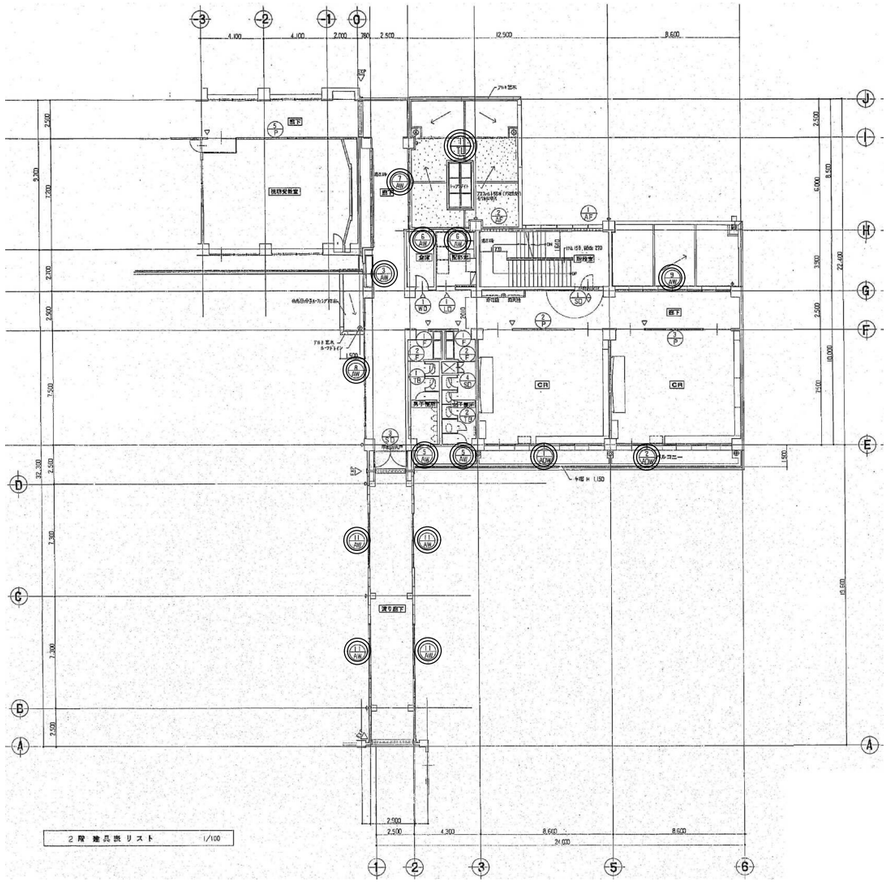
設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ｉ期)
図面名称	北校舎2 既存建具表1 (参考図)
縮尺	A1:1/50 A3:1/100
年月	2024.03
設計番号	
図面番号	Ａ－090
承認	赤沼 直幸
照査	佐々木 啓文
設計者	一級建築士 第284436号 赤沼 直幸
製図	西巻 裕太

SOWA 一級建築士事務所 株式会社 相和技術研究所 仙台事務所
宮城県知事登録 第22910116号

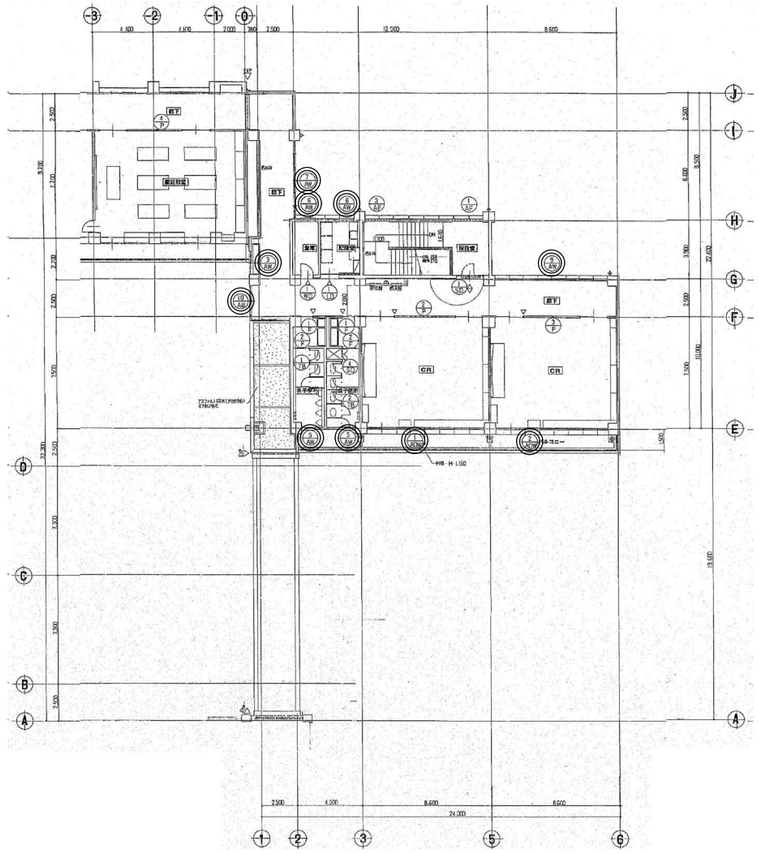
01	東校舎・渡り廊下2・3 既存建具キープラン	A1:1/200 A3:1/400



1階建具キープラン



2階建具キープラン



3階建具キープラン

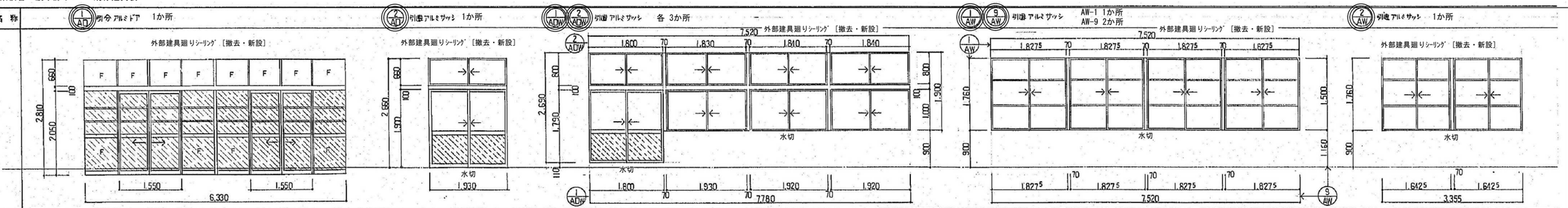
凡　例			
	:本図面における改修建具を示す。		

注　記

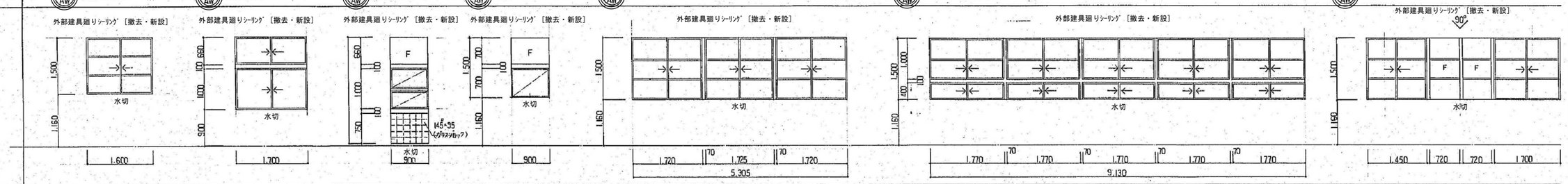
設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅰ期)		
図面名称	東校舎・渡り廊下2・3 既存建具キープラン (参考図)		
縮　尺	A1:1/200 A3:1/400	年　月	2024.03
設計番号		図面番号	A－091
一級建築士事務所 相和技術研究所 仙台事務所 宮城県知事登録　第22910116号	承認/赤沼 直幸	設計者/ 一級建築士 第284436号 赤沼 直幸	製図/ 西巻 裕太
	照査/佐々木 啓文		

A1:1/50
A3:1/100

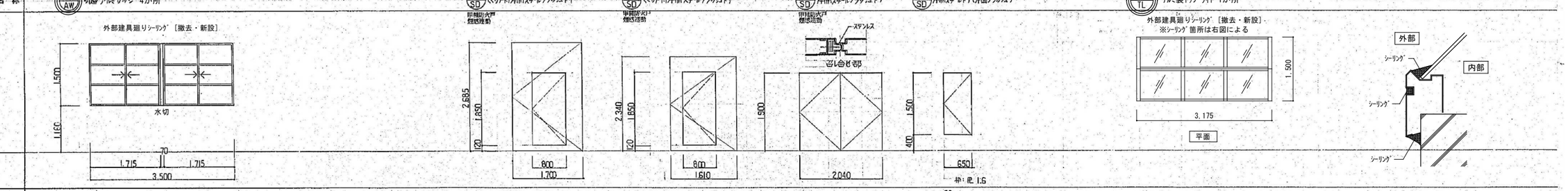
記号・名称	1/AD 明分アルミドア 1か所	2/AD 引違アルミサッシ 1か所	1/ADW 2/ADW 引違アルミサッシ 各3か所	1/AW 9/AW 引違アルミサッシ AW-1 1か所 AW-9 2か所	2/AW 引違アルミサッシ 1か所
見込	100	70	←	←	←
ガラス	ランマ FL5, 下部 ▨部分は 型板ガラス4	FL5, ドアの片側は型板ガラス4(▨部分)	←	FL5	←
仕上					
金物類	アングル, シリンダー錠, ステンレス下枠(フラットタイプ)	アングル, ステンレス下枠, 二重水切板, クレセント	アングル, 二重水切板, ステンレス下枠(出入口部分) クレセント	アングル, 二重水切板, クレセント	アングル, 二重水切板, クレセント



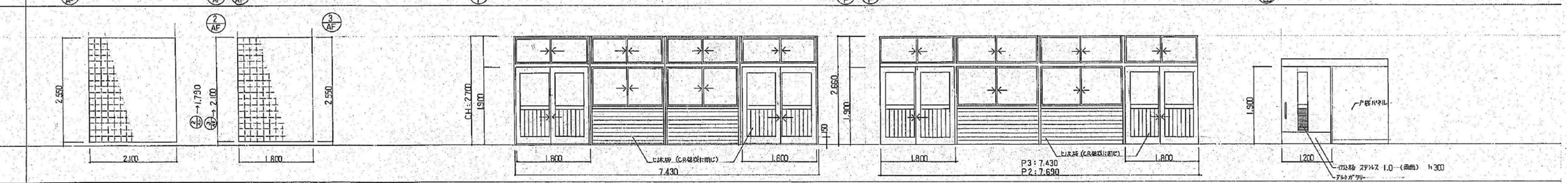
記号・名称	3/AW 引違アルミサッシ 3か所	4/AW 引違アルミサッシ 1か所	5/AW 突き出しアルミサッシ 6か所	6/AW 突き出しアルミサッシ 4か所	7/AW 引違アルミサッシ 2か所	8/AW 引違アルミサッシ 1か所	10/AW 引違アルミサッシ 1か所
見込	70	←	100	70	←	←	←
ガラス	FL5	←	R4	FL5	←	←	←
仕上							
金物類	アングル, 二重水切板, クレセント	←	←	←	←	←	←



記号・名称	11/AW 引違アルミサッシ 4か所	1/SD くり戸付片側スチールフラッシュドア 甲種防火戸 煙感知連動	2/SD くり戸付片側スチールフラッシュドア 甲種防火戸 煙感知連動	3/SD 片側スチールフラッシュドア 甲種防火戸 煙感知連動	4/SD 片側スチールドア(片面フラッシュ)	1/TL アルミ製トップライト 1か所
見込	70	120	←	←	50	
ガラス	FL5					
仕上		SOP	←	←	←	
金物類	外部 層間変位, クレセント, 二重水切板 内部 アングル	フロアヒンジ オートヒンジ ケースハンドル	←	フロアヒンジ ケースハンドル	分電盤錠	



記号・名称	1/AF ガラスブロック・アルミ枠	2/AF 3/AF ガラスブロック・アルミ枠	1/P 可動式木製パーティション	2/P 3/P 木製パーティション(固定)	1/LD パラリスチールドア(鋼製)
見込	100	100	105	105	
ガラス			FL3	FL3	FL3
仕上			木質仕上(枠:黒ッヤ樹脂塗装の上ヒノキ単板貼, 廻縁:スプルース, 敷居:枠材に同じ) 防虫防黴塗料塗り.	←	焼付塗装(パネルは@0.8 焼付化粧鋼板)
金物類	内部アルミ額縁(四方) 二重水切板	内部アルミ額縁(四方) 二重水切板	天井埋込トヨール, クレセント, シリンダー錠	クレセント, シリンダー錠, 扉下部コート材	スチール三方枠(t1.6) シリンダー錠 ドアハンドル(ステンレス)



凡例

:本図面における改修建具を示す。

注記

1)外部建具シーリングは撤去・新設とも、MS-2 15×10とする。
2)外部建具廻りシーリングは4方を標準とし、「水切」の表記がある場合は、サッシ・水切間のシーリングも改修対象とする。

設計名称	令和6年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅰ期)
図面名称	東校舎・渡り廊下2・3 既存建具表1 (参考図)
縮尺	A1:1/50 A3:1/100
年月	2024.03
図面番号	A－092
設計者	一級建築士事務所 株式会社 相和技術研究所 宮城県知事登録 第22910116号
承認/赤沼 直幸	一級建築士 第284436号 赤沼 直幸
照査/佐々木 啓文	
製図/	西巻 裕太

電気設備改修工事特記仕様書

Ⅰ．工事概要

1．工事名　令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅰ期)

2．工事場所　宮城県岩沼市松ケ丘一丁目17

3．建物概要

建物名称	構造	階数	延べ面積(㎡)	建築面積(㎡)	消防法施行令別表第一による用途区分	備考
校舎	RC造他	地上3F他	建築図による		7項	

4．工事種目（⊙印のついたものを適用する。）

工事種目 ＼ 建物別及び屋外	工事種別 校舎			屋外	備考
・電灯設備					
⊙動力設備	改修一式				
・電熱設備					
・雷保護設備					
・受変電設備					
・電力貯蔵設備					
・発電設備					
・構内情報通信網設備					
・構内交換設備					
・情報表示設備					
・映像・音響設備					
・拡声設備					
・誘導支援設備					
・テレビ共同受信設備					
・監視カメラ設備					
・駐車場管制設備					
・防犯・入退室管理設備					
・自動火災報知設備					
・中央監視制御設備					
・構内配電線路					外灯設備を含む
・構内通信線路					
・テレビ電波障害防除					
・その他工事	別紙仕様書による				

5．指定部分　※ なし　・ あり （工　期：令和　年　月　日）（対象部分：　）

6．概成工期　※ なし　・ あり （工事工期より　日前）

Ⅱ．特記仕様書

1．一般事項

（1）特記仕様書及び図面に記載されていない事項は，すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編，令和４年版），公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編，令和４年版），国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修の「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編，令和４年版）」による。

（2）機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合，機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事特記仕様書を適用する。なお，機械設備工事の特記仕様書は（　／　）図，建築工事の特記仕様書は（　／　）図による。

2．特記事項

（1）項目は番号に⊙印の付いたものを適用する。

（2）特記事項は，⊙印の付いたものを適用する。⊙印の付かない場合は，※印の付いたものを適用する。⊙印と※印の付いた場合は，共に適用するものとする。

章	項目	特記事項
一般共通事項	⑴ 適用基準等	※ 建設工事執行規則(昭和３９年３月宮城県規則第９号) ※ 宮城県建設工事元請・下請関係適正化要綱（最新版） ※ 営繕工事写真撮影要領（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　平成３１年版） ・ 宮城県建築工事写真撮影要領（宮城県土木部制定　平成１２年版）及び工事写真撮影ガイドブック＜電気設備工事編＞　（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　平成３０年版）
	⑵ 機材等	※ 本工事に使用する機材等は，設計図書に規定するもの，またはこれらと同等のものとする。ただし，これらと同等のものとする場合は，監督職員の承諾を受けるものとする。 ※ 本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては，「県有施設のシックハウスマニュアル」に留意し，揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。 ※ 使用する材料のホルムアルデヒド仕様は，日本産業規格及び日本農林規格のＦ☆☆☆☆規格品，壁装材料協会規格適合品または同等品，化学物質等製品安全データシート等にホルマリン不使用が明示されたものとする。
	⑶ 機材の品質・性能証明	本工事着手前に機器製作図を提出し，監督職員の承諾を受ける。 また，「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」（(一社)公共建築協会）によって所要の品質・性能を有することの評価を受けた材料・機材等を使用する場合は，評価書の写しを監督職員に提出するものとする。
	⑷ 保険	本工事着手前に工事目的物及び工事材料等を，本工事完了後引渡し期日まで火災保険及びその他の保険に付し，写しを監督職員に提出する。
	⑸ 雇用	本工事は，公共職業安定所の紹介する者の雇い入れに努める。
	⑹ 施工計画書・施工図等	工事の着手に先立ち，工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し，監督職員に提出する。 工事の施工に先立ち，工種別施工要領書及び施工図等を作成し，監督職員の承諾を受ける。
	⑺ 手続き	工事の着手，施工及び完成において，官公署その他関係機関への必要な諸手続き等は監督職員と協議の上，受注者が遅滞なく処理する。なお，当該手続きに係る費用は受注者の負担とする。
	⑻ 施工条件	別添の施工条件明示書による。
	⑼ 工事の一時中止	工事請負契約書第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は，工事の続行に備え中止期間中における工事現場の管理計画書を提出すること。本計画書には，中止時点における工事の出来高，搬入材料及び建設機械器具等の調書，中止期間中の体制及び工事現場の維持管理に関することを記載すること。
	⑽ 工事実績情報の登録(CORINS)	請負額が500万円以上の場合は，工事実績情報を登録する。 受注時，変更時及び完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け，登録手続きを行い，工事カルテの受領証を，監督職員に提出のこと。
	⑾ 事故報告	施工中に事故が発生した場合は，直ちに監督職員に通報するとともに，「事故報告書」を別に指示する期日までに監督職員に提出する。
	⑿ 電気保安技術者	電気工作物に係る工事においては，電気保安技術者を置くものとする。
	⒀ 工事用電力，水，他	本工事に必要な工事用電力，水などの費用は引渡まですべて受注者の負担とする。
	⒁ 工事用仮設物	構内につくることが　※ できる　・ できない
	⒂ 監督職員事務所	※ 設けない　・ 設ける（　号・・・建築工事）
	⒃ 足場，さん橋類	・ 別契約の関係請負者が設置したものは，無償で使用できる。　⊙ 本工事で設置する。 なお，枠組足場を設ける場合は，「手すり先行工法等に関するガイドライン」（厚生労働省平成21年4月改訂）によるものとし、二段手すり及び幅木の機能を有するものでなければならない。
	⒄ 工事表示板	※ 設置する　設置枚数　1枚 営繕工事における工事及びコスト表示要領(平成14年2月6日宮城県土木部営繕課･設備室制定)により設置する。 ・ 設置しない
	⒅ 工事用通路	※ 指定しない ⊙指定する（図示）
	19. 発生材の処理等	発生材の処理 ・ 引渡しを要するもの（　） ・ 特別管理産業廃棄物（ ・ ＰＣＢ使用機器　・　） 受入施設名・所在地 ： ・ 現場において再利用を図るもの（　） ・ 再資源化を図るもの （表：種類／受入施設名／所在地（km）／備考 — 記入なし） ・ その他安定型廃棄物（　） 受入施設名・所在地 ： ・ その他管理型廃棄物（　） 受入施設名・所在地 ： ＰＣＢを含有する機器等については飛散，流出がないように適切な場所に保管し，工事完了後監督職員に引き渡す。
	20. 残土処理	※ 構内指示の場所に敷き均し　・ 構内指示の場所に堆積　・ 構外搬出
	21. 耐震施工	耐震施工における設備機器の固定は，「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」（(独）建築研究所監修)による。本工事の施設分類は（ ・ 特定の施設　・ 一般の施設 ）で地域係数は1とし，設計用標準水平震度は下表のとおりとする。なお，（ ）内の数値は防震支持の機器の場合に適用する。

設計用標準震度 ＼ 設置場所	特定の施設 重要機器	特定の施設 一般機器	一般の施設 重要機器	一般の施設 一般機器
上層階，屋上及び塔屋	2.0 (2.0)	1.5 (2.0)	1.5 (2.0)	1.0 (1.5)
中層階	1.5 (1.5)	1.0 (1.5)	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)
一階及び地下層	1.0 (1.0)	0.6 (1.0)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)

重要機器類
・ 配電盤　・ 発電装置　・ ＵＰＳ装置　・ 直流電源装置
・ 交換機　・ 受信機（自立型）　・ 中央監視装置　・ 情報通信ラック
重量が１００kg以下の軽量な機器（標準仕様書の適用を受けるものは除く）においても，耐震を考慮し，据付等を行うものとするが，前記指針の方法によらなくてもよい。

章	項目	特記事項
一般共通事項	22. 風圧加重	※ 風速６０ｍ／ｓ　・　ｍ／ｓ ・ 雷保護設備受雷部　・ 照明ポール・基礎　・ テレビ共同受信装置アンテナ・アンテナマスト
	23. 他工事との工事区分	他工事との工事区分は図面に特記なき場合，「各工事の工事区分表」による。
	24. 保温，結露防止	外部に面する壁，天井でＦＰ板（スタイロホーム等）打込み箇所に取付ける位置ボックスなどは，保温，結露防止処理を行う。
	25. 電線類	本工事では環境配慮の観点から，原則としてＥＭケーブルを使用するものとする。
	26. 合成樹脂製可とう管	合成樹脂製可とう管は，ＰＦ管(一重管)とし，温度による分類はタイプ−25とする。
	27. 二種金属製可とう管	露出箇所　・ ビニル被覆あり　・ ビニル被覆なし いんぺい箇所　・ ビニル被覆あり　・ ビニル被覆なし
	㉘ 電線本数，管路など	分電盤，制御盤，端子盤などの２次側以降の配線経路，電線太さ，電線本数，管径などは，監督職員の承諾を受け変更してもさしつかえない。
	㉙ インサート	鋼鉄製とする。なお，床版で保温板打込み部分は，断熱材用インサート（亜鉛めっき製品）を使用する。
	30. 呼び線	長さ１ｍ以上の通線しない電線管には，１．２㎜以上のビニル被覆鉄線を通線する。
	31. フラッシュプレート	図面に特記なき場合，（ ※ 金属製（ステンレス・新金属も含む）　・ 樹脂製 ）とする。
	32. フロアプレート･ベース	※ 水平高低調節付（空転防止リング付）　・ 銅合金製　・ アルミ合金製
	33. ハンドホール蓋	県章およびチェーン（ステンレス製）付のものとする。
	㉞ 支持金物，固定金物	屋外の機器及び配管に使用する支持金物（ボルト類）はステンレス製とし，屋外機器のアンカーボルトのナットには，ナットキャップ（樹脂製）を取り付ける。 また，振動をともなう機器の支持金物のナットは，ダブルナットとする。
	㉟ あと施工アンカー	施工方法　・ 接着系（ ※ 有機系　・ 接着剤 ） ・ 金属拡張系（ ※ 本体打込式　・　） 性能・施工確認　※ 行わない　・ 行う
	36. 接地極の種別・表示等	接地極は図面に特記なき場合，下表による。なお，ＥＢの長さは１，５００㎜とする。 ただし，Ｄ＝１０は１，０００㎜，Ｗ＝３０は１，２００㎜とする。 装柱機器及び屋外灯用接地極の埋設標は不要とする。

	接地の種別	記号	接地抵抗値	接地極の規格，数量
・	雷保護設備用接地	ELA	Ω以下	ＥＰ×２
・	雷保護設備用接地	ELA	Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又はW=40)×　連ー　組
・	共同接地	EA・ED・ELH	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又はW=40)×３連ー２組
・	共同接地	EA・EC・ED	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又はW=40)×３連ー２組
・	Ａ種	EA	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又はW=40)×３連ー２組
・	Ｂ種	EB	Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又はW=40)×２
・	Ｃ種	EC	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又はW=40)×３連ー２組
・	Ｄ種	ED	100Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又はW=40)×１
・				
・	構内交換機（陽極）用	Ｅt	Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又はW=40)×３連ー　組
・	本配線盤の保安装置	ＥＡt	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又はW=40)×３連ー２組
・	電話引込口の保安器	ＥDt	100Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又はW=40)×１
・	拡声増幅器	ＥDa	100Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又はW=40)×１
・	防犯装置用	ＥS	Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又はW=40)×３連ー　組
・				
・	測定用	Ｅo	――――	ＥＢ(Ｄ＝10又はW=30)×１
・	避雷器用（低圧用）	ELL	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又はW=40)×３連ー２組
・	避雷器用（高圧用）	ELH	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又はW=40)×３連ー２組
・	避雷器用（モデム用）	ＥMD	100Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又はW=40)×１
・	構造体接地			建築構造体利用（通信用も含む）

章	項目	特記事項
一般共通事項	37. 総合調整	各機器の個別運転後に総合調整を行い，報告書を提出すること。 ・ 受変電設備　・ 発電設備　・ 照明装置　・ 構内交換設備　・
	38. 塗装工事	下記部位に使用する外面めっき電線管の露出配管には塗装を施す。 ※ 屋外　※ 居室　・
	39. 山留め	切取り面にその箇所の土質に見合った勾配を保って掘削できる場合を除き，掘削の深さが1.5mを超える場合には，山留めを行うものとする。
	40. 舗装工事	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（建築工事編）２２章（舗装工事）及び建築工事監理指針(下巻)２２章（舗装工事）による。
	41. はつり	既存コンクリート床，壁などの配管貫通は，原則としてダイヤモンドカッターによる。
	㊷ 再使用機器	再使用する機器は，現場内で清掃，絶縁抵抗測定のうえ，取り付ける。
	43. 撤去後の補修等	機器撤去後の天井，壁及び床等の補修は，既存仕上げと同等とする。なお，施工に際し，既存設備及び施設に損傷を及ぼした場合は，原状に復旧する。
	44. アスベスト	アスベストについては，労働安全衛生法（石綿障害予防規則）・廃棄物処理法等に則り，事前調査を実施し，調査結果を整理のうえ，監督職員へ報告すること アスベスト使用状況（　）
	45. 有害物質の取り扱い	ＰＣＢ（変圧器，コンデンサ，安定器等）、鉛・カドミウム（鉛蓄電池，小形二次電池等）、水銀、放射性物質（イオン化式感知器等）の有害物質の含有を搬出前に確認し、監督職員に報告書を提出するとともに、その処理方法を監督職員と協議し、関係法令に基づき適正に取り扱うこと。
電灯設備	1．工事範囲	・ 配管　・ 配線　・ 分電盤類　・ 機器類
	2．電気方式	・ 幹線　単相３線式　１００／２００Ｖ　５０Ｈｚ ・ 分岐　単相３線式　１００／２００Ｖ ・ 分岐　単相２線式　１００Ｖ 幹線　・ 金属管配線　・ ケーブル配線
	3．施工方法	分岐　電灯　・ 合成樹脂管配線　・ 金属管配線　・ ケーブル配線　・ その他（　） コンセント　・ 合成樹脂管配線　・ 金属管配線　・ フロアダクト配線　・ その他（　） 屋外露出　・ 合成樹脂管配線　・ 金属管配線　・ ケーブル配線 ボックス　・ 合成樹脂製　・ 金属製
	4．照明器具	ＬＥＤ　・ 一体型　・ 直管型(JEL801)　・ 直管型(JEL802)　・ ダウンライト　・ その他
	5．防災用照明器具	・ 非常用照明器具（ ※ 電池内蔵形　・ 電源別置形 ） ・ 誘導灯（ ※ ＬＥＤ誘導灯　・ 誘導標識 ）
	6．照度測定	照度測定は，原則，本工事範囲全て行うものとするが，これにより難い場合は監督職員との協議による。
	7．ハイテンションアウトレット	※ 銅合金製　・ アルミ製 ※ 飛び出し形　・ 外部固定形
	8．人感センサプレート	照明の人感センサ制御を行う部屋には，注意プレートを設置する。
	9．予備配管	埋込形分電盤からの立上り予備配管は，予備の配線用遮断器が４個以下の場合は（ＰＦ２２）を１本，５個以上の場合は（ＰＦ２２）を２本以上，天井裏まで立上げる。 梁下に配管・配線スペースのない梁には，１スパンにＶＥ（３６）２本を予備スリーブとして埋込む。
動力設備	⑴ 工事範囲	・ 配管　・ 配線　・ 制御盤類　⊙ 既設配管取外し再取付
	⑵ 電気方式	⊙ 幹線　三相３線式　２００Ｖ　５０Ｈｚ ⊙ 分岐　三相３線式　２００Ｖ
	⑶ 施工方法	幹線　⊙ 金属管配線　・ ケーブル配線　・ その他 分岐　・ 合成樹脂管配線　⊙ 金属管配線　・ その他 屋外露出　・ 合成樹脂管配線　・ 金属管配線　・ ケーブル配線 ボックス　・ 合成樹脂製　・ 金属製
	4．警報盤	※ 壁掛形（電源装置　※ 内蔵　・ 別置 ）　・
	5．電磁開閉器用押釦（遠方操作用）	※ 埋込連用形配線器具　・
	6．機器への接続	電動機などへの接続は本工事とする。
	7．電動機等の接地	図示以外は金属管接地とする。
	8．進相用コンデンサ	各負荷ごとに適合するコンデンサを取り付ける。
	9．電気自動車用充電装置	・ 機器類　・ ・ 普通充電装置　電圧　相　Ｖ　・ 屋外型　・ 屋内型 ・ 急速充電装置　直流電圧　Ｖ
電熱設備	1．電気方式	幹線　相　線式　Ｖ　５０Hz 分岐　相　線式　Ｖ
	2．施工場所及び面積	・　（　㎡）　・　（　㎡）
雷保護設備	1．工事範囲	・ 受雷部　・ 引下げ導線　・ 接地極埋設
	2．受雷部	・ 突針　・ 棟上導体　・ 笠木（別途）など
	3．避雷導線	・ 引下げ導線　・ 構造体利用
	4．接地極	※ 接地極埋設　・ 構造体利用（測定時期　回数　）
	5．測定用補助接地極	・ 設置
受変電設備	1．工事範囲	・ 機器類　・
	2．電気方式	・ 高圧　三相３線式　６ｋＶ　５０Ｈｚ ・ 低圧　三相３線式　２００Ｖ　・ 低圧　単相３線式　１００Ｖ／２００Ｖ
	3．引込ケーブル	・ ＥＭ−ＣＥＴ３８°　・ ＥＭ−ＣＥＴ６０° ・ ＥＭ−ＣＥ３８°−３Ｃ　・ ＥＭ−ＣＥ６０°−３Ｃ　・
	4．配電盤	・ 屋内形　・ 屋外形（防塵処理及び結露対策を施す） ・ キュービクル式配電盤　・ 高圧閉鎖配電盤　・　・
	5．主遮断装置	※ 限流ヒューズ及び高圧負荷開閉器（ＰＦ−Ｓ）　・ 高圧交流遮断器（ＣＢ） 定格遮断電流　ｋＡ
	6．高圧機器類	・ 油入式　・ モールド ・ 手動　・ 電動　・電磁
	7．変圧器	・ 単相変圧器　ｋＶＡ　・ 三相変圧器　ｋＶＡ （油入式：JIS C4304-2013適合品 乾式：JIS C4306-2013適合品）
	8．進相用コンデンサ	※ 低圧　・ 高圧 ・ 油入式　・ モールド　・ガス式
	9．リアクトル	・ ６％　・ １３％ ・ 油入式　・ モールド
	10. 自動力率制御装置	※ メーターリレー形　・ 静止形
	11. 測定用補助接地極	・ 設置
電力貯蔵設備	1．直流電源装置	※ 非常用照明器具電源，受変電設備制御電源供用　・ 受変電設備制御専用　・ 非常用照明器具専用 蓄電池　・ 鉛蓄電池（ ・ ＨＳ　・ ＣＳ　・ ＭＳＥ　・ 長寿命形ＭＳＥ　・　） ・ アルカリ蓄電池（ ・ＡＨ　・ＡＭＨ　・　） ・ リチウムイオン電池
	2．交流無停電電源装置	用途（　） 容量　ｋＶＡ 蓄電池　・ 鉛蓄電池（ ・ ＨＳ　・ ＣＳ　・ ＭＳＥ　・ 長寿命形ＭＳＥ　・　） ・ アルカリ蓄電池（ ・ＡＨ　・ＡＭＨ　・　） ・ リチウムイオン蓄電池
発電設備	1．工事範囲	・ 機器類　・
	2．形式	・ 簡易形　・ キュービクル式　・ オープン形　・ ・ 屋内形　・ 屋外形
	3．発電機	電気方式　相　線式　５０Ｈｚ　電圧　Ｖ　定格出力　ｋＶＡ　運転時間　時間
	4．原動機	種類　・ ディーゼル　・ ガスタービン　・ 定格出力　ｋW以上（　ＰＳ以上） 始動方式　※ 電気式　・ 空気式 冷却方式　・ ラジエータ式　・ 水冷循環式
	5．燃料	種類　・ 軽油　・ 灯油　・ Ａ重油 燃料小出槽　Ｌ 主貯油槽　・ なし　・ あり（ ・ 別途　・ 本工事：　）
	6．太陽光発電装置	太陽電池アレイ公称出力　ｋW パワーコンディショナ　相　線式　定格電圧　Ｖ　定格出力　ｋW 自立運転　・ 有　・ 無 蓄電池　・ 有（定格容量　ｋWｈ）　・ 無
	7．系統連系	・ 有　・ 無
構内交換設備	1．工事範囲	・ 交換機　・ 電話機　・ 配線（ ・ 全部　・ 端子盤以降 ）
	2．電話交換機	形式　・ ボタン電話装置　・ デジタルＰＢＸ　・ＩＰ−ＰＢＸ　・ＶｏＩＰサーバ 回線数　局線　／　回線　内線　／　回線
	3．電話機への配線	電話機１台につき，下記のものを見込む。 ・ ＥＭ−ＴＩＥＦ０．６５−２Ｃ（ ・ ２０ｍ　・　） ・ ＥＭ−ＥＢＴ０．４−２Ｐ（ ・ ２０ｍ　・　） ・ ワイヤープロテクタ（樹脂製　外形寸法約２０×８）１．５ｍ
	4．ローテンションアウトレット（亀甲形）	※ 一般電話用　個（ ・ 納入する　・ 取り付ける ） ※ 銅合金製　・ アルミ製
	5．保安器用接地	※ 本工事　・ 別途工事

通信・情報設備

1．工事範囲及び施工方法

項目	工事範囲 配管	配線	機器類	施工方法 合成樹脂管配線	金属管配線	ケーブル配線
・ 構内情報通信網	・	・	・	・	・	・
・ 情報表示	・	・	・	・	・	・
・ 映像・音響	・	・	・	・	・	・
・ 拡声	・	・	・	・	・	・
・ 誘導支援	・	・	・	・	・	・
・ テレビ共同受信	・	・	・	・	・	・
・ テレビ電波障害防除設備	・	・	・	・	・	・
・ 監視カメラ	・	・	・	・	・	・
・ 駐車場管制設備	・	・	・	・	・	・
・ 防犯・入退室管理	・	・	・	・	・	・

ボックス　・ 合成樹脂製　・ 金属製　・

章	項目	特記事項
通信・情報設備	2．構内情報通信網設備	種類　・ １０ＢＡＳＥ−Ｔ　・ １００ＢＡＳＥ−ＴＸ　・ １０００ＢＡＳＥ−Ｔ ・ １０ＧＢＡＳＥ−ＳＲ　・
	3．情報表示設備	・ 親時計　回線（ ※ 壁掛形　・ 自立形 ） （ ・ 電子式チャイム組込　・ プログラムタイマ組込 ）
	4．映像・音響設備	・ 増幅器　W ・ ＶＴＲ（ ・ ＤＶＤ　・ ＢＤ　・ Ｓ−ＶＨＳ　・　） ・ プロジェクタ（ ※ 前面投射式　・ 背面投射式 ） ・ 音響設備（ ・ ＣＤ　・ オーディオレコーダー　・　・　）
	5．拡声設備	・ 一般放送用　・ 非常放送兼用 ・ 増幅器　W（ ※ 卓上形　・ キャビネットラック形）
	6．誘導支援設備	・ インターホン　・ トイレ等呼出装置　・ 音声誘導装置
	7．テレビ共同受信設備	・ テレビアンテナ（ ・ ＡＵ−　・ ＣＳＢＳＡ−　・ ＣＳＡ−　） ・ 地上波アンテナマスト（ ※ 壁面取付形　・ 自立形 ） ・ ＢＳアンテナマスト（ ・ 壁面取付形　・ 自立形 ） ・ 電界強度測定及び受信調査（ ※ 全チャンネル ）
	8．テレビ電波障害防除設備	・ 事前調査　・ 機器類
	9．監視カメラ設備	・ 白黒方式　※ カラー方式 ・ 伝送方式（ ・ アナログ　・ ネットワーク ）
	10. 駐車場管制設備	・ 管制盤　・ 検知器（ ・ 光線式　・ ループコイル式） ・ 信号灯・警報灯　・ 発券機　・ カーゲート　・ カードリーダー
	11. 防犯・入退室管理設備	・ 接地工事（ ※ 本工事　・ 別途 ）
火災報知設備	1．工事範囲	・ 配管　・ 配線　・ 機器類
	2．火災報知装置	・ 壁掛形　・ 自立形 ・ 受信機　型　級　回線（　アドレス） ・ 複合盤　型　級　回線（火報　回線，自動閉鎖　回線，ガス漏れ　回線） ・ 副受信機　型　級　回線 ・ 機器収容箱　・ 専用形（ ・ 埋込形　・ 露出形 ）　・ 屋内消火栓箱に組込み ・ 感知器類　型用　総数　個（ ・ 自動試験機能付 ）
	3．非常警報装置	・ 非常ベル（自動式サイレンを含む）　・ 非常放送装置
	4．自動閉鎖装置	・ 連動制御器 ・ 自動閉鎖装置（ ・ 防火戸用　・ 防煙ダンパ用　・ 防火シャッター用 ） ・ 感知器
	5．ガス漏れ火災警報装置	・ 受信機　回線（ ・ 都市ガス用　・ 液化石油ガス用） ・ 単独（ ・ 壁掛形　・ 自立形 ）　・ 火災受信機などとの複合盤 ・ 検知器 ・ 併設　・ 連動 ・ 定格電圧（ ・ ＡＣ１００Ｖ　・ ＤＣ２４Ｖ ） ・ ガス検知出力信号（ ・ 有電圧出力方式　・ 無電圧接点方式 ）
	6．消火器類	・ 消火器　種別 ・　数量　本 ・ 消火器収納箱　仕様 ・　材質 ・　数量　面
中央監視制御設備	1．工事範囲	・ 配管　・ 配線　・ 機器類
	2．監視制御対象設備	・ 動力設備　・ 受変電設備　・ 発電設備　・ 火災報知設備
	3．表示操作盤	・ 壁掛形　・ 自立形 組込み機器　・　・ ・　・
	4．監視制御装置	構成機器　・ グラフィックパネル　・内照式液晶ディスプレイ　・ 操作卓 ・ 監視操作装置　・ 信号処理装置　・ 伝送装置　・ 分散処理装置 ・ 中央処理装置　・ 補助記憶装置　・ 記録装置　・ 電源装置 ・ 帳票用印字装置（ ・ インクジェット式　・ 写真式 ）
構内配電線路	1．工事範囲	・ 管路　・ 配線　・ 機器類
	2．電気方式	・ 高圧　三相３線式　６ｋＶ　５０Hz ・ 低圧　三相３線式　２００Ｖ ・ 低圧　単相３線式　１００／２００Ｖ ・ 低圧　単相２線式　１００Ｖ
	3．布設方法	※ 地中埋設式（ ・ ＦＥＰ　・ ＧＬＴ　・ 厚鋼電線管 ）　・ 架空線式
	4．柱上機器	・ 高圧負荷開閉器　※ 一般用　・ 耐重塩じん用 ※ 地絡継電器付き（※ 方向性　・ 無方向性） ・ 避雷器　※ 一般用　・ 耐塩用 ・ 高圧カットアウト，がいしなど　※ 一般用　・ 耐塩用
	5．高圧ケーブルの端末処理	屋外側　※ 一般用　・ 耐塩用 ※ 処理者銘板取付（屋内外共，線名，作業日，氏名を表示）
	6．その他	東北電力（株）外線工事基準（架空線編）に準ずる。
	7．外灯設備	・ 定格電圧　Ｖ　W
	8．沈下対策	地中線路及びハンドホール等沈下が考慮される場合は，沈下対策を施す。（　）
	9．標識シート	・ 高圧ケーブル　・ 低圧ケーブル
	10. 予備配管	屋外キュービクルから第１ハンドホールまでの予備配管（ＦＥＰ１００：１本）を設ける。 分電盤，動力盤から建物へのハンドホールまでの予備配管（ＦＥＰ８０：２本）を設ける。
構内通信線路	1．工事範囲	・ 管路　・ 配線
	2．用途	・ 電話用　・ 時計，拡声用　・ 火災報知用
	3．施工方法	※ 地中埋設式（ ・ ＦＥＰ　・ ＧＬＴ　・ 厚鋼電線管）　・ 架空線式
	4．標識シート	※ 弱電用
解体工事	1．特記事項 ※建物一式のとりこわし工事に適用とし，機器等の改修工事は適用外	①施工計画書には産業廃棄物処理計画を記載するとともに，解体施工前に事前調査行い，その結果を「指定様式２−１　建設副産物処理表（施工前調査表）」としてあらかじめ監督職員に提出すること ②撤去品の一切については，有害物質等の含有又は含有の可能性の有無について改めて調査を行い，その結果を「指定様式２−２　建設副産物処理表（撤去品調査後）」として監督職員に提出すること ③上記②により新たな有害物質等の含有又は含有の可能性がある撤去品を確認した場合には，速やかに監督職員と協議するとともに，産業廃棄物処理計画の変更を行い，監督職員の確認を得たうえで処理・処分すること ④撤去品の取扱については，関係法令等に従い適切な処理・処分を行うとともに，その結果を「指定様式２−３　建設副産物処理表（最終）」として監督職員に提出すること

表２「機器取付高さ」　図面に特記なき場合は下表による。ただし，これによりがたい場合は監督員と協議する。

電力設備

区分	名称	測点	取付高（㎜）
電力共通	取引用計器	地上～窓中心	約　1,800
	引込開閉器	床上～中心	1,800～2,200
	分電盤	床上～中心	1,500(上端1,900以下)
電灯	スイッチ（一　般）	床上～中心	1,300
	〃（和　室）	〃	1,200
	コンセント(一　般)	〃	300
	〃（和　室）	〃	150～ 200
	〃（台　上）	台上～中心	100
	〃（ファン用）	床上～下端	ファン下端
	〃（厨　房）	床上～中心	800～1,000
	〃（車　庫）	〃	1,300
	〃（機械室）	〃	500～1,000
	〃（土　間）	〃	800～1,300
	ブラケット(一　般)	床上～中心	2,100～2,300
	〃（踊　場）	〃	2,000～2,500
	〃（鏡　上）	鏡上端～中心	150
	避難口誘導灯	床上～下端	1,500以上
	廊下通路誘導灯	床上～上端	1,000以下
動力	壁掛形制御盤	床上～中心	1,500(上端2,000以下)
	開閉器箱	〃	1,500
	電磁開閉器用ボタン	〃	1,300
身障者用	非常ボタン(便所用)	床上～中心	400、900
	壁付インターホン(親機)	〃	1,300
	〃（玄関子機）	〃	1,100
	廊下表示灯(復旧ボタン付)	〃	1,300
	身障表示ランプ	〃	1,500
	スイッチ	〃	1,100

通信設備

区分	名称	測点	取付高（㎜）
電話	引込線留め高	地上～引込点	
	集合保安器箱	天井下～上端	200
	端子盤(廊下、室内)	床上～下端	300
	〃（ＥＰＳなど）	床上～中心	1,500
	壁付アウトレット(一　般)	床上～中心	300
	〃（和　室）		150～200
時計・拡声・通信設備	壁掛形親時計	床上～中心	1,500(上端2,000以下)
	子時計	〃	2,300
	壁掛形スピーカ	〃	2,300
	壁付アッテネータ	〃	1,300
	壁付インターホン(一　般)	床上～中心	1,300
	〃（身体障害者）	〃	1,300
	壁付アウトレット(一　般)	〃	300
	〃（和　室）	〃	150～200
	機器収容箱	天井下～上端	200
	直列ユニット(一　般)	床上～中心	300
	〃（和　室）	〃	200
警報・表示等	表示盤	床上～中心	2,300
	壁付発信機	〃	1,300
	ベル，ブザー，チャイム	〃	2,300
	壁付押しボタン(一　般)	床上～中心	1,300
	〃（身体障害者玄関）	〃	900
火災報知器	受信機	床上～中心	800～1,500
	副受信機	〃	800～1,500
	機器収容箱	〃	800～1,500
	発信機	〃	800～1,500
	表示灯	床上～中心	2,100
	ベル	〃	2,300
	液化石油ガス用検知器	床上～上端	250
	都市ガス用検知器（軽質）	天井～上端	150
	〃（重質）	床上～上端	250

表１「完成書類」　引き渡し時には下記の書類を提出する。

名称	完成書類	部数	名称	完成書類	部数
1　完成調書	営繕工事完成引渡要領 （令和３年４月１日版）	1部	6　取扱説明書 ①保守に関する案内書 ②機器別取扱説明書 ③緊急連絡先一覧 ④各種保証書	Ａ４版：チューブ式ファイル （２　完成図書と合本可）	1部
2　完成図書	Ａ４版：チューブ式ファイル （機器完成図，取扱説明書と合本可。ただし，厚さが８０㎜を越える場合は分冊とする。）	1部	7　管理の手引き ①工事概要書 ②機器完成図 ③機器別取扱説明書 ④保守に関する案内書 ⑤緊急連絡先一覧表	Ａ４版：チューブ式ファイル	1部
3　完成図(縮小)	白焼縮小製本 Ａ３版二つ折り うち１部は設備課保管	2部	8　工事写真 ①施工写真	Ａ４版：チューブ式ファイル （着手前，施工状況，完成の各写真）	1部
4　完成図・施工図（電子データ）	JWW又はDXF形式のCADデータ及びPDF形式	CD 2枚	②完成写真	Ａ４版：ペーパーファイル 完成届に添付	1部
5　機器完成図 ①機器別完成図 ②機材材質証明書 ③機材検査成績書 ④工場試験成績書 ⑤工場立会検査成績書 ⑥現場据付試験成績書 ⑦総合試運転成績書	Ａ４版：チューブ式ファイル （２　完成図書と合本可）	1部	9　工事に関する書類 ①施工計画書 ②施工要領書 ③承諾書・確認書 ④協議書 ⑤打合せ議事録 ⑥工事週報又は日報 ⑦安全に関する書類 ⑧廃棄物管理票の写し	Ａ４版：チューブ式ファイル	1部

工事概要
今回壁・天井及び屋上防水工事に伴い工事の妨げとなる既設配管の一時取外し・機器接続の切離しを行う。取外し配管は足場等へ仮押さえこと。壁・天井工事終了後に配管の再取付及び機器へ再接続を行う。
但し既設プルボックス及び盤類は残置とする。

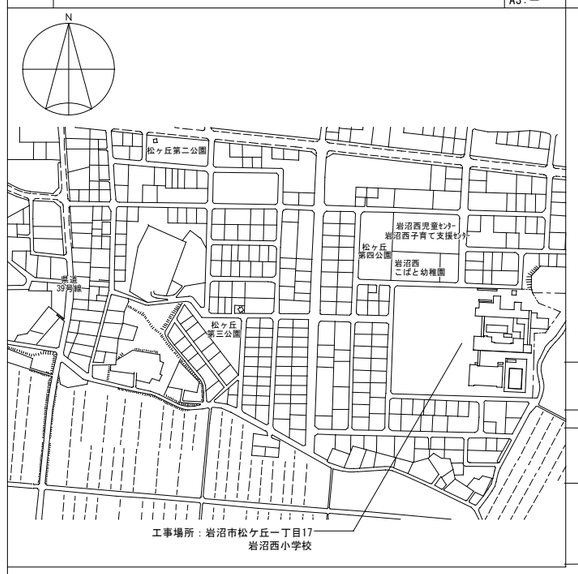
注記：機器参考図について
本図面中で，機器の品質・グレードを規定する目的で機器の寸法形状や諸元を参考図として記載している。
これらのものについては，その品質・性能が図面と同等品もしくはそれ以上のものを使用するものとする。

設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ⅰ期)
図面名称	電気設備改修工事特記仕様書
縮尺	A1:N.S　A3:N.S
年月	2024.03
設計番号	
図面番号	Ｅ−００１

SOWA　一級建築士事務所　株式会社 相和技術研究所 仙台事務所
宮城県知事登録　第22910116号
承認/赤沼 直幸
照査/佐々木 啓文
設計者/一級建築士 第284436号 赤沼 直幸
製図/西巻 裕太

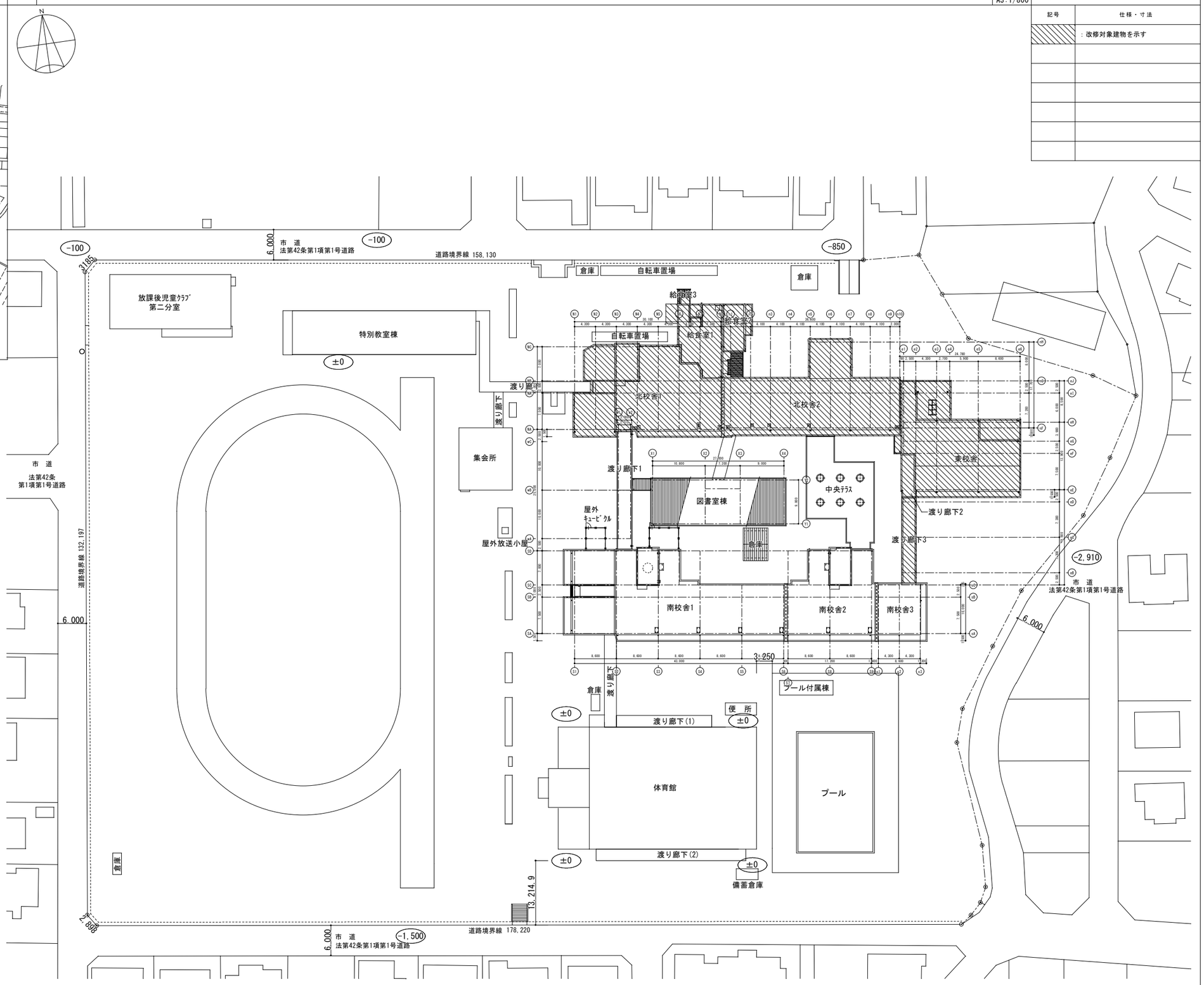
01 案内図

A1：－
A3：－



02 全体配置図

A1：1/400
A3：1/800



凡例

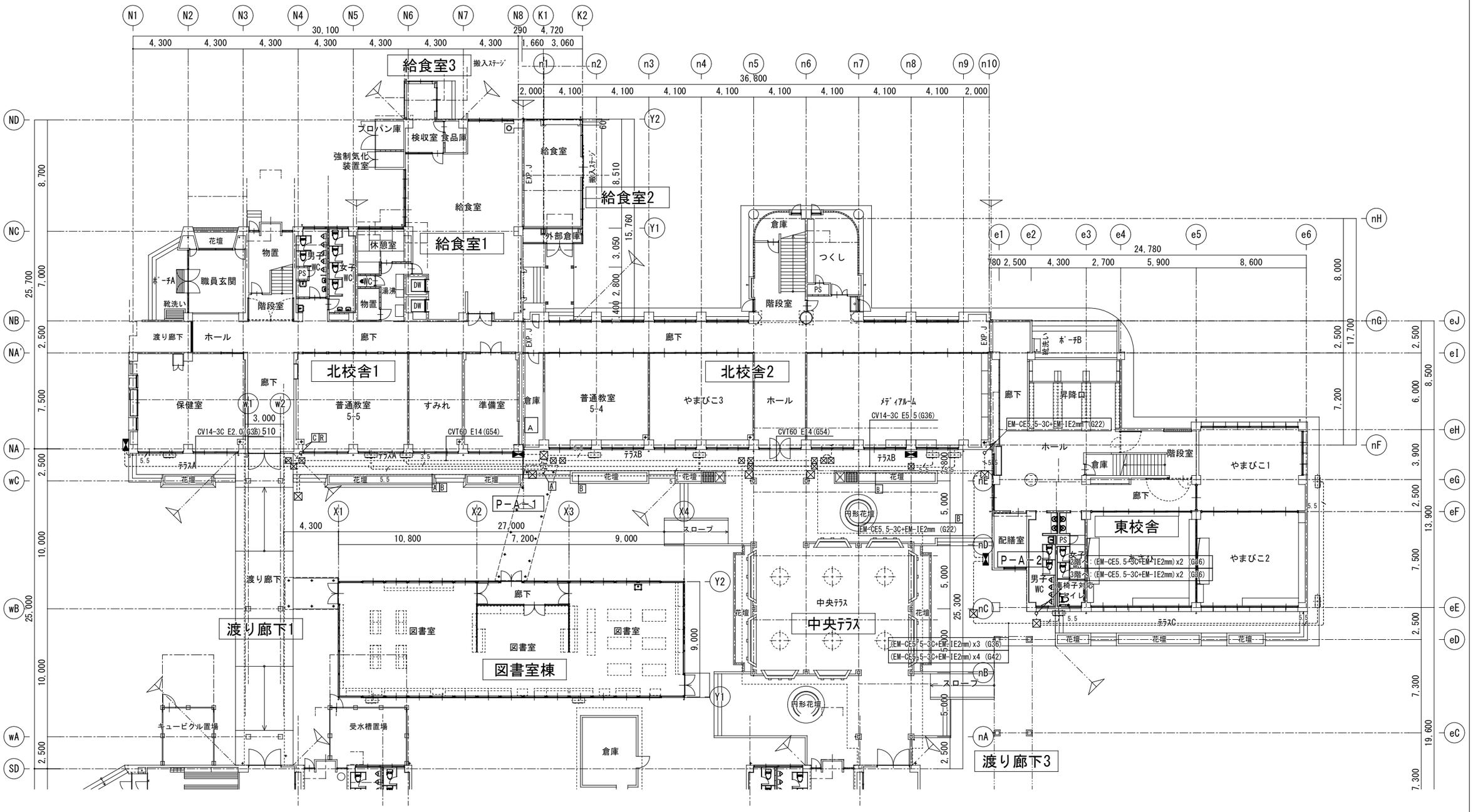
記号	仕様・寸法
	：改修対象建物を示す

棟リスト

改修対象	建物名称	構造・規模	完成年月	※施設台帳による番号・建物名称	備考
○	北校舎1	RC造 3階	1976.9 (S 51.9)	001 北側校舎	
	渡り廊下1	S造 3階	1976.9 (S 51.9)	002 渡り廊下1	
	南校舎1	RC造 3階	1976.9 (S 51.9)	003-1 南側校舎	
	南校舎2	RC造 3階	1978.9 (S 53.9)	003-2 南側校舎	
	南校舎3	RC造 3階	1988.3 (S 63.3)	003-3 校舎	
○	給食室1	RC造 平屋	1976.9 (S 51.9)	004-1 給食室	
○	給食室2	S造 平屋	1993.9 (H 05.9)	004-2 給食室	
○	給食室3	S造 平屋	1997.10 (H 09.10	004-3 給食室	
○	北校舎2	RC造 3階	1985.3 (S 60.3)	011 校舎	
	図書室棟	軽量鉄骨造 平屋	1990.9 (H 02.9)	012 特別教室棟	
○	東校舎	RC造 3階	1993.2 (H 05.2)	013 校舎	東校舎と渡り廊下2は構造上一体
○	渡り廊下2	RC造 2階	1993.2 (H 05.2)	014-1 渡り廊下2	
	渡り廊下3	S造 2階	1993.2 (H 05.2)	014-2 渡り廊下3	
	中央ﾃﾗｽ	S造 平屋	1985.3 (S 60.3)	011に含む	

設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事（第Ｉ期）
図面名称	【改修前後】配置図
縮尺	A1：1/400　A3：1/800
年月	2024.03
設計番号	
図面番号	Ｅ－００２
承認/赤沼 直幸	設計者/一級建築士 第284436号 赤沼 直幸
製図/西巻 裕太	照査/佐々木 啓文

SOWA 一級建築士事務所 株式会社 相和技術研究所 宮城県知事登録 第22910116号



特記事項

1．特記なき既設配線サイズは下記の通り

3.5 EM-CE3.5-3C+EM-IE2mm (G22)

5.5 EM-CE5.5-3C+EM-IE2mm (G22)

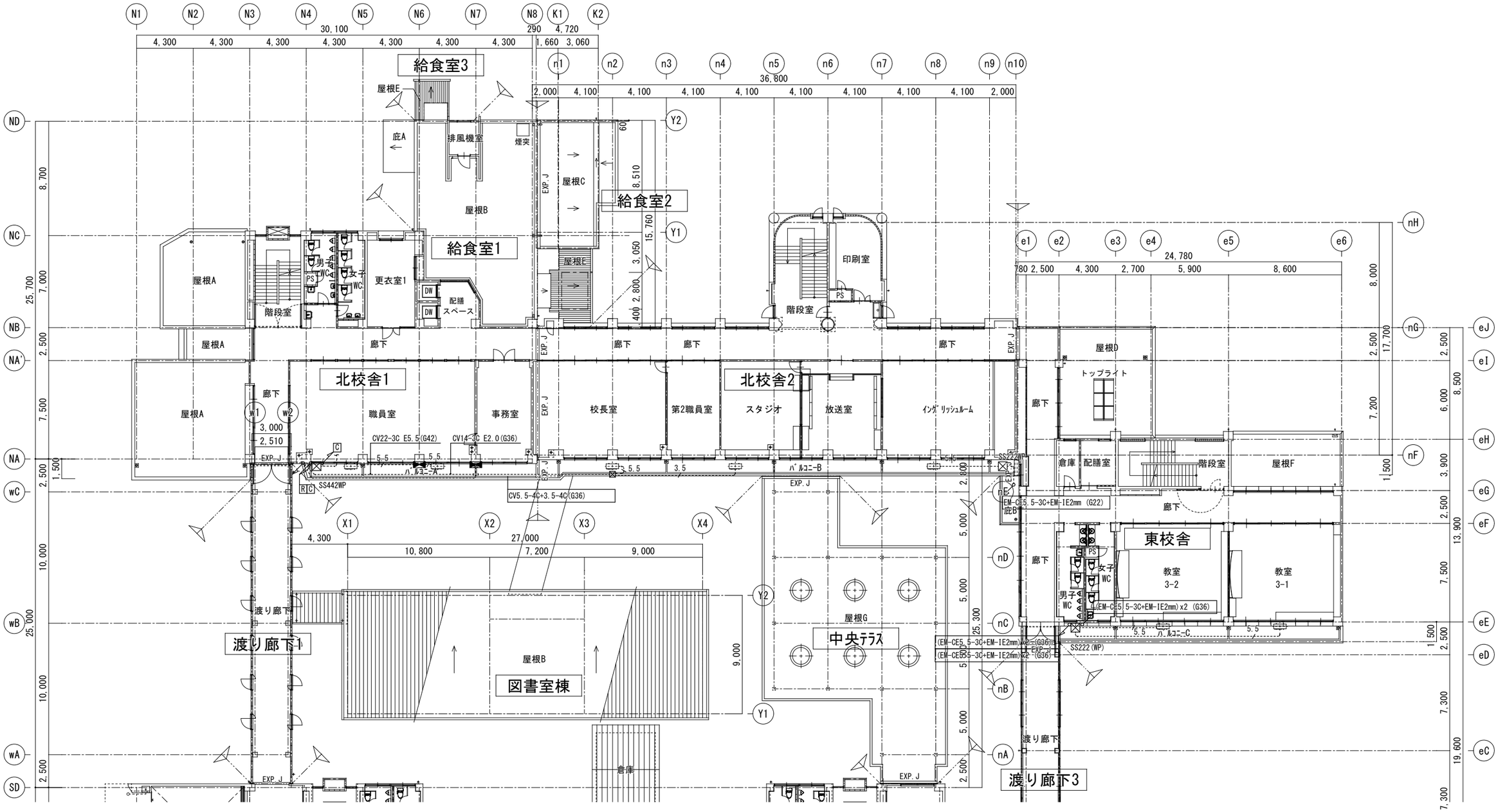
幹線・動力設備　凡例

図　記　号	名　　称	仕　　様
	動力分電盤	既設
	ブルボックス	既設
	屋外空調機	電源切離し・再接続
	配管配線	露出配管配線　取外し・再取付

既設幹線サイズ表

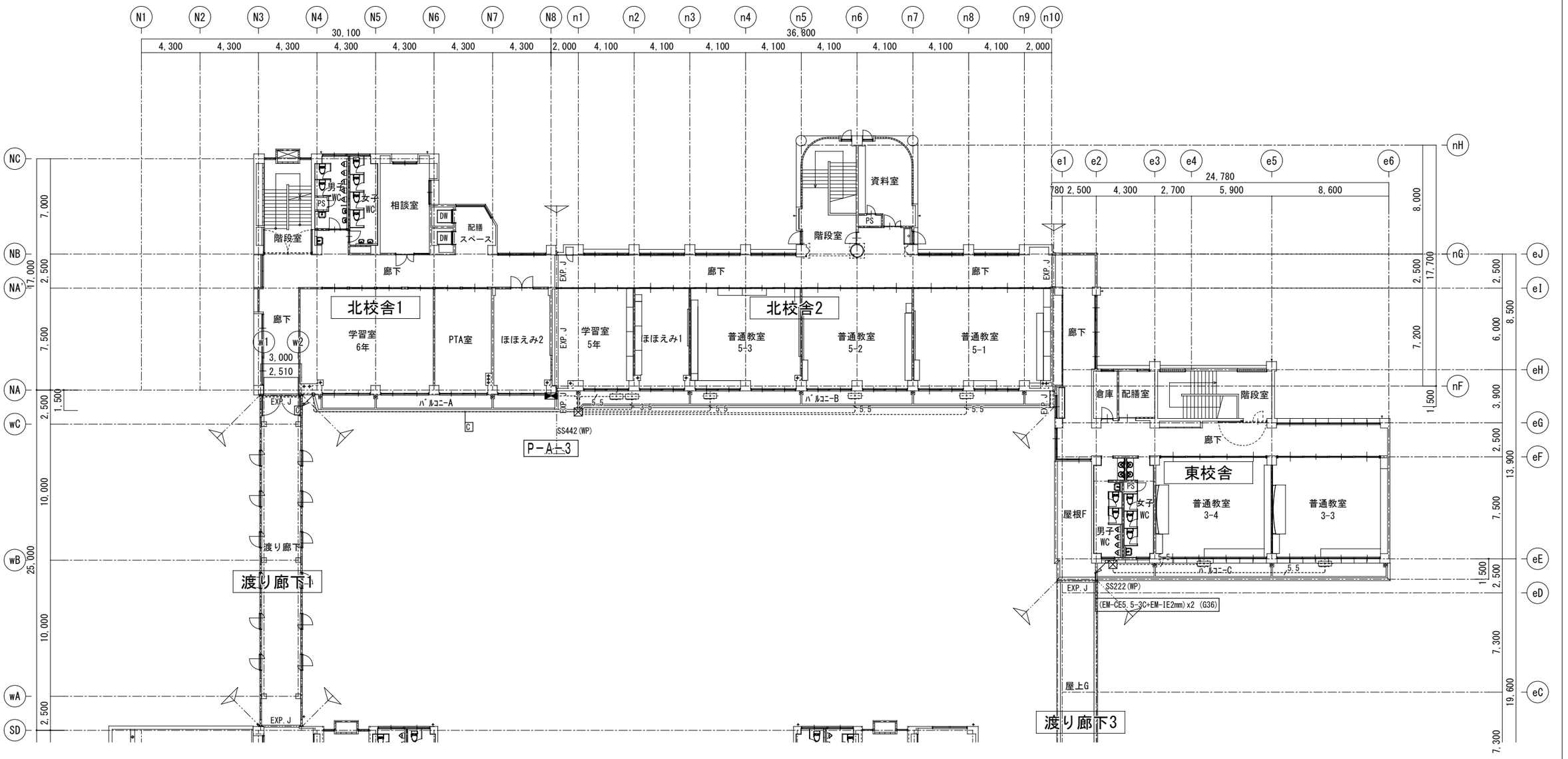
幹線No	配線サイズ	供給先
A	EM-CET22 E5.5x2(G36)	P-A-1
B	EM-CET100 E22x2(G70)	P-A-2
C	EM-CET60 E14x2(G54)	P-A-3
D	EM-CET60 E14x2(G54)	P-B-1
E	EM-CET60 E14x2(G54)	P-B-2
F	EM-CET60 E14x2(G54)	P-B-3
R	EM-CPEVS1.25-5P(G22)	デマンド

設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ｉ期)		
図面名称	【改修前後】 1階平面図		
縮　尺	A1:1/150 A3:1/300	年　月 2024.03	図面番号 E－００３
SOWA 一般建築士事務所 ㈱相和技術研究所 宮城県知事登録 第22910116号	承認/赤沼 直幸	設計者/ 一級建築士 第284436号 赤沼 直幸	製図/ 西巻 裕太
	照査/佐々木 啓文		



設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事（第Ｉ期）
図面名称	【改修前後】 2階平面図
縮尺	A1:1/150 A3:1/300
年月	2024.03
設計番号	
図面番号	Ｅ－００４
承認/赤沼 直幸	設計者/ 一級建築士 第284436号 赤沼 直幸
照査/佐々木 啓太	製図/ 西巻 裕太

SOWA 一級建築士事務所 株式会社 相和技術研究所 宮城県知事登録 第22910116号



設計名称	令和６年度 岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事(第Ｉ期)
図面名称	【改修前後】 3階平面図
縮尺	A1:1/150 A3:1/300
年月	2024.03
設計番号	
図面番号	E－００５
一級建築士事務所 株式会社 相和技術研究所	宮城県知事登録 第22910116号
承認/赤沼 直幸	設計者/ 一級建築士 第284436号 赤沼 直幸
照査/佐々木 啓太	製図/ 西巻 裕太

機械設備改修工事特記仕様書

Ⅰ．工事概要

1．工事名称　令和６年度　岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事（第Ⅰ期）

2．工事場所　宮城県岩沼市松ケ丘一丁目17

3．建物概要

建物名称	構造	階数	延床面積(㎡)	建築面積(㎡)	消防法施行令別表第一による用途区分	備考
岩沼西小学校	ＲＣ外	地上3階外	建築図による			

4．工事種目（⊙印のついたものを適用する。）

工事種目 ＼ 建設別及び屋外	小学校							屋外
⊙空気調和設備	改修一式							
・換気設備								
・排煙設備								
・自動制御設備								
・衛生器具設備								
・給水設備								
・排水設備								
⊙給湯設備	改修一式							
・消火設備								
・厨房機器設備								
・ガス設備								
・さく井設備								
・浄化槽設備								
・昇降機設備								
・その他工事								

5．指定部分　※ なし　・ あり　（工　期：令和　年　月　日）(対象部分：　　)

6．概成工期　※ なし　・ あり　（工事工期より　　日前）

7．設備概要　（⊙ 印のついたものは，主要方式を示す）

方式	設備概要
空気調和方式等	⊙ 空気調和：・ 全空気方式　・ ファンコイルユニット，ダクト併用方式　⊙ パッケージ方式
	・ 温風暖房：・ 全空気方式　・ ファンコンベクター，ダクト併用方式
	・ 直接暖房：・ 温水暖房　・
自動制御方式	・ 電気式　・ 電子式　・ デジタル式　・ 空気式　・ 中央監視制御
給水方式	・ 水道直結方式　・ 高置タンク方式　・ タンクレスブースター方式　・ 受水槽方式（加圧給水ポンプ）
排水方式	建物内の汚水及び雑排水（・ 分流式　・ 合流式） 建物外の汚水及び雑排水（・ 分流式　・ 合流式） 放流先　汚　水（・ 下水道直放流　・ 浄化槽） 雑排水（・ 下水道直放流　・ 浄化槽　・ 側溝　・ 別途桝）
給湯方式	⊙ 局所式　・ 中央式
消火設備方式	・ 屋内消火栓（・ 湿式　・ 乾式）　・ 連結送水管　・ 屋外消火栓 ・ スプリンクラー（・ 湿式　・ 乾式）　・ 不活性ガス消火　・ 泡消化 ・ 粉末消火　・ 連結散水　・ フード等用簡易自動消火　・消火器
ガス設備方式	・ 都市ガス　種別（　）　kJ／m3（N）（供給圧力　Pa）　・ 液化石油ガス

Ⅱ．特記仕様書

1．一般事項

（１）特記仕様書及び図面に記載されていない事項は，すべて「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編，令和４年版），公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編，令和４年版）」（以下「標準仕様書」という。），同部設備・環境課監修の「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編，令和４年版）」（以下「標準図」という。）による。

（２）電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合，電気設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。なお，電気設備工事の工事仕様書は（　／　）図，建築工事の工事仕様書は（　／　）図による。

2．特記事項

（１）項目は番号に⊙印の付いたものを適用する。

（２）特記事項は，⊙印の付いたものを適用する。⊙印の付かない場合は，※印の付いたものを適用する。⊙印と⊗印の付いた場合は，共に適用するものとする。

章	項目	特記事項
一般共通事項	①. 適用基準等	⊙ 営繕工事写真撮影要領（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　令和３年度版） ⊙ 建設工事執行規則（昭和３９年３月宮城県規則第９号） ⊙ 宮城県建設工事元請・下請適正化要綱（最新版） ・ 宮城県建築工事写真撮影要領（宮城県土木部制定　平成１２年版）及び工事写真撮影ガイドブック＜機械設備工事編＞（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　令和３年版）
	②. 機材等	※ 本工事に使用する機材等は，設計図書に規定するもの，またはこれらと同等のものとする。ただし，これらと同等のものとする場合は，監督職員の承諾を受けるものとする。 ※ 本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては，「県有施設のシックハウスマニュアル」に留意し，揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。 ※ 使用する材料のホルムアルデヒド仕様は，日本産業規格及び日本農林規格のＦ☆☆☆☆規格品，壁装材料協会規格適合品または同等品，化学物質等製品安全データシート等にホルマリン不使用が明示されたものとする。
	③. 機材の品質・性能証明	本工事着手前に機器製作図を提出し，監督職員の承諾を受ける。 また，設備機材は，設計図書に定める品質及び性能を有することの証明資料又は外部機関等が発行する資料等のの写しを監督職員に提出して，承諾を受ける。なお，標準仕様書に規定される製作図，試験成績表等を含む。
	④. 保険	本工事着手前に工事目的物及び工事材料等を，本工事完了後引渡し期日まで，火災保険及びその他の保険に付し，写しを監督職員に提出のこと。
	⑤. 雇用	本工事は，公共職業安定所の紹介する者の雇い入れに努めること。
	⑥. 施工計画書および施工図等	工事の着手に先立ち，工事の総合的な計画をまとめた総合施工計画書を作成し，監督職員に提出する。 工事の施工に先立ち，工種別施工要領書および施工図等を作成し，監督職員の承諾を受ける。 また，県が実施する「公共事業環境マネジメントシステム」の対象工事においては，環境配慮計画（実施）書を作成し，監督職員に提出する。
	⑦. 工事実績情報の登録（ＣＯＲＩＮＳ）	請負額が５００万円以上の場合は，工事実績情報を登録する。 受注時，変更時及び完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け，登録手続きを行い，工事カルテの受領証を監督職員に提出のこと。
	⑧. 手続	工事の着手，施工，完成にあたり，関係官公署その他の関係機関への必要な届出手続等を遅滞なく行う。 なお，当該手続きに係わる費用は，受注者の負担とする。
	⑨. 事故報告	施工中に事故が発生した場合には，直ちに監督職員に通報するとともに，別に指示する「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。
	⑩. 電気保安技術者	※ 配置する　・ 配置しない
	11. 技能士の適用	本工事に下記の当該職種別技能士（・ １級　・ ２級）を適用させる。（資格証の写しを提出する） ⊙ 配管（配管工事）　⊙ 建築板金（ダクト製作及び取付け）　⊙ 熱絶縁施工（保温工事） ⊙ 冷凍空気調和機器施工（チリングユニット，パッケージ形空気調和機の据付及び調整）
	⑫. 足場等	・ 別契約の関係請負者が定置したものは無償で使用できる。　・ 本工事で設置 枠組足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成２１年４月改訂）」によるものとし，二段手すり及び幅木の機能を有するものでなければならない。
	⑬. 監督職員事務所	※ 設けない　・ 設ける（　　号・・・建築工事仕様書）
	⑭. 工事用電力，水，その他	本工事に必要な工事用電力，水，及び諸手続等の費用はすべて引渡まで受注者の負担とする。
	⑮. 工事用仮設物	構内に作ることが　※ できる　・ できない
	16. 残土処理	・ 構外搬出　※ 構内指示の場所に敷き均し　・ 構内指示の場所にたい積 建設発生土を場外へ搬出する場合　１建設発生土現場管理者（複数可）を選任し，施工計画書に記載し，提出する。２ダンプトラック等管理表を，工事着手前に監督員に提出する。　３建設発生土搬出等管理表を，搬出を行う日毎に作成し，１週間毎の集計表を監督職員に提出する。　４建設発生土は受入地において，搬出先土量を伝票により管理するとともに，搬出先の土量を確認する。
	17. 発生材の処理	（１）建設リサイクル法の規定に基づく通知義務等の該当　・ なし　・ あり（　） （２）冷媒回収費用は（・ 本工事　・ 別途工事） 冷媒の回収にあたっては，「特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律（フロン回収破壊法）」に従って行い，監督職員に第一種フロン類回収業者登録通知書の写し，フロン類回収証明書を提出する。ただし，家庭等のエアコン等で「特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）」の対象となっているものは，法に従ってリサイクル（フロン類の回収を含む）を行い，監督職員に，特定家庭用機器廃棄物管理票（家電リサイクル券の写しを提出する。 （３）引渡しを要するもの　※ なし　・ あり（　） （４）廃棄物は，「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等の関係法令を遵守し，場外搬出の上，適切に処分する。 （ア）特別管理産業廃棄物　※ なし　・ あり（　） （イ）特定建設資材廃棄物の再資源化等を行う施設 ・ コンクリート（　） ・ コンクリート及び鉄から成る建設資材（　） ・ 木材（　） ・ アスファルトコンクリート（　） （ウ）その他発生材の処分を行う施設 ・ コンクリートガラ等の安定型の産業廃棄物（　） ・ 木くず等の管理型の産業廃棄物（　） ※アスベストについては，労働安全衛生法（石綿障害予防規則）・廃棄物処理法等に則り，事前調査を実施し，調査結果を整理のうえ，監督職員へ報告すること 建設リサイクル法 ・ 対象工事 落札が決定した業者は，分別解体等省令で定める様式第１号別表１～３のうち当該工事に該当する別表及び工程表を作成し，契約締結前に，契約担当者等に説明書を提出するものとする。また，特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは，建設リサイクル法第１８条に基づいて書面により報告すること。 ・ 対象外工事
	18. 総合試運転調整等	※ 本工事において下記の項目の総合試運転調整等を行い，報告書を提出する。　・ 別途 総合試運転調整等の項目 ・ 風量調整　・ 水量調整　・ 室内外空気の温湿度測定 ・ 室内気流及びじんあいの測定　・ 騒音の測定　・ 初期運転状態の記録 ・ 末端水栓の水質測定　・ 浄化槽放流水質の測定 ・ 機器の絶縁抵抗の測定　・ 水圧調整 測定箇所は，監督職員の指示による。
	19. 容量等の表示	(1)機器類の能力，容量等は指示された数値以上とする。 (2)電動機出力，燃料消費量及び圧力損失は，原則として表示された数値以下とする。
	⑳. 耐震措置	機器，配管，ダクト等は耐震を考慮し堅固に据え付け，取付け又は支持を行う。 耐震措置の計算及び施工方法は，次に揚げる事項以外すべて建築設備耐震設計・施工指針（国土交通省国土技術政策総合研究所・独立法人建築研究所監修２０１４年版）による。（下表参照）

設計用標準水平震度（Ｋｓ）

設置場所	特定の施設 重要機器	特定の施設 一般機器	一般の施設 重要機器	一般の施設 一般機器
上層階、屋上及び塔屋	２．０（２．０）	１．５（２．０）	１．５（２．０）	１．０（１．５）
中層階	１．５（１．５）	１．０（１．５）	１．０（１．５）	０．６（１．０）
一階及び地下層	１．０（１．０）	０．６（１．０）	０．６（１．０）	０．４（０．６）
	重要水槽(飲料用)	一般水槽	重要水槽(飲料用)	一般水槽
上層階、屋上及び塔屋	２．０	１．５	１．５	１．０
一階及び地下層、中層階	１．５	１．０	１．０	０．６

注（１）設置場所の区分は標準仕様書による。　注（２）（　）内の数値は防震支持の機器の場合に適用する。
（３）本工事の施設は（・ 一般の施設　⊙ 特定の施設）とする。
（４）地域係数は１．０とする。
（５）１００ｋｇ以下の軽量な機器（標準仕様書の適用を受けるものは除く）においても耐震を考慮し，据付又は取付を行うものとするが，前記指針の方法によらなくてもよい。
（６）昇降機のつり合おもりブロックの脱落防止は，十分な強度を有する方法で固定し，水平鉛直方向の地震力に対して，つり合おもりが枠から脱落しないようにした構造とすること。

章	項目	特記事項
一般共通事項	21. 弁等のサイズ	特記されていない弁等のサイズは，機器付属品を除き接続配管のサイズと同じとする。
	22. 電線類	本工事では環境配慮の観点から，原則としてＥＭケーブルを使用するものとする。なお，電気設備工事編標準仕様書第６編通信・情報設備工事による。
	23. 溶接部の非破壊検査	対象配管系統　・ 冷温水　・ 冷却水　・ 消火（水用）　・ 油　・ ガス 検査の種類　・ 浸透探傷検査（ＰＴ）又は磁粉探傷検査（ＭＴ）　・ 放射線浸透検査（ＲＴ）
	24. はつり	既存のコンクリート部の床，壁の配管貫通部等の穴明けは原則としてダイヤモンドカッターによる。
	㉕. 支持及び固定	（１）標準仕様書以外の天吊り機器の支持は，標準仕様書第３編２．１．１３（ｂ）に準ずる。 （２）横走り主ダクト・主管の振れ止めは端部も行うこと。
	㉖. 支持金物・固定金具	（１）ポンプ・屋外機器のアンカーボルトのナット及び屋外の配管・ダクトに使用する支持金物はステンレス製（ＳＵＳ３０４）とし，ポンプ・屋外機器のアンカーボルトのナットにはナットキャップ（樹脂製）を取り付ける。 （２）振動を伴う機器の支持金物のナットはダブルナットとする。 （３）冷水及び冷温水管の吊バンド等の支持部は、合成樹脂製の支持受けを使用する。
	27. 埋戻し土・盛土	図面に特記のない場合は下記によるほか標準仕様書第２編による。ただし，各工事種目で別に指定されたものは除く。 ・ 根切り土の中の良質土（ただしヒューム管以外の管の周囲は山砂の類）　・ 山砂の類
	28. 地中埋設標及び埋設表示用テープ	地中埋設標及び埋設用テープは，下記により屋外埋設部分に布設する。なお，地中埋設標の設置場所は図示によるほか，屋外埋設管の分岐及び曲がり部に設置する。 (1)給水管　・ 地中埋設標　・ 埋設用表示テープ (2)ガス管　・ 地中埋設標　・ 埋設用表示テープ (3)油　管　・ 地中埋設標　・ 埋設用表示テープ (4)消火管　・ 地中埋設標　・ 埋設用表示テープ
	29. 保温	・ 主機械室は下記の室とし，他は各階機械室とする。 主機械室：

・ ダクトの保温の外装は下記による。内装は（・ ロックウール　・ グラスウール）

区分	場所	外装
屋内露出	倉庫・書庫	・ アルミガラスクロス　・
屋内露出	各階機械室	・ アルミガラスクロス　・
屋内露出	主機械室	・ アルミガラスクロス　・
屋内露出	居室・廊下など	・ カラー亜鉛鉄板　・
屋内隠ぺい，ＰＳ内		・ アルミガラスクロス
屋外露出，多湿箇所（　）		・ ステンレス鋼板

・ 配管の保湿の外装は下記による。内装は（・ ロックウール　・ グラスウール　・ ポリスチレンフォーム）

区分	場所	外装
屋内露出	倉庫・書庫	・ アルミガラスクロス　・
屋内露出	各階機械室	・ アルミガラスクロス　・
屋内露出	主機械室	・ アルミガラスクロス　・
屋内露出	居室・廊下など	・ 合成樹脂製カバー　・ ステンレス鋼板
屋内隠ぺい，ＰＳ内		・ アルミガラスクロス
屋外露出，多湿箇所（　）		・ ステンレス鋼板　・着色アスファルトプライマー ・ アスファルトプライマー

章	項目	特記事項
一般共通事項	30. 塗装	（１）下記部位に使用する，外面めっき電線管の露出配管には塗装を施す。 ※ 屋外露出　※ 居室 （２）保温を行わない居室・便所・給湯室及び屋外の露出配管（鋼管）には塗装を行う。
	31. 防食処理	土中埋設の鋼管（ステンレス鋼管及び外面被覆鋼管は除く）及び金属製継手類（砲金製弁・継手を含む）にはペトロラタム系防食テープ及びプラスチックテープによる防食処理を行う。（埋設配管は原則として，防食処理不要の管材とする。）
	32. 山留め	切取り面にその箇所の土質に見合った勾配を保って掘削できる場合を除き，掘削の深さが１．５ｍを超える場合には，山留めを行うものとする。
	33. 舗装工事	国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の建築工事標準仕様書２２章（舗装工事）による。
	㉞. 他工事との取り合い	図面に特記なき場合は，表「工事区分表」による。
	㉟. 再使用品の清掃	再使用する機器類は現場内で可能な洗剤による水洗等の清掃を行う。
	㊱. 火気の使用	建物内での火気の使用は原則として行わない。
	37. 室内空気中の化学物質の濃度測定	室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し，監督職員に報告すること。測定はパッシブ型採取機器により行う。 測定対象室（　）、測定箇所数（　）
	㊳. 施工調査	⊙下記によるほか、改修標準仕様書第１編１．５．１及び１．５．２による。 ・施工計画調査　・事前調査 調査項目（・　・　）　調査範囲（・　・　）　調査方法（・　・　）
	39. アスベスト	アスベストについては、労働安全衛生法（石綿障害予防規則）・廃棄物処理法等に則り処理を行うこと。 アスベスト使用状況（　）
	㊵. あと施工アンカー	（１）あと施工アンカー　※接着系アンカー（接着剤は有機系とする） ※金属拡張系アンカー（※本体打込み式） （２）試験等　性能確認試験　※行わない　・行う 施工確認　※行う　・行わない
	㊶. 既設インサート及びアンカーボルト	既設インサート及びアンカーボルトを　※使用しない　・使用する
	42. 宮城県リサイクル製品利用促進について	・ 認定品利用対策工事として次の認定製品を使用すること。 （使用製品名：　使用場所：　） ※ 認定製品使用対象外工事だが、利用の促進に努めること。
	㊸. 施工条件	別添の施工条件明示書による。
	44. 三相誘導電動機	省エネ法の特定機器の対象となる機器はJIS C 4034-30:2011のIE3（プレミアム効率）に相当する機器を導入すること。
仮設工事	①. 工事用電力、水、その他	本工事に必要な工事用電力、水などの費用、及び官公署等への諸手続きなどの費用は、請負者の負担とする。 既設コンセントの使用　※ 不可　・ 可 既設給水栓の使用　※ 不可　・ 可
	2. 養生	養生範囲（　） 養生方法（　）
空気調和設備	①. 設計温湿度	（下表）

季節	外気 温度(DB)	外気 湿度(RH)	一般系統 温度(DB)	一般系統 湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	コンピューター室系統 温度(DB)	コンピューター室系統 湿度(RH)
夏期	30.6℃(9時) 32.4℃(12時) 32.6℃(14時) 31.8℃(16時)	65.5%(9時) 60.2%(12時) 57.8%(14時) 61.0%(16時)	２６℃	４５％	℃	％	２４℃	４５％
冬季	－２．０℃	６９．２％	２２℃	４０％	℃	％	２４℃	４５％

（屋内（調整目標値））

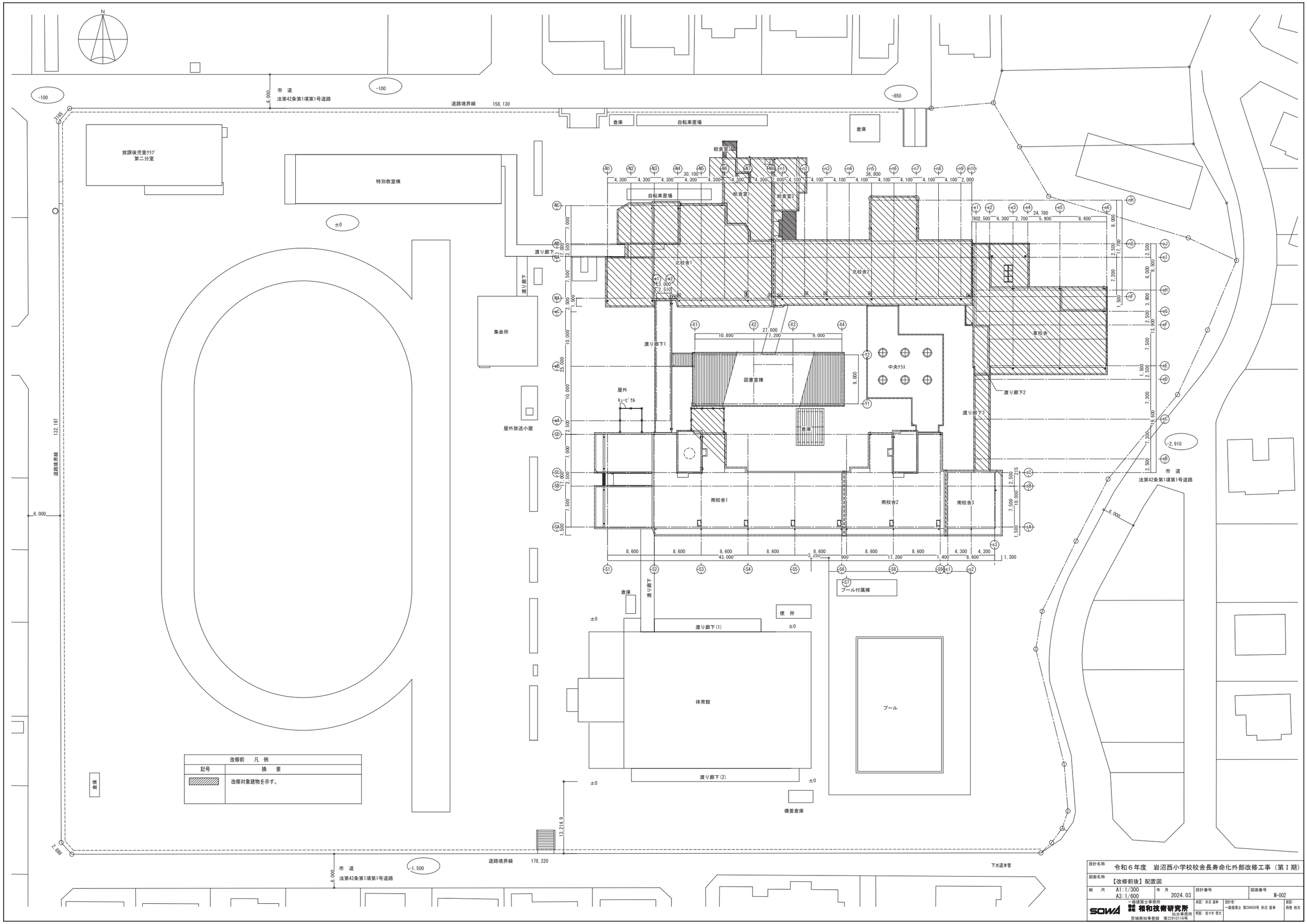
章	項目	特記事項
空気調和設備	3. 煙突	
	2. ばい煙濃度計	取付箇所は図示による。 ※ 別途　・ 本工事（鋼板厚　mm、高さ　m以上）
	4. 煙道	※ 煙道径３００mm以下は鋼板厚３．２mm，３００mmを超えるものは４．５mmとする。　・ 図示による。 （煙道径が４００mmを超えるものには，掃除口に蝶番を取り付ける。）
	⑤. ダクトの区分	低圧とする（高圧１及び高圧２の部位は図示による。）
	⑥. 長方形ダクトの工法	・ アングルフランジ工法　・ コーナーボルト工法（・ 共板　・ スライド）
	7. 風量測定口	取付け場所は図示による。取付面は監督職員の指示による。
	8. チャンバ	(1)内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。 (2)空気調和機に取付けるサプライチャンバー及びレタンチャンバーで消音内貼りしたチャンバーには，点検口を設ける。なお点検口の大きさは図示による。 (3)外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンバー及びホッパーは雨水の滞留のないように施工する。
	9. 防煙ダンパ	(1)復帰方式　※ 遠隔式（電気式（定格入力ＤＣ２４Ｖ，０．７Ａ以下） (2)復帰動作　※ 順送り
	⑩. 配管材料	(1) 冷温水管　※ 配管用炭素鋼鋼管（白）　・ (2) 冷却水管　※ 配管用炭素鋼鋼管（白）　・ (3) 蒸気管（給気管）　※ 配管用炭素鋼鋼管（黒）　・ （還水管）　※ 圧力配管用炭素鋼鋼管（Ｓｃｈ４０） (4) 油管，油用通気管（一般）　※ 配管用炭素鋼鋼管（黒）　・ （土中）　※ ポリエチレン被覆鋼管 (5) 膨張管，空気抜き管，膨張タンクよりボイラ等への給水管　※ 配管用炭素鋼鋼管（白）　・ (6) 空調用排水管　※ 配管用炭素鋼鋼管（白）　・ (7) 冷媒管　※ 断熱材被覆銅管　・ 銅管
	11. 弁類	※ ＪＩＳ又はＪＶ５Ｋ　・ ＪＩＳ又はＪＶ１０Ｋ ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。
	12. 鋼管用伸縮管継手	※ ベローズ形　・ スリーブ形
	13. 温度計	※ 標準仕様書，標準図による他，図示した箇所に取り付ける。（配管用はＬ形，ダクト用は円形） ・ 空気調和機，温風暖房機まわりの給気ダクト，還気ダクト及び外気ダクト ・ 冷温水ヘッダー（往）及び冷温水ヘッダーの各還り管 ・ パッケージ形空気調和機の冷却水及び温水の出入口
	14. 瞬間流量計	※ 着脱可能形（※ 全数　・ 図示による） 着脱可能形の場合，その指示部（・ ４０Ａ用　個　・ １００Ａ用　個　・ ２５０Ａ用　個）を付属する。 ・ 固定形（止水コック付）　・ 測定用タッピング（３２mmピトー管流量計用）
	15. オイルタンク	（１）オイルタンク本体は図示による。 （２）遠隔油用指示計　※ 取付ける　・ 取付けない （３）計量尺は，青銅製，黄銅製又はアルミ製とし，１００リットル実測目盛刻印とする。計量口は錠付とする。
	16. 積算油量計	図示の箇所に取付ける（熱源機器等）。
	17. 注油口及び指示ボックス	標準図（機材　６　）による。 ・ 単独形　・ 共用形（・ ローリーアース付）
	18. 消音内貼り	（１）施工箇所は図示による。 （２）内貼りチャンバー類の寸法表示は，外形寸法とする。 （３）吹出口に接続するチャンバーの消音内貼りは別図による。
	⑲. 保温	(1)建物内の空気抜き管の保温は空気抜き弁までとし（空気抜き弁も含む），仕様は冷温水管の項による。 (2)屋外露出配管の保温は，給水設備の項による。 (3)外気取り入れダクト及びチャンバーボックスの保温　※ 要（全熱交換器の給気ダクトを含む）　・ 不要 (4)排気ダクトの外壁開放部より１m程度保温する。（チャンバーボックスを含む） (5)冷媒管（断熱材被覆銅管）の保温外装 屋内露出部　⊙ 保温化粧ケース（樹脂製）　・ 外装なし　・ 屋外　⊙ 保温化粧ケース（樹脂製）　・ (6)高圧蒸気管及びヘッダーの保温厚は　mmとする。
	20. 電気工事の範囲	(1)地震感知器の配管配線　※ 別途　・ 本工事 (2)防煙ダンパと連動制御器迄の配管配線及び連動制御盤から煙感知器迄の配線配管は　※ 別途　・ 本工事
	21. 塗装	（１）屋内露出裸ダクトの塗装（居室を除く）は　※ 行わない　・ 行う （２）屋内露出冷却水配管の塗装（居室は除く）は　※ 行わない　・ 行う
換気設備	1. 準拠事項	［ 空気調和　・ 冷房　・ 暖房設備 ］の当該事項に準ずる。 ・５　・６　・７　・８　・９　・１８　・１９　・２１
	2. 開放形湯沸器排気フード	※ 別途　・ 本工事　・ 既設
	3. 厨房用排気ダクト	※ 亜鉛鉄板　・ ステンレス鋼版（ＳＵＳ３０４）（板厚は高圧ダクトによる）
	4. 厨房用排気ダクト工法	※ アングルフランジ工法　・ コーナーボルト工法（共板フランジ又はスライドオンフランジ）
	5. 厨房用排気フード	(1)フード周囲の天幕（フード面から天井面まで）　※ 取り付ける　・ 取り付けない (2)フードコック　※ 取り付ける　・ 取り付けない (3)材質（天幕とも）　※ ステンレス鋼板（ＳＵＳ４３０又はＳＵＳ３０４）
	6. 多湿箇所の排気ダクト	次の系統のダクトのシールは，標準図（施工４５，４６）のＮシール＋Ａシール＋Ｂシールとし，水抜き管を設ける。 （　）
排煙設備	1. ダクト	・ 亜鉛鉄板製　・ 鋼板製（１．６mm以上）
	2. 排煙口の形式	・ 可動羽根（スリット共）　・ 可動パネル
	3. 排煙口開放装置	・ ワイヤー式　・ 電気式（遠隔操作機能　・ 要　・ 不要）
	4. 排煙風量測定方式	建築設備定期検査業務指導書（（財）日本建築設備・昇降機センター）の排煙風量の検査方式に準ずる。
自動制御設備	1. 中央監視制御	中央監視制御装置の構成機能は別紙による。
	2. 計装工事の配線	（１）屋外・屋内露出の配線は，図面に特記のない限り金属管配線とする。 （２）天井内隠ぺいの配線は，図示に特記がなければケーブル配線とする。
衛生器具設備	1. 大便器洗浄弁	・ 洗浄タンク方式　・ 洗浄弁方式（不凍結節水弁付）
	2. 便器洗浄用タンク	※ 手洗なし　・ 手洗付
	3. 小便器自動洗浄	個別感知方式とする。（・ 小便器一体型　・ 小便器分離型）
	4. 器具付属水栓	固定こま式（節水こま式）とする。
	5. 自動水栓	※ 電源供給方式（※ ＡＣ１００Ｖ）　・ 乾電池　・自己給電
	6. 温水洗浄便座加熱方式	・ 瞬間式　・ 貯湯式
	7. 大便器耐火カバー	設ける（ピット内を除く）
給水設備	1. 量水器	(1)親メーター　※ 措用　・ 買取り　（隔測メーター　・ 有　・ 無） (2)子メーター　※ 買取り　（隔測メーター　・ 有　・ 無）
	2. 量水器桝	(1)親メーター用　※ 水道事業者の指定品　・ 標準図（機材５７） (2)子メーター用　※ 標準図（機材５７）　・ 水道事業者の指定品
	3. 配管材料	(1)一般用 ・ ステンレス鋼管（ＳＵＳ３０４） ・ 塩ビライニング鋼管（・ＶＡ　・ＶＢ） ・ ポリ粉体鋼管（・ＰＡ　・ＰＢ） (2)土間配管用（厨房，浴室等のシンダー内含む） ・ ステンレス鋼管（ＳＵＳ３１６） ・ 塩ビライニング鋼管（ＶＤ） ・ ポリ粉体ライニング鋼管（ＰＤ） (3)屋外土中用 ・ ステンレス鋼管（ＳＵＳ３１６） ・ 塩ビライニング鋼管（ＶＤ） ・ ポリ粉体鋼管（ＰＤ） ・ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ） ・ 〃（ＨＩＶＰ） ・ ポリエチレン管 ・ 水道用ゴム輪形硬質ポリ塩化ビニル管
	4. 不凍水栓柱	化粧ケーシング（・ アルミ合金製　・ 合成樹脂製）
	5. 弁類	(1)水道直結部分　※ ＪＩＳ又はＪＶ１０Ｋ　・ 水道事業所の規定による　Ｋ (2)その他の部分　※ ＪＩＳ又はＪＶ５Ｋ　・ ＪＩＳ又はＪＶ１０Ｋ ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。
	6. 給水栓	(1)屋内（※ 一般水栓　・ 耐寒水栓）　湯沸室，台所，厨房用水栓は泡沫式とする。 (2)屋外（※ 耐寒水栓　・ 一般水栓）　耐寒水栓はＪＷＷＡの認証品とする。
	7. 埋設深さ	(1)一般敷地内（0.4m以上）　(2)敷地内車両道路（0.6m以上） (3)公道部分（※ 水道事業者及び道路管理者規定による）
	8. 保温	(1)量水器桝内の保温を行う。 (2)屋外露出配管（弁フランジを含む）は，標準仕様書第２編（表２．３．６　ｅ２・（ハ））とし厚さは呼び径２５mm以下は５０mm，呼び径３２mm以上は４０mmとする。
	9. 埋設弁開閉用ハンドル	本工事に　※ 含む（水道事業者管理用以外の弁操作用）　・ 含まない
	10. 水道加入金等	水道加入金　・ 要（・ 本工事　・ 別途）　・ 不要 ・ その他（　）
	11. ステンレス管の接合方法	(1)呼び径６０ＳＵ以下　ＳＡＳ３２２（一般配管用ステンレス鋼管の管継手性能基準）を満足した継手による接合 (2)呼び径７５ＳＵ以上　・ 溶接接合　・ ハウジング形管継手による接合　・ フランジ接合
	12. その他	給水管の最小口径は２０mmとする。ただし，器具接続部分を除く。
排水設備	1. 配管材料	(1)屋内汚水管 ・ 排水用塩ビライニング鋼管 ・ 鉛管 (2)屋内雑排水管 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 排水用塩ビライニング鋼管 (3)屋外土中汚水，雑排水管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ） ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＵ） ・ 排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管（ＲＥＰ－ＶＵ） (4)土間配管用 ・ 排水用塩ビライニング鋼管 (5)通気管 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ） (6)ポンプアップ排水管 ・ ポリ粉体鋼管（ＰＤ） 台所流し等の床上露出部分の排水管は、硬質ポリ塩化ビニル管でもよい。
	2. 排水桝	・ 桝リストは図面番号（　） (1)材料　・ ＲＣ　・ 硬質塩化ビニル　・ ポリプロピレン　・ ＳＣ (2)ふた　・鋳鉄製（・ ＭＨＡ　・ ＭＨＢ　・ Ｔ８Ａ　） ・樹脂製 ※ 県マーク，流体名入りおよび樹脂製ふたは原則としてＳＵＳチェーン付 (3)規格　・ 日本下水道協会（ＪＳＷＡＳ）　・ プラスチック・マスマンホール協会（ＰＭＭＳ） ・ 市町村別基準（・ 有　・ 無）
	3. グリース阻集器	・ＦＲＰ製（　Ｌ）　・ＳＵＳ製（　Ｌ）　詳細は図示。
	4. 満水試験継手	図示の箇所に取付け，満水試験を行うこと。
	5. 試験	・ 衛生器具などの取付完了後，排水試験又は通水試験を行う。 ・ 衛生器具などの取付完了後，煙試験を行う。
	6. 放流負担金等	・ 不要　・ 要（・ 別途工事　・ 本工事）
	7. 基礎材	※ 再生クラッシャーラン
給湯設備	①. 配管材料	⊙ ステンレス鋼管（ＳＵＳ３０４）　・ 耐熱性ライニング鋼管　・ 銅管　・ 被覆銅管 ・ 保温付被覆銅管　＜膨張管及び補給水タンクよりボイラー等への補給水管を含む。＞
	②. 弁類	給水設備の当該事項による。
	3. 湯沸器の排気筒	厚さ０．５mm以上のステンレス鋼板製とする。
	4. 保温	湯沸器の給排気筒（二重管）のいんぺい部保温を行う。標準仕様書第２編３．１．５表２．３．５の（ｈ・(ｲ)・Ｘ）
	⑤. ステンレス管の接合方法	(1)呼び径６０ＳＵ以下　ＳＡＳ３２２（一般配管用ステンレス鋼管の管継手性能基準）を満足した継手による接合 (2)呼び径７５ＳＵ以上　・ 溶接接合　・ ハウジング形管継手による接合　・ フランジ接合
消火設備	1. 配管材料	(1)一般 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（Ｓｃｈ４０） (2)地中埋設部 ・ 外面被覆鋼管（ＳＧＰ－ＶＳ） ・ ポリエチレン被覆鋼管（ＳＧＰ－ＰＳ） ・ 外面被覆鋼管（ＳＴＰＧ－３７０ＶＳ） ・ ポリエチレン被覆鋼管（ＳＴＰＧ－３７０ＰＳ） (3)二酸化炭素用 ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（継目無管）（Ｓｃｈ８０）
	2. 屋内消火栓種別	・ 易操作性１号消火栓　・ ２号消火栓　・ 広範囲型２号消火栓
	3. 消火栓開閉弁	・ ＪＩＳ１０Ｋ　・ ＪＩＳ２０Ｋ
	4. 保温	(1)屋外露出管については給水管に準ずる。 (2)充水タンクの保温　・ 施工しない　・ 施工する (3)消火配管の保温　屋内消火栓　・ 施工しない　・ 施工する スプリンクラー　・ 施工しない　・ 施工する
	5. 消火器類	(1)消火器　種別　・ 数量（　） (2)消火器収納箱　仕様　・ 材質　・ 数量（　）
厨房機器設備	1. 厨房機器類	（１）図示による（材質などは標準仕様書による）。ただし，寸法は参考とする。 （２）厨房機器据付要領は，標準図施工７４による。
ガス設備	1. 配管材料	(1)一般 ※ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ ガス事業者の規定による (2)地中埋設部 ※ ポリエチレン被覆鋼管 ・ ガス事業者の規定による ・ ガス用ポリエチレン管
	2. 都市ガス	(1)ガスメーター 親メーターはガス事業者の設置，子メーターは本工事 (2)引込み負担金　・ 不要　・ 要（・ 別途工事　・ 本工事）
	3. 液化石油ガス	(1)ガスボンベ　※ 借用　・ 買い取り　（・１０ｋｇ　・２０ｋｇ　・５０ｋｇ　本） (2)ガスメーター　親メーターはガス事業者の設置，子メーターは本工事とする。 (3)集合装置　・ 標準図（施工７２）による（　本組） (4)転倒防止等　・ 標準図（施工７３）｛・（ａ）・（ｂ）｝・ ボルト，チェーン等はＳＵＳ製とする。 ・ 容器固定具をＧＬ＋３００に追加設置する。
	4. ガス漏れ警報器	図示の場所に取付ける（・ 分離形　・ 一体形）　・ 別途電気工事 外部出力端子（・ あり　・ なし）
	5. 埋設深さ	(1)一般敷地内（　m以上）　(2)敷地内車両道路（　m以上） (3)公道（ガス供給事業者及び道路管理者規定による）
	6. その他	配管工事は，原則としてガス供給事業者の責任施工とする。　供給事業者名（　）
昇降機設備	1. 方式　用途	方式（・ロープ式　・油圧式　・　）　用途（・一般乗用　・車いす用　・荷物用　・　）
	2. 積載量（kg）　定員（人）	積載量（　kg）　定員（　人）
	3. 速度（m/分）　停止箇所	速度（　m/分）　停止箇所（　箇所停止）
	4. 管制運転	・ 地震　・ 火災　・ 停電　・ 冠水　・ 自家発
	5. 工場検査予定	※ あり　・ なし
	6. 無償保守期間	・ あり（　ヶ月）　※ なし
解体工事	1. 特記事項 ※建物一式のとりこわし工事に適用とし，機器等の改修工事は適用外	①施工計画書には，産業廃棄物処理計画を記載するとともに，解体施工前に事前調査を行い，その結果を「指定様式２－１　建設副産物処理表（施工前調査表）」としてあらかじめ監督職員に提出すること ②撤去品の一切については，有害物質等の含有又は含有の可能性の有無について改めて調査を行い，その結果を「指定様式２－２　建設副産物処理表（撤去品調査後）」として監督職員に提出すること ③上記②により新たな有害物質等の含有又は含有の可能性がある撤去品を確認した場合には，速やかに監督職員と協議するとともに，産業廃棄物処理計画の変更を行い，監督職員の確認を得た上で処理・処分すること ④撤去品の取扱いについては，関係法令等に従い適切な処理・処分を行うとともに，その結果を「指定様式２－３　建設副産物処理表（最終）」として監督職員に提出すること

表１「完成書類」　本工事終了後下記の書類を提出すること。

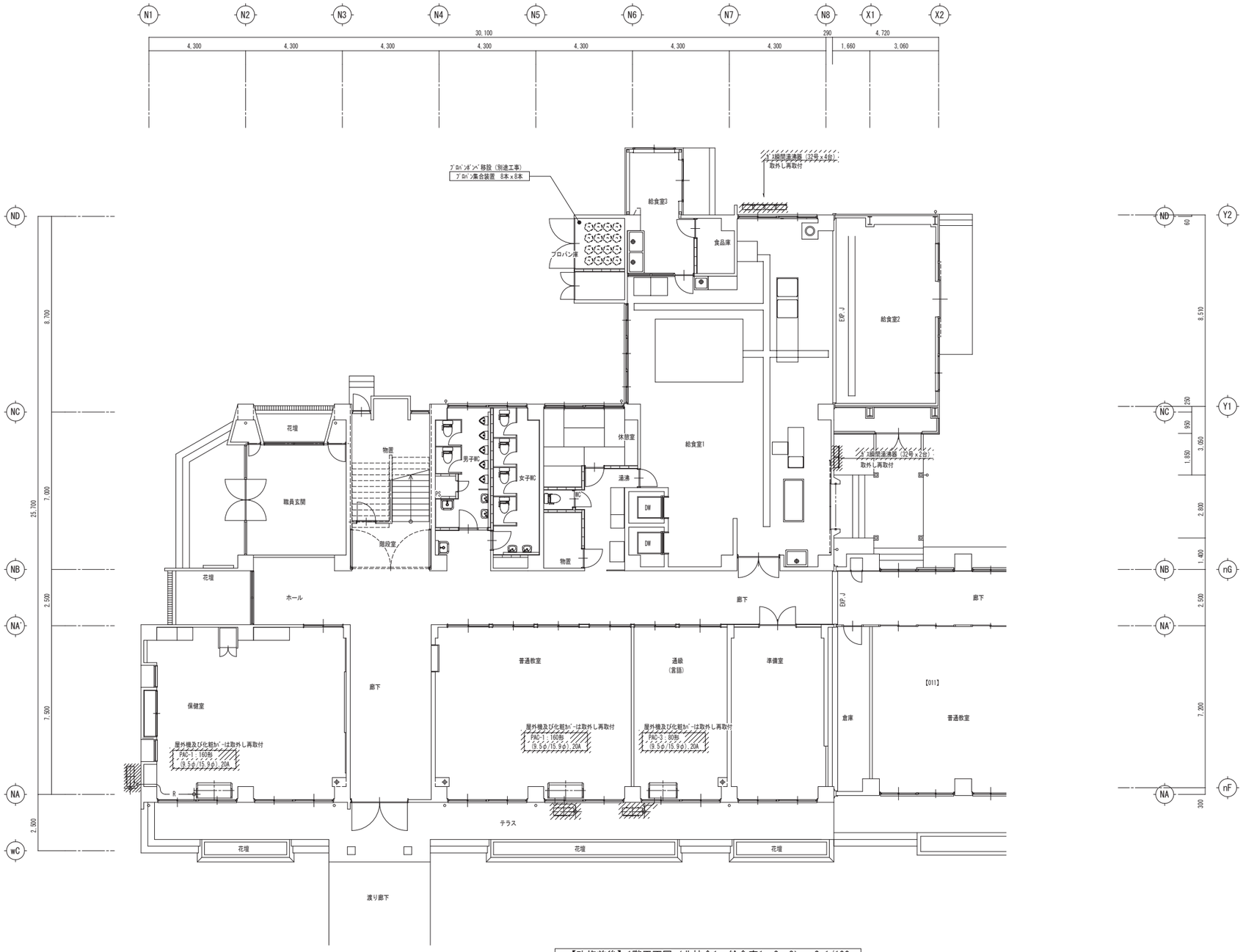
名称	完成書類	部数	名称	完成書類	部数
1　完成調書	営繕工事完成引渡要領（令和３年４月１日版）	１部	6　取扱説明書 ①保守に関する案内書 ②機器別取扱説明書 ③緊急連絡先一覧 ④各種保証書	Ａ４版：チューブ式ファイル ⑤完成図書電子データ 10 工事に関する承諾確認書	１部
2　完成図書	Ａ４版：黒表紙金文字製本（機器完成図，取扱説明書と合本可。ただし，厚さが８０mmを超える場合は分冊とする。）	１部	7　管理の手引き ①工事概要書 ②機器完成図 ③機器別取扱説明書 ④保守に関する案内書 ⑤緊急連絡先一覧表	Ａ４版：チューブ式ファイル	１部
3　完成図（縮小）	白焼縮小製本 Ａ３版二つ折り うち１部は設備課保管	２部	8　工事写真 ①施工写真 ②完成写真	Ａ４版：チューブ式ファイル（着手前，施工状況，完成の各写真） Ａ４版：ペーパーファイル　完成届に添付	１部
4　完成図・施工図（電子データ）	JWW又はDXF形式CADデータ及びPDF形式	ＣＤ２枚	9　工事に関する書類 ①施工計画書 ②施工要領書 ③承諾書・確認書 ④協議書 ⑤打合せ議事録 ⑥工事週報又は日報 ⑦安全に関する書類 ⑧廃棄物管理票の写し	Ａ４版：チューブ式ファイル	１部
5　機器完成図 ①機器別完成図 ②機材材質証明書 ③機材検査成績書 ④工場試験成績書 ⑤工場立会検査成績書 ⑥現場据付試験成績書 ⑦総合試運転成績書	Ａ４版：チューブ式ファイル	１部			

注記：機器及びシステム参考図について
本図面中で，機器又はシステムの品質・グレードを規定する目的で，対象品の寸法形状，諸元及びシステム構成等を参考図として記載している。
これらのものについては，その品質・性能が図面と同等品もしくはそれ以上のものを使用するものとする。

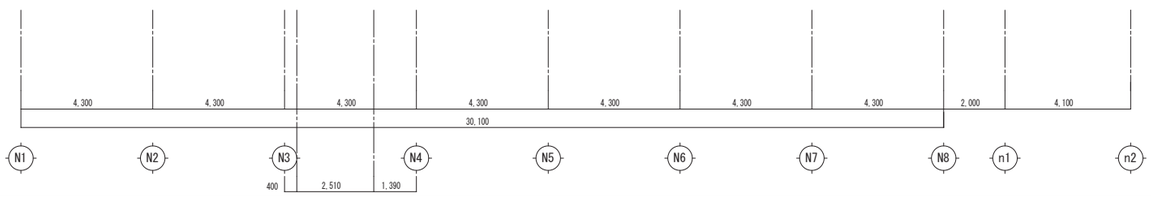
設計名称	令和６年度　岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事（第Ⅰ期）		
図面名称	機械設備改修工事特記仕様書		
縮尺 NS	年月 2024.03	設計番号	図面番号 M-001
一級建築士事務所 株式会社 相和技術研究所 仙台事務所 宮城県知事登録 第22910116号	承認/ 赤沼 直幸 照査/ 佐々木 啓文	設計者/ 一級建築士 第284436号 赤沼 直幸	製図/ 西巻 裕太



設計名称	令和６年度　岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事（第Ⅰ期）
図面名称	【改修前後】配置図
縮　尺	A1:1/300 A3:1/600
年　月	2024.03
設計番号	
図面番号	M-002
一級建築士事務所	株式会社 相和技術研究所 仙台事務所 宮城県知事登録　第22910116号
承認/ 赤沼 直幸	
設計者/ 一級建築士 第284436号 赤沼 直幸	
担当/ 佐々木 啓文	
製図/ 西巻 裕太	

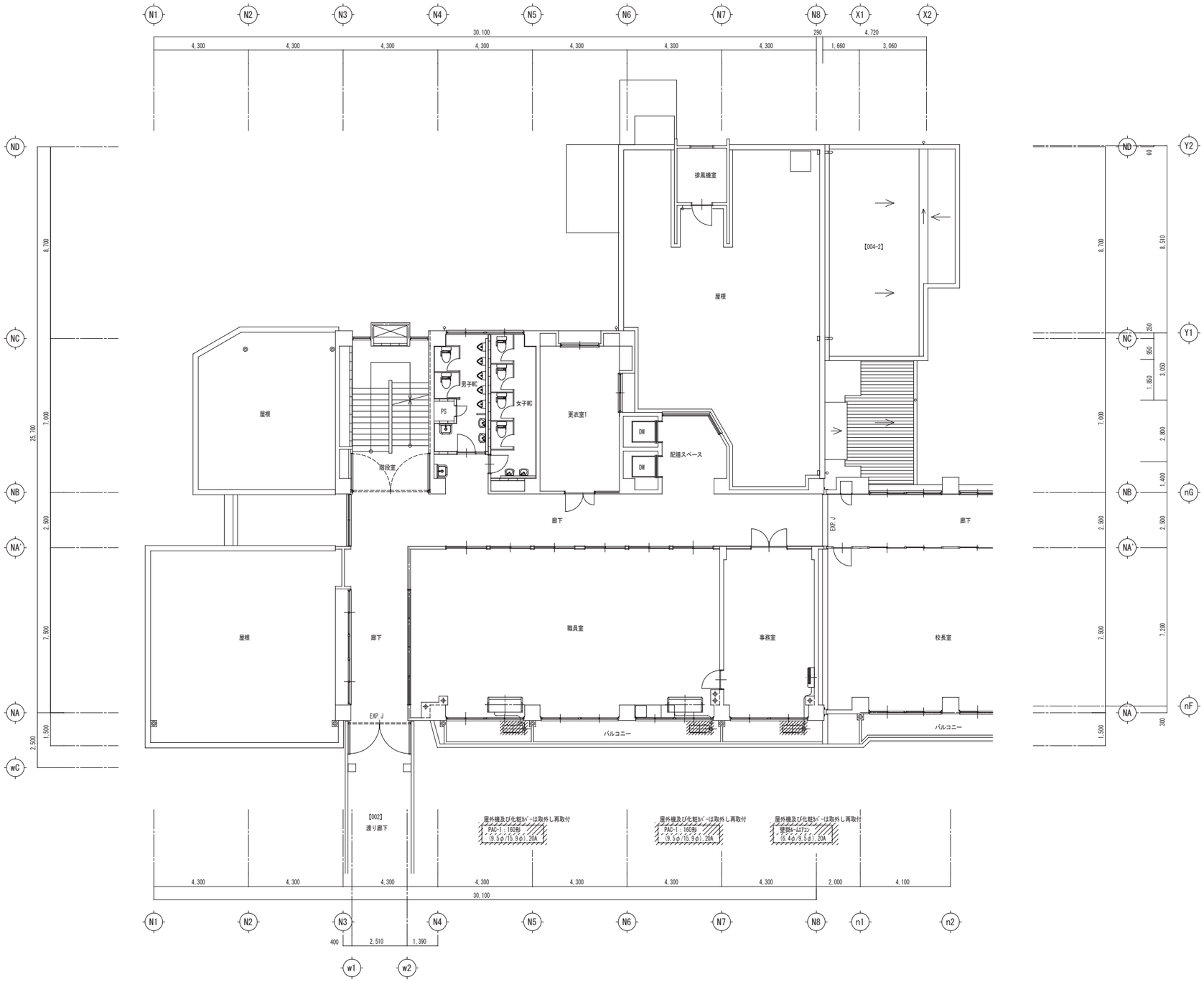


【改修前後】1階平面図（北校舎1、給食室1・2・3）　S=1/100



改修前後　凡　例	
記号	摘　要
▨	取外し・再取付配管及び機器類を示す。

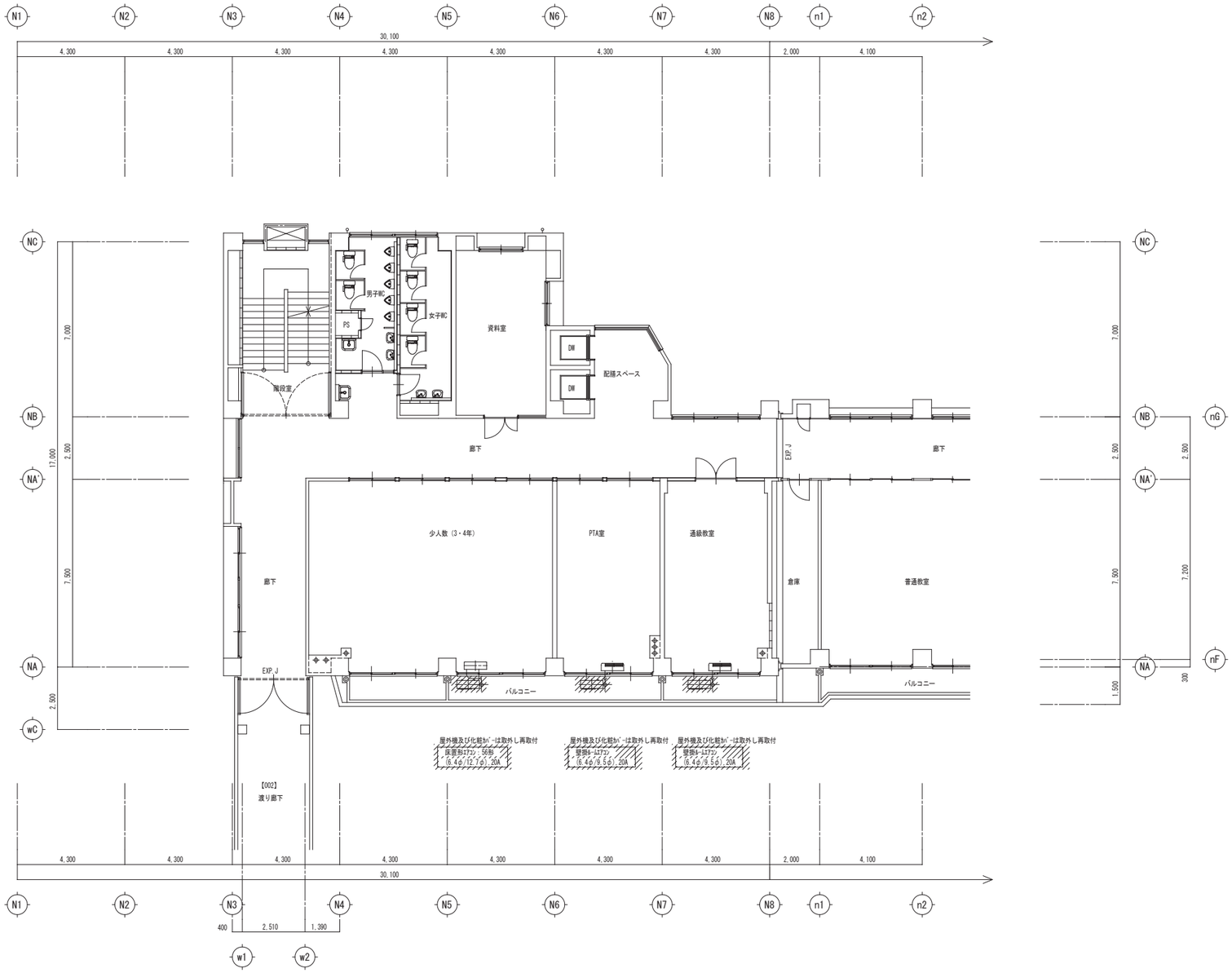
設計名称	令和６年度　岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事（第Ｉ期）		
図面名称	【改修前後】1階平面図（北校舎1、給食室1・2・3）		
縮　尺 A1:1/100 A3:1/200	年　月 2024.03	設計番号	図面番号 M-003
一級建築士事務所 株式会社 相和技術研究所 仙台事務所 宮城県知事登録　第22910116号	承認/ 赤沼 直幸	設計者/ 一級建築士 第284436号 赤沼 直幸	製図/ 西巻 裕太
SOWA	照査/ 佐々木 啓文		



【改修前後】2階平面図（北校舎1、給食室1・2・3）　S=1/100

改修前後　凡　例	
記号	摘　要
▨	取外し・再取付配管及び機器類を示す。

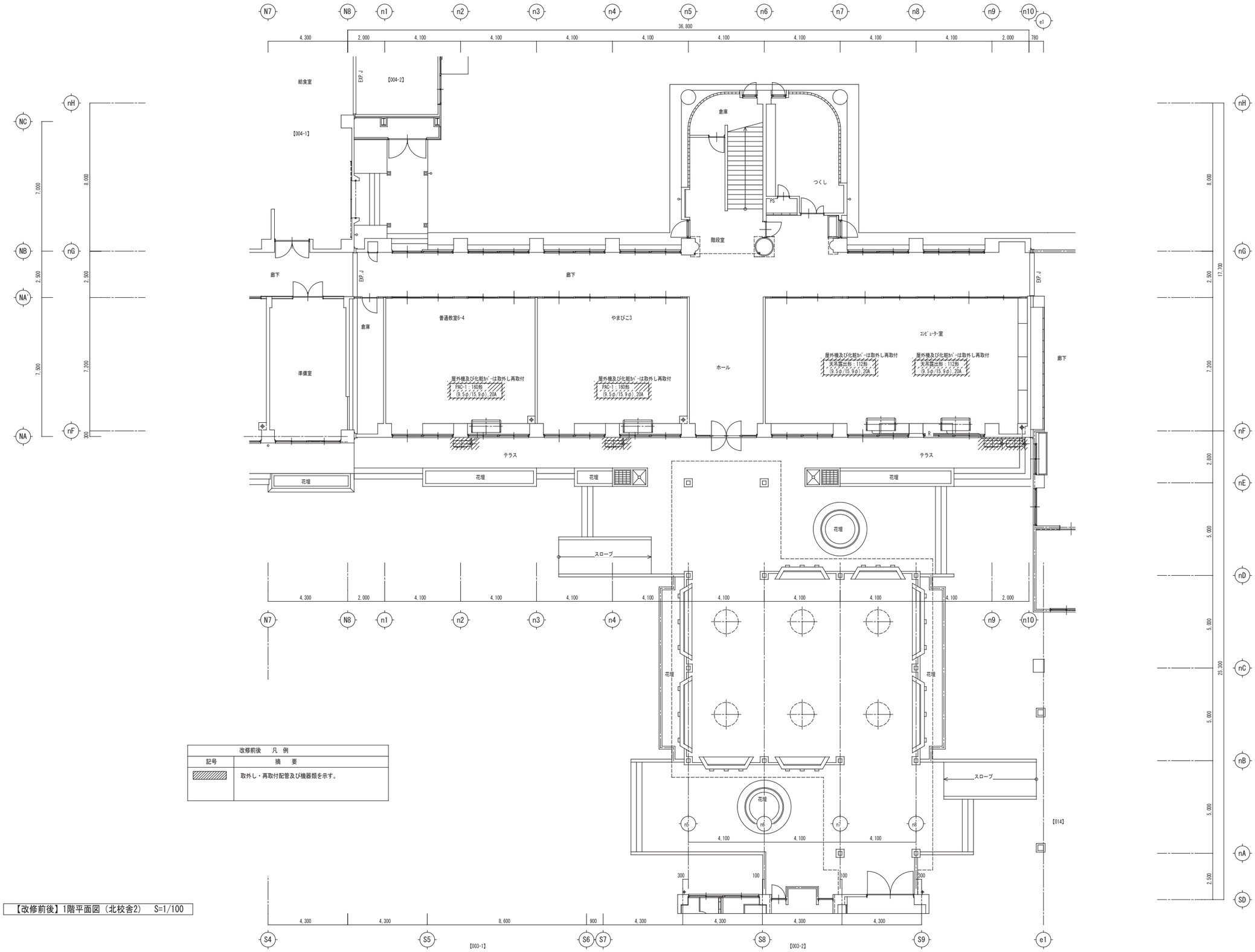
設計名称	令和６年度　岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事（第Ⅰ期）		
図面名称	【改修前後】2階平面図（北校舎1、給食室1・2・3）		
縮　尺 A1:1/100 A3:1/200	年　月 2024.03	設計番号	図面番号 M-004
一級建築士事務所 SOWA 株式会社 相和技術研究所 仙台事務所 宮城県知事登録　第22910116号	承認/ 赤沼 直幸	設計者/ 一級建築士 第284436号 赤沼 直幸	製図/ 西巻 裕太
	照査/ 佐々木 啓文		



【改修前後】3階平面図（北校舎1）　S=1/100

改修前後　凡　例	
記号	摘　要
▨	取外し・再取付配管及び機器類を示す。

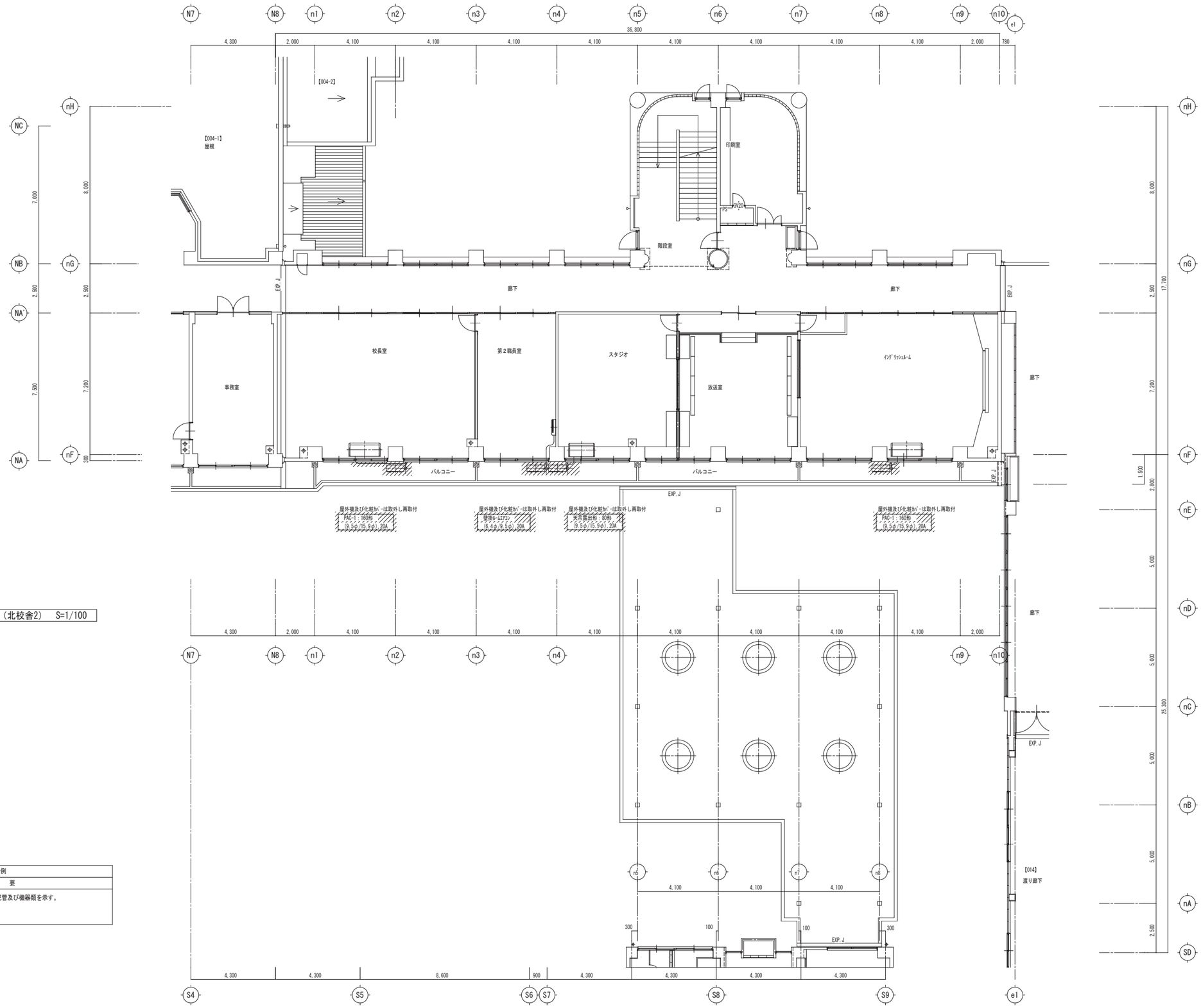
設計名称	令和６年度　岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事（第Ⅰ期）		
図面名称	【改修前後】3階平面図（北校舎1）		
縮　尺	A1:1/100 A3:1/200	年　月 2024.03	設計番号 / 図面番号 M-005
SOWA 株式会社 相和技術研究所 仙台事務所 宮城県知事登録　第2291015号	一級建築士事務所	承認/ 赤沼 直幸 照査/ 佐々木 啓文	設計者/ 一級建築士 第284436号 赤沼 直幸 製図/ 西巻 裕太



改修前後　凡　例	
記号	摘　要
▨	取外し・再取付配管及び機器類を示す。

【改修前後】1階平面図（北校舎2）　S=1/100

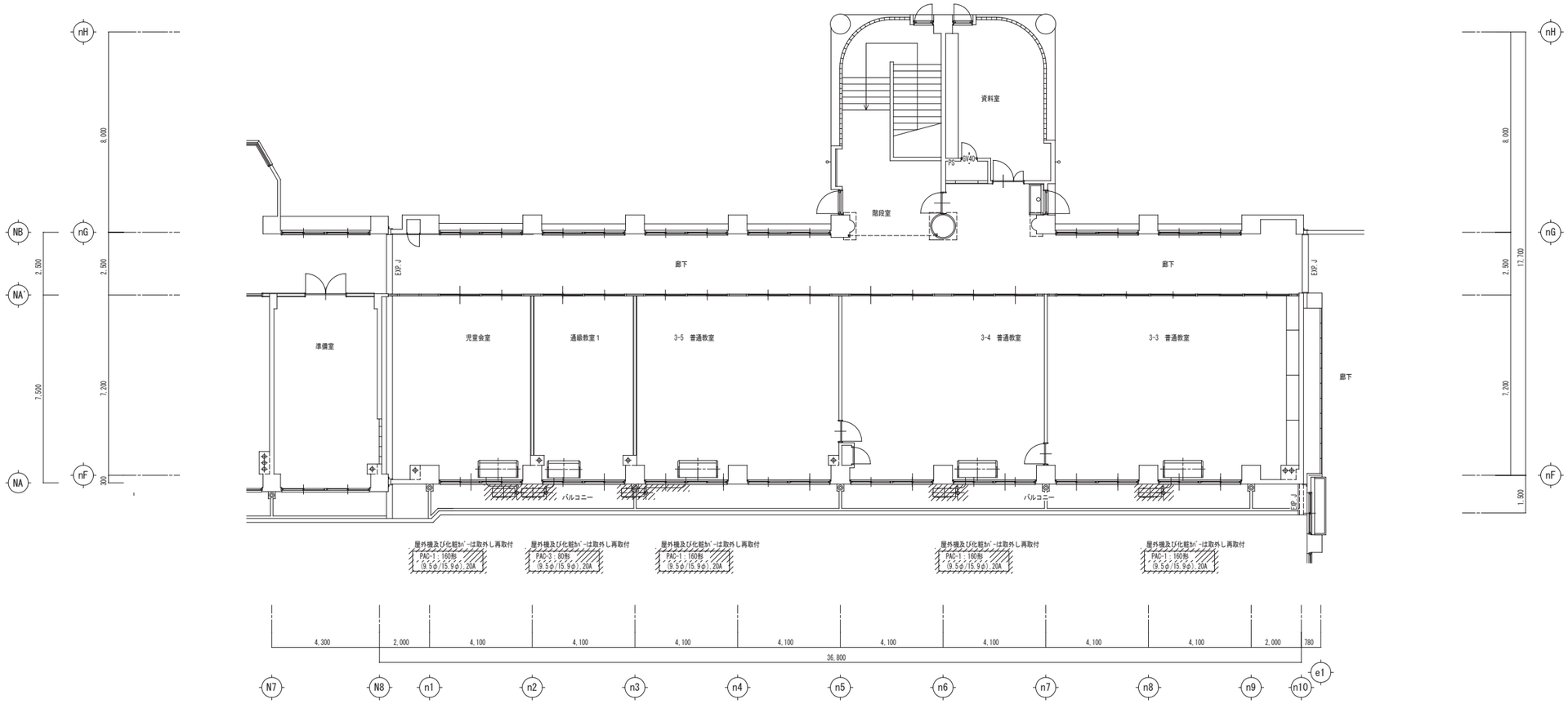
設計名称	令和６年度　岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事（第Ｉ期）
図面名称	【改修前後】1階平面図（北校舎2）
縮　尺	A1:1/100 A3:1/200
年　月	2024.03
設計番号	
図面番号	M-006
一級建築士事務所	株式会社 相和技術研究所 仙台事務所 宮城県知事登録　第2291011 6号
承認/ 赤沼 直幸	
所長/ 佐々木 啓文	
設計者/	一級建築士 第284436号 赤沼 直幸
製図/	西巻 裕太



【改修前後】2階平面図（北校舎2）　S=1/100

改修前後　凡　例	
記号	摘　要
▨	取外し・再取付配管及び機器類を示す。

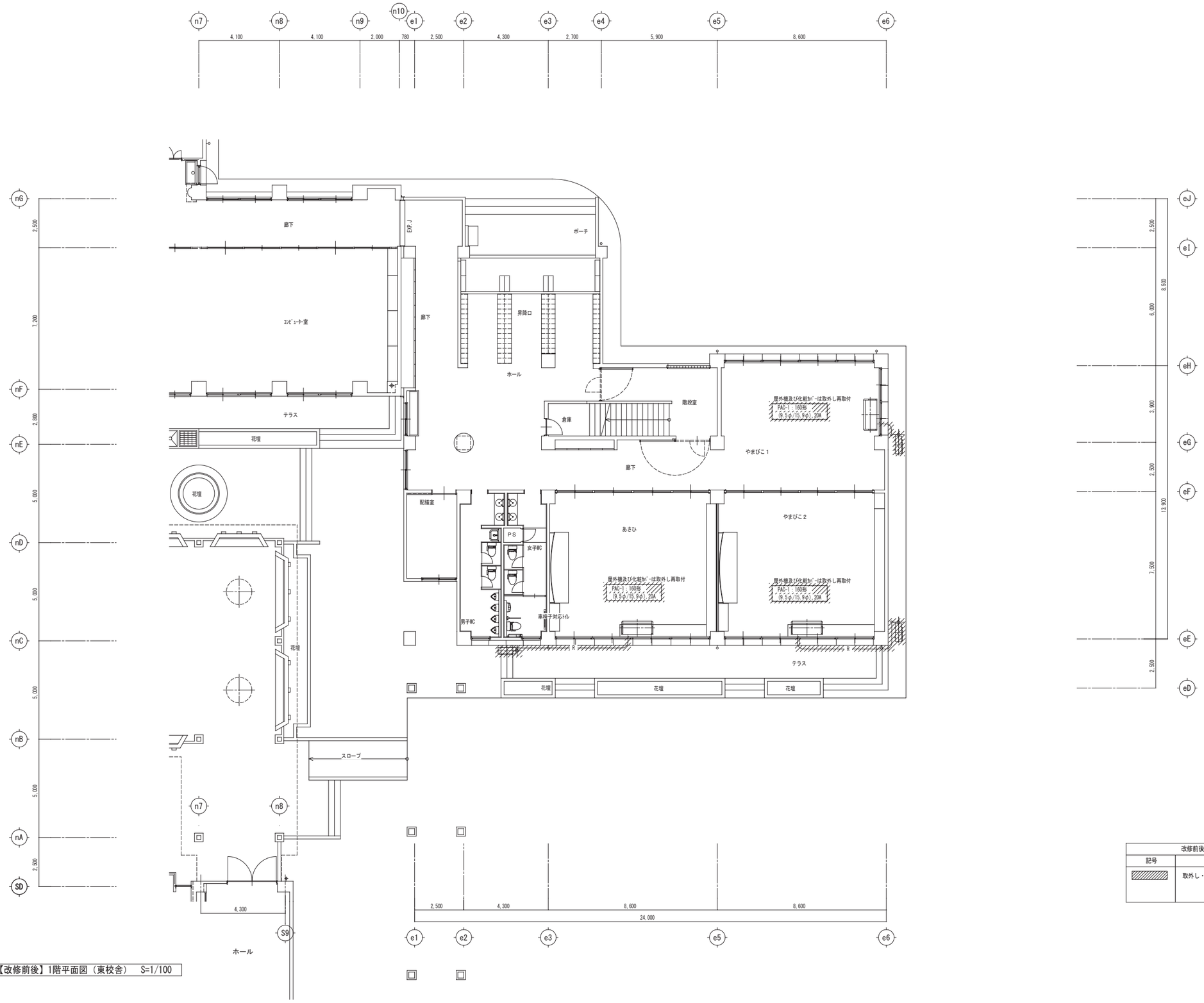
設計名称	令和６年度　岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事（第Ｉ期）		
図面名称	【改修前後】2階平面図（北校舎2）		
縮　尺 A1:1/100 A3:1/200	年　月 2024.03	設計番号	図面番号 M-007
一級建築士事務所 株式会社 相和技術研究所 仙台事務所 宮城県知事登録　第22910116号	承認/ 赤沼 直幸 / 照査/ 佐々木 啓文	設計者/ 一級建築士 第284436号 赤沼 直幸	製図/ 西巻 裕大



【改修前後】3階平面図（北校舎2）　S=1/100

改修前後　凡　例	
記号	摘　要
▨	取外し・再取付配管及び機器類を示す。

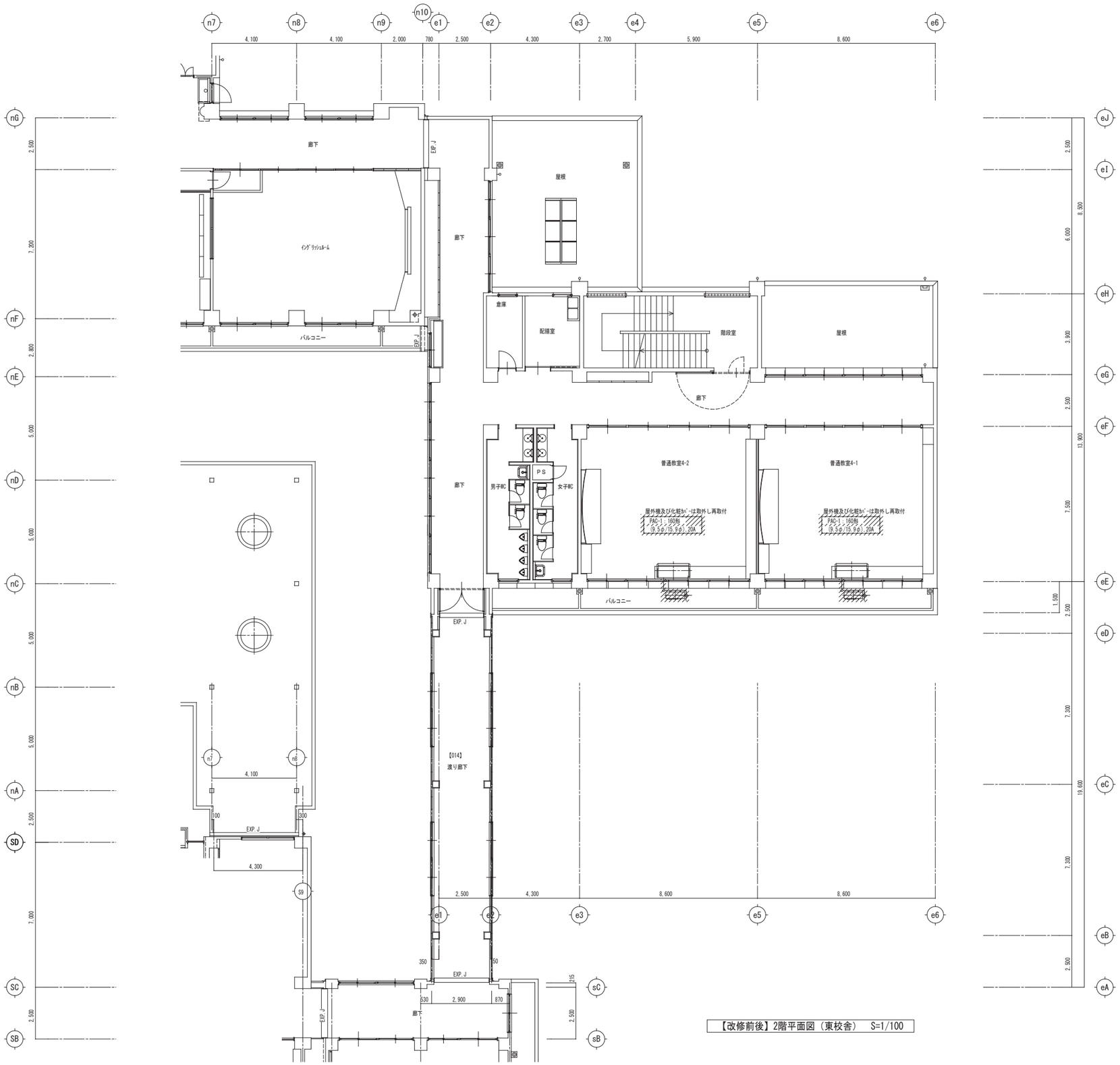
設計名称	令和６年度　岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事（第Ｉ期）			
図面名称	【改修前後】3階平面図（北校舎2）			
縮　尺	A1:1/100 A3:1/200	年　月 2024.03	設計番号	図面番号 M-008
一級建築士事務所 SOWA 株式会社 相和技術研究所 仙台事務所 宮城県知事登録　第22910116号	承認/ 赤沼 直幸 照査/ 佐々木 啓文	設計者/ 一級建築士 第284436号 赤沼 直幸	製図/ 西巻 裕太	



【改修前後】1階平面図（東校舎）　S=1/100

改修前後　凡　例	
記号	摘　要
▨	取外し・再取付配管及び機器類を示す。

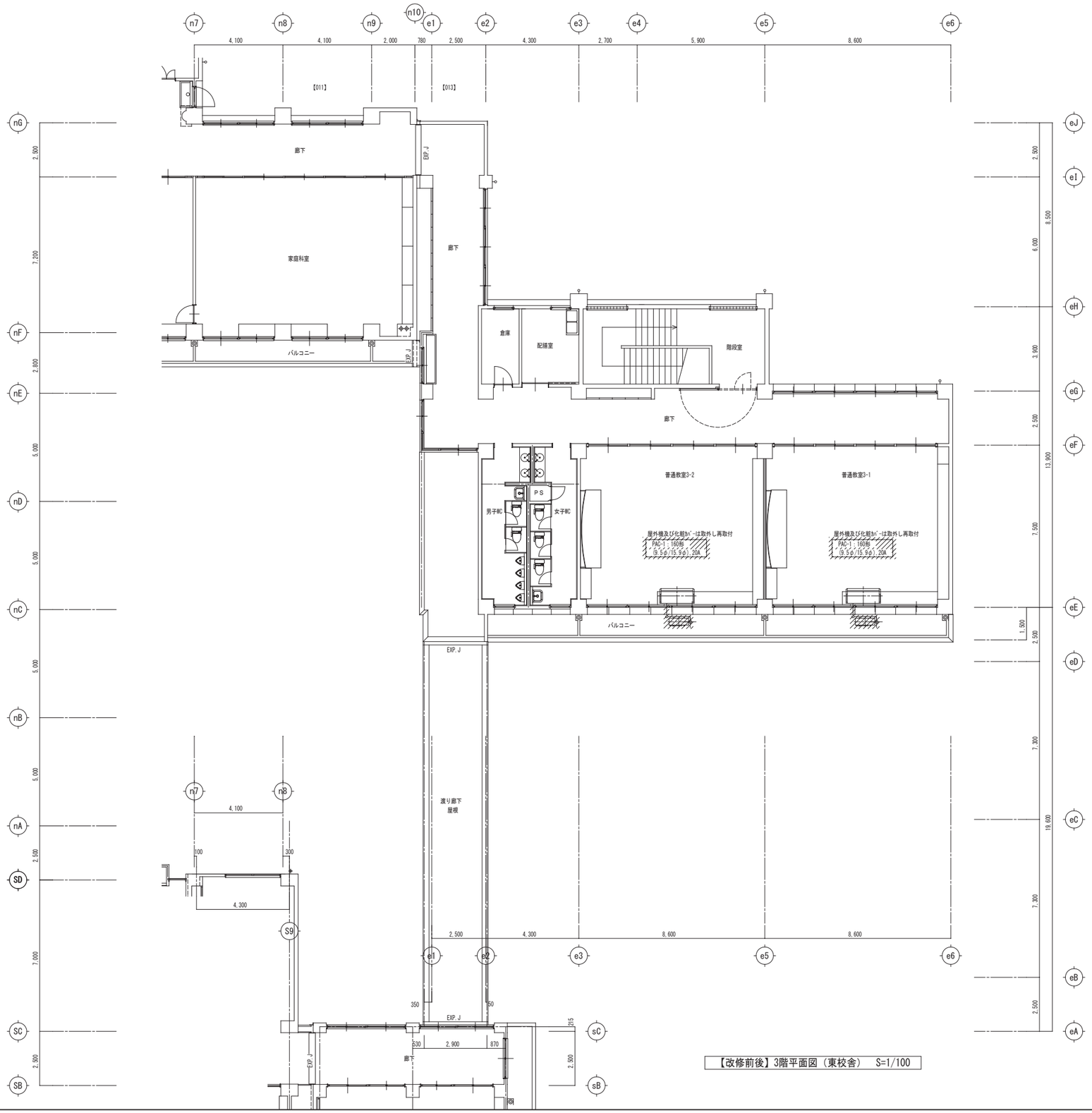
設計名称	令和６年度　岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事（第Ⅰ期）
図面名称	【改修前後】1階平面図（東校舎）
縮　尺	A1:1/100　A3:1/200
年　月	2024.03
設計番号	
図面番号	M-009
一級建築士事務所	株式会社 相和技術研究所　仙台事務所　宮城県知事登録　第22910116号
承認/ 赤沼 直幸	設計者/ 一級建築士 第284436号 赤沼 直幸
照査/ 佐々木 晋文	製図/ 西巻 裕太



【改修前後】2階平面図（東校舎）　S=1/100

改修前後　凡　例	
記号	摘　要
▨	取外し・再取付配管及び機器類を示す。

設計名称	令和６年度　岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事（第Ⅰ期）
図面名称	【改修前後】2階平面図（東校舎）
縮　尺	A1:1/100　A3:1/200
年　月	2024.03
設計番号	
図面番号	M-010
株式会社 相和技術研究所 仙台事務所 宮城県知事登録　第22910116号	一級建築士事務所
承認/ 赤沼 直幸	設計者/ 一級建築士 第284436号 赤沼 直幸
照査/ 佐々木 啓文	製図/ 西巻 裕大



【改修前後】3階平面図（東校舎）　S=1/100

改修前後　凡　例	
記号	摘　要
▨	取外し・再取付配管及び機器類を示す。

設計名称	令和６年度　岩沼西小学校校舎長寿命化外部改修工事（第Ⅰ期）			
図面名称	【改修前後】3階平面図（東校舎）			
縮　尺	A1:1/100 A3:1/200	年　月 2024.03	設計番号	図面番号 M-011
SOWA 株式会社 相和技術研究所 仙台事務所 宮城県知事登録　第229101116号	一級建築士事務所	承認/ 赤沼 直幸 照査/ 佐々木 啓文	設計者/ 一級建築士 第284436号 赤沼 直幸	製図/ 西巻 裕太